

**磨製石斧** 剥離や敲打の後、最終的に研磨により斧形に整形されたもの。刃部も両面からの研磨により作出される。

**三角錐形石器** 剥離によって作出された底面を持ち、基部が断面三角形あるいは台形に整形されたもの。裏面に平坦な自然面を残す場合がある。

**不定形石器** 上記のいずれの分類にも含まれない、二次加工の施された剥片や礫の総称。二次加工部位や刃部形状に多様なものを含む。連続した二次加工の施されるものでも安定した角度の刃部が作出されない場合は不定形石器とした。従来はスクレイパーや鋸齒縁石器、ノッチを不定形石器に含める傾向が認められたが、本報告では二次加工により作出された刃部形状を重視して、これらの石器を独立した器種として扱う。

**微細剥離痕ある剥片・剥片** 二次加工の施されない剥片類はその大きさに関わらず一括して剥片とした。このうち、縁辺に連続もしくは不連続な微細な剥離痕のあるものを微細剥離痕ある剥片として区別した。

**石核** 剥片剥離の痕跡を残し、ネガティブな最終剥離面を有するもの。剥片素材の石核を含む。

**原石** 剥片剥離に用いられると推定される未加工の礫。

**磨石** 素材となる礫の表面に磨痕を有するもの。

**凹石** 素材となる礫の表面に凹痕を有するもの。

**敲石** 素材となる礫の表面に敲打痕を有するもの。明瞭な線状痕を伴うものがある。

**多孔石** 素材となる大型礫の表面に凹痕を複数有するもの。凹痕は規則的に配列されることがある。凹石に残される凹痕に比べてより深く、凹痕内面が平滑なものが目立つ。

**石皿** 大型の扁平礫の一面に皿状あるいは平坦な磨面を有するもの。石皿のなかには裏面に凹痕が規則的に配列されるものもあり、石皿と多孔石の複合石器として分類した。

**台石** 大型の扁平礫の一面に一部磨痕や敲打痕を有するもの。

**砥石** 小型の扁平礫の一面に砥面を有するもの。砥面にはわずかに窪むものと平坦なもの二通りがある。

**結晶片岩製石器** 出土した結晶片岩礫の多くは扁平棒状を呈しており、その一側縁もしくは両側縁に剥離痕や面的な敲打痕・研磨痕（もしくは摩滅痕）が観察される。結晶片岩礫に特徴的な痕跡であることから、こうした痕跡のあるものを本報告では結晶片岩製石器と仮称する。この石器は「短剣形石器」（松村編1999）・「結晶片岩製扁平棒状石器」（松村2000）と呼称された一群に相当する。これまで打製石斧に分類されるこ

第4章 出土遺物

ともあったが、本遺跡から出土した両者を比較すると加工方法や使用痕の程度に明確な相違が認められることから本報告では区別した。

2 I区出土石器の概要

出土石器は、石鏃14点、石錐9点、楔形石器6点、スクレイパー9点、鋸歯緑石器3点、不定形石器24点、打製石斧18点、磨製石斧2点、微細剥離痕ある剥片6点、剥片多数（未集計）、石核6点、磨石1点、磨石・敲石2点、多孔石1点、結晶片岩製石器2点である。各器種の利用石材構成は第1表に示した。その多くは表面採集資料であるが、縄文時代包含層からも出土している（第2表）。以下、特徴的な器種について個別的に記述をおこなう。

打製石斧（第225・226図）

出土した全18点を掲載した。利用石材は黒色頁岩13点、ホルンフェルス3点、細粒輝石安山岩2点である。類型別点数は、

短冊・撥形12点（8～19）、分銅形3点（20～22）、欠損により分類不可3点（23～25）である。打製石斧の多くは他の石器と異なり、欠損に加えて摩滅や線状痕といった使用痕跡が観察される。欠損は11点に認められ、欠損部位は刃部、下半部、上半部、基部など多様である。摩滅もしくは線状痕の観察された資料は6点である。8と16は刃部を中心として器体の広範囲に摩滅と線状痕が広がる。特に刃部付近には、強度の摩滅と刃部に直交方向の明瞭な線状痕が認められる。8の刃部付近の摩滅範囲は片面に偏る。17、20、21、23には摩滅のみが観察されるが、その範囲は稜上や側縁など一部にとどまる。

磨製石斧（第226図）

出土した全2点を掲載した。利用石材は、細粒輝石安山岩と変質安山岩が各1点である。いずれも刃部のみが残存する。26は刃部縁辺に微細剥離痕が認められる。

スクレイパー（第227図）

出土した全9点を掲載した。利用石材は、黒色頁岩6点、黒色安山岩2点、細粒輝石安山岩1点である。類型別点数は、I類8点（28～35）、II類1点（36）である。

鋸歯緑石器（第227図）

出土した全3点を掲載した。利用石材はすべて黒色頁岩である。

不定形石器（第228・229図）

出土した24点のうち19点を掲載した。利用石材は、黒色頁岩12点、黒曜石5点、チャート3点、黒色安山岩、細粒輝石安山岩、珪質頁岩、変玄武岩が各1点である。素材剥片の背面に自然面を残すものが多く、

第1表 I区器種別石材構成

器種	石材										総計		
	黒色頁岩	黒曜石	黒色安山岩	チャート	細粒輝石安山岩	粗粒輝石安山岩	ホルンフェルス	珪質頁岩	黒色片岩	玉髓		変玄武岩	変質安山岩
多孔石						1							1
磨石						1							1
磨石・敲石						2							2
結晶片岩製石器									2				2
打製石斧	13				2		3						18
磨製石斧					1							1	2
スクレイパー	6		2		1								9
鋸歯緑石器	3												3
不定形石器	12	5	1	3	1			1			1		24
石錐	5	1	2	1									9
楔形石器			2	3					1				6
石鏃	2	3	6	2							1		14
微細剥離痕ある剥片			6										6
石核	1	5											6
総計	42	22	14	6	5	4	3	2	2	1	1	1	103

第2表 I区出土位置別器種構成

出土位置	多孔石	磨石	磨石・敲石	結晶片岩製石器	打製石斧	磨製石斧	スクレイパー	鋸歯緑石器	不定形石器	石錐	楔形石器	石鏃	微細剥離痕ある剥片	石核	総計
縄文谷	1														1
縄文包含層					3	2	1	2	8	2	1	4		2	25
表採		1	2	2	15		8	1	16	7	5	10	6	4	77
総計	1	1	2	2	18	2	9	3	24	9	6	14	6	6	103

40は片刃礫器ともいえる資料である。

#### 石錐 (第230図)

出土した9点のうち8点を掲載した。利用石材は、黒色頁岩5点、黒色安山岩2点、黒曜石とチャートが各1点である。類型別点数は、Ⅰ類5点(59・61・63・66)、Ⅱ類4点(62・64・65)である。61と63は一侧縁に折れ面を残し、もう一侧縁に二次加工を施して錐部を作出する。その他は両側縁からの二次加工により錐部が作出される。錐部の幅は多様である。65は錐部先端に摩滅が観察される。

#### 楔形石器 (第231図)

出土した全6点を掲載した。利用石材は、黒色安山岩3点、黒曜石2点、珪質頁岩1点である。類型別点数は、Ⅰ類2点(67・68)、Ⅱ類1点(69)、Ⅲ類3点(70～72)である。4点に側面の剪断面が観察され、このうち72には剪断面を切る剥離面がある。縦断面は紡錘形が主体となるが、上端あるいは上下端に平坦面を残すものもある。

#### 石鏃 (第232図)

出土した全14点を掲載した。利用石材は、黒色安山岩6点、黒曜石3点、チャート2点、黒色頁岩2点、玉髓1点である。全て無茎鏃であり、基部形態による細分では凹基9点(73～81)、平基2点(82・83)、凸基2点(84・85)、基部欠損により分類不可1点(86)である。先端部や基部・脚部を欠損するものが多く、77と81は折れ面形成後に一部再加工が施される。

#### 石核 (第233図)

出土した全6点を掲載した。利用石材は黒曜石5点、黒色頁岩1点である。黒色頁岩に比べ黒曜石製石核はかなり小型である。黒色頁岩製石核は打面と作業面との位置関係から、同一作業面に対する求心状の剥離作業が推定される。小型の黒曜石製石核には、自然面の広範囲の残存や自然面打面が確認されることから、もともと小型の黒曜石の原石を用いた剥離作業がおこなわれたと推定される。単設打面石核2点(88・89)、打面と作業面の位置関係が多様な多打面石核2点(90・91)、求心状剥離の結果残された石核1点(92)である。

### 3 II区出土石器・石製品の概要

出土石器は、石鏃206点、尖頭器5点、石錐79点、楔形石器82点、スクレイパー102点、鋸歯縁石器18点、不定形石器116点、打製石斧370点、磨製石斧11点、三角錐形石器1点、微細剥離痕ある剥片70点、剥片多数(未集計)、石核52点、原石1点、磨石131点、凹石14点、敲石20点、凹・磨石35点、磨・敲石19点、多孔石40点、石皿9点、石皿・多孔石17点、台石8点、結晶片岩製石器25点である。石製品では石棒4点、環状石製品1点、石製円盤3点、装飾品2点が出土した。各器種の利用石材構成は第3表に示した。出土位置はその多くが包含層であり、住居内や土坑内からも多数の石器が出土している(第4表)。

#### 台石 (第234・235図)

出土した全8点を掲載した。利用石材はすべて粗粒輝石安山岩である。すべて完形品であり、平坦面に敲打痕の観察されるもの1点(3)、平坦面の一部に摩滅の観察されるもの7点(1・2・4～8)である。

#### 石皿 (第236図)

出土した全9点を掲載した。利用石材はすべて粗粒輝石安山岩である。完形品はなく、すべて破片である。皿状の磨面を有するものが多い。

第3表 II区器種別石材構成

器種	石材																	総計												
	黒色頁岩	粗粒輝石安山岩	黒色安山岩	黒曜石	チャート	細粒輝石安山岩	ホルンフェルス	黒色片岩	変質玄武岩	アイサイト	ひん岩	雲母石英片岩	珪質頁岩	変玄武岩	緑色片岩	砂岩	変質安山岩		石英閃緑岩	頁岩	角閃石安山岩	蛇紋岩	二ッ岳軽石	溶結凝灰岩	砂質頁岩	珪化凝灰岩	玉髓	変輝緑岩	輝緑岩	かこう岩
台石		8																												8
石皿		9																												9
石皿・多孔石		17																												17
多孔石		40																												40
凹石		13									1																			14
凹石・磨石		33															1						1							35
磨石	1	116					2				3		1	1	1	1				2		1	1					1	131	
磨石・敲石		15															3													19
敲石		3				1		2			7		2		2	1		1					1							20
結晶片岩製石器							18				4			3																25
打製石斧	248		1			81	23		8		1	3	1		1	1								1	1					370
三角錐形石器	1																													1
磨製石斧									2			1	4		1	1					1						1			11
スクレイパー	69	1	13		14	3	1					1																		102
鋸歯緑石器	17				1																									18
不定形石器	56		15	11	25	1	2					2	2			1		1												116
石錐	34		7	17	19	1						1																		79
楔形石器	22		30	11	17		1											1												82
石鏃	15		95	26	69							1																		206
尖頭器			3		2																									5
微細剥離痕ある剥片			5	65																										70
石核	16		3	30	1		1																				1			52
原石				1																										1
石棒	1									2					1															4
環状石製品		1																												1
石製凹盤		1											1		1															3
装飾品													1									1								2
総計	480	257	172	161	148	86	31	18	12	2	5	11	11	10	6	5	5	4	3	2	2	2	2	2	1	1	1	1	1	1441

石皿・多孔石 (第237~239図)

石皿の磨面と凹痕を併せ持つものである。出土した全17点を掲載した。利用石材はすべて粗粒輝石安山岩である。石皿としての完形品は1点(22)のみであり、残りはすべて破片である。凹孔が穿たれるのは主に磨面として利用されることのない裏面であり、表面に凹孔が穿たれるものは少ない。表面に凹孔が穿たれるものも、磨面ではなくその周囲が利用される。凹痕の配置には不規則なものが多いが、19と29の裏面のようやや規則的なものもある。

多孔石 (第240~247図)

出土した全40点を掲載した。利用石材はすべて粗粒輝石安山岩である。多孔石に加工される礫の形状は、比較的扁平な円礫から厚手の角礫まで多様である。前者は主に平坦な面に加工され、側面はほとんど利用されないが、後者は側面にも加工される。それぞれに穿たれている凹孔は、隙間なく密に穿たれるものから疎らに穿たれるものまで様々である。密集した凹痕の配置は、不規則なものからやや規則的なものまでである。

凹石 (第248・249図)

出土した全14点を掲載した。利用石材は、1点がひん岩であることを除きすべて粗粒輝石安山岩である。完形品は6点であり、比較的小型の石材が利用される。これらは、表・裏・側面と様々な部位に凹痕を有するが、その多くは平坦面に形成される。平坦面上の凹痕は1面につき1個のものと複数個のものがあり、

第4表 II区出土位置別器種構成

出土位置	器種																		総計									
	台石	石皿	石皿・多孔石	多孔石	凹石	凹石・磨石	磨石	磨石・敲石	敲石	結晶片岩製石器	打製石斧	三角錐形石器	磨製石斧	スクレイパー	鋸歯縁石器	不定形石器	石錐	楔形石器		石鏃	尖頭器	微細剥離痕ある剥片	石核	原石	石棒	環状石製品	石製円盤	装飾品
住居	J-2	4		2	3		2	6			4			1		1		1			2	1			1			28
	J-5					1		1	2	1	11			4		4	2	4	12		2	2					1	47
	J-32	2			1			1	1	1	2					3			2			1						14
	J-44										2			1		1		1					1					6
	J-51							1		1		5							2									9
	J-65						1	1			1			1					1			1						6
	J-66						1	1			1					1	1			6								11
	J-67				3			1			2			2														8
	J-68		1	2	3	1		8			5		2	1		1	2	2	2									30
	J-72			1	3					1	1																	6
	J-75	1	1	2	3			5																				12
	J-83																1						1					3
	J-86													1										1				1
	J-91			1				3		1	4					4	3	2	3			1						22
J-92				1			1	1		1					1	1	4	4									14	
J-93					1								1	3		1	1	2	1								10	
J-98				2			4	1					1	1	1	1	7	1									18	
集計	7	2	8	19	3	4	33	5	5	39	3	14	1	19	11	16	41	1	5	7				1			245	
土坑	J-4																		1								1	
	J-7			1	1		1		1	2					1	1	4	6									18	
	J-14			1																							1	
	J-17						1								1				1								3	
	J-19						1												1								2	
	J-24													1						1			1				3	
	J-25																		1								1	
	J-26								1					1				1									4	
	J-27																1								1			2
	J-33																		1		2	1						4
	J-35																1											1
	J-36										1																	1
	J-39										1										1							2
	J-45						1				2								2									5
	J-47													1														1
	J-49						1				2																	3
	J-53													2				1										3
	J-54							1									1	1		2								5
	J-56							1			2						1											4
	J-62										1																	1
J-73				1												1		2			1						5	
J-74				1			3																				4	
J-79										1							1										2	
J-81							1			1																	2	
J-82							1						1														2	
J-85				1																							1	
J-97																	1										1	
J-101															1												1	
集計			2	4		2	10		2	13		5	1	3	5	9	18		6	2		1					83	
埋甕	J-1				1		1	2		2					1	1	1		1								10	
	J-3																		1								1	
	J-13														1												1	
	J-16						1									1			1								3	
	J-22								1											1							2	
	J-64							1																			1	
	J-90				1																						1	
集計			2			2	3	1		2					1	2	1	4		1							19	
遺物集中所	J-8					1		1		1	1		2					2						1			9	
	J-9				1																						1	
	J-10				1			1																			2	
	J-21				1																						1	
	J-76										1																1	
集計				3		1	1	1		1	2							2							1		14	
縄文包含層	1	2	5	5	7	15	47	7	7	14	181		5	53	14	70	42	40	102	2	36	26	1		3	1	686	
表採			5	2	7	4	11	37	5	6	10	133	1	3	28	2	23	19	16	39	2	22	17		2		394	
総計	8	9	17	40	14	35	131	19	20	25	370	1	11	102	18	116	79	82	206	5	70	52	1	4	1	3	2	1441

#### 第4章 出土遺物

いずれの場合も平坦面の中央部に位置するものが多い。

##### 凹・磨石 (第250～253図)

出土した全35点を掲載した。利用石材は、二ッ岳軽石と石英閃緑岩が各1点あり、残りはすべて粗粒輝石安山岩である。完形品は28点である。利用される礫の形状は、比較的扁平な楕円形が主体であり、その大きさにはある程度のまとまりが認められる。平坦面上の凹痕は1面につき1個のものと複数個のものがある。いずれの場合も平坦面の中央部に位置するものが多く、その周囲に磨痕が広がる。凹石と凹・磨石は、ともに磨石に比べて長幅値にまとまりがあり、凹痕の形成をもたらす使用行為は礫の大きさに強く関連すると考えられる (第219図)。

##### 磨石 (第254～262図)

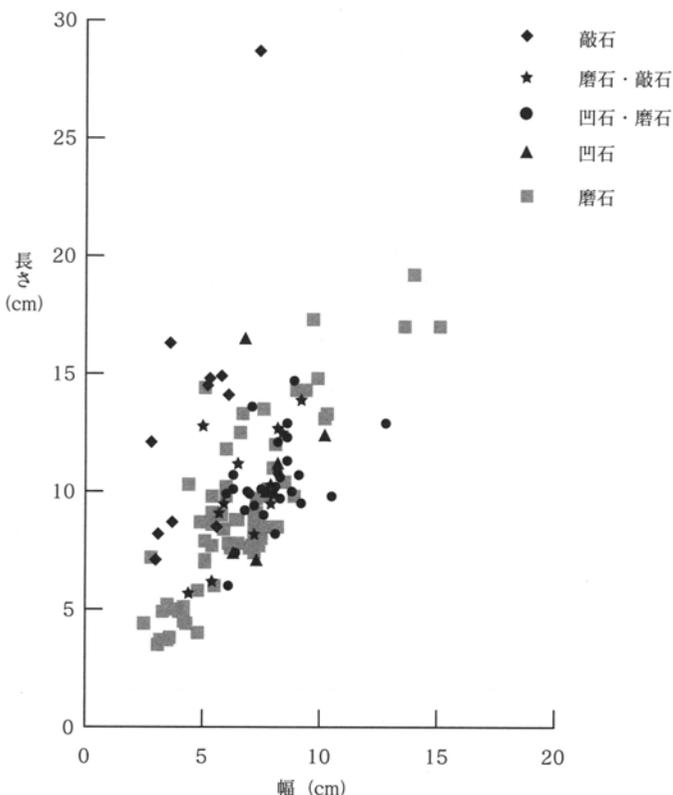
出土した131点のうち129点を掲載した。利用石材は粗粒輝石安山岩が115点を占め、その他にわずかにひん岩、角閃石安山岩などがある。完形品は70点であり、凹・磨石や磨・敲石に比べて破損率が高い。磨石は凹石、凹・磨石、磨・敲石に比べて長幅値に幅があり、多様な大きさの礫が選択されたことがわかる (第219図)。

##### 磨・敲石 (第263・264図)

出土した全19点を掲載した。利用石材は粗粒輝石安山岩15点、石英閃緑岩3点、かこう岩1点である。完形品は14点ある。敲打痕は平坦面の中央部に位置するものが多く、その周囲に磨痕が広がる。敲打痕と磨痕にみられるこうした位置関係は、凹・磨石の凹痕と磨痕の位置関係に共通することから、同様の使用行為が推定される。

##### 敲石 (第265～267図)

出土した全20点を掲載した。利用石材は雲母石英片岩7点、粗粒輝石安山岩3点、変質玄武岩、変玄武岩、砂岩が各2点、変質安山岩、溶結凝灰岩、ホルンフェルス、頁岩が各1点である。雲母石英片岩の7点は、後述する結晶片岩製石器とは敲打痕の状態や部位の点で区別される。272と282が側面部に、278と285が一端部と側縁部に、その他の石器は一端部もしくは両端部を中心に敲打痕が位置する。端部に敲打痕が位置するものには、一面の敲打痕からなるもの (273・279・280・281・283・284・286・287・288・290) と二面一対の敲打痕からなるもの (274・275・276・289・291) がある。このうち小型のもの (274・289・290・291) には敲打痕に伴い線状痕が観察され、特に289は器面の広範囲に線状痕が広がる。敲打痕に明瞭な線状痕が伴う状況は他の礫石器には観察されず、小型の敲石に特有の痕跡といえる。さらに小型の敲石は他の礫石器に比べてより細身であり、形状の点からも明確に区別される (第219図)。以上の特徴から、小型の敲石は他の礫石器とは異なる特有の機能を果たしていたことが推定される。



第219図 II区礫石器 (完形) 長幅相関図

結晶片岩製石器 (第268・269図)

出土した全25点を掲載した。利用石材は黒色片岩18点、雲母石英片岩4点、緑色片岩3点である。剥離痕と面的な加工（もしくは使用）痕を有する部位は主に側縁部である。その組み合わせから、連続もしくは不連続な剥離痕を有するもの10点（305・307～310・312～316）、面的な加工痕を有するもの5点（292～294・297・299）、剥離痕と面的な加工痕をともに有するもの7点（295・296・300～304）である。その他に端部から一側縁部にかけて研磨（摩滅）痕を有するもの1点（298）、端部に剥離痕を有するもの1点（306）、側縁部の連続的な剥離痕とともに正面の広範囲に研磨痕を有するもの1点（311）である。側面に観察される面的な加工（もしくは使用）痕は、敲打による形成面に比べてより平滑であることから、敲打と研磨（もしくは摩滅）による複合的な痕跡であると推定される。遺跡内からは結晶片岩製の未加工礫も25点出土している（第270・271図）。端部を欠損しているものが多く、両者の長さを比較することはできないが、幅と厚さはほぼ同様の傾向を示す。したがって、結晶片岩礫を加工（もしくは使用）する際の選択性は、素材となる礫形状の面からは窺えない。

打製石斧 (第272～294図)

出土した370点のうち358点を掲載した。利用石材は黒色頁岩248点、細粒輝石安山岩81点、ホルンフェルス23点、変質玄武岩8点、珪質頁岩3点などである。黒色頁岩が全体の約66%を占める。類型別点数は、短冊・撥形285点（342～625）、分銅形14点（626～639）、欠損などにより分類不可45点（640～673）である。この他に、折れ面を切る剥離痕が観察されたものが26点（674～699）あり、その多くはやはり欠損により分類不可である。一面に自然面を残すものが多く、なかには両面に自然面を残すもの（403）、自然面の裏側に腹面の観察されるもの（343・364・390など）がある。前者は扁平な礫を、後者は剥片を素材に打製石斧が製作されている。ただし、打製石斧の主要な石材である黒色頁岩、細粒輝石安山岩、ホルンフェルス製の石核はいずれも遺跡からごく少数出土するのみであることから、多くの打製石斧は扁平な礫を直接の素材として製作された可能性が高い。側縁部作出の二次加工は両面に施されるものがほとんどであり、敲打により最終的に整形されるものもある（372・441・474・518・751など）。

欠損は269点に認められる。欠損部位は多様であるが、上半部が67点と最も多く、次いで下半部42点、基部35点、基部と刃部25点、基部と胴部25点、刃部23点、胴部と刃部15点となる。器体中央での破損が目立つ。摩滅もしくは線状痕の観察されたものは全体の約半数の182点である。完形個体101点について摩滅・線状痕の分布と組み合わせをみたところ、47点に摩滅もしくは線状痕が観察された（第5表）。刃部では摩滅と線状痕の組み合わせが多数の個体で観察され、胴部、基部、側縁部へ向かうにつれ、主体となる使用痕は摩滅と線状痕の組み合わせから摩滅のみへと変化する。線状痕のみ観察された個体はない。したがって、摩滅は器体の広範囲に広がるが、線状痕は刃部を中心とした分布範囲を示すことがわかる。刃部に観察される線状痕のほとんどは刃部に対して直交方向を示すが、斜向するもの（514・637）もある。胴部や側縁部には器軸に直交方向の線状痕が観察されるもの（440・473・626・628・629）もあり、分銅形には挟り部にこうした痕跡と摩滅が顕著に認め

第5表 打製石斧（完形）の摩滅・線状痕の分布と組み合わせ

刃部	胴部	基部	側縁部	計
●	●	●	●	5
●	○	○	○	4
●	○	○		4
●				4
●	●	○	○	3
●	●			3
●			●	3
●	●	●		2
●	○	●	○	2
●	●	○		2
		●		2
○	○	○	○	2
●	●		●	1
●		○	●	1
●	○	●		1
○	●	●	○	1
●	○		○	1
	●	●		1
●		○		1
●			○	1
		○		1
○				1
			○	1

●：摩滅と線状痕の組み合わせ  
○：摩滅のみ

#### 第4章 出土遺物

られる。さらに、摩滅・線状痕の分布範囲は正面と裏面で明瞭に異なる場合があり（352・361・364・384・409・471・490など）、打製石斧の操作方法を考察する上で重要な情報となる。刃部や側縁部には、摩滅面を切る剥離痕が観察されたものが23点あり、折れ面を切る剥離痕が観察された26点と併せて再加工の痕跡と推定される。折れ面のなかには加撃点が明瞭に観察されるものがあることから、場合により折断加工が施されたことがわかる。完形個体を対象に、刃部・側縁部に再加工の痕跡を残すものと残さないものの法量を比較したところ、いずれも長さ5～14cmのものがほとんどであり、分布に偏りは認められない（第220図）。

#### 三角錐形石器（第294図）

出土した全1点を掲載した。利用石材は黒色頁岩である。底面は複数回の粗い剥離により作出される。基部は、裏面である自然面からの剥離と正面稜上からの剥離により断面三角形状に加工される。

#### 磨製石斧（第295図）

出土した全11点を掲載した。利用石材は変玄武岩4点、変質玄武岩2点、変質安山岩、変輝緑岩、珪質頁岩、蛇紋岩、砂岩が各1点である。打製石器や礫石器とは利用石材の傾向が大きく異なる。707は剥離・敲打の後に一部を研磨するのみで、平滑な自然面を大きく残し、その他のものは最終工程の研磨が器体全面に施される。完形は711のみで、その他の多くは折れ面を残す。706には折れ面を切る剥離面が、703には折れ面上に剥離面と一部研磨痕が認められる。701には整形時の研磨痕を切る敲打痕が上下両端に広範囲に認められる。こうした特徴は、刃部や基部欠損後の再加工もしくは転用を示す痕跡である。

#### スクレイパー（第296～301図）

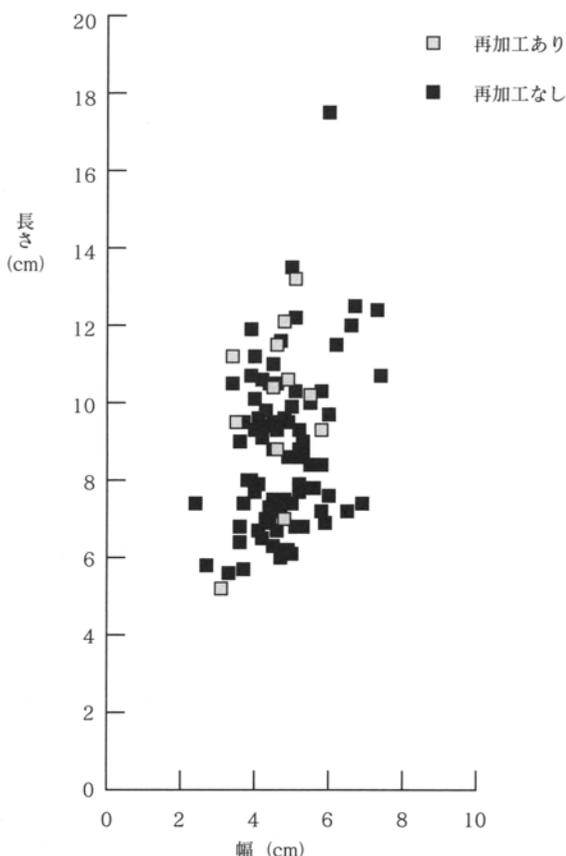
出土した102点のうち101点を掲載した。利用石材は黒色頁岩69点、チャート14点、黒色安山岩13点、細粒輝石安山岩3点、粗粒輝石安山岩、ホルンフェルス、珪質頁岩が各1点である。大型のスクレイパーの素材となる剥片には背面に大きく自然面を残すものがある。刃部の作出方法は、I類89点（728～784・797～811）、II類13点（785～796・812）である。素材剥片の形状を大きく変更することなく、側縁部あるいは端部に刃部作出加工のみが施される場合が多い。

#### 鋸歯縁石器（第302・303図）

出土した全18点を掲載した。利用石材は黒色頁岩17点、チャート1点である。スクレイパーと同じく、素材となる大型剥片の背面に大きく自然面を残す。鋸歯状の加工とともにスクレイパー状の加工が施される場合がある。

#### 不定形石器（第304～308図）

出土した116点のうち88点を掲載した。利用石材は黒色頁岩56点、チャート25点、黒色安山岩15点、黒曜石11点のほか、ホルンフェルス、変玄武岩、珪質頁岩が各2点、頁岩、細粒輝石安山岩、変質安山岩



第220図 II区打製石斧（完形）長幅相関図

が各1点である。837、850は礫を素材としてその一辺に加工が施される。865は裏面の広範囲に摩滅と線状痕が、914は正面に摩滅が認められる。897は下端部に敲打痕がある。

#### 石錐 (第309～314図)

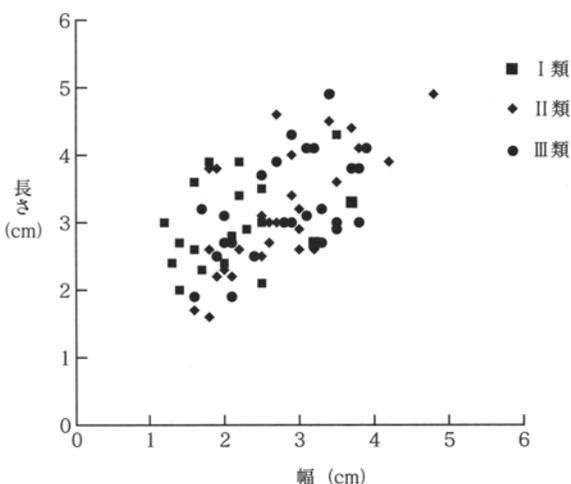
出土した79点のうち76点を掲載した。利用石材は黒色頁岩34点、チャート19点、黒曜石17点、黒色安山岩7点、珪質頁岩1点、細粒輝石安山岩1点である。類型別点数は、I類31点(919～929・945～963)、II類45点(930～944・964～992)、III類2点(993・994)、基部欠損により細分不可1点(979)である。錐部が残存している72点のうち、一側縁に折れ面を残し、もう一側縁に二次加工を施して錐部を作出するものが19点(921・927・934など)、両側縁からの二次加工により錐部を作出するものが53点である。後者のうち6点は錯向剥離による刃部作出である(923・944・948など)。棒状加工の994は断面が三角形に加工される。大型の素材剥片には、背面に自然面を大きく残すものがある。926、929、939、950、975、981、984は錐部先端に摩滅が観察される。

#### 楔形石器 (第315～324図)

出土した82点のうち77点を掲載した。利用石材は黒色安山岩30点、黒色頁岩22点、チャート17点、黒曜石11点、ホルンフェルスと頁岩が各1点である。類型別点数は、I類24点(995～1013)、II類29点(1014～1042)、III類29点(1043～1071)である。側面もしくは裏面に剪断面の観察されるものが33点あり、このうち8点に剪断面を切る連続的な剥離面がある。縦断面形は紡錘形が主体となるが、上端あるいは上下端に平坦面を残すものもある。剪断面は、製作時あるいは使用時に偶発的に生じる痕跡として理解されており、台石あるいは被加工物の上に固定して叩くことで生じやすい(岡村1983)。両極剥離痕とともに楔形石器に観察される特徴的な剥離現象である。剪断面を切る連続的な剥離面が8点に認められたが、このことは剪断面形成後に再度整形加工が施されたことを示している。北海道聖山遺跡では、剪断面の形成を経て楔形石器が連続的に小型化・変形していくことが接合資料によって確認されており(阿部1979)、本遺跡においても剪断面の形成を経て小型化・変形した楔形石器に再加工が施された可能性が高い。また、剪断面を切る剥離面が認められた8点の類型別の内訳はI類3点、II類1点、III類4点であり、剪断面形成後の再加工と楔形石器の二次加工の進行度の間にはある程度の関連が認められる。I～III類の法量を比較すると、II・III類に大型のものが多い傾向があり、二次加工の進行と楔形石器の小型化との間に相関関係は認められない(第221図)。

#### 石鏃 (第325～330図)

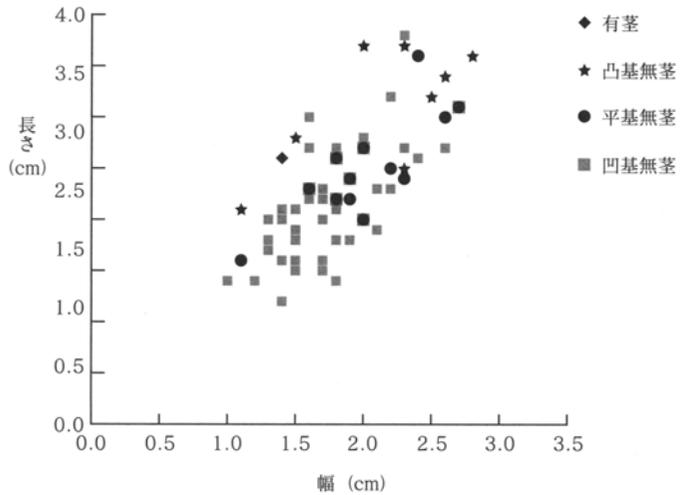
出土した206点のうち195点を掲載した。利用石材は黒色安山岩95点、チャート69点、黒曜石26点、黒色頁岩15点、珪質頁岩1点である。基部を欠損する24点を除いた182点のうち、無茎鏃が179点、有茎鏃が3点(1248～1250)である。無茎鏃の基部形態は凹基142点(1072～1212)、平基25点(1213～1235)、凸基12点(1036～1247)であり、凹基の占める割合が非常に高い。平坦な二次加工面により素材剥片の背・腹面を除去するものが多いが、1122、1152、1176、1212のように周縁加工にとどまるものもある。縁辺



第221図 楔形石器長幅相関図

第4章 出土遺物

の形状は直線状あるいは曲線状を基本とするが、1103は鋸歯状に加工される。凹基無茎、平基無茎、凸基無茎の各石鏃の法量を比較すると長さ1～2cmでは凹基無茎、長さ2～3cmでは凹基無茎と平基無茎、長さ3～4cmでは凸基無茎が主体となる(第222図)。欠損は134点に認められ、その内訳は凹基無茎94点、平基無茎12点、凸基無茎3点、有茎1点、細分不可24点である。欠損部位は個体により多様であるが、先端部と脚部に集中する。欠損には、製作時に生じるものと使用時に生じるものの二者が想定される。前者



第222図 石鏃(完形)長幅相関図

には、凹基作出の際の二次加工が先端部を取り込んでしまう剥離事故(1072・1182)などが該当し、後者には、石鏃先端部が対象物に衝突する際に生じたと推定される衝撃剥離痕(御堂島1991)(1089・1091・1092・1100・1184など)が該当する。衝撃剥離痕のほとんどは凹基無茎鏃に観察され、また形態別の破損率においても凹基無茎鏃が最も高い数値を示すことから、凹基無茎鏃に特に明瞭な使用痕跡を認めることができる(第6表)。その他の特徴的な痕跡として、1181の基部両面にある縦方向の線状痕と摩滅、1184の基部片面にある縦方向の線状痕がある。いずれも凹基無茎鏃であり、観察される部位や線状痕の方向に共通性が認められることから、着柄痕である可能性が指摘される。また、欠損後の再加工作痕を残すもの(1074・1096・1154・1181)もある。

第6表 石鏃の形態別破損状況

石鏃類型	総数	破損数(破損率)	製作時の事故割れ	衝撃剥離痕
凹基無茎	142	94(66.2%)	4	11
平基無茎	25	12(48.0%)	—	1
凸基無茎	12	3(25.0%)	—	1

尖頭器(第331図)

出土した全5点を掲載した。利用石材は黒色安山岩3点、チャート2点である。主に粗い剥離面で構成され、1267、1268は縁辺の一部が細かな剥離で整形される。

石核(第332～338図)

出土した全52点を掲載した。利用石材は黒曜石30点、黒色頁岩16点、黒色安山岩3点、チャート、玉髓、ホルンフェルスが各1点である。玉髓を除く他の石材はいずれも打製石器の主要石材である。黒曜石、黒色頁岩、黒色安山岩の3つの石材について石核の法量を比較すると、黒曜石のほとんどが高さ・幅ともに1～4cmであるのに対し、黒色安山岩は4～7cm、黒色頁岩は4～10cmのものが主体となる(第223図)。いずれの石材も一面に自然面を大きく残す石核を含むことから、石核法量の石材ごとの明瞭な相違は、剥片剥離に利用される各原石の大きさがある程度反映している可能性が高い。小型の原石から生産される黒曜石製剥片は、主に石鏃や石錐、楔形石器などの小型石器製作に用いられ、大型の原石から生産される黒色頁岩製剥片は、石鏃や石錐、楔形石器などの小型石器製作からスクレイパー、鋸歯縁石器、不定形石器などの大型石器製作まで幅広く用いられている。石核に残される打面と作業面の位置関係から推定される剥片剥離技術には、〔1〕同一の打面を主に利用して剥離作業をおこない、単設打面石核が残されるもの(1272～1279・1293～1301)、〔2〕打面と作業面をそれぞれ任意に転移させながら剥離作業をおこない、多打面石核が残されるもの(1280～1287・1302～1323)、〔3〕同一作業面に対してその周囲から求心状に剥離作業をおこなうもの(1288～1292)の3通りがある。石材ごとの剥片剥離技術は、黒曜石で打面と作業面を転移さ

せながらの剥離、黒色頁岩で同一打面からの連続剥離と打面と作業面を転移させながらの剥離、黒色安山岩で同一作業面に対する求心状の剥離に特徴付けられる。

#### 原石 (第338図・1324)

出土した全1点を掲載した。黒曜石の原石である。小型扁平であることから、剥片剥離に適さずそのまま廃棄されたと考えられる。

#### 石棒 (第339図)

出土した全4点を掲載した。利用石材はデイサイト2点、黒色頁岩1点、緑色片岩1点である。

1325は上・下端部を欠損しており、体部両面に2ヶ所の凹痕を有する。1326は下半部を欠損する。1327は体部を欠損する。頸部は敲打により作出され、頭部は研磨により整形される。1328は上・下端部を欠損しており、体部には全面に縦方向の線状痕と一部に敲打痕が観察される。

#### 環状石製品 (第339図・1329)

出土した全1点を掲載した。利用石材は粗粒輝石安山岩である。中央部をくり抜き、環状に整形される。

#### 石製円盤 (第340図)

出土した全3点を掲載した。利用石材は粗粒輝石安山岩、珪質頁岩、緑色片岩が各1点である。1330は周縁部が剥離により整形される。1331は縁部が研磨により整形される。1332は緑色片岩という石材の性質上、磨痕の観察が困難であるが、扁平棒状という結晶片岩礫の通常の形状と大きく異なることから、研磨により整形された石製円盤と判断した。

#### 装飾品 (第340図)

出土した全2点を掲載した。利用石材は珪質頁岩と蛇紋岩が各1点である。1333は研磨により整形され、端部に剥離痕を有する。1334は全面に研磨が及び、ほぼ一定方向の擦痕が観察される。

### 4 その他の石器・石製品

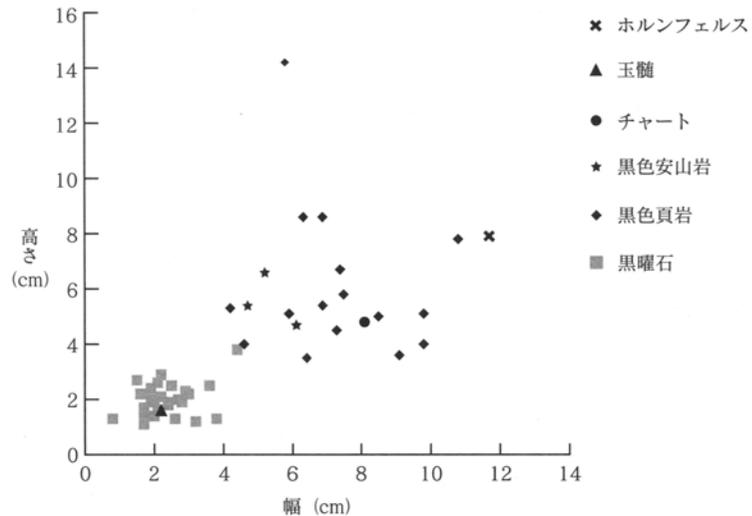
これまでに報告した縄文時代中期の石器・石製品以外に、その他の時期や時代に属する可能性のある遺物や時代不明の遺物がわずかに出土している。以下ではI・II区から出土したこうした遺物をまとめて記述する。

#### 台形様石器 (第341図)

出土した全1点を掲載した。利用石材はチャートである。先端部を欠損する。縄文時代中期の遺物包含層から出土しているが、その形態の特長から後期旧石器時代前半期の台形様石器と判断される。

#### 有舌尖頭器 (第341図)

出土した全2点を掲載した。利用石材はともに黒色頁岩である。1336は完形であり、先端部が赤変している。1337は先端部と基部を欠損している。いずれも縄文時代中期の遺物包含層から出土しているが、そ



第223図 II区石核高幅相関図

#### 第4章 出土遺物

の形態的特長から縄文時代草創期の有舌尖頭器と判断される。

##### 玉 (第342図)

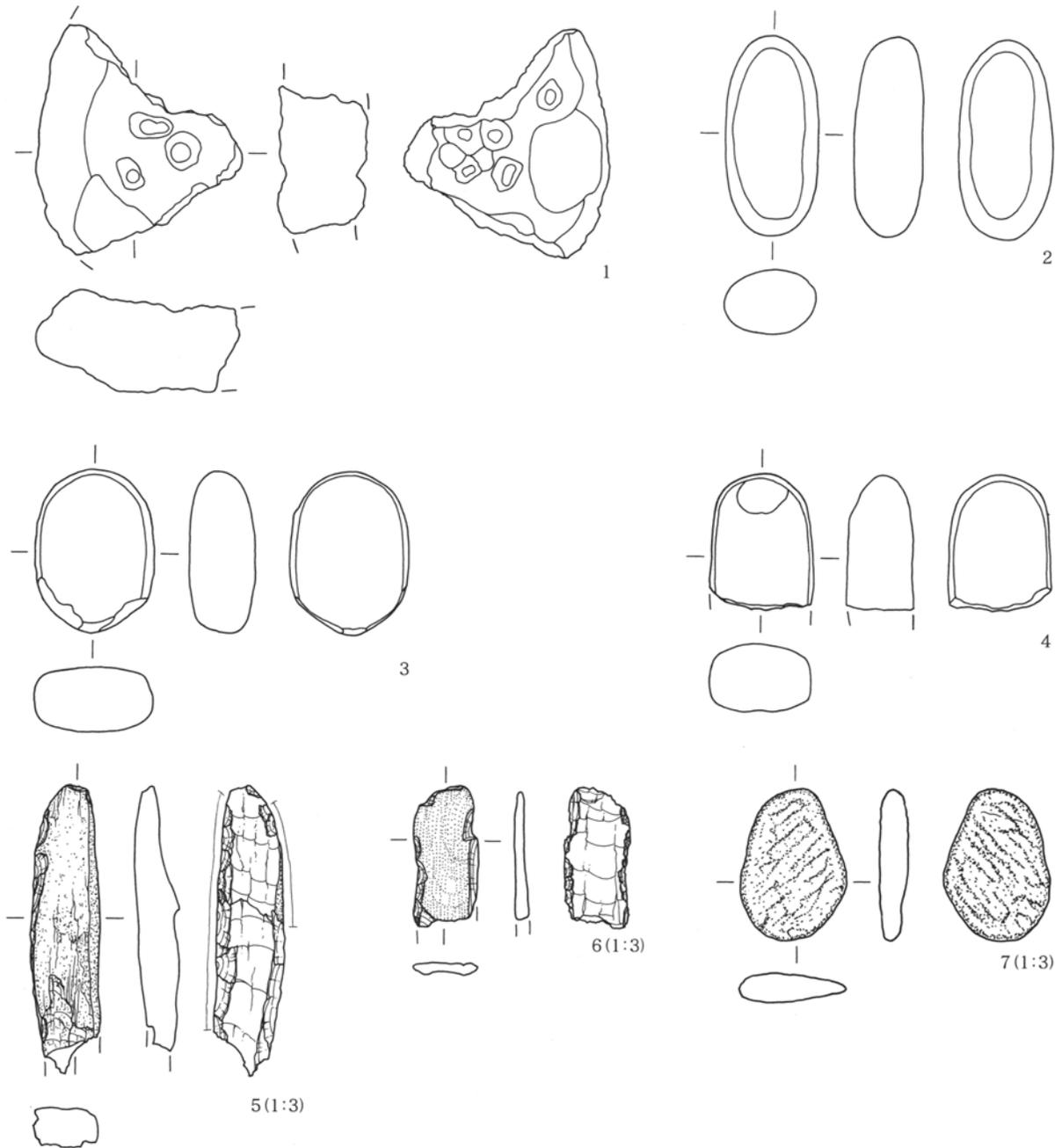
出土した全1点を掲載した。利用石材は蛇紋岩である。全面が研磨により整形されている。

##### 砥石 (第342図)

出土した全10点を掲載した。利用石材は砥沢石3点、砂岩2点、流紋岩質凝灰岩、流紋岩、珪質粘板岩、デイサイト、ホルンフェルスが各1点である。形態的特長から、1339と1340は縄文時代、1341～1348は中近世に属する可能性がある。

##### 〈引用文献〉

- 阿部朝衛 1979 「ピエス・エスキーユ (楔形石器)」『峠下聖山遺跡』七飯町教育委員会 pp.153-159
- 岡村道雄 1983 「ピエス・エスキーユ、楔形石器」『縄文文化の研究7 道具と技術』 pp.106-116
- 松村和夫編 1999 『沼南遺跡 (主) 前橋伊香保線地方特定道路整備事業に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書 第1集』(財)群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告第259集
- 松村和夫 2000 「結晶片岩製扁平棒状石器」について—打製石斧及び類似石器との比較検討—『土曜考古』第24号 pp.15-35
- 御堂島正 1991 「石鏃と有舌尖頭器の衝撃剥離」『古代』92 pp.79-97



第224図 I区出土礫石器・結晶片岩製石器

I区多孔石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1	縄文谷	粗粒輝石安山岩	(13.7)	12.5	5.4	823.0	あり	

I区磨石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
2	990-120	粗粒輝石安山岩	12.1	5.6	4.2	471.0	なし	

第4章 出土遺物

I区磨石・敲石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
3	表採	粗粒輝石安山岩	10.2	7.2	4.0	474.0	なし	
4	表採	粗粒輝石安山岩	8.3	6.2	4.1	364.0	なし	

I区結晶片岩製石器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
5	表採	黒色片岩	(13.1)	3.2	2.0	95.0	端部	両側縁部に剥離痕と面的な敲打(研磨)痕あり。
6	表採	黒色片岩	(6.4)	3.0	0.7	17.0	下半部	一側縁部に連続する剥離痕あり。

I区結晶片岩礫観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
7	表採	雲母石英片岩	6.8	4.8	1.3	62.0	なし	

I区打製石斧観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
8	縄文谷	細粒輝石安山岩	11.5	5.0	1.4	94.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、基・胴部に摩滅あり。
9	表採	ホルンフェルス	10.7	5.3	2.7	184.0	なし	
10	990-120	黒色頁岩	10.0	4.0	1.7	65.0	なし	
11	表採	黒色頁岩	8.9	5.1	1.8	79.0	なし	剥落あり。
12	表採	黒色頁岩	(7.8)	4.9	3.5	131.0	下半部	
13	表採	黒色頁岩	(8.5)	4.2	2.2	112.0	刃部	剥落あり。
14	990-120	黒色頁岩	(8.7)	5.4	1.2	66.0	上半部	
15	表採	黒色頁岩	(8.0)	5.6	2.0	119.0	基部	
16	000-125	ホルンフェルス	13.8	6.8	3.3	294.0	なし	刃・胴・側縁部に摩滅・線状痕あり。
17	表採	黒色頁岩	9.2	6.0	2.5	137.0	なし	胴部に摩滅あり。
18	表採	細粒輝石安山岩	(6.0)	5.8	1.5	53.0	上半部	
19	表採	黒色頁岩	(5.0)	5.0	1.1	38.0	刃部(折断加工)、胴部	
20	表採	黒色頁岩	9.3	7.0	2.3	121.0	なし	刃・胴・基部に摩滅あり。
21	表採	ホルンフェルス	13.0	(7.0)	3.2	320.0	一側縁部	側縁部中央に摩滅あり。
22	表採	黒色頁岩	(10.3)	6.9	2.4	165.0	刃部	
23	表採	黒色頁岩	(4.6)	4.8	2.1	57.0	基・刃部	胴部に摩滅あり。
24	表採	黒色頁岩	(4.9)	5.7	1.9	60.0	基・胴部	
25	表採	黒色頁岩	(3.5)	4.2	1.0	16.0	基・刃部	

I区磨製石斧観察表

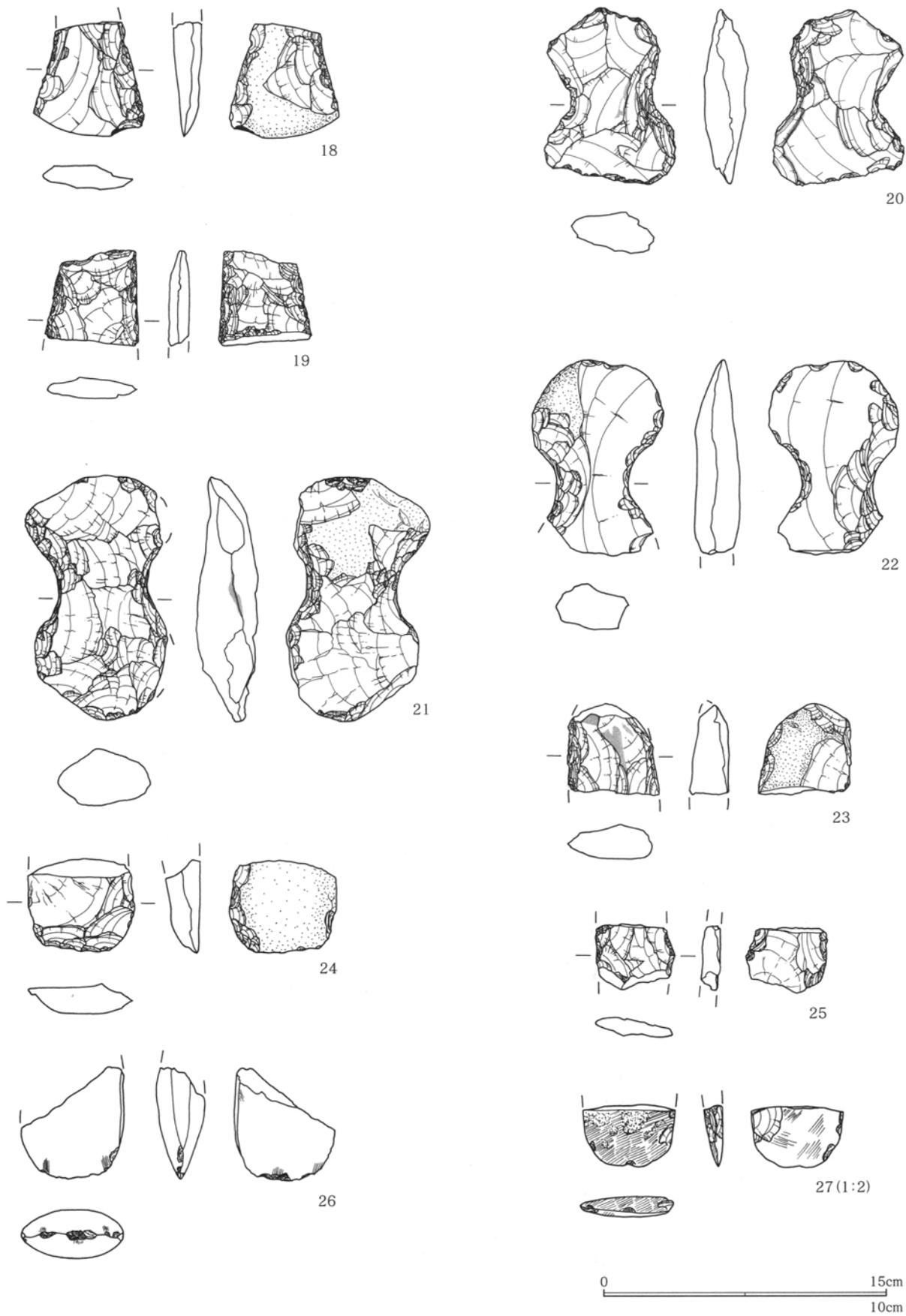
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
26	010-130	変質安山岩	(5.9)	5.4	2.6	78.0	基・胴部	刃部縁辺に微細剥離痕あり。
27	990-040	細粒輝石安山岩	(2.2)	3.3	0.7	6.0	基・胴部	

I区スクレイパー観察表

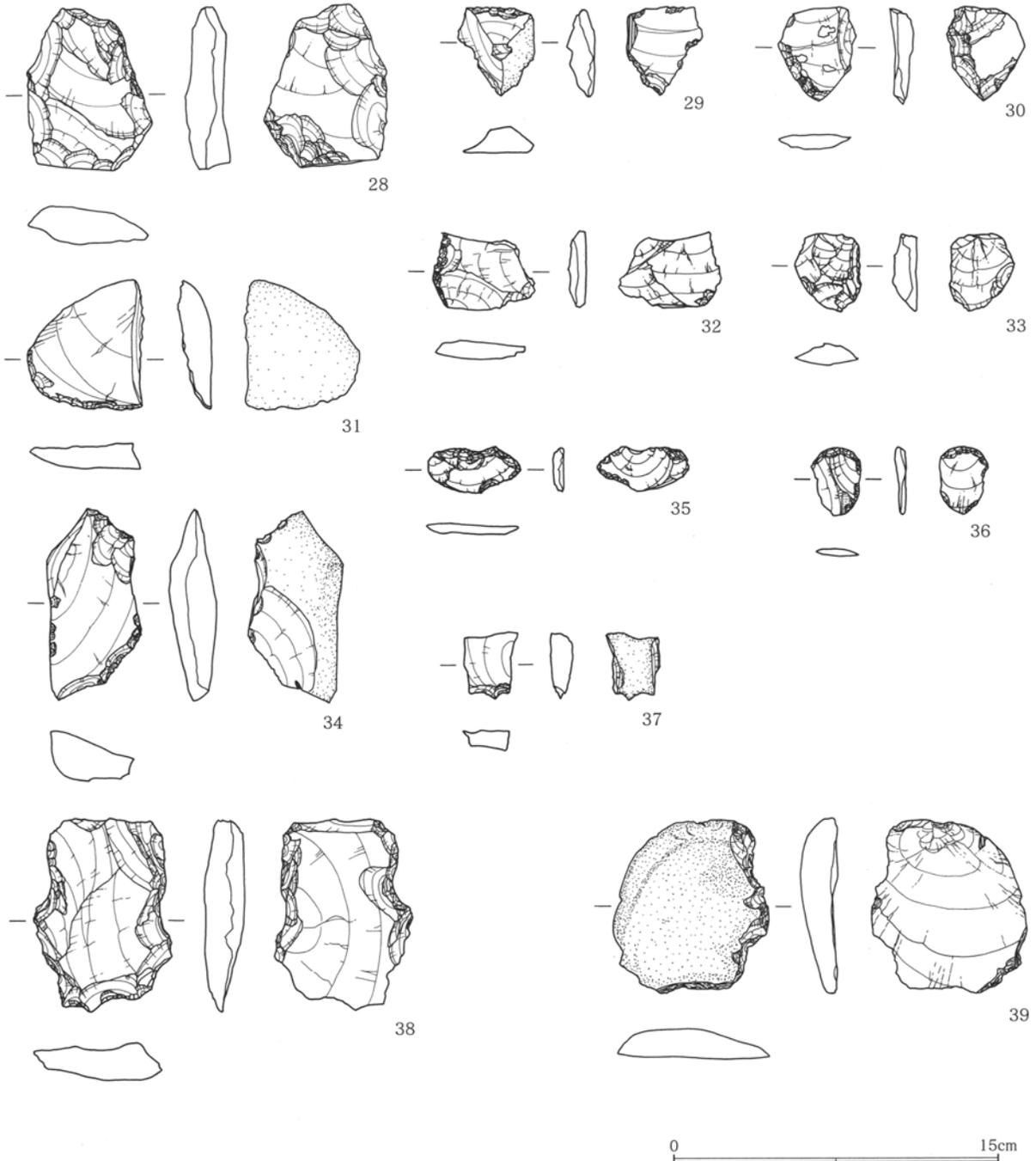
図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
28	表採	I	黒色頁岩	7.5	5.8	2.1	93.0	—	
29	990-065	I	黒色頁岩	4.1	3.5	1.3	15.0	—	
30	985-100	I	黒色頁岩	4.2	(3.5)	1.0	13.0	—	正・裏面に剥落あり。
31	010-135	I	細粒輝石安山岩	5.9	5.3	1.6	52.0	—	
32	表採	I	黒色安山岩	3.5	4.7	0.8	16.0	—	
33	表採	I	黒色安山岩	3.5	3.0	1.2	12.0	—	
34	990-120	I	黒色頁岩	8.9	4.4	2.2	76.0	—	
35	表採	I	黒色頁岩	2.0	4.2	0.5	5.0	—	
36	表採	II	黒色頁岩	3.2	2.3	0.5	4.0	—	



第225圖 I区出土打製石斧(1)



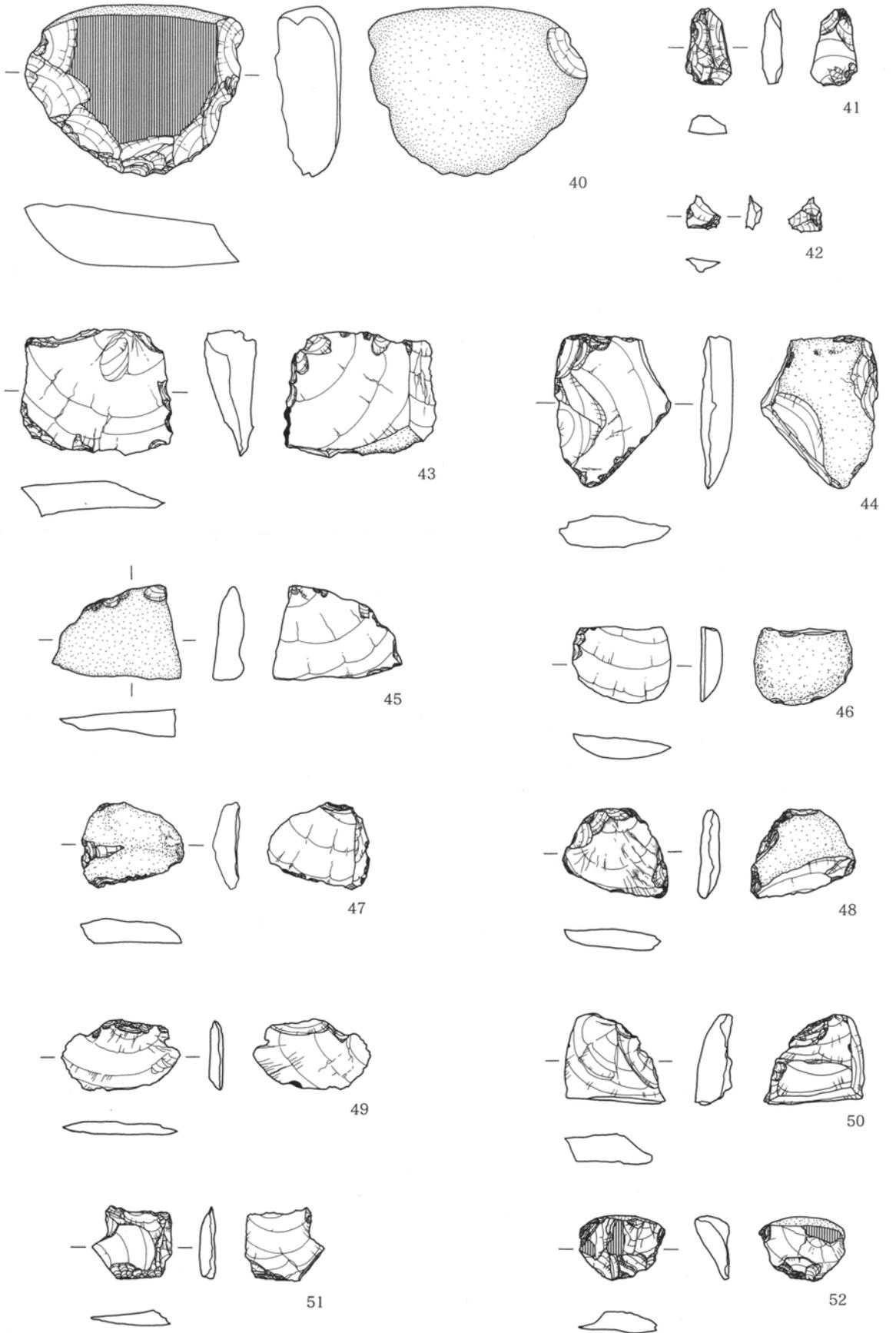
第226図 I区出土打製石斧(2)・磨製石斧



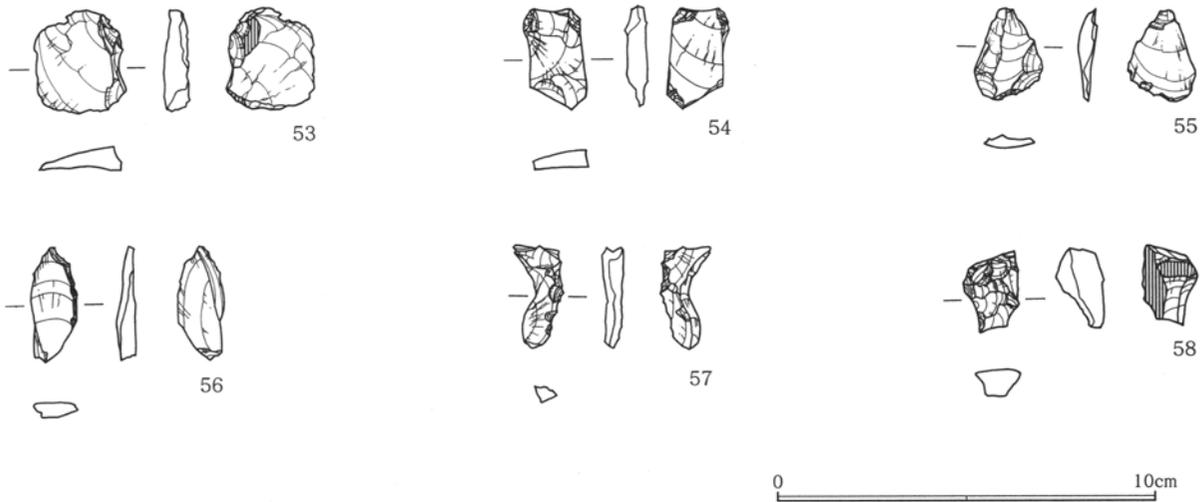
第227図 I区出土スクレイパー・鋸歯縁石器

I区鋸歯縁石器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
37	985-045	黒色頁岩	3.0	2.5	1.1	9.0	-	
38	115-995	黒色頁岩	8.9	6.5	1.8	121.0	-	
39	表採	黒色頁岩	7.9	7.2	1.7	104.0	-	



第228图 I区出土不定形石器(1)



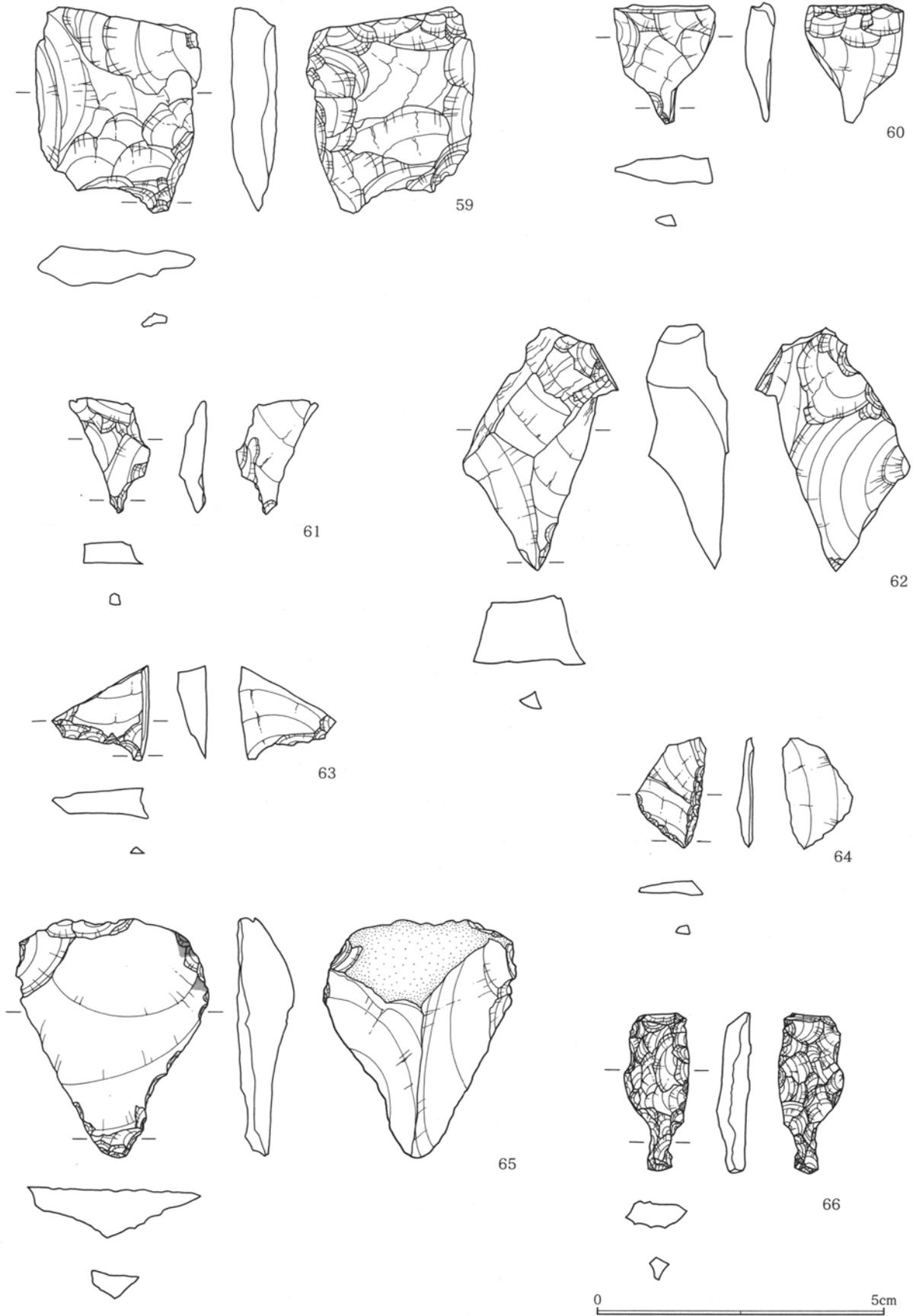
第229図 I区出土不定形石器(2)

I区不定形石器観察表

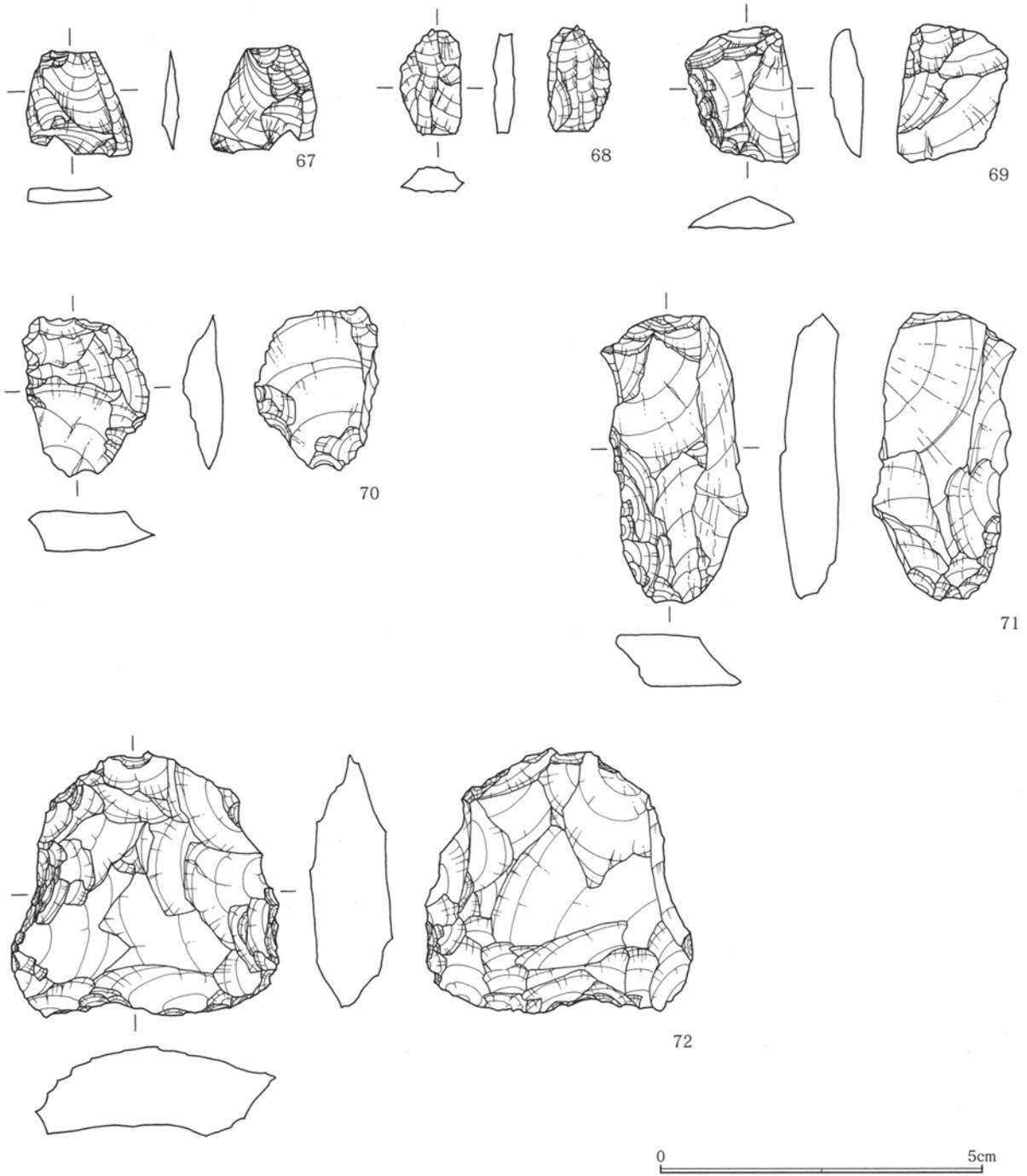
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
40	表採	変玄武岩	8.8	11.1	3.5	442.0	-	片刃礫器。
41	表採	チャート	3.9	2.4	1.1	11.0	-	
42	表採	珪質頁岩	1.3	1.3	0.9	2.0	-	
43	表採	黒色頁岩	6.5	7.8	2.6	105.0	-	
44	表採	黒色頁岩	7.9	6.0	1.6	85.0	-	
45	010-130	黒色頁岩	4.9	6.7	1.6	51.0	-	
46	表採	黒色頁岩	3.9	5.1	1.2	29.0	-	
47	表採	黒色頁岩	4.5	5.2	1.3	31.0	-	
48	表採	細粒輝石安山岩	4.4	5.3	1.0	27.0	-	
49	表採	黒色頁岩	3.6	6.0	0.7	16.0	-	
50	表採	黒色頁岩	4.7	5.2	1.9	48.0	-	
51	000-125	黒色頁岩	3.7	4.1	0.8	13.0	-	
52	表採	黒色頁岩	3.4	4.4	1.8	23.0	-	
53	表採	黒色頁岩	2.7	2.3	0.7	5.0	-	
54	表採	黒色安山岩	2.7	1.7	0.6	3.0	-	
55	990-120	黒色頁岩	2.4	1.9	0.5	1.3	-	
56	表採	黒色頁岩	3.0	1.2	0.5	2.0	-	
57	990-120	チャート	2.8	1.4	0.6	1.0	-	
58	表採	チャート	1.8	1.4	1.2	4.0	-	

I区石錐観察表

図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
59	表採	I	黒色頁岩	3.6	2.9	0.8	9.1	なし	
60	表採	I	黒色頁岩	2.0	1.8	0.5	1.9	なし	
61	表採	I	黒色頁岩	2.0	1.4	0.4	1.0	なし	
62	表採	II	黒色安山岩	4.2	2.8	1.5	10.0	なし	
63	990-120	I	黒色安山岩	1.7	1.7	0.5	1.2	なし	
64	表採	II	黒色頁岩	1.9	1.2	0.3	0.5	なし	
65	表採	II	黒色頁岩	4.2	3.3	1.0	10.2	なし	錐部先端が摩滅。
66	表採	I	黒曜石	2.7	1.1	0.6	1.6	なし	



第230图 I区出土石錐

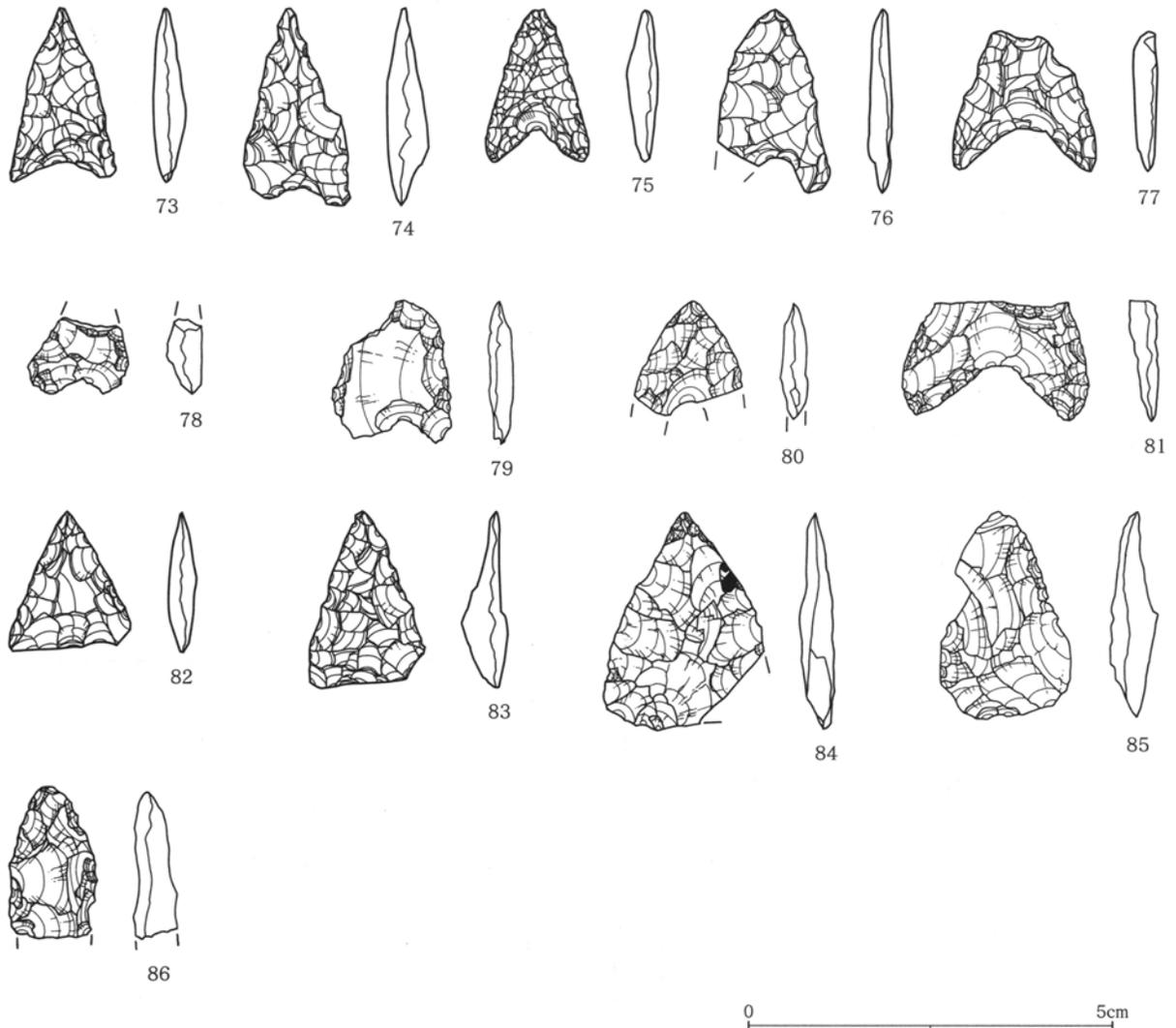


第231図 I区出土楔形石器

I区楔形石器観察表

図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
67	表採	I	黒曜石	1.7	1.7	0.3	0.8	—	
68	000-120	I	黒曜石	1.7	1.0	0.4	0.8	—	側面に剪断面。
69	表採	II	黒色安山岩	2.2	1.8	0.5	1.9	—	側面に剪断面。
70	表採	III	黒色安山岩	2.5	2.0	0.6	3.5	—	側面横割れ。
71	表採	III	黒色安山岩	4.5	2.3	0.9	10.3	—	側面に剪断面 (両極剥離痕)。
72	表採	III	珪質頁岩	4.1	4.1	1.3	28.6	—	側面に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。

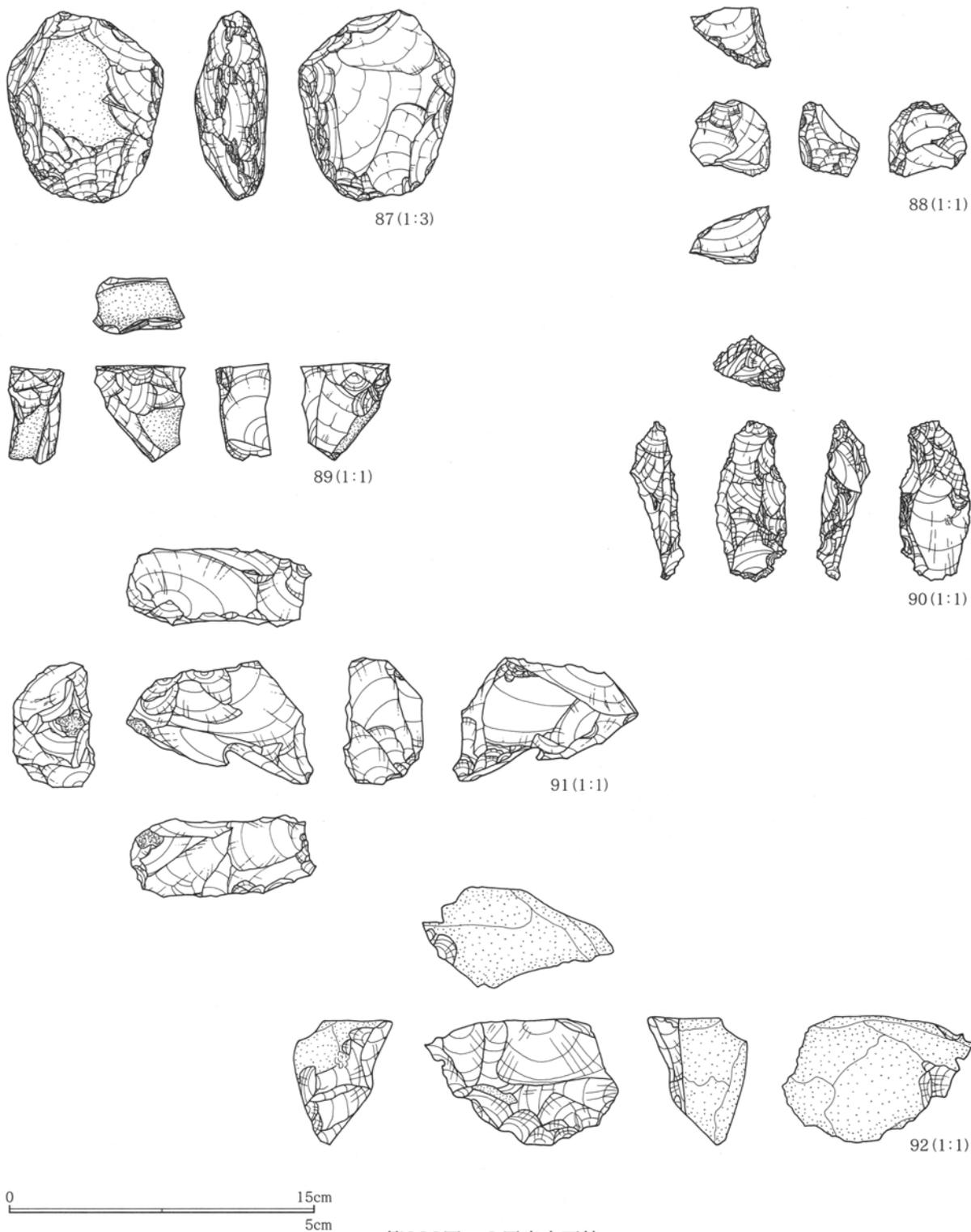
第4章 出土遺物



第232図 I区出土石鏃

I区石鏃観察表

図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
73	010-135	凹基	黒色頁岩	2.4	1.5	0.5	1.1	なし	
74	表採	凹基	黒色安山岩	2.7	1.5	0.6	1.7	なし	
75	990-120	凹基	黒曜石	2.1	1.5	4.4	0.9	なし	
76	990-120	凹基	黒曜石	2.5	(1.6)	0.4	1.0	片脚部	
77	985-050	凹基	チャート	(1.9)	2.0	0.4	1.0	先端部	先端部欠損後折れ面上に再加工。
78	990-120	凹基	玉髄	(1.1)	1.4	0.5	0.8	先端部	
79	表採	凹基	黒色安山岩	2.0	1.7	0.4	1.1	なし	
80	表採	凹基	黒色安山岩	(1.6)	1.5	0.3	0.7	両脚部	
81	表採	凹基	黒色安山岩	(1.7)	2.6	0.4	1.4	上半部	先端側欠損後に折れ面から一部再加工。
82	表採	平基	黒色頁岩	1.9	1.7	0.4	0.9	なし	
83	005-115	平基	黒曜石	2.4	1.6	0.7	1.6	なし	
84	990-035	凸基	黒色安山岩	2.4	(2.2)	0.5	2.6	基部一端	
85	表採	凸基	黒色安山岩	2.9	1.8	0.7	2.2	なし	
86	表採	破片	チャート	(2.2)	1.3	0.7	1.4	下半部	



第233図 I区出土石核

I区石核観察表

図版番号	出土位置	石材	高さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
87	990-115	黒色頁岩	9.4	7.7	3.6	309.0	-	求心状。
88	000-125	黒曜石	1.3	1.3	0.9	1.3	-	単設打面。
89	表採	黒曜石	1.6	1.5	0.9	2.1	-	単設打面 (自然面打面)。
90	表採	黒曜石	2.1	3.2	1.7	6.7	-	求心状 (自然面打面)。
91	表採	黒曜石	2.0	3.1	1.3	6.9	-	多打面。
92	表採	黒曜石	5.2	2.3	1.7	1.5	-	多打面。

第4章 出土遺物

II区台石観察表

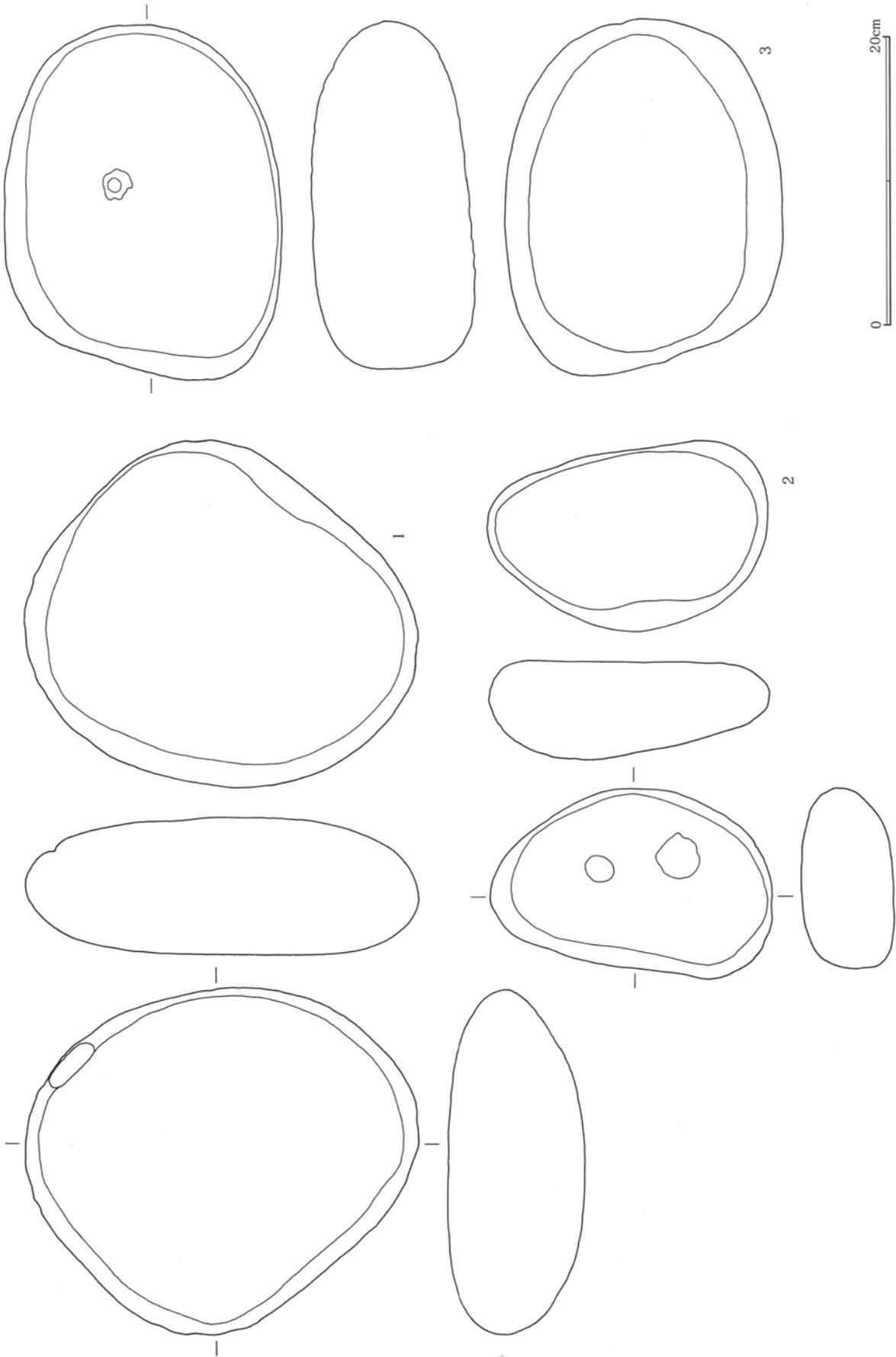
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1	J-2	粗粒輝石安山岩	27.2	23.8	9.6	8639.0	なし	一部摩滅あり。
2	J-2	粗粒輝石安山岩	19.5	13.2	6.8	2452.0	なし	一部摩滅あり。
3	J-2	粗粒輝石安山岩	19.2	24.0	11.4	7459.0	なし	敲打痕あり。
4	J-2	粗粒輝石安山岩	16.7	17.1	5.6	2362.0	なし	一部摩滅あり。
5	J-32	粗粒輝石安山岩	16.4	14.2	3.7	1111.0	なし	一部摩滅あり。
6	J-32	粗粒輝石安山岩	24.4	14.0	4.7	2543.0	なし	一部摩滅あり。
7	J-75	粗粒輝石安山岩	21.4	23.8	9.6	6383.0	なし	一部摩滅あり。
8	915-980	粗粒輝石安山岩	15.0	13.2	6.4	1541.0	なし	一部摩滅あり。

II区石皿観察表

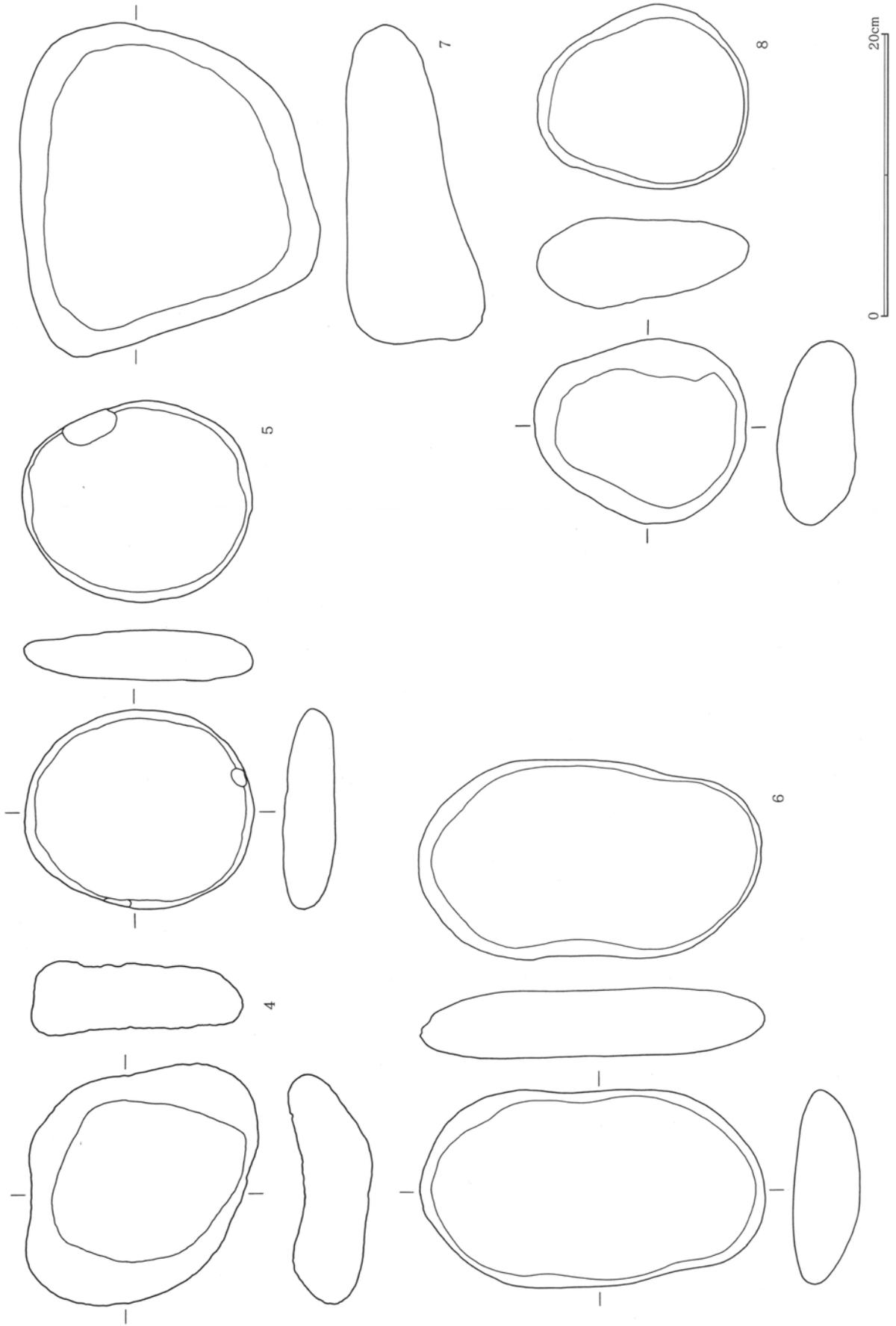
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
9	J-68, 炉	粗粒輝石安山岩	(16.6)	(9.3)	(11.8)	1708.0	あり	
10	925-005	粗粒輝石安山岩	(9.0)	(11.0)	4.6	453.0	あり	
11	J-75	粗粒輝石安山岩	(5.5)	7.2	2.5	76.0	あり	
12	表採	粗粒輝石安山岩	(11.1)	(6.8)	11.1	1029.0	あり	
13	表採	粗粒輝石安山岩	(6.0)	(6.4)	3.9	84.0	あり	
14	930-980	粗粒輝石安山岩	(11.1)	(9.0)	4.3	366.0	あり	
15	表採	粗粒輝石安山岩	(8.2)	(5.8)	4.8	175.0	あり	
16	表採	粗粒輝石安山岩	(16.1)	(7.0)	5.5	508.0	あり	
17	925-990	粗粒輝石安山岩	(11.4)	(10.0)	4.3	526.0	あり	

II区石皿・多孔石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
18	J-2	粗粒輝石安山岩	(11.3)	(10.5)	8.7	1300.0	あり	
19	J-2	粗粒輝石安山岩	(21.5)	(11.8)	5.4	1397.0	あり	
20	J-14	粗粒輝石安山岩	(13.5)	(9.1)	5.8	1018.0	あり	
21	J-7	粗粒輝石安山岩	(7.3)	(4.9)	8.6	364.0	あり	
22	J-68	粗粒輝石安山岩	25.9	16.5	6.2	3225.0	なし	
23	J-68, 炉	粗粒輝石安山岩	(20.2)	(12.9)	5.7	1628.0	あり	
24	J-72	粗粒輝石安山岩	(11.7)	(10.4)	7.2	614.0	あり	
25	J-91	粗粒輝石安山岩	(14.6)	(8.5)	4.9	599.0	あり	
26	J-75	粗粒輝石安山岩	(14.4)	(15.5)	4.6	1294.0	あり	
27	935-010	粗粒輝石安山岩	(8.8)	(13.8)	7.4	1033.0	あり	
28	表採	粗粒輝石安山岩	(4.3)	(4.9)	1.7	26.0	あり	
29	925-965	粗粒輝石安山岩	(5.4)	(5.1)	2.2	54.0	あり	
30	925-990	粗粒輝石安山岩	(14.7)	(10.8)	6.0	879.0	あり	
31	J-75	粗粒輝石安山岩	(16.4)	(12.8)	6.0	1208.0	あり	
32	935-020	粗粒輝石安山岩	(6.5)	(6.4)	3.9	215.0	あり	
33	960-000	粗粒輝石安山岩	(14.9)	(13.4)	8.0	1269.0	あり	
34	930-985	粗粒輝石安山岩	(5.8)	(9.5)	4.7	229.0	あり	



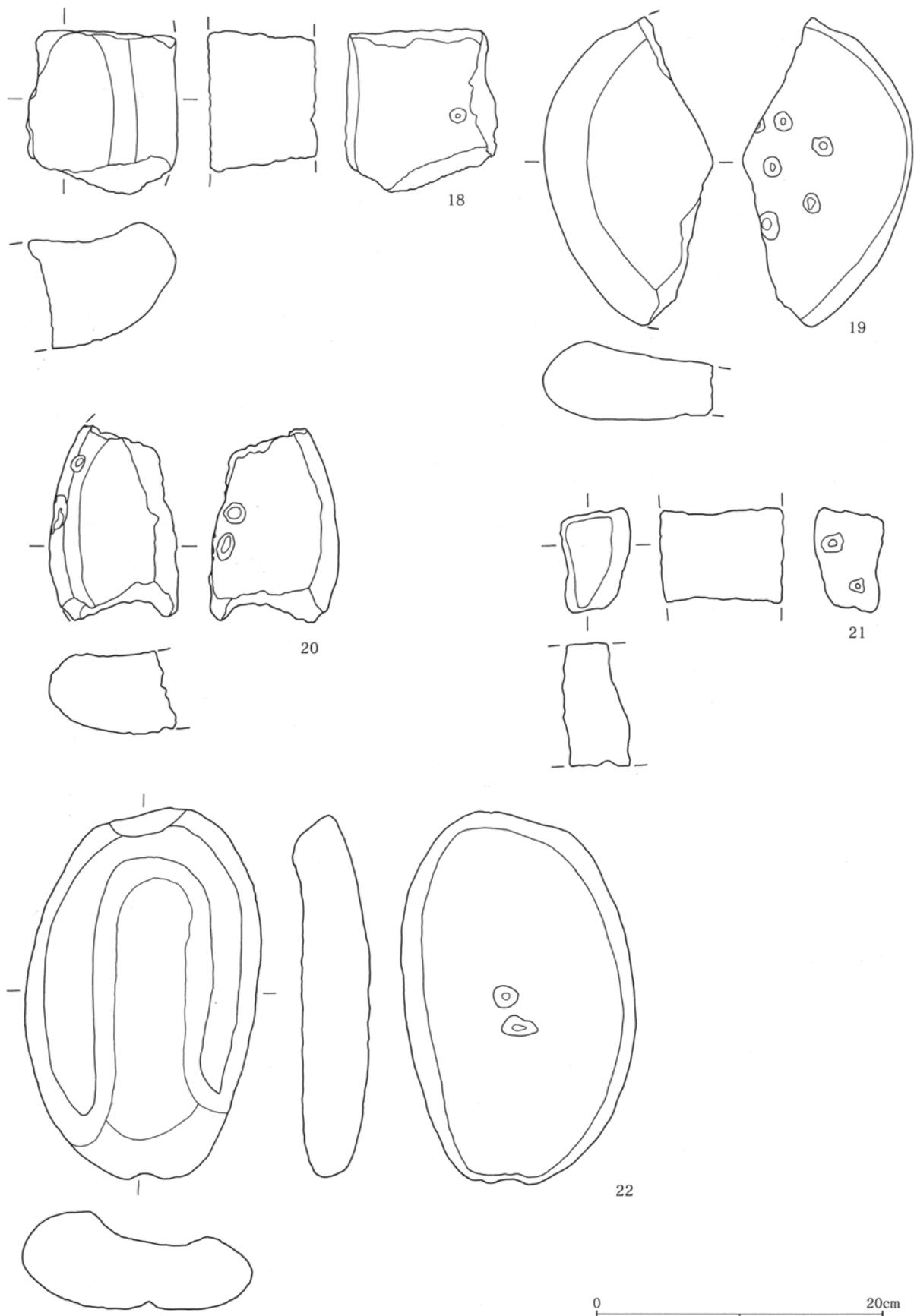
第234圖 II区出土台石（1）



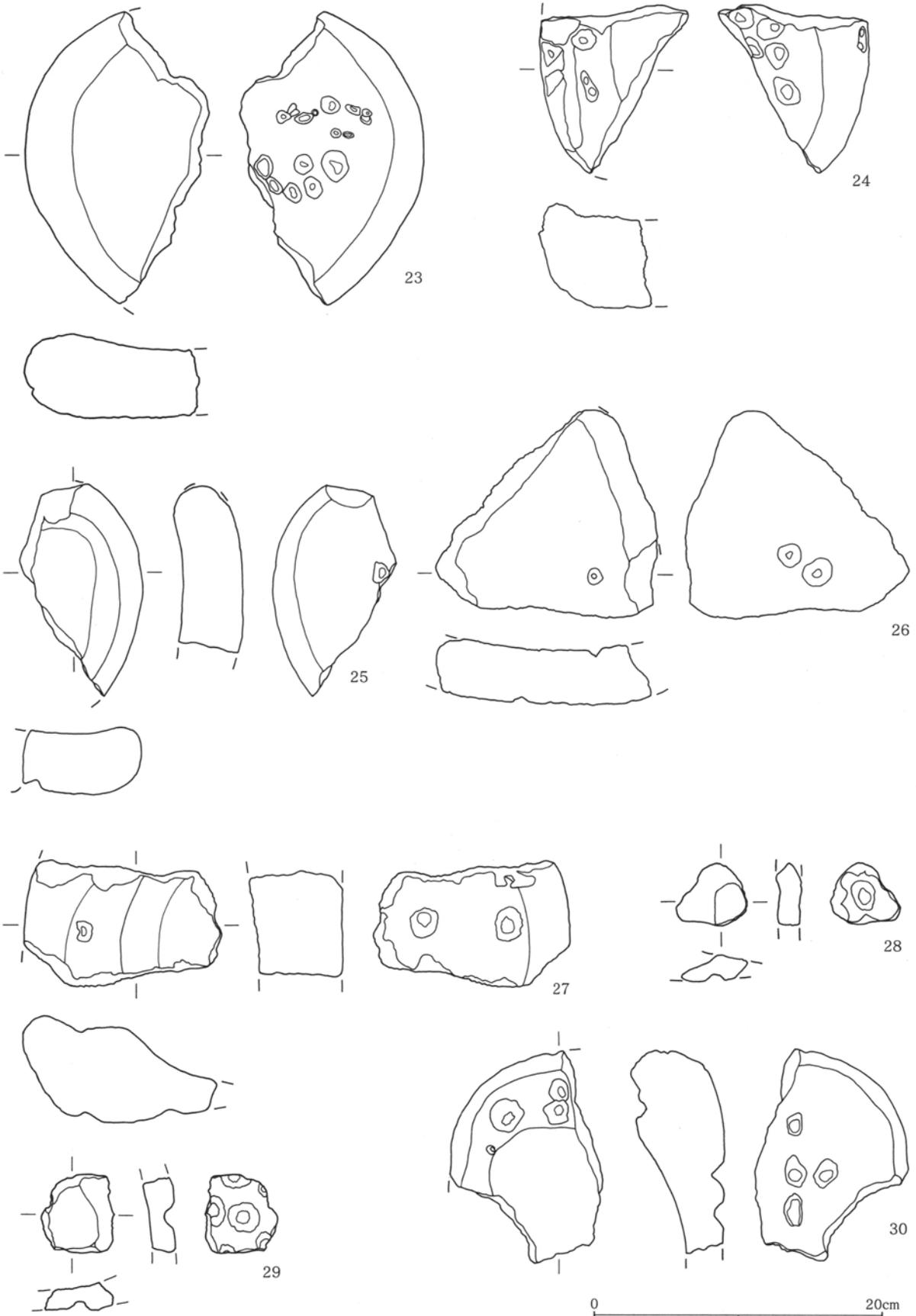
第235圖 II区出土台石(2)



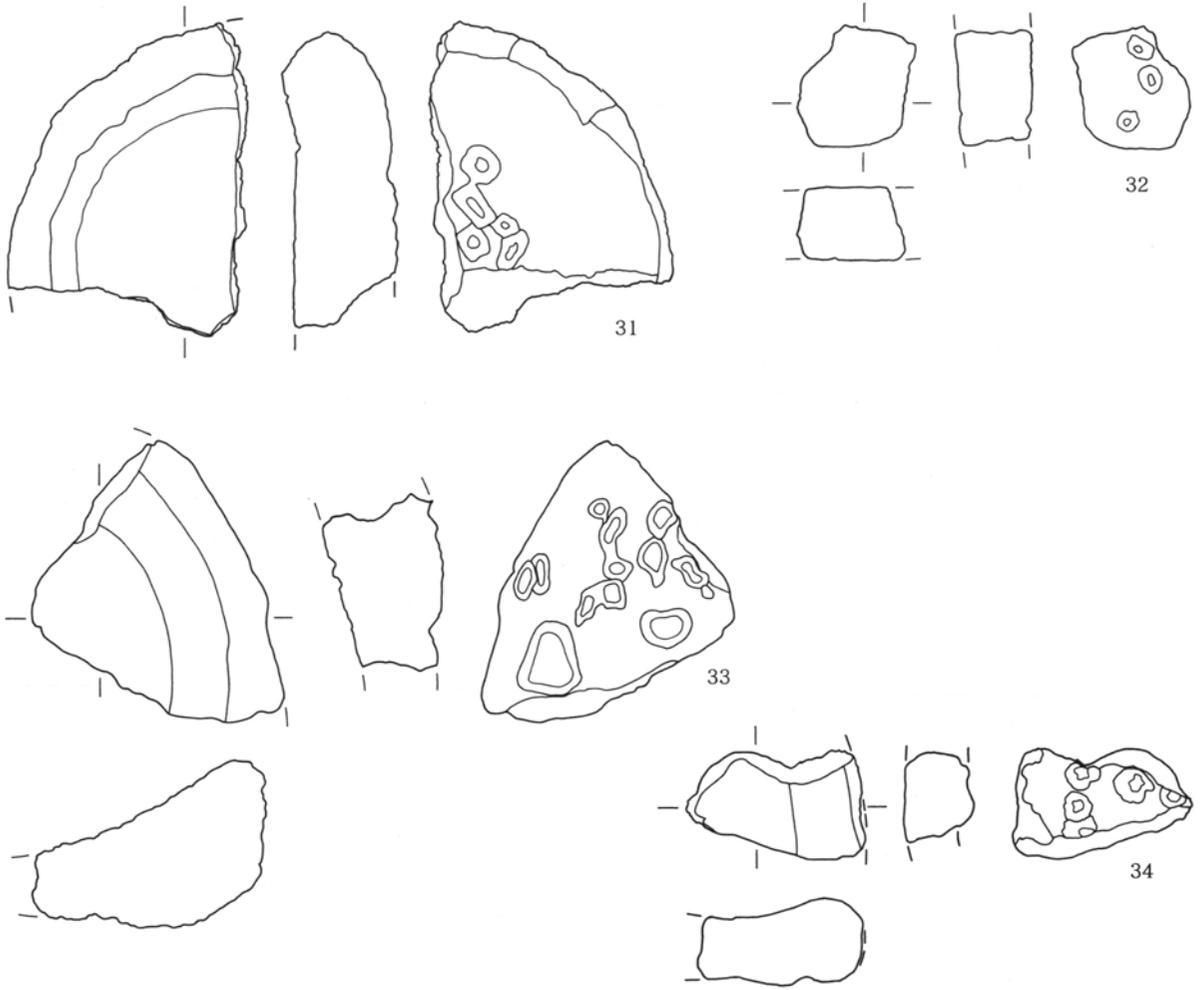
第236圖 II区出土石皿



第237图 II区出土石皿·多孔石(1)



第238图 II区出土石皿·多孔石(2)



第239图 II区出土石皿·多孔石(3)

II区多孔石観察表

図版 番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
35	J-1	粗粒輝石安山岩	(14.4)	15.1	11.9	2335.0	あり	
36	J-2	粗粒輝石安山岩	(18.4)	(19.4)	7.5	2224.0	あり	
37	J-2, 炉	粗粒輝石安山岩	(10.7)	17.2	(12.5)	2826.0	あり	
38	J-2	粗粒輝石安山岩	(22.2)	(10.1)	(10.3)	1927.0	あり	
39	J-9	粗粒輝石安山岩	17.5	11.5	8.7	1549.0	なし	
40	J-7	粗粒輝石安山岩	(9.5)	(7.3)	(5.0)	334.0	あり	
41	J-32	粗粒輝石安山岩	(12.1)	13.6	(8.6)	1365.0	あり	
42	J-10	粗粒輝石安山岩	11.5	18.1	7.9	1472.0	なし	
43	J-21	粗粒輝石安山岩	(14.0)	(19.1)	9.9	3105.0	あり	
44	J-67	粗粒輝石安山岩	22.2	(15.6)	9.5	3027.0	あり	
45	J-67	粗粒輝石安山岩	14.5	(11.0)	9.3	1991.0	あり	
46	J-67, 炉	粗粒輝石安山岩	(21.8)	(27.3)	18.5	10320.0	あり	
47	J-68	粗粒輝石安山岩	17.5	12.1	9.5	2393.0	なし	
48	J-68	粗粒輝石安山岩	(6.0)	(6.3)	5.8	119.0	あり	
49	J-68	粗粒輝石安山岩	(14.2)	20.1	9.2	4046.0	あり	
50	J-72	粗粒輝石安山岩	18.2	15.5	12.0	3647.0	なし	
51	J-72	粗粒輝石安山岩	23.5	19.7	8.7	4670.0	なし	
52	J-72	粗粒輝石安山岩	14.7	16.5	3.3	1258.0	なし	
53	J-74	粗粒輝石安山岩	(27.2)	(19.0)	10.6	8008.0	あり	
54	J-73	粗粒輝石安山岩	25.9	(12.9)	11.4	4531.0	あり	
55	J-75	粗粒輝石安山岩	(21.8)	(17.0)	(14.5)	3549.0	あり	
56	J-75, 炉	粗粒輝石安山岩	(17.6)	(10.7)	(8.6)	1231.0	あり	
57	J-75	粗粒輝石安山岩	(22.6)	22.0	(15.5)	10391.0	あり	
58	J-85	粗粒輝石安山岩	14.1	10.0	6.7	1176.0	なし	
59	J-90	粗粒輝石安山岩	(15.2)	10.8	6.9	1187.0	あり	
60	J-92	粗粒輝石安山岩	(18.6)	16.7	10.0	3704.0	あり	
61	J-98	粗粒輝石安山岩	31.7	(19.9)	(17.7)	9408.0	あり	
62	J-98	粗粒輝石安山岩	(18.3)	(17.6)	(11.9)	4611.0	あり	
63	970-020	粗粒輝石安山岩	20.0	16.1	11.3	2949.0	なし	
64	930-000	粗粒輝石安山岩	(8.1)	(9.4)	(2.3)	169.0	あり	
65	940-990	粗粒輝石安山岩	(7.5)	(8.0)	7.0	503.0	あり	
66	表採	粗粒輝石安山岩	(8.7)	(7.9)	(5.8)	298.0	あり	
67	990-990	粗粒輝石安山岩	23.4	18.3	11.3	5302.0	なし	
68	表採	粗粒輝石安山岩	13.0	12.8	8.9	1513.0	なし	
69	935-000	粗粒輝石安山岩	(9.8)	(5.0)	(2.4)	145.0	あり	
70	表採	粗粒輝石安山岩	(8.2)	(11.3)	7.4	519.0	あり	
71	表採	粗粒輝石安山岩	(7.7)	(6.8)	(2.5)	131.0	あり	
72	表採	粗粒輝石安山岩	(4.6)	(4.3)	(2.3)	37.0	あり	
73	925-995	粗粒輝石安山岩	(8.6)	(9.6)	(3.7)	294.0	あり	
74	表採	粗粒輝石安山岩	(5.8)	(5.9)	(1.8)	56.0	あり	



第240图 II区出土多孔石(1)

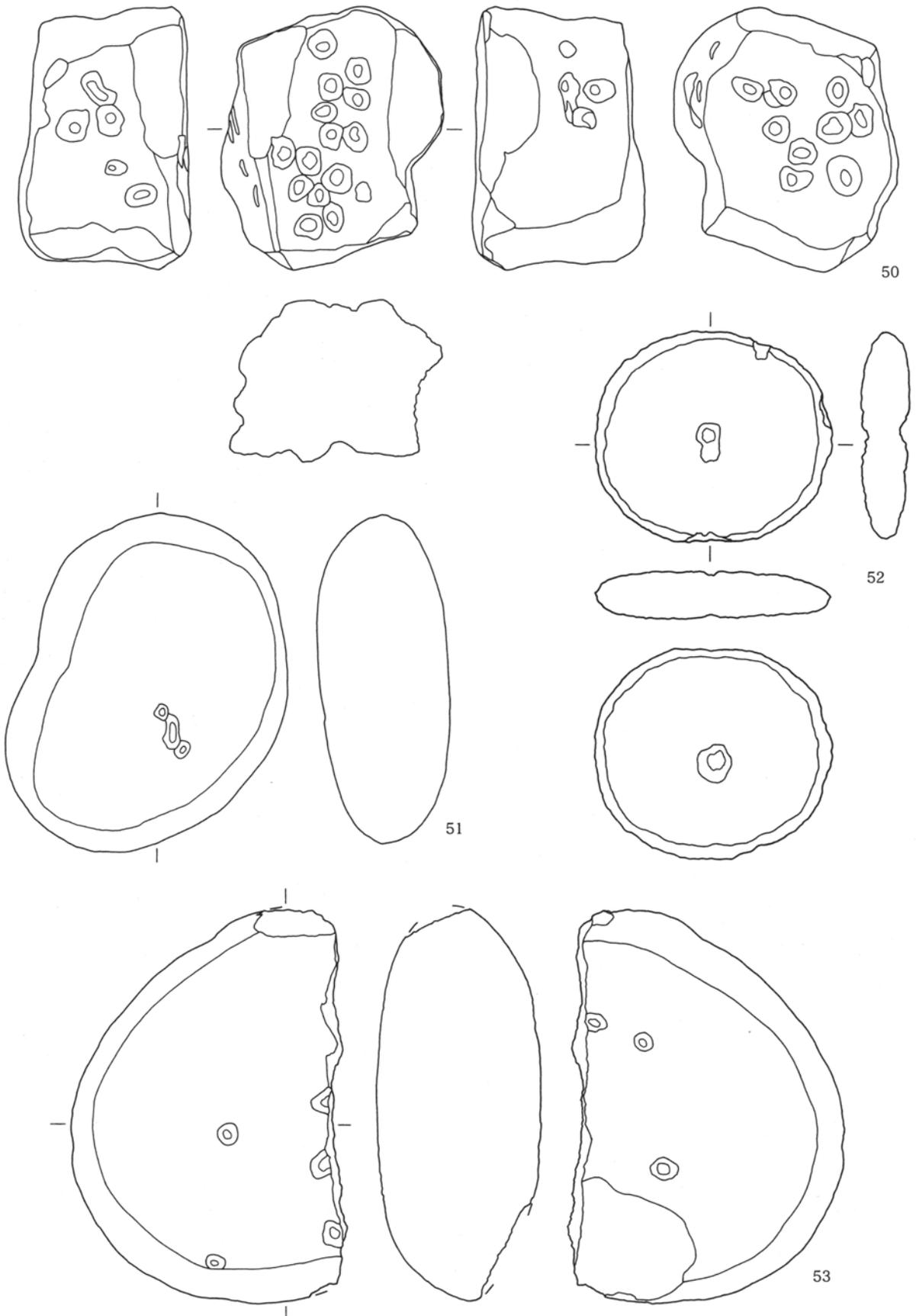


第241图 II区出土多孔石(2)

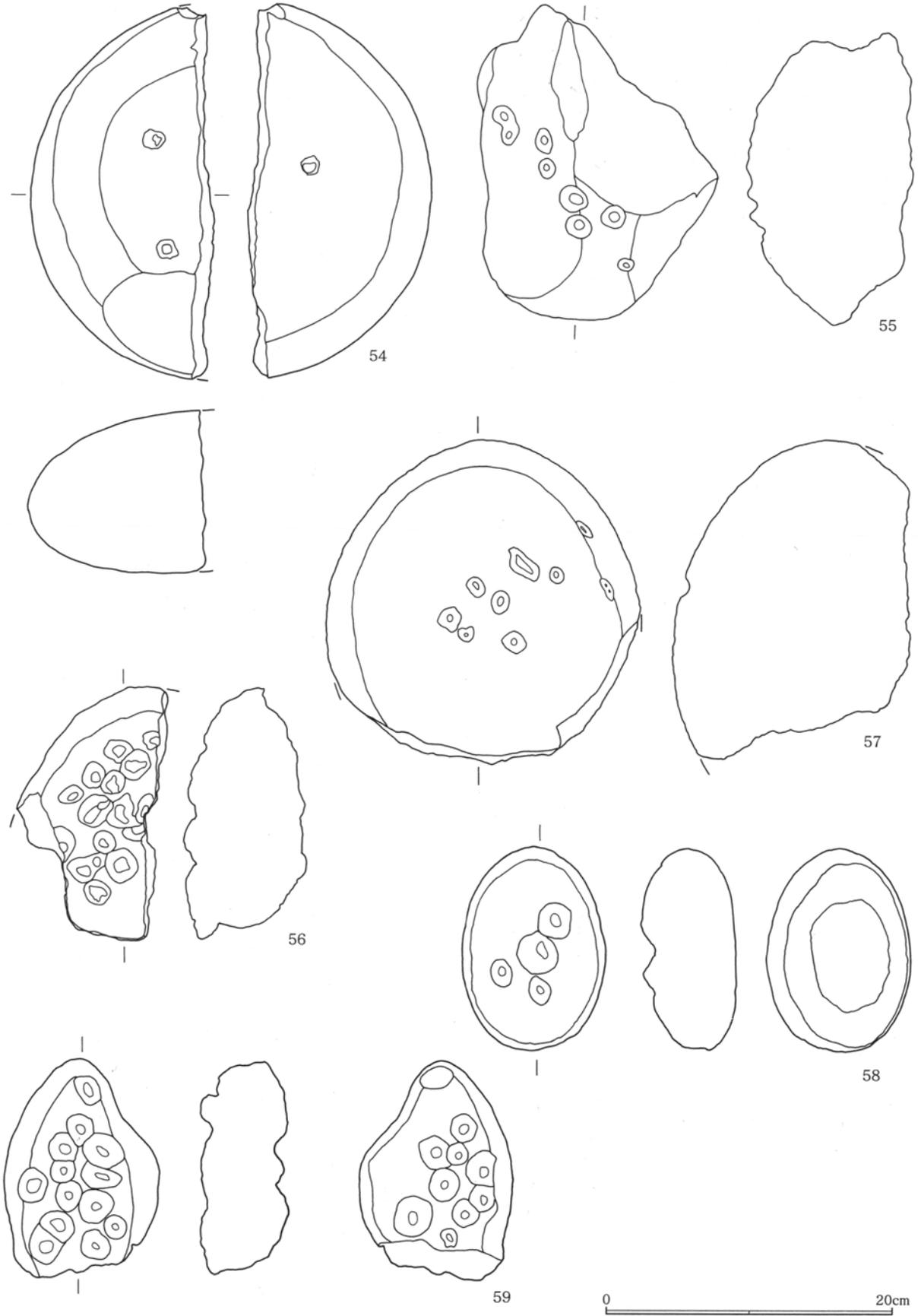


第242図 II区出土多孔石(3)

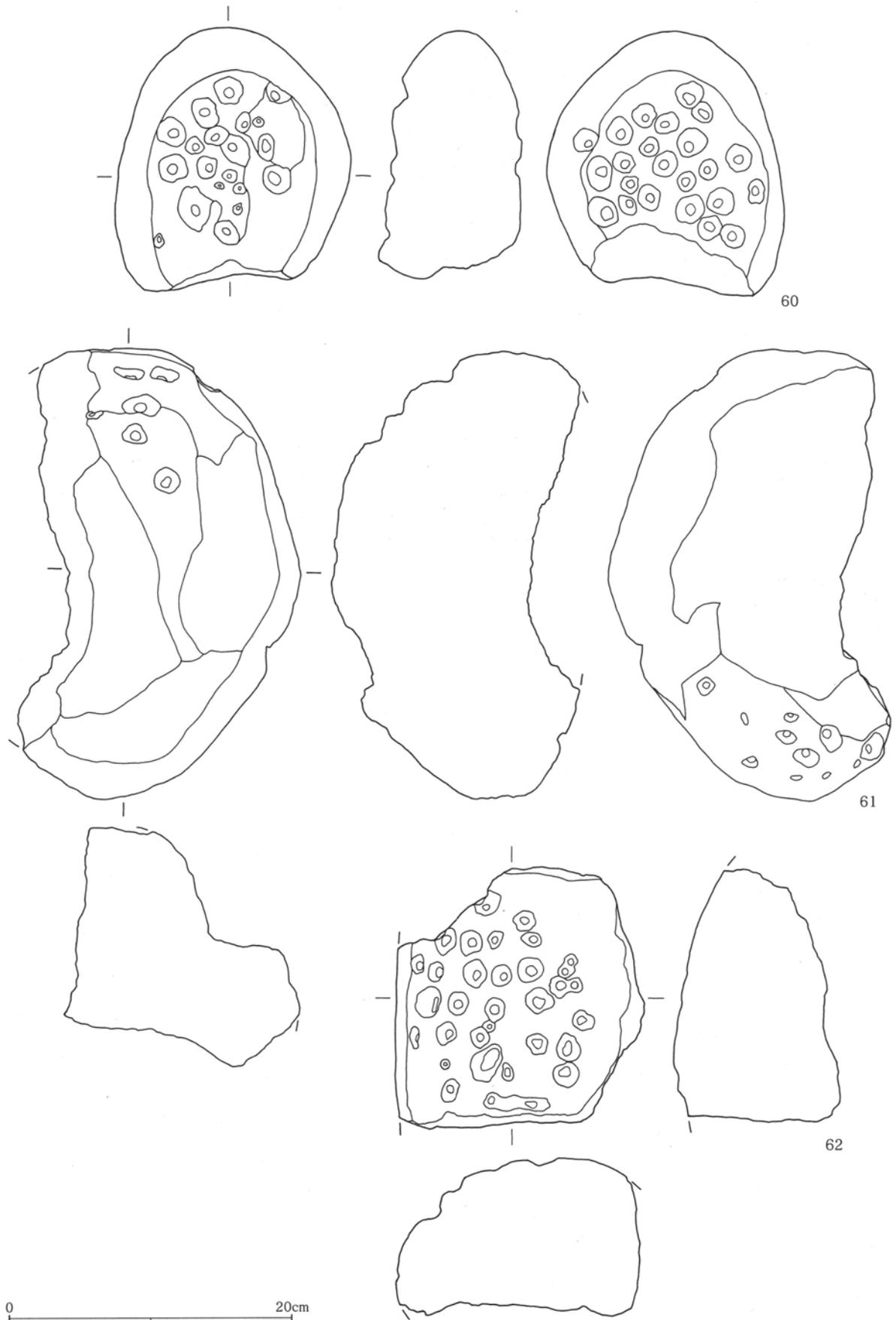
0 20cm



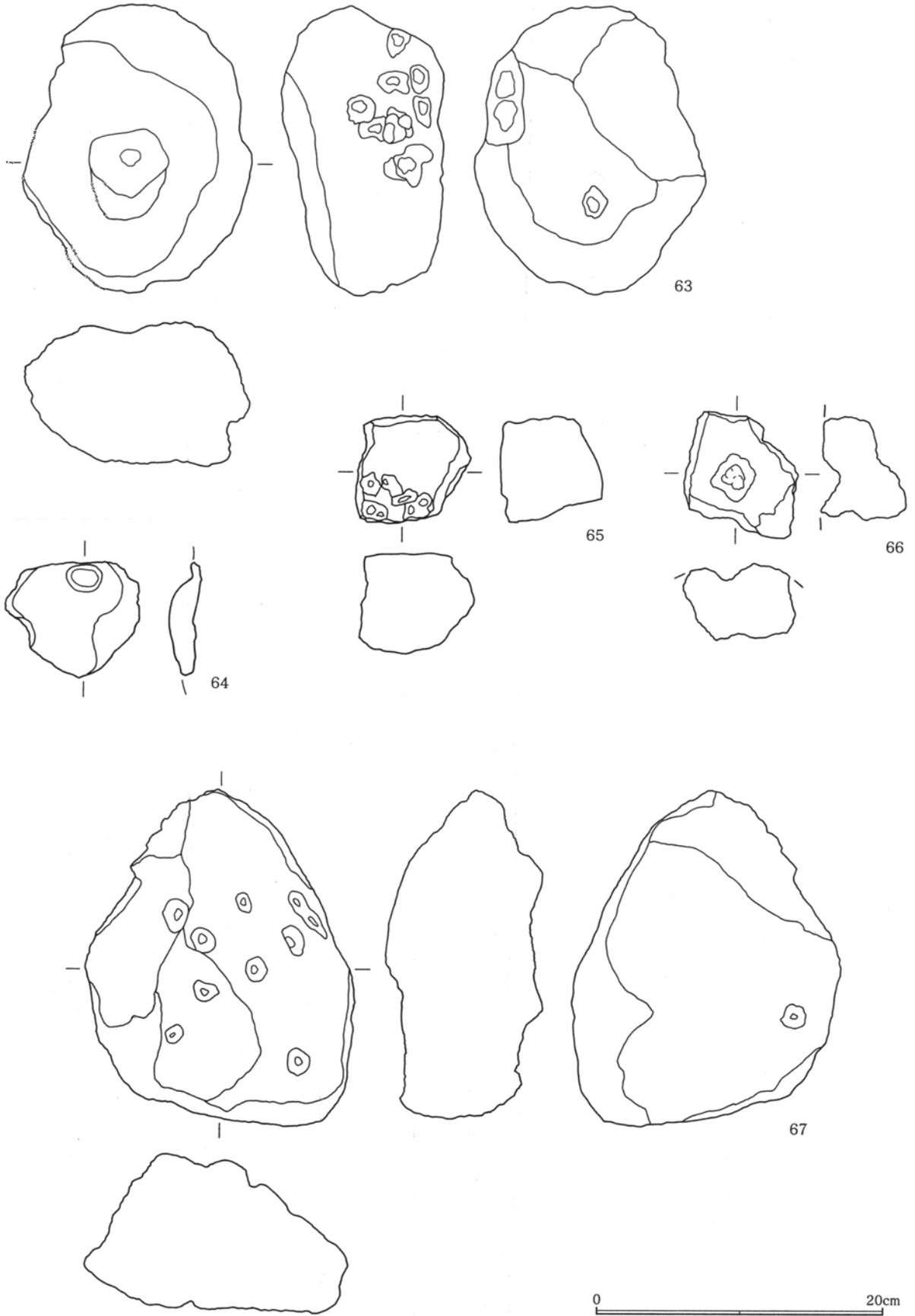
第243圖 II区出土多孔石(4) 0 20cm



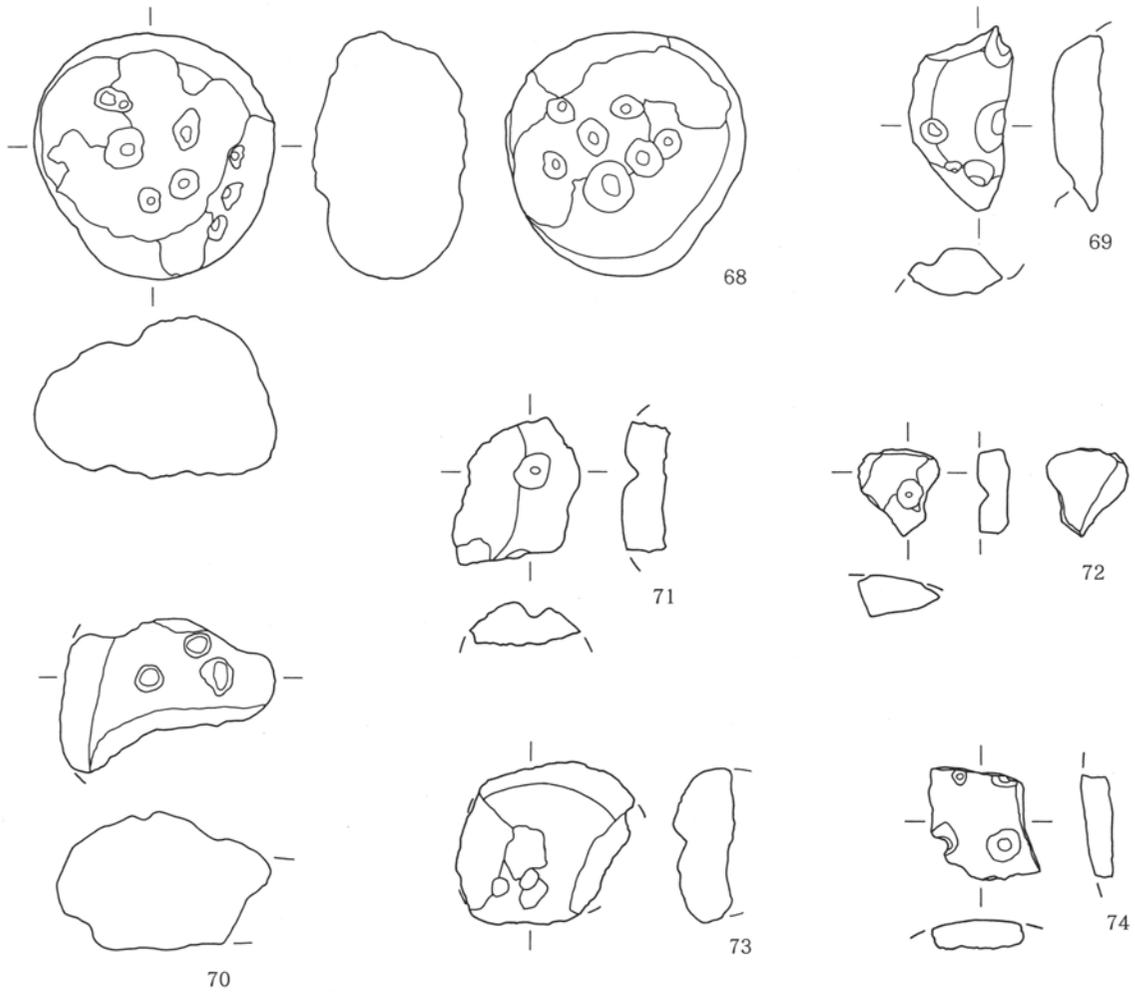
第244图 II区出土多孔石(5)



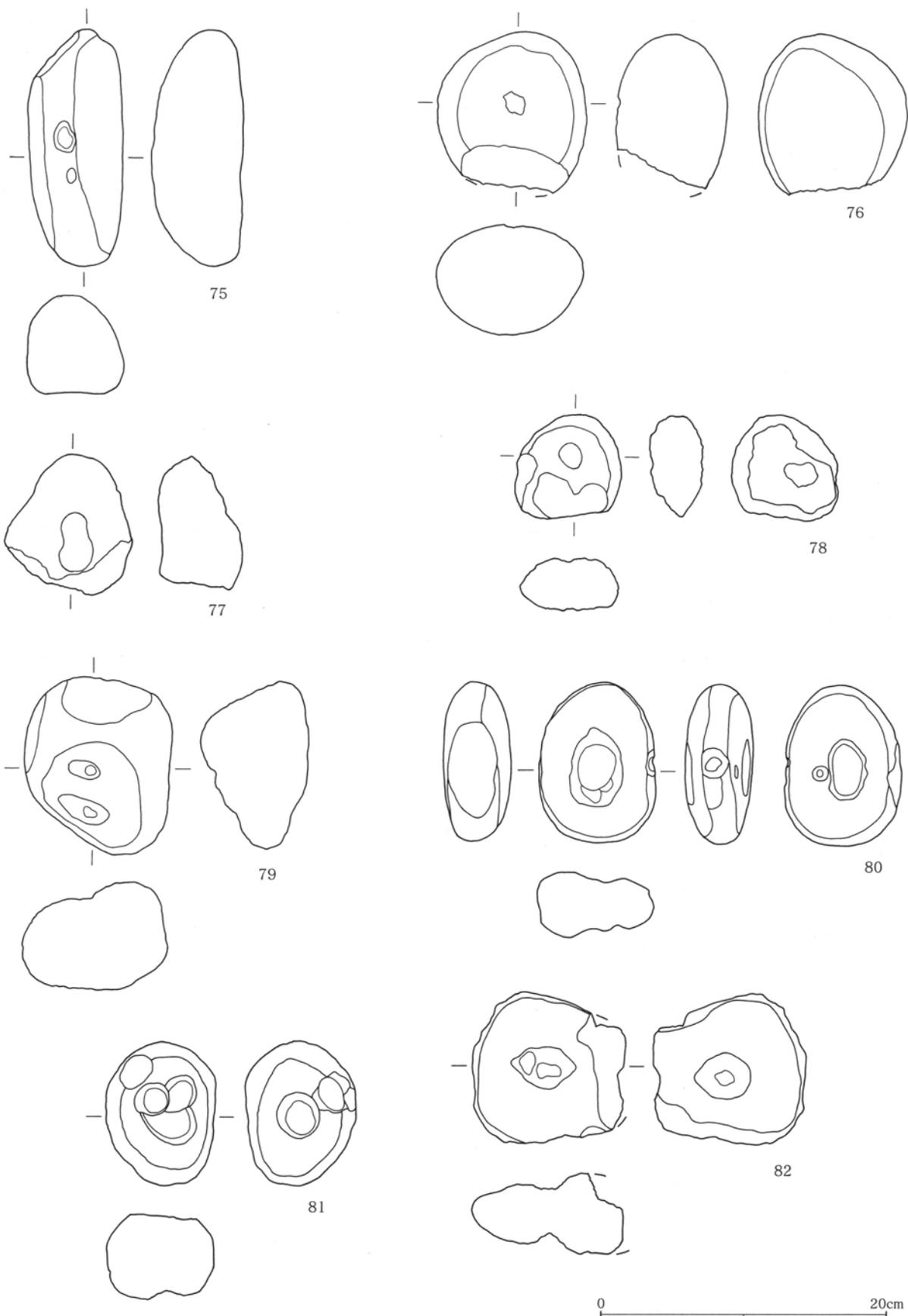
第245図 II区出土多孔石(6)



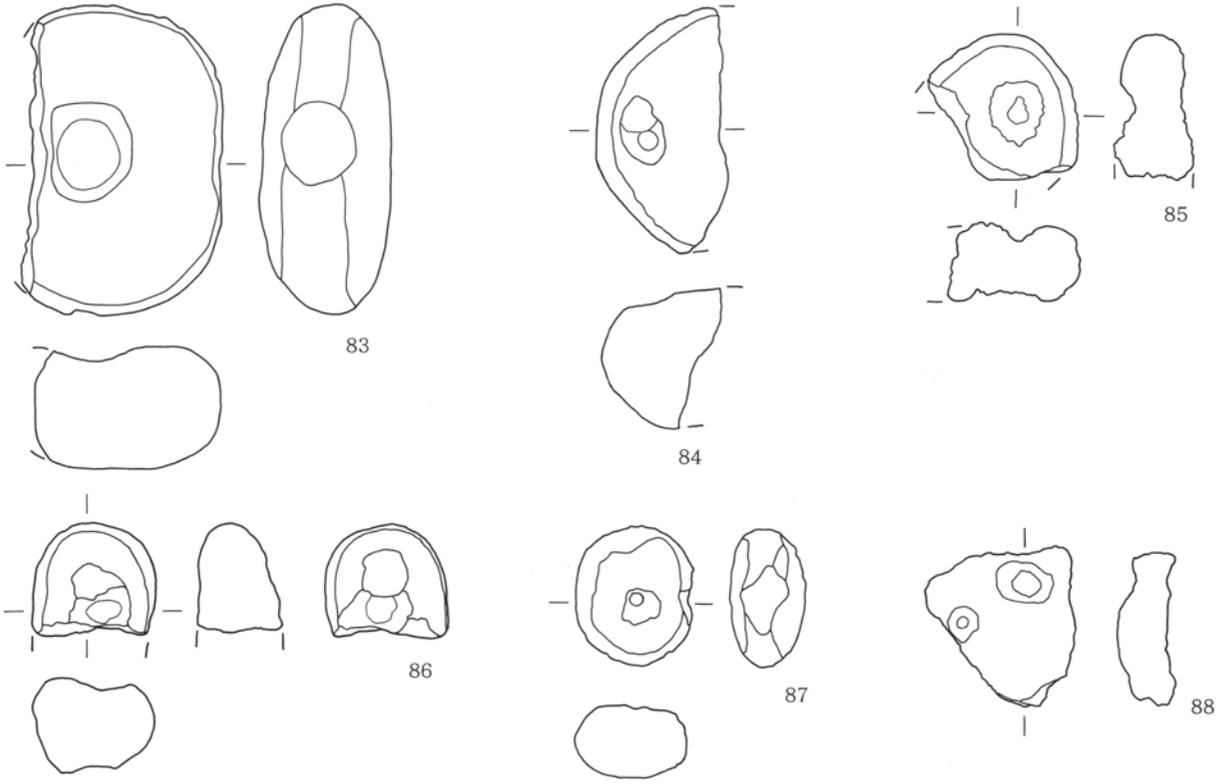
第246图 II区出土多孔石(7)



第247图 II区出土多孔石(8)



第248图 II区出土凹石(1)



0 20cm

第249圖 II区出土凹石(2)

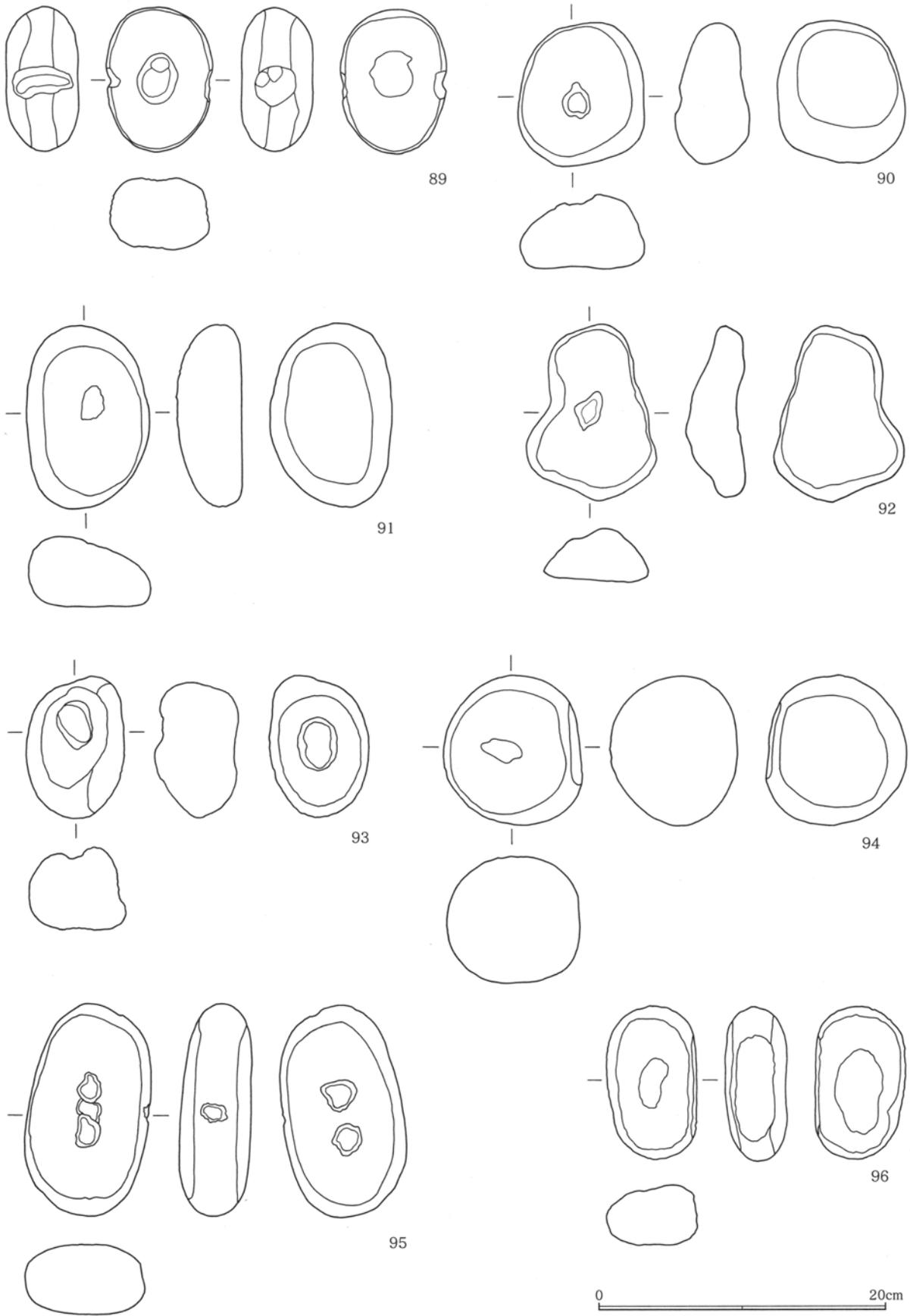
第4章 出土遺物

Ⅱ区凹石観察表

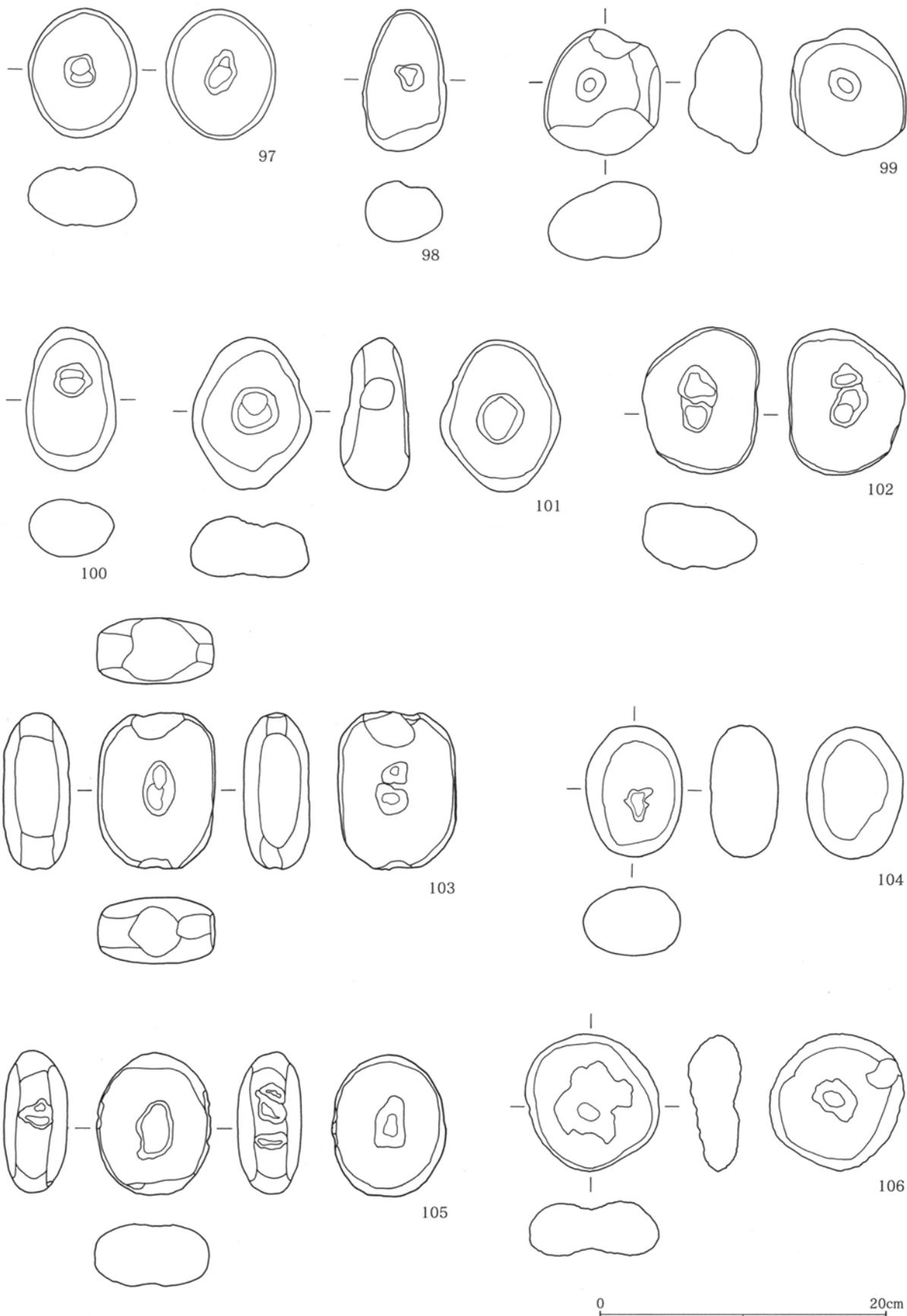
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
75	J-5	ひん岩	16.5	6.8	6.9	1140.0	なし	
76	J-68	粗粒輝石安山岩	(10.8)	10.9	7.8	1161.0	あり	
77	J-93	粗粒輝石安山岩	(9.8)	(9.1)	5.9	532.0	あり	
78	970-020	粗粒輝石安山岩	7.1	7.3	3.5	225.0	なし	
79	945-995	粗粒輝石安山岩	12.4	10.2	7.5	1219.0	なし	
80	930-995	粗粒輝石安山岩	11.2	8.2	4.8	500.0	なし	
81	表採	粗粒輝石安山岩	10.0	7.7	6.2	535.0	なし	
82	表採	粗粒輝石安山岩	10.5	(10.7)	5.3	544.0	あり	
83	表採	粗粒輝石安山岩	16.5	(10.6)	7.1	1618.0	あり	
84	920-000	粗粒輝石安山岩	13.0	(7.2)	(8.0)	504.0	あり	
85	920-995	粗粒輝石安山岩	(7.6)	(7.9)	4.2	239.0	あり	
86	930-970	粗粒輝石安山岩	(6.0)	6.6	5.1	225.0	あり	
87	925-980	粗粒輝石安山岩	7.4	6.3	4.1	151.0	なし	
88	970-970	粗粒輝石安山岩	(8.5)	(8.0)	3.8	206.0	あり	

Ⅱ区凹石・磨石観察表

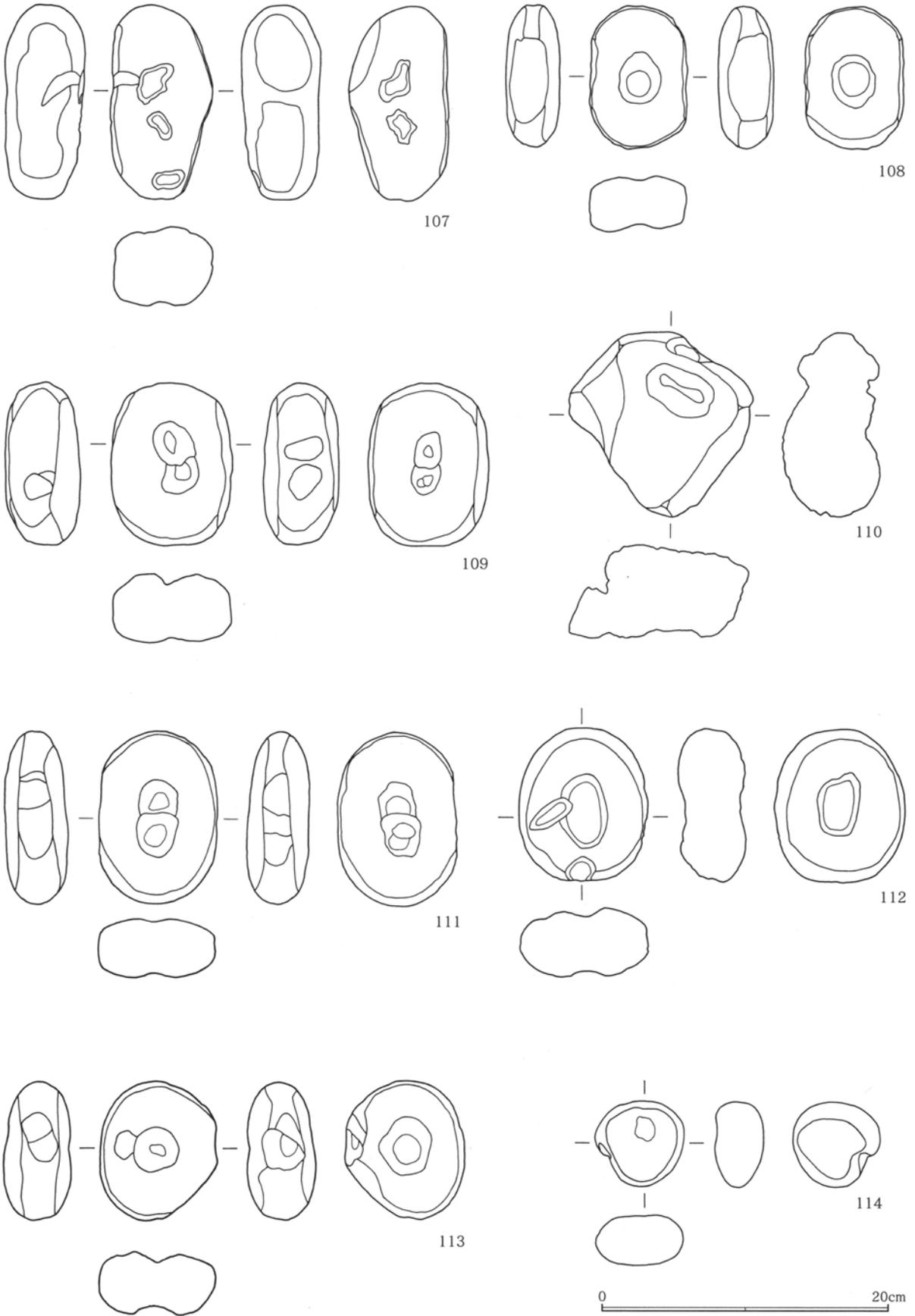
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
89	J-1	粗粒輝石安山岩	10.1	7.5	5.0	504.0	なし	
90	J-2	石英閃緑岩	12.9	8.6	5.0	816.0	なし	
91	J-2	粗粒輝石安山岩	10.0	8.8	5.2	607.0	なし	
92	J-8	粗粒輝石安山岩	12.3	8.6	4.2	483.0	なし	
93	J-16	粗粒輝石安山岩	9.9	7.0	5.9	482.0	なし	
94	J-45	粗粒輝石安山岩	9.8	10.5	8.8	1157.0	なし	
95	J-49	粗粒輝石安山岩	14.7	8.9	4.9	1001.0	なし	
96	J-65	粗粒輝石安山岩	10.7	6.3	4.2	448.0	なし	
97	J-66	粗粒輝石安山岩	9.0	7.6	4.1	386.0	なし	
98	950-010	粗粒輝石安山岩	9.9	6.0	4.2	329.0	なし	
99	930-985	粗粒輝石安山岩	(8.8)	8.0	5.6	446.0	あり	
100	表採	粗粒輝石安山岩	10.1	6.3	4.3	323.0	なし	
101	表採	粗粒輝石安山岩	10.6	8.3	4.8	408.0	なし	
102	930-015	粗粒輝石安山岩	10.2	8.1	4.7	408.0	なし	
103	950-990	粗粒輝石安山岩	10.8	8.2	4.6	585.0	なし	
104	930-980	粗粒輝石安山岩	9.2	6.8	4.8	456.0	なし	
105	970-020	粗粒輝石安山岩	9.9	8.0	4.3	491.0	なし	
106	980-010	粗粒輝石安山岩	9.5	9.2	3.8	372.0	なし	
107	表採	粗粒輝石安山岩	13.6	7.1	5.5	734.0	なし	
108	945-990	粗粒輝石安山岩	10.0	6.9	3.9	355.0	なし	
109	930-050	粗粒輝石安山岩	11.3	8.6	5.3	739.0	なし	
110	970-990	粗粒輝石安山岩	12.9	12.8	7.2	757.0	なし	
111	945-020	粗粒輝石安山岩	12.1	8.2	4.4	569.0	なし	
112	955-000	粗粒輝石安山岩	10.7	9.1	4.6	623.0	なし	
113	表採	粗粒輝石安山岩	9.7	8.3	4.9	399.0	なし	
114	表採	粗粒輝石安山岩	6.0	6.1	4.0	181.0	なし	
115	表採	粗粒輝石安山岩	8.2	8.1	4.7	343.0	なし	
116	915-985	粗粒輝石安山岩	9.4	7.2	4.0	273.0	なし	
117	915-975	粗粒輝石安山岩	(8.4)	8.1	4.1	420.0	あり	
118	表採	粗粒輝石安山岩	(8.1)	5.7	4.2	252.0	あり	
119	930-980	粗粒輝石安山岩	7.4	6.4	3.3	178.0	なし	
120	925-980	粗粒輝石安山岩	(5.6)	7.4	3.4	211.0	あり	
121	940-030	二ッ岳軽石	(5.4)	5.6	3.3	67.0	あり	
122	表採	粗粒輝石安山岩	(6.2)	8.0	3.6	200.0	あり	
123	表採	粗粒輝石安山岩	(8.9)	(7.2)	4.2	279.0	あり	



第250図 II区出土凹石・磨石(1)



第251図 II区出土凹石・磨石(2)



第252図 II区出土凹石・磨石 (3)



第253図 II区出土凹石・磨石(4)

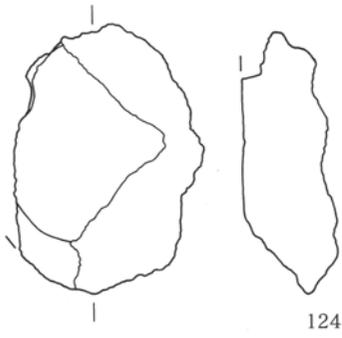
II区磨石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
124	J-1	粗粒輝石安山岩	(14.3)	(10.3)	(5.2)	813.0	あり	
125	J-1	粗粒輝石安山岩	7.2	2.8	2.1	63.0	なし	
126	J-2	粗粒輝石安山岩	(9.0)	6.4	4.4	372.0	あり	
127	J-2	粗粒輝石安山岩	(8.7)	(4.6)	4.3	220.0	あり	
128	J-2	粗粒輝石安山岩	10.1	7.8	4.3	596.0	なし	
129	J-2	粗粒輝石安山岩	17.3	9.7	5.2	1302.0	なし	
130	J-2	粗粒輝石安山岩	17.0	15.1	9.1	2961.0	なし	
131	J-2	粗粒輝石安山岩	19.2	14.0	7.7	3043.0	なし	
132	J-5	粗粒輝石安山岩	7.6	7.0	6.0	411.0	なし	
133	J-10	粗粒輝石安山岩	(16.2)	(11.9)	(5.1)	1105.0	あり	
134	J-7	粗粒輝石安山岩	(10.4)	(3.5)	(4.6)	205.0	あり	
135	J-17	粗粒輝石安山岩	(8.4)	(6.6)	(3.6)	282.0	あり	
136	J-19	粗粒輝石安山岩	7.8	6.1	1.8	104.0	なし	
137	J-32	粗粒輝石安山岩	14.3	9.4	4.8	977.0	なし	
138	J-51	粗粒輝石安山岩	9.8	8.9	3.3	437.0	なし	
139	J-54	粗粒輝石安山岩	(11.6)	(8.2)	(2.8)	215.0	あり	
140	J-56	二ッ岳軽石	4.0	4.8	2.5	27.0	なし	
141	J-65	粗粒輝石安山岩	12.0	8.1	5.0	602.0	なし	
142	J-64	粗粒輝石安山岩	(13.1)	(7.6)	9.7	1020.0	あり	
143	J-66	粗粒輝石安山岩	(5.3)	8.1	1.7	100.0	あり	
144	J-67	粗粒輝石安山岩	10.4	8.5	7.8	927.0	なし	
145	J-68	粗粒輝石安山岩	3.5	3.1	2.9	38.0	なし	
146	J-68	粗粒輝石安山岩	4.4	2.5	1.4	19.0	なし	
147	J-68	粗粒輝石安山岩	5.2	3.5	3.3	68.0	なし	
148	J-68	粗粒輝石安山岩	8.5	7.7	3.3	293.0	なし	
149	J-68	粗粒輝石安山岩	7.6	6.2	3.8	243.0	なし	
150	J-68	粗粒輝石安山岩	8.7	4.9	2.4	153.0	なし	
151	J-68	粗粒輝石安山岩	7.7	7.1	5.2	379.0	なし	
152	J-68	ホルンフェルス	(5.5)	4.8	(3.0)	112.0	あり	
153	J-74	粗粒輝石安山岩	13.1	10.2	3.9	830.0	なし	
154	J-74	粗粒輝石安山岩	8.5	8.2	7.2	612.0	なし	
155	J-74	粗粒輝石安山岩	7.1	5.1	2.9	161.0	なし	
156	J-75	粗粒輝石安山岩	(12.2)	(15.0)	(5.1)	1035.0	あり	
157	J-75	粗粒輝石安山岩	(8.0)	(6.2)	4.2	186.0	あり	
158	J-75	粗粒輝石安山岩	6.0	5.5	3.1	116.0	なし	
159	J-82	粗粒輝石安山岩	17.0	13.6	10.4	3310.0	なし	
160	J-75	粗粒輝石安山岩	(9.7)	6.6	3.6	334.0	あり	
161	J-75	粗粒輝石安山岩	8.8	6.5	3.3	275.0	なし	
162	J-81	粗粒輝石安山岩	4.9	4.0	2.7	79.0	なし	
163	J-91	粗粒輝石安山岩	5.0	3.8	3.5	85.0	なし	
164	J-91, 炉	ひん岩	12.5	6.6	3.8	509.0	なし	
165	J-91	粗粒輝石安山岩	9.8	6.0	4.2	257.0	なし	
166	J-98	粗粒輝石安山岩	(5.2)	7.3	3.0	157.0	あり	
167	J-92	粗粒輝石安山岩	8.8	6.4	5.3	395.0	なし	
168	J-98	粗粒輝石安山岩	14.3	9.0	4.5	909.0	なし	
169	J-98	粗粒輝石安山岩	(6.1)	5.0	4.5	139.0	あり	
170	J-98	粗粒輝石安山岩	7.6	6.3	2.6	198.0	なし	
171	945-010	粗粒輝石安山岩	3.7	3.5	3.2	58.0	なし	
172	945-995	粗粒輝石安山岩	3.7	3.2	2.3	40.0	なし	
173	945-995	粗粒輝石安山岩	14.8	9.9	4.5	1094.0	なし	
174	表採	溶結凝灰岩	14.4	5.1	6.1	708.0	なし	
175	960-010	粗粒輝石安山岩	9.1	5.4	3.6	264.0	なし	
176	945-000	変質安山岩	9.8	5.4	1.9	196.0	なし	
177	表採	変玄武岩	8.6	5.4	1.2	77.0	なし	
178	990-990	粗粒輝石安山岩	11.8	6.0	4.3	394.0	なし	
179	960-045	粗粒輝石安山岩	7.4	7.2	3.3	244.0	なし	
180	930-990	粗粒輝石安山岩	4.4	4.3	3.7	91.0	なし	
181	表採	黒色頁岩	4.9	3.3	0.7	21.0	なし	
182	表採	粗粒輝石安山岩	(7.5)	8.8	3.1	186.0	あり	

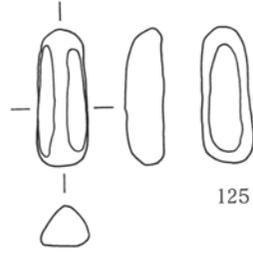
第4章 出土遺物

II区磨石観察表

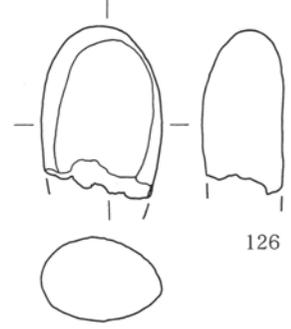
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
183	表採	粗粒輝石安山岩	(6.7)	6.2	4.9	264.0	あり	
184	表採	粗粒輝石安山岩	(6.2)	9.4	4.8	315.0	あり	
185	960-005	粗粒輝石安山岩	7.0	5.1	4.4	236.0	なし	
186	表採	粗粒輝石安山岩	8.4	5.9	3.4	235.0	なし	
187	970-980	粗粒輝石安山岩	7.9	5.1	2.3	150.0	なし	
188	955-010	粗粒輝石安山岩	3.8	3.6	3.0	54.0	なし	
189	935-995	粗粒輝石安山岩	5.0	4.2	2.1	53.0	なし	
190	975-970	粗粒輝石安山岩	5.8	4.8	1.4	68.0	なし	
191	930-895	粗粒輝石安山岩	5.1	4.2	3.6	89.0	なし	
192	965-025	輝緑岩	13.3	6.7	3.9	563.0	なし	
193	965-995	粗粒輝石安山岩	10.2	6.0	5.4	408.0	なし	
194	920-980	粗粒輝石安山岩	(10.0)	7.0	3.8	352.0	あり	
195	935-995	粗粒輝石安山岩	9.1	7.3	5.3	456.0	なし	
196	表採	粗粒輝石安山岩	(13.9)	4.9	2.5	229.0	あり	
197	915-985	粗粒輝石安山岩	(15.0)	6.8	6.4	985.0	あり	
198	表採	粗粒輝石安山岩	13.5	7.6	5.0	576.0	なし	
199	表採	粗粒輝石安山岩	13.3	10.3	3.9	717.0	なし	
200	950-030	粗粒輝石安山岩	11.0	8.0	3.2	414.0	なし	
201	表採	粗粒輝石安山岩	9.8	7.6	3.8	428.0	なし	
202	表採	粗粒輝石安山岩	9.7	7.3	4.1	380.0	なし	
203	表採	粗粒輝石安山岩	7.8	6.5	6.0	357.0	なし	
204	表採	粗粒輝石安山岩	9.0	5.8	3.4	236.0	なし	
205	表採	粗粒輝石安山岩	8.5	7.2	5.6	455.0	なし	
206	945-020	粗粒輝石安山岩	9.9	7.9	4.0	538.0	なし	
207	990-000	粗粒輝石安山岩	7.7	7.4	6.1	381.0	なし	
208	945-995	粗粒輝石安山岩	8.0	7.5	3.8	291.0	なし	
209	表採	粗粒輝石安山岩	8.8	7.2	3.3	266.0	なし	
210	表採	粗粒輝石安山岩	8.2	7.2	5.0	383.0	なし	
211	925-005	粗粒輝石安山岩	7.6	6.2	4.6	294.0	なし	
212	表採	粗粒輝石安山岩	7.7	5.4	4.8	256.0	なし	
213	920-990	粗粒輝石安山岩	10.3	4.4	3.5	235.0	なし	
214	950-015	粗粒輝石安山岩	4.5	4.2	2.5	69.0	なし	
215	935-990	粗粒輝石安山岩	(9.4)	(11.0)	(6.3)	710.0	あり	
216	965-985	粗粒輝石安山岩	(11.0)	(3.9)	(4.4)	267.0	あり	
217	950-010	粗粒輝石安山岩	(7.7)	8.4	5.1	333.0	あり	
218	975-970	粗粒輝石安山岩	(6.6)	8.8	3.8	327.0	あり	
219	940-000	緑色片岩	(22.5)	11.5	(12.0)	3885.0	あり	
220	965-985	粗粒輝石安山岩	(6.5)	(3.3)	3.7	95.0	あり	
221	930-895	粗粒輝石安山岩	(3.5)	(3.2)	(4.0)	67.0	あり	
222	表採	角閃石安山岩	(5.2)	5.4	3.8	119.0	あり	
223	955-020	粗粒輝石安山岩	(5.8)	7.2	3.8	224.0	あり	
224	970-970	ひん岩	(8.2)	8.3	4.9	454.0	あり	
225	表採	粗粒輝石安山岩	(8.5)	(5.3)	(7.1)	345.0	あり	
226	表採	角閃石安山岩	(5.3)	3.8	1.5	37.0	あり	
227	表採	粗粒輝石安山岩	(7.6)	(6.0)	(4.2)	188.0	あり	
228	955-025	粗粒輝石安山岩	(4.0)	(7.2)	(1.9)	76.0	あり	
229	935-995	粗粒輝石安山岩	(5.2)	6.6	2.1	69.0	あり	
230	935-990	粗粒輝石安山岩	(5.2)	(7.5)	(2.8)	147.0	あり	
231	965-970	ホルンフェルス	(5.6)	3.0	(1.6)	40.0	あり	
232	表採	粗粒輝石安山岩	(9.2)	(11.2)	5.2	681.0	あり	
233	表採	粗粒輝石安山岩	(7.1)	(5.5)	4.5	235.0	あり	
234	935-000	粗粒輝石安山岩	(5.8)	4.5	2.2	79.0	あり	
235	表採	粗粒輝石安山岩	(10.4)	(10.7)	(6.7)	671.0	あり	
236	表採	粗粒輝石安山岩	(8.0)	(5.4)	6.0	243.0	あり	
237	表採	粗粒輝石安山岩	(7.6)	11.8	5.1	605.0	あり	
238	945-015	粗粒輝石安山岩	(9.9)	9.6	4.0	508.0	あり	
239	表採	粗粒輝石安山岩	(9.0)	7.4	4.8	405.0	あり	
240	表採	粗粒輝石安山岩	(4.5)	(6.3)	4.9	203.0	あり	
241	955-010	砂岩	(5.0)	(6.9)	1.9	84.0	あり	



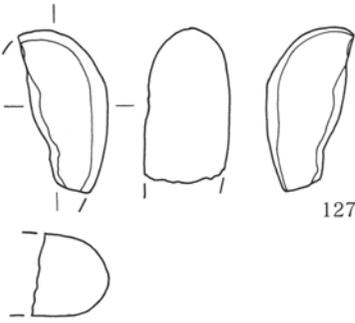
124



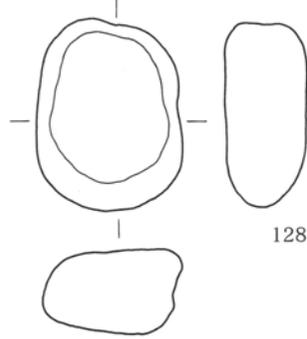
125



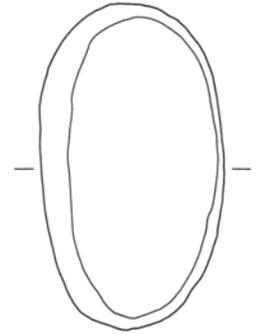
126



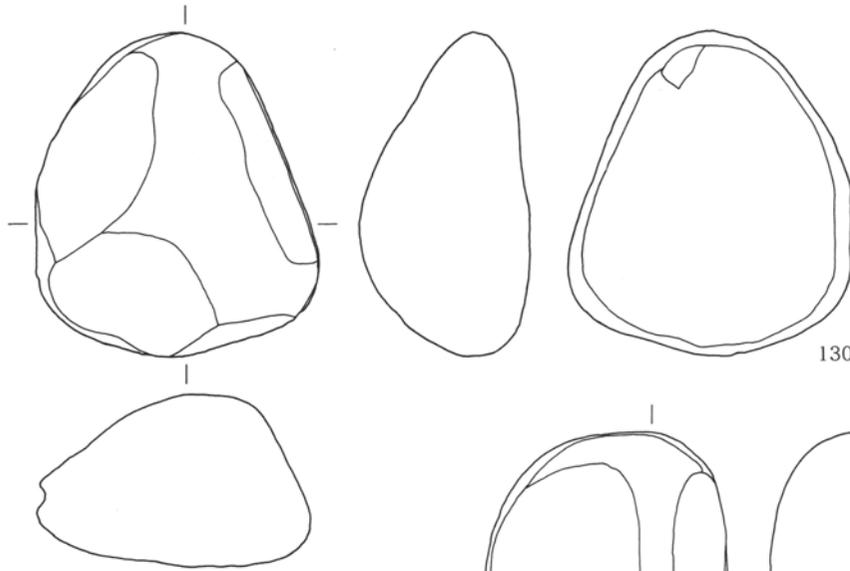
127



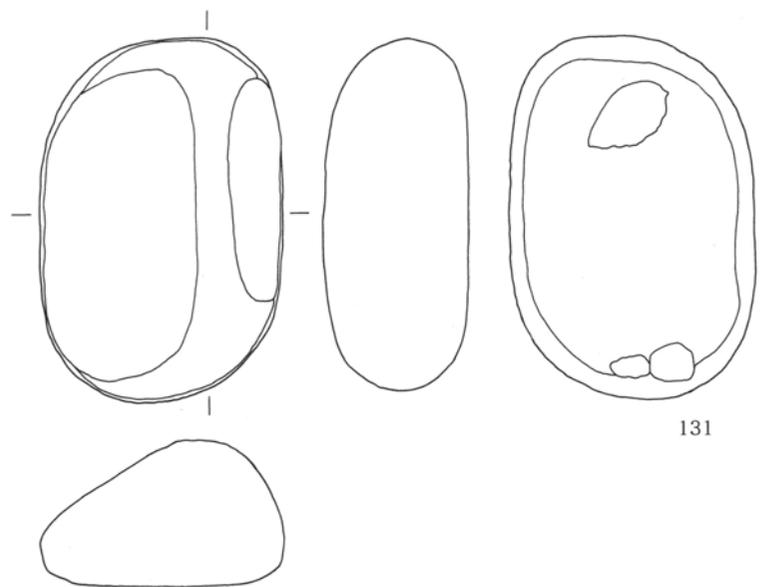
128



129



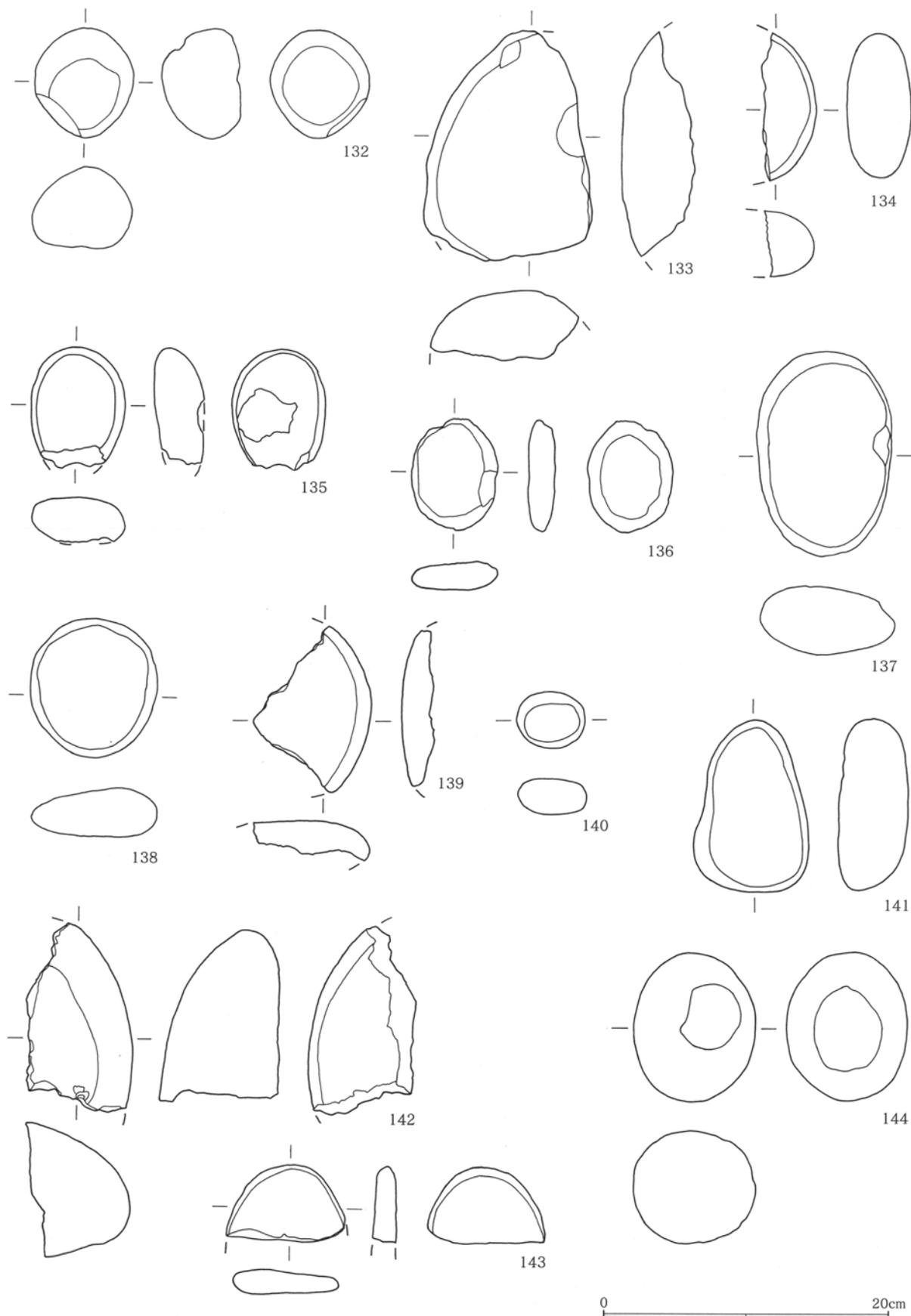
130



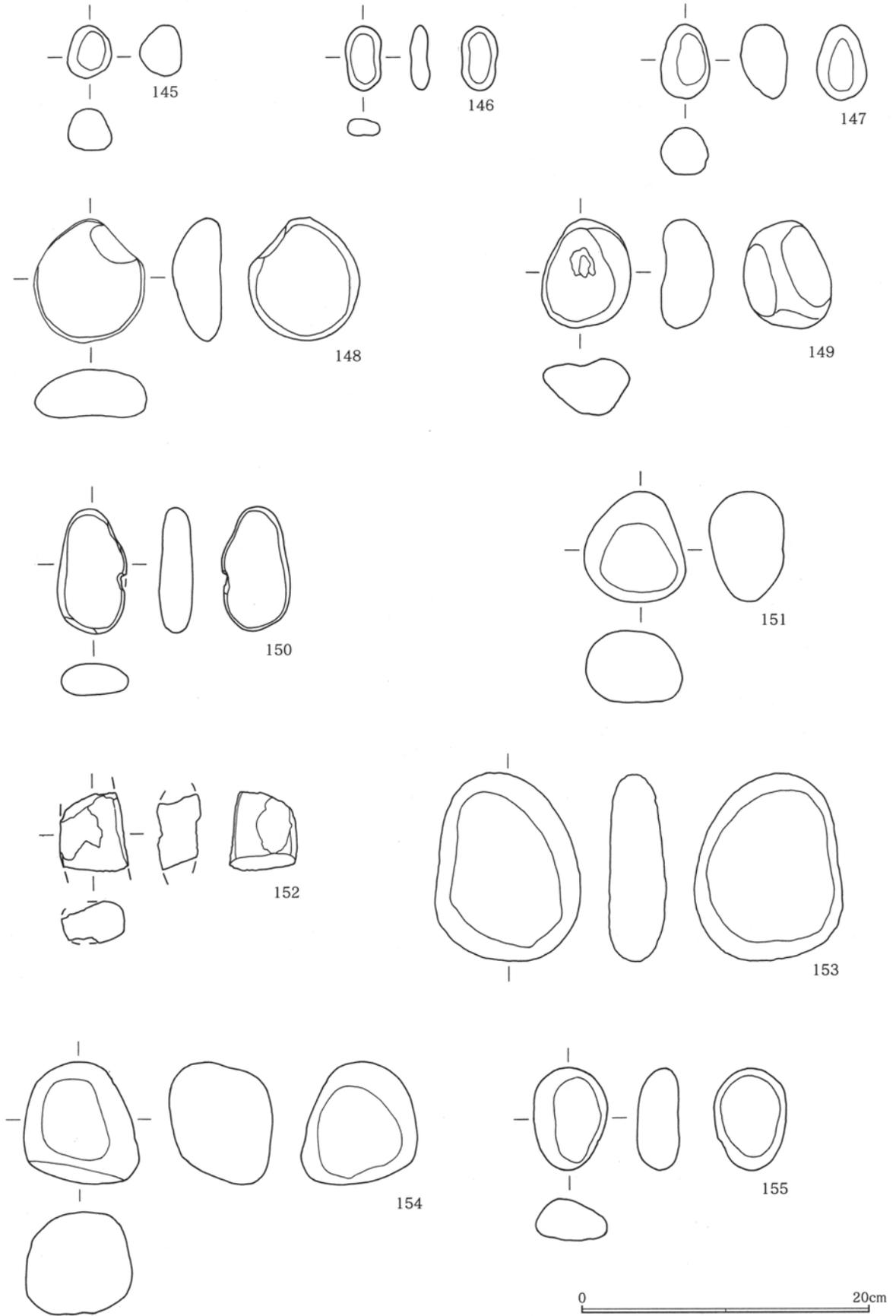
131

0 20cm

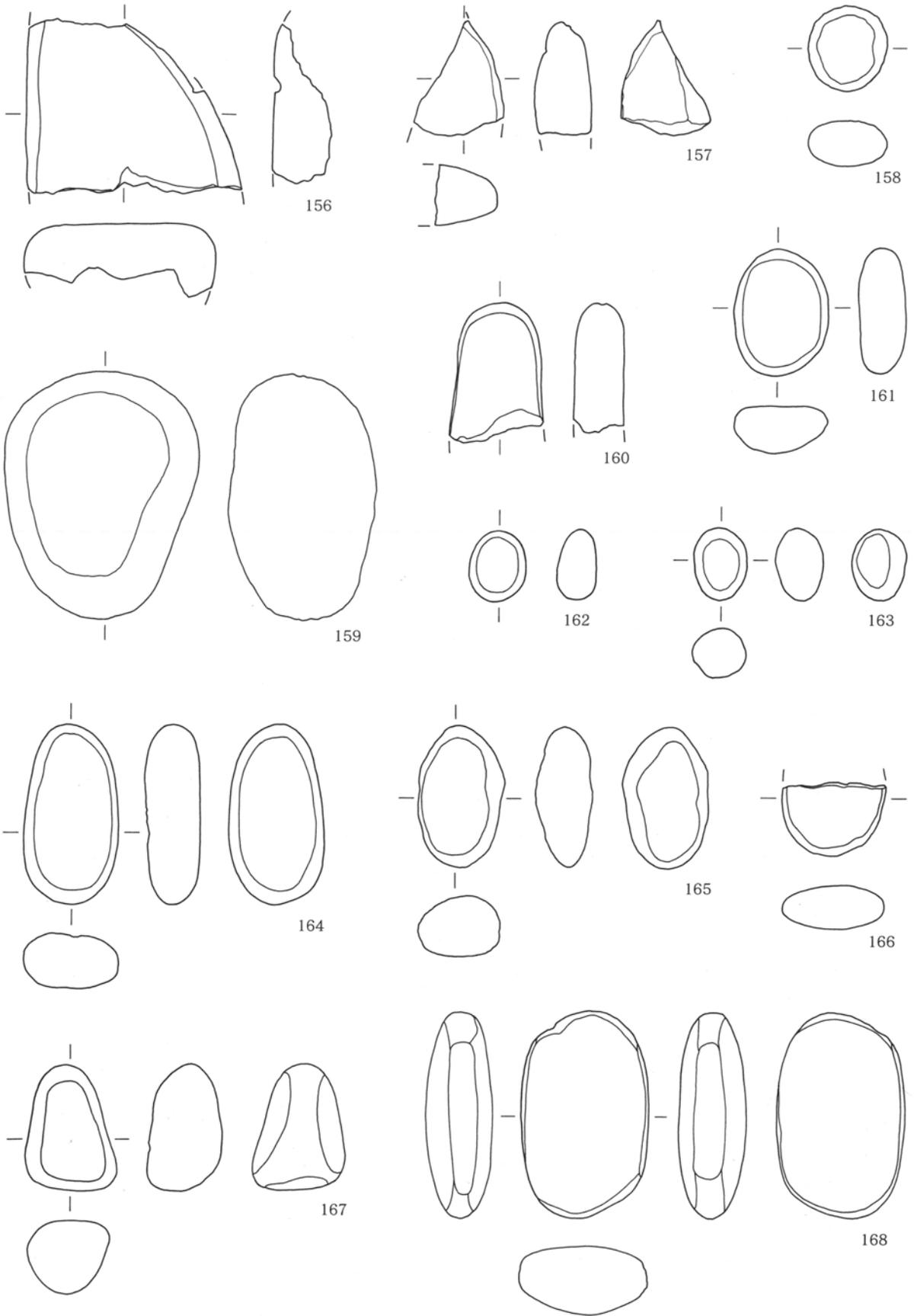
第254图 II区出土磨石(1)



第255图 II区出土磨石(2)

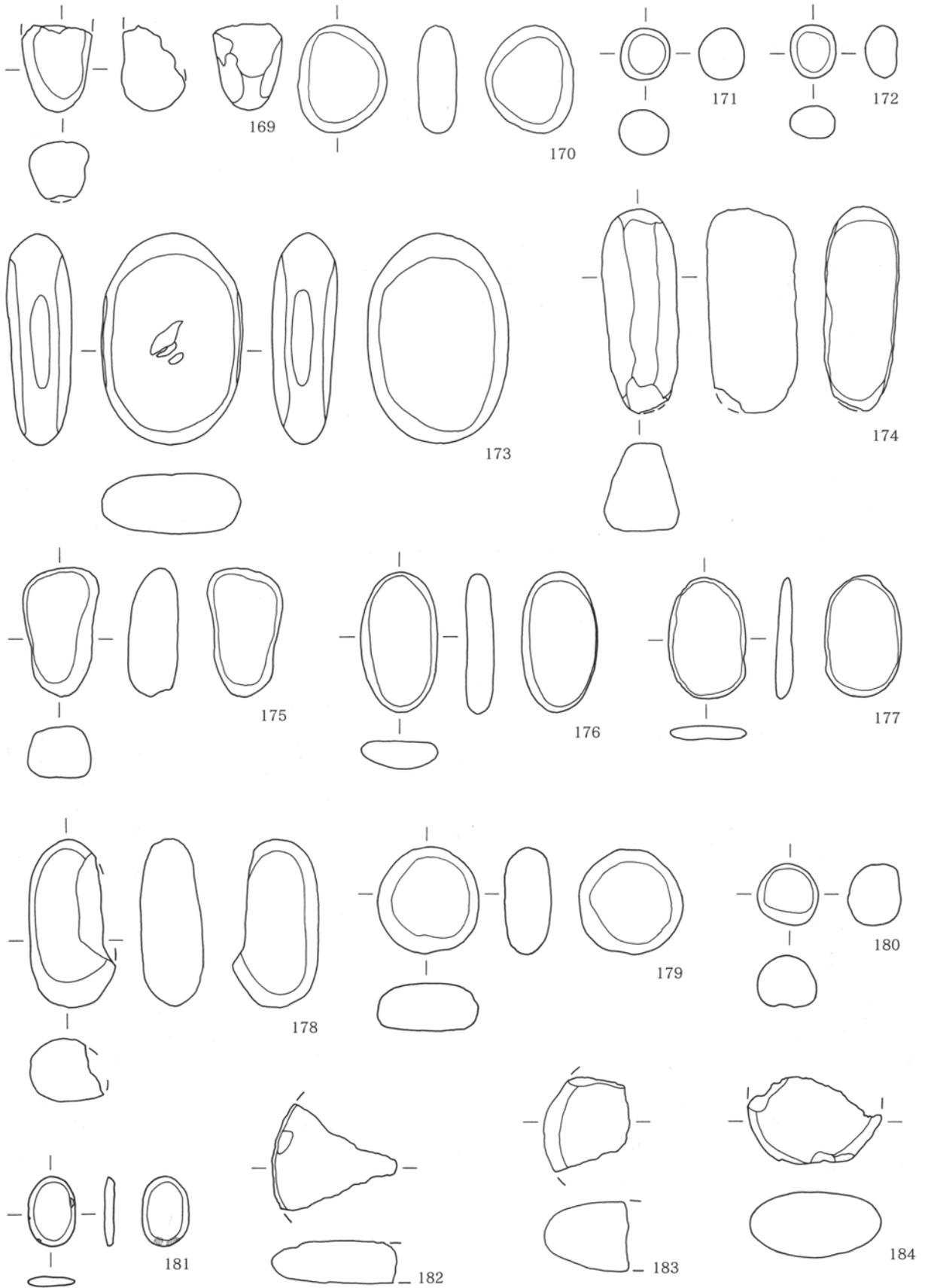


第256图 II区出土磨石(3)

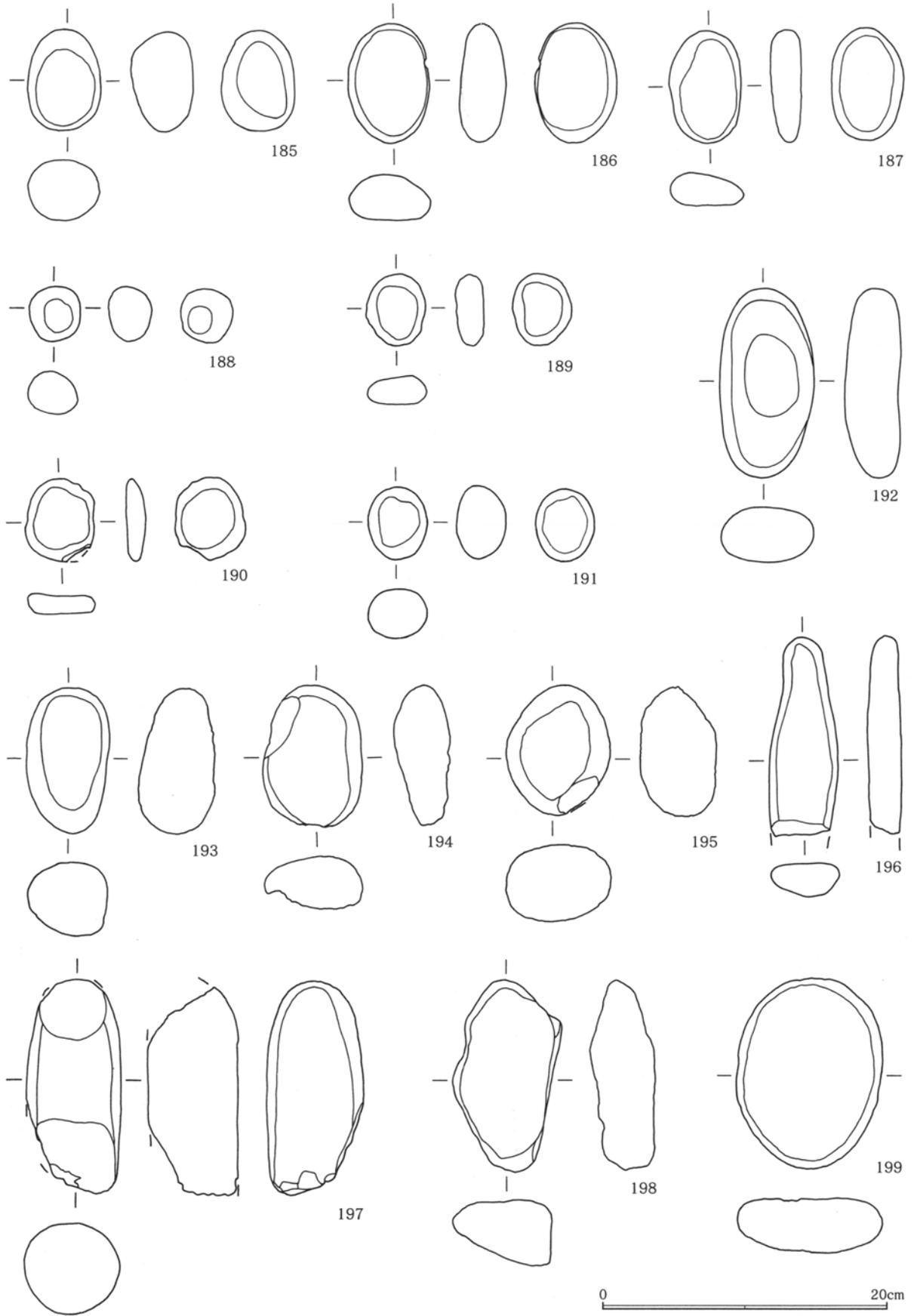


0 20cm

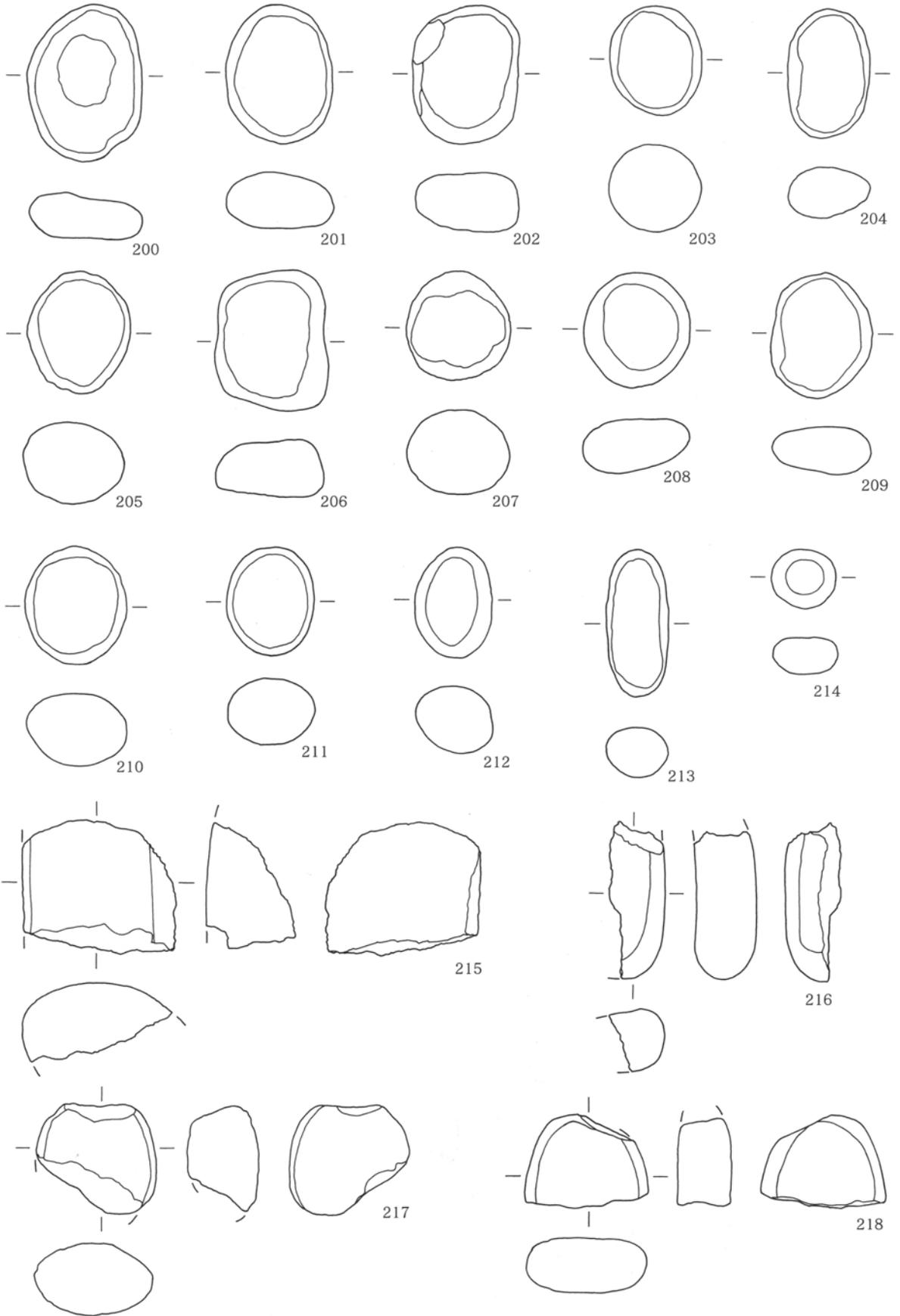
第257图 II区出土磨石(4)



第258圖 II区出土磨石(5) 0 20cm

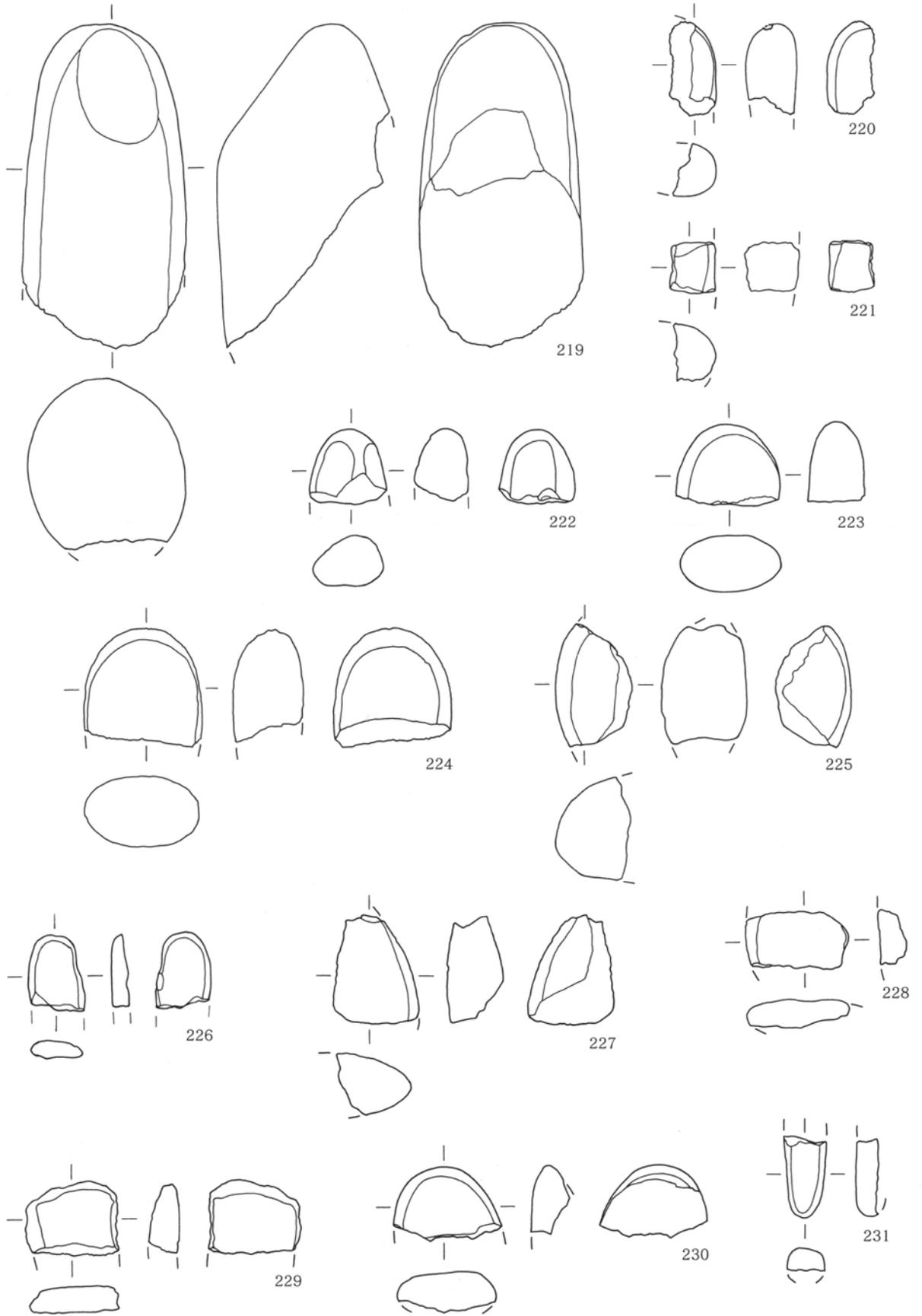


第259图 II区出土磨石(6)



第260圖 II区出土磨石 (7)

0 20cm



第261图 II区出土磨石(8) 0 20cm



第262圖 II区出土磨石(9) 0 20cm

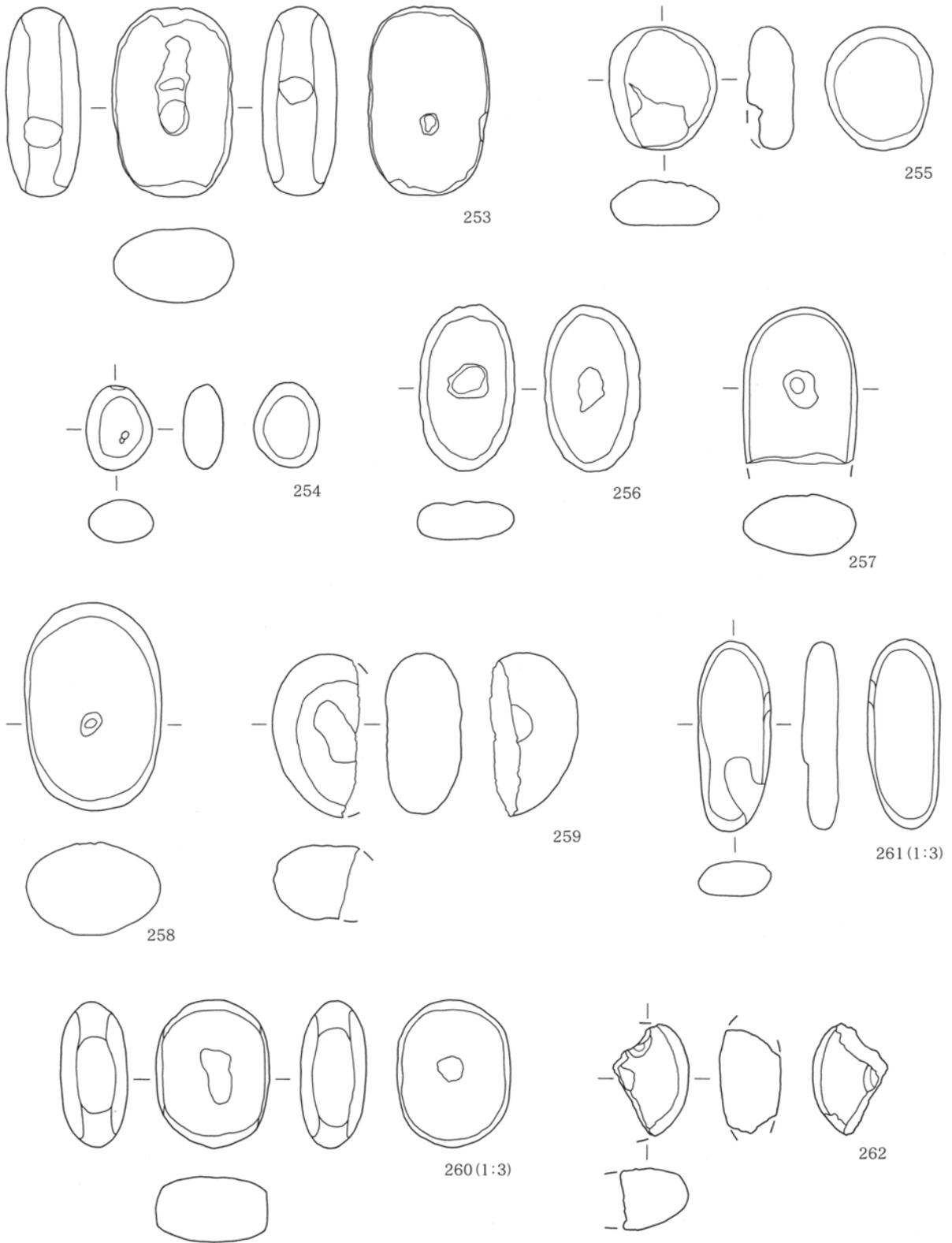
第4章 出土遺物

II区磨石観察表

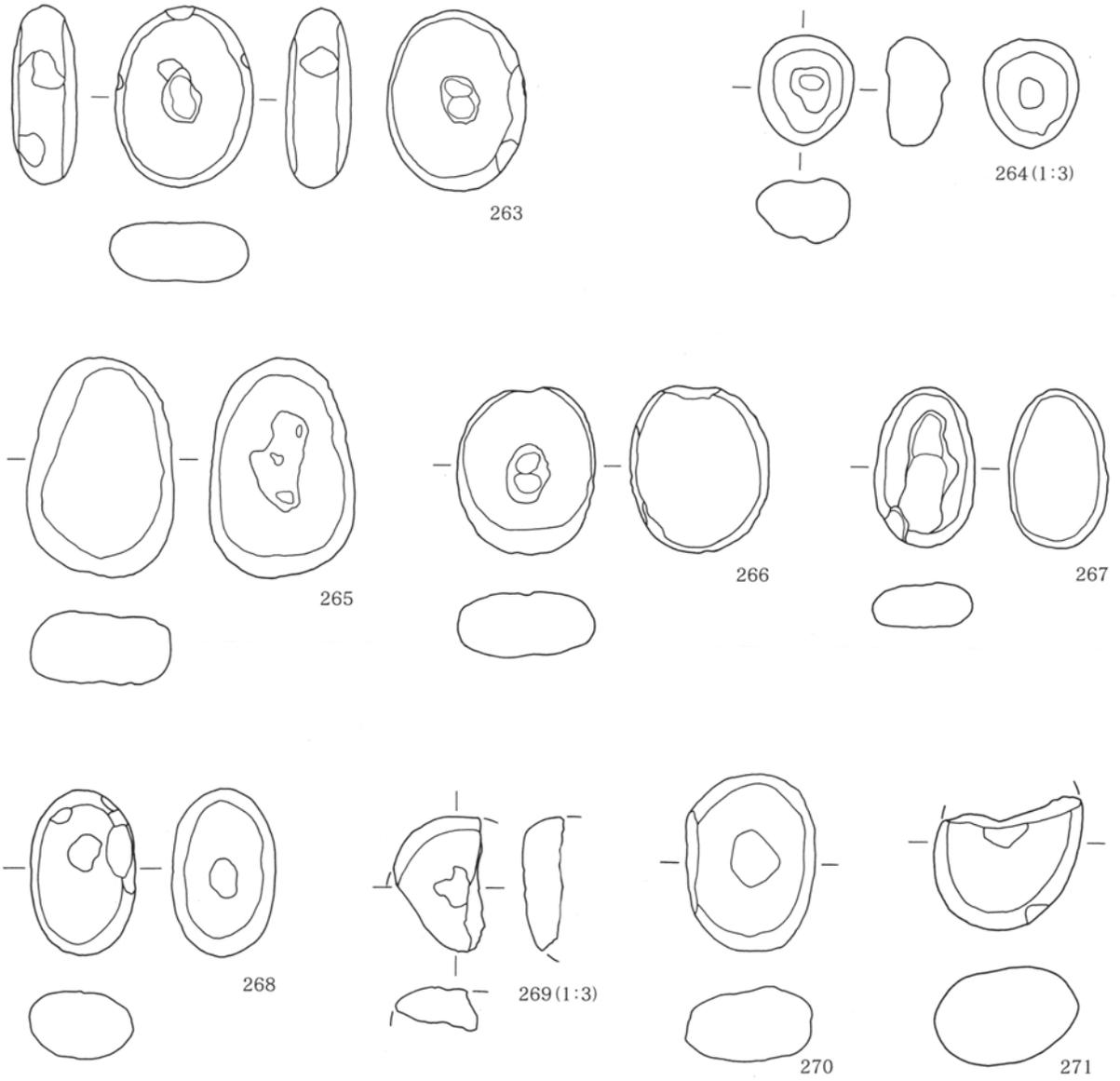
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
242	950-990	ひん岩	(12.2)	(7.7)	3.6	391.0	あり	
243	表採	粗粒輝石安山岩	(7.5)	9.5	4.0	288.0	あり	
244	表採	粗粒輝石安山岩	(7.4)	8.9	4.1	370.0	あり	
245	表採	粗粒輝石安山岩	(5.0)	(7.3)	(4.4)	206.0	あり	
246	表採	粗粒輝石安山岩	(4.8)	(4.3)	(2.1)	48.0	あり	
247	表採	粗粒輝石安山岩	(7.5)	8.7	4.2	337.0	あり	
248	表採	粗粒輝石安山岩	12.1	(5.6)	3.3	245.0	あり	
249	表採	粗粒輝石安山岩	(8.6)	6.6	4.0	355.0	あり	
250	表採	粗粒輝石安山岩	(6.8)	9.1	2.6	168.0	あり	
251	表採	粗粒輝石安山岩	(5.0)	5.4	1.7	43.0	あり	
252	950-010	粗粒輝石安山岩	(3.9)	5.1	2.0	41.0	あり	

II区磨石・敲石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
253	J-5	粗粒輝石安山岩	12.7	8.2	5.1	783.0	なし	
254	J-5	粗粒輝石安山岩	5.7	4.4	2.8	83.0	なし	
255	J-8	粗粒輝石安山岩	8.2	7.2	3.1	285.0	なし	
256	J-22	粗粒輝石安山岩	11.2	6.5	2.6	244.0	なし	
257	J-32	粗粒輝石安山岩	(10.6)	7.5	4.1	514.0	あり	
258	J-92	石英閃緑岩	13.9	9.2	6.0	1140.0	なし	
259	J-98	かこう岩	11.0	(5.9)	5.1	409.0	あり	
260	965-040	粗粒輝石安山岩	10.0	7.7	4.3	536.0	なし	
261	970-040	粗粒輝石安山岩	12.8	5.0	2.4	211.0	なし	
262	表採	粗粒輝石安山岩	(7.5)	(5.1)	4.3	157.0	あり	
263	935-970	石英閃緑岩	10.3	7.9	3.7	423.0	なし	
264	935-000	粗粒輝石安山岩	6.2	5.4	3.6	129.0	なし	
265	935-005	粗粒輝石安山岩	12.5	8.4	4.3	651.0	なし	
266	945-030	粗粒輝石安山岩	9.5	7.9	3.7	373.0	なし	
267	表採	粗粒輝石安山岩	9.1	5.7	2.6	163.0	なし	
268	表採	粗粒輝石安山岩	9.5	5.9	4.0	333.0	なし	
269	990-990	粗粒輝石安山岩	(7.7)	(5.2)	(2.7)	100.0	あり	
270	955-000	石英閃緑岩	(7.7)	8.5	5.5	424.0	あり	
271	表採	粗粒輝石安山岩	10.1	7.5	4.1	443.0	なし	

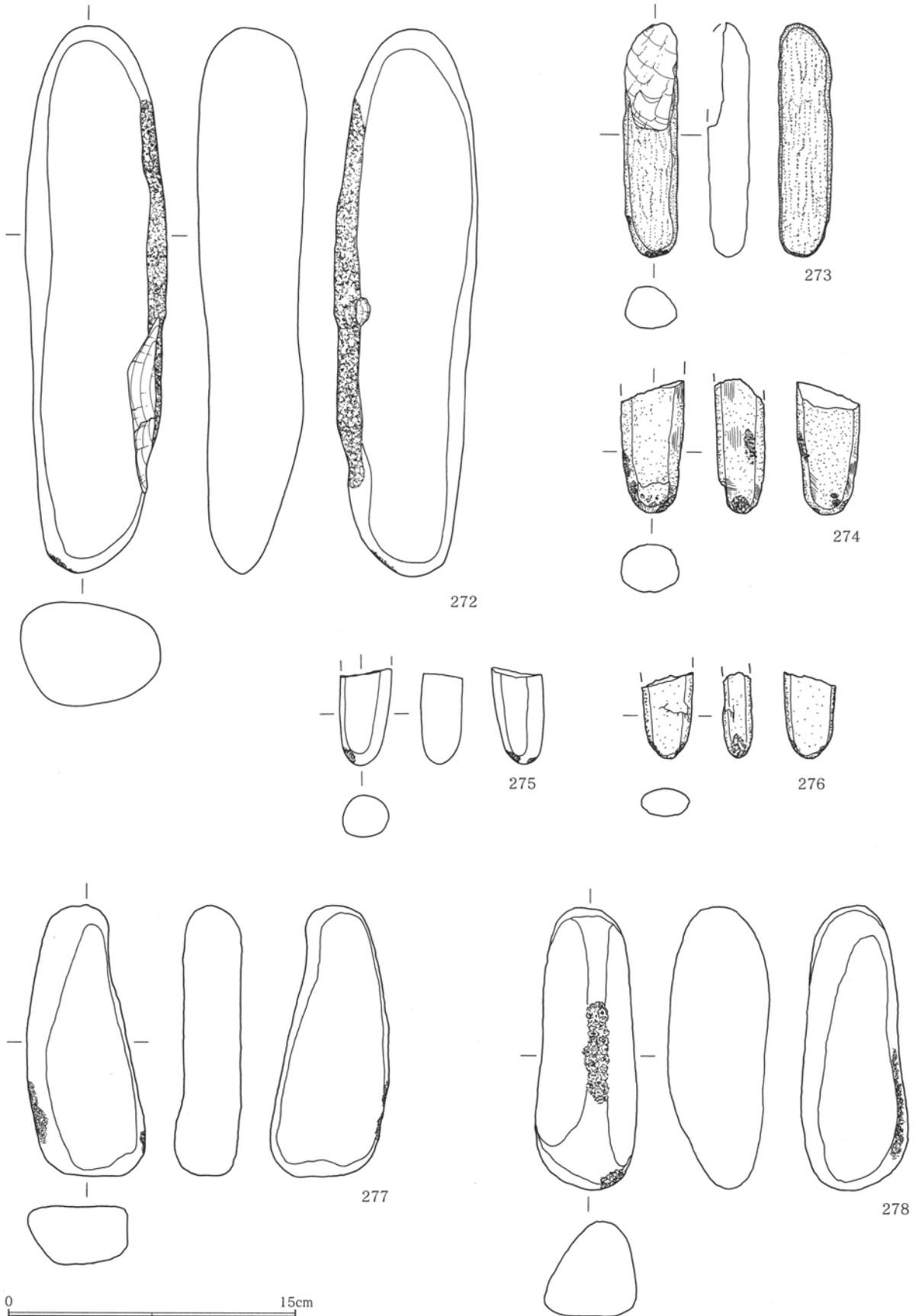


第263图 II区出土磨石·敲石(1)

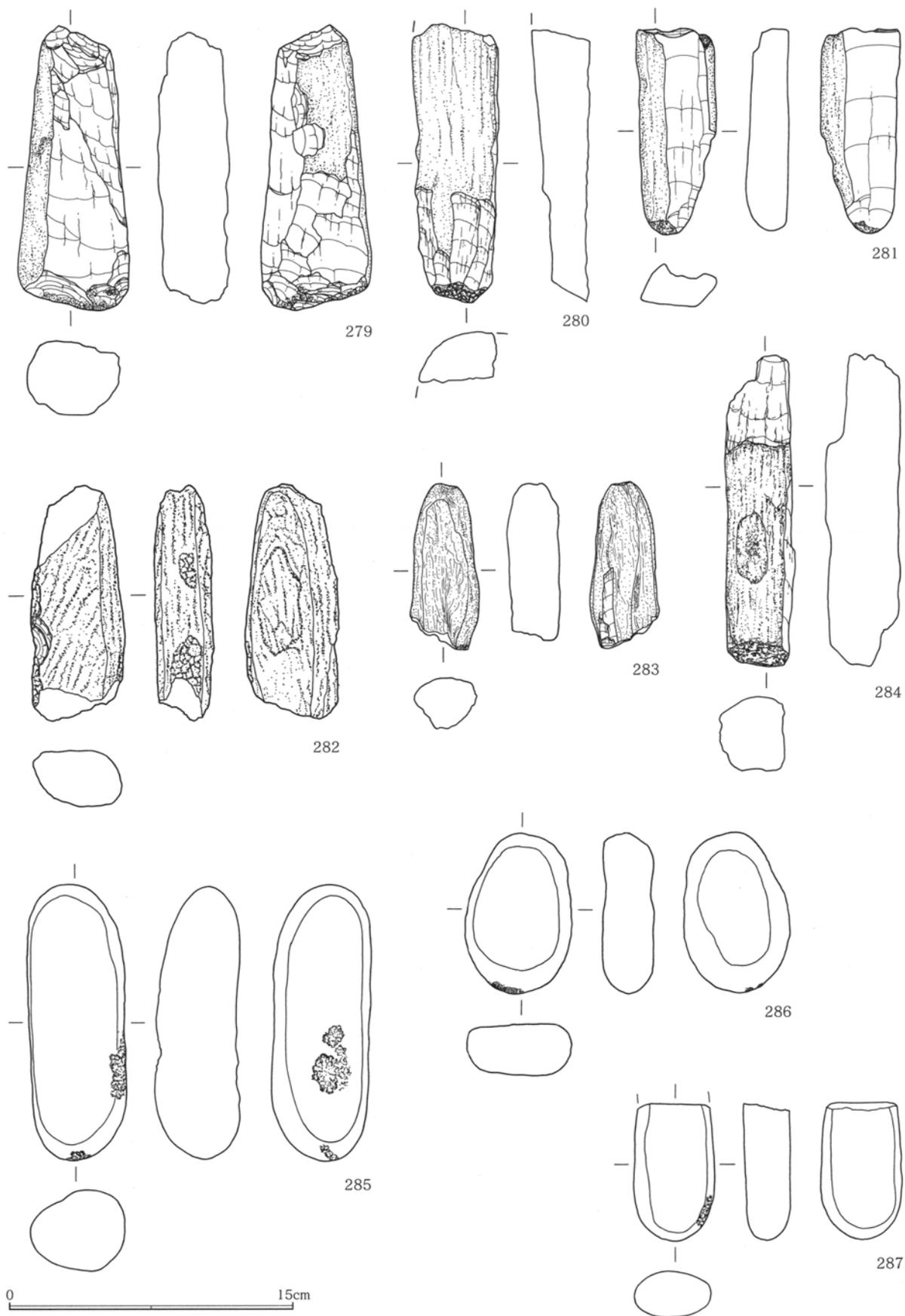


0 20cm  
15cm

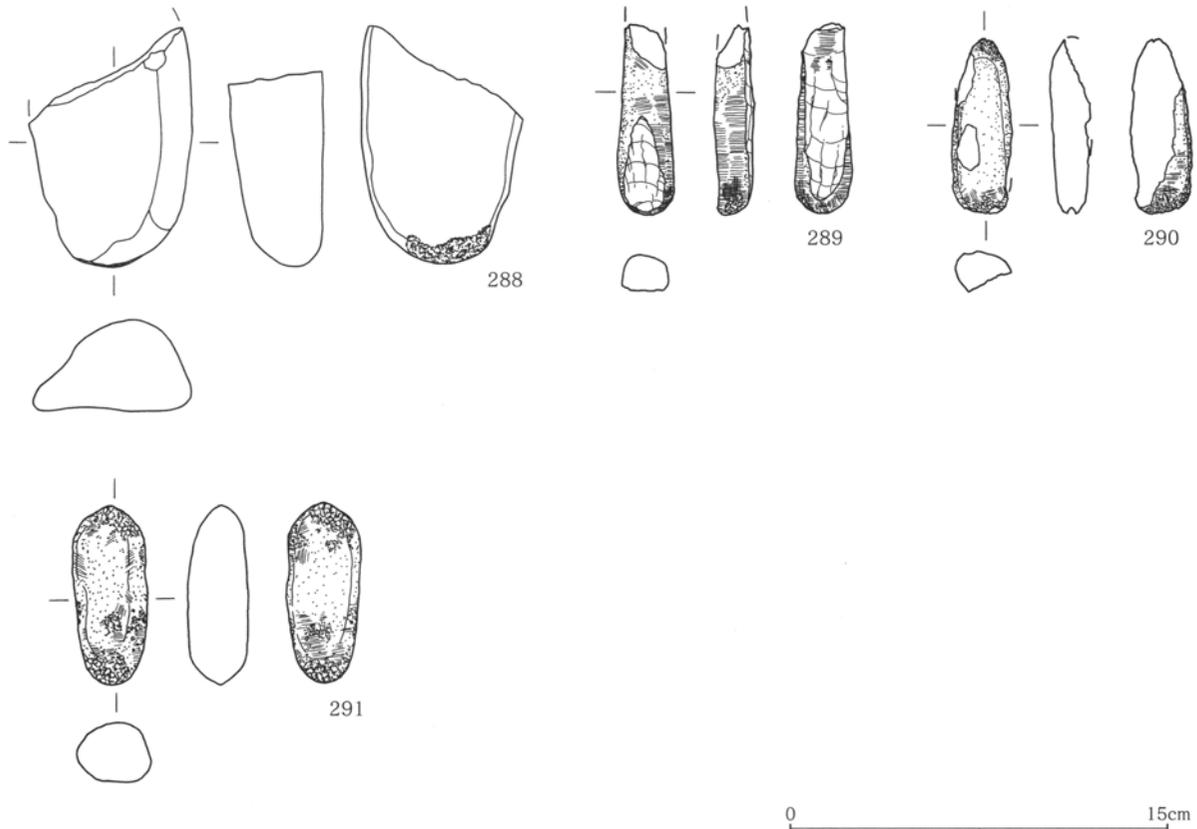
第264図 II区出土磨石・敲石(2)



第265圖 II区出土敲石(1)



第266图 II区出土敲石(2)



第267図 II区出土敲石 (3)

II区敲石観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
272	J-32	変質安山岩	28.7	7.4	5.7	1752.0	なし	一側縁部に広範囲の敲打痕あり。
273	J-5	雲母石英片岩	12.1	2.8	2.2	105.0	なし	端部に敲打痕あり。
274	J-7	変玄武岩	(6.9)	3.2	2.6	100.0	上半部	下端部に二面一対の敲打痕と線状痕、側縁部二辺に敲打痕と線状痕あり。
275	J-26	変質玄武岩	(5.0)	2.8	2.2	49.0	上半部	下端部に二面一対の敲打痕あり。
276	J-51	砂岩	(4.5)	2.7	1.5	25.0	上半部	下端部に二面一対の敲打痕あり。
277	J-72	ホルンフェルス	14.1	6.1	3.4	433.0	なし	側縁部二辺に敲打痕あり。
278	J-91, 炉	溶結凝灰岩	14.8	5.3	5.0	546.0	なし	下端部と側縁部二辺に敲打痕あり。
279	935-995	雲母石英片岩	14.9	5.8	3.8	495.0	なし	端部に敲打痕あり。
280	表採	雲母石英片岩	(14.5)	4.6	(3.1)	267.0	端部、裏面	端部に敲打痕あり。
281	表採	雲母石英片岩	(10.8)	4.2	2.3	133.0	端部	端部に敲打痕あり。
282	960-020	雲母石英片岩	(12.3)	5.0	2.9	270.0	両端部	両側縁部に敲打痕あり。
283	表採	雲母石英片岩	8.7	3.7	2.6	116.0	なし	端部に敲打痕あり。
284	表採	雲母石英片岩	16.3	3.6	4.0	360.0	なし	端部に敲打痕あり。
285	表採	粗粒輝石安山岩	14.5	5.2	4.3	506.0	なし	下端部・側縁部・平坦面に敲打痕あり。
286	970-030	粗粒輝石安山岩	8.5	5.6	2.7	216.0	なし	下端部に敲打痕あり。
287	915-980	砂岩	(7.2)	4.3	2.4	129.0	上半部	下端部に敲打痕あり。
288	920-980	変質玄武岩	(9.6)	6.5	3.8	279.0	上半部	下端部にやや広範囲の敲打痕あり。
289	表採	変玄武岩	(7.6)	2.3	1.6	42.0	上半部	下端部に二面一対の敲打痕とそれに伴う割れ面、線状痕あり。胴部の広範囲に横方向の線状痕あり。
290	960-035	頁岩	(6.9)	2.4	1.6	32.0	上端から裏面にかけて	下端部に広範囲の敲打痕と線状痕あり。上端部付近に敲打痕あり。一部剥落あり。
291	935-030	粗粒輝石安山岩	7.1	3.0	2.4	77.0	なし	上・下端部にそれぞれ二面一対の敲打痕と線状痕あり。胴部に敲打痕と主に横方向の線状痕あり。

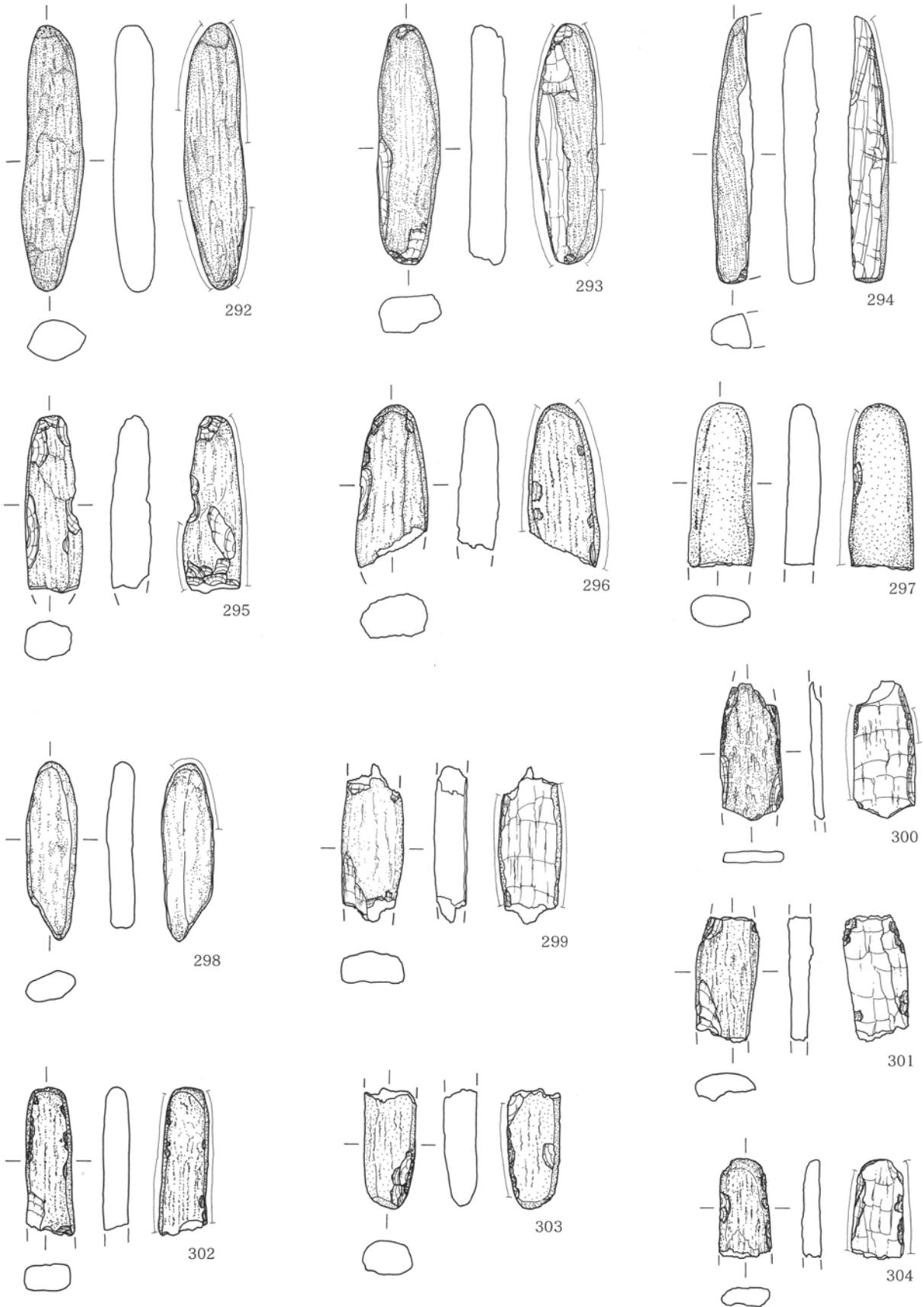
第4章 出土遺物

Ⅱ区結晶片岩製石器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
292	945-995	黒色片岩	13.8	3.3	2.1	129.0	なし	両側縁部に面的な敲打・研磨痕あり。
293	930-980	黒色片岩	12.5	3.3	2.0	124.0	なし	両側縁部に面的な敲打・研磨痕あり。
294	975-020	黒色片岩	13.8	(2.1)	1.9	73.0	一側縁部	一側縁部に面的な敲打・研磨痕あり。
295	表採	黒色片岩	(9.2)	3.0	2.1	85.0	端部	両側縁部に剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
296	945-980	黒色片岩	(8.4)	3.8	2.3	101.0	下半部	両側縁部に剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
297	表採	黒色片岩	(8.5)	3.4	1.7	86.0	下半部	一側縁部に面的な敲打・研磨痕あり。
298	表採	緑色片岩	9.2	2.6	1.4	56.0	なし	端部から一側縁部に摩滅・研磨痕あり。
299	910-980	黒色片岩	(8.1)	3.4	1.8	67.0	両端部	両側縁部に面的な敲打・研磨痕あり。
300	表採	雲母石英片岩	(7.1)	3.2	0.6	24.0	両端部	両側縁部に連続する剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
301	920-990	黒色片岩	(6.0)	3.3	1.5	42.0	両端部	両側縁部に剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
302	表採	黒色片岩	(7.8)	2.6	1.3	50.0	下半部	両側縁部に剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
303	表採	黒色片岩	(6.2)	2.7	1.7	47.0	上半部	一側縁部に連続する剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
304	970-970	黒色片岩	(5.2)	2.7	1.1	24.0	上半部	両側縁部に不連続な剥離痕と面的な敲打・研磨痕あり。
305	J-8	緑色片岩	9.3	4.3	1.4	78.0	なし	端部から一側縁部にかけて剥離痕あり。
306	950-975	黒色片岩	(6.2)	3.8	1.7	37.0	上半部	端部に剥離痕あり。
307	940-980	緑色片岩	(17.3)	6.1	3.8	573.0	端部	両側縁部と端部に連続する剥離痕あり。
308	955-010	黒色片岩	(6.0)	3.2	1.3	29.0	上半部	両側縁部に連続する剥離痕あり。
309	表採	黒色片岩	(6.7)	3.5	1.6	55.0	上半部	一側縁部に連続する剥離痕あり。
310	表採	黒色片岩	(7.8)	3.0	1.3	42.0	下半部	両側縁部に連続する剥離痕あり。
311	935-995	雲母石英片岩	7.7	2.9	1.0	25.0	なし	正面の広範囲に研磨痕あり。両側縁部に連続する剥離痕あり。
312	表採	黒色片岩	7.4	3.0	1.3	39.0	なし	一側縁部に剥離痕あり。
313	表採	黒色片岩	(6.1)	(3.3)	(1.4)	41.0	両端部、裏面	一側縁部に不連続な剥離痕あり。
314	表採	黒色片岩	(5.4)	2.9	1.2	25.0	上半部	一側縁部に不連続な剥離痕あり。
315	970-985	雲母石英片岩	(6.1)	2.9	1.1	22.0	上半部	一側縁部に連続する剥離痕あり。
316	955-980	雲母石英片岩	(5.8)	(3.1)	0.7	17.0	両端・一側縁部	一側縁部に連続する剥離痕あり。

Ⅱ区結晶片岩礫観察表

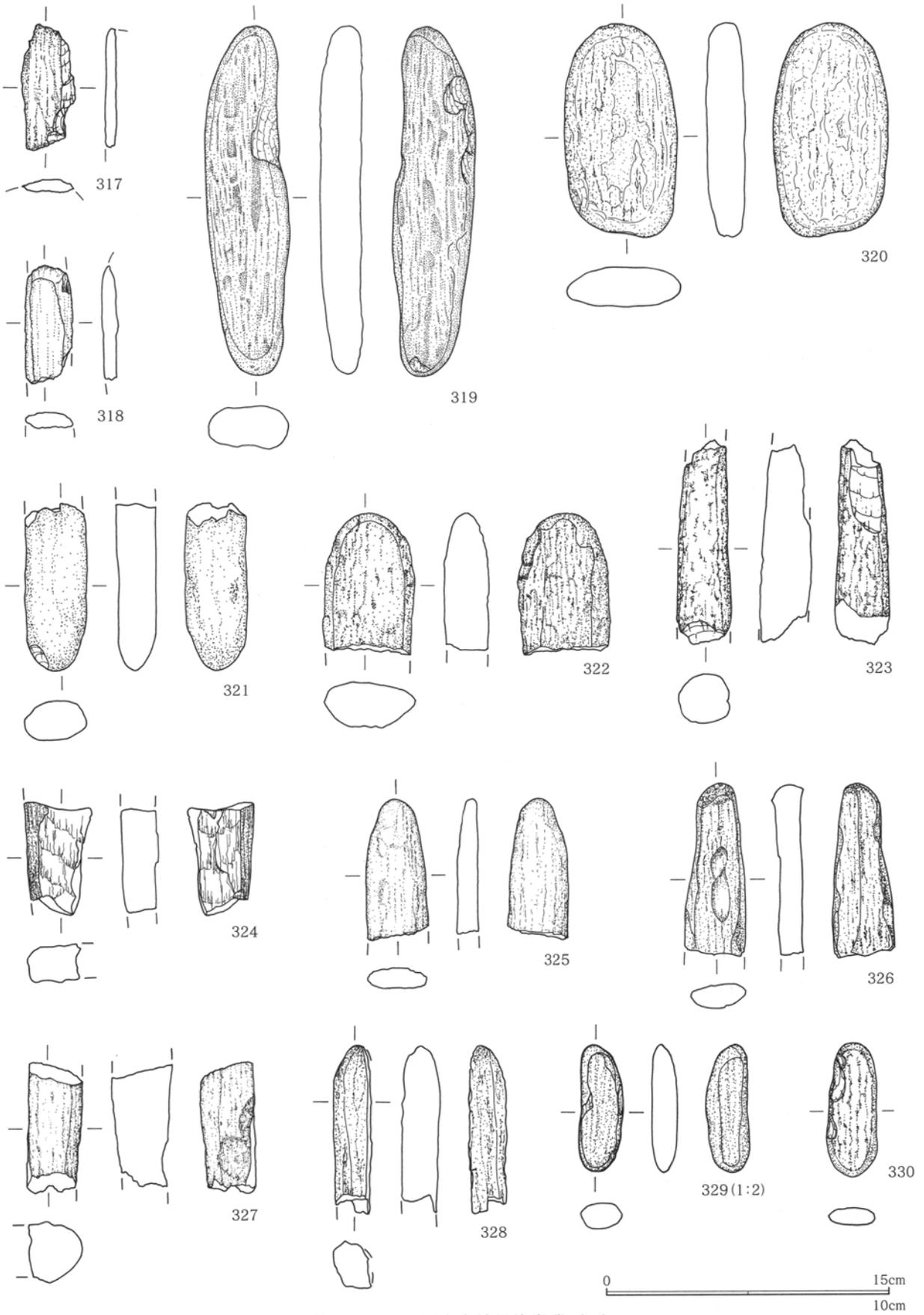
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
317	J-1,埋甕	黒色片岩	(6.6)	(2.9)	(0.7)	17.0	下半部、裏面	
318	J-68	黒色片岩	(6.2)	2.5	(0.9)	20.0	上端・下半部、裏面	
319	935-000	雲母石英片岩	18.4	4.5	2.3	286.0	なし	
320	970-990	雲母石英片岩	11.4	6.1	2.1	241.0	なし	
321	955-995	黒色片岩	(8.8)	3.4	2.1	102.0	上半部	
322	表採	雲母石英片岩	(7.5)	5.0	2.4	134.0	下半部	
323	表採	黒色片岩	(10.8)	2.9	2.6	115.0	両端部	
324	表採	雲母石英片岩	(6.0)	(3.6)	(2.0)	61.0	両端・一側縁部	
325	925-990	雲母石英片岩	(7.4)	3.3	1.2	46.0	下半部	
326	表採	雲母石英片岩	(9.1)	3.3	1.5	61.0	下半部	
327	表採	緑色片岩	(7.0)	(2.8)	3.3	110.0	両端・一側縁部	
328	960-000	黒色片岩	(8.9)	(2.0)	2.5	68.0	一側縁部	
329	965-010	緑色片岩	4.5	1.6	0.9	11.0	なし	
330	920-980	雲母石英片岩	7.1	2.7	1.1	33.0	なし	
331	970-970	黒色片岩	7.6	3.0	1.1	31.0	一側縁部	
332	表採	黒色片岩	7.3	2.6	1.8	42.0	なし	
333	表採	雲母石英片岩	(6.9)	3.0	2.1	57.0	下半部	
334	表採	黒色片岩	(7.3)	(3.2)	(1.8)	52.0	両端部、裏面	
335	表採	黒色片岩	(5.9)	(2.0)	1.4	23.0	上半・一側縁部	
336	表採	雲母石英片岩	(3.8)	2.9	2.2	31.0	両端部	
337	955-975	雲母石英片岩	(6.5)	(3.5)	(0.9)	28.0	両端部、裏面	
338	表採	雲母石英片岩	(7.1)	(1.8)	1.8	36.0	下半・一側縁部	
339	930-985	黒色片岩	(4.3)	3.8	(1.9)	37.0	下半部、裏面	
340	表採	黒色片岩	(6.7)	(3.0)	(1.6)	43.0	下半部、裏面	
341	表採	雲母石英片岩	(4.4)	(2.7)	(0.6)	9.0	両端部、裏面	



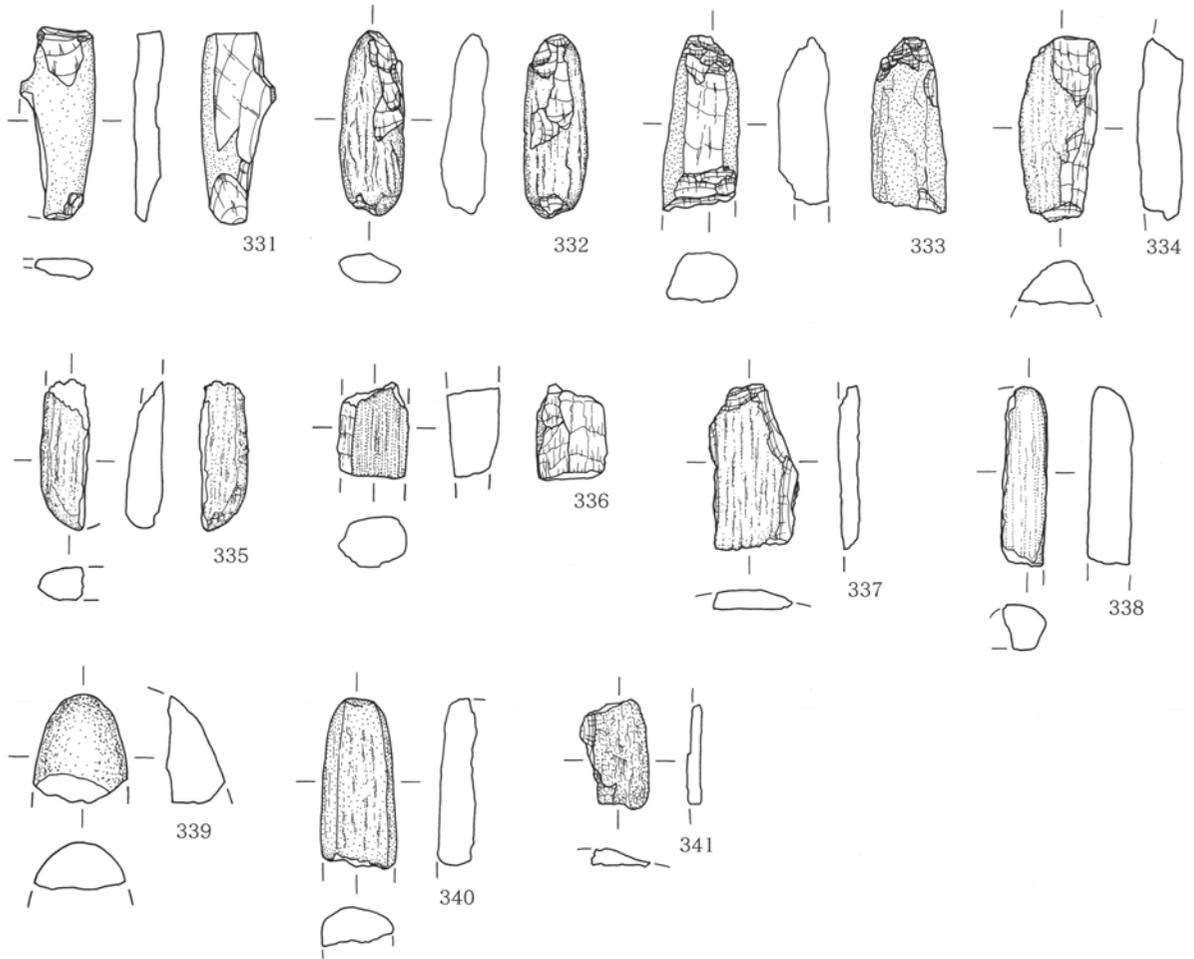
第268圖 II区出土結晶片岩製石器(1) 0 15cm



第269图 II区出土結晶片岩製石器(2)



第270图 II区出土結晶片岩礫 (1)



第271図 II区出土結晶片岩礫(2)

II区打製石斧観察表

図版 番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
342	J-1	黒色頁岩	(5.6)	4.3	1.9	54.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
343	J-2	黒色頁岩	8.0	3.9	1.8	73.0	なし	
344	J-2,床	黒色頁岩	(4.6)	3.9	0.9	19.0	胴・刃部	基部に摩滅あり。
345	J-2,P-1	ホルンフェルス	(6.6)	5.3	1.9	87.0	上半部	
346	J-2	黒色頁岩	(4.2)	3.8	0.9	22.0	基・刃部	
347	J-5	ホルンフェルス	6.7	4.1	1.5	57.0	なし	
348	J-5	ホルンフェルス	12.2	5.1	1.7	117.0	なし	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
349	J-5	黒色頁岩	10.6	4.9	2.4	104.0	なし	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
350	J-5	黒色頁岩	(6.8)	4.0	1.9	70.0	上半部	
351	J-5	細粒輝石安山岩	(3.6)	3.5	1.2	20.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。
352	J-5	黒色頁岩	9.6	4.1	1.5	64.0	なし	刃・胴・基・側縁部に摩滅・線状痕あり。
353	J-5	黒色頁岩	(7.7)	4.0	1.6	60.0	刃部	
354	J-5	細粒輝石安山岩	(4.3)	5.0	1.6	36.0	基・胴部	刃部に摩滅あり。
355	J-5	細粒輝石安山岩	(4.7)	3.8	0.8	26.0	下半部	基部の広範囲に摩滅あり。
356	J-5	細粒輝石安山岩	(3.3)	3.3	1.2	16.0	胴・刃部	基部に摩滅あり。
357	J-7	黒色頁岩	10.5	4.6	1.7	70.0	なし	
358	J-7	黒色頁岩	(6.2)	3.7	1.9	65.0	下半部	
359	J-39	変質安山岩	(6.0)	5.4	1.6	58.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕、胴・側縁部に摩滅あり。
360	J-32	黒色頁岩	7.8	5.6	1.5	67.0	なし	正面に剥落あり。
361	J-36	黒色頁岩	11.0	4.5	1.7	67.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
362	J-8	黒色頁岩	(7.7)	3.4	1.7	44.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。裏面に剥落あり。
363	J-44	細粒輝石安山岩	(9.5)	4.1	1.6	68.0	刃部	側縁部に摩滅あり。
364	J-44	黒色頁岩	11.5	4.6	2.2	135.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、基部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
365	J-45	ひん岩	8.7	4.5	1.8	65.0	基部の一部	
366	J-49	細粒輝石安山岩	(6.0)	3.9	1.8	55.0	下半部	胴・基部に摩滅・線状痕あり。
367	J-49	細粒輝石安山岩	(4.7)	3.3	1.2	23.0	基部	
368	J-51	黒色頁岩	(4.6)	3.4	1.2	23.0	下半部	
369	J-51	黒色頁岩	8.8	4.6	1.8	73.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、側縁・胴・基部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
370	J-51	黒色頁岩	(7.0)	4.7	0.8	36.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕あり。
371	J-56	黒色頁岩	8.8	4.5	1.5	60.0	なし	刃部に摩滅・線状痕あり。
372	J-56	砂岩	(8.5)	3.8	2.7	81.0	刃部	
373	J-62	細粒輝石安山岩	11.9	3.9	1.8	106.0	なし	
374	J-65	黒色頁岩	(7.6)	4.9	2.8	101.0	下半部	
375	J-66	黒色頁岩	10.3	5.8	2.3	151.0	なし	
376	J-67	細粒輝石安山岩	(6.1)	4.3	1.4	41.0	下半部	胴・基部に摩滅あり。
377	J-68	細粒輝石安山岩	(5.2)	4.2	1.5	35.0	上半部	刃・胴部に摩滅あり。
378	J-68	ホルンフェルス	(6.2)	4.3	2.5	85.0	上半部	
379	J-72	黒色頁岩	12.4	7.3	3.0	281.0	なし	
380	J-68	黒色頁岩	6.2	4.9	2.0	70.0	なし	
381	J-79	黒色頁岩	(6.0)	3.7	1.3	37.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕、胴・側縁部に摩滅あり。
382	J-81	細粒輝石安山岩	(8.3)	4.8	2.5	112.0	基・刃部	胴部に摩滅・線状痕あり。
383	J-91	黒色頁岩	9.5	4.5	1.2	52.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、胴・基部に摩滅あり。
384	J-91	黒色頁岩	10.2	5.5	2.2	117.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
385	J-91	黒色頁岩	(5.0)	3.8	1.1	19.0	基部	
386	J-91	黒色頁岩	(6.9)	4.6	1.6	65.0	上半部	刃・胴部に摩滅あり。
387	940-025	黒色頁岩	(9.2)	4.7	1.9	106.0	刃部	
388	930-985	ホルンフェルス	(5.2)	3.1	1.3	30.0	下半部	
389	930-985	黒色頁岩	(8.2)	5.2	2.6	105.0	基部	
390	955-040	細粒輝石安山岩	(11.2)	5.3	1.6	115.0	基部の一部、刃部	基・胴部に摩滅あり。
391	915-990	黒色頁岩	(3.7)	4.6	1.7	31.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。
392	表採	黒色頁岩	11.0	4.9	1.8	98.0	刃部の一部	
393	975-015	黒色頁岩	10.7	7.4	3.6	311.0	なし	
394	表採	黒色頁岩	(6.6)	4.9	2.0	45.0	上半部	
395	表採	黒色頁岩	8.3	5.6	2.6	154.0	なし	

第4章 出土遺物

II区打製石斧観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
396	表採	黒色頁岩	17.5	6.0	2.6	325.0	なし	刃・基部に摩滅・線状痕、胴・側縁部に摩滅あり。
397	表採	黒色頁岩	10.0	5.5	2.2	167.0	なし	
398	表採	黒色頁岩	10.5	4.4	1.5	89.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、基・胴・側縁部に摩滅あり。
399	表採	黒色頁岩	11.2	3.4	1.2	58.0	なし	刃・基・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
400	940-935	ホルンフェルス	11.2	4.0	2.0	100.0	なし	
401	表採	黒色頁岩	10.2	3.5	2.0	66.0	基部	正・裏面に剥落あり。
402	表採	ホルンフェルス	9.3	4.0	1.6	78.0	なし	
403	920-000	ホルンフェルス	10.7	3.9	1.8	99.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、胴・基部に摩滅あり。
404	表採	黒色頁岩	9.5	3.7	1.1	69.0	なし	基部に摩滅・線状痕あり。
405	935-995	変質玄武岩	9.8	4.3	1.3	83.0	なし	刃部に摩滅・線状痕あり。
406	955-995	黒色頁岩	7.0	4.3	1.8	64.0	なし	
407	表採	黒色頁岩	9.5	3.5	2.0	58.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕、基部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
408	表採	黒色頁岩	10.5	3.4	1.7	69.0	なし	
409	920-000	細粒輝石安山岩	7.7	4.0	1.3	44.0	なし	刃・胴・基部に摩滅・線状痕あり。
410	960-005	黒色頁岩	5.7	3.7	1.7	44.0	なし	
411	950-005	珪質頁岩	7.4	3.7	1.3	44.0	なし	
412	表採	細粒輝石安山岩	9.0	3.6	1.1	48.0	なし	
413	930-985	黒色頁岩	6.5	4.2	1.5	48.0	なし	
414	表採	ホルンフェルス	6.8	3.6	1.2	36.0	なし	
415	表採	黒色頁岩	6.4	3.6	1.8	58.0	なし	
416	表採	変質玄武岩	(9.0)	5.0	2.0	118.0	刃部	
417	表採	黒色頁岩	7.9	4.0	1.2	43.0	なし	
418	925-985	黒色頁岩	7.4	2.4	1.3	25.0	なし	基部裏面に摩滅・線状痕あり。
419	960-025	黒色頁岩	(7.7)	5.6	2.5	133.0	下半部	
420	945-005	黒色頁岩	(5.7)	3.0	1.3	21.0	刃部	
421	表採	珪質頁岩	(7.5)	4.0	2.1	82.0	刃部	
422	表採	黒色頁岩	(6.2)	3.7	2.4	58.0	下半部	
423	表採	細粒輝石安山岩	(6.2)	4.4	2.0	81.0	下半部	基・胴部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
424	表採	細粒輝石安山岩	(6.4)	4.1	1.5	53.0	刃部	基・胴・側縁部に摩滅あり。
425	930-985	黒色頁岩	(7.9)	4.2	1.2	53.0	刃部	胴・基部に摩滅・線状痕あり。
426	表採	細粒輝石安山岩	(7.1)	3.7	2.0	62.0	刃部	
427	940-985	黒色頁岩	(6.8)	5.9	1.5	73.0	下半部	
428	表採	黒色頁岩	(6.9)	4.2	1.6	57.0	下半部	
429	表採	黒色頁岩	(7.0)	3.7	1.2	40.0	刃部	
430	表採	珪化凝灰岩	(6.8)	4.5	1.1	28.0	刃部	
431	935-010	細粒輝石安山岩	(5.5)	4.3	1.3	41.0	下半部	
432	935-015	黒色頁岩	(5.6)	3.8	1.4	42.0	下半部	基・胴部に摩滅あり。
433	920-990	細粒輝石安山岩	(5.5)	3.9	1.3	40.0	下半部	
434	925-985	黒色頁岩	(6.0)	3.5	1.2	39.0	刃部	胴・基部に摩滅あり。
435	表採	細粒輝石安山岩	(5.6)	3.8	1.1	23.0	下半部	
436	965-000	黒色頁岩	(5.0)	3.9	1.2	26.0	基・刃部	
437	表採	ホルンフェルス	(8.3)	6.6	2.5	172.0	上半部	
438	表採	細粒輝石安山岩	(9.2)	5.9	2.5	199.0	上半部	
439	945-930	黒色頁岩	(4.3)	3.9	0.8	17.0	上半部	
440	表採	細粒輝石安山岩	(9.6)	4.6	2.3	121.0	基部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
441	表採	黒色頁岩	(8.1)	5.4	2.8	111.0	基部	刃部に摩滅・線状痕あり。正面に剥落あり。
442	表採	黒色頁岩	(6.2)	4.7	1.1	30.0	上半部	
443	950-990	黒色頁岩	(4.6)	4.1	1.5	38.0	上半部	胴部に摩滅あり。
444	表採	黒色頁岩	(7.5)	4.9	3.3	139.0	上半部	正・裏面に剥落あり。
445	表採	細粒輝石安山岩	(7.6)	6.3	2.2	98.0	基部	刃部に摩滅・線状痕、胴・側縁部に摩滅あり。
446	表採	黒色頁岩	(5.0)	4.4	1.3	35.0	上半部	
447	表採	黒色頁岩	(8.1)	5.0	2.4	114.0	基部	胴部に摩滅あり。
448	表採	黒色頁岩	(9.3)	4.5	2.5	132.0	基部	
449	表採	黒色頁岩	(6.2)	3.5	1.4	41.0	上半部	
450	表採	黒色頁岩	(8.2)	4.5	1.5	74.0	基部	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。

II区打製石斧観察表

図版 番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
451	955-000	細粒輝石安山岩	(7.8)	5.1	1.5	83.0	基部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
452	表採	細粒輝石安山岩	(6.6)	4.5	1.2	60.0	基部	刃・胴部に摩滅あり。
453	表採	細粒輝石安山岩	(8.4)	4.5	2.1	97.0	基部	刃・側縁部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。
454	950-990	細粒輝石安山岩	(7.4)	5.0	1.7	82.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
455	950-000	細粒輝石安山岩	(5.7)	3.4	1.1	24.0	基部	刃・胴・側縁部に摩滅あり。
456	945-025	細粒輝石安山岩	(6.9)	5.0	2.4	114.0	上半部	刃・胴・側縁部に摩滅あり。
457	925-995	黒色頁岩	(7.8)	5.6	2.3	111.0	上半部	正・裏面に剥落あり。
458	表採	黒色頁岩	(5.3)	3.2	1.3	29.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕あり。
459	表採	黒色頁岩	(7.1)	4.7	1.4	58.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
460	935-000	黒色頁岩	(5.2)	3.8	1.6	36.0	基部	刃部に摩滅あり。
461	表採	黒色頁岩	(5.6)	4.1	1.1	30.0	上半部	基・胴・側縁部に摩滅・線状痕あり。
462	950-990	黒色頁岩	(7.3)	4.5	1.7	58.0	基部	刃・胴部に摩滅あり。
463	965-015	黒色頁岩	(7.0)	4.5	1.8	72.0	基部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
464	940-985	黒色頁岩	(5.6)	3.7	1.5	38.0	基部	刃・胴・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
465	915-985	細粒輝石安山岩	(6.2)	4.4	1.8	70.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
466	表採	細粒輝石安山岩	(5.8)	4.9	1.4	56.0	上半部	刃・胴・側縁部に摩滅あり。
467	表採	細粒輝石安山岩	(6.5)	4.5	1.6	47.0	上半部	刃・胴・側縁部に摩滅あり。
468	表採	細粒輝石安山岩	(5.2)	5.2	2.3	40.0	上半部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
469	975-990	細粒輝石安山岩	(5.5)	5.2	1.8	56.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
470	表採	黒色頁岩	(4.5)	4.5	0.9	24.0	上半部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
471	930-995	細粒輝石安山岩	(5.7)	4.5	2.2	55.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
472	920-970	黒色頁岩	(6.0)	4.7	1.6	58.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。
473	表採	黒色頁岩	(5.3)	4.3	1.5	63.0	上半部	刃・胴・側縁部に摩滅・線状痕あり。
474	955-980	黒色頁岩	(4.5)	4.0	1.9	37.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
475	955-980	ホルンフェルス	(5.8)	4.0	1.6	32.0	上半部	
476	940-000	黒色頁岩	(4.5)	4.1	1.4	27.0	上半部	
477	表採	細粒輝石安山岩	(5.5)	4.4	1.7	47.0	上半部	刃・胴・側縁部に摩滅あり。
478	960-015	黒色頁岩	(4.5)	4.5	0.7	20.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
479	930-990	黒色頁岩	(3.6)	3.9	1.2	18.0	基・胴部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
480	915-985	黒色頁岩	(4.8)	4.5	1.4	28.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃・側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。
481	920-990	黒色頁岩	(4.5)	4.4	1.3	30.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃・側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。
482	915-980	黒色頁岩	10.6	4.2	1.7	75.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、側縁・胴・基部に摩滅あり。
483	表採	黒色頁岩	(4.4)	4.7	1.0	31.0	上半部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
484	925-990	細粒輝石安山岩	(4.1)	4.5	1.0	14.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。
485	960-005	黒色頁岩	13.5	5.0	2.0	135.0	なし	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
486	945-020	黒色頁岩	12.1	4.8	1.7	105.0	なし	刃・側縁部に摩滅・線状痕、基部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
487	表採	細粒輝石安山岩	10.1	4.0	1.1	61.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁・基部に摩滅あり。
488	970-970	黒色頁岩	8.8	4.1	2.0	75.0	基部	裏面に剥落あり。
489	925-995	黒色頁岩	11.6	4.7	1.8	97.0	なし	刃・基部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。
490	935-040	黒色頁岩	13.2	5.1	2.9	141.0	なし	刃・胴・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
491	表採	黒色頁岩	9.9	4.6	2.0	78.0	基部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。正・裏面に剥落あり。
492	表採	黒色頁岩	9.9	5.0	1.6	89.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、胴・基部に摩滅あり。
493	950-020	黒色頁岩	9.6	4.8	1.8	84.0	なし	
494	表採	黒色頁岩	7.4	5.0	1.3	46.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。裏面に剥落あり。
495	表採	黒色頁岩	7.4	4.6	1.2	41.0	なし	
496	915-985	黒色頁岩	9.5	4.8	1.5	78.0	なし	刃部に摩滅・線状痕あり。

第4章 出土遺物

II区打製石斧観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
497	925-985	細粒輝石安山岩	10.4	4.5	1.3	61.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁・基部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
498	表採	黒色頁岩	9.4	4.3	1.6	79.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、胴・基部に摩滅あり。
499	表採	黒色頁岩	8.0	3.8	1.7	59.0	なし	刃・胴・基・側縁部に摩滅あり。
500	表採	黒色頁岩	9.3	5.2	2.5	125.0	なし	刃部に摩滅あり。
501	表採	黒色頁岩	8.6	5.2	2.0	93.0	なし	
502	970-000	細粒輝石安山岩	9.3	4.6	1.2	66.0	なし	刃・胴・基・側縁部に摩滅あり。
503	表採	細粒輝石安山岩	9.5	4.9	1.4	64.0	なし	刃・基部に摩滅・線状痕、胴・側縁部に摩滅あり。
504	915-980	黒色頁岩	8.6	4.9	2.0	97.0	なし	
505	960-030	細粒輝石安山岩	7.9	4.1	1.8	58.0	なし	基・胴部に摩滅・線状痕あり。
506	表採	ホルンフェルス	9.5	5.5	2.2	130.0	刃部の一部	
507	表採	変質玄武岩	9.0	5.3	3.0	108.0	なし	刃・胴・基・側縁部に摩滅・線状痕あり。
508	970-975	細粒輝石安山岩	7.5	4.8	1.2	49.0	なし	刃部に摩滅・線状痕あり。
509	表採	黒色頁岩	9.7	6.0	1.8	124.0	なし	正・裏全面に渡る風化あり。刃・側縁部に風化面を切る剥離面あり。
510	925-975	黒色頁岩	9.1	4.2	0.9	39.0	なし	
511	表採	黒色安山岩	(7.1)	3.2	0.9	23.0	刃部の一部	
512	950-005	黒色頁岩	5.8	2.7	1.1	19.0	なし	
513	920-985	黒色頁岩	5.6	3.3	0.8	19.0	なし	
514	935-995	変質玄武岩	5.2	3.1	0.9	19.0	なし	刃・胴・基・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
515	表採	変質玄武岩	(6.3)	4.5	1.5	59.0	下半部	
516	930-980	ホルンフェルス	(6.5)	4.0	1.3	38.0	刃部	基・胴部に摩滅あり。
517	表採	黒色頁岩	(7.3)	4.5	2.8	96.0	下半部	
518	表採	細粒輝石安山岩	(8.6)	5.2	2.1	120.0	刃部	胴・基部に摩滅あり。
519	965-970	細粒輝石安山岩	(5.6)	4.2	1.6	43.0	下半部	
520	900-000	黒色頁岩	(9.5)	5.3	2.6	136.0	刃部	
521	表採	黒色頁岩	(6.3)	(4.8)	1.3	56.0	下半部	
522	935-990	黒色頁岩	(6.3)	3.9	1.9	52.0	下半部	基部に摩滅あり。
523	945-995	細粒輝石安山岩	(7.8)	5.2	2.0	105.0	下半部	基・胴・側縁部に摩滅あり。
524	表採	細粒輝石安山岩	(5.0)	4.6	1.2	45.0	基・刃部	胴・側縁部に摩滅あり。
525	925-970	細粒輝石安山岩	(6.4)	4.7	1.2	46.0	基・刃部	胴・側縁部に摩滅あり。
526	940-030	黒色頁岩	(5.2)	4.9	1.9	52.0	基・刃部	
527	920-990	黒色頁岩	(5.2)	5.1	1.8	64.0	基・刃部	胴・側縁部に摩滅あり。
528	表採	黒色頁岩	(5.4)	4.6	1.5	43.0	刃・基部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
529	950-980	黒色頁岩	(8.8)	5.0	2.2	118.0	基部	
530	表採	黒色頁岩	(6.6)	5.3	3.9	161.0	上半部	
531	915-980	黒色頁岩	(5.5)	3.7	1.1	23.0	基部	刃部に摩滅あり。
532	970-995	細粒輝石安山岩	(7.5)	4.8	2.5	99.0	基部	
533	表採	黒色頁岩	(7.6)	4.2	1.8	67.0	基部	刃・胴部に摩滅あり。
534	表採	黒色頁岩	(5.8)	4.7	2.1	66.0	上半部	胴部に摩滅あり。
535	表採	細粒輝石安山岩	(7.4)	5.8	1.5	76.0	上半部	刃・胴・側縁部に摩滅あり。
536	970-980	細粒輝石安山岩	(8.4)	4.4	1.3	60.0	基部	刃・胴・側縁部に摩滅・線状痕、基部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
537	955-000	細粒輝石安山岩	(5.7)	4.3	1.5	43.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
538	表採	黒色頁岩	(5.8)	4.0	1.3	42.0	基部	
539	表採	細粒輝石安山岩	(7.0)	4.6	2.0	82.0	基部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
540	表採	黒色頁岩	(6.3)	5.4	1.8	74.0	上半部	
541	表採	細粒輝石安山岩	(7.7)	5.7	1.7	72.0	上半部	
542	965-935	黒色頁岩	(5.6)	5.1	1.9	50.0	上半部	
543	960-980	黒色頁岩	(4.1)	4.2	0.6	15.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
544	935-980	黒色頁岩	(5.9)	5.3	1.5	44.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。正・裏面に剥落あり。
545	表採	黒色頁岩	(5.1)	4.6	0.9	28.0	上半部	
546	表採	黒色頁岩	6.7	4.6	2.6	85.0	なし	
547	920-995	黒色頁岩	8.8	5.3	2.0	106.0	なし	側縁部に摩滅あり。
548	940-980	黒色頁岩	7.5	4.7	2.3	84.0	なし	
549	970-030	黒色頁岩	6.7	(3.9)	1.4	35.0	刃部の一部	

II区打製石斧観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
550	表採	黒色頁岩	(7.7)	5.3	2.8	108.0	刃部の一部	
551	965-985	変質玄武岩	(5.7)	3.9	1.3	43.0	刃部	
552	表採	ホルンフェルス	6.9	4.4	1.2	48.0	なし	
553	表採	黒色頁岩	6.0	4.7	2.2	62.0	なし	
554	930-000	黒色頁岩	8.4	5.5	2.8	145.0	なし	
555	表採	細粒輝石安山岩	(7.2)	4.2	1.4	53.0	刃部	
556	935-010	黒色頁岩	6.1	5.0	1.3	48.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
557	表採	黒色頁岩	6.8	5.1	2.0	70.0	なし	
558	表採	黒色頁岩	(6.1)	3.9	1.5	42.0	刃部	
559	表採	ホルンフェルス	(6.9)	4.5	1.8	59.0	基部	側縁部に摩滅あり。
560	900-000	黒色頁岩	(6.8)	4.6	2.2	76.0	基部	
561	935-005	黒色頁岩	(6.5)	4.3	1.6	39.0	上半部	剥落あり。
562	表採	黒色頁岩	(7.3)	5.0	2.1	87.0	刃部	
563	950-980	黒色頁岩	(5.1)	4.0	1.0	28.0	下半部	胴・基部に摩滅あり。
564	915-985	黒色頁岩	(4.7)	3.4	1.9	40.0	下半部	
565	970-005	黒色頁岩	(7.0)	6.0	3.2	185.0	下半部	全面に摩滅あり。
566	925-995	黒色頁岩	(5.6)	3.8	1.5	33.0	下半部	
567	表採	黒色頁岩	(5.0)	(4.6)	1.9	55.0	下半部	
568	表採	黒色頁岩	(3.8)	(3.3)	1.6	23.0	胴・刃部	
569	940-995	黒色頁岩	(6.5)	3.9	2.0	83.0	下半部	胴・基部に摩滅あり。
570	955-010	ホルンフェルス	(6.5)	4.9	1.7	58.0	下半部	胴・基部に摩滅・線状痕あり。
571	995-005	黒色頁岩	(6.3)	4.4	1.5	43.0	下半部	
572	955-005	砂質頁岩	(5.1)	4.1	1.7	44.0	下半部	胴・基部に摩滅あり。
573	表採	細粒輝石安山岩	(4.6)	4.1	1.6	49.0	下半部	全面に軽い摩滅あり。
574	930-995	黒色頁岩	(6.6)	4.0	1.2	33.0	刃部	
575	表採	細粒輝石安山岩	(5.4)	4.8	1.0	36.0	下半部	基・胴部に摩滅あり。
576	表採	黒色頁岩	(4.9)	3.8	2.4	51.0	下半部	胴・基部に摩滅あり。
577	表採	黒色頁岩	(3.8)	3.5	0.9	16.0	胴・刃部	
578	930-005	黒色頁岩	(4.7)	4.5	1.6	31.0	下半部	
579	910-000	黒色頁岩	(4.9)	3.4	1.3	26.0	下半部	
580	920-985	黒色頁岩	(4.6)	3.2	1.3	22.0	下半部	
581	920-990	黒色頁岩	(4.3)	3.4	1.8	32.0	下半部	基部に摩滅あり。
582	950-995	黒色頁岩	(3.9)	3.5	1.6	23.0	胴・刃部	基部に摩滅・線状痕あり。側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。
583	935-985	細粒輝石安山岩	(3.5)	4.1	0.9	21.0	胴・刃部	基部に摩滅あり。
584	945-990	細粒輝石安山岩	(2.8)	3.8	1.4	17.0	胴・刃部	基部に摩滅あり。
585	930-985	細粒輝石安山岩	(3.7)	3.4	1.3	21.0	基・刃部	胴部、側縁部に摩滅あり。
586	表採	黒色頁岩	(4.5)	5.6	2.4	61.0	基・刃部	胴部に摩滅・線状痕あり。
587	表採	黒色頁岩	(6.0)	3.9	1.5	39.0	基・刃部	基部は剥落による欠損。
588	表採	黒色頁岩	(5.5)	3.3	1.0	21.0	基・刃部	剥落あり。
589	表採	黒色頁岩	(4.4)	4.5	1.6	52.0	基・刃部	
590	表採	ホルンフェルス	(5.0)	3.2	1.3	24.0	基・刃部	
591	表採	黒色頁岩	(4.2)	4.6	1.6	40.0	基・刃部	基・刃部と胴部裏面は剥落による欠損。
592	925-990	黒色頁岩	(3.3)	3.4	(1.3)	20.0	基・刃部	胴・側縁部に摩滅あり。
593	表採	黒色頁岩	(3.7)	4.1	(1.0)	16.0	基・刃部	裏面に剥落あり。
594	表採	黒色頁岩	(3.7)	4.0	1.0	22.0	基・胴部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
595	940-000	黒色頁岩	(6.9)	5.0	1.8	52.0	上半部	
596	表採	細粒輝石安山岩	(4.8)	5.5	2.0	60.0	胴・基部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
597	950-990	細粒輝石安山岩	(3.8)	4.6	1.4	25.0	基・胴部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
598	930-990	細粒輝石安山岩	(3.2)	5.1	1.8	35.0	基・胴部	刃部に摩滅あり。
599	930-985	黒色頁岩	(2.7)	4.7	1.7	22.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃・側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。
600	表採	黒色頁岩	(3.6)	4.5	1.5	28.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。
601	表採	黒色頁岩	(3.2)	4.1	0.8	14.0	基・胴部	刃・側縁部に摩滅・線状痕あり。
602	J-68	黒色頁岩	6.9	5.9	2.4	68.0	なし	パティナに段階差あり。
603	J-92	細粒輝石安山岩	11.5	6.2	2.2	164.0	なし	
604	J-68	黒色頁岩	6.8	5.3	2.0	73.0	なし	
605	955-975	黒色頁岩	7.9	5.2	1.9	73.0	なし	

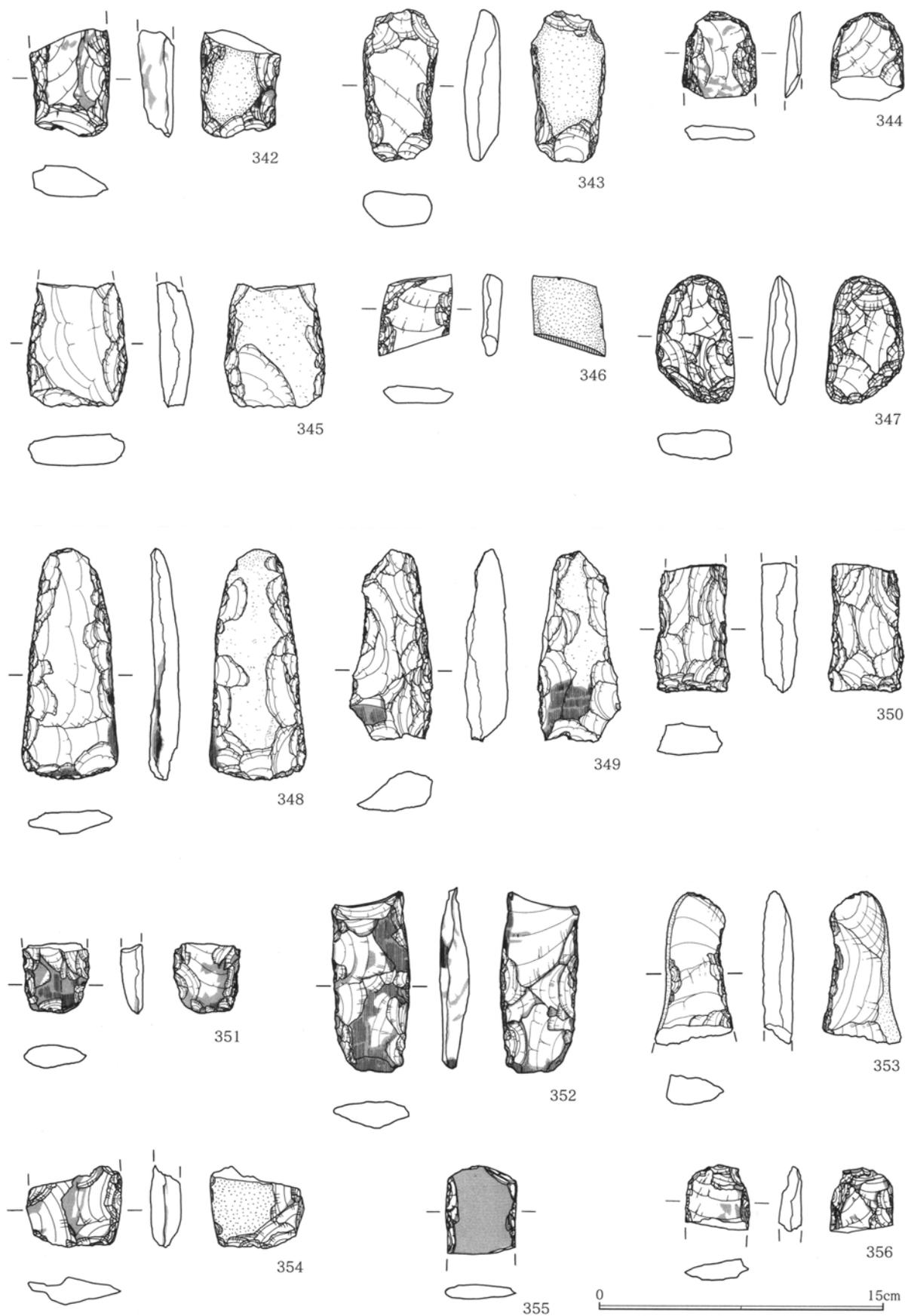
第4章 出土遺物

II区打製石斧観察表

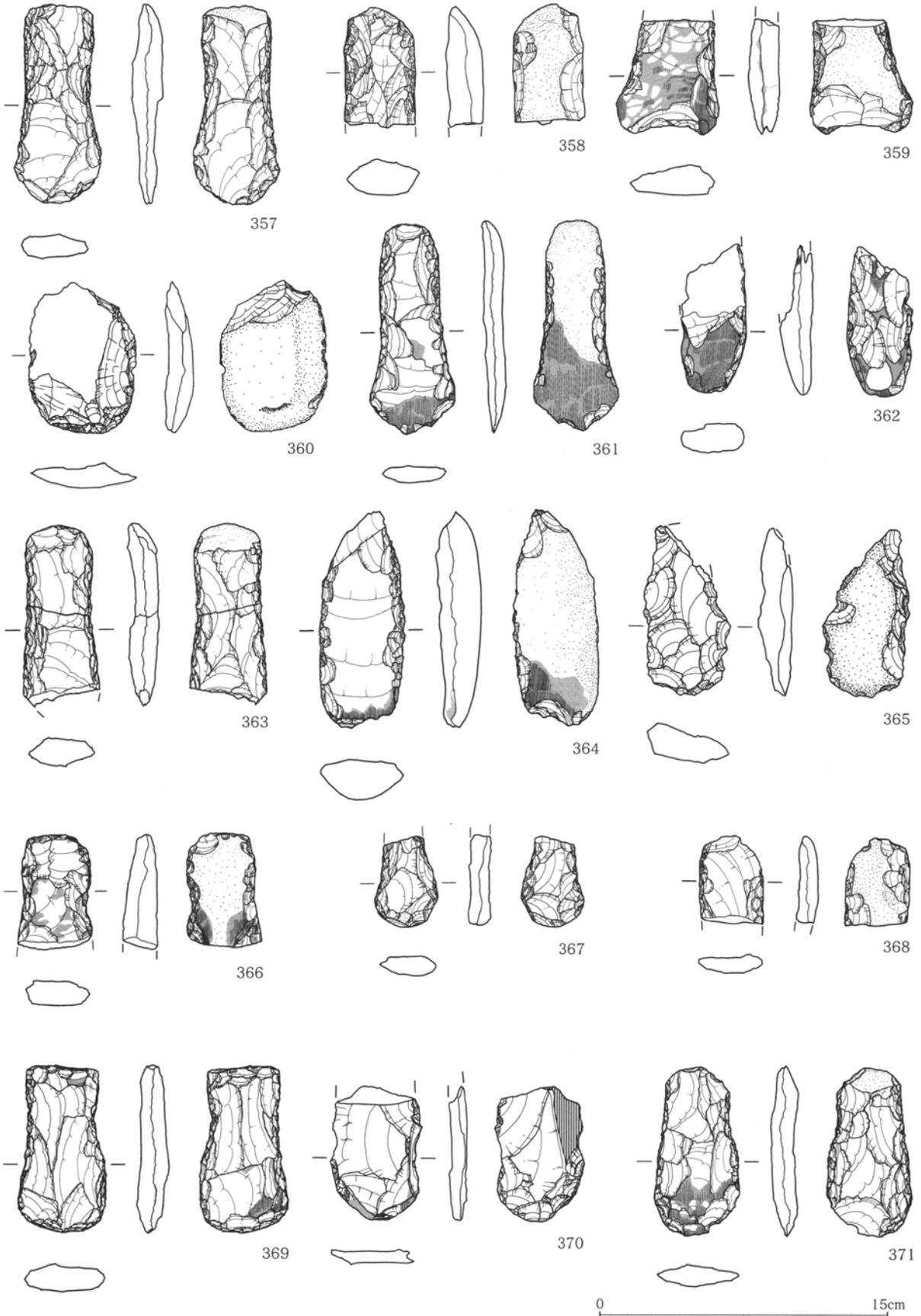
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
606	表採	黒色頁岩	7.0	4.8	1.5	46.0	なし	
607	940-025	黒色頁岩	6.3	4.5	1.3	38.0	なし	
608	表採	黒色頁岩	7.6	6.0	1.9	69.0	なし	
609	表採	黒色頁岩	7.5	4.5	1.4	50.0	なし	基部に摩滅あり。
610	表採	変質玄武岩	7.0	4.8	1.4	44.0	なし	
611	955-000	黒色頁岩	7.4	6.9	1.6	75.0	なし	
612	940-985	細粒輝石安山岩	7.7	5.2	1.2	62.0	なし	胴・基部に摩滅・線状痕、刃・側縁部に摩滅あり。
613	935-995	黒色頁岩	7.2	6.5	1.3	73.0	なし	
614	935-995	黒色頁岩	8.6	5.3	2.4	113.0	なし	
615	表採	黒色頁岩	9.3	5.8	1.5	76.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、胴・基・側縁部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
616	表採	黒色頁岩	7.2	4.7	1.8	67.0	なし	自然面上に敲打痕あり。
617	920-985	細粒輝石安山岩	12.5	6.7	2.0	137.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕、基・側縁部に摩滅あり。
618	表採	ホルンフェルス	7.8	5.5	2.0	100.0	なし	
619	930-015	黒色頁岩	(6.6)	(4.0)	2.0	48.0	下半部	
620	920-000	黒色頁岩	6.2	4.7	2.1	73.0	なし	刃部に摩滅・線状痕、胴・側縁部に摩滅あり。
621	940-025	黒色頁岩	7.0	4.8	1.3	51.0	なし	刃・胴・基部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
622	表採	黒色頁岩	(6.4)	(4.4)	1.4	38.0	下半部	正・裏面に剥落あり。
623	表採	黒色頁岩	(7.7)	(4.3)	1.4	52.0	刃部	基・胴部に摩滅あり。胴部に剥落あり。
624	920-985	黒色頁岩	(7.2)	5.2	2.0	82.0	基部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。
625	表採	細粒輝石安山岩	(7.7)	5.3	1.6	74.0	基部、刃部の一部	刃部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。
626	J-1	黒色頁岩	8.8	6.8	1.7	90.0	刃部の一部	側縁部に摩滅・線状痕あり。
627	J-32	黒色頁岩	10.3	5.1	2.9	148.0	なし	
628	955-015	細粒輝石安山岩	11.9	(8.3)	2.8	231.0	刃部の一部	刃・胴・側縁部に摩滅・線状痕、基部に摩滅あり。
629	955-005	黒色頁岩	12.0	6.6	2.1	144.0	なし	刃・胴・基・側縁部に摩滅・線状痕あり。
630	930-985	細粒輝石安山岩	10.2	4.5	2.3	93.0	刃部の一部	刃・胴部に摩滅、基部に摩滅・線状痕あり。
631	表採	黒色頁岩	(8.1)	6.2	2.3	180.0	基部	
632	表採	黒色頁岩	8.4	5.8	1.5	75.0	なし	刃・胴部に摩滅・線状痕、基部に摩滅あり。
633	955-995	ホルンフェルス	8.8	5.2	1.6	64.0	なし	
634	表採	黒色頁岩	(8.1)	7.8	2.3	126.0	上半部	刃・側縁部に摩滅あり。胴部に摩滅・線状痕あり。
635	表採	黒色頁岩	(7.2)	(5.5)	2.0	84.0	上半・一側縁部	胴部に摩滅あり。上半部は剥落による欠損。
636	表採	黒色頁岩	(5.4)	(6.2)	(1.6)	60.0	基・刃部	裏面に剥落あり。
637	965-975	黒色頁岩	(5.2)	6.0	1.8	57.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
638	表採	黒色頁岩	(6.0)	(4.7)	1.7	35.0	基・刃部	基・刃部は剥落による欠損。
639	960-000	黒色頁岩	(4.6)	(4.6)	1.8	39.0	上半部	胴部に摩滅あり。
640	J-45	黒色頁岩	(3.8)	4.2	2.0	30.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。
641	J-51	黒色頁岩	(3.0)	2.9	1.3	11.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。
642	J-67	ホルンフェルス	(5.6)	(5.8)	3.0	72.0	基・胴部、刃部の一部	
643	表採	黒色頁岩	7.2	4.6	2.1	75.0	なし	
644	955-985	黒色頁岩	7.2	5.8	1.8	81.0	なし	
645	935-980	黒色頁岩	7.0	4.4	1.2	31.0	なし	
646	表採	黒色頁岩	7.3	4.4	0.9	34.0	なし	
647	915-985	黒色頁岩	(5.1)	5.6	1.8	48.0	胴・刃部	
648	975-980	細粒輝石安山岩	(3.9)	3.1	1.2	19.0	胴・刃部	
649	950-010	黒色頁岩	(5.1)	(3.8)	1.8	35.0	胴・刃・一側縁部	基部に摩滅あり。
650	955-000	ホルンフェルス	(4.7)	5.0	1.7	35.0	胴・刃部	
651	955-000	黒色頁岩	(3.3)	3.4	0.9	10.0	胴・刃部	
652	915-980	黒色頁岩	(4.9)	5.0	1.1	37.0	胴・刃部	
653	930-985	黒色頁岩	(4.2)	4.6	1.7	31.0	胴・刃部	
654	925-985	黒色頁岩	(3.0)	(4.5)	0.9	12.0	基・刃部	側縁部に摩滅あり。
655	表採	変質玄武岩	(4.5)	(6.6)	2.3	84.0	基・刃部	

II区打製石斧観察表

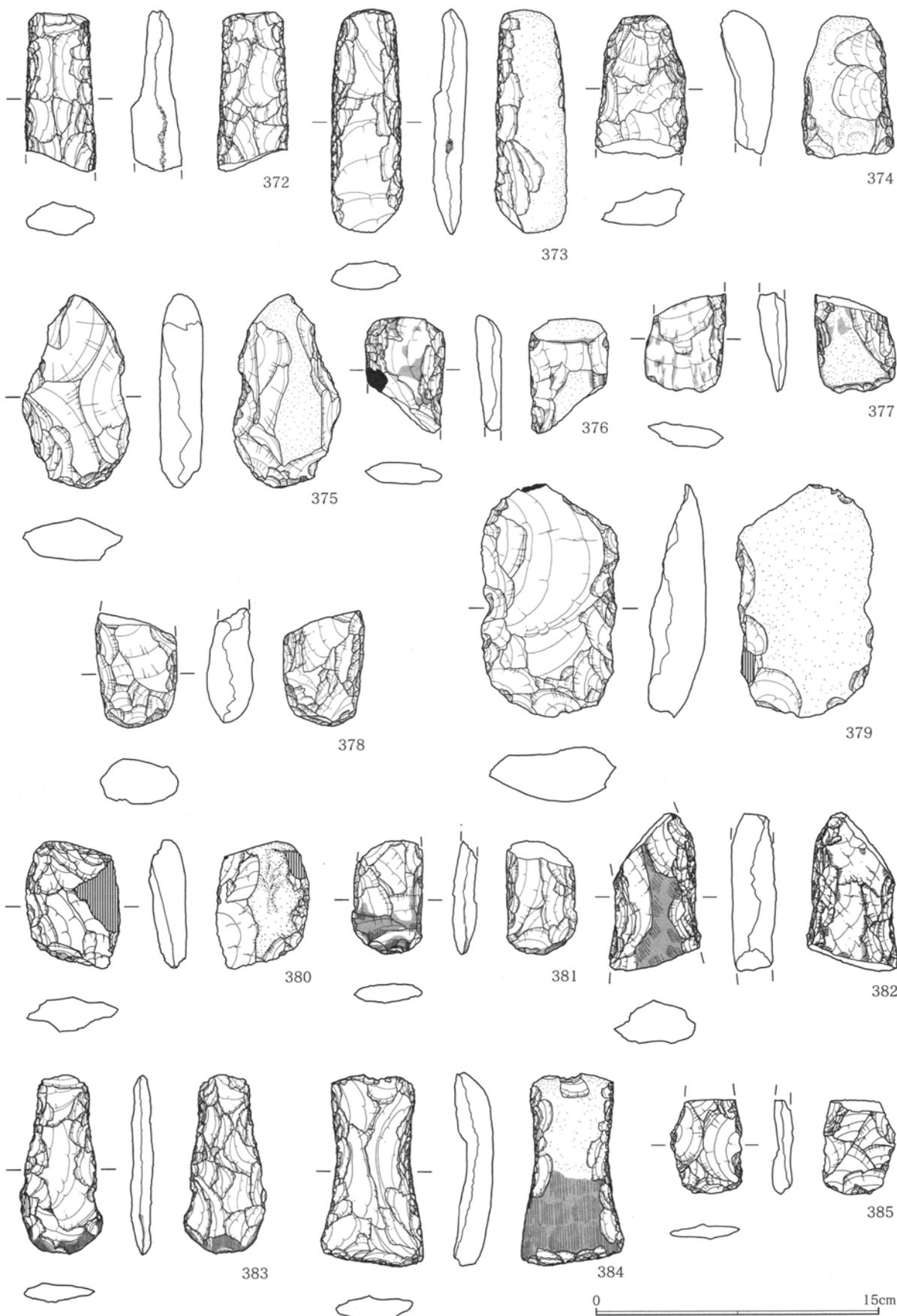
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
656	940-010	細粒輝石安山岩	(5.5)	(5.7)	1.3	45.0	基・刃部	側縁部に摩滅あり。
657	945-030	黒色頁岩	(4.0)	(7.4)	1.5	44.0	刃・一側縁部	
658	表採	細粒輝石安山岩	(5.0)	(4.8)	2.1	56.0	基・刃部	胴部・側縁部に摩滅あり。
659	表採	細粒輝石安山岩	(4.1)	5.6	0.9	24.0	基・刃部	胴部に摩滅あり。
660	920-980	黒色頁岩	(4.5)	6.0	1.7	52.0	基・胴部	
661	表採	黒色頁岩	(8.1)	7.1	3.0	188.0	上半部	
662	950-975	黒色頁岩	(7.0)	7.4	2.5	140.0	上半部	
663	表採	黒色頁岩	(6.6)	7.9	2.1	99.0	基・胴部	
664	940-000	黒色頁岩	(7.2)	6.6	1.6	89.0	上半部	
665	975-020	ホルンフェルス	(6.2)	6.0	1.7	89.0	基部	
666	940-995	黒色頁岩	(6.3)	(5.0)	1.6	63.0	基・両側縁部	刃部に摩滅・線状痕あり。
667	925-985	黒色頁岩	(4.3)	(4.0)	(0.9)	16.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃部に摩滅面を切る剥離面あり。
668	945-015	黒色頁岩	(3.8)	5.0	1.0	20.0	基・胴部	刃部に摩滅あり。
669	955-000	黒色頁岩	(3.1)	(3.8)	1.0	12.0	基・胴部	
670	920-995	黒色頁岩	(5.2)	(4.3)	(1.1)	28.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕、側縁部に摩滅あり。裏面剥落あり。
671	945-975	変質玄武岩	(5.5)	(5.7)	2.0	75.0	基・胴・一側縁部	刃部に摩滅あり。
672	表採	黒色頁岩	(7.4)	(4.5)	2.3	89.0	上半部縦割れ、下半部	折断加工。
673	975-970	黒色頁岩	(3.9)	(3.9)	(0.7)	12.0	基・胴部、刃部の一部	刃部に摩滅・線状痕あり。
674	J-5	黒色頁岩	(4.9)	5.3	1.4	54.0	上半部	刃部に摩滅・線状痕あり。折れ面を切る剥離面あり。
675	J-51	黒色頁岩	(5.9)	4.6	2.8	74.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
676	J-76	黒色頁岩	(6.1)	3.6	1.9	45.0	基部	折れ面を切る剥離面あり。
677	表採	細粒輝石安山岩	(9.8)	6.1	1.9	146.0	基部	折れ面を切る剥離面あり。
678	970-980	細粒輝石安山岩	(9.6)	4.9	2.4	156.0	刃部	基・胴・側縁部に摩滅あり。折れ面を切る剥離面あり。
679	935-010	黒色頁岩	(6.1)	5.6	1.2	54.0	基部	折れ面を切る剥離面あり。
680	945-985	黒色頁岩	(6.2)	6.9	2.2	109.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
681	935-010	ホルンフェルス	(5.6)	7.1	1.7	98.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
682	935-040	黒色頁岩	(4.4)	4.7	1.4	39.0	基・胴部	刃部に摩滅・線状痕あり。刃・側縁部に摩滅面を切る剥離面あり。折れ面を切る剥離面あり。
683	940-995	黒色頁岩	(3.9)	4.1	1.9	38.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
684	935-010	黒色頁岩	(3.2)	3.6	1.0	13.0	胴・刃部	折れ面を切る剥離面あり。
685	920-985	細粒輝石安山岩	(6.0)	5.4	2.6	99.0	上半部	刃・胴部に摩滅あり。折れ面を切る剥離面あり。
686	960-030	黒色頁岩	(7.2)	5.2	2.0	80.0	基部	折れ面を切る剥離面あり。
687	表採	細粒輝石安山岩	(5.7)	5.8	1.4	63.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
688	表採	細粒輝石安山岩	(6.0)	4.9	1.2	47.0	上半部	刃・側縁部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。折れ面を切る剥離面あり。
689	940-015	黒色頁岩	(5.0)	3.9	2.3	72.0	刃・基部	胴部に摩滅あり。折れ面を切る剥離面あり。
690	表採	細粒輝石安山岩	(6.3)	4.2	1.3	52.0	基部	刃部に摩滅・線状痕、胴部に摩滅あり。折れ面を切る剥離面あり。
691	表採	黒色頁岩	(6.3)	3.5	1.9	48.0	下半部	折れ面を切る剥離面あり。正面に剥落あり。
692	940-005	細粒輝石安山岩	(6.4)	(4.2)	1.5	51.0	基・刃部、胴部縦割れ	胴部に摩滅・線状痕あり。折れ面を切る剥離面あり。
693	935-015	黒色頁岩	(5.6)	5.1	1.2	41.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
694	920-990	黒色頁岩	(5.2)	4.5	2.0	55.0	基部	折れ面を切る剥離面あり。
695	980-015	細粒輝石安山岩	(5.2)	6.0	1.2	39.0	上半部	刃・胴部に摩滅・線状痕あり。折れ面を切る剥離面あり。
696	955-980	黒色頁岩	(5.1)	3.7	2.0	39.0	上半部	折れ面を切る剥離面あり。
697	940-005	黒色頁岩	(4.1)	5.8	2.0	58.0	基・胴部	折断加工。折れ面を切る剥離面あり。
698	940-000	黒色頁岩	(4.5)	4.2	1.4	37.0	基・刃部	胴部に摩滅あり。折れ面を切る剥離面あり。
699	945-935	黒色頁岩	(4.2)	4.2	1.4	30.0	下半部	刃部に摩滅・線状痕あり。折れ面を切る剥離面あり。



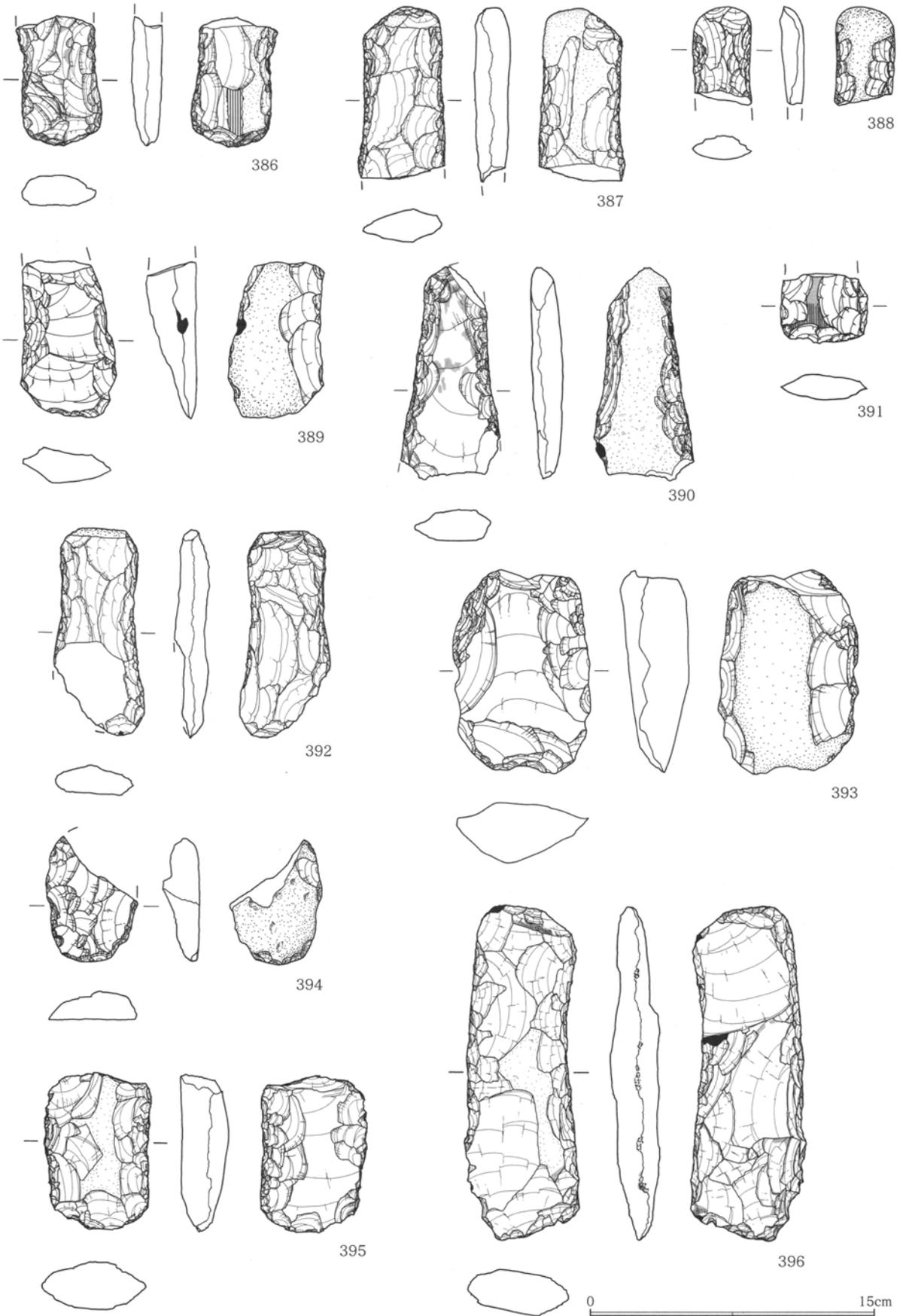
第272图 II区出土打製石斧(1)



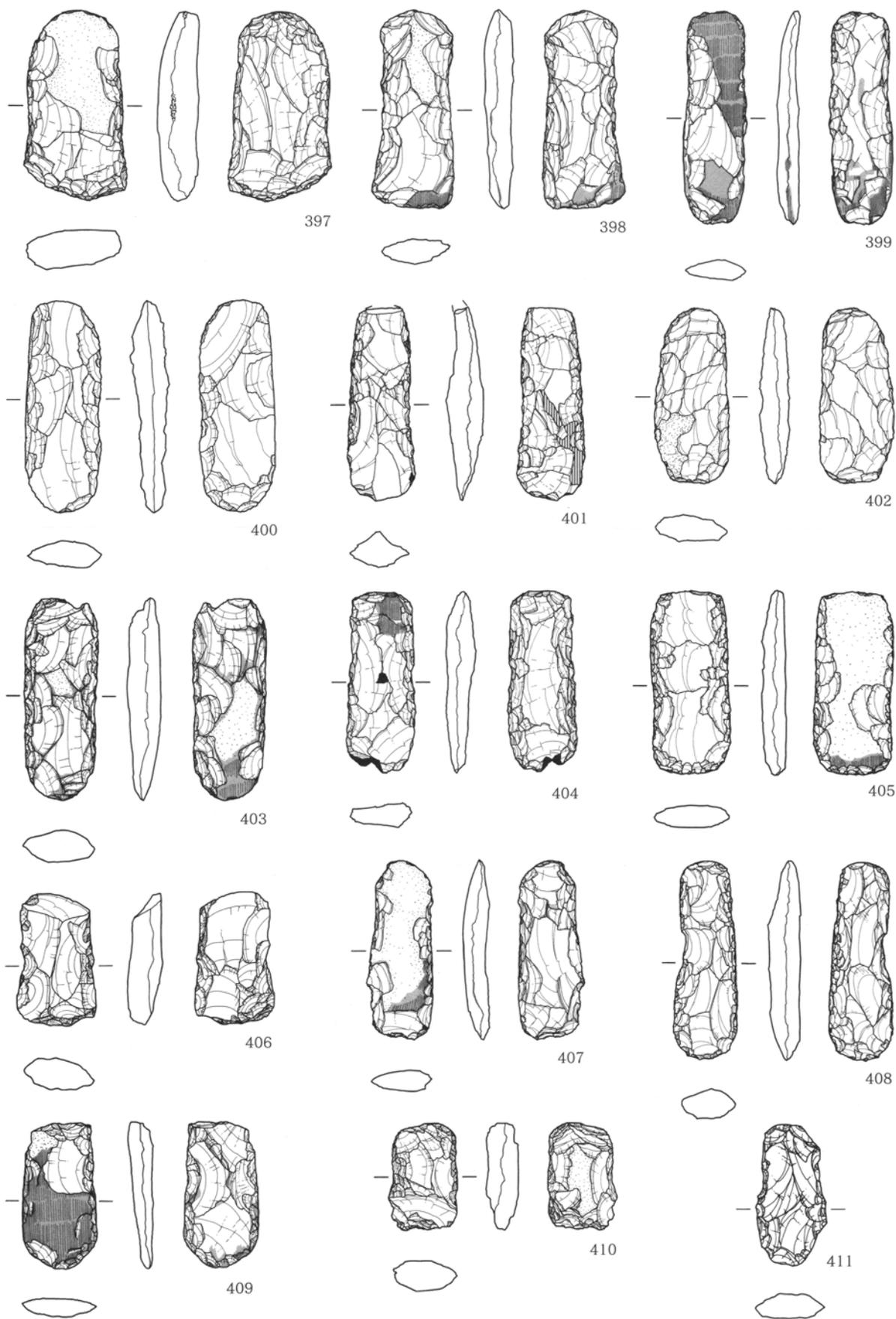
第273圖 II区出土打製石斧(2)



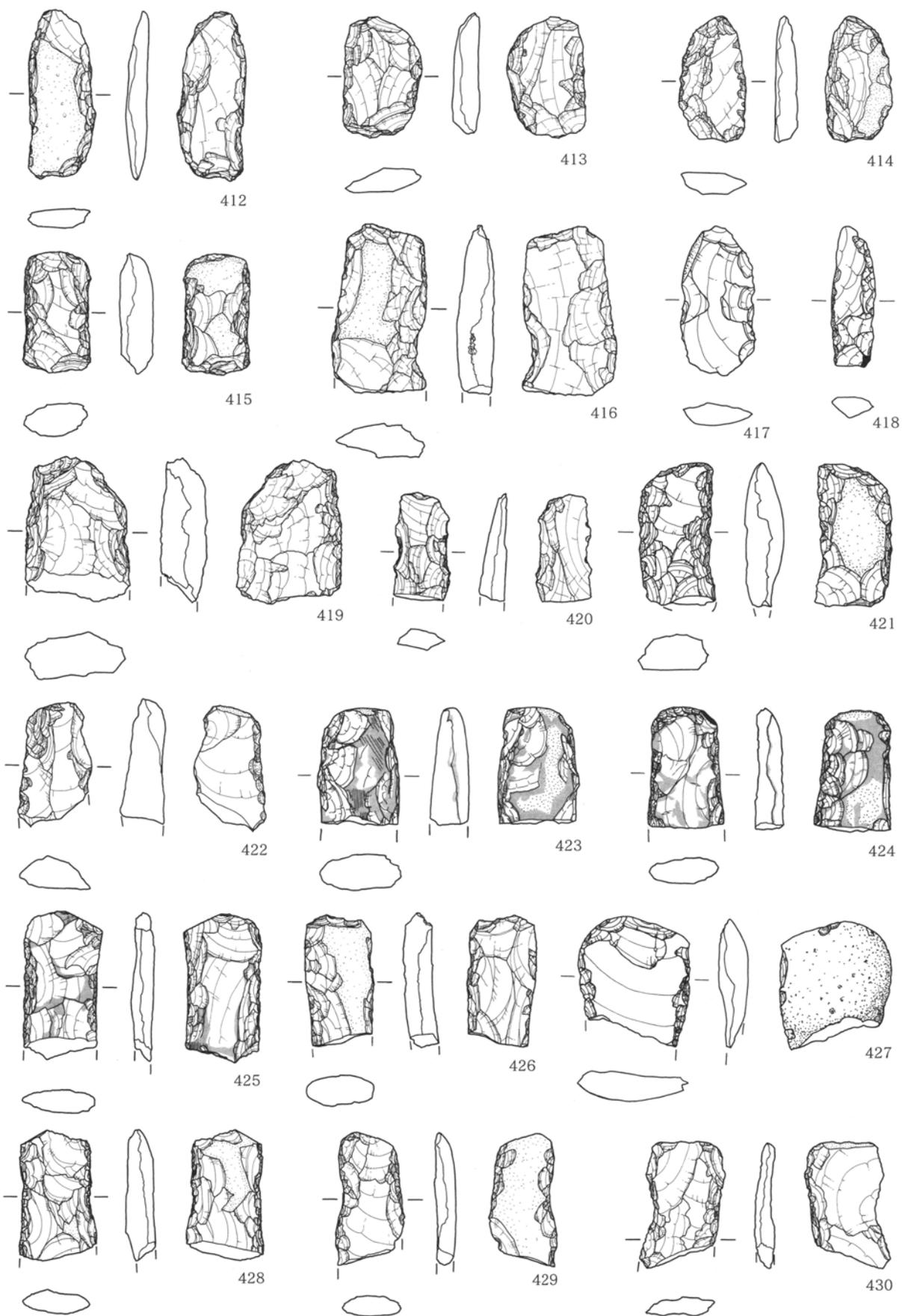
第274图 II区出土打製石斧(3)



第275图 II区出土打製石斧(4)

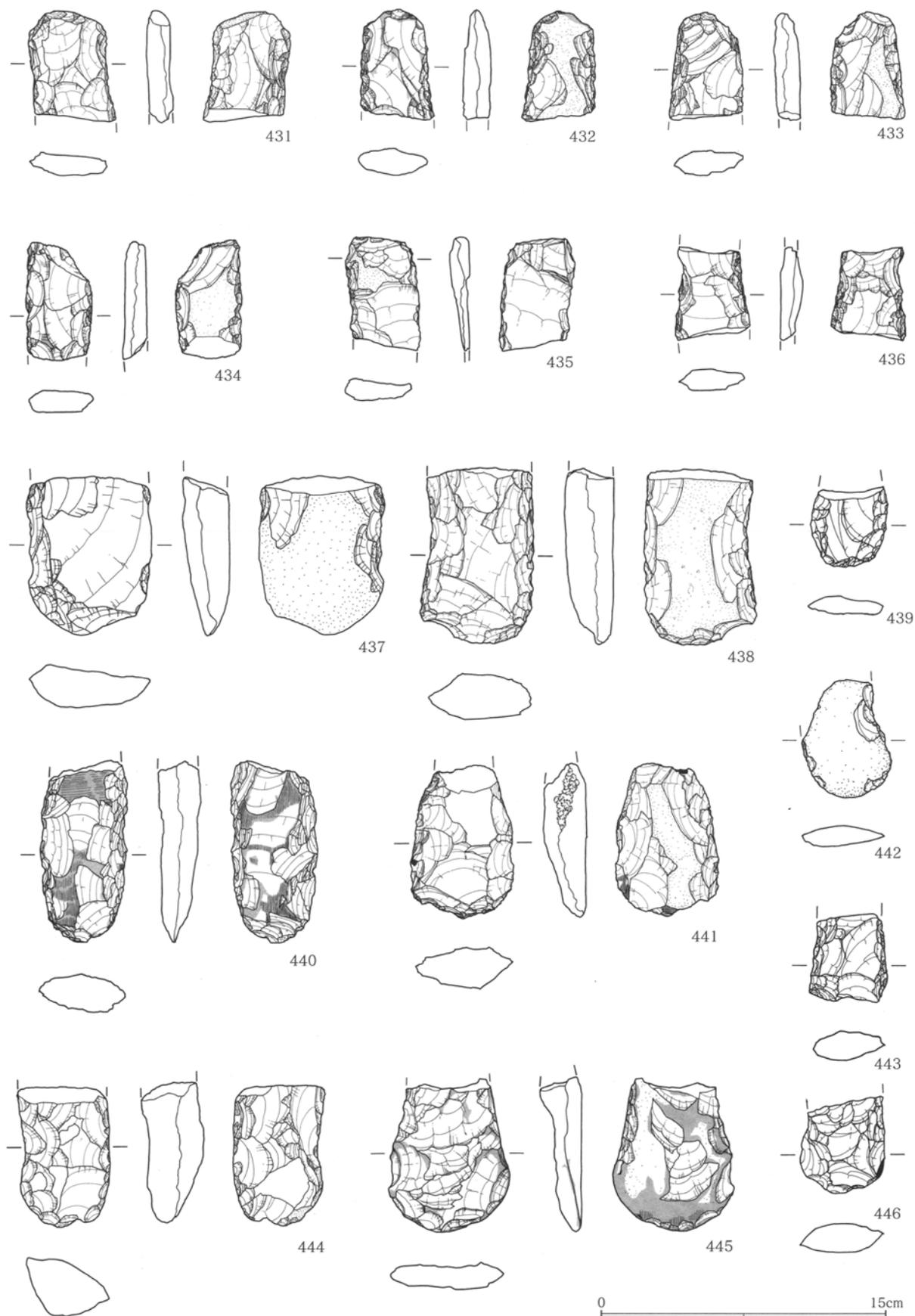


第276図 II区出土打製石斧(5)

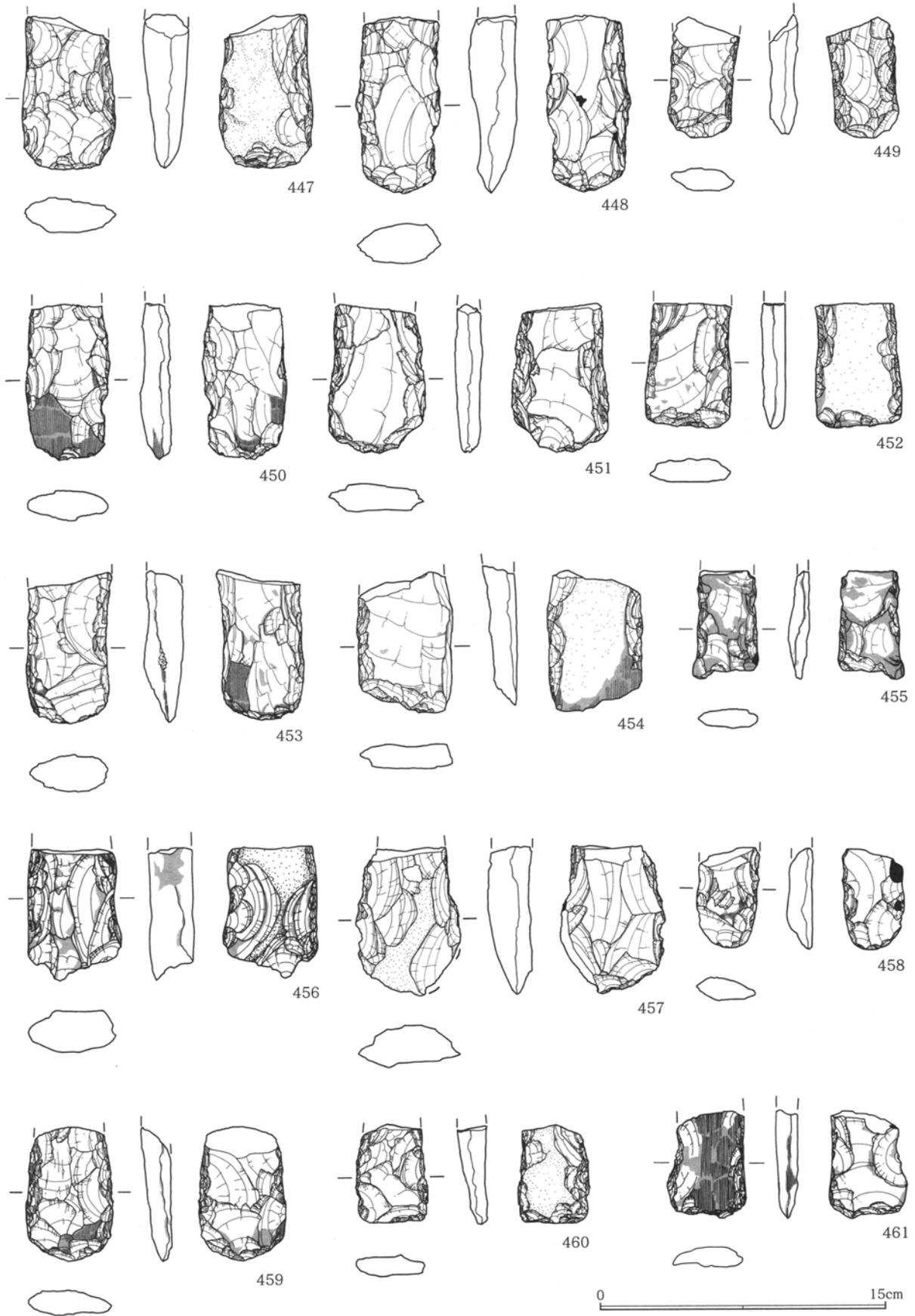


第277图 II区出土打製石斧(6)

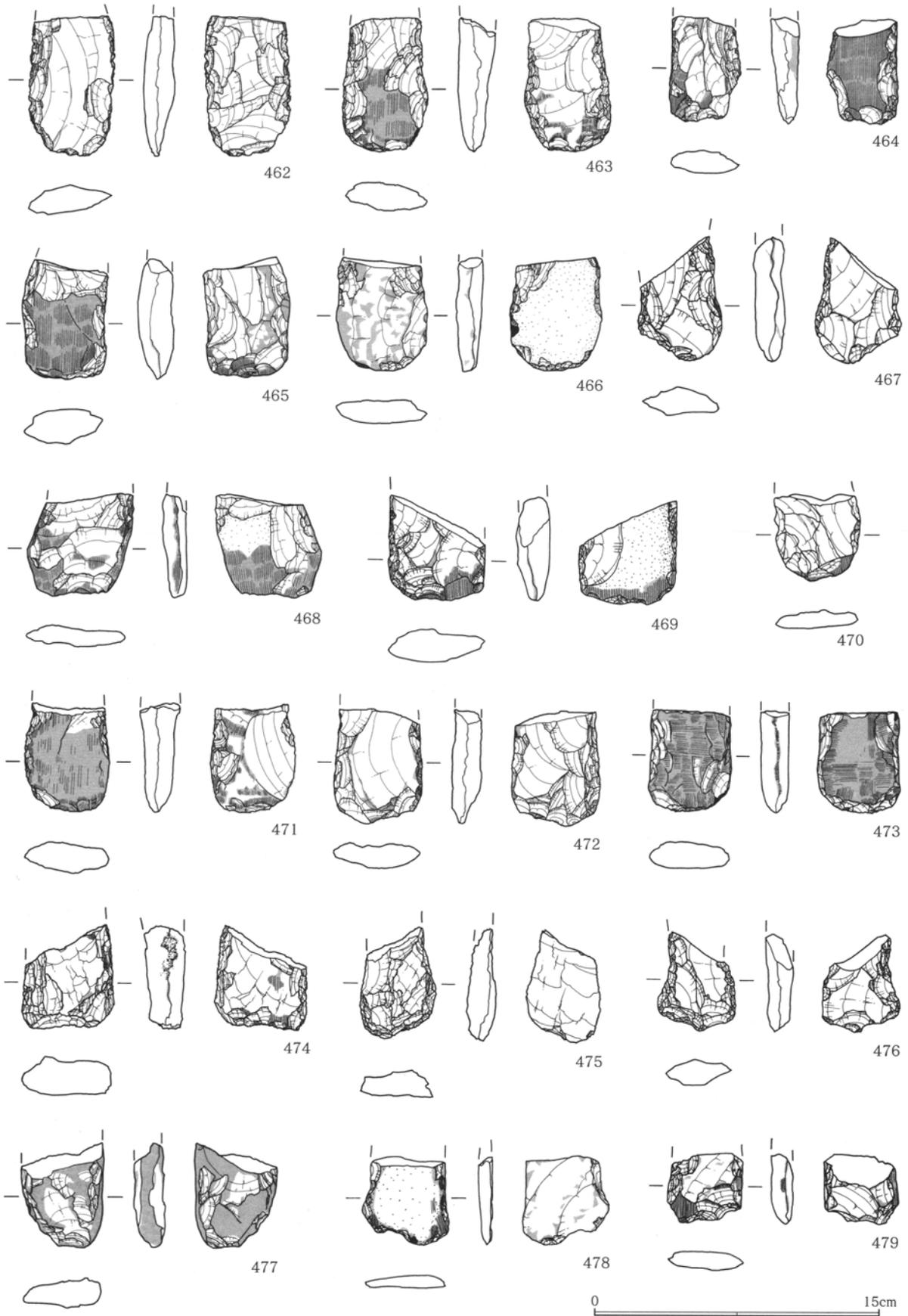
0 15cm  
431



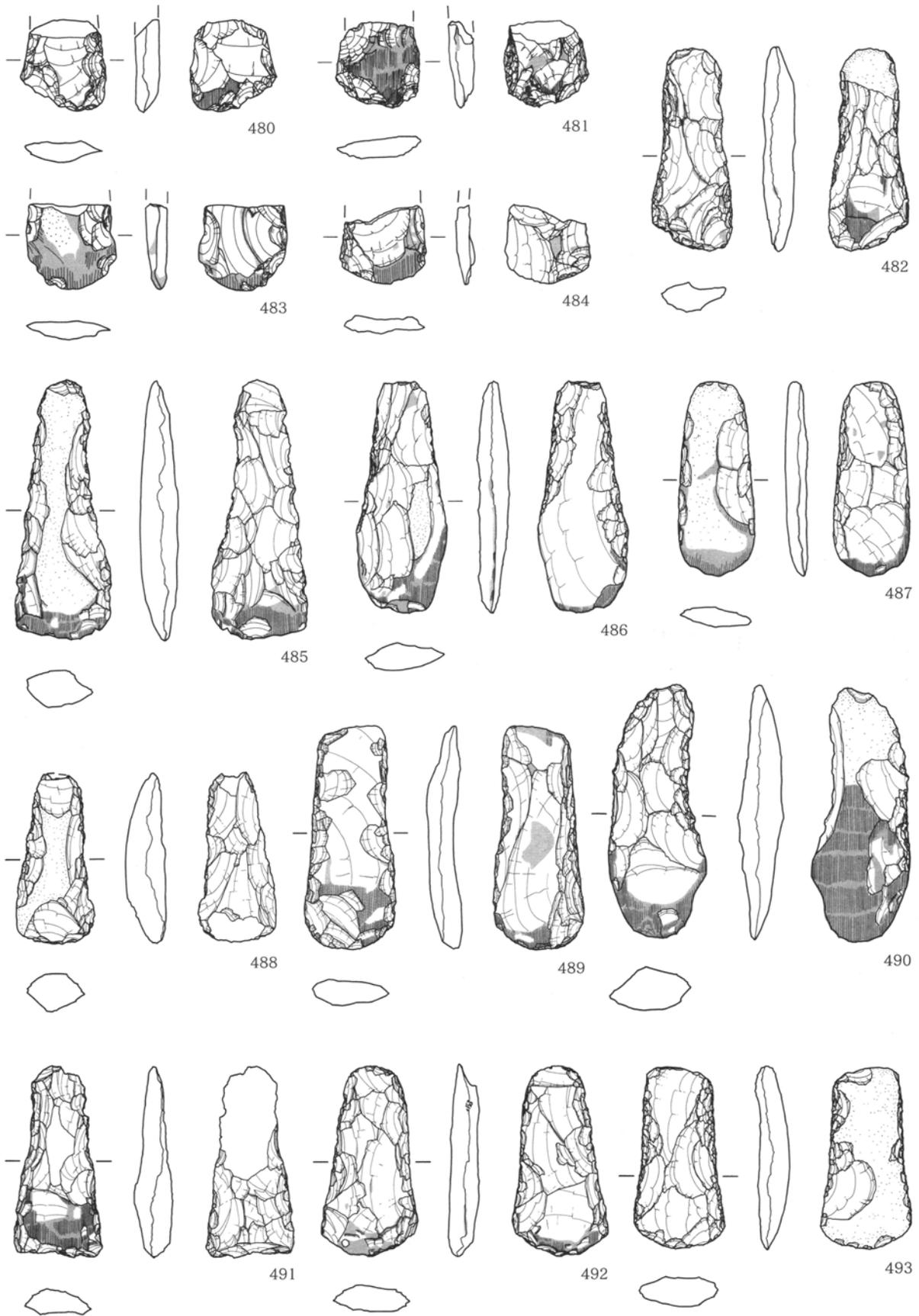
第278图 II区出土打製石斧(7)



第279圖 II区出土打製石斧(8)



第280图 II区出土打製石斧(9)

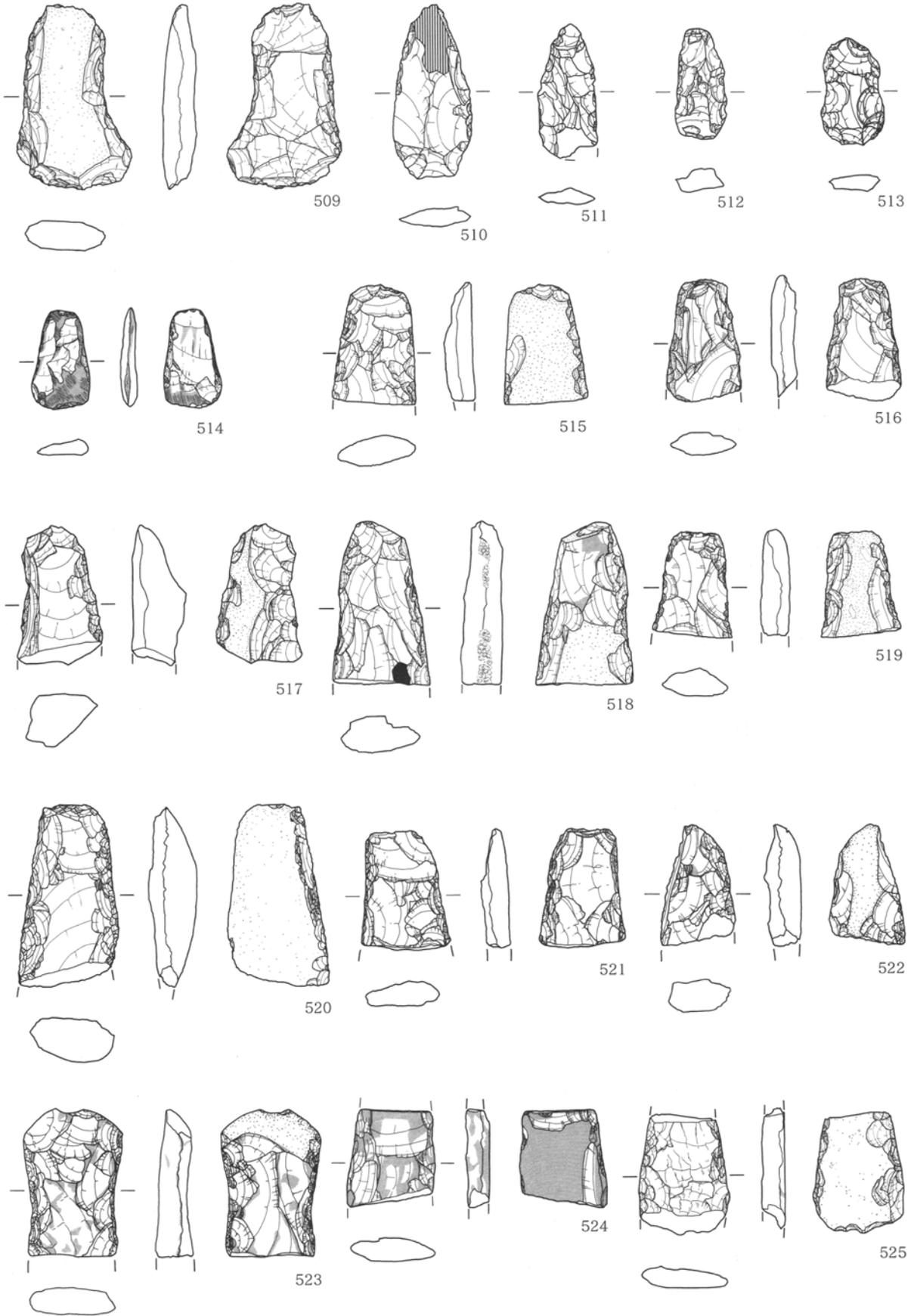


第281图 II区出土打製石斧 (10)

0 15cm

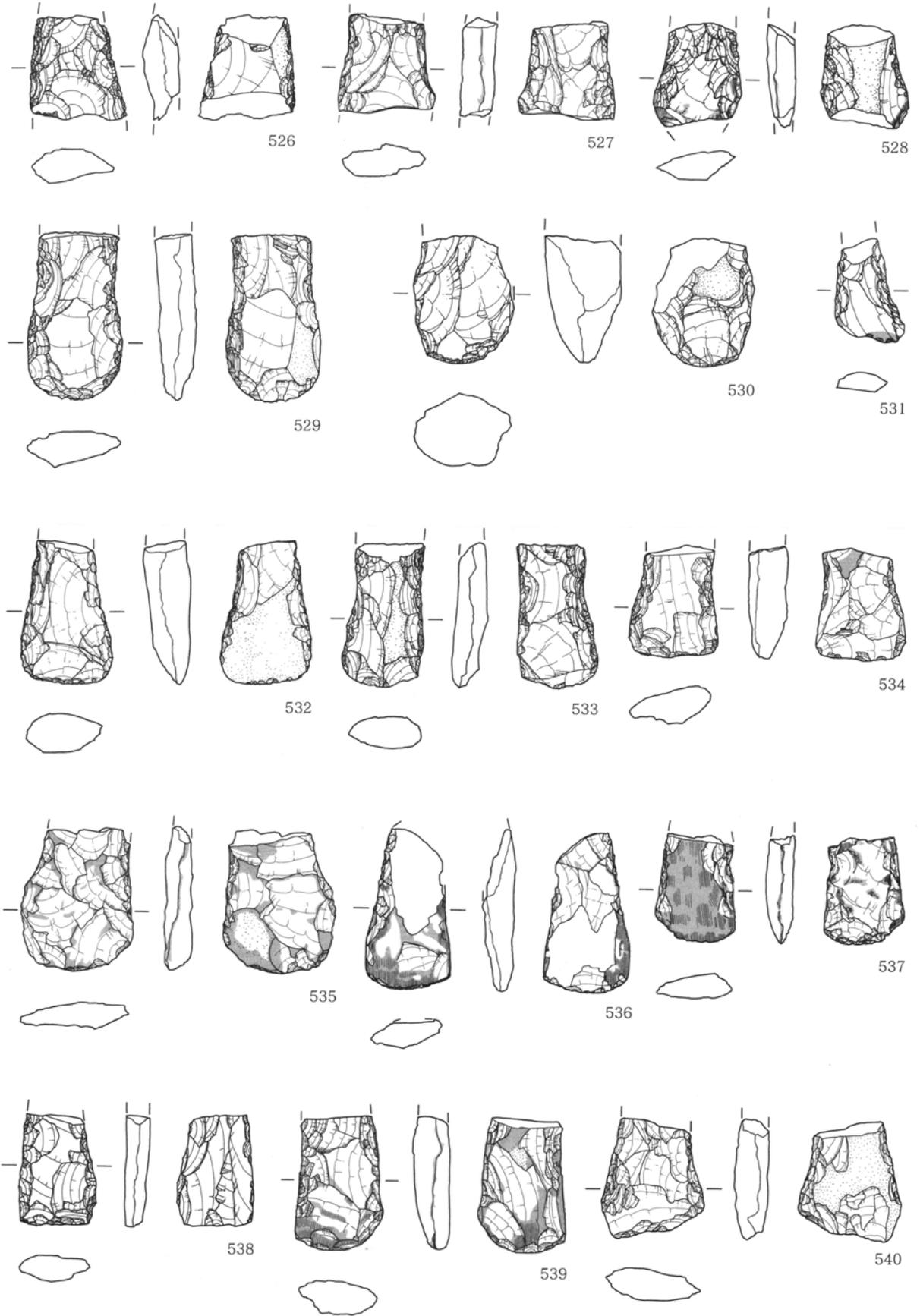


第282图 II区出土打製石斧 (11) 0 15cm



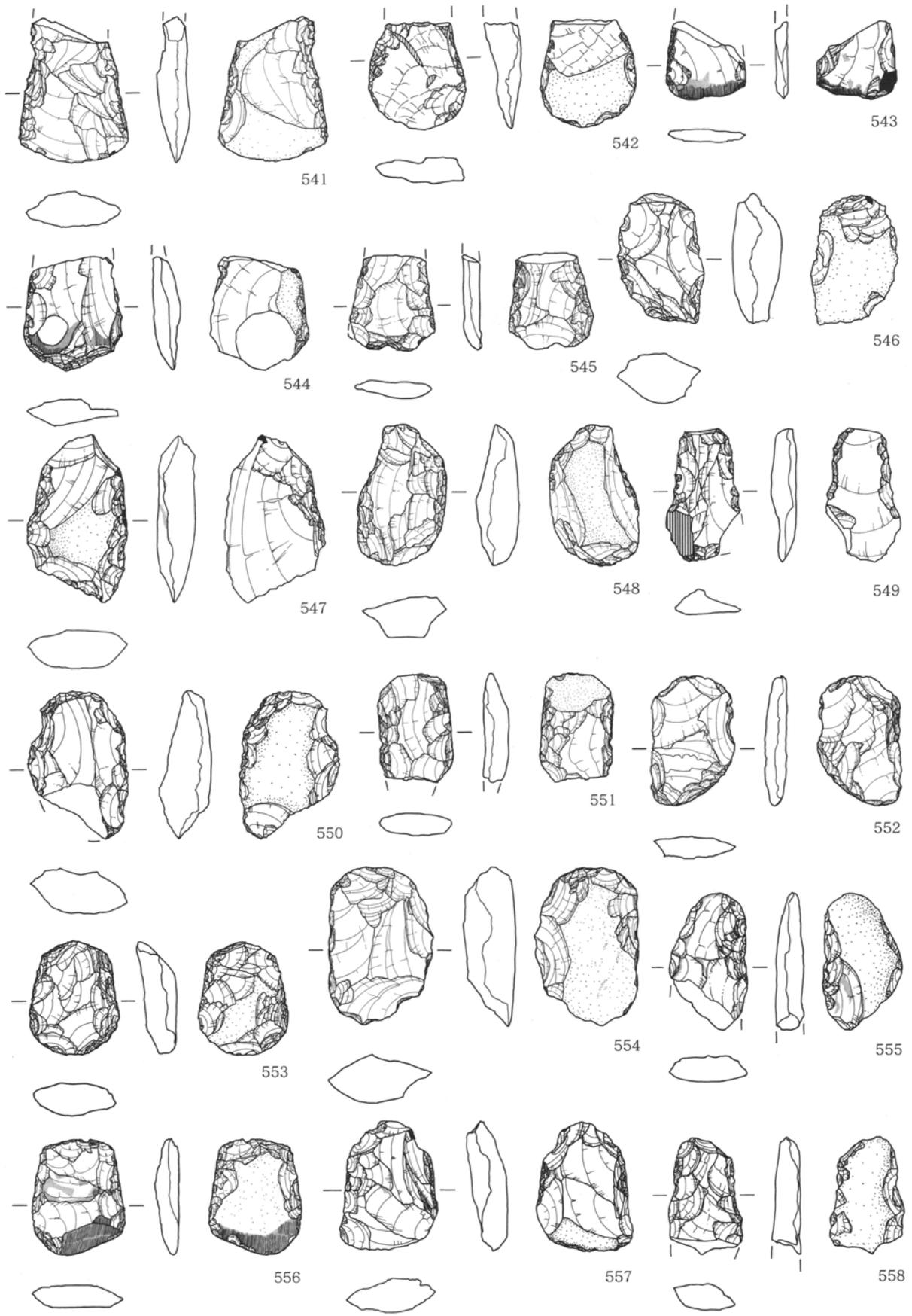
第283圖 II区出土打製石斧 (12)

0 15cm

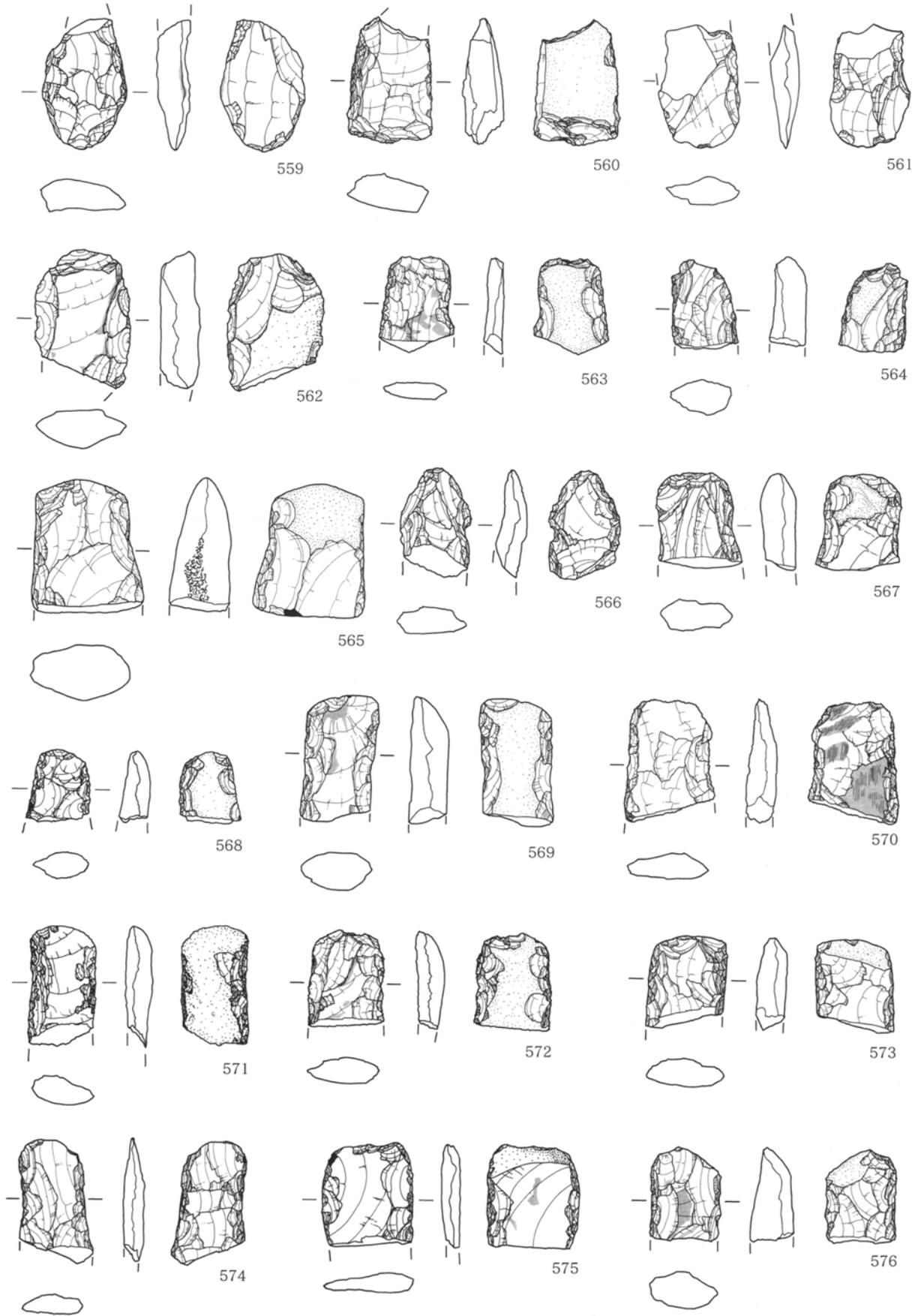


第284圖 II区出土打製石斧 (13)

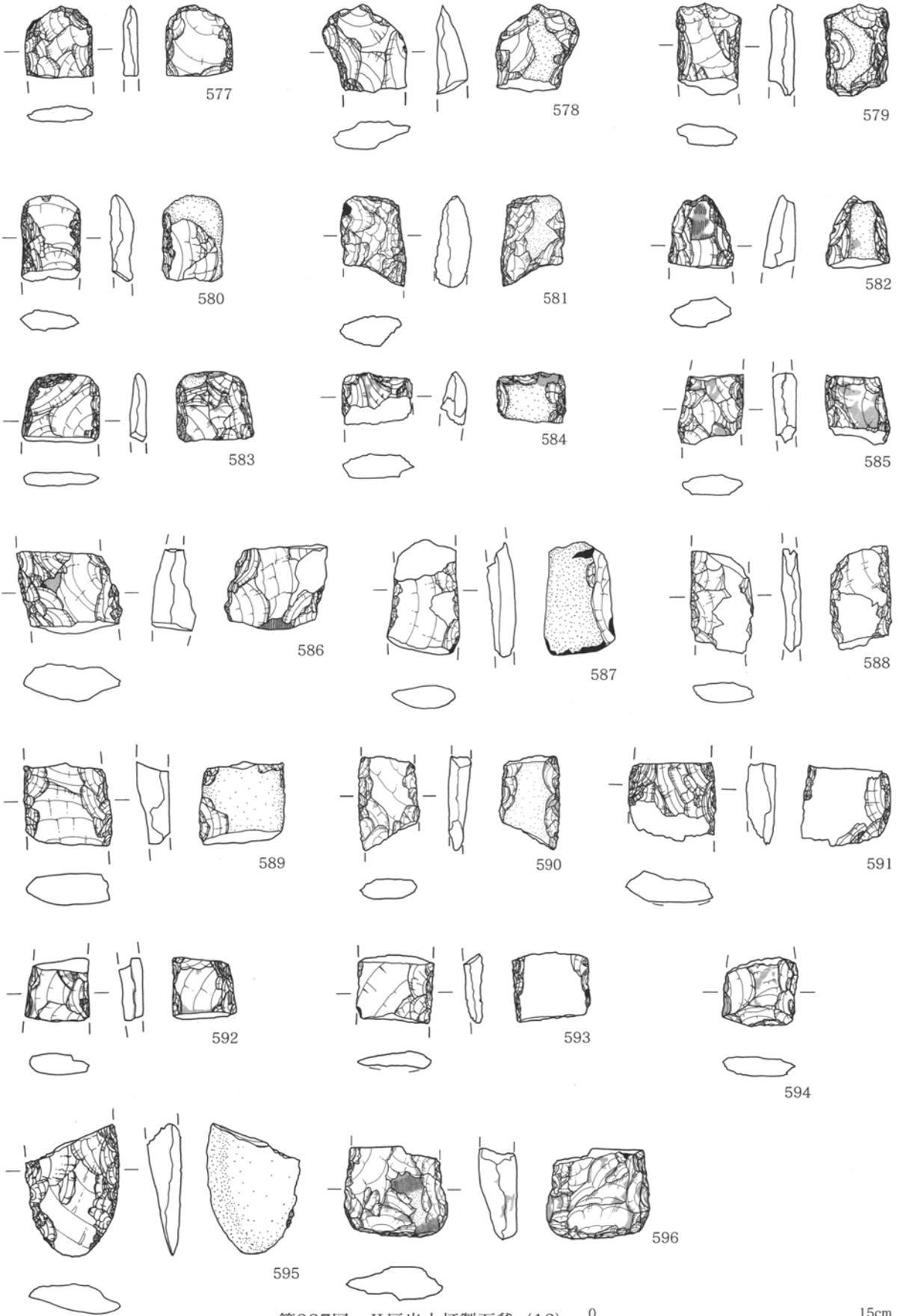
0 15cm



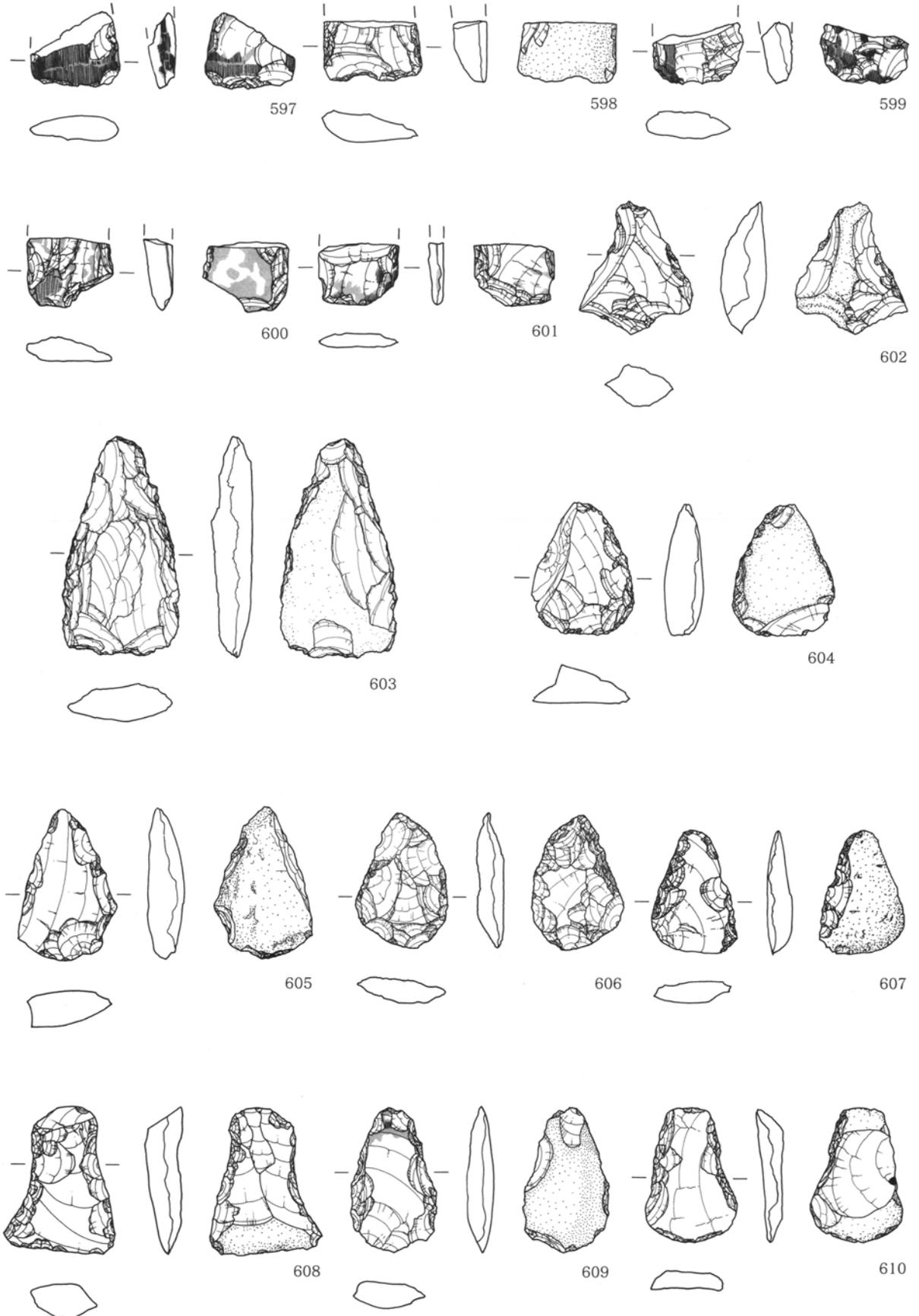
第285圖 II区出土打製石斧 (14)



第286图 II区出土打製石斧 (15)

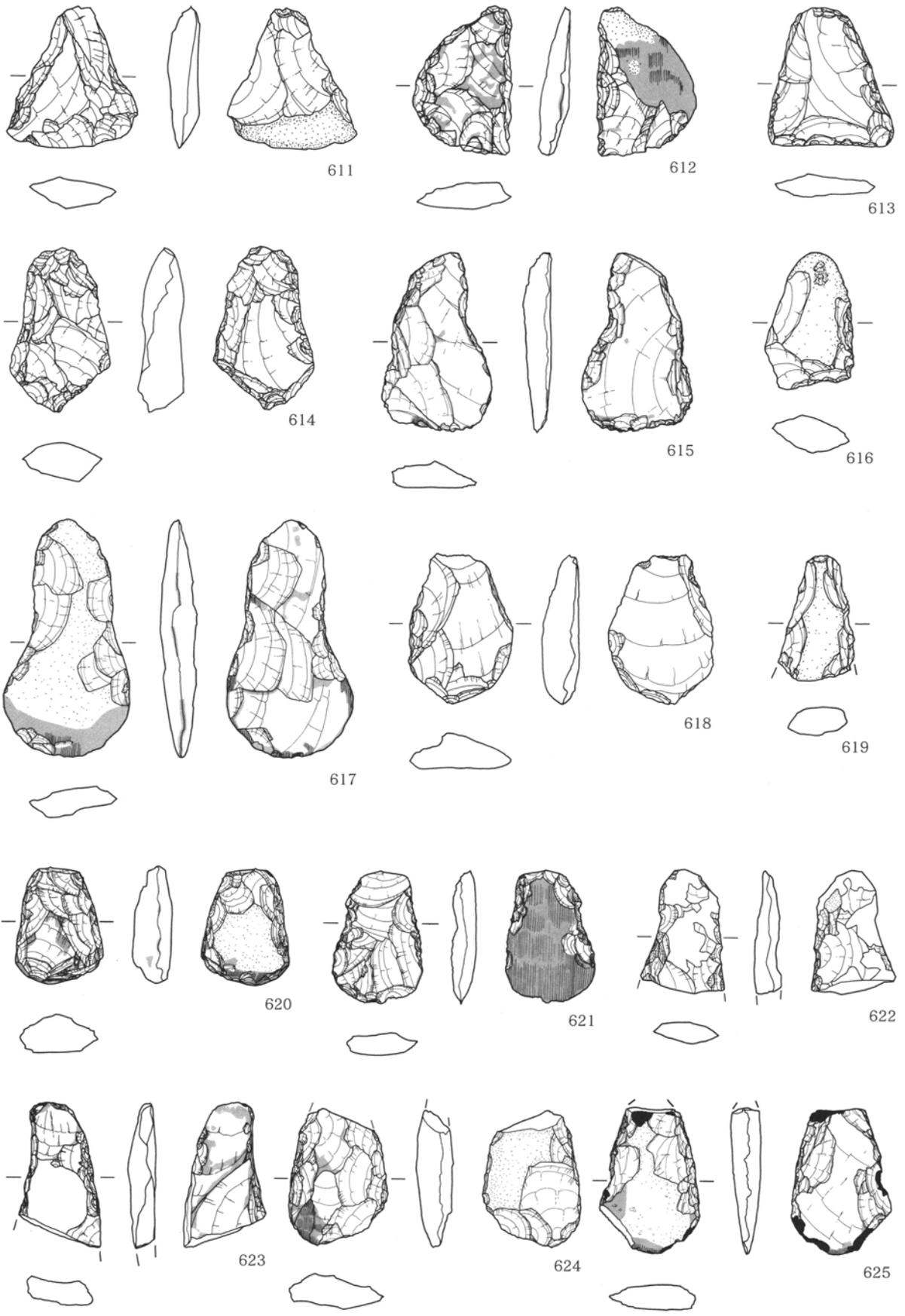


第287圖 II区出土打製石斧 (16) 0 15cm

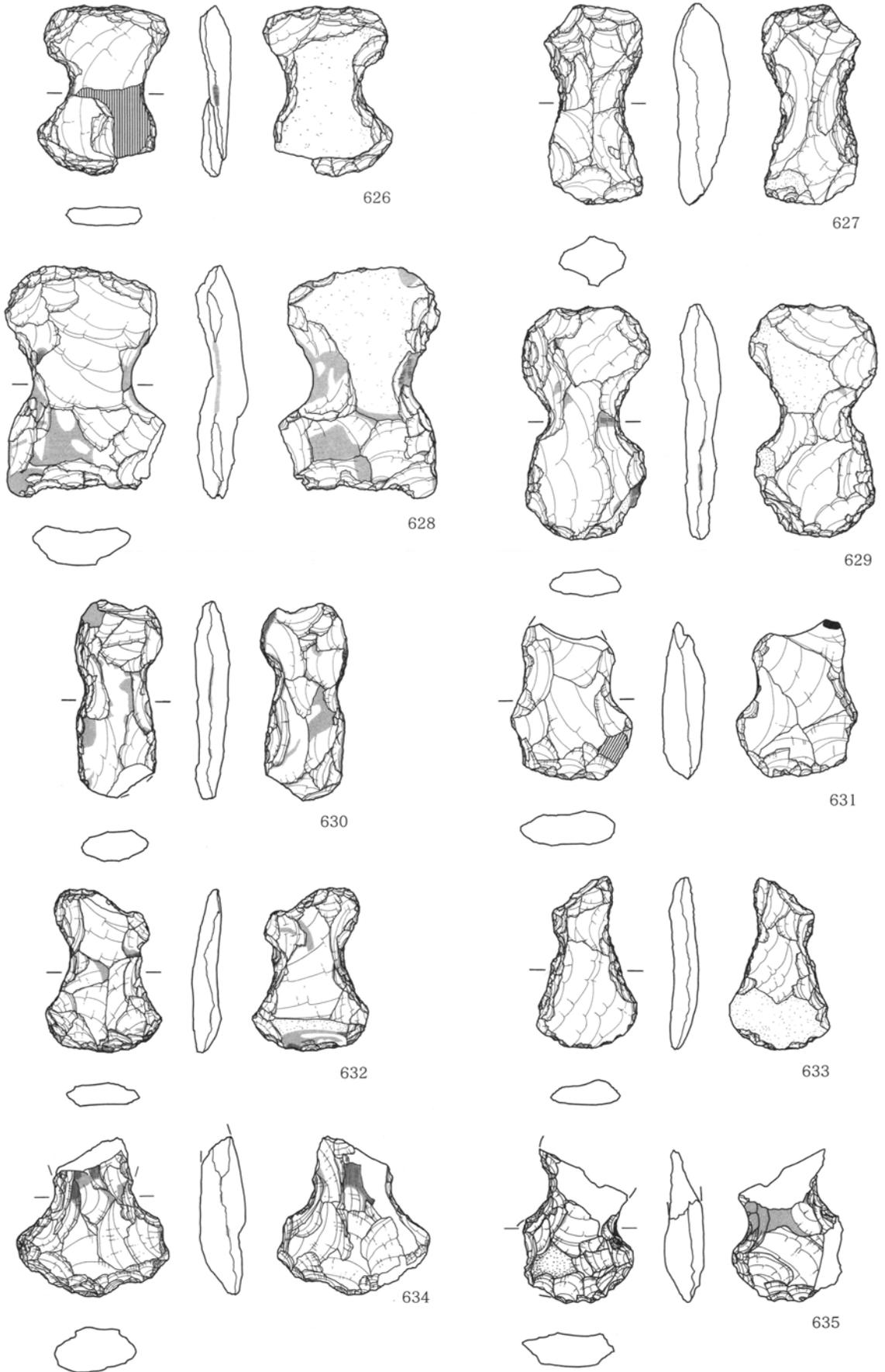


第288圖 II区出土打製石斧 (17)

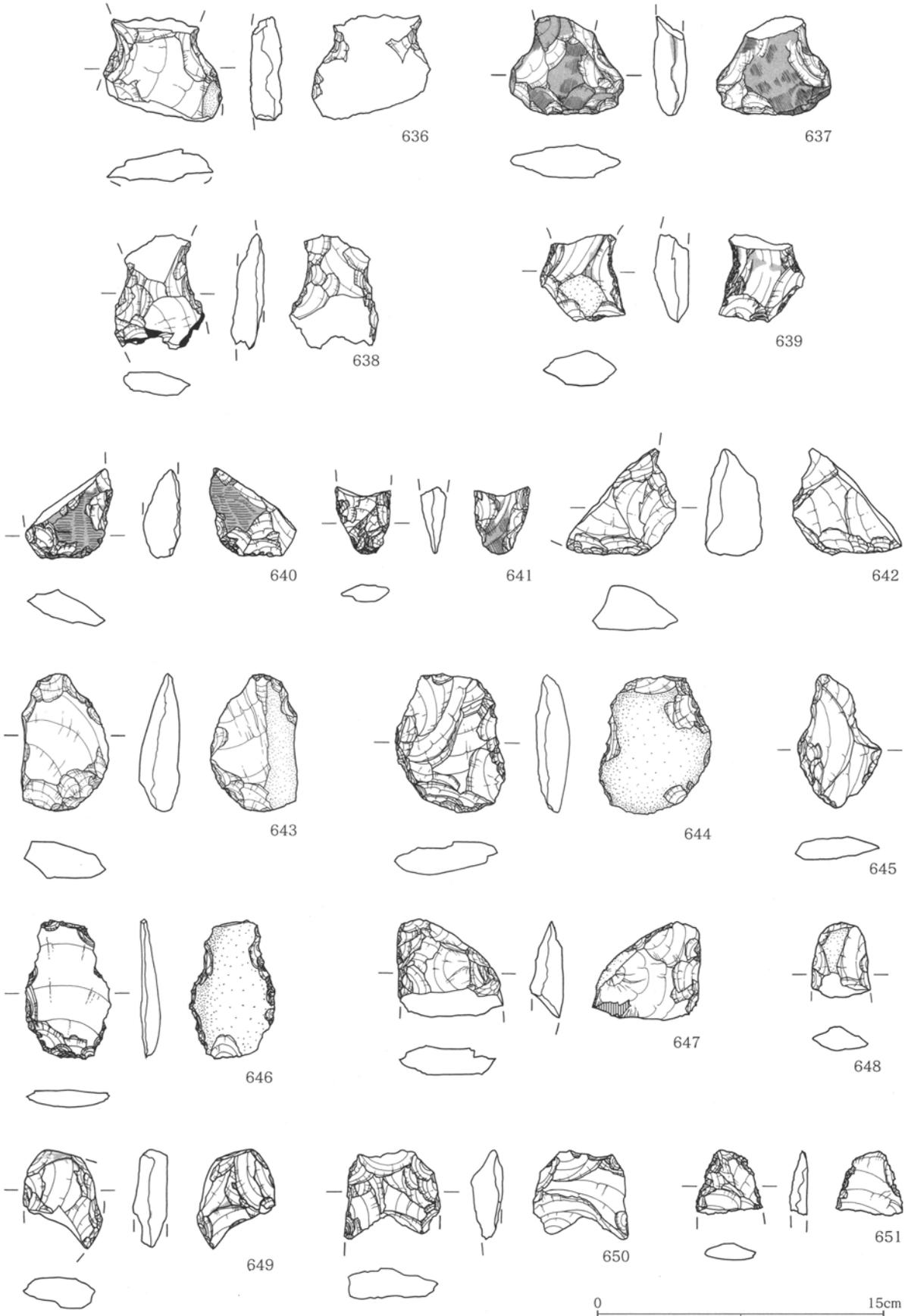
0 15cm



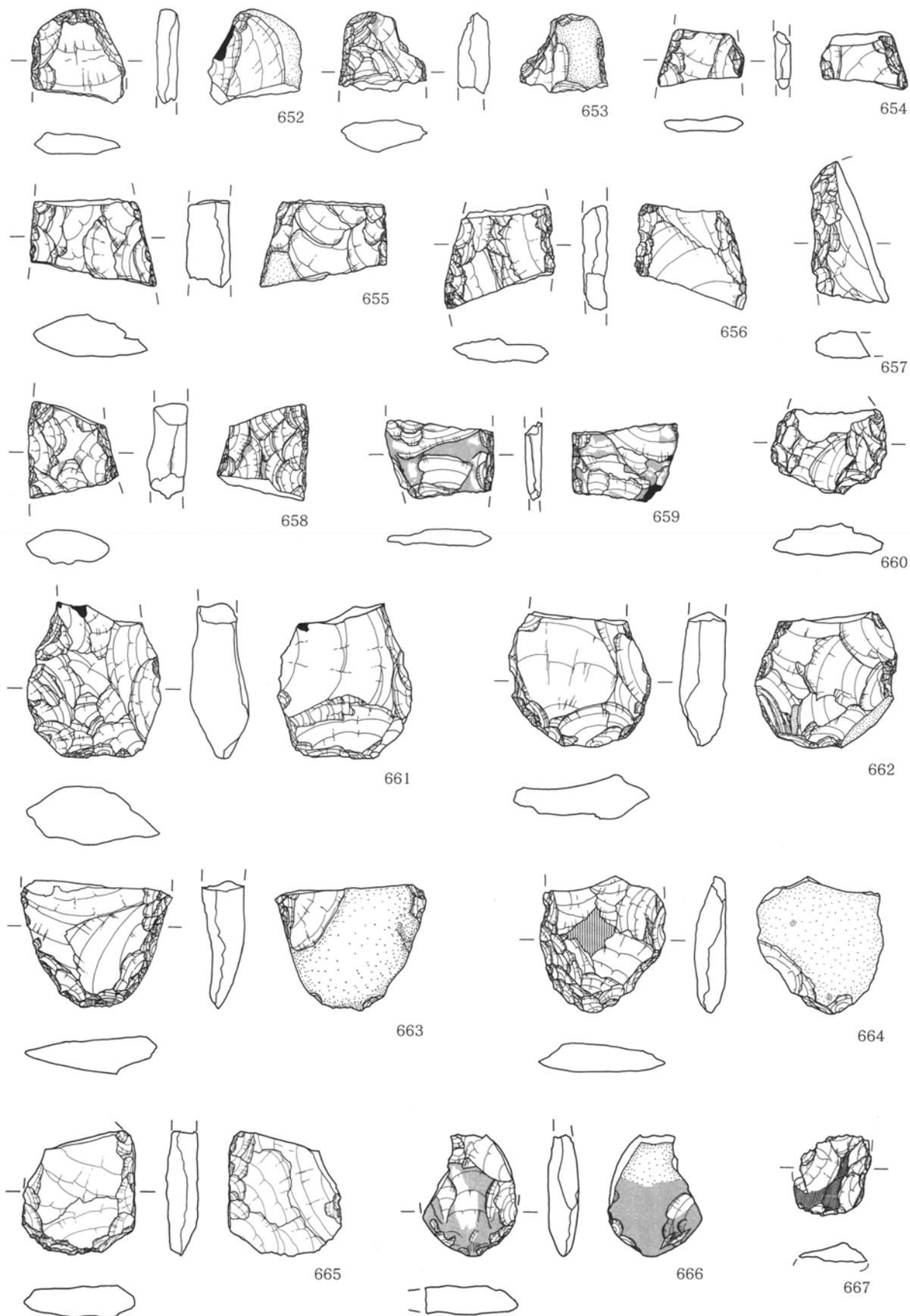
第289圖 II区出土打製石斧 (18) 0 15cm



第290図 II区出土打製石斧 (19) 0 15cm

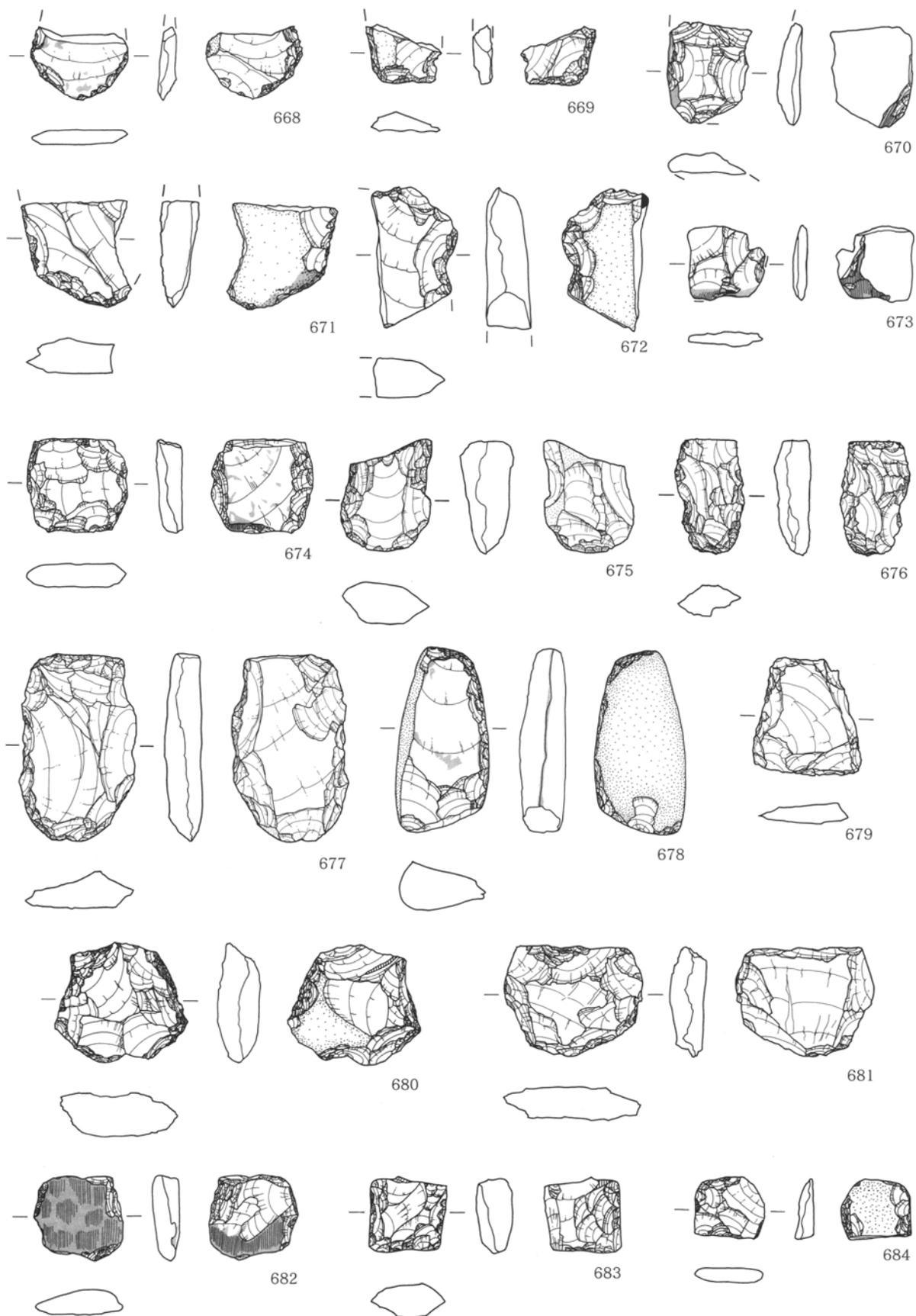


第291圖 II区出土打製石斧 (20)



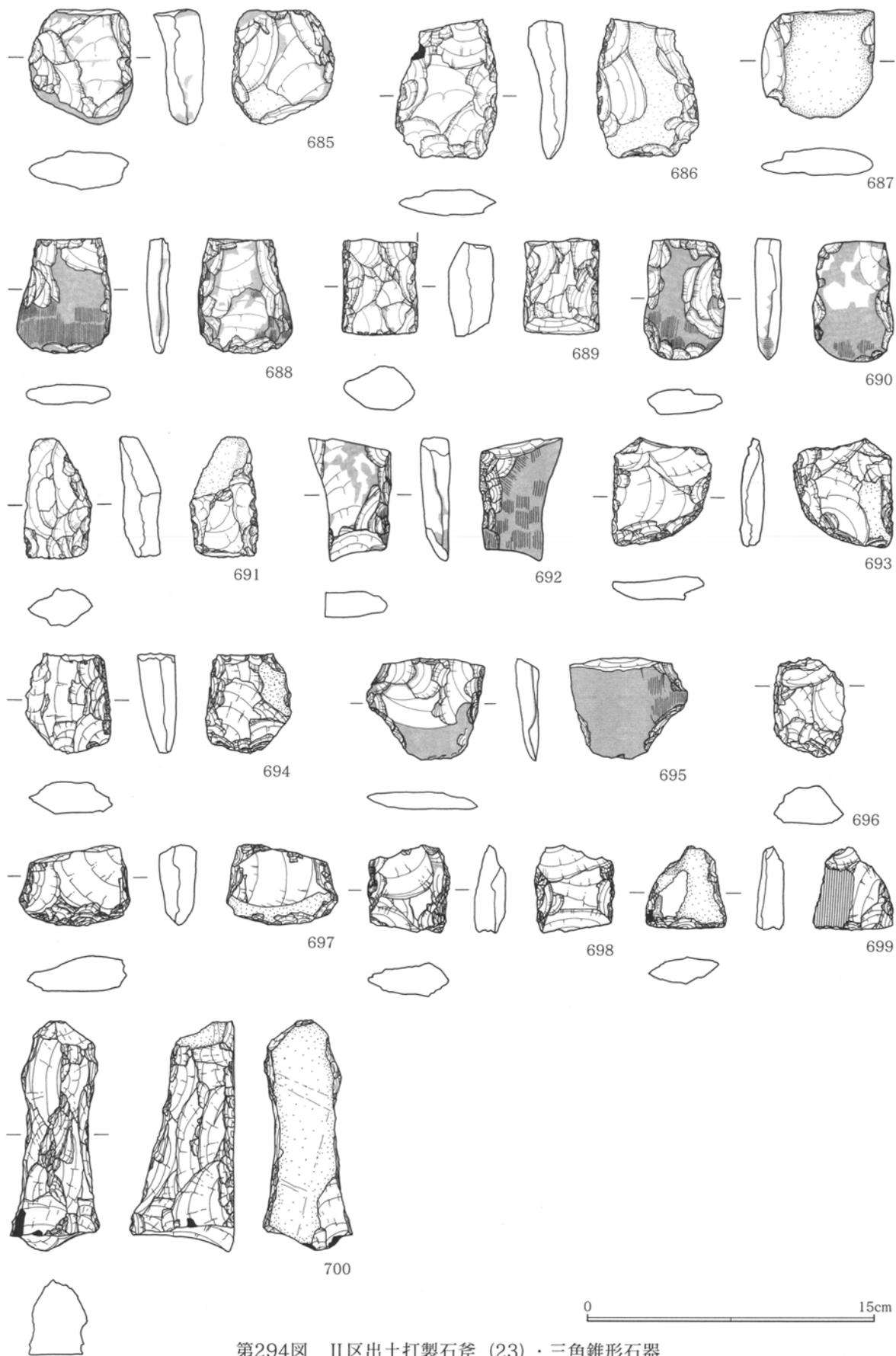
第292图 II区出土打製石斧 (21)

0 15cm

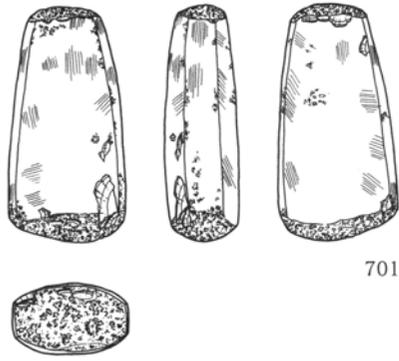


第293圖 II区出土打製石斧 (22)

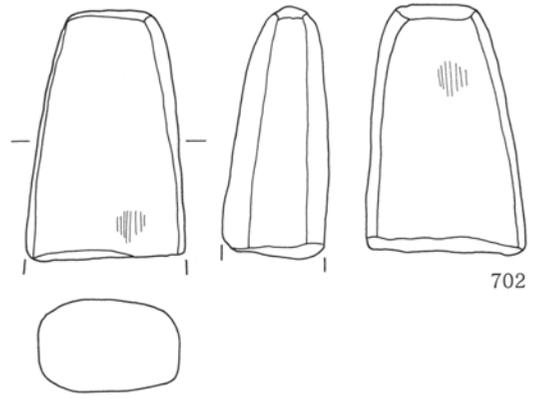
0 15cm



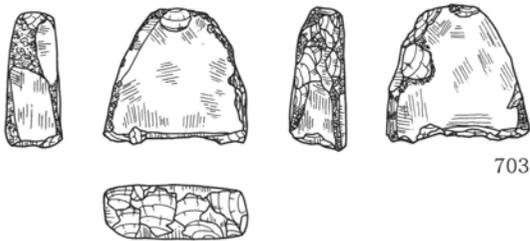
第294図 II区出土打製石斧(23)・三角錐形石器



701



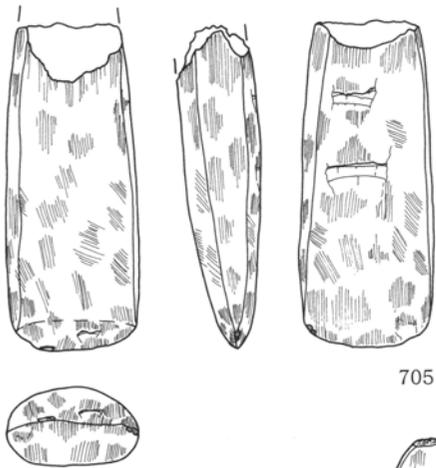
702



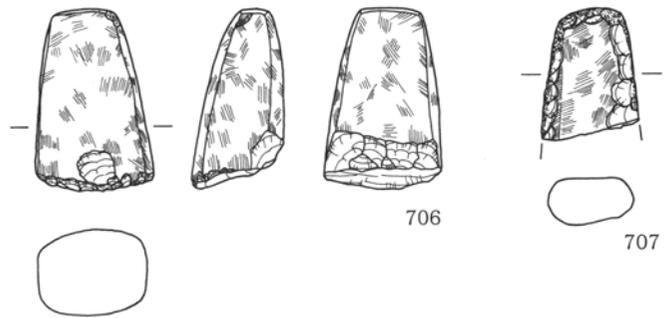
703



704

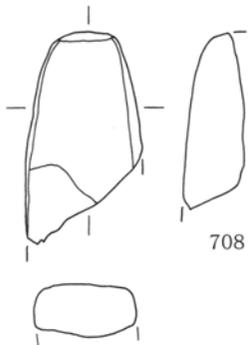


705

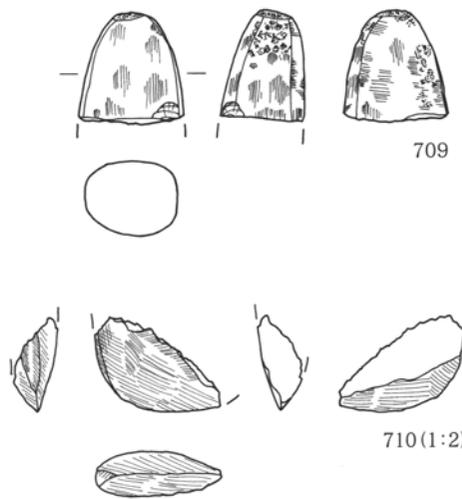


706

707

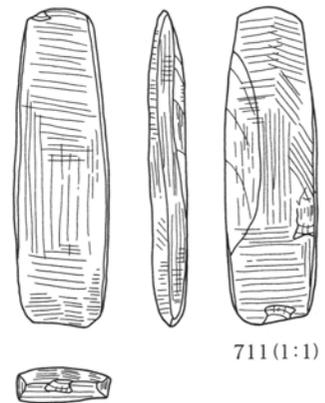


708



709

710(1:2)



711(1:1)



第295圖 II区出土磨製石斧

第4章 出土遺物

II区三角錐形石器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
700	表採	黒色頁岩	11.9	4.6	5.4	308.0	なし	

II区磨製石斧観察表

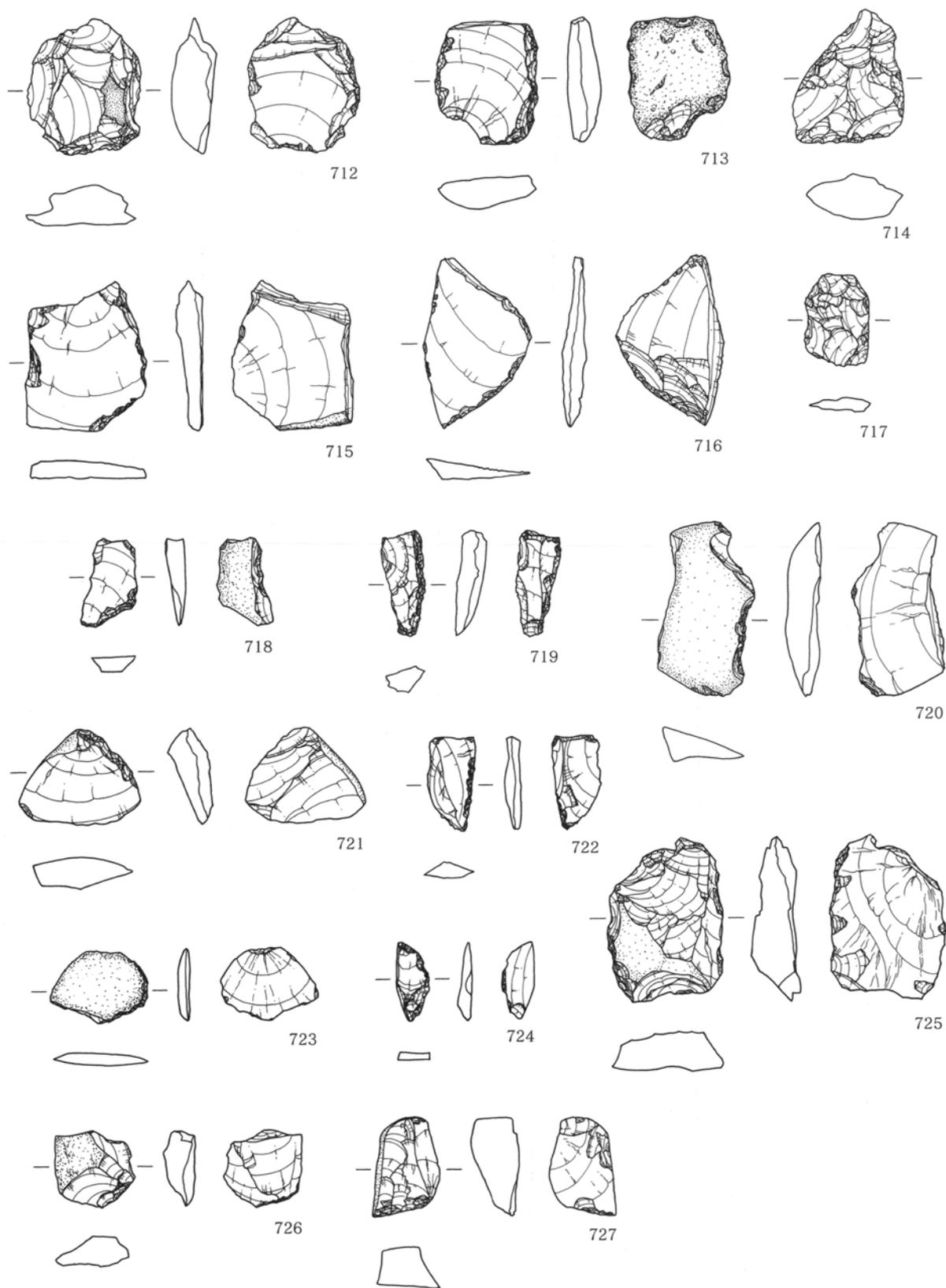
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
701	J-68	変玄武岩	(9.5)	4.8	2.8	261.0	刃部	上・下端部に胴部の研磨面を切る敲打面が形成。
702	J-68	変質安山岩	(9.9)	(6.3)	4.0	414.0	下半部	折れ面に一部研磨痕あり。
703	J-93	蛇紋岩	(5.4)	(5.7)	2.2	113.0	下半部	折れ面に剥離面と一部研磨痕あり。
704	表採	変玄武岩	(6.8)	4.7	2.5	122.0	上半部	刃・側縁部に研磨面を切る敲打痕と剥離面あり。
705	970-995	変玄武岩	(12.9)	5.3	3.3	381.0	基部	折れ面上が一部摩滅。
706	表採	変質玄武岩	(7.2)	(4.7)	3.7	175.0	下半部	正・裏面に折れ面を切る剥離面あり。
707	920-980	変玄武岩	(5.2)	(3.9)	1.9	70.0	下半部	上端・側縁部に研磨面を切る剥離面と敲打痕あり。
708	955-985	砂岩	(8.5)	(4.5)	2.3	111.0	下半部、裏面	
709	940-000	変質玄武岩	(4.4)	(4.2)	3.3	86.0	胴・刃部	
710	940-990	変輝緑岩	(2.5)	(3.3)	(1.2)	8.0	刃部一部のみ残	
711	表採	珪質頁岩	4.2	1.3	0.5	6.0	なし	

II区スクレイパー観察表

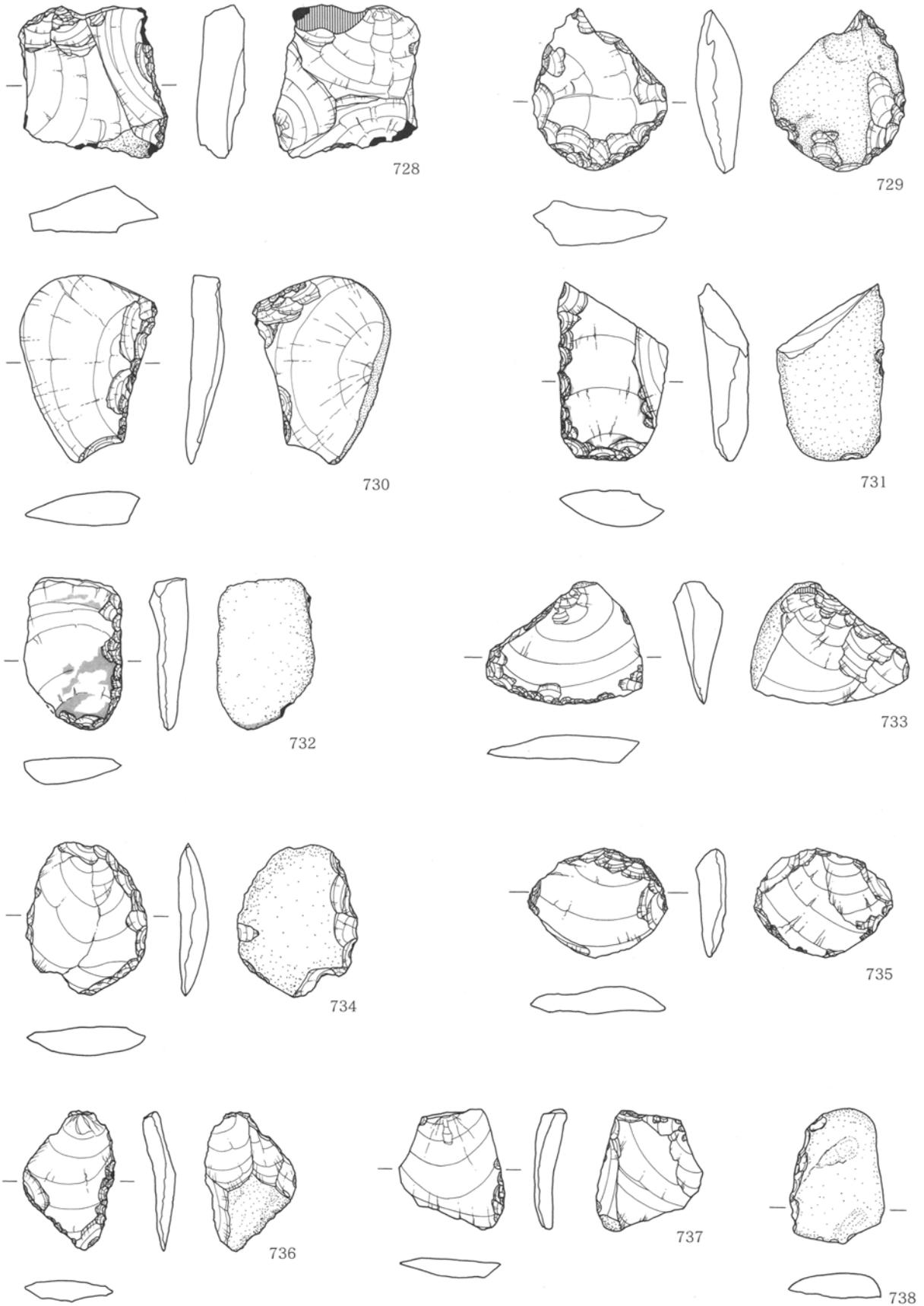
図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
712	J-2	I	黒色頁岩	6.8	5.8	2.3	91.0	-	
713	J-5	I	黒色頁岩	6.2	5.1	1.7	68.0	-	
714	J-65	I	黒色頁岩	6.8	5.6	2.2	74.0	-	パティナに段階差あり。
715	J-8	I	細粒輝石安山岩	7.5	6.1	1.4	63.0	-	
716	J-44	I	黒色頁岩	8.5	5.4	1.2	36.0	-	
717	J-67	I	黒色頁岩	4.7	3.3	0.8	15.0	-	
718	J-47	I	黒色頁岩	4.4	2.8	1.0	12.0	-	
719	J-53	I	チャート	5.3	2.3	1.5	16.0	-	
720	J-53	I	黒色頁岩	8.8	4.9	1.8	71.0	-	
721	J-68	I	黒色頁岩	4.8	6.1	2.1	47.0	-	
722	J-82	I	黒色頁岩	4.6	2.3	0.8	9.0	-	
723	J-93	I	黒色頁岩	3.6	4.9	0.6	13.0	-	
724	J-93	I	黒色頁岩	3.9	1.6	0.7	4.0	-	
725	J-86	I	黒色頁岩	8.3	5.9	2.4	123.0	-	
726	965-040	I	黒色頁岩	3.9	4.0	1.5	24.0	-	
727	表採	I	黒色頁岩	5.0	3.4	2.5	42.0	-	
728	表採	I	黒色頁岩	8.0	7.7	2.5	163.0	-	
729	930-985	I	黒色頁岩	8.3	7.1	2.4	136.0	-	
730	930-980	I	黒色頁岩	9.7	7.1	1.9	123.0	-	
731	955-010	I	細粒輝石安山岩	9.2	5.7	2.2	122.0	-	刃部に摩滅あり。
732	表採	I	黒色頁岩	7.9	5.1	2.0	85.0	-	正面に摩滅あり。
733	940-975	I	黒色頁岩	6.4	8.2	2.6	93.0	-	
734	975-020	I	黒色頁岩	7.9	6.3	1.6	83.0	-	
735	935-025	I	黒色頁岩	5.7	7.2	1.6	63.0	-	
736	表採	I	黒色頁岩	7.2	4.8	1.8	39.0	-	
737	970-990	I	黒色頁岩	6.3	5.5	1.7	44.0	-	
738	970-970	I	ホルンフェルス	7.0	5.0	1.1	52.0	-	
739	表採	I	黒色頁岩	5.0	6.7	1.5	67.0	-	
740	表採	I	黒色頁岩	5.8	5.3	1.6	48.0	-	
741	表採	I	黒色頁岩	6.2	4.9	1.7	49.0	-	
742	925-005	I	黒色安山岩	5.9	3.5	2.6	65.0	-	
743	表採	I	黒色頁岩	13.7	5.4	2.5	182.0	-	
744	表採	I	黒色頁岩	5.5	4.6	1.5	42.0	-	
745	表採	I	黒色頁岩	5.9	3.7	1.0	29.0	-	
746	表採	I	細粒輝石安山岩	7.6	9.9	1.6	108.0	-	
747	表採	I	黒色頁岩	5.7	3.6	1.1	26.0	-	
748	945-995	I	黒色頁岩	5.2	4.1	0.8	18.0	-	
749	970-000	I	黒色安山岩	3.6	5.2	1.2	24.0	-	

II区スクレイパー観察表

図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
750	表採	I	黒色頁岩	4.8	4.9	1.0	31.0	-	
751	915-980	I	黒色頁岩	5.6	3.8	1.5	36.0	-	
752	920-985	I	黒色安山岩	5.6	4.2	1.5	41.0	-	
753	960-005	I	黒色頁岩	4.4	4.4	1.8	29.0	-	
754	915-980	I	黒色頁岩	5.1	3.5	1.5	32.0	-	
755	表採	I	黒色頁岩	6.5	2.9	1.3	25.0	-	
756	表採	I	黒色安山岩	4.5	5.0	1.2	25.0	-	
757	920-000	I	黒色頁岩	3.3	5.0	0.8	11.0	-	
758	920-975	I	黒色頁岩	3.4	3.9	0.9	14.0	-	
759	955-000	I	黒色頁岩	6.2	7.4	1.7	53.0	-	
760	表採	I	黒色頁岩	5.4	5.7	1.1	39.0	-	
761	970-970	I	黒色頁岩	5.1	2.9	1.5	24.0	-	
762	945-995	I	黒色頁岩	4.8	4.3	1.1	31.0	-	
763	925-985	I	黒色頁岩	6.4	6.9	0.8	39.0	-	
764	表採	I	黒色頁岩	5.8	6.7	1.0	42.0	-	
765	970-000	I	黒色頁岩	4.2	3.4	1.0	13.0	-	裏面に剥落あり。
766	表採	I	チャート	4.3	3.9	1.1	18.0	-	
767	930-995	I	黒色頁岩	3.1	5.6	0.9	15.0	-	
768	920-995	I	黒色頁岩	4.0	3.5	0.8	12.0	-	
769	940-990	I	黒色頁岩	3.8	4.1	0.9	14.0	-	
770	935-990	I	黒色頁岩	4.6	7.1	1.2	40.0	-	
771	975-015	I	黒色頁岩	4.1	4.7	1.1	25.0	-	
772	920-980	I	黒色安山岩	4.0	4.0	0.9	13.0	-	
773	940-000	I	黒色安山岩	2.8	2.3	0.6	5.0	-	
774	表採	I	黒色頁岩	5.8	4.9	1.1	30.0	-	
775	960-000	I	黒色頁岩	4.0	3.3	1.0	11.0	-	
776	970-995	I	黒色頁岩	4.2	2.0	1.0	10.0	-	
777	930-990	I	チャート	5.0	2.1	0.7	8.0	-	
778	表採	I	黒色安山岩	3.4	2.4	1.0	6.0	-	
779	955-990	I	黒色安山岩	3.4	3.3	1.2	16.0	-	
780	表採	I	黒色頁岩	4.0	2.7	0.8	11.0	-	パティナに段階差あり。
781	表採	I	チャート	4.5	2.8	1.0	11.0	-	
782	920-980	I	黒色安山岩	3.8	2.9	0.8	7.0	-	
783	950-990	I	黒色頁岩	3.4	3.6	0.6	7.0	-	裏面に剥落あり。
784	表採	I	黒色頁岩	2.0	2.8	1.2	6.0	-	
785	J-5	II	黒色頁岩	5.7	3.1	1.0	19.0	-	
786	J-5	II	珪質頁岩	3.4	3.3	1.1	16.0	-	パティナに段階差あり。
787	J-67	II	黒色頁岩	5.6	3.1	0.8	15.0	-	
788	950-015	II	黒色頁岩	5.7	3.6	1.2	25.0	-	
789	965-975	II	黒色頁岩	8.8	4.7	1.9	80.0	-	
790	表採	II	黒色頁岩	8.4	5.3	1.6	86.0	-	
791	表採	II	粗粒輝石安山岩	8.8	4.8	2.0	101.0	-	
792	925-975	II	黒色頁岩	5.0	3.8	1.2	22.0	-	正面に剥落あり。
793	965-970	II	黒色頁岩	5.8	3.8	1.7	41.0	-	
794	930-985	II	黒色頁岩	7.0	5.8	1.7	61.0	-	
795	950-010	II	黒色頁岩	3.9	3.1	1.1	11.0	-	
796	表採	II	黒色頁岩	4.7	6.7	0.9	29.0	-	
797	J-5	I	チャート	3.3	2.9	1.0	8.0	-	
798	表採	I	チャート	2.3	1.3	0.5	2.0	-	
799	J-8	I	黒色頁岩	3.7	1.7	1.0	5.0	-	
800	J-26	I	黒色安山岩	2.7	3.1	1.1	9.0	-	
801	J-93	I	チャート	1.8	2.8	0.8	5.0	-	
802	表採	I	チャート	2.7	4.1	1.3	15.0	-	
803	970-980	I	チャート	2.6	4.8	1.1	14.0	-	
804	表採	I	チャート	2.1	2.2	1.0	4.0	-	
805	955-990	I	黒色安山岩	2.8	2.5	0.8	6.0	-	
806	表採	I	チャート	2.7	1.8	0.9	3.0	-	
807	930-955	I	黒色安山岩	2.5	1.5	0.9	3.0	-	
808	925-980	I	黒色安山岩	2.3	1.9	0.5	1.0	-	挟入状加工。

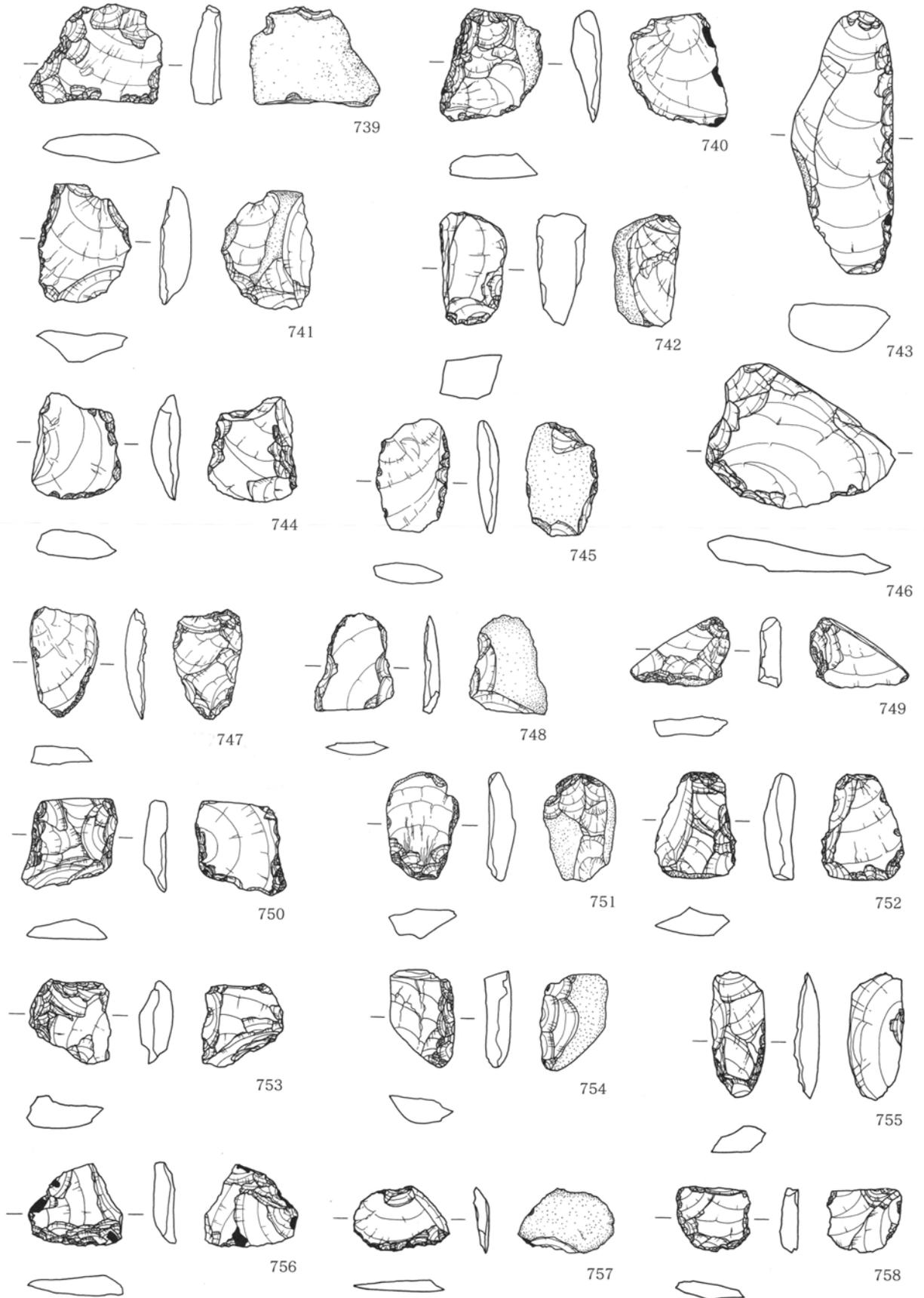


第296図 II区出土スクレイパー (1)



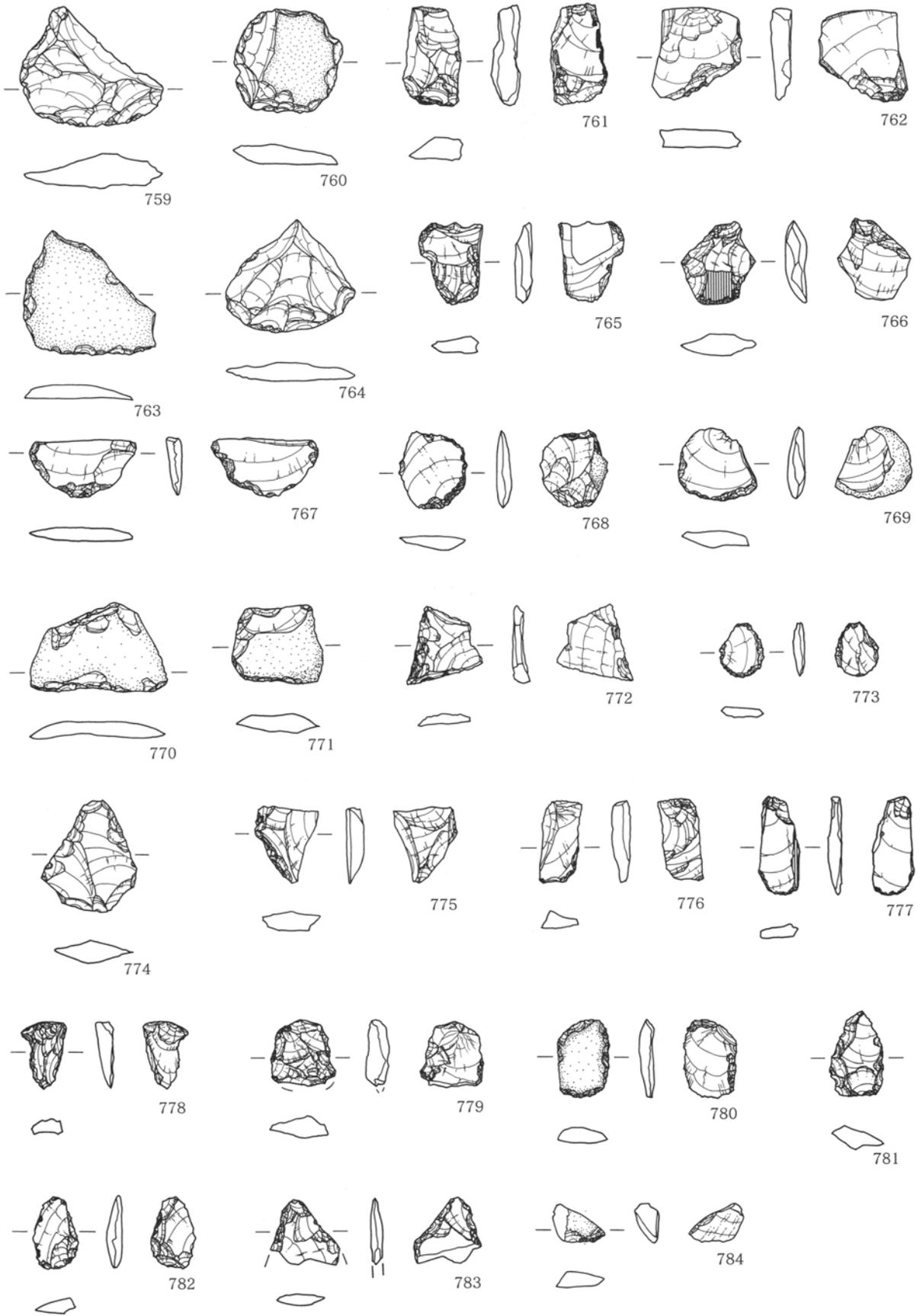
第297図 II区出土スクレイパー (2)

0 15cm

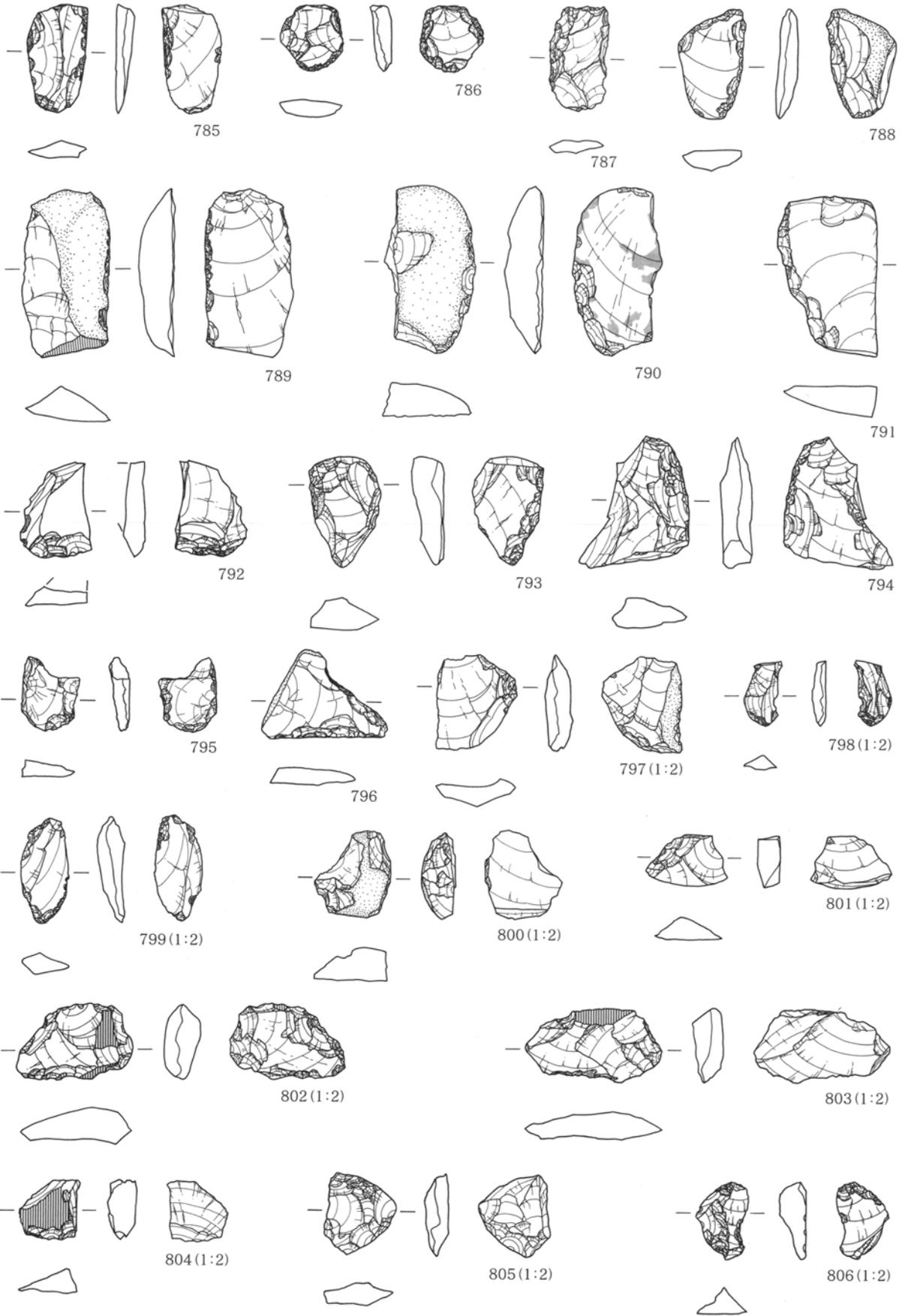


第298図 II区出土スクレイパー (3)

0 15cm

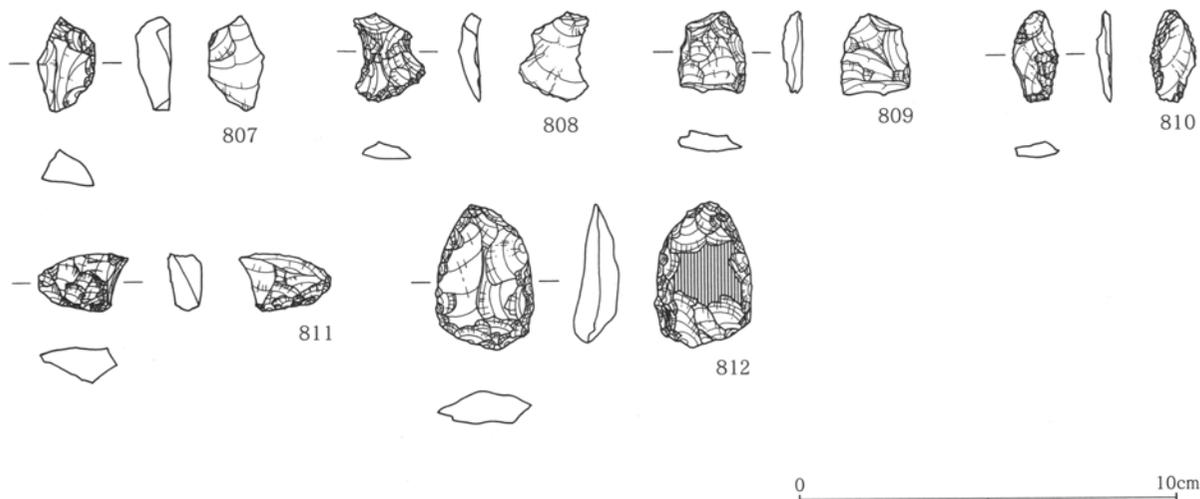


第299図 II区出土スクレイパー (4)



第300図 II区出土スクレイパー (5)

0 15cm  
10cm



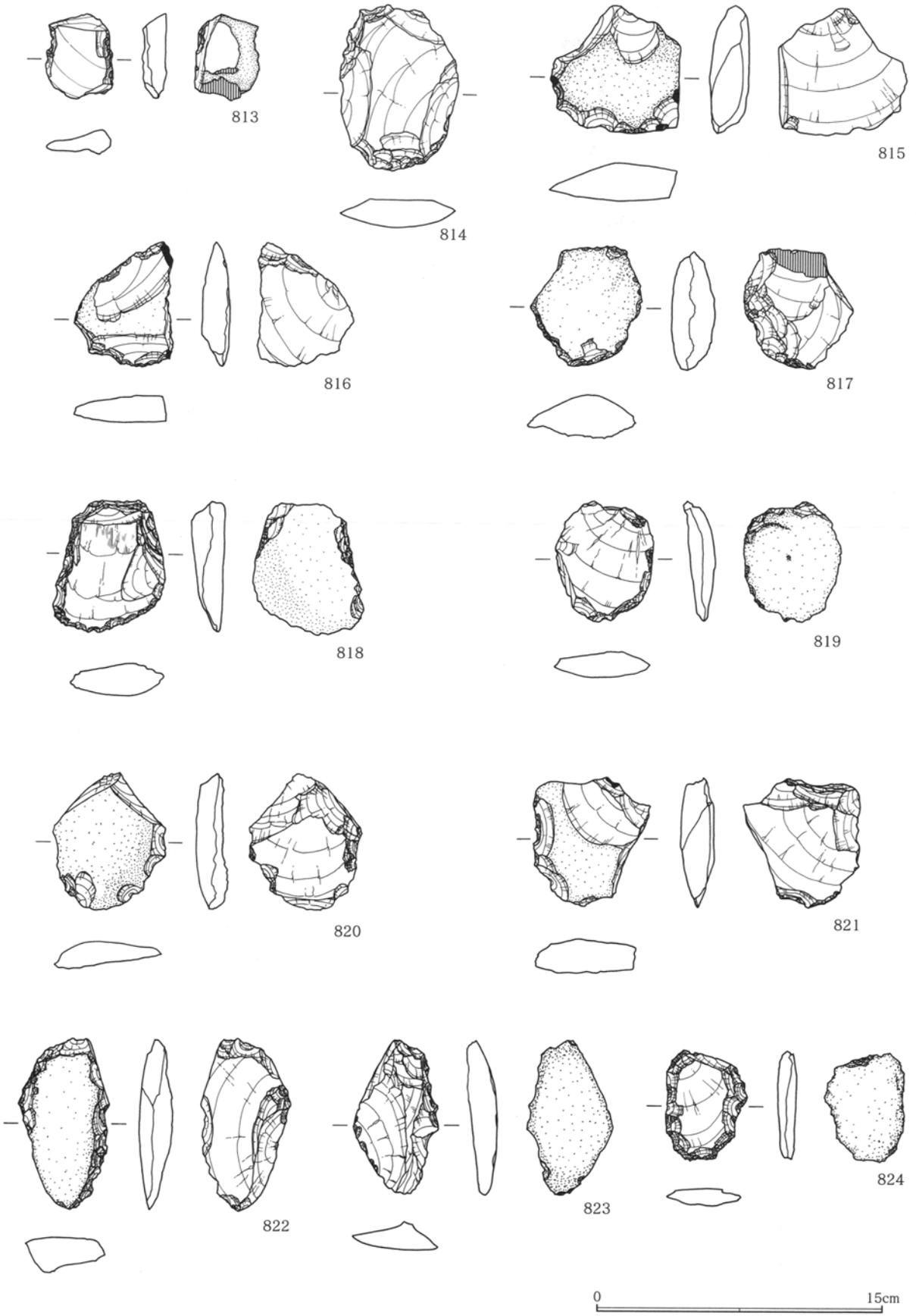
第301図 II区出土スクレイパー (6)

II区スクレイパー観察表

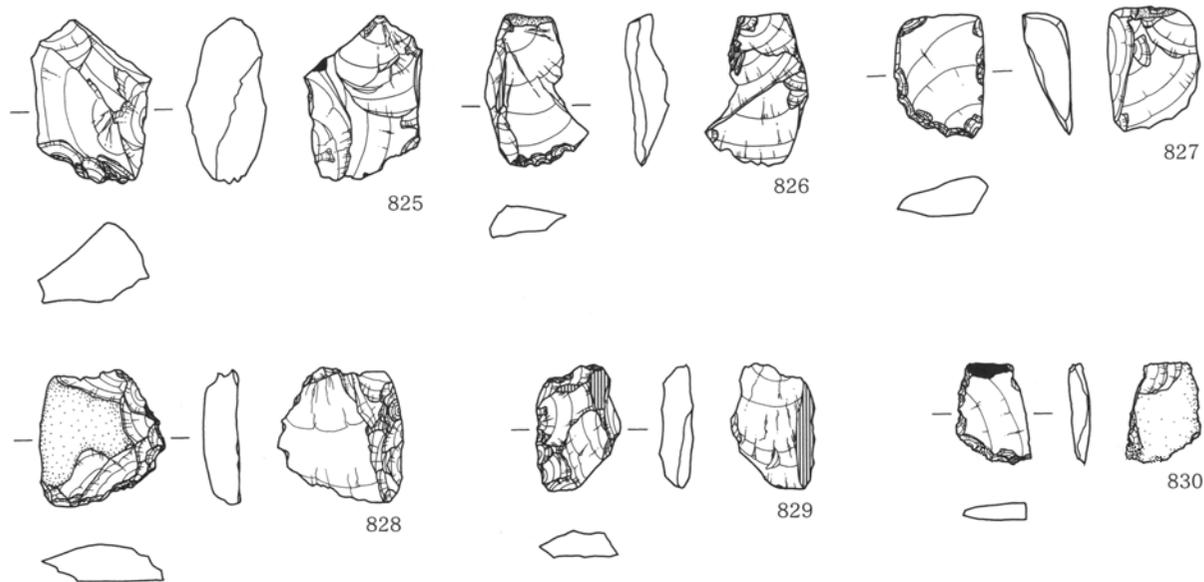
図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
809	930-980	I	黒色頁岩	2.1	1.8	0.5	3.0	-	
810	930-985	I	チャート	2.4	1.2	0.4	2.0	-	
811	935-980	I	チャート	1.5	2.4	0.9	3.0	-	
812	925-990	II	チャート	3.8	2.1	1.1	11.0	-	

II区鋸歯縁石器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
813	J-24	黒色頁岩	4.3	3.4	1.3	20.0	-	裏面に剥落あり。
814	J-98	黒色頁岩	8.7	6.3	1.5	99.0	-	
815	955-980	黒色頁岩	6.6	6.7	2.0	107.0	-	
816	表採	黒色頁岩	6.2	5.0	1.4	54.0	-	
817	945-020	黒色頁岩	6.2	5.8	2.3	92.0	-	
818	965-010	黒色頁岩	6.9	5.7	1.8	73.0	-	正面に一部摩滅あり。
819	表採	黒色頁岩	6.2	5.1	1.4	51.0	-	
820	960-010	黒色頁岩	7.1	5.9	1.7	57.0	-	
821	925-000	黒色頁岩	6.7	6.1	1.8	78.0	-	
822	975-970	黒色頁岩	8.9	4.8	1.8	75.0	-	
823	955-045	黒色頁岩	8.0	4.5	1.6	48.0	-	
824	965-970	黒色頁岩	5.6	4.1	1.0	30.0	-	
825	955-020	黒色頁岩	6.5	4.8	3.2	78.0	-	
826	955-010	黒色頁岩	6.0	4.1	1.7	30.0	-	
827	925-990	黒色頁岩	4.9	3.6	1.7	29.0	-	
828	975-985	黒色頁岩	5.3	5.0	1.4	45.0	-	
829	表採	チャート	5.0	3.3	1.4	23.0	-	
830	955-000	黒色頁岩	3.9	2.9	0.8	10.0	-	



第302図 II区出土鋸齒緑石器(1)

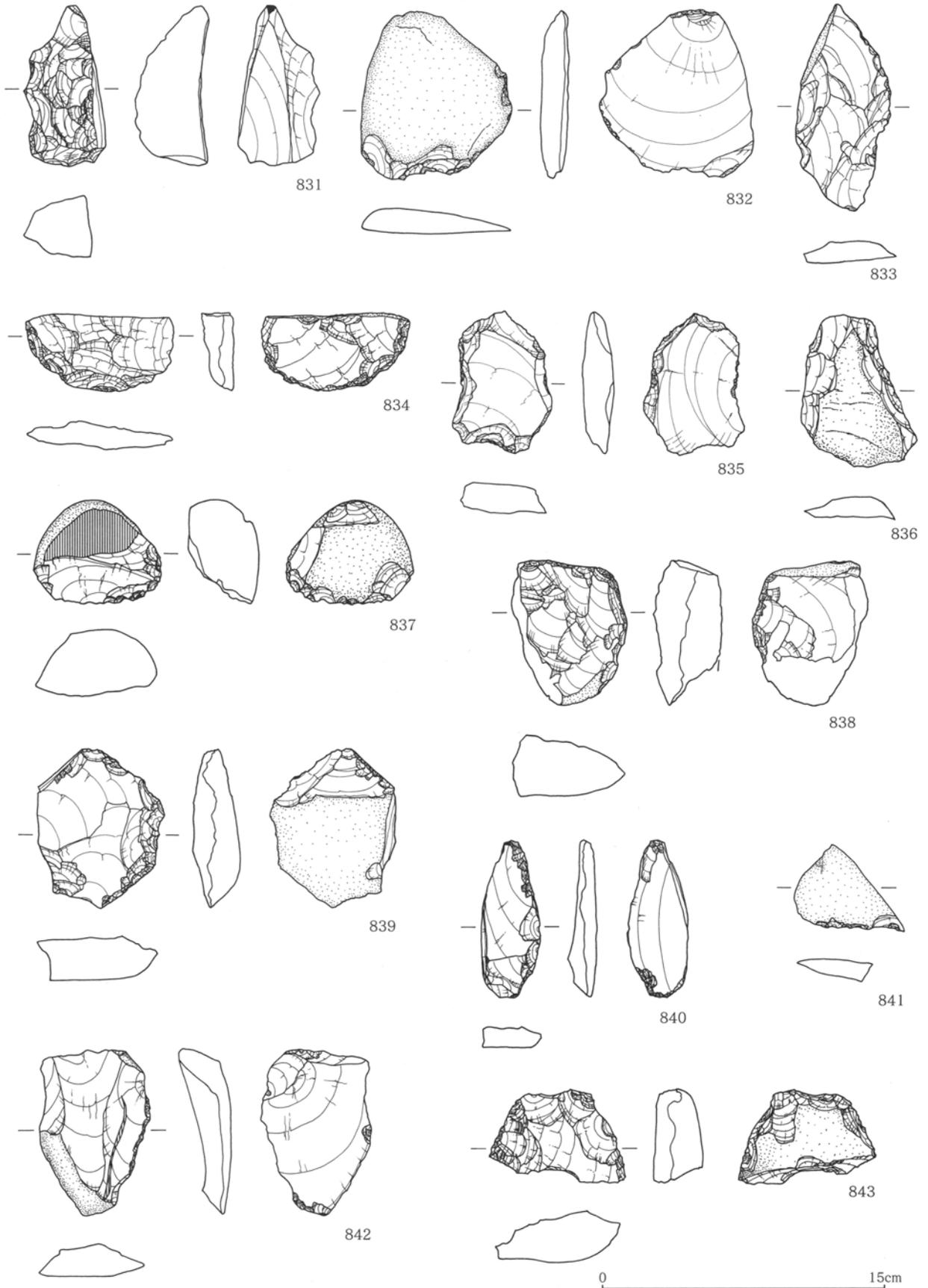


第303图 II区出土锯齿绿石器(2)

第4章 出土遺物

II区不定形石器観察表

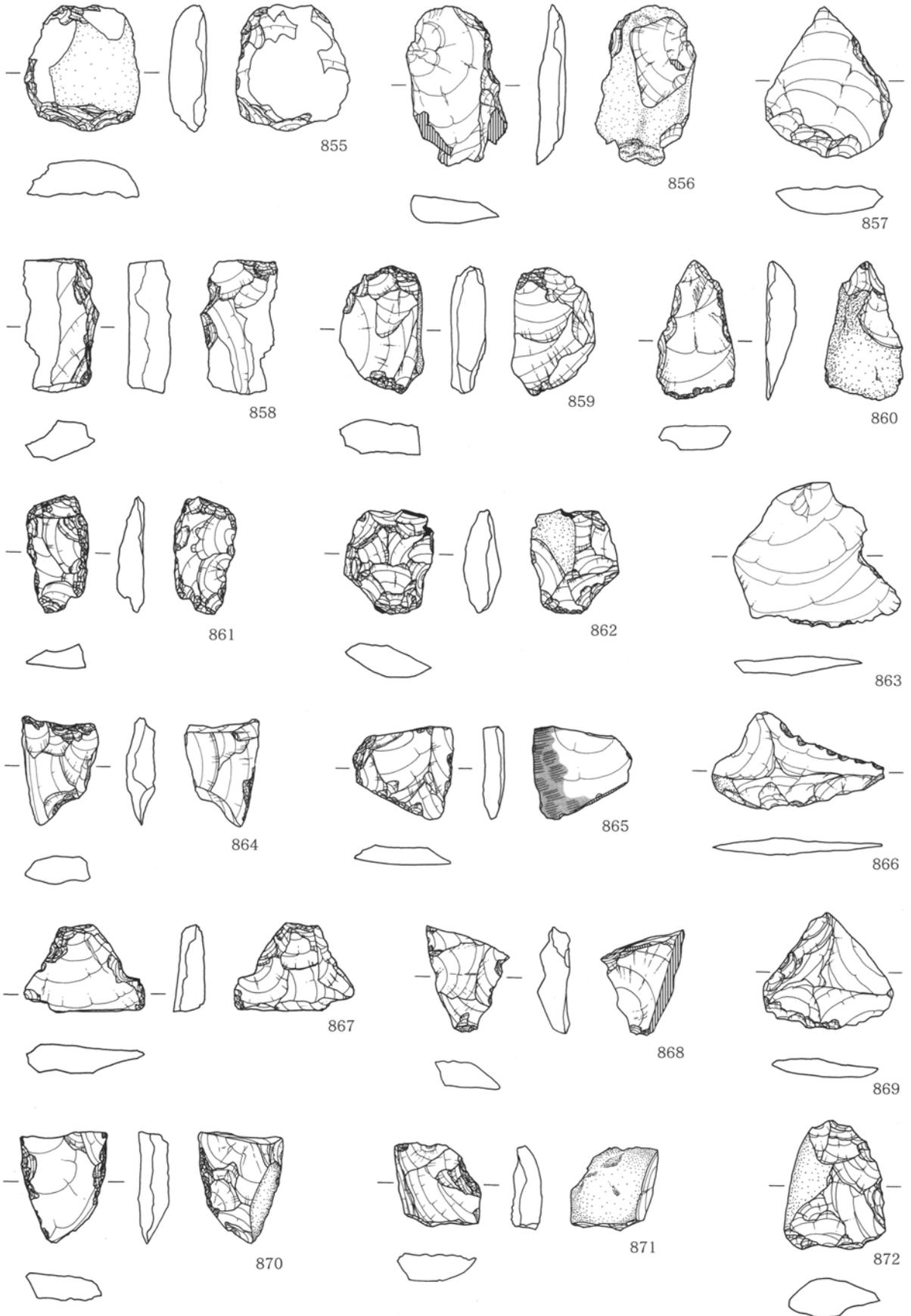
図版 番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
831	J-2	黒色頁岩	8.5	4.4	3.5	151.0	-	
832	J-7	黒色頁岩	8.9	8.0	1.5	134.0	-	
833	J-5	黒色頁岩	10.9	5.2	1.0	60.0	-	
834	J-5	ホルンフェルス	4.0	7.9	1.7	54.0	-	
835	J-16	黒色頁岩	7.4	5.3	1.7	78.0	-	
836	J-17	黒色頁岩	8.1	6.2	1.2	61.0	-	
837	J-32	黒色頁岩	5.5	6.8	3.7	165.0	-	両刃礫器。
838	J-32	変玄武岩	(7.7)	(6.2)	3.4	186.0	-	正・裏面と側面に剥落あり。
839	J-68	黒色頁岩	8.4	6.7	2.5	169.0	-	
840	J-44	黒色頁岩	8.2	3.2	1.6	43.0	-	
841	J-66	黒色頁岩	4.5	5.8	1.1	22.0	-	
842	J-83	黒色頁岩	8.7	5.6	2.2	108.0	-	
843	J-91, 炉	黒色頁岩	4.9	7.3	2.6	100.0	-	
844	J-91	黒色頁岩	6.7	4.7	2.0	54.0	-	
845	J-92	黒色頁岩	4.4	3.1	0.9	14.0	-	
846	J-93	黒色頁岩	8.0	6.4	1.9	120.0	-	
847	J-98	黒色頁岩	9.5	5.6	2.3	110.0	-	
848	J-101	黒色頁岩	7.7	3.4	2.3	70.0	-	正面に一部剥落あり。
849	920-995	黒色頁岩	6.5	2.7	1.3	26.0	-	正面に一部剥落あり。
850	表採	変玄武岩	10.4	9.7	4.8	513.0	-	
851	920-000	黒色頁岩	8.8	4.7	2.0	88.0	-	
852	920-000	黒色頁岩	10.6	6.5	2.5	247.0	-	
853	表採	黒色頁岩	5.0	8.6	2.8	67.0	-	
854	970-985	黒色頁岩	6.4	6.3	3.0	104.0	-	
855	表採	黒色頁岩	6.6	6.0	1.9	97.0	-	正・裏面に剥落あり。
856	965-025	黒色頁岩	8.3	5.3	1.6	68.0	-	
857	920-990	黒色頁岩	7.9	6.6	1.5	78.0	-	
858	975-970	細粒輝石安山岩	7.0	(4.0)	2.3	69.0	-	正・裏面に剥落あり。
859	930-995	黒色頁岩	6.6	4.4	1.8	64.0	-	
860	955-000	黒色頁岩	7.2	4.0	1.5	42.0	-	
861	955-000	黒色頁岩	6.1	3.2	1.4	28.0	-	
862	表採	黒色頁岩	5.4	4.7	2.0	43.0	-	
863	935-010	黒色頁岩	7.6	8.8	1.2	57.0	-	
864	950-010	黒色頁岩	5.7	4.0	1.5	36.0	-	
865	975-980	珩質頁岩	4.8	5.1	1.1	37.0	-	裏面に摩滅・線状痕あり。
866	920-990	黒色頁岩	5.1	9.0	0.9	30.0	-	
867	940-020	黒色頁岩	4.5	6.3	1.3	41.0	-	
868	950-015	チャート	5.6	4.4	1.7	30.0	-	
869	表採	黒色頁岩	6.1	6.8	1.1	43.0	-	
870	935-035	黒色頁岩	5.8	4.5	1.6	45.0	-	
871	925-990	黒色頁岩	4.4	4.6	1.6	38.0	-	
872	920-990	ホルンフェルス	6.8	5.3	2.1	82.0	-	
873	935-985	黒色安山岩	4.7	4.8	1.1	30.0	-	
874	925-000	黒色頁岩	5.3	3.8	0.7	10.0	-	正・裏面に剥落あり。
875	960-025	変質安山岩	9.1	4.8	1.2	65.0	-	
876	表採	黒色頁岩	9.0	3.0	1.6	46.0	-	正面に一部剥落あり。
877	950-025	黒色頁岩	4.3	3.8	1.1	15.0	-	
878	表採	黒色安山岩	4.2	4.7	1.1	24.0	-	
879	表採	頁岩	4.1	3.9	1.3	23.0	-	
880	920-990	黒色頁岩	6.4	4.6	1.4	34.0	-	
881	表採	黒色安山岩	5.0	3.9	1.9	49.0	-	
882	940-975	黒色安山岩	4.8	3.2	1.1	13.0	-	
883	925-975	黒色頁岩	5.3	8.2	0.9	31.0	-	
884	955-020	珩質頁岩	3.6	5.9	(0.8)	19.0	-	裏面全体が剥落。
885	960-005	黒色安山岩	4.9	3.7	1.0	21.0	-	パティナに段階差あり。
886	940-995	黒色頁岩	3.8	3.5	1.5	15.0	-	
887	910-980	チャート	4.0	3.2	1.1	18.0	-	
888	920-985	黒色安山岩	3.1	3.0	1.0	9.0	-	
889	935-995	黒色頁岩	2.9	4.9	0.8	12.0	-	



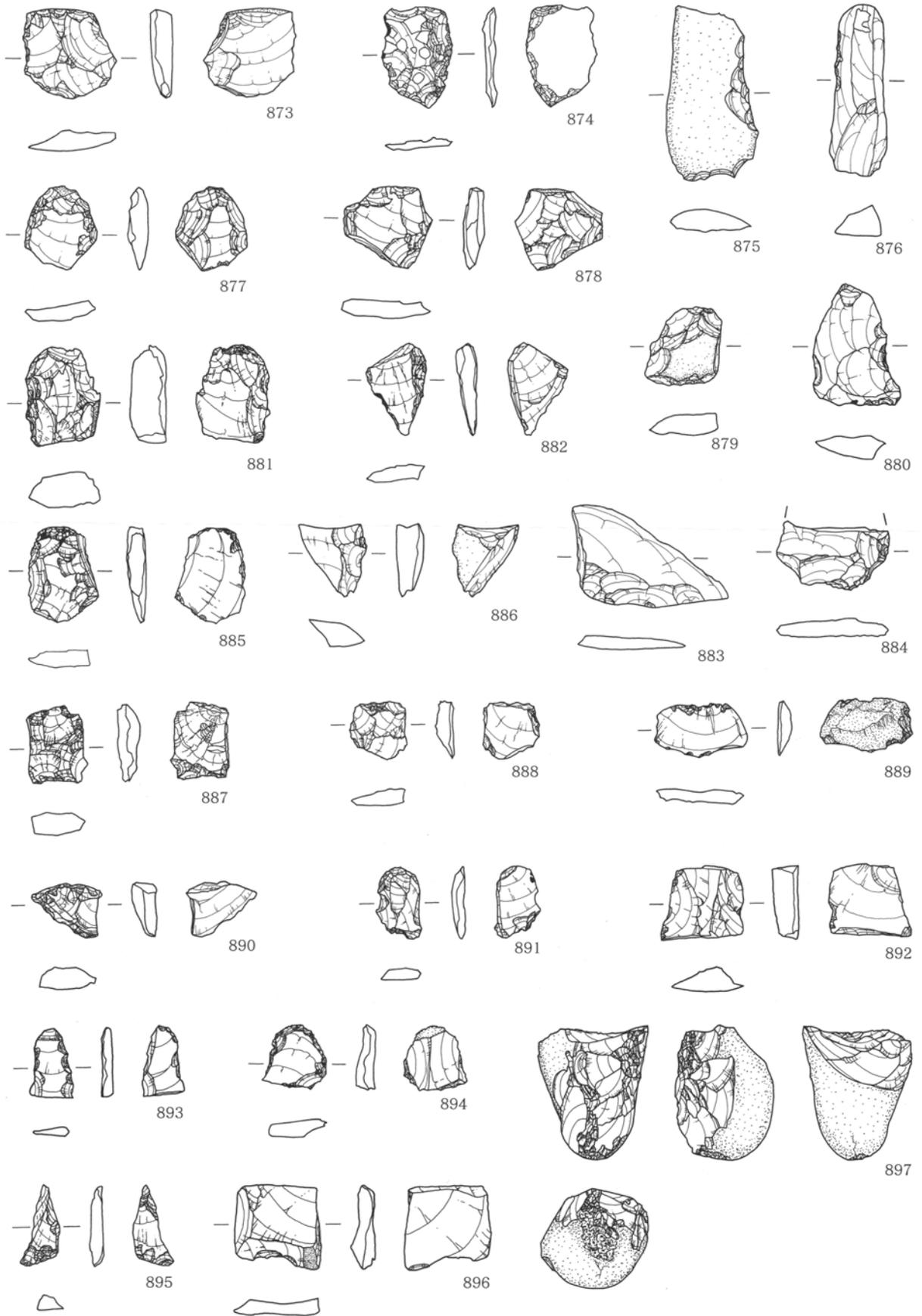
第304图 II区出土不定形石器(1)



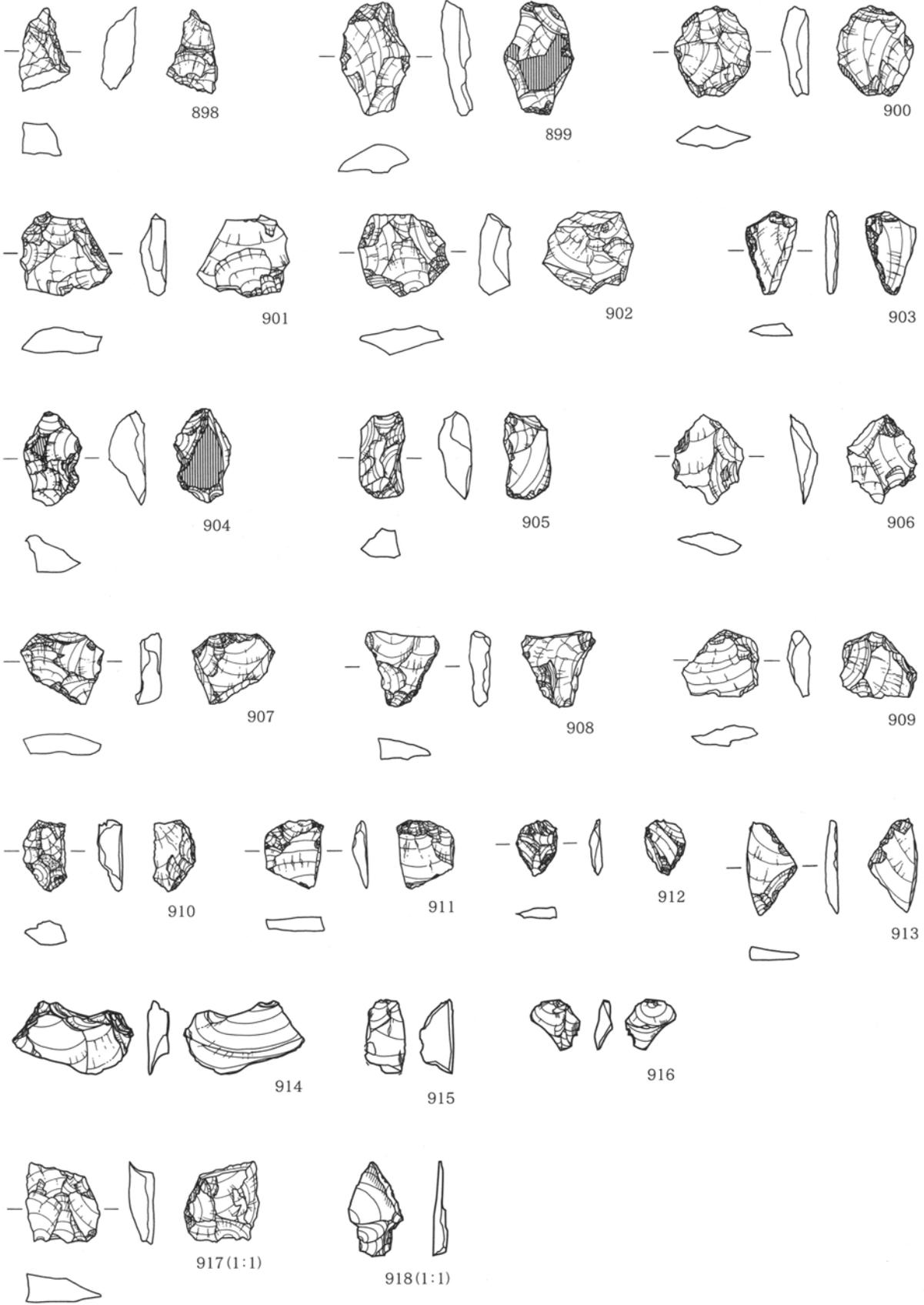
第305图 II区出土不定形石器(2)



第306圖 II区出土不定形石器(3) 0 15cm



第307图 II区出土不定形石器(4) 0 15cm



第308图 II区出土不定形石器(5)

第4章 出土遺物

II区不定形石器観察表

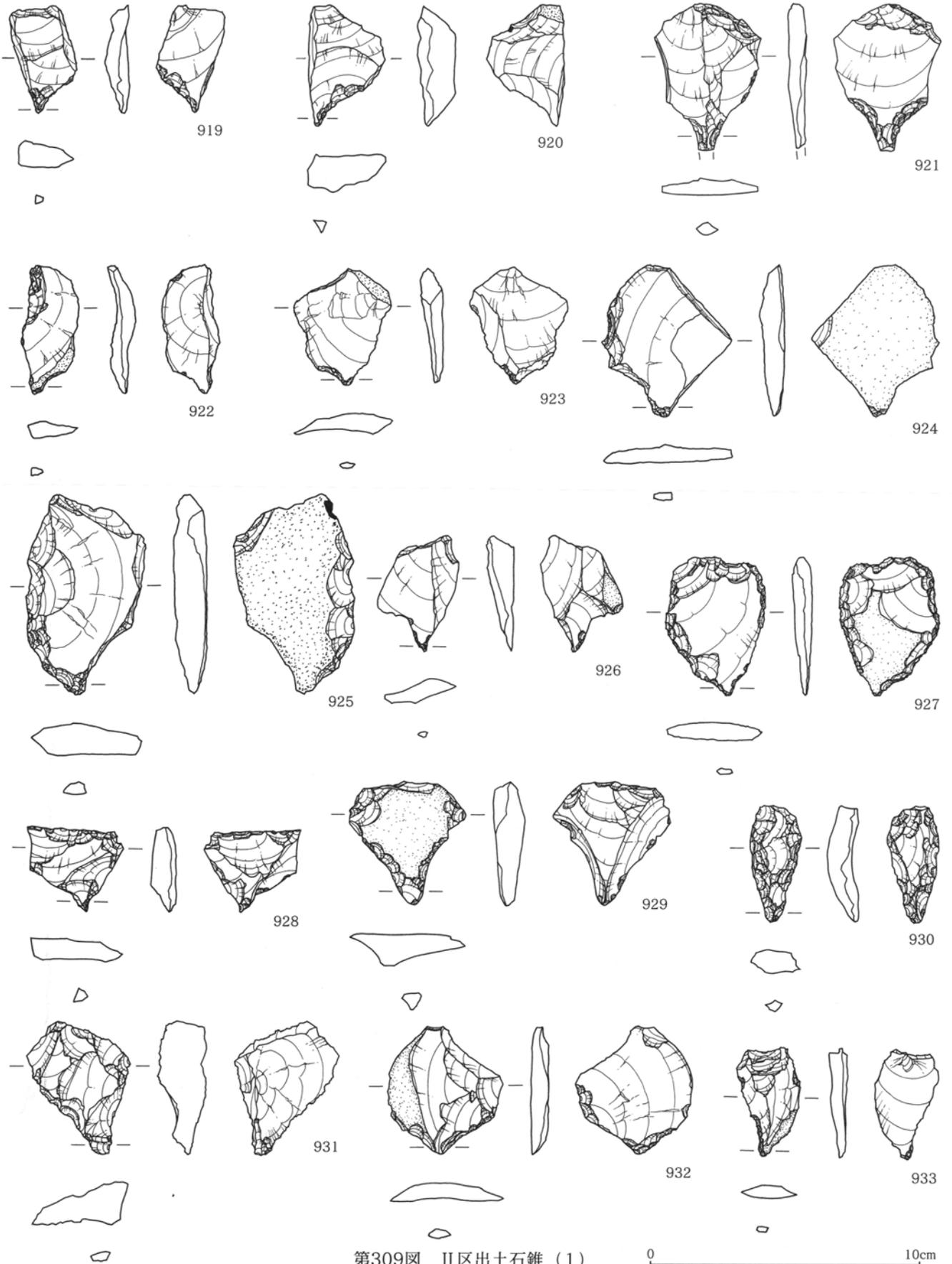
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
890	935-980	黒色頁岩	2.8	3.7	1.3	13.0	—	
891	975-970	チャート	3.7	2.4	0.7	7.0	—	
892	表採	黒色頁岩	3.9	4.3	1.4	27.0	—	折断加工。
893	表採	黒色頁岩	3.6	2.8	0.5	6.0	—	
894	950-985	黒色頁岩	3.3	3.4	1.0	12.0	—	折断加工。
895	945-975	黒色安山岩	4.2	2.0	0.7	5.0	—	
896	925-000	黒色頁岩	4.5	4.6	1.3	23.0	—	挟入状加工。
897	955-985	黒色頁岩	7.0	5.2	5.8	234.0	—	下端部に敲打痕あり。
898	J-91	チャート	2.9	1.8	1.2	5.0	—	
899	表採	チャート	3.8	2.5	1.0	9.0	—	
900	970-025	チャート	3.2	2.7	0.8	8.0	—	
901	955-970	黒色安山岩	2.8	3.2	0.9	9.0	—	
902	表採	チャート	2.8	3.2	1.1	10.0	—	
903	965-935	黒色安山岩	2.8	1.7	0.4	2.0	—	
904	970-975	チャート	3.2	2.0	1.2	7.0	—	
905	表採	チャート	3.0	1.6	1.2	6.0	—	
906	935-985	黒色安山岩	3.1	2.5	0.9	4.0	—	
907	表採	チャート	2.5	2.9	1.4	7.0	—	
908	925-995	黒色安山岩	2.6	2.5	0.7	4.0	—	
909	970-985	黒色安山岩	2.2	2.7	0.8	4.0	—	
910	表採	チャート	2.4	1.5	0.8	4.0	—	
911	915-985	黒色安山岩	2.4	2.0	0.6	3.0	—	
912	920-980	チャート	2.0	1.4	0.5	1.0	—	
913	945-015	黒色頁岩	3.2	1.7	0.4	1.0	—	折断加工。
914	J-5	黒色頁岩	2.5	4.2	0.8	6.0	—	裏面に摩滅あり。
915	J-5	黒曜石	2.5	1.4	1.2	3.0	—	
916	J-32	黒曜石	1.7	1.7	0.6	0.8	—	
917	935-990	チャート	1.4	1.3	0.5	0.9	—	折断加工。
918	950-995	黒曜石	1.7	1.0	0.3	0.2	—	

II区石錐観察表

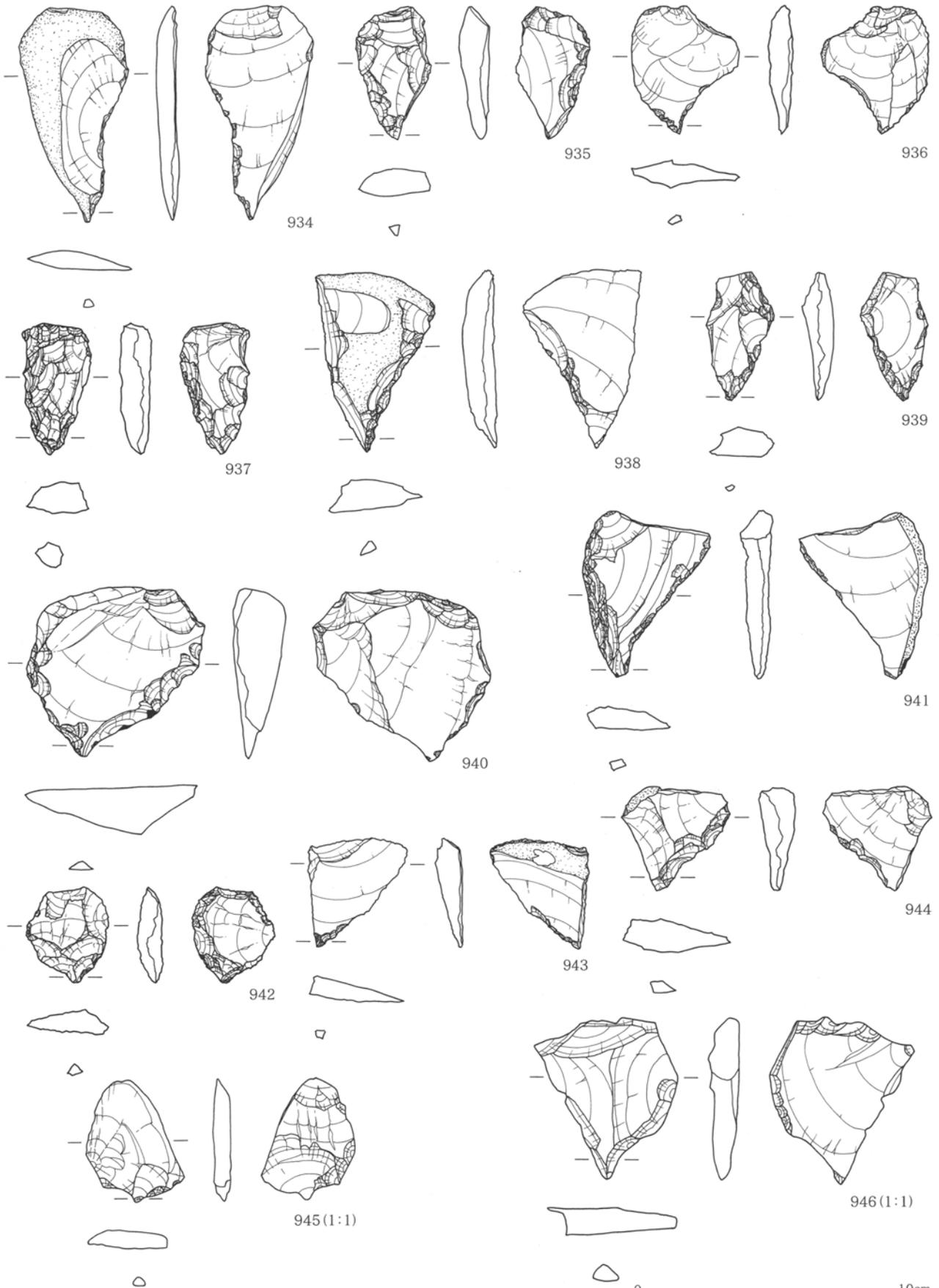
図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
919	J-1	I	黒色頁岩	4.0	2.6	1.0	7.6	なし	
920	J-35	I	黒色頁岩	4.5	2.9	1.5	17.0	なし	
921	J-93	I	黒色頁岩	(5.5)	4.0	0.6	14.3	錐部	
922	J-7	I	黒色頁岩	4.8	2.2	1.1	7.2	なし	
923	955-030	I	黒色頁岩	4.3	3.7	0.9	9.3	なし	
924	表採	I	細粒輝石安山岩	5.7	4.8	0.7	21.9	なし	
925	表採	I	黒色安山岩	7.2	4.2	1.2	52.8	なし	
926	935-935	I	黒色頁岩	4.1	2.8	1.0	7.4	なし	錐部先端に摩滅あり。
927	925-000	I	黒色頁岩	4.9	3.7	0.8	16.3	なし	
928	925-990	I	黒色頁岩	3.1	3.5	0.9	10.0	なし	
929	925-015	I	黒色頁岩	4.6	4.4	1.2	17.2	なし	錐部先端に摩滅あり。
930	J-91	II	黒色頁岩	4.4	1.9	1.2	9.3	なし	
931	J-5	II	チャート	5.0	3.9	1.8	22.6	なし	
932	J-5	II	黒色頁岩	4.7	4.2	0.7	12.9	なし	
933	J-68	II	黒色頁岩	4.1	2.3	0.7	4.7	なし	
934	J-56	II	黒色頁岩	7.8	3.9	0.8	22.2	なし	
935	935-990	II	黒色安山岩	4.8	2.7	1.1	14.8	なし	
936	J-98	II	黒色頁岩	4.6	3.9	0.9	12.7	なし	
937	930-985	II	黒色頁岩	4.7	2.5	1.2	15.3	なし	
938	970-015	II	黒色頁岩	3.3	2.2	0.6	29.6	なし	
939	表採	II	黒色頁岩	4.6	2.4	1.2	10.9	なし	錐部先端に摩滅あり。
940	表採	II	黒色頁岩	5.9	6.2	1.9	67.6	なし	
941	表採	II	黒色頁岩	6.1	4.4	1.2	22.8	なし	
942	940-985	II	黒色頁岩	3.5	3.0	0.9	8.4	なし	
943	945-985	II	黒色頁岩	4.0	3.6	2.0	8.8	なし	
944	950-005	II	黒色安山岩	3.8	3.9	1.3	15.7	なし	

II区石錐観察表

図版 番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
945	J-13	I	黒曜石	2.2	1.8	0.3	1.4	なし	
946	J-68	I	黒色頁岩	2.9	2.6	0.6	3.6	なし	
947	935-980	II	チャート	(2.2)	3.0	0.8	3.5	錐部	
948	表採	I	チャート	1.5	2.5	0.7	4.6	なし	
949	925-990	I	黒色頁岩	(2.6)	2.3	0.6	2.5	錐部	
950	935-975	I	黒色頁岩	2.6	2.5	0.4	1.9	なし	錐部先端に摩滅あり。
951	980-005	I	黒色頁岩	3.1	1.4	0.6	2.4	なし	
952	970-985	I	黒色安山岩	2.6	1.7	0.9	33.0	なし	
953	975-970	I	チャート	2.1	1.4	0.5	1.5	なし	
954	965-015	I	黒色頁岩	3.5	1.8	0.5	2.9	なし	
955	表採	I	チャート	2.7	1.7	0.7	2.4	なし	
956	940-985	I	黒曜石	1.0	1.4	0.3	0.4	なし	
957	930-985	I	黒色頁岩	1.5	1.6	0.3	0.5	なし	
958	表採	I	チャート	2.6	2.0	0.5	2.3	なし	
959	960-975	I	珪質頁岩	2.5	2.1	0.3	1.6	なし	
960	930-980	I	黒曜石	1.8	1.6	0.3	0.8	なし	
961	表採	I	黒色頁岩	(1.9)	1.7	0.3	1.5	錐部	
962	925-990	I	黒色安山岩	2.6	1.7	0.4	1.3	なし	
963	935-990	I	黒曜石	2.0	1.6	0.6	1.2	なし	
964	J-26	II	チャート	(3.5)	1.7	0.9	4.8	錐部	
965	J-66	II	チャート	2.7	1.5	0.7	2.8	なし	
966	J-92	II	黒曜石	1.7	1.6	0.4	0.7	なし	
967	J-91	II	チャート	3.5	2.1	0.6	4.8	なし	
968	J-91	II	黒色頁岩	3.7	1.8	1.0	5.8	なし	
969	970-040	II	黒曜石	2.7	1.9	0.6	2.0	なし	
970	表採	II	チャート	(1.9)	1.1	0.4	1.0	錐部	
971	表採	II	黒曜石	1.9	1.4	0.5	1.0	なし	
972	945-985	II	黒色頁岩	2.9	2.1	1.1	4.7	なし	
973	950-975	II	黒色頁岩	3.8	2.2	0.7	4.3	なし	
974	表採	II	チャート	3.2	2.6	1.2	8.2	なし	
975	表採	II	黒色頁岩	(3.3)	1.9	0.8	5.0	基部	錐部先端に摩滅あり。
976	965-980	II	黒曜石	2.9	1.4	0.6	1.1	なし	
977	955-970	II	チャート	2.4	2.3	0.7	2.7	なし	
978	935-990	II	黒曜石	2.0	1.5	0.4	0.9	なし	
979	表採	—	黒曜石	(1.5)	0.8	0.5	0.6	基部	
980	925-990	II	黒曜石	1.8	1.5	0.4	1.0	なし	
981	945-025	II	黒色頁岩	3.0	2.0	1.0	3.7	なし	錐部先端に摩滅あり。
982	950-995	II	黒色安山岩	(2.4)	1.6	0.4	1.8	錐部	
983	表採	II	チャート	2.3	1.1	0.4	0.8	なし	
984	980-985	II	チャート	2.3	2.1	0.7	2.7	なし	錐部先端に摩滅あり。
985	表採	II	チャート	2.1	2.5	0.9	4.2	なし	
986	930-995	II	黒曜石	2.9	1.5	0.8	2.4	なし	全面風化(摩滅)。
987	940-990	II	チャート	2.3	2.0	0.5	1.9	なし	
988	935-930	II	黒曜石	2.2	1.3	0.6	1.4	なし	
989	表採	II	チャート	2.0	1.2	0.5	0.7	なし	
990	925-990	II	チャート	2.1	0.8	0.8	1.3	なし	
991	945-005	II	黒曜石	2.5	1.5	0.8	1.8	なし	
992	表採	II	黒曜石	2.0	1.1	0.4	1.0	なし	被熱(全面発泡)。
993	表採	III	黒曜石	1.9	0.8	1.2	0.8	なし	
994	J-73	III	黒色頁岩	3.1	1.0	0.8	2.0	なし	

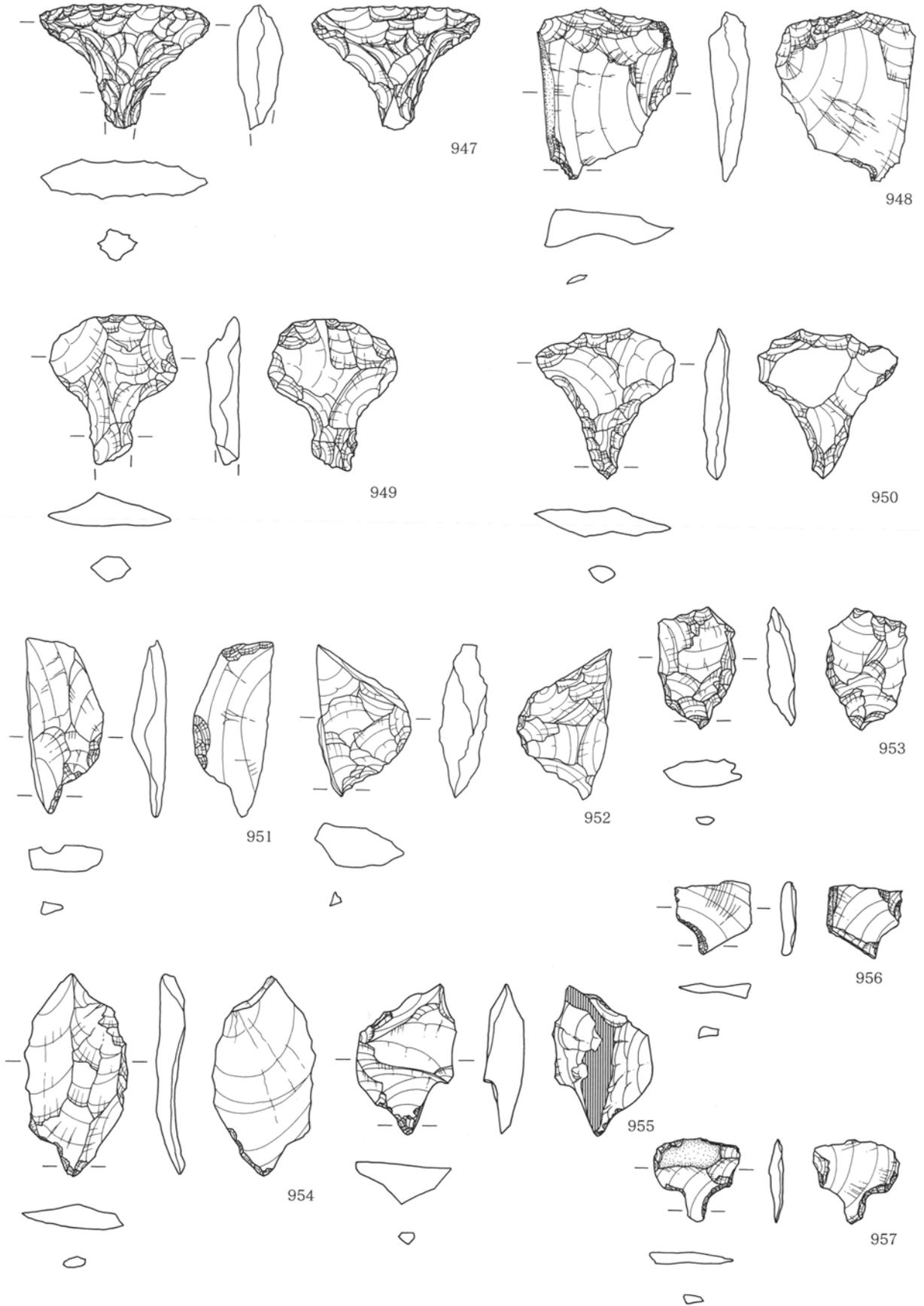


第309图 II区出土石錐(1)



第310圖 II区出土石錐 (2)

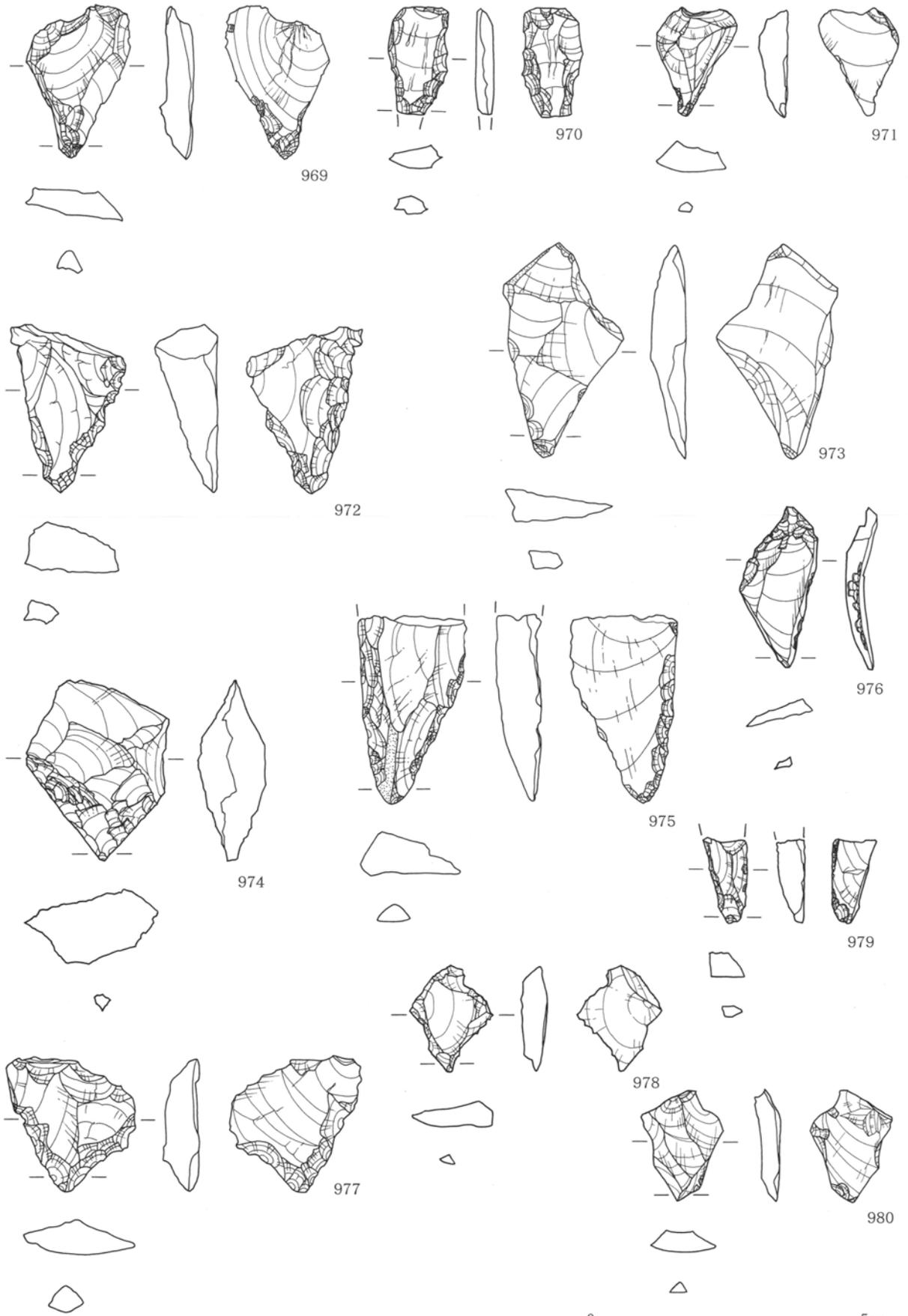
0 10cm  
5cm



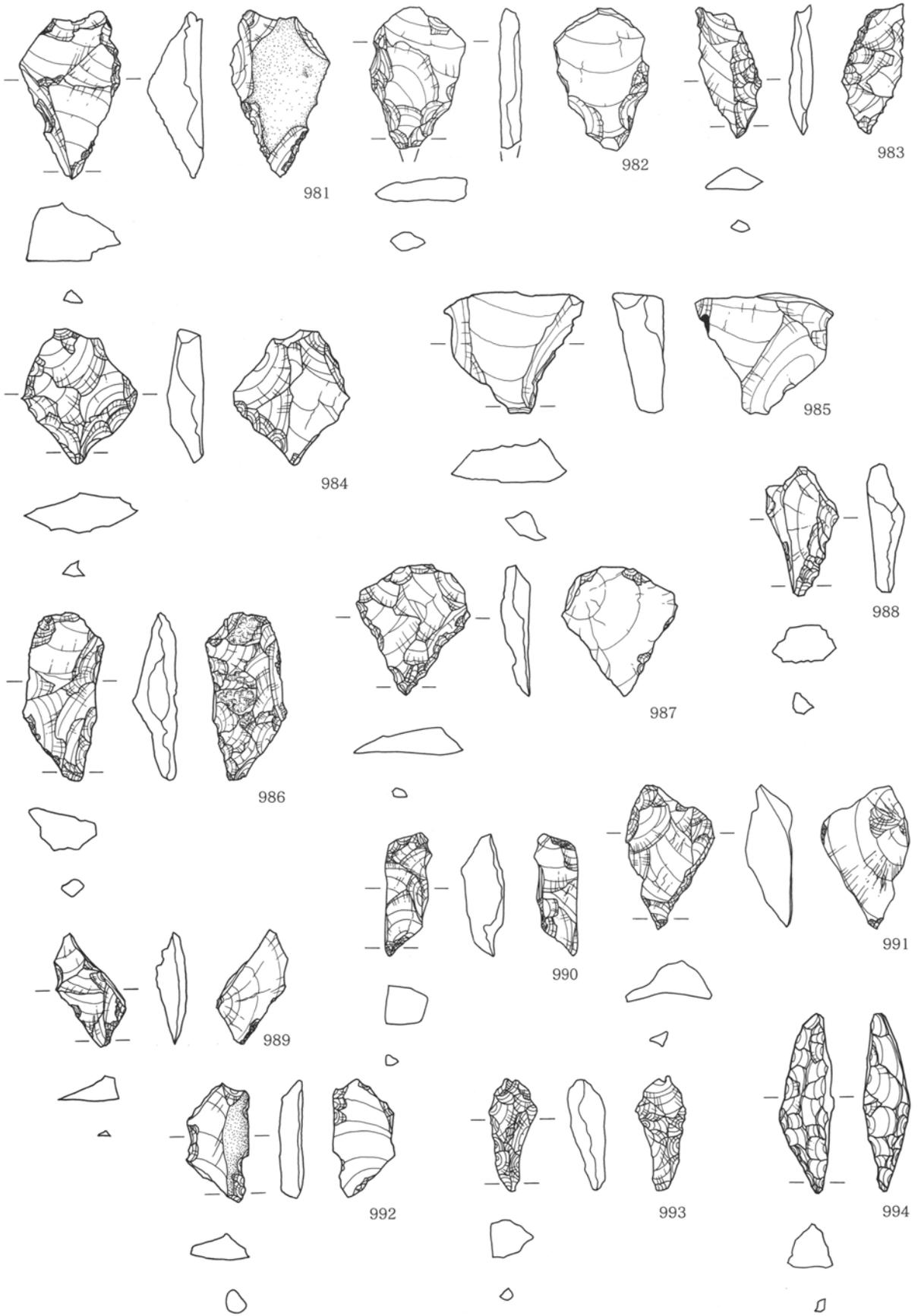
第311図 II区出土石錐 (3) 0 5cm



第312図 II区出土石錐(4)



第313图 II区出土石錐 (5)

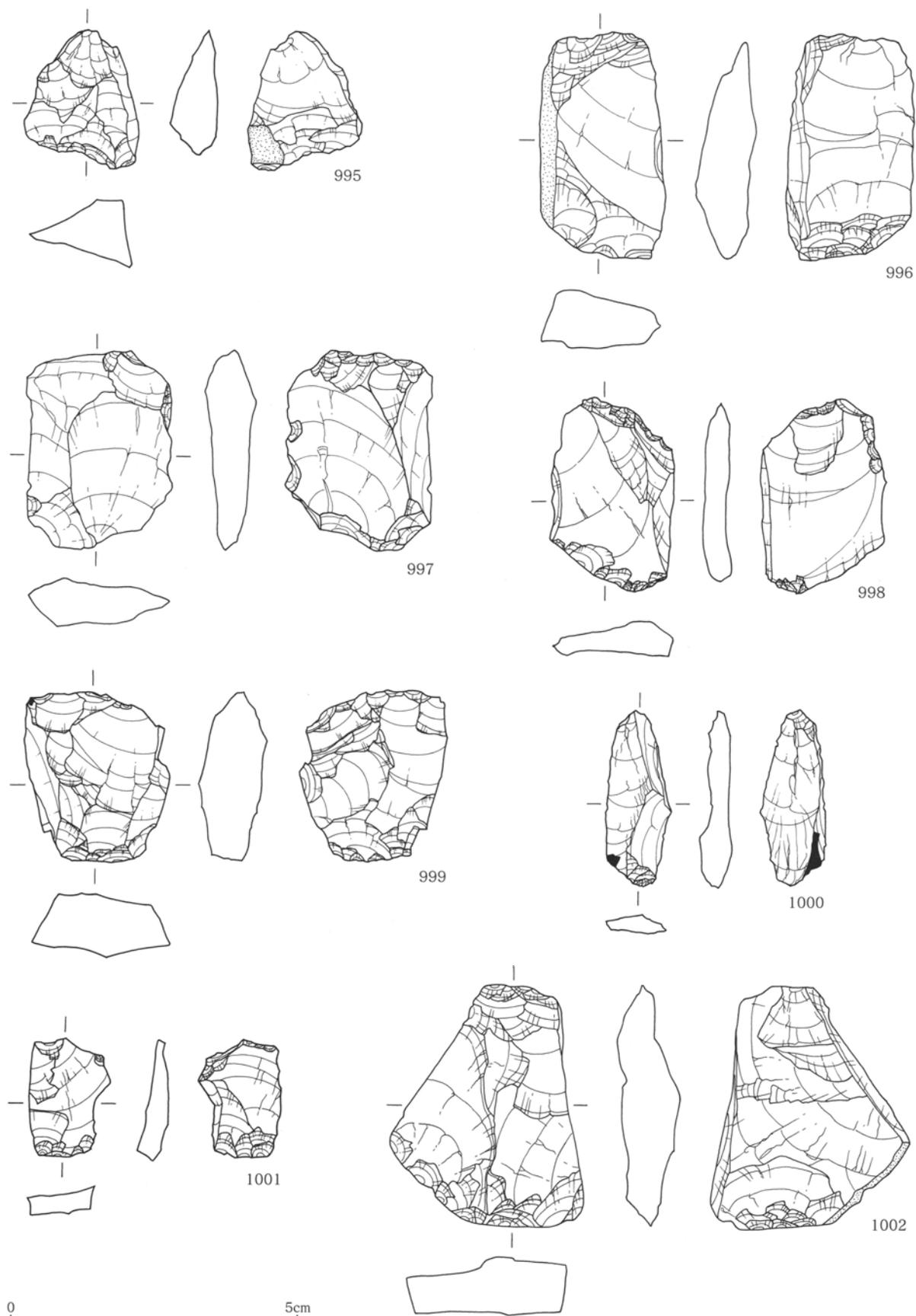


第314圖 II区出土石錐(6)

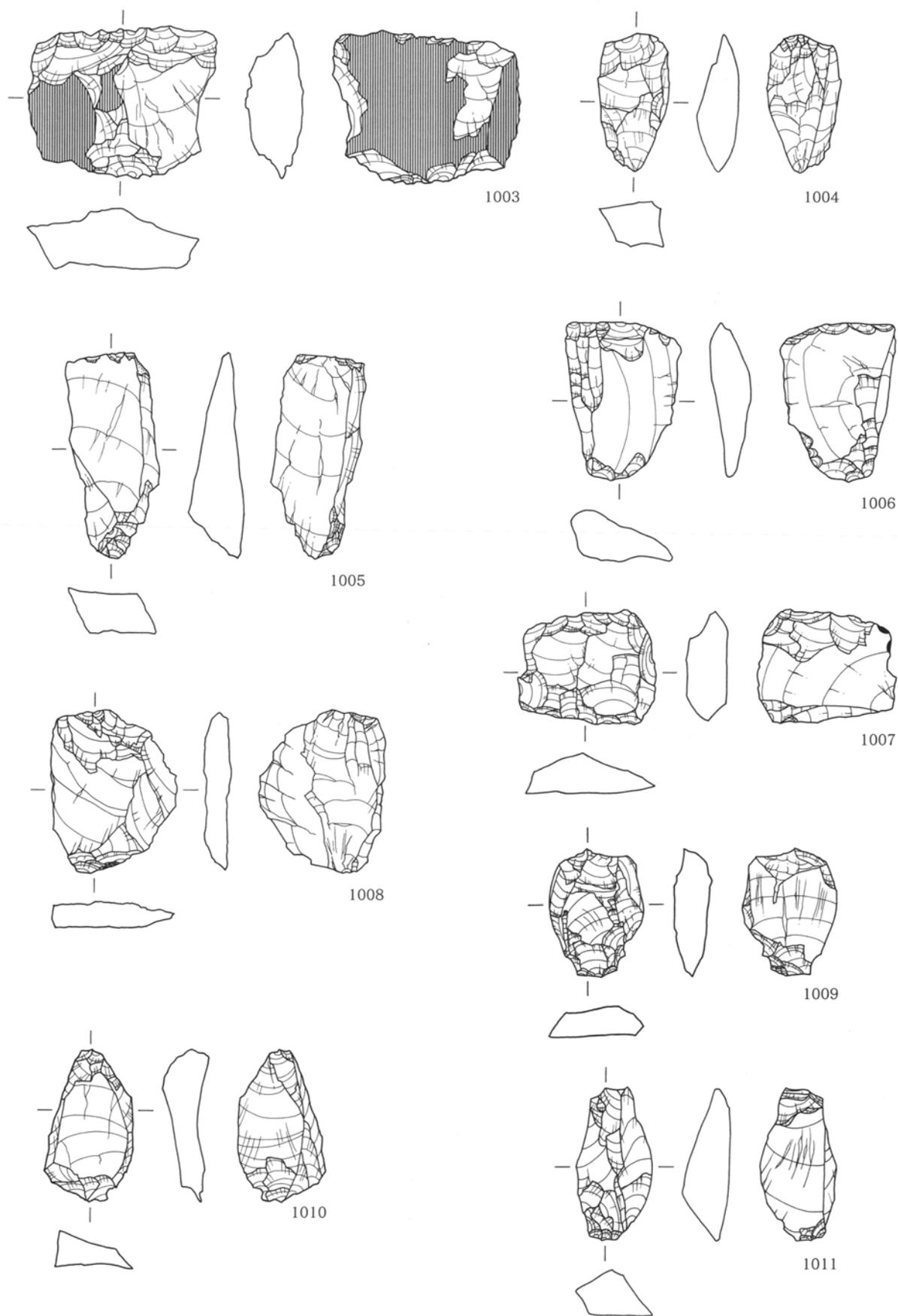
第4章 出土遺物

II区楔形石器観察表

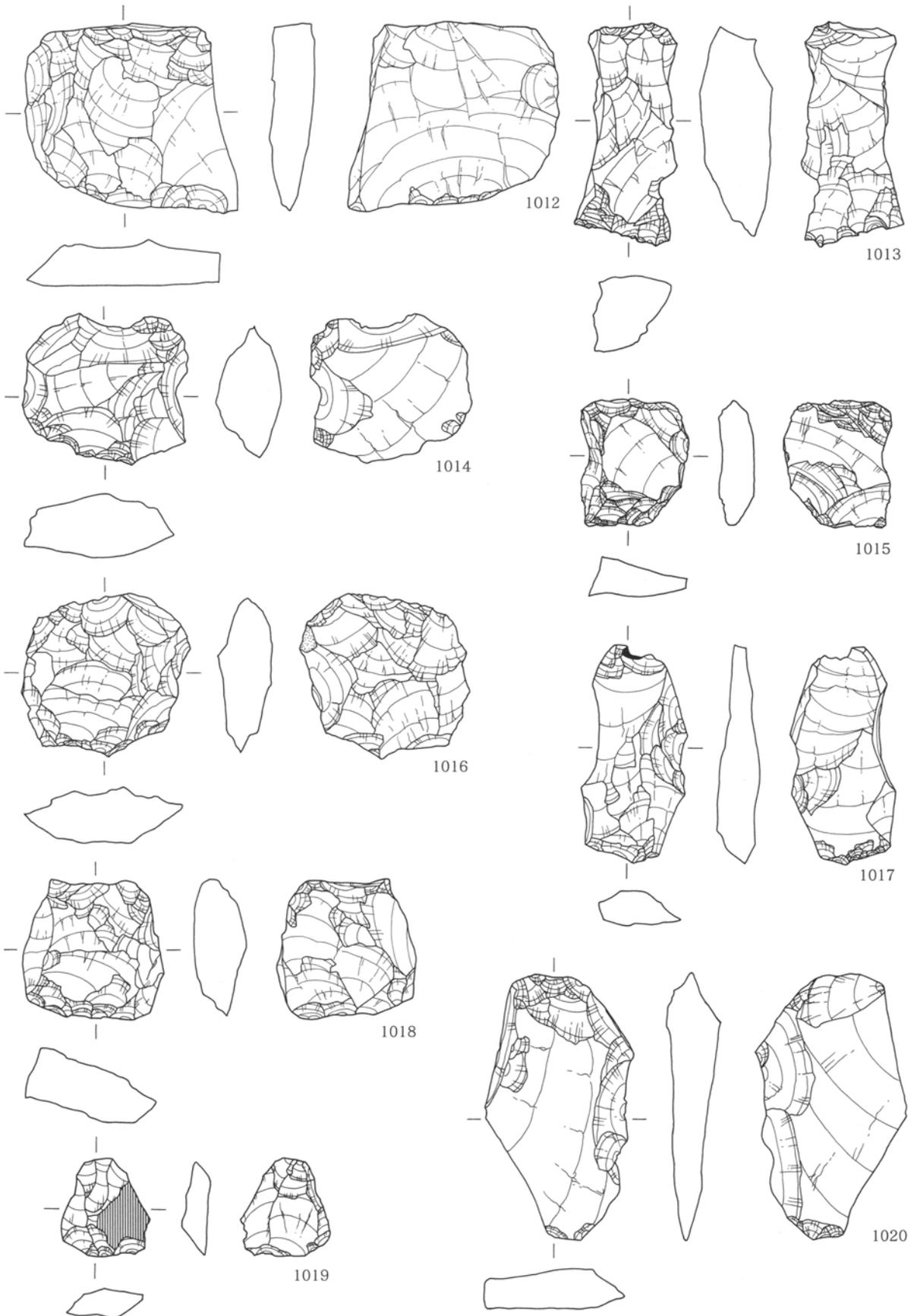
図版 番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
995	J-5	I	黒色頁岩	2.4	2.0	1.1	4.5	-	側面に剪断面(両極剥離痕)。
996	J-7	I	黒色頁岩	3.9	2.2	1.0	10.8	-	側面横割れ。裏面に剪断面(両極剥離痕)。
997	J-53	I	黒色安山岩	3.5	2.5	0.8	9.0	-	
998	J-68	I	黒色頁岩	3.4	2.2	0.6	4.8	-	側面に剪断面。
999	J-92	I	黒色安山岩	3.0	2.5	1.1	9.6	-	
1000	J-93	I	黒色安山岩	3.0	1.2	0.5	1.0	-	正・裏面に剪断面。
1001	955-040	I	チャート	2.0	1.4	0.6	1.6	-	側面横割れ。
1002	表採	I	黒色安山岩	4.3	3.5	1.0	16.2	-	側面横割れ。
1003	965-015	I	チャート	2.7	3.2	1.0	10.0	-	側面横割れ。
1004	940-980	I	黒色安山岩	2.4	1.3	0.9	2.7	-	側面に剪断面。
1005	925-985	I	黒色安山岩	3.6	1.6	1.0	5.0	-	正・裏面に剪断面。
1006	915-975	I	黒色頁岩	2.8	2.1	0.9	5.1	-	側面に剪断面。
1007	970-970	I	黒色安山岩	2.1	2.5	0.7	3.8	-	下端に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。
1008	975-970	I	チャート	2.9	2.3	0.5	3.9	-	裏面に剪断面(両極剥離痕)。
1009	955-025	I	黒曜石	2.3	1.7	0.6	2.2	-	
1010	960-980	I	黒曜石	2.6	1.6	0.8	3.0	-	裏面に剪断面。
1011	表採	I	黒曜石	2.7	1.4	0.8	2.8	-	側面に剪断面。
1012	990-000	I	黒色安山岩	3.3	3.7	0.9	14.0	-	裏面に剪断面(両極剥離痕)。側面横割れ。
1013	935-995	I	チャート	3.9	1.8	1.3	8.9	-	側面に剪断面。
1014	J-7	II	黒色安山岩	2.6	3.0	1.2	9.7	-	
1015	J-5	II	チャート	2.2	1.9	0.7	3.6	-	側面に剪断面。
1016	J-27	II	黒色安山岩	2.9	3.0	1.0	8.6	-	
1017	J-54	II	黒色安山岩	3.8	1.8	0.7	5.0	-	側面横割れ。
1018	J-79	II	黒色安山岩	2.5	2.5	0.9	7.4	-	側面に剪断面(両極剥離痕)。
1019	J-91	II	チャート	1.7	1.6	0.5	1.5	-	
1020	J-92	II	黒色安山岩	4.6	2.7	1.0	11.6	-	側面横割れ。
1021	975-980	II	黒色頁岩	4.9	4.8	1.2	30.0	-	摩滅・線状痕あり。
1022	930-985	II	頁岩	4.0	2.9	0.9	12.0	-	側面横割れ。
1023	表採	II	黒色頁岩	4.4	3.7	1.3	28.0	-	側面に剪断面。
1024	940-975	II	チャート	3.4	2.9	1.1	10.4	-	
1025	930-990	II	黒色安山岩	3.1	2.5	0.8	6.9	-	側面に剪断面。
1026	935-990	II	黒色頁岩	3.0	2.7	1.0	10.4	-	側面に剪断面。
1027	925-990	II	黒色頁岩	2.7	2.6	0.8	6.9	-	側面に剪断面。
1028	915-025	II	黒色頁岩	4.5	3.4	1.0	15.3	-	
1029	960-980	II	黒色安山岩	3.8	1.9	0.6	4.5	-	裏面に剪断面。
1030	J-7	II	チャート	2.3	2.0	0.8	4.2	-	側面横割れ。
1031	J-92	II	黒色安山岩	3.2	3.0	1.0	13.2	-	
1032	表採	II	チャート	4.1	3.8	1.5	27.0	-	側面に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。
1033	960-970	II	黒色安山岩	3.6	3.5	0.9	12.6	-	側面横割れ。
1034	表採	II	黒色安山岩	3.9	4.2	1.2	21.0	-	
1035	表採	II	チャート	2.6	3.2	1.0	10.3	-	側面に剪断面。
1036	915-985	II	黒色安山岩	2.6	1.8	0.8	4.2	-	側面に剪断面。
1037	925-975	II	黒色頁岩	3.0	2.6	2.5	10.6	-	側面に剪断面。
1038	950-995	II	チャート	2.6	2.2	0.9	4.9	-	側面横割れ。
1039	表採	II	黒色安山岩	3.1	2.5	9.0	6.9	-	側面横割れ。
1040	930-990	II	チャート	2.2	1.9	0.8	3.5	-	
1041	975-970	II	チャート	1.6	1.8	0.8	2.2	-	側面に剪断面。
1042	表採	II	チャート	2.2	2.1	1.1	5.9	-	側面に剪断面。
1043	J-2	III	黒色頁岩	2.7	2.1	0.7	3.6	-	
1044	J-5	III	黒色安山岩	4.1	3.2	1.1	17.0	-	側面横割れ。
1045	J-5	III	黒色頁岩	2.6	2.2	0.6	4.6	-	
1046	J-68	III	黒色安山岩	3.9	2.7	1.1	9.8	-	側面横割れ。
1047	J-7	III	黒色安山岩	3.0	2.8	0.7	6.7	-	側面横割れ。
1048	J-97	III	黒曜石	2.5	1.9	1.0	4.5	-	
1049	J-44	III	黒色頁岩	3.0	3.5	0.8	10.0	-	側面に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。
1050	表採	III	黒曜石	1.9	2.1	0.5	1.9	-	
1051	J-93	III	黒色頁岩	3.2	3.3	1.0	11.6	-	
1052	970-975	III	ホルンフェルス	3.8	3.8	1.0	16.0	-	
1053	935-000	III	黒色頁岩	4.1	3.1	0.7	10.3	-	パティナに段階差あり。



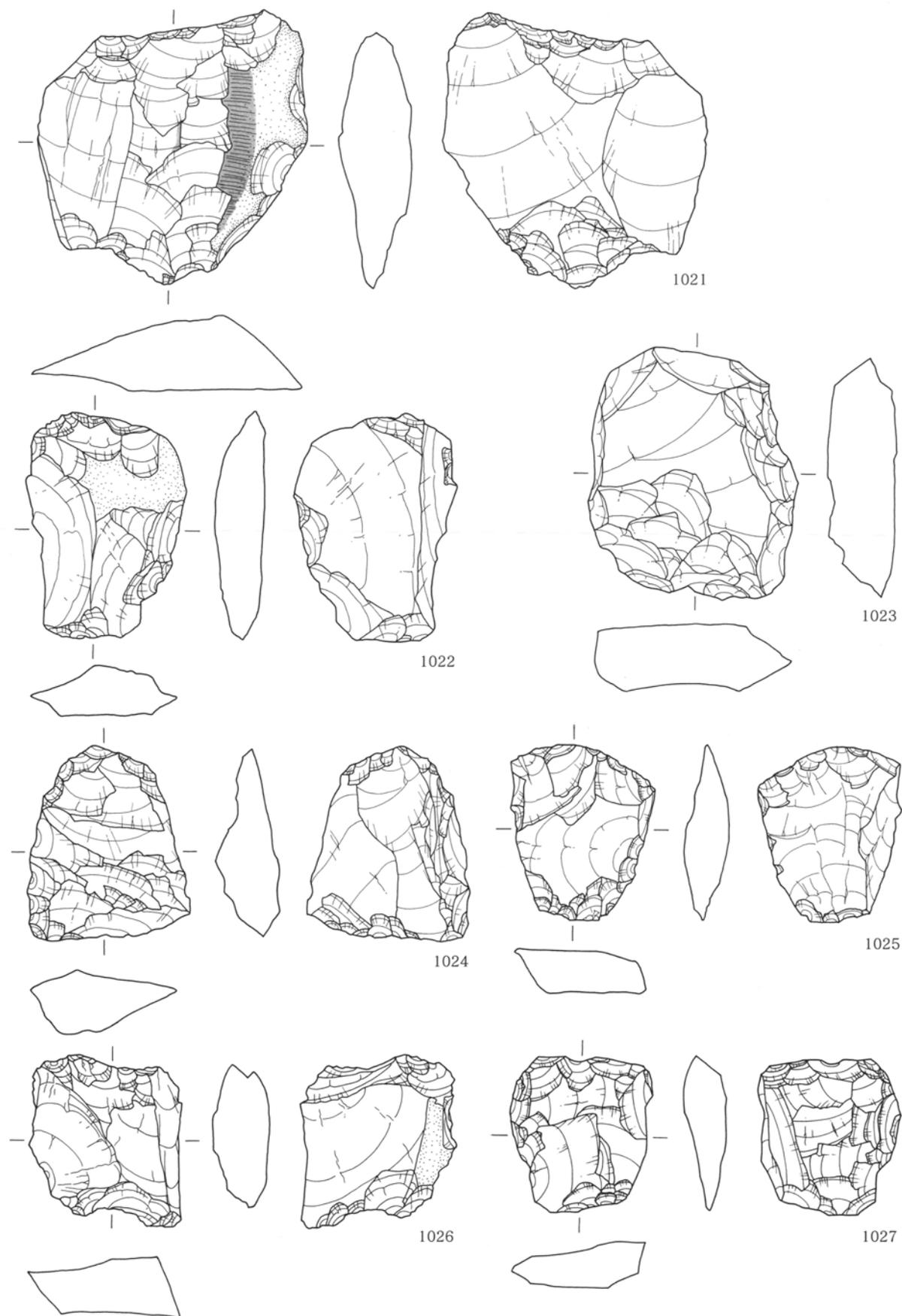
第315图 II区出土楔形石器(1)



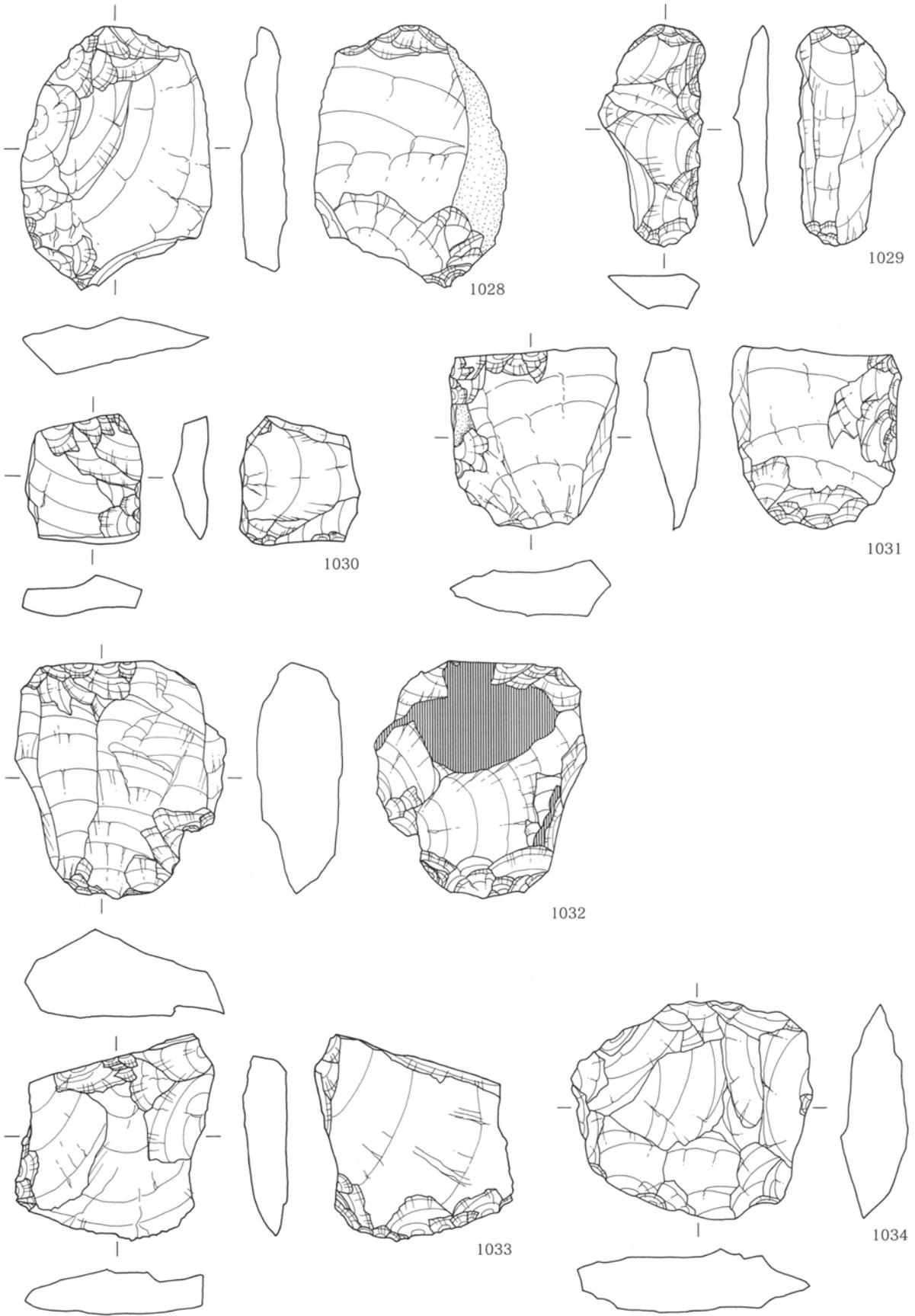
第316图 II区出土楔形石器(2)



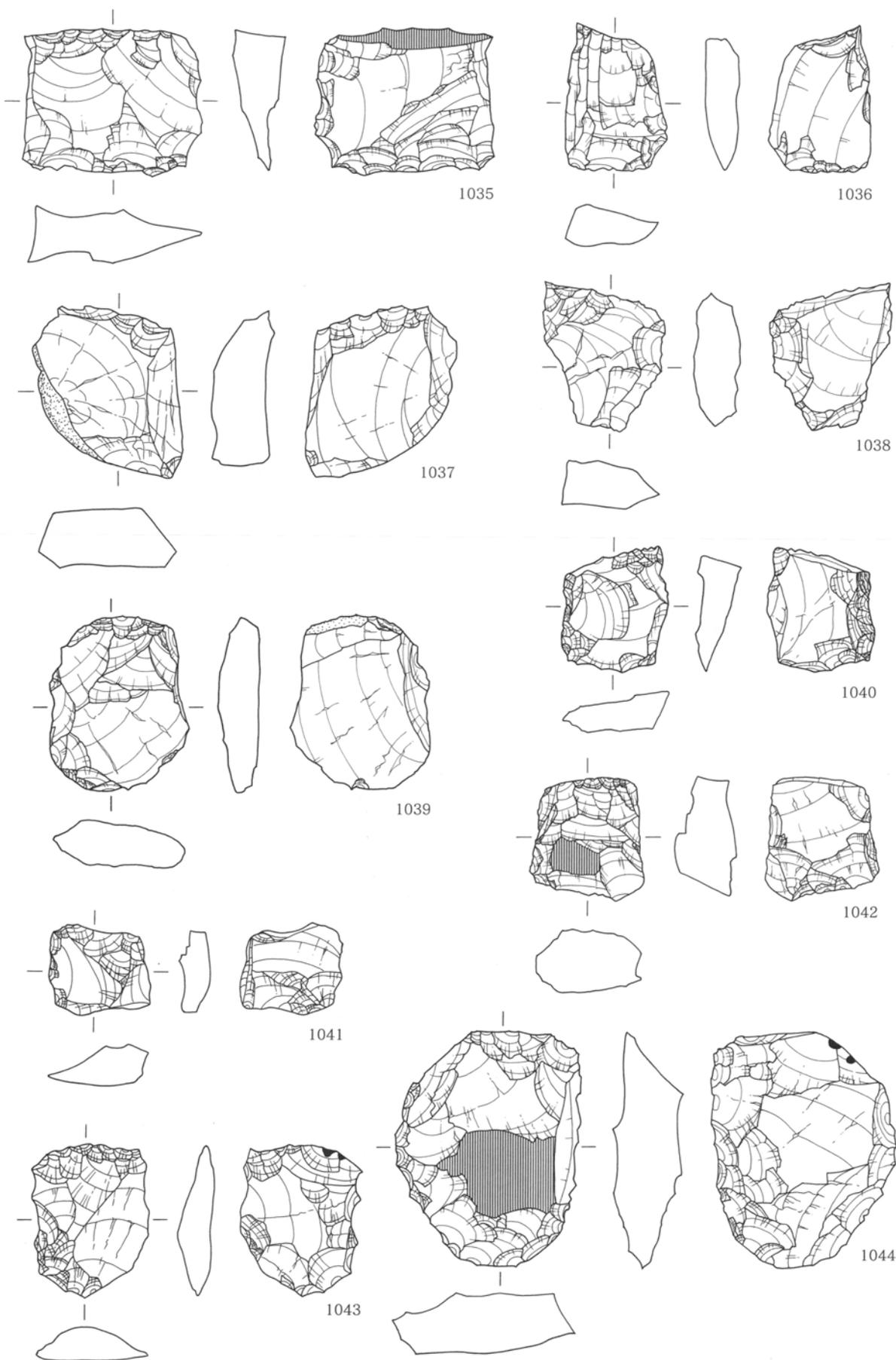
第317图 II区出土楔形石器(3) 0 5cm

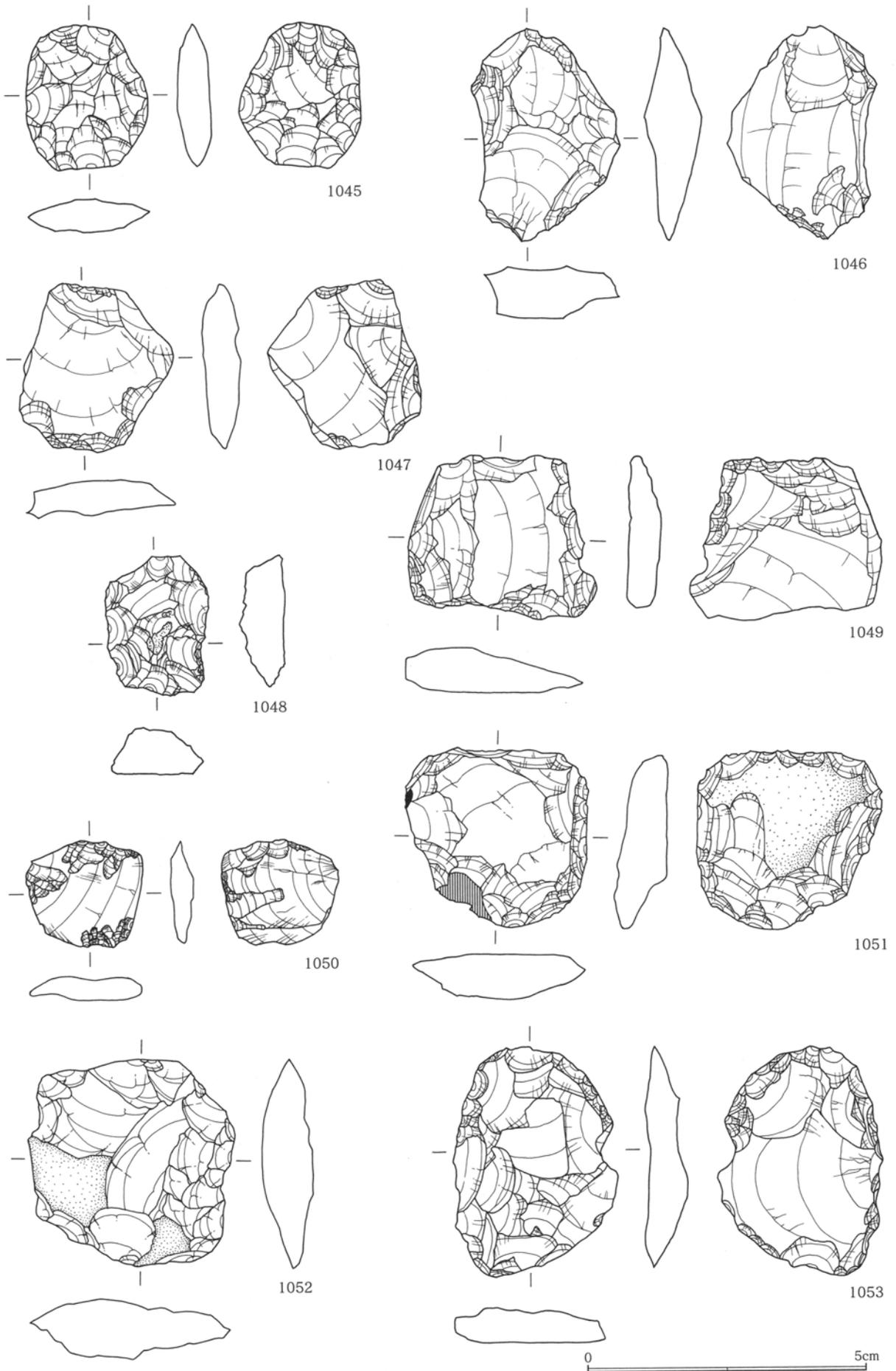


第318图 II区出土楔形石器(4)

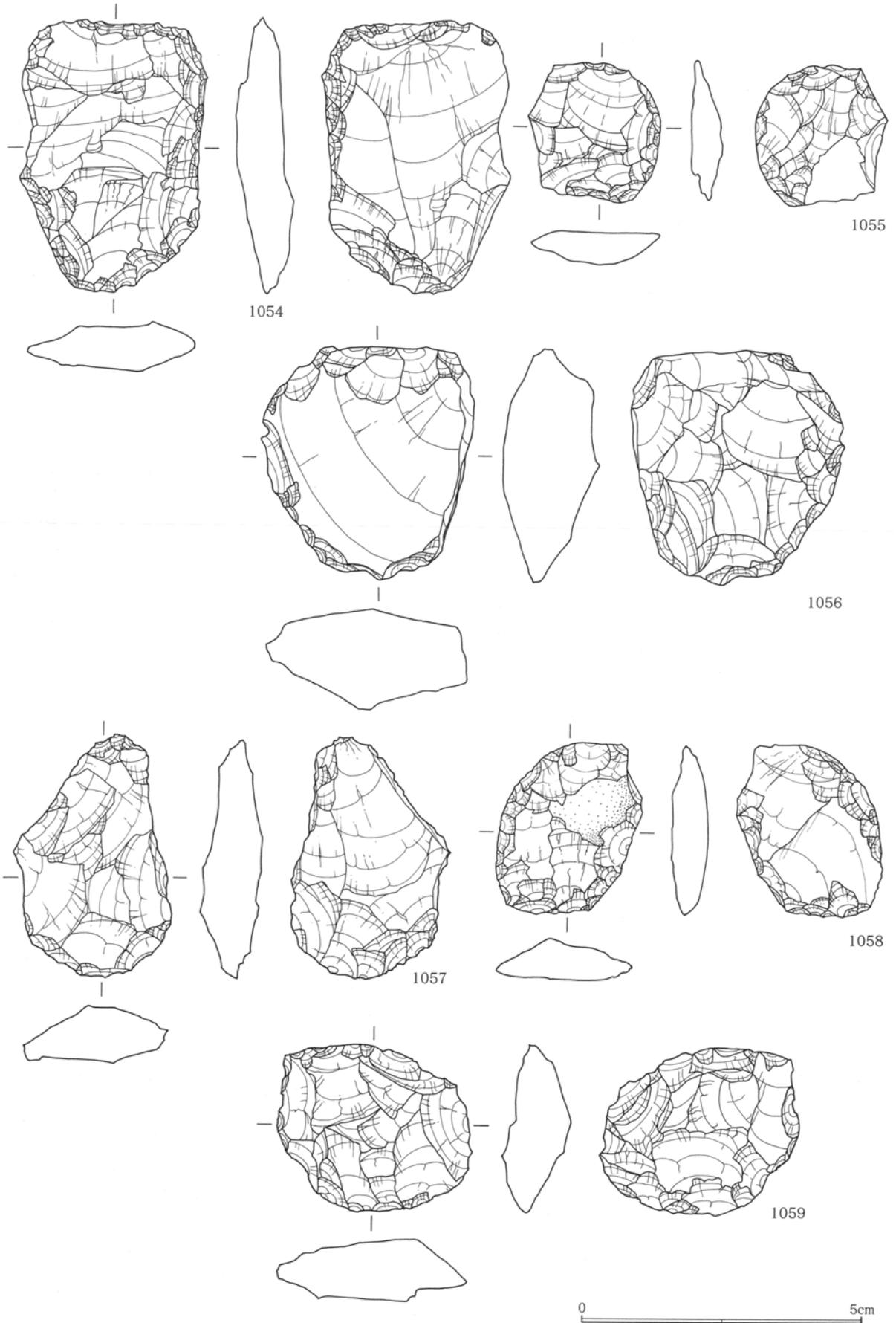


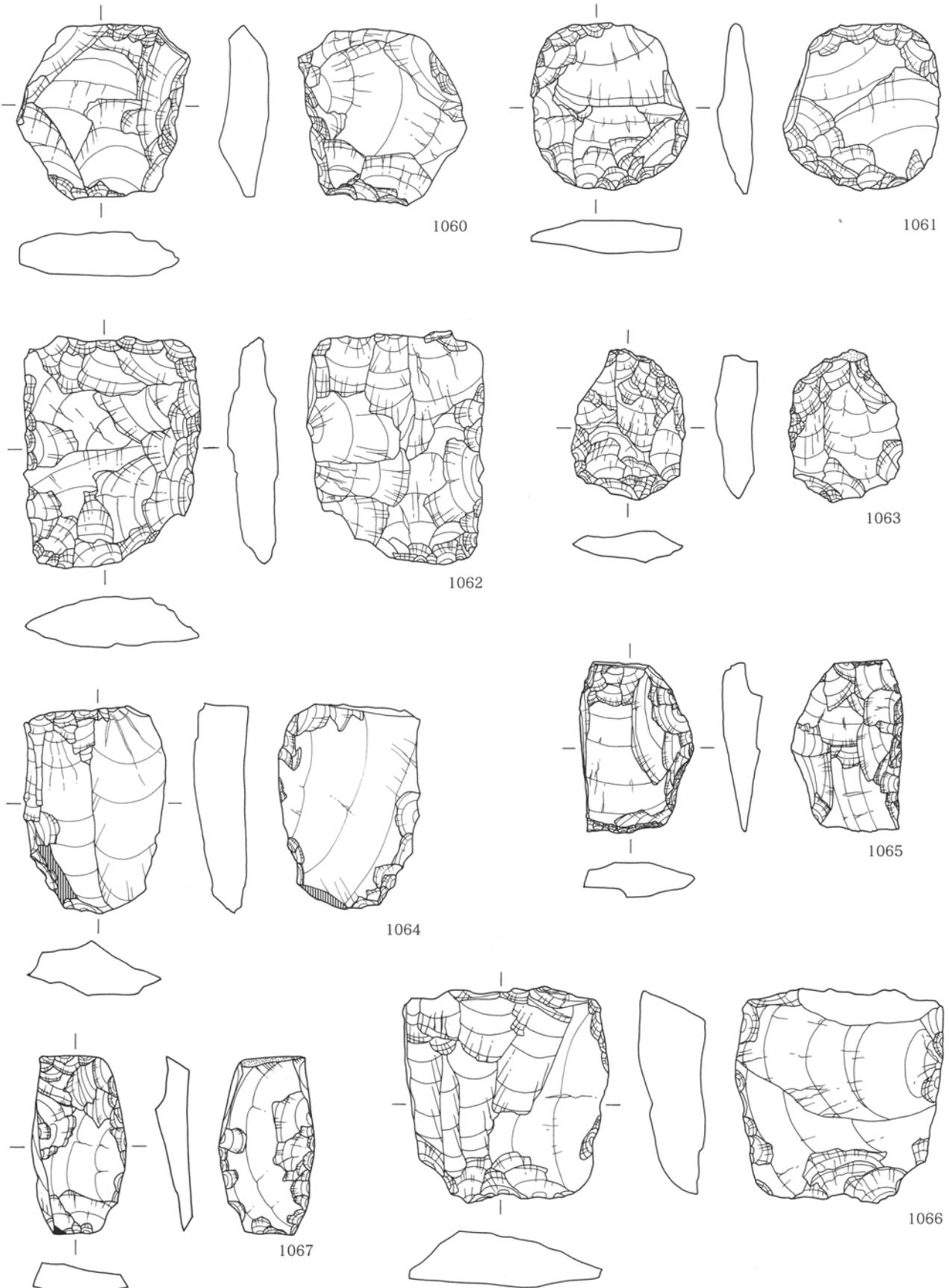
第319图 II区出土楔形石器 (5) 0 5cm





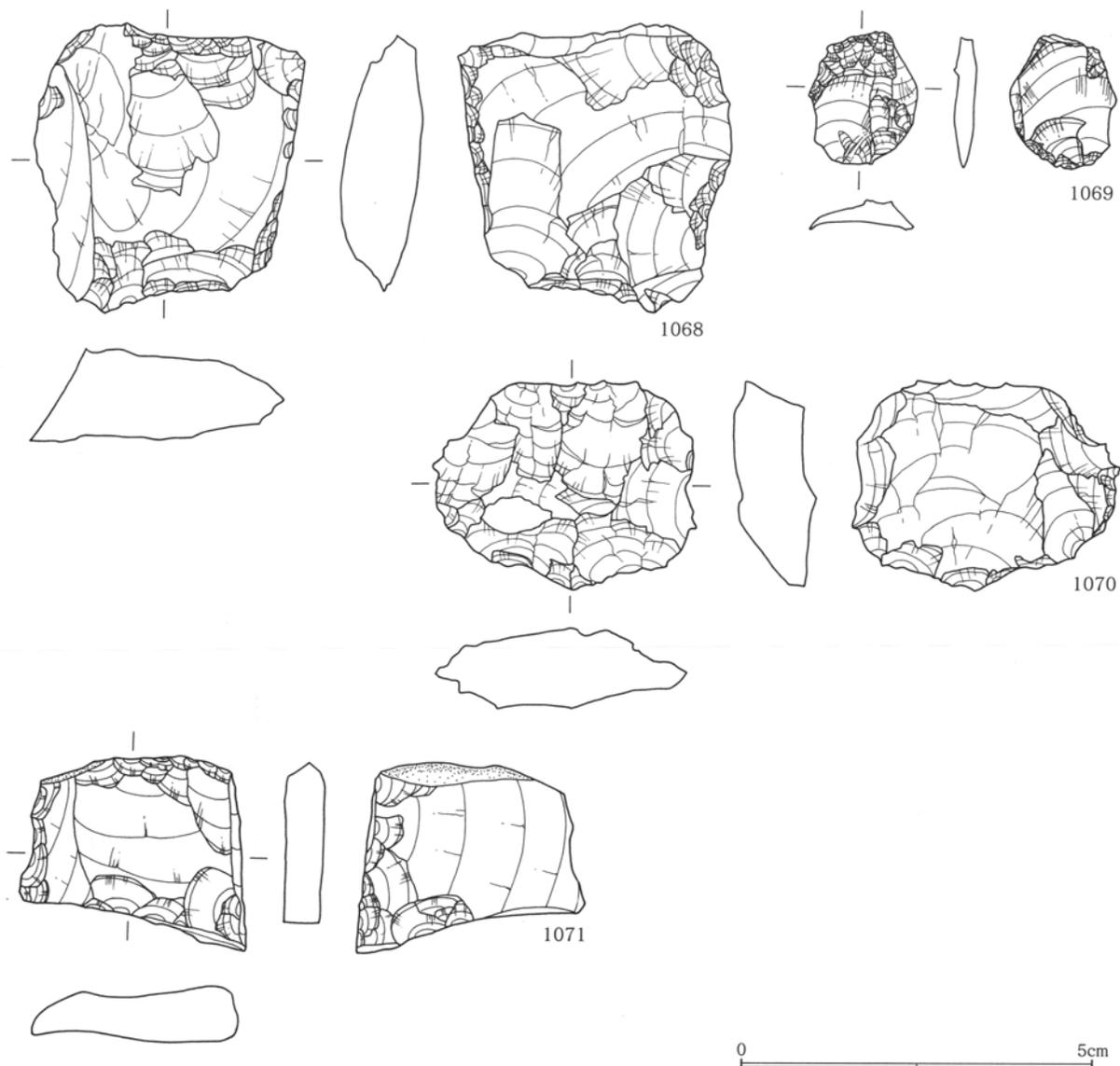
第321圖 II区出土楔形石器(7)





第323图 II区出土楔形石器 (9)

0 5cm



第324図 II区出土楔形石器 (10)

II区楔形石器観察表

図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1054	955-025	Ⅲ	黒色頁岩	4.9	3.4	1.0	16.5	—	
1055	930-990	Ⅲ	黒色頁岩	2.5	2.4	0.6	4.6	—	パティナに段階差あり。
1056	表採	Ⅲ	黒色頁岩	4.1	3.9	1.7	32.6	—	側面に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。
1057	表採	Ⅲ	黒色安山岩	4.3	2.9	1.0	12.0	—	側面横割れ。
1058	925-980	Ⅲ	黒色安山岩	3.0	2.6	0.7	6.7	—	
1059	940-980	Ⅲ	黒色安山岩	2.9	3.5	1.2	12.6	—	
1060	970-995	Ⅲ	黒色安山岩	3.1	3.1	0.9	10.1	—	上端に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。
1061	表採	Ⅲ	黒色安山岩	3.0	2.9	0.6	6.1	—	
1062	965-935	Ⅲ	黒色安山岩	4.1	3.2	0.9	14.2	—	
1063	J-1	Ⅲ	黒色頁岩	2.7	2.0	0.7	4.0	—	
1064	J-91	Ⅲ	チャート	3.7	2.5	1.0	11.5	—	
1065	935-995	Ⅲ	チャート	3.1	2.0	0.6	4.5	—	側面横割れ。
1066	表採	Ⅲ	黒色頁岩	3.8	3.7	1.3	21.5	—	
1067	920-985	Ⅲ	黒色安山岩	3.2	1.7	0.6	4.0	—	側面横割れ。
1068	960-980	Ⅲ	黒色頁岩	4.1	3.9	1.4	25.7	—	
1069	920-980	Ⅲ	黒曜石	1.9	1.6	0.4	1.1	—	
1070	955-980	Ⅲ	チャート	3.0	3.8	1.2	15.1	—	
1071	J-92	Ⅲ	黒色頁岩	2.7	3.3	0.8	8.1	—	側面に剪断面。剪断面を切る二次加工面あり。

II区石鏃観察表

図版 番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1072	J-1	凹基	黒曜石	(2.3)	(1.7)	0.4	1.3	先端・片脚部	先端部は製作途上の事故割れ。未製品の可能性あり。
1073	J-5	凹基	黒色安山岩	2.3	(1.8)	0.4	1.2	片脚部	
1074	J-5	凹基	黒色安山岩	(2.2)	(2.2)	0.5	1.6	先端・片脚部	先端部欠損後に折れ面から再加工。
1075	J-5	凹基	チャート	3.8	(2.3)	0.6	4.5	片脚部	パティナに段階差あり。
1076	J-5	凹基	黒色安山岩	2.2	1.8	0.5	1.8	なし	
1077	J-5	凹基	黒色安山岩	(2.0)	2.1	0.3	1.2	先端・胴部	
1078	J-5	凹基	黒曜石	(1.9)	1.4	0.5	1.0	先端部	
1079	J-5	凹基	黒曜石	1.2	1.4	0.4	0.4	なし	
1080	J-7	凹基	黒色安山岩	3.1	2.7	1.0	7.1	なし	
1081	J-7	凹基	黒色安山岩	3.0	1.4	0.6	2.1	片脚部	
1082	J-7	凹基	チャート	2.9	1.7	0.6	2.0	片脚部	
1083	J-7	凹基	黒色頁岩	1.5	(1.5)	0.4	0.6	両脚部	
1084	J-8	凹基	黒色安山岩	(2.3)	(1.5)	0.4	1.0	両脚部	
1085	J-16	凹基	黒色安山岩	2.4	(1.9)	0.5	1.6	片脚部	
1086	J-17	凹基	チャート	1.4	1.8	0.4	0.6	なし	
1087	J-24	凹基	黒色安山岩	(2.3)	2.2	0.6	2.6	先端部	
1088	J-22	凹基	黒色安山岩	2.3	2.2	0.5	1.5	なし	
1089	J-25	凹基	黒色安山岩	(3.1)	(2.1)	0.4	1.8	先端・両脚部	先端部に衝撃剥離痕。
1090	J-26	凹基	チャート	1.8	1.8	0.5	1.1	なし	
1091	J-32	凹基	黒曜石	(1.6)	(1.4)	0.3	0.4	先端・片脚部	先端部に衝撃剥離痕。
1092	J-45	凹基	黒曜石	(2.0)	(1.5)	0.6	1.1	先端・両脚部	先端部に衝撃剥離痕。
1093	J-51	凹基	黒色安山岩	(2.4)	2.1	0.4	1.3	先端部	
1094	J-33	凹基	チャート	2.3	(1.6)	0.4	1.1	片脚部	
1095	J-54	凹基	黒色安山岩	3.2	(2.0)	0.5	1.4	片脚部	
1096	J-66	凹基	チャート	(2.1)	2.1	0.4	1.0	先端部	先端部欠損(衝撃剥離痕)後に折れ面から再加工。
1097	J-66	凹基	黒色安山岩	2.7	(2.0)	0.7	3.3	片脚部	
1098	J-65	凹基	チャート	(1.6)	(0.8)	0.3	0.4	縦割れ、脚部	
1099	J-66	凹基	黒曜石	1.4	(1.0)	0.3	0.3	片脚部	基部側からの割れによる欠損。製作途上の事故割れ。
1100	J-66	凹基	チャート	(1.9)	(1.7)	0.5	0.7	縦割れ	先端部からの縦割れ(衝撃剥離痕)。
1101	J-68	凹基	チャート	(2.8)	(2.0)	0.8	1.0	先端・片脚部	
1102	J-73	凹基	黒色安山岩	1.8	(1.3)	0.4	3.5	片脚部	
1103	J-73	凹基	チャート	1.8	1.3	0.4	0.7	なし	縁辺が鋸歯状加工。
1104	J-91	凹基	黒色安山岩	(2.6)	4.2	0.8	0.9	上半部	
1105	J-91	凹基	黒色安山岩	(2.6)	(1.3)	0.5	1.4	先端・両脚部	
1106	J-92	凹基	黒色安山岩	1.4	1.0	0.2	0.3	なし	
1107	J-92	凹基	チャート	1.5	1.7	0.5	0.9	なし	
1108	J-92	凹基	黒色安山岩	2.0	1.7	0.4	0.9	なし	
1109	J-98	凹基	黒色安山岩	2.1	(1.0)	0.4	0.8	縦割れ	
1110	J-98	凹基	珪質頁岩	2.3	1.6	0.6	1.6	なし	
1111	J-98	凹基	チャート	1.8	1.5	0.5	1.2	なし	
1112	J-98	凹基	黒色安山岩	(1.3)	2.0	0.4	1.3	先端・胴部	
1113	J-98	凹基	チャート	2.3	(1.5)	0.6	0.9	片脚部	
1114	表探	凹基	チャート	2.7	2.0	0.4	1.5	なし	
1115	表探	凹基	チャート	(1.7)	(1.6)	0.4	1.0	先端・両脚部	
1116	表探	凹基	黒色安山岩	1.6	1.7	0.5	0.8	なし	
1117	960-030	凹基	チャート	3.8	2.3	0.6	3.7	なし	
1118	940-995	凹基	チャート	2.3	2.1	0.8	2.9	なし	
1119	930-985	凹基	チャート	(1.8)	(1.4)	0.4	0.8	先端・片脚部	先端部に衝撃剥離痕。
1120	955-040	凹基	黒色安山岩	(1.9)	2.0	0.4	0.9	先端部	
1121	935-995	凹基	黒色安山岩	2.6	2.4	0.6	2.7	なし	
1122	930-975	凹基	黒色頁岩	2.7	2.6	0.5	3.5	なし	
1123	表探	凹基	チャート	3.0	1.6	0.3	1.1	なし	
1124	965-970	凹基	黒色安山岩	3.2	2.2	0.6	3.0	なし	
1125	950-980	凹基	チャート	2.7	2.0	8.0	3.7	なし	
1126	950-010	凹基	黒色安山岩	2.6	(2.2)	0.7	3.0	片脚部	
1127	950-995	凹基	黒色頁岩	2.4	1.9	0.6	2.0	なし	
1128	930-985	凹基	黒色安山岩	2.2	1.7	0.5	2.6	なし	
1129	925-980	凹基	黒色安山岩	2.7	2.3	0.9	3.4	なし	
1130	925-985	凹基	チャート	3.3	(2.1)	0.5	2.2	片脚部	

第4章 出土遺物

II区石鏃観察表

図版番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1131	950-990	凹基	黒色安山岩	(2.6)	2.5	0.7	2.5	先端部	
1132	925-990	凹基	黒色安山岩	2.8	(2.0)	0.4	1.4	片脚部	
1133	表採	凹基	黒色安山岩	3.0	2.1	5.0	2.2	一側縁部	
1134	表採	凹基	チャート	2.9	(2.3)	0.6	2.8	片脚部	
1135	表採	凹基	黒色安山岩	(2.5)	(2.0)	0.4	1.7	上半・片脚部	
1136	表採	凹基	黒色安山岩	2.7	(1.3)	0.4	1.2	片脚部	
1137	940-025	凹基	黒色頁岩	(2.5)	1.9	0.4	1.5	先端・片脚部	
1138	表採	凹基	黒色安山岩	2.6	1.8	0.4	1.5	なし	
1139	表採	凹基	黒色頁岩	2.8	2.0	0.4	1.4	なし	
1140	945-990	凹基	チャート	2.4	1.9	0.3	0.8	なし	
1141	950-005	凹基	黒色安山岩	2.7	1.6	0.3	1.2	なし	
1142	925-990	凹基	黒色安山岩	(2.4)	(2.1)	0.5	1.6	先端・両脚部	先端部に衝撃剥離痕。
1143	950-990	凹基	黒色安山岩	2.6	(1.7)	0.4	1.3	片脚部	
1144	表採	凹基	黒色安山岩	3.0	(1.8)	0.4	1.1	片脚部	
1145	945-025	凹基	チャート	(2.5)	(1.9)	0.4	1.4	両脚部	
1146	930-975	凹基	黒色安山岩	(2.5)	(1.8)	0.4	1.0	先端・片脚部	
1147	915-980	凹基	チャート	2.7	(1.8)	0.5	1.8	一側縁部	
1148	930-985	凹基	黒色安山岩	2.7	1.8	0.4	1.1	なし	
1149	935-995	凹基	黒色安山岩	2.9	(2.1)	0.6	2.8	片脚部	
1150	表採	凹基	チャート	2.9	(1.4)	0.4	1.1	一側縁から片脚部にかけて	
1151	915-985	凹基	黒色頁岩	(2.3)	(1.8)	0.4	0.9	先端・片脚部	
1152	970-980	凹基	黒色安山岩	2.4	1.9	0.8	2.3	なし	
1153	915-985	凹基	チャート	2.3	1.7	0.3	0.7	なし	
1154	表採	凹基	チャート	(2.7)	1.3	0.4	1.1	先端部	先端部節理割れ後に再加工。
1155	955-990	凹基	黒色安山岩	(1.8)	2.0	0.4	1.2	先端部	
1156	930-930	凹基	黒色安山岩	2.5	(1.3)	0.3	0.7	片脚部	
1157	925-990	凹基	チャート	2.3	(1.4)	0.3	0.7	片脚部	
1158	930-970	凹基	黒色安山岩	(2.4)	(1.8)	0.5	1.4	両脚部	
1159	935-970	凹基	黒色安山岩	2.5	(1.6)	0.5	1.5	片脚部	
1160	935-990	凹基	黒色安山岩	(2.2)	(2.1)	0.7	2.0	先端・片脚部	
1161	表採	凹基	黒色安山岩	(2.2)	1.8	0.5	1.6	先端部	
1162	970-980	凹基	チャート	2.1	1.8	0.3	1.0	なし	
1163	930-990	凹基	チャート	2.2	1.6	0.4	0.8	なし	基部片面に摩滅あり。
1164	表採	凹基	黒色安山岩	1.9	2.1	0.5	1.3	なし	
1165	950-980	凹基	黒色安山岩	2.0	2.0	0.5	1.3	なし	
1166	915-985	凹基	黒色頁岩	2.1	1.4	0.5	1.2	なし	
1167	925-985	凹基	チャート	2.0	1.4	0.3	0.4	なし	
1168	930-985	凹基	チャート	2.0	1.7	0.4	1.0	なし	
1169	920-985	凹基	黒色安山岩	(2.1)	(1.9)	0.3	1.0	先端・片脚部	
1170	980-015	凹基	黒色安山岩	(2.1)	(1.7)	0.4	0.9	先端・片脚部	
1171	920-980	凹基	黒色安山岩	2.3	(1.9)	0.6	1.3	片脚部	
1172	970-995	凹基	黒色安山岩	(2.0)	2.0	4.0	1.5	先端部	
1173	960-990	凹基	黒色安山岩	(1.9)	(2.1)	0.4	1.2	上半・片脚部	
1174	925-980	凹基	黒色安山岩	1.8	1.9	0.4	1.0	なし	
1175	表採	凹基	チャート	(2.0)	(1.6)	0.5	1.2	片脚部	
1176	930-990	凹基	黒色安山岩	2.1	1.5	0.4	1.0	なし	
1177	955-000	凹基	チャート	2.1	1.4	0.5	1.0	なし	
1178	表採	凹基	チャート	2.1	(1.1)	0.3	0.4	片脚部	
1179	925-985	凹基	チャート	2.3	(1.4)	0.3	0.8	片脚部	
1180	970-025	凹基	チャート	(2.0)	1.8	0.4	1.2	先端部	
1181	950-005	凹基	黒曜石	(2.2)	(1.2)	0.3	0.8	先端・一側縁部	基部両面に縦方向の線状痕と摩滅あり。折れ面上に一部再加工あり。
1182	940-985	凹基	黒曜石	(1.7)	1.9	0.5	1.2	先端部	先端部は製作途上の事故割れ。未製品の可能性あり。被熱(全面発泡)。
1183	表採	凹基	黒色頁岩	(1.9)	1.5	0.4	1.0	両脚部	
1184	925-985	凹基	黒曜石	(1.9)	1.9	0.5	1.3	先端部	先端部に衝撃剥離痕。基部片面に縦方向の線状痕あり。
1185	960-020	凹基	黒曜石	1.9	(1.4)	0.5	0.8	片脚部	
1186	955-020	凹基	黒曜石	1.6	1.4	0.3	0.4	なし	

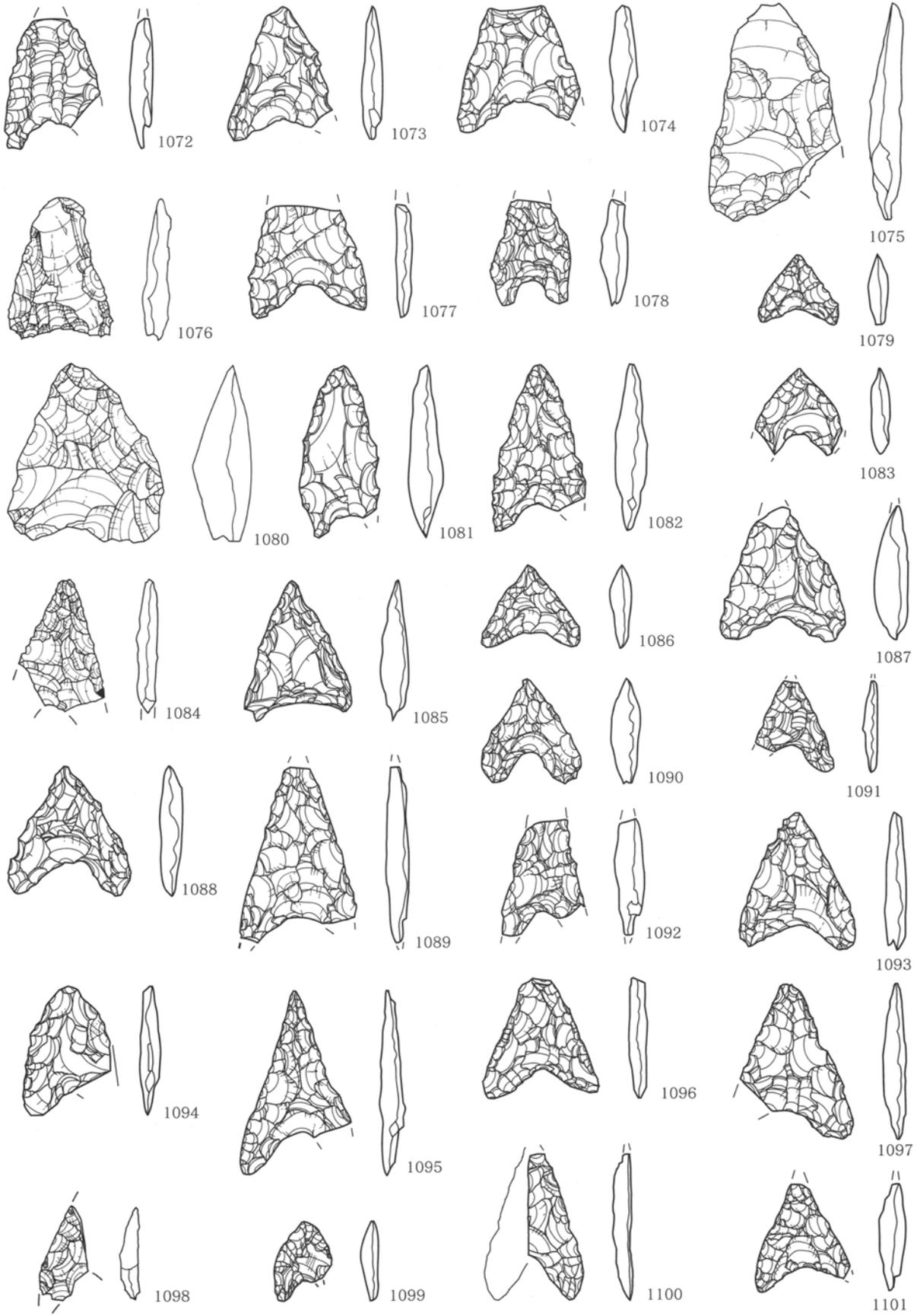
II区石鏃観察表

図版 番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1187	975-970	凹基	チャート	2.0	1.3	0.6	1.3	なし	
1188	930-990	凹基	黒色安山岩	1.8	(1.4)	0.3	0.7	片脚部	
1189	表採	凹基	黒色安山岩	(1.8)	(1.7)	0.4	1.1	両脚部	
1190	表採	凹基	チャート	2.0	(1.7)	0.5	1.0	片脚部	
1191	950-005	凹基	黒色安山岩	1.6	1.5	0.4	0.5	なし	
1192	表採	凹基	チャート	(1.9)	(1.0)	0.4	0.5	縦割れ	
1193	940-980	凹基	黒色安山岩	(1.8)	(1.3)	0.4	0.7	縦割れ	
1194	930-985	凹基	黒色安山岩	1.9	1.5	0.4	0.8	なし	
1195	975-970	凹基	黒色頁岩	2.5	(1.1)	0.4	0.7	片脚部	
1196	表採	凹基	チャート	(1.9)	(1.6)	0.3	0.7	先端・片脚部	片脚に被熱による剥落あり。
1197	930-995	凹基	チャート	2.2	(0.9)	0.4	0.6	縦割れ	先端部からの縦割れ(衝撃剥離痕)。
1198	950-970	凹基	黒色安山岩	1.8	(1.7)	0.5	1.1	片脚部	
1199	960-975	凹基	黒色安山岩	(2.1)	(1.4)	0.4	0.8	両脚部	
1200	表採	凹基	チャート	1.7	(1.1)	0.3	0.3	片脚部	
1201	955-980	凹基	黒色安山岩	(1.9)	(1.3)	0.3	0.7	先端・両脚部	
1202	950-970	凹基	黒曜石	1.5	1.5	0.5	0.7	なし	
1203	表採	凹基	黒曜石	1.7	1.3	0.4	0.7	なし	被熱(表面発泡)。
1204	940-000	凹基	黒曜石	(1.9)	(0.7)	0.2	0.2	縦割れ	基部からの割れ。製作上の事故割れ。
1205	940-000	凹基	黒色安山岩	1.9	(1.2)	0.5	0.7	片脚部	
1206	表採	凹基	黒曜石	2.0	(0.9)	0.3	0.3	片脚部	
1207	表採	凹基	チャート	(1.3)	1.2	0.4	0.5	先端部	
1208	955-985	凹基	黒曜石	1.2	1.5	0.4	0.4	先端部	先端部に衝撃剥離痕。
1209	965-970	凹基	黒色安山岩	(1.4)	1.6	0.4	0.8	先端・片脚部	
1210	930-000	凹基	チャート	(1.1)	(1.1)	0.3	0.2	上半・片脚部	
1211	920-995	凹基	チャート	1.4	1.2	0.4	0.5	なし	
1212	表採	凹基	黒色頁岩	(1.4)	1.1	0.3	0.5	先端部	先端部に衝撃剥離痕。
1213	J-4	平基	黒色安山岩	(2.1)	2.0	0.4	1.5	先端部	
1214	J-5	平基	チャート	2.5	2.2	0.8	3.2	なし	
1215	J-7	平基	黒色安山岩	2.5	(1.3)	0.3	1.1	一側縁部	
1216	J-45	平基	黒曜石	2.2	1.9	0.6	1.7	なし	
1217	J-66	平基	黒色安山岩	3.4	(2.3)	0.6	3.4	基部一端	
1218	J-68	平基	黒色安山岩	2.0	2.0	0.6	2.4	なし	
1219	J-92	平基	黒色頁岩	(2.8)	1.9	0.5	2.9	先端部	
1220	J-98	平基	黒色安山岩	2.2	1.8	0.4	1.4	なし	未製品の可能性あり。
1221	915-990	平基	黒色安山岩	3.0	2.6	0.8	4.6	なし	
1222	915-985	平基	黒色安山岩	3.6	2.4	0.9	5.7	なし	
1223	表採	平基	黒色安山岩	3.1	2.7	1.0	7.6	なし	
1224	925-985	平基	黒色安山岩	(3.0)	(2.5)	0.7	4.1	先端部、基部一端	
1225	930-985	平基	チャート	2.7	(1.8)	0.5	2.2	片脚部	
1226	表採	平基	黒色安山岩	2.9	(1.9)	0.6	2.3	基部一端	
1227	930-895	平基	チャート	2.7	2.0	0.7	3.3	なし	未製品の可能性あり。
1228	930-985	平基	黒色安山岩	2.4	2.3	0.7	4.0	なし	
1229	925-990	平基	黒色安山岩	2.6	1.8	0.7	2.2	なし	
1230	915-975	平基	黒色安山岩	2.7	1.9	0.6	2.4	一側縁部	
1231	表採	平基	チャート	2.3	1.6	0.7	2.0	なし	基部に黒色付着物あり。
1232	935-980	平基	黒色頁岩	2.4	1.9	0.5	2.3	なし	
1233	920-975	平基	チャート	(2.1)	1.4	0.5	1.2	先端部	
1234	970-005	平基	黒曜石	1.6	1.1	0.5	0.8	なし	
1235	表採	平基	チャート	(1.9)	(1.2)	0.3	0.5	先端から基部片側にかけて	
1236	J-3	凸基	黒色安山岩	(2.9)	2.7	0.9	5.4	先端部	
1237	J-5	凸基	黒曜石	2.8	1.5	0.6	1.6	なし	
1238	J-32	凸基	黒色安山岩	3.4	2.6	0.8	7.0	なし	
1239	表採	凸基	チャート	3.6	2.8	0.9	8.0	なし	
1240	955-985	凸基	チャート	3.6	2.8	1.1	7.3	なし	
1241	表採	凸基	チャート	3.1	2.7	1.0	7.8	なし	
1242	930-990	凸基	黒色安山岩	3.5	2.7	0.8	6.2	一側縁部	
1243	表採	凸基	チャート	3.7	2.3	0.8	5.3	なし	

第4章 出土遺物

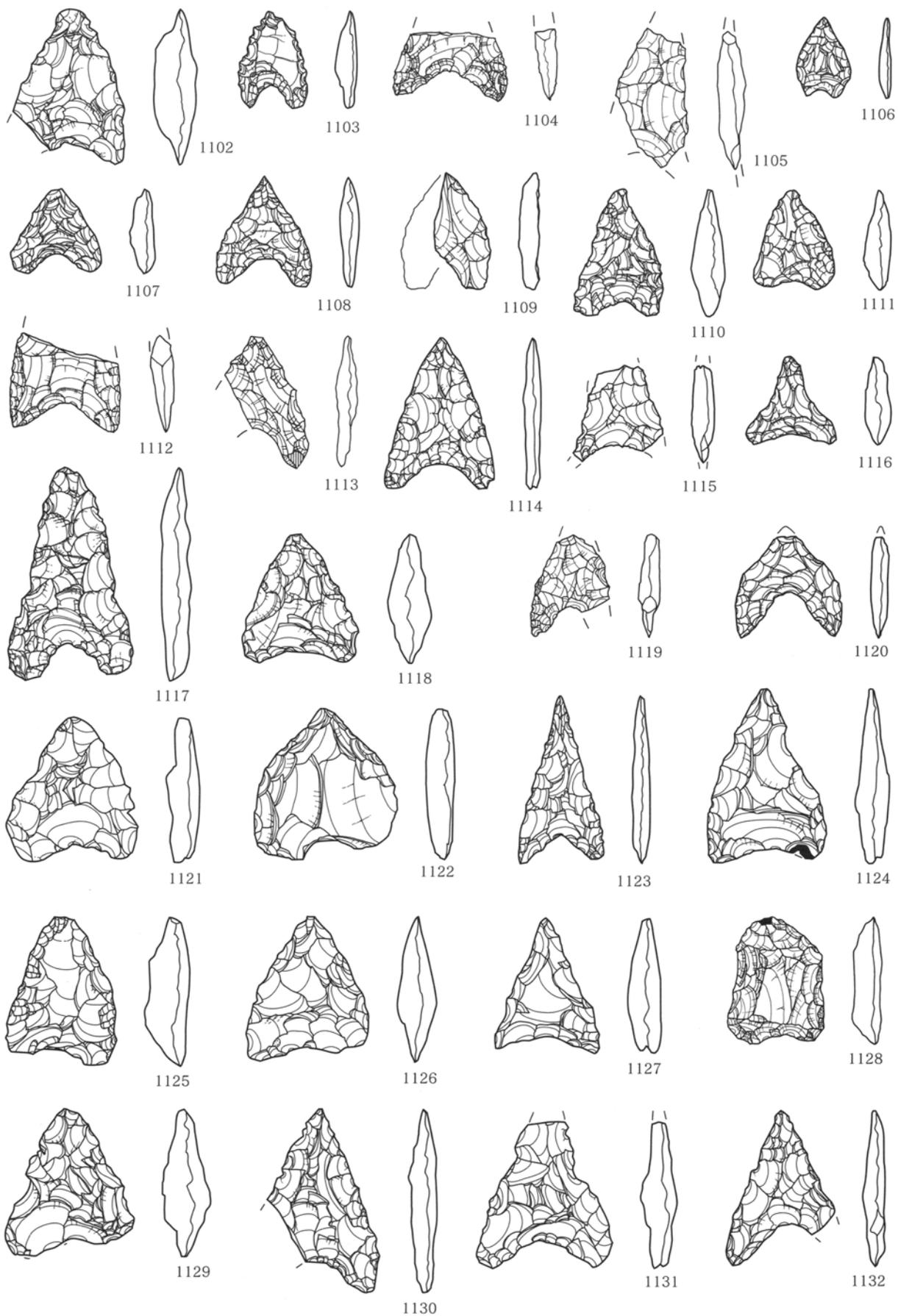
II区石鏃観察表

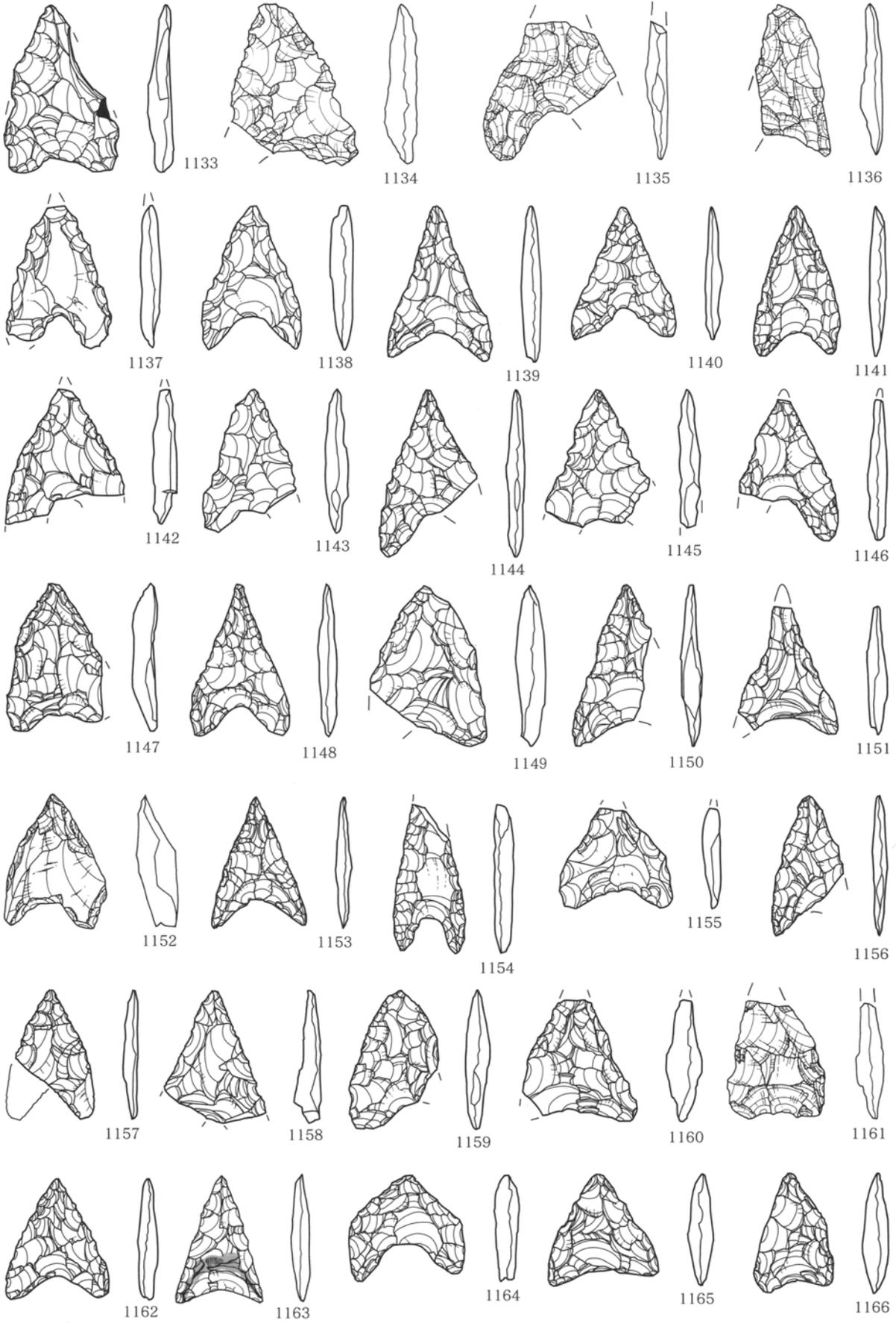
図版 番号	出土位置	類型	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1244	960-025	凸基	黒色安山岩	3.7	2.0	0.7	4.1	なし	未製品の可憚性あり。
1245	955-995	凸基	黒色安山岩	3.2	2.5	0.8	5.7	なし	
1246	955-030	凸基	黒色安山岩	2.5	2.3	0.7	2.9	なし	
1247	975-970	凸基	チャート	(2.1)	1.1	0.4	0.6	先端部	先端部に衝撃剥離痕。
1248	J-19	有茎	チャート	2.4	1.5	0.4	1.2	片脚部	
1249	J-93	有茎	チャート	2.2	1.8	0.4	1.1	なし	
1250	930-990	有茎	黒色安山岩	2.6	1.4	0.4	1.3	なし	
1251	J-5	-	黒色安山岩	(4.0)	(2.4)	0.6	3.6	下半部	
1252	J-5	-	チャート	(2.4)	1.9	0.7	3.0	先端・基部	
1253	J-51	-	チャート	(2.0)	1.8	0.5	1.4	下半部	
1254	J-66	-	黒曜石	2.2	2.0	0.6	1.9	一側縁部	未製品の可能性あり。
1255	J-83	-	黒色安山岩	(2.6)	(1.6)	0.5	16.0	先端・基部	
1256	J-91	-	黒色安山岩	(1.5)	(1.5)	0.3	0.8	先端・基部	
1257	J-98	-	チャート	1.6	1.2	0.4	0.5	下半部	
1258	940-995	-	黒色安山岩	2.7	2.7	0.4	3.2	基部	
1259	915-990	-	チャート	(1.9)	(1.3)	0.6	1.1	下半部	
1260	表採	-	チャート	(2.0)	2.4	0.7	3.2	先端・基部	先端部欠損後の再加工あり。
1261	925-990	-	黒色頁岩	(1.7)	(1.4)	0.4	0.9	下半部	
1262	935-990	-	黒色安山岩	(2.6)	(1.7)	(0.5)	1.6	下半部	製作途上の事故割れによる欠損。
1263	955-975	-	黒色安山岩	(3.5)	2.7	1.0	8.0	基部	
1264	925-990	-	黒色安山岩	2.3	(2.0)	0.4	1.3	基部	
1265	935-000	-	黒曜石	(2.0)	(1.3)	0.3	0.4	下半部	
1266	950-975	-	黒曜石	(1.4)	(1.0)	0.4	0.5	下半部	被熱(全面発泡)。



第325图 II区出土石鏃(1)

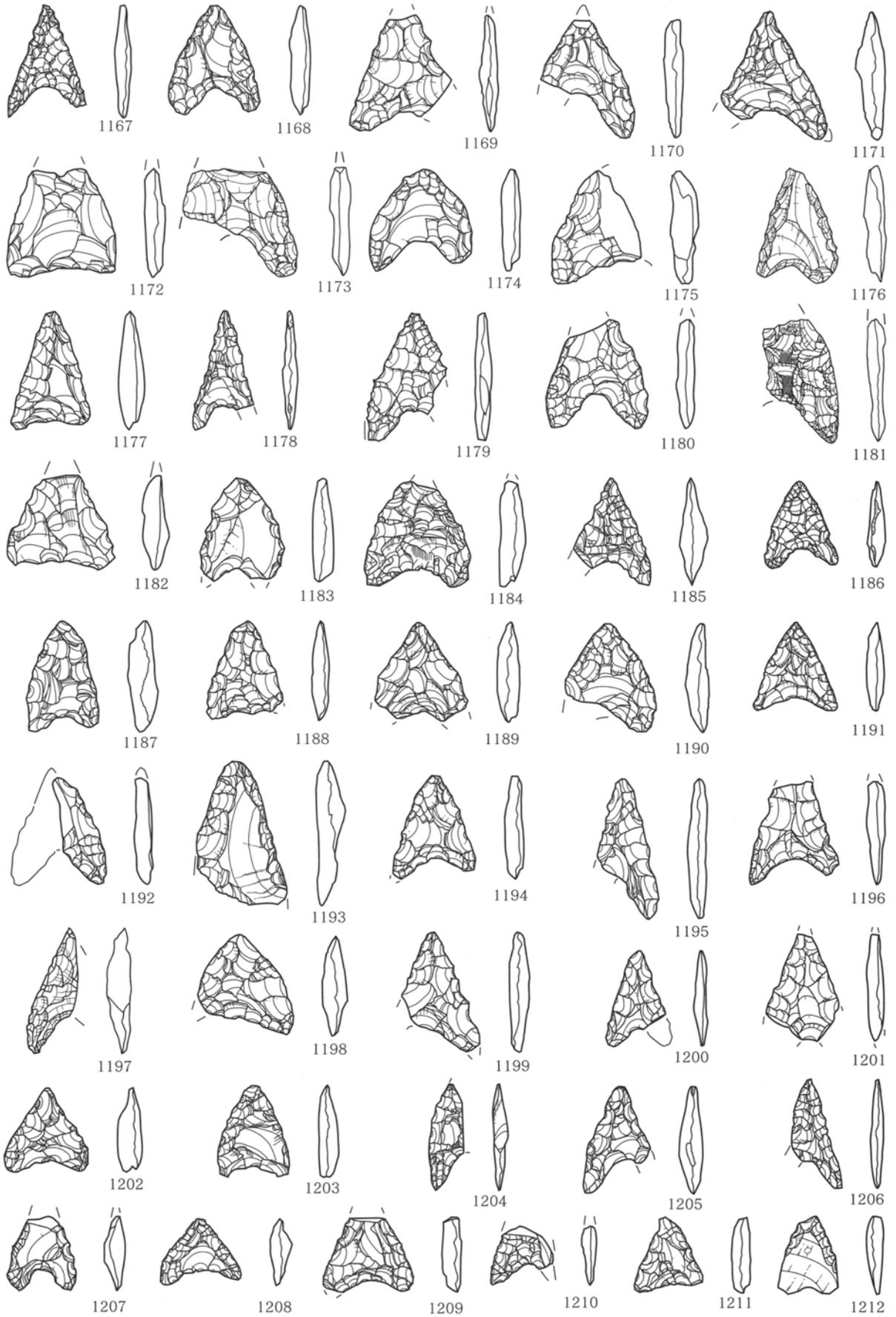
0 5cm

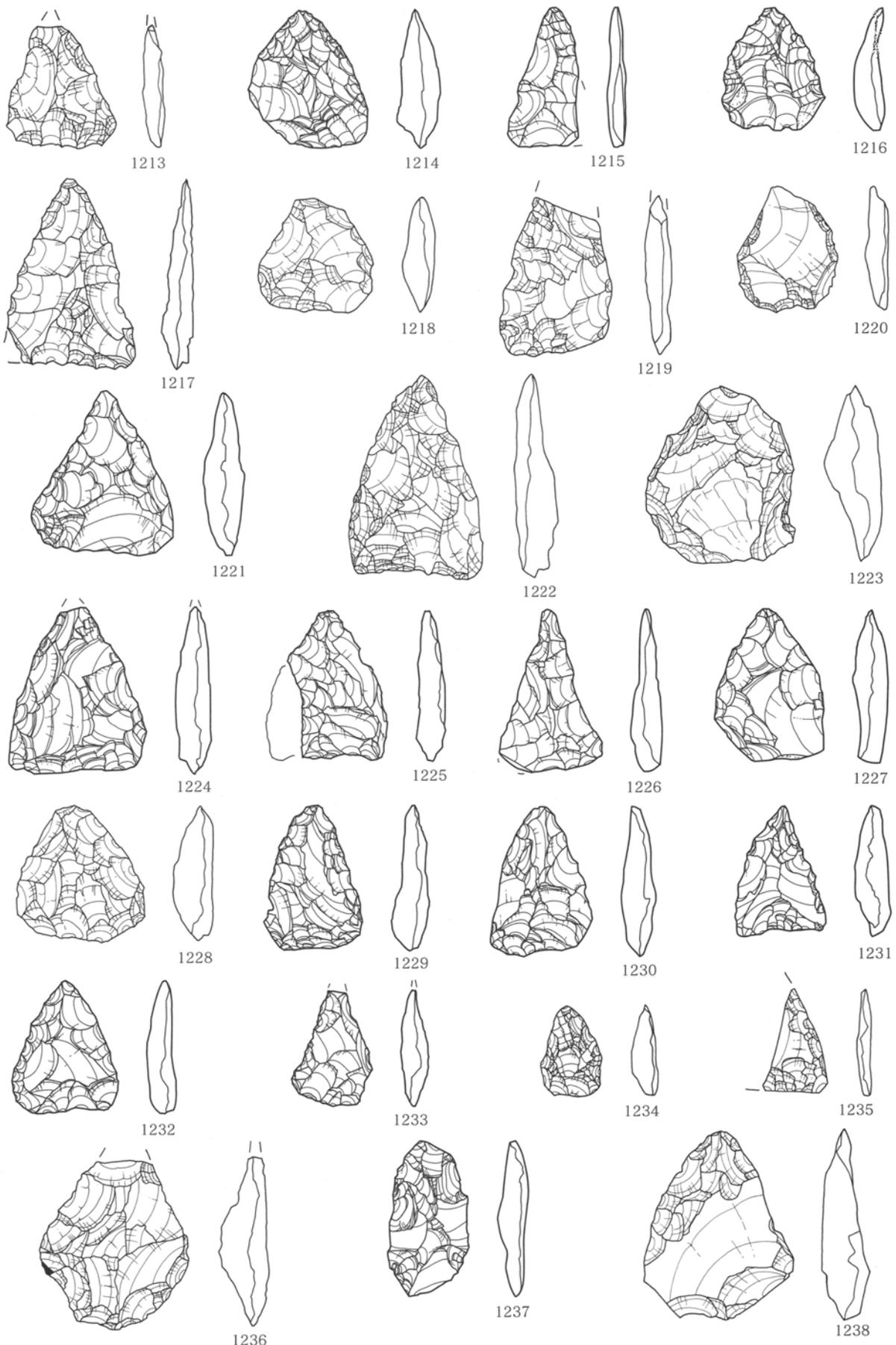




第327圖 II区出土石鏃(3)

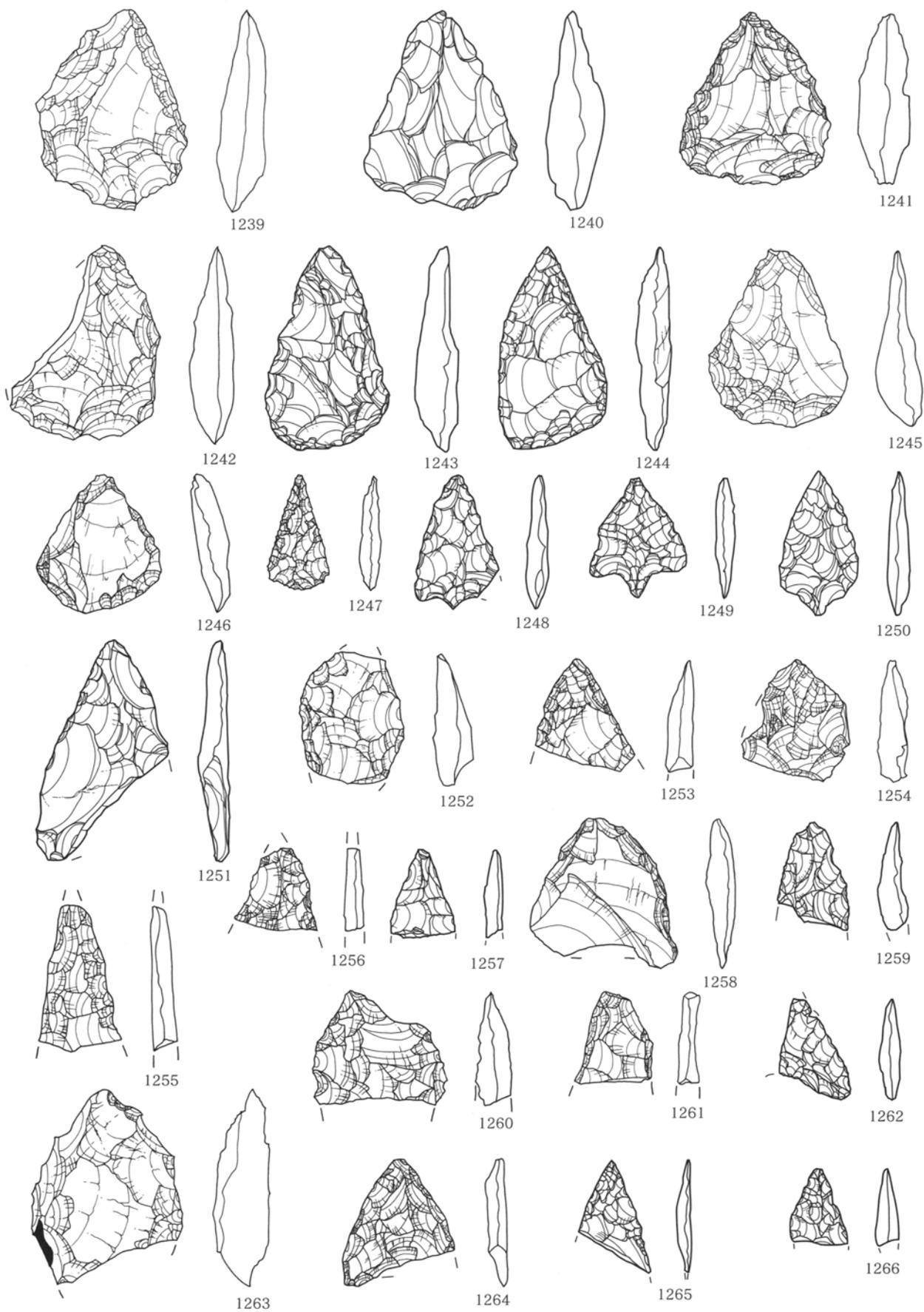
0 5cm

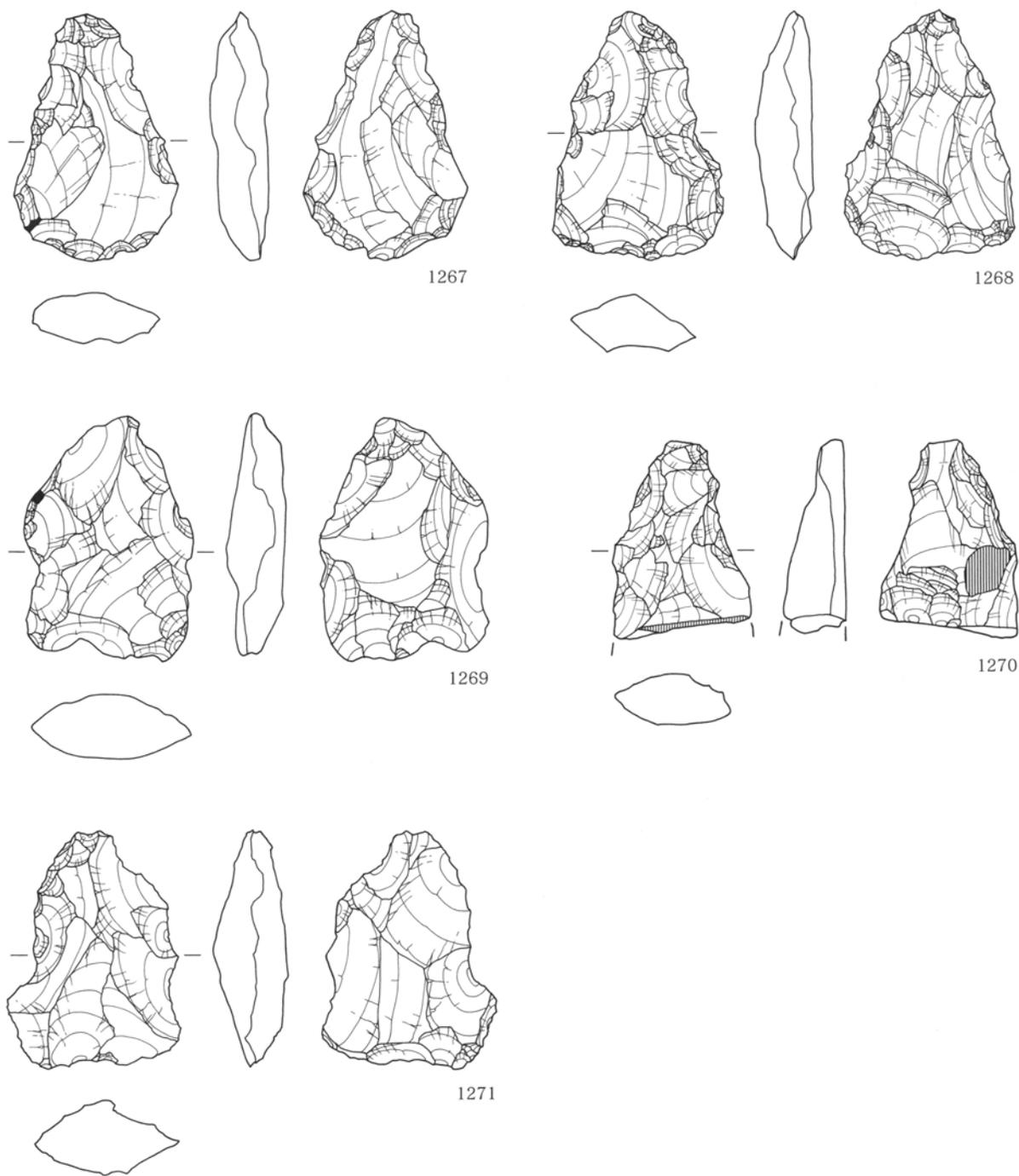




第329圖 II区出土石鏃 (5)

0 5cm  
493





第331図 II区出土尖頭器

II区尖頭器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1267	J-98	黒色安山岩	3.8	2.6	0.9	7.4	なし	
1268	表採	チャート	3.9	2.7	0.9	8.0	なし	
1269	930-985	黒色安山岩	3.8	2.7	1.0	9.5	なし	
1270	表採	チャート	(2.9)	(2.2)	1.0	5.6	基部	基部欠損後に折れ面からの再加工あり。
1271	925-000	黒色安山岩	3.7	2.7	1.2	9.0	なし	

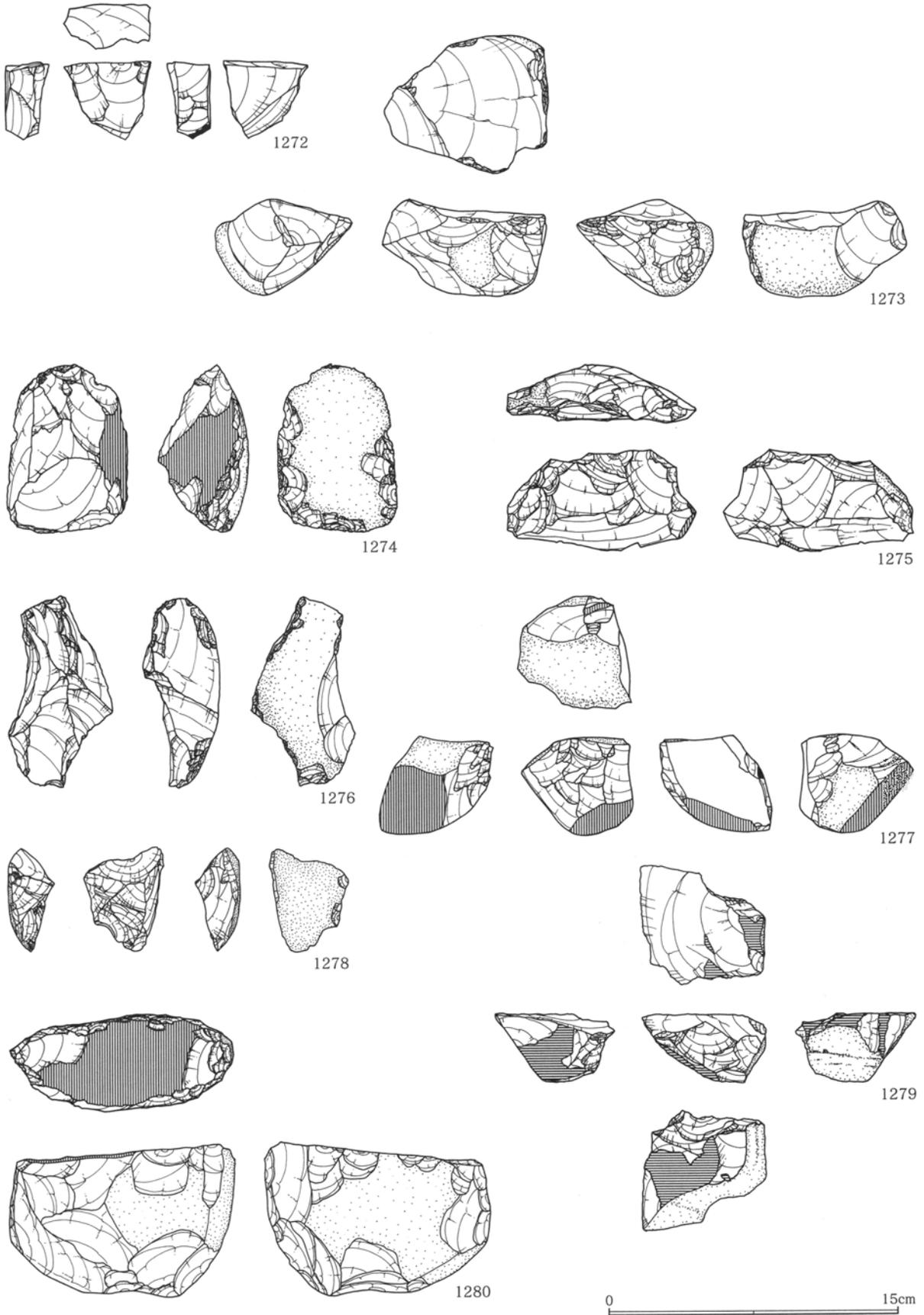
第4章 出土遺物

II区石核観察表

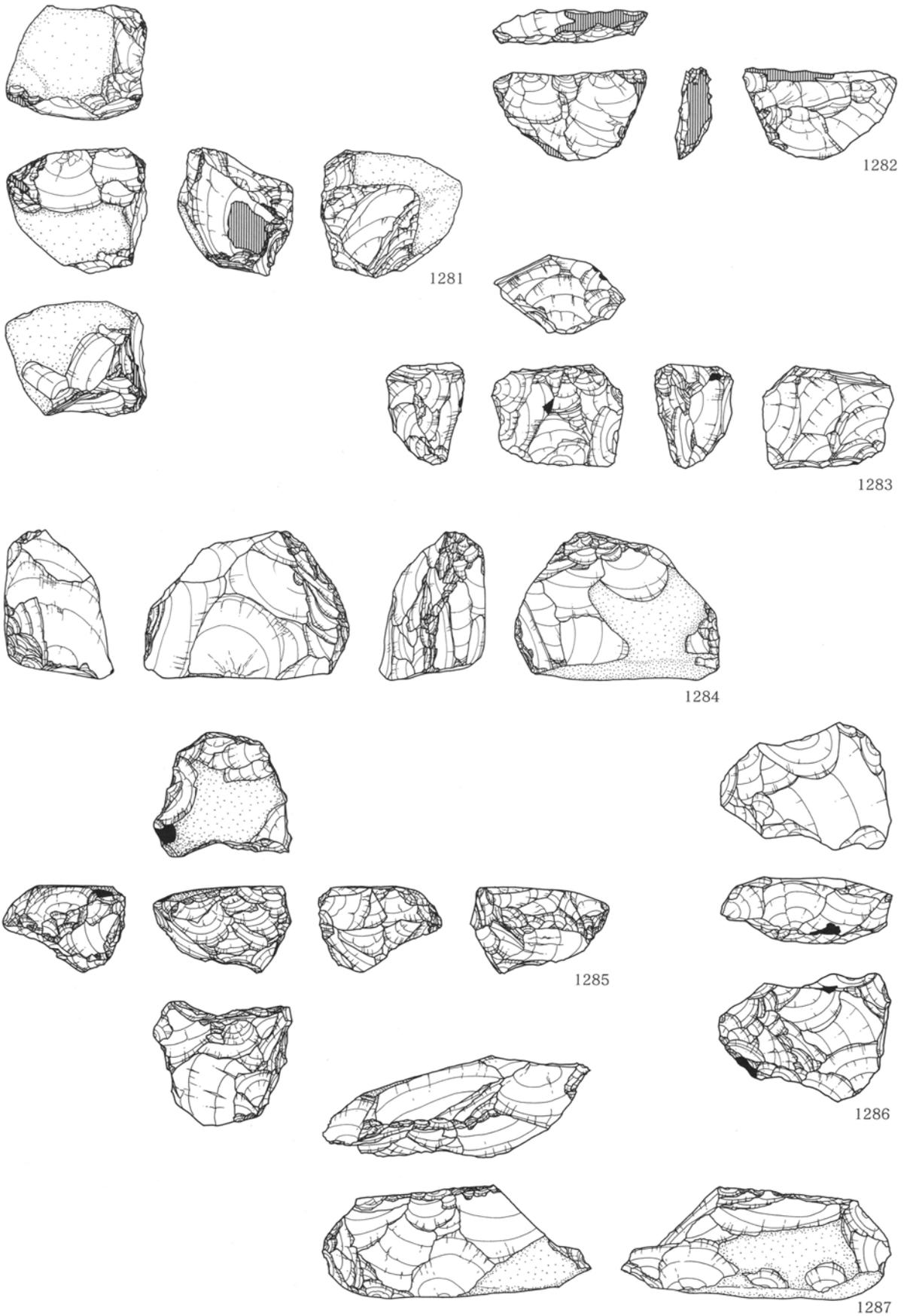
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1272	J-83	黒色頁岩	4.0	4.6	2.3	47.0	—	単設打面。
1273	表採	黒色頁岩	5.0	8.5	7.1	267.0	—	単設打面。
1274	表採	黒色頁岩	8.6	6.3	4.7	285.0	—	単設打面(自然面打面)。
1275	970-995	黒色頁岩	5.1	9.8	2.9	148.0	—	単設打面。
1276	940-995	黒色頁岩	4.0	9.8	5.4	171.0	—	単設打面(自然面打面)。
1277	表採	黒色頁岩	5.1	5.9	5.8	196.0	—	単設打面(自然面打面)、一部剥落あり。
1278	表採	黒色頁岩	5.3	4.2	2.4	44.0	—	単設打面(自然面打面)。
1279	表採	黒色頁岩	3.5	6.4	6.2	139.0	—	単設打面。
1280	J-2	ホルンフェルス	7.9	11.7	5.0	639.0	—	多打面。
1281	表採	黒色頁岩	6.7	7.4	6.1	360.0	—	多打面。
1282	表採	チャート	4.8	8.1	1.9	69.0	—	多打面(節理面打面)。
1283	表採	黒色頁岩	5.4	6.9	4.1	160.0	—	多打面。
1284	920-980	黒色頁岩	7.8	10.8	5.7	552.0	—	多打面。
1285	960-975	黒色頁岩	4.5	7.3	6.5	232.0	—	多打面。
1286	表採	黒色頁岩	3.6	9.1	7.2	224.0	—	多打面、剥片素材石核。
1287	935-995	黒色頁岩	14.2	5.8	5.3	470.0	—	多打面。
1288	J-5	黒色頁岩	8.6	6.9	4.2	277.0	—	求心状。
1289	950-015	黒色安山岩	6.6	5.2	2.8	91.0	—	求心状。
1290	表採	黒色頁岩	5.8	7.5	4.4	183.0	—	求心状(自然面打面)、剥片素材石核。
1291	970-015	黒色安山岩	4.7	6.1	2.8	69.0	—	求心状。
1292	945-020	黒色安山岩	5.4	4.7	2.4	68.0	—	求心状。
1293	J-33	黒曜石	1.3	3.8	1.5	5.0	—	単設打面(自然面打面)。
1294	J-44	黒曜石	1.3	2.6	1.4	3.0	—	単設打面。
1295	960-970	黒曜石	1.3	0.8	1.1	1.0	—	単設打面、剥片素材石核。
1296	950-985	黒曜石	2.7	1.5	1.2	4.0	—	単設打面。
1297	表採	黒曜石	1.5	1.7	1.2	3.0	—	単設打面。
1298	950-980	黒曜石	2.0	2.7	1.1	5.0	—	単設打面(自然面打面)。
1299	950-985	黒曜石	1.2	3.2	1.7	5.0	—	単設打面(自然面打面)。
1300	975-970	黒曜石	1.9	2.4	1.4	5.0	—	単設打面。
1301	表採	黒曜石	2.2	3.0	1.1	7.0	—	単設打面。
1302	J-32	黒曜石	1.9	2.8	1.8	9.0	—	多打面。
1303	J-5	黒曜石	3.8	4.4	1.8	23.0	—	多打面。
1304	J-73	黒曜石	2.9	2.2	1.2	4.0	—	多打面。
1305	J-65	黒曜石	2.3	2.9	1.8	11.0	—	多打面。
1306	表採	黒曜石	2.5	3.6	2.3	13.0	—	多打面。
1307	表採	黒曜石	2.2	1.6	1.6	3.0	—	多打面。
1308	955-980	黒曜石	2.4	1.9	0.9	3.0	—	多打面。
1309	925-000	黒曜石	2.6	2.1	1.4	6.0	—	多打面。
1310	930-985	黒曜石	1.5	1.7	1.0	2.0	—	多打面。
1311	965-970	黒曜石	2.5	2.5	1.3	7.0	—	多打面。
1312	970-975	黒曜石	1.6	2.1	1.2	3.0	—	多打面。
1313	960-980	黒曜石	1.5	1.7	1.0	1.0	—	多打面。
1314	955-015	黒曜石	1.1	1.7	1.1	1.0	—	多打面。
1315	975-015	黒曜石	2.0	1.9	1.1	3.0	—	多打面。
1316	960-970	黒曜石	1.9	2.0	1.0	2.0	—	多打面。
1317	表採	黒曜石	1.8	2.4	1.8	6.0	—	多打面。
1318	表採	黒曜石	1.6	2.1	1.0	1.0	—	多打面。
1319	945-995	黒曜石	1.6	2.1	1.7	6.0	—	多打面。
1320	表採	黒曜石	1.4	2.0	1.2	3.0	—	多打面。
1321	950-025	玉髄	1.6	2.2	1.8	7.0	—	多打面。
1322	表採	黒曜石	2.1	2.2	1.0	4.0	—	多打面。
1323	955-980	黒曜石	1.7	1.7	1.3	4.0	—	多打面。

II区原石観察表

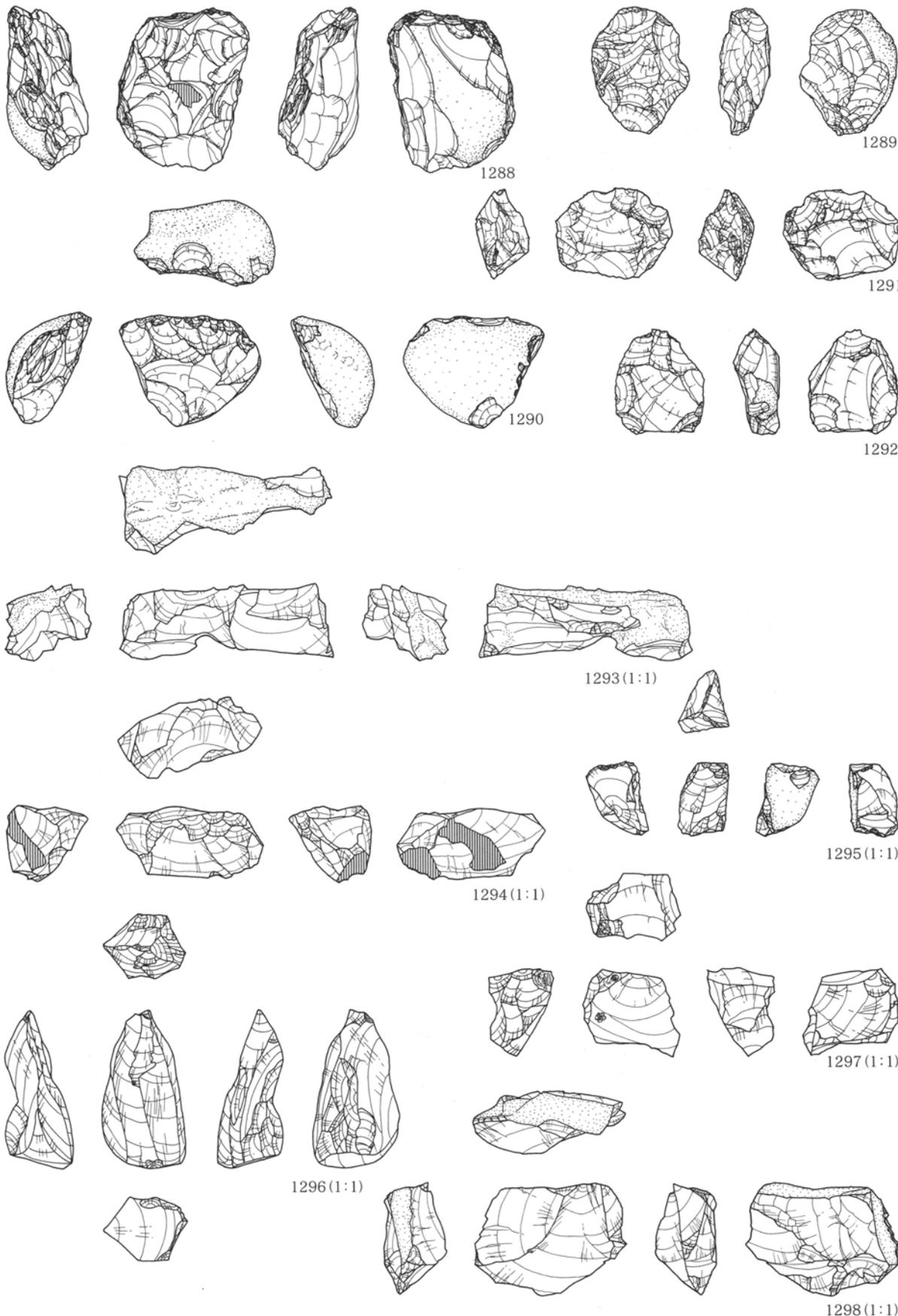
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1324	925-985	黒曜石	3.7	2.2	0.9	6.0	—	一部割れ面あり。



第332图 II区出土石核(1)



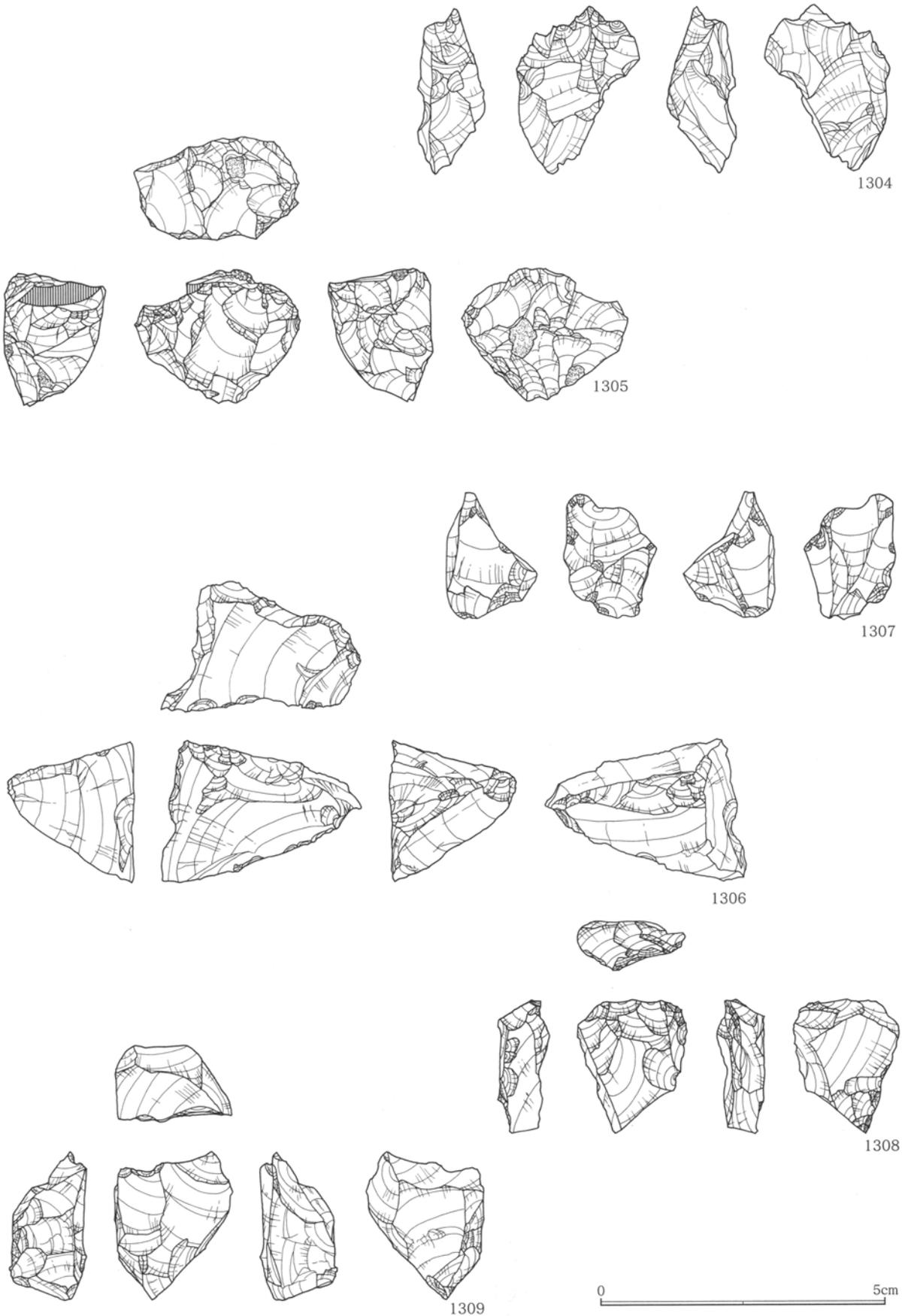
第333圖 II区出土石核(2)



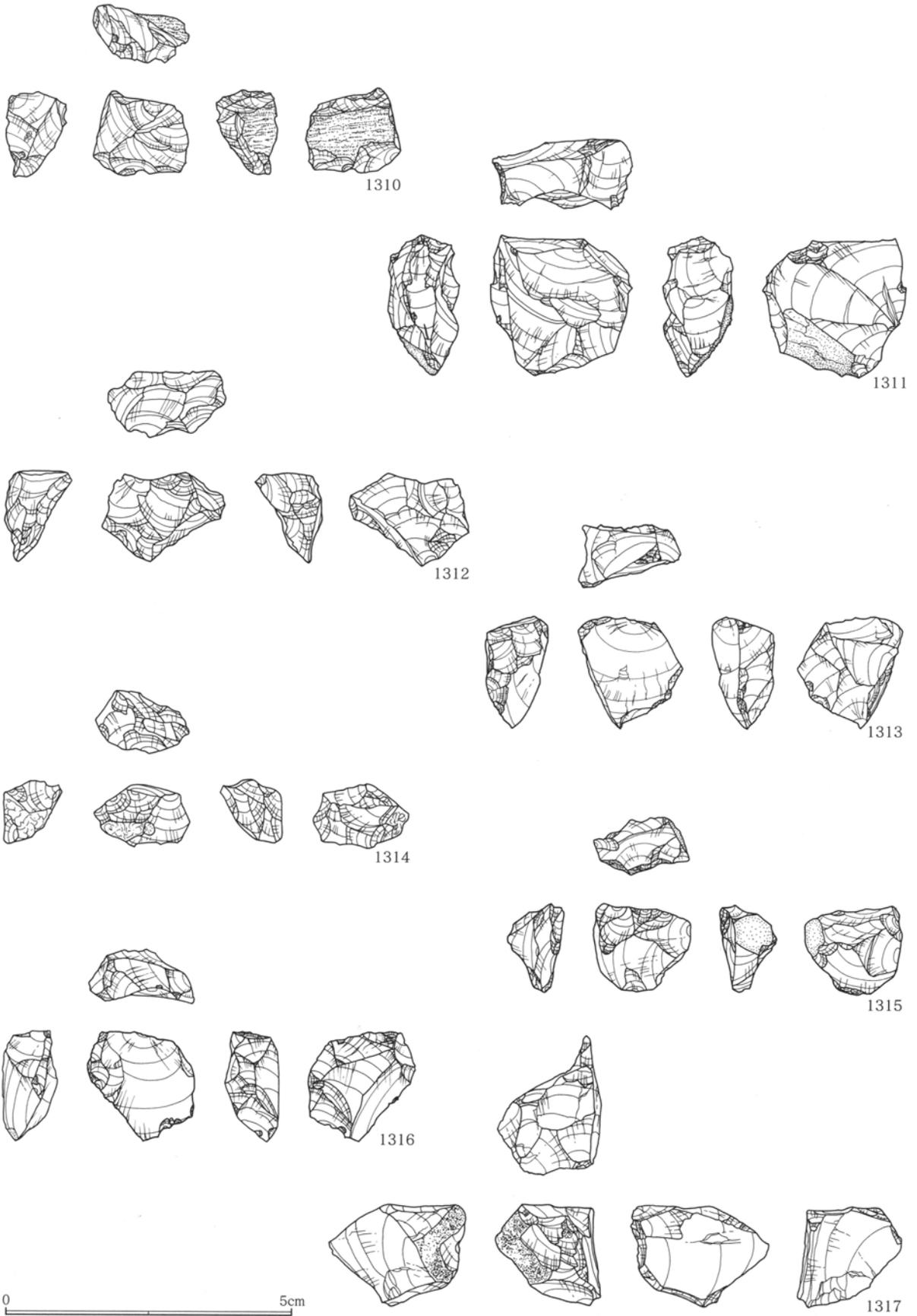
第334圖 II区出土石核 (3)



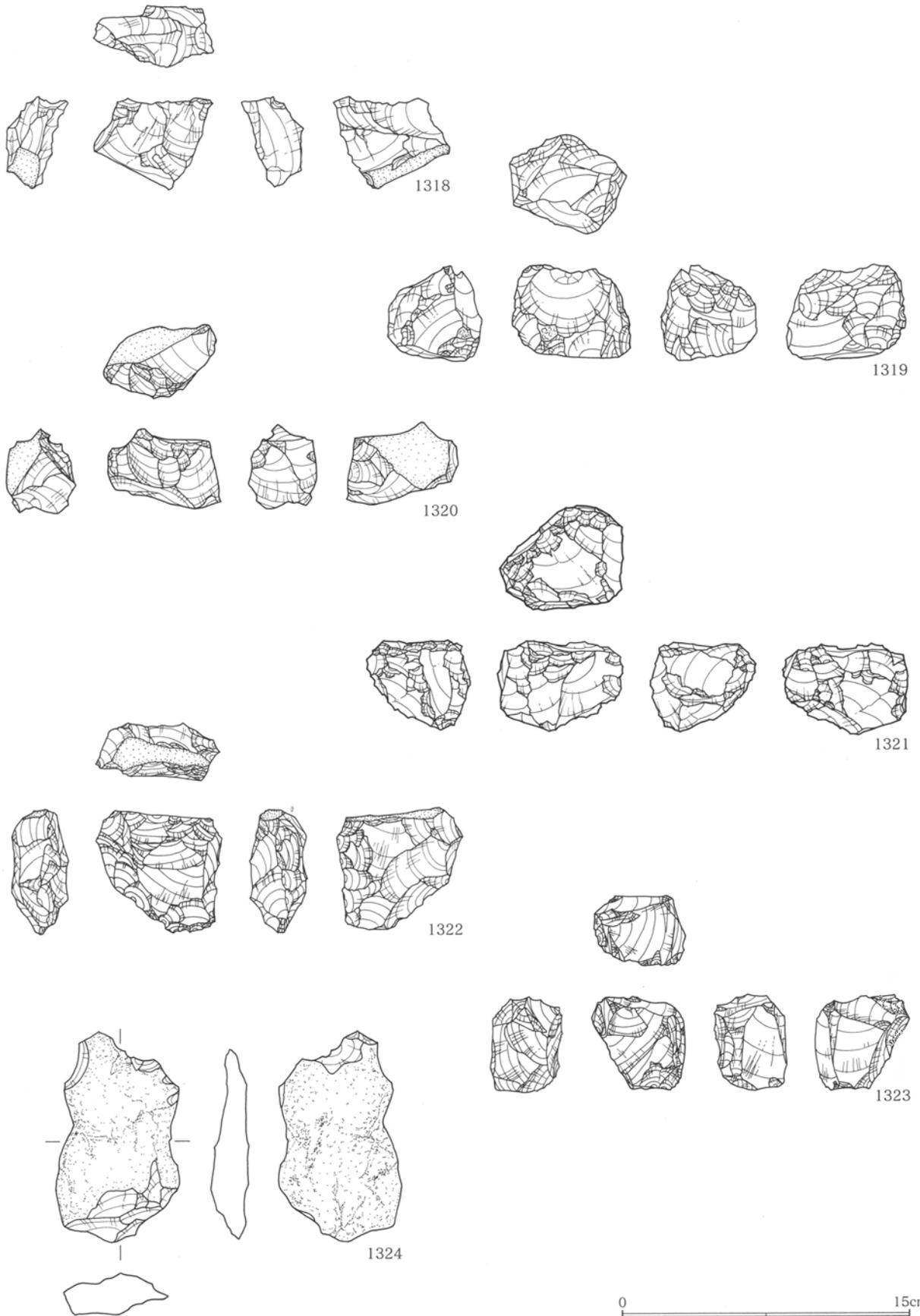
第335图 II区出土石核(4)



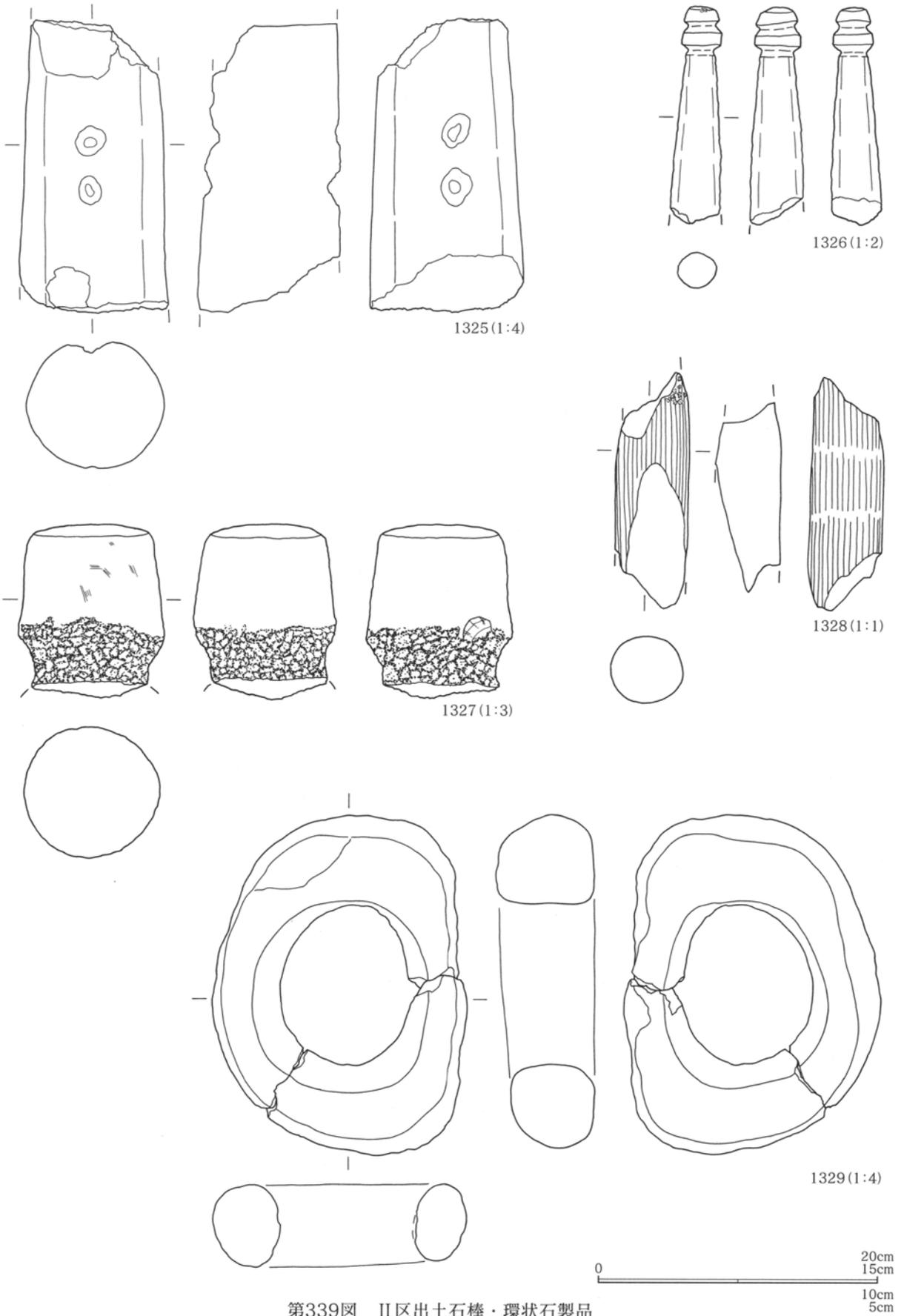
第336圖 II区出土石核 (5)



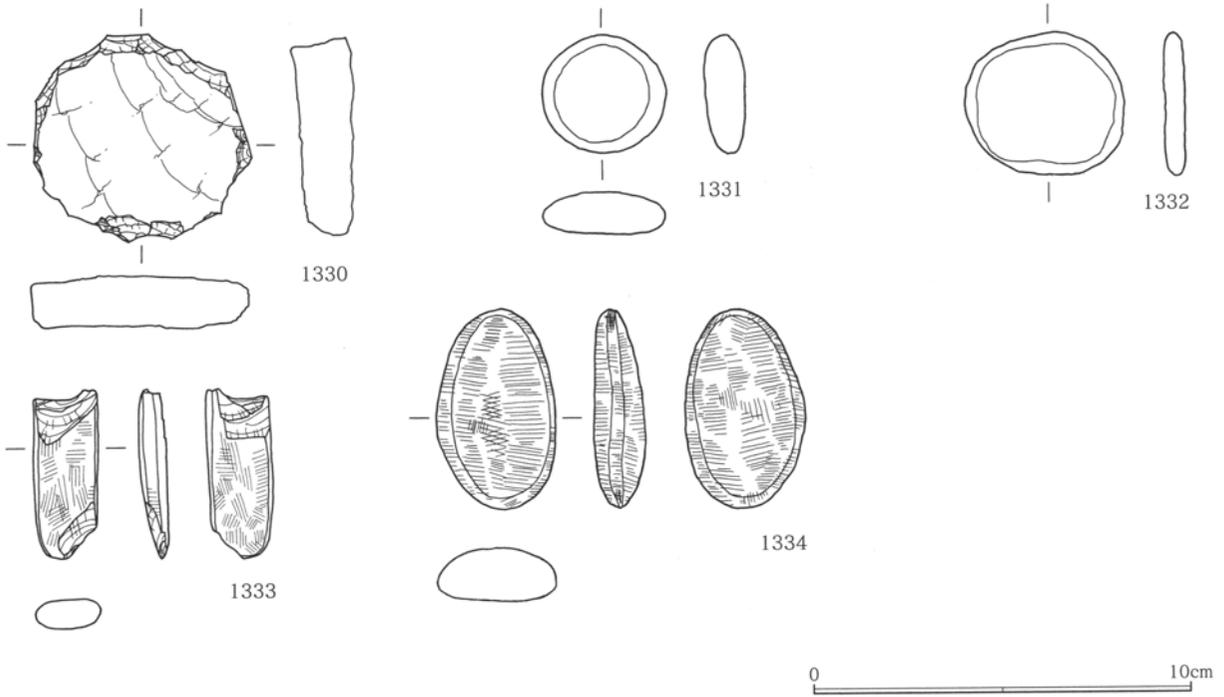
第337图 II区出土石核(6)



第338圖 II区出土石核(7)·原石



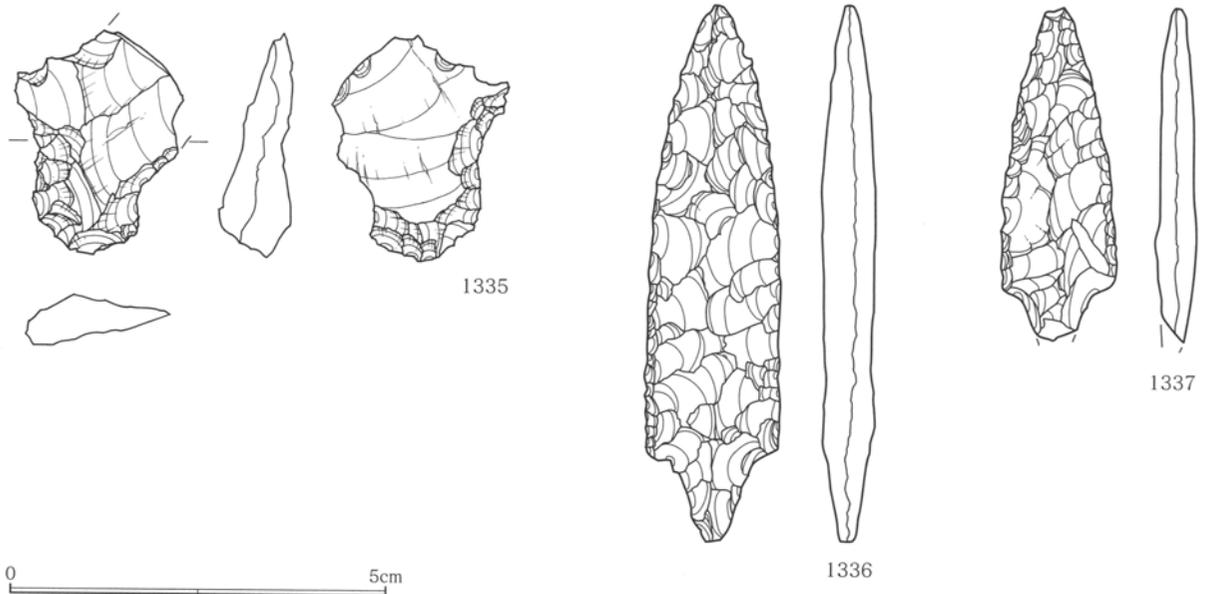
第339图 II区出土石棒·環状石製品



第340図 II区出土石製円盤・装飾品

II区縄文時代石製品観察表

図版番号	出土位置	器種	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1325	表採	石棒	テイサイト	(21.0)	10.8	10.3	3121.0	上・下端部	体部正・裏面ともに2ヶ所の凹痕あり。
1326	表採	石棒	緑色片岩	(7.8)	1.8	1.9	37.0	下半部	
1327	J-8	石棒	テイサイト	(9.3)	7.8	7.6	705.0	体部	頭部を敲打により作出。頭部は研磨により整形。
1328	J-27	石棒	黒色頁岩	(4.2)	1.4	1.4	9.0	上・下端部	
1329	J-2	環状石製品	粗粒輝石安山岩	24.4	18.3	7.2	2241.0	なし	
1330	935-040	石製円盤	粗粒輝石安山岩	5.4	5.7	1.5	67.0	なし	剥離による周縁加工。
1331	960-000	石製円盤	珪質頁岩	3.1	3.3	1.1	15.0	なし	縁辺を研磨により整形。
1332	955-980	石製円盤	緑色片岩	3.8	4.3	0.6	16.0	なし	
1333	930-985	装飾品	珪質頁岩	4.5	1.7	0.8	9.0	なし	研磨により整形。端部に剥離痕あり。
1334	J-5	装飾品	蛇紋岩	5.2	3.2	1.4	33.0	なし	全面研磨。



第341図 II区出土台形様石器・有舌尖頭器

II区台形様石器観察表

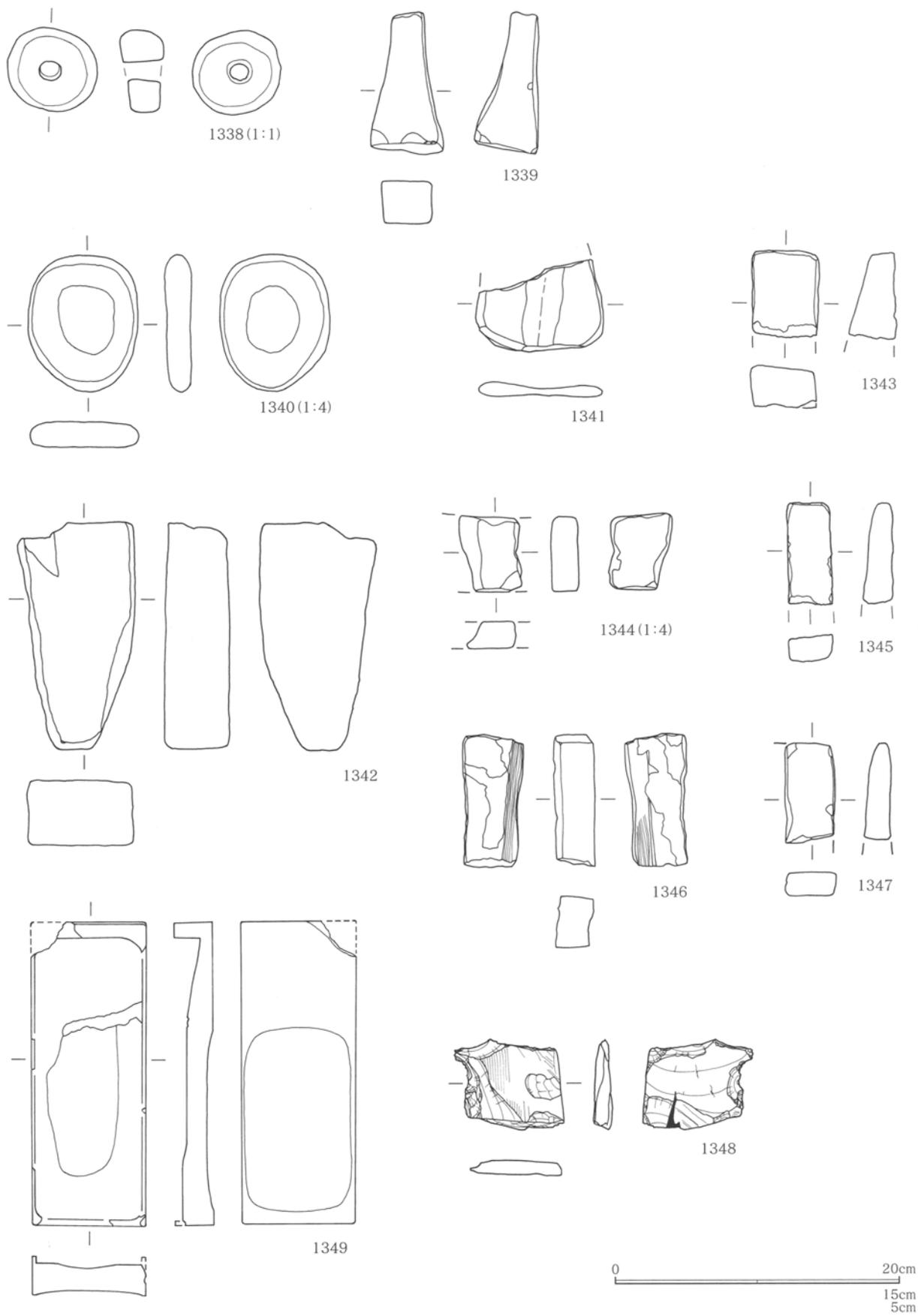
図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1335	920-995	チャート	(3.0)	(2.3)	1.0	4.3	先端部	

II区有舌尖頭器観察表

図版番号	出土位置	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1336	960-970	黒色頁岩	7.1	1.8	0.8	9.4	なし	先端部赤変。
1337	970-985	黒色頁岩	(4.4)	1.5	0.6	3.4	先端・舌部	

I・II区縄文時代以外の石製品観察表

図版番号	出土位置	器種	区	石材	長さ (cm)	幅 (cm)	厚さ (cm)	重さ (g)	欠損部	特徴
1338	000-115	玉	I区	蛇紋岩	1.5	1.6	0.8	2.8	なし	研磨による整形。
1339	表採	砥石	I区	流紋岩質凝灰岩	7.5	3.9	2.3	62.0	なし	
1340	J-98	砥石	II区	砂岩	9.6	7.8	1.8	206.0	なし	
1341	表採	砥石	II区	砂岩	4.9	6.7	0.8	30.0	あり	
1342	970-020	砥石	II区	ホルンフェルス	12.0	6.1	3.5	478.0	なし	
1343	965-040	砥石	II区	砥沢石	4.6	3.5	2.6	55.0	あり	
1344	表採	砥石	II区	流紋岩	5.4	4.5	1.9	68.0	なし	
1345	表採	砥石	II区	デイサイト	(5.4)	2.5	1.6	33.0	あり	
1346	955-000	砥石	II区	砥沢石	7.0	2.2	3.3	73.0	なし	
1347	表採	砥石	II区	砥沢石	4.8	2.6	1.4	32.0	あり	
1348	910-010	砥石	II区	珪質粘板岩	4.7	5.8	0.9	30.0	なし	
1349	960-030	硯	II区	流紋岩	1.6	6.0	2.1	240.0	あり	



第342図 I・II区出土縄文時代以外の石製品

## 第5章 分析とまとめ

### 第1節 天ヶ堤遺跡出土黒曜石の産地推定

沼津工業高等専門学校 望月 明彦

#### 黒曜石の産地分析方法

現在用いられている黒曜石の産地推定のための元素分析の方法として中性子放射化分析、蛍光X線分析が挙げられる。中性子放射化分析のほうがより多くの元素をより微量分析が可能である。しかし、放射化分析は分析のための設備が少なく、試料を破壊して分析することになる。それに対し、蛍光X線分析では試料をまったく破壊することなく、迅速に分析することができる。装置、測定のための費用も余りかからないことから、遺跡から出土する膨大な数の黒曜石に対して非常に適した分析法であるといえよう。

遺跡から出土する試料の産地推定のためには以下の手順を踏む。まず、日本全国の黒曜石産地の原石を収集し、蛍光X線分析を行い、測定結果から原石のデータベースを構築する。このデータベースが貧弱だと産地の誤判定が生じる危険性が高まる。次に、遺跡出土試料を測定し、後述する推定法によって原石データベースのどの産地に最も近いかを判別する。

このとき得られる推定結果は、あくまで原石データベースのどの産地に最も近いか、という情報である。もし、原石データベースにその資料本来の産地のデータが含まれていなければ正確な産地推定は不可能である。正確に記述しておく、その資料の産地はこの産地ではない、という推定結果は正確であり信用できる。しかし、その資料の産地はこの産地である、という結果は原石データベースの中でその産地が最も近いということを示しているだけなのである。

産地推定結果に影響を及ぼす因子として、遺跡出土資料そのものの表面状態が挙げられる。産地原石は破壊可能なので割って新鮮面を測定するが、遺跡出土資料は非破壊で分析するので、表面が汚れていたり、風化していたりすると正確な推定が不可能になる。特に、同じ産地エリア中の類似した判別群では誤判別の可能性は高くなる。また、試料の厚みが薄すぎてもX線が透過してしまい、正確な推定に影響を及ぼす。蛍光X線分析の測定値ももともと一定の測定誤差を含んでいる。

このように推定に影響を及ぼす因子が多々ある中で、目に見える図による判別法は異常な推定結果がすぐにわかりやすく、誤判別をしにくい推定法である。多変量解析を併用することで正確性を確認することが可能である。

ここからは推定法について述べる。

測定元素はアルミニウム(Al)、ケイ素(Si)、カリウム(K)、カルシウム(Ca)、チタン(Ti)、マンガン(Mn)、鉄(Fe)、ルビジウム(Rb)、ストロンチウム(Sr)、イットリウム(Y)、ジルコニウム(Zr)の11元素である。これらの元素の中から、産地によって違いの大きいK, Mn, Fe, Rb, Sr, Y, Zrの7元素を推定のために用いた。これらの元素の強度比を推定のための指標とした。

$A = (\text{Rb強度} + \text{Sr強度} + \text{Y強度} + \text{Zr強度})$ とした時、

$\text{Rb分率} = \text{Rb強度} \times 100/A$

$\text{Sr分率} = \text{Sr強度} \times 100/A$

$\text{Zr分率} = \text{Zr強度} \times 100/A$

$\text{Mn強度} \times 100/\text{Fe強度}$

$\log(\text{Fe強度}/\text{K強度})$

これらの指標の算出には蛍光X線のエネルギー差が小さく、風化に影響されにくい元素をできる限り用いた。

推定のための第1の方法としては上記のうちZr分率を除く4つの指標を用いて2つのグラフによる推定法を用いた。以下この方法を判別図法、二つのグラフを判別図と呼ぶことにする。

二つの判別図を第344図、第345図に示した。これらの判別図はSEA-2110L蛍光X線装置の測定結果を示したものである。第344図は横軸にRb分率、縦軸にMn強度 $\times 100/\text{Fe強度}$ をプロットしたものである。第345図は横軸にSr分率、縦軸に $\log(\text{Fe強度}/\text{K強度})$ をプロットしてある。これらの図から、各エリアの判別群の分類が可能となる。

遺跡出土試料についても同様に蛍光X線分析を行い、産地原石と同様のプロットを行って比較することで産地推定を行った。図中では例として天ヶ堤遺跡I区とII区出土の黒曜石全試料を◆で示した。判別図法は、遺跡出土黒曜石の産地推定において形状、厚み、風化の影響を受けにくく、信頼性の高い産地推定法であるといえよう。また、指標の計算は非常に簡単であり、推定結果はグラフにより視覚的・直感的に把握できることから非常にわかりやすいことも大きな長所といえる。

第2の方法として多変量解析の1つの手法である判分析を用いた。この方法はすでに分類された群のいずれに未知の試料が帰属するかを求める方法である。変量として上記の指標をすべて用いた。原石の群はあらかじめクラスター分析と主成分分析によって分類し、判別分析によって結果に矛盾がないかを確認した。

判別図法と判別分析との結果は非常に一致度が高いが、和田鷹山群と和田小深沢群など同じエリアの中の類似した群の場合には異なる群に分類される場合もある。このような場合は判別分析の結果を採用している。

遺跡出土黒曜石の産地推定結果は第2表を参照されたい。判別図法と判別分析との結果はすべて一致している。



第343図 黒曜石産地分布図

第5章 分析とまとめ

第1表 産地原石判別群 (SEIKO SEA-2110L蛍光X線分析装置による)

都道府県	地図No.	エリア	新判別群	旧判別群	新記号	旧記号	原石採取地 (分析数)
北海道	1	白滝	八号沢群		STHG		赤石山山頂(19)、八号沢露頭(31)、八号沢(79)、黒曜の沢(6)、幌加林道(4)
			黒曜の沢群		STKY		
	2	上士幌	三股群		KSMM		十三ノ沢(16)
	3	置戸	安住群		ODAZ		安住(25)、清水ノ沢(9)
	4	旭川	高砂台群		AKTS		高砂台(6)、雨紛台(5)、春光台(5)
			春光台群		AKSK		
	5	名寄	布川群		NYHK		布川(10)
	6	新十津川	須田群		STSD		須田(6)
7	赤井川	曲川群		AIMK		曲川(25)、土木川(15)	
8	豊浦	豊泉群		TUTI		豊泉(16)	
青森	9	木造	出来島群		KDDK		出来島海岸(34)
	10	深浦	八森山群		HUHM		八森山公園(8)、六角沢(8)、岡崎浜(40)
秋田	11	男鹿	金ヶ崎群		OGKS		金ヶ崎温泉(37)、脇本海岸(98)
			脇本群		OGWM		
山形	12	羽黒	月山群		HGGS		月山荘前(30)、朝日町田代沢(18)、櫛引町中沢(18)
			今野川群		HGIN		
新潟	13	新津	金津群		NTKT		金津(29)
	14	新発田	板山群		SBIY		板山牧場(40)
栃木	15	高原山	甘湯沢群	高原山1群	THAY	TKH1	甘湯沢(50)、桜沢(20)
			七尋沢群	高原山2群	THNH	TKH2	
長野	16	和田 (WD)	鷹山群	和田峠1群	WDTY	WDT1	鷹山(53)、小深沢(54)、東餅屋(36)、芙蓉ライト(87)、古峠(50)、土屋橋北(83)、土屋橋西(29)、土屋橋南(68)、丁字御領(18)
			小深沢群	和田峠2群	WDKB	WDT2	
			土屋橋北群	和田峠3群	WDTK	WDT3	
			土屋橋西群	和田峠4群	WDTN	WDT4	
			土屋橋南群	和田峠5群	WDTM	WDT5	
			芙蓉ライト群		WDHY		
			古峠群		WDHT		
	和田 (WO)	ブドウ沢群	男女倉1群	WOBD	OMG1	ブドウ沢(36)、ブドウ沢右岸(18)、牧ヶ沢上(33)、牧ヶ沢下(36)、高松沢(40)	
		牧ヶ沢群	男女倉2群	WOMS	OMG2		
		高松沢群	男女倉3群	WOTM	OMG3		
17	諏訪	星ヶ台群	霧ヶ峰系	SWHD	KRM	星ヶ塔第1鉱区(36)、星ヶ塔第2鉱区(36)、星ヶ台A(36)、星ヶ台B(11)、水月霊園(36)、水月公園(13)、星ヶ塔のりこし(36)	
18	蓼科	冷山群	蓼科系	TSTY	TTS	冷山(33)、麦草峠(36)、麦草峠東(33)、渋ノ湯(29)、美し森(4)、八ヶ岳7(17)、八ヶ岳9(18)、双子池(34)	
		双子山群		TSHG			
		播鉢山群		TSSB			
神奈川	20	箱根	芦ノ湯群	芦ノ湯	HNAV	ASY	芦ノ湯(34)
			畑宿群	畑宿	HNHJ	HTJ	畑宿(71)
			黒岩橋群	箱根系A群	HNKI	HKNA	黒岩橋(9)
静岡	21	上多賀群	鍛冶屋群	鍛冶屋	HNKJ	KJY	鍛冶屋(30)
			上多賀群	上多賀	HNKT	KMT	上多賀(18)
22	天城	柏峠群	柏峠	AGKT	KSW	柏峠(80)	
東京	23	神津島	恩馳島群	神津島1群	KZOB	KOZ1	恩馳島(100)、長浜(43)、沢尻湾(8)
			砂糠崎群	神津島2群	KZSN	KOZ2	
島根	24	隠岐	久見群		OKHM		久見ノールライト中(30)、久見探掘現場(18)
			箕浦群		OKMU		箕浦海岸(30)、加茂(19)、岸浜(35)
			岬群		OKMT		岬地区(16)
その他			NK群		NK		中ッ原1G、5G(遺跡試料)、原石産地は未発見



第5章 分析とまとめ

判別図法・判別分析からの最終推定結果

判別図判別群：判別図法によって推定された産地。

判別分析：第1候補産地…判別分析により推定された産地の第1候補

第2候補産地…判別分析により推定された産地の第2候補

判別群 候補産地記号 → 判別図法による産地と通常は一致する。

距離 試料から候補産地までのマハラノビス距離 → 値が小さいほど候補産地と類似性が高い。

確率 試料が候補産地に属する確率 → 1に近いほど類似性が高い。

第2表 最終推定結果

区	図版番号	推定産地	判別図	第1候補産地判別群	第1候補産地距離	第1候補産地確率	第2候補産地判別群	第2候補産地距離	第2候補産地確率
I	75	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.24	1	SBIY	71.23	0
II	915	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.77	1	SBIY	83.75	0
II	916	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	3.12	1	KZSN	45.55	0
II	918	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	18.67	1	SBIY	65.76	0
II	976	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	12.78	1	SBIY	125.95	0
II	988	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.8	1	SBIY	90.41	0
II	1048	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	14.37	1	SBIY	113.9	0
II	1072	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	2.86	1	KZSN	52.76	0
II	1078	神津島恩馳島群	KZOB	KZOB	4.46	1	KZSN	37.32	0
II	1091	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	9.4	1	SBIY	87.52	0
II	1092	和田土屋橋西群	WDTN	WDTN	0.44	1	WDTK	39.93	0
II	1099	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	2.93	1	SBIY	100.89	0
II	1184	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	7.76	1	SBIY	90.26	0
II	1185	和田鷹山群	WDTY	WDTY	5.93	1	WDHY	27.4	0
II	1186	和田鷹山群	WDTY	WDTY	2.55	1	WDKB	26.98	0
II	1202	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	6.02	1	SBIY	115.98	0
II	1203	和田土屋橋西群	WDTN	WDTN	6.1	0.994	WDTK	16.1	0.006
II	1204	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	5.24	1	SBIY	119.06	0
II	1207	和田鷹山群	WDTY	WDTY	3.27	0.9994	WDHY	15.6	0.0006
II	1208	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.4	1	SBIY	74.64	0
II	1216	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.96	1	SBIY	94.68	0
II	1237	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	0.49	1	SBIY	87.63	0
II	1265	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	4.05	1	SBIY	90.5	0
II	1302	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	10.15	1	SBIY	85.35	0
II	1303	諏訪星ヶ台群	SWHD	SWHD	13.21	1	SBIY	108.39	0

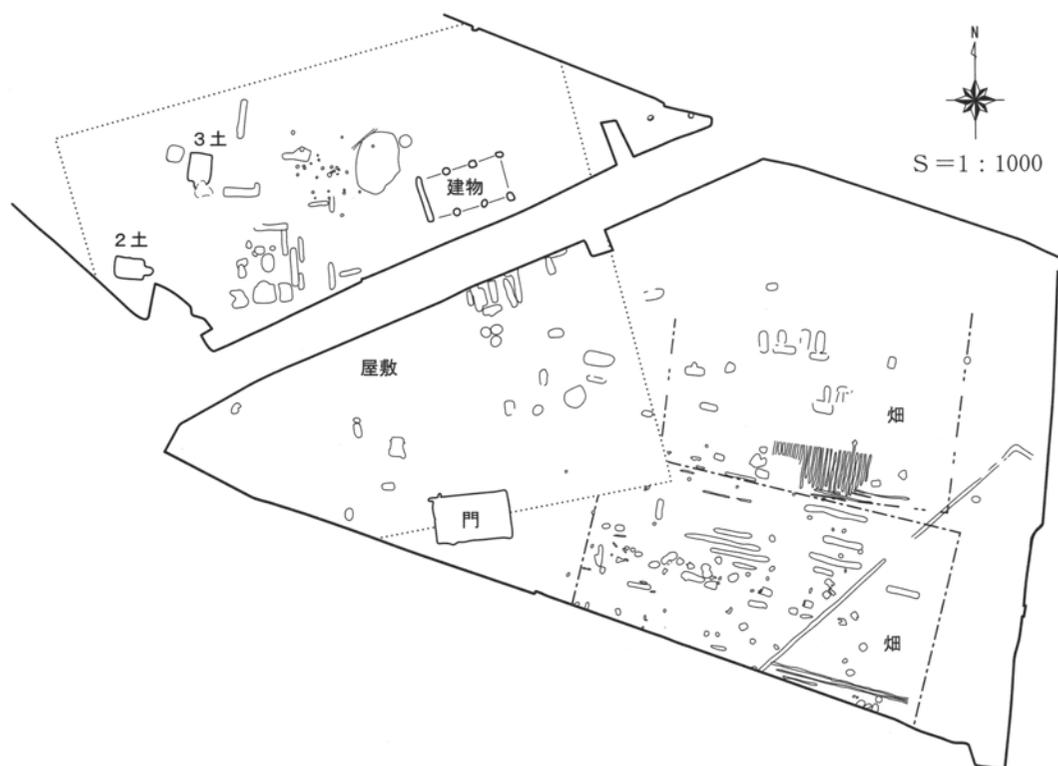
## 第2節 まとめ

天ヶ堤遺跡の調査面積は、20,782平方メートルである。今回報告されたⅠ区・Ⅱ区部分は、7,900平方メートルである。天ヶ堤遺跡は、調査面積が多くまた、事業年度が複数年にまたがり、事業主体者も高速道路本線部と側道部で異なる部分があるため、遺跡内に調査区を設定している。今回の報告は、遺跡の高速道路本線部のⅠ区・Ⅱ区とした部分である。遺跡の発掘調査成果については、全区画の整理報告の結果を待ってから報告することとして、Ⅰ区・Ⅱ区の調査成果について部分的に報告する。

Ⅰ区・Ⅱ区においては、近世の溝・土坑が発見された。これらの遺構からは、近世陶磁器が発見されおらず、遺構覆土の層位、確認面から判断した。近世の畑（畠）と思われる耕作列が3ヶ所検出された。耕作列や長方形の土坑が東西方向・南北方向に作られており畑の区画が推定できる。

近世遺構の中で特筆するのは、2号・3号土坑としたものである。長方形の掘り込みに出入り口部と思われる方形の掘り込みが接続し、壁際に柱穴が廻る。竪穴の壁に沿うように柱が立つ構造から住居或いは、納屋などの建物と考えられる。同種の遺構は、赤城南麓の遺跡で散見する。前橋市今井道上遺跡（坂口1994）では竪穴状遺構として紹介している。また、前橋市荒砥北三木堂（小島2006）でも同様の方形状の遺構が確認されている。これらの遺構は、出土遺物が乏しく遺構確認面や覆土の状態の中世～近世に位置づけられている。本遺跡検出の遺構も出土遺物がはつきりせず確認面や覆土の状態で近世のものと位置づけた。遺構内には、炉・カマドなどの施設は検出されていない。置きカマドや屋外での炊飯も推定されることから住居とも考えられるが、現時点で遺構の性格については、上屋構造のある建物と推定しておく。

この竪穴状遺構の東側にある礎石立ちの建物跡と、Ⅱ区で検出された長屋門跡と思われる建物跡がほぼ主軸を同じくして並んでいることから、これらの建物は、一連の建物と推定される。礎石を持つ建物と竪穴状遺構が、同時期に存在したのか現時点では不明であるが、礎石を持つ建物に付属する建物なのか関連を含めて、今後竪穴状遺構と礎石持ちの建物資料の増加を待ち検討したい。また、礎石立ちの建物の西側では、土坑が多く検出されている。建物跡と同時期のもので建物に付属する貯蔵穴等と考えられる。これらの建物と貯蔵穴・竪穴状の遺構によって、近世農家の一つの単位が推定される資料と考える。



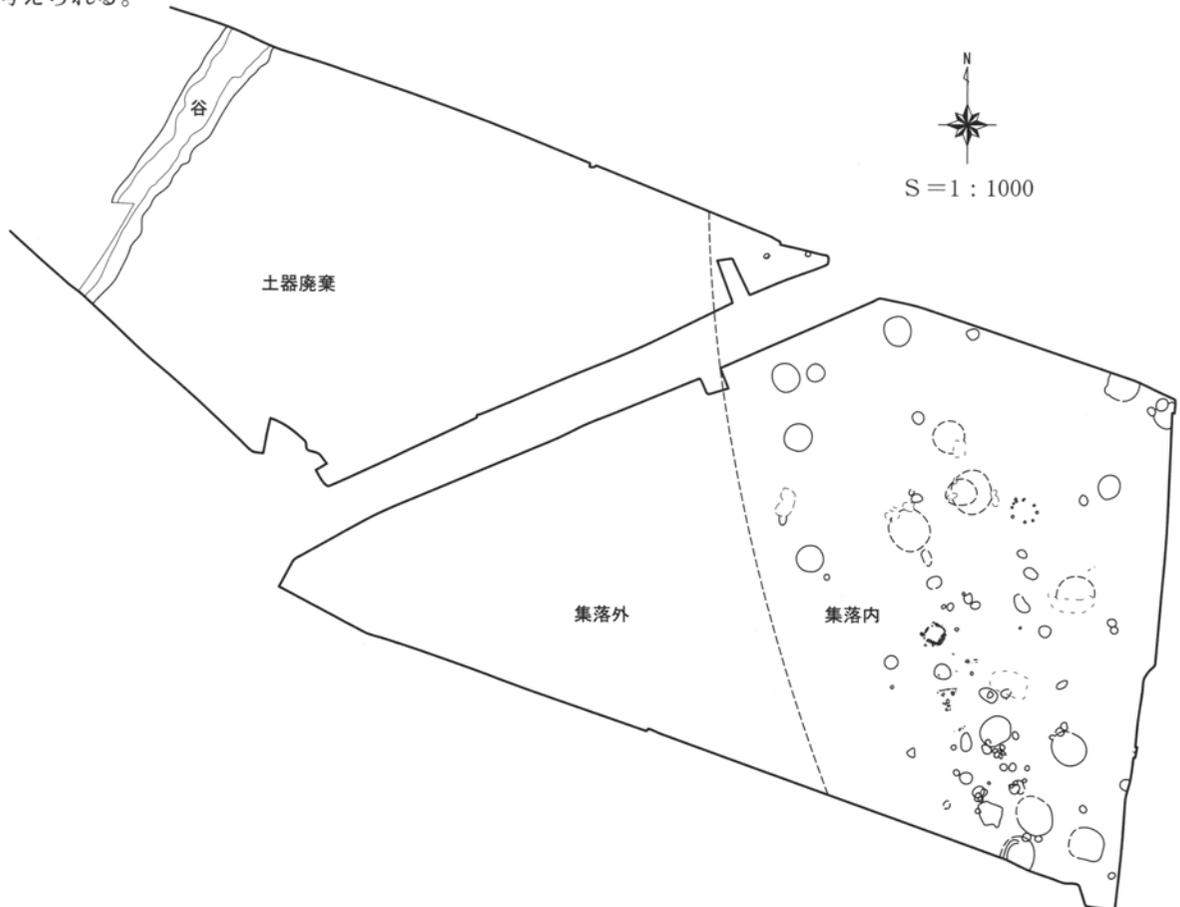
第346図 中・近世面全体図

II区の縄文時代では、遺構が調査区東半部に集中しており、縄文土器包含層も西側で薄く、東側で厚くなっている。このため調査区東側での遺物出土が多く見られた。土器の編年の位置は、前期後葉の諸磯c式土器、中期中葉の勝坂・阿玉台式～加曾利E式、後期前半の称名寺・堀之内式土器が検出されている。このうち出土量の多い主体となる土器は、加曾利E式期である。このことは、II区北西にあるI区でも遺構・遺物の量が少なくなっていることと関係する。調査区は、北西から南東方向に傾斜しており、そのやや微高地状の部分に集落が形成されていたものと思われる。さらにその南東部には、墓坑の可能性のある土坑群が存在する。今後、遺構域は南側の調査区外に続き、東側（Ⅲ・Ⅳ区）では、多数の遺構と遺物が出土している。遺跡全体の傾向を探るには、I～Ⅳ区を通して検討する必要がある。

I区の調査区では、縄文時代の谷地地形が南北方向にあり、縄文遺物包含が形成されている。この縄文谷から出土した土器は、中期後半のものが主体であり、谷地地形が埋没する時期もこれ以降と考えられる。この谷と東側にあるあまが池による谷の間に、天ヶ堤遺跡の縄文時代中期集落が作られる。

I区は、その西端にあたり集落から外れたところと理解できる。II区の東側から中期集落の遺構密度が多く確認されている。本遺跡の北東側にある三和工業団地遺跡でも、縄文中期集落が広く検出され集落としては、天ヶ堤遺跡と一体となるものと考えられる。本遺跡東側のあまが池より東側の台地上には、縄文前期集落が営まれることから、縄文時代の集落立地について時期により変遷していくことが推定される。

I区からの縄文時代出土遺物は少ないが西側の縄文谷を埋める包含層から比較的遺物が出土している。縄文集落における空間利用において本地区は、集落の縁辺に位置し遺物などの廃棄される場所としてあったと考えられる。



第347図 縄文時代面全体図



## 報 告 書 抄 録

書名ふりがな	あまがつつみいせき
書名	天ヶ堤遺跡（1）
副書名	北関東自動車道（伊勢崎～県境）地域埋蔵文化財発掘調査報告書
巻次	
シリーズ名	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書
シリーズ番号	390
編著者名	関根愼二/小暮育秀/羽石智治/山賀和也/望月明彦/大西雅広/齊田智彦/相京建史
編集機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行機関	財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団
発行年月日	20070131
作成法人ID	21005
郵便番号	377-8555
電話番号	0279-52-2511
住所	群馬県渋川市北橘町下箱田784番地2
遺跡名ふりがな	あまがつつみいせき
遺跡名	天ヶ堤遺跡
所在地ふりがな	ぐんまけんいせさきしさんわちょう
遺跡所在地	群馬県伊勢崎市三和町
市町村コード	10204
遺跡番号	IS077
北緯（日本測地系）	362058
東経（日本測地系）	1391351
北緯（世界測地系）	362109
東経（世界測地系）	1391339
調査期間	20001001-20030131
調査面積	8128
調査原因	道路建設工事
種別	集落
主な時代	縄文中期
遺跡概要	集落－縄文－竪穴住居16＋土坑61＋埋甕15＋遺物集中箇所8－縄文土器＋石器/ 集落－近世－屋敷跡2＋土坑207＋溝2＋井戸1－陶磁器＋石製品/生産－近世－ 畑跡3
特記事項	大間々扇状地における湧水点の「あまが池」周辺に位置し、隣接する三和工業団地II遺跡と合わせ縄文時代中期後半の集落と考えられる。

# 写 真 图 版

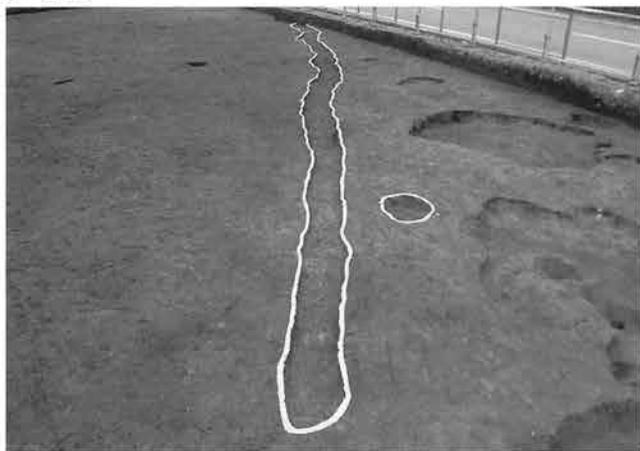




I区 (西半分) 全景 (西)



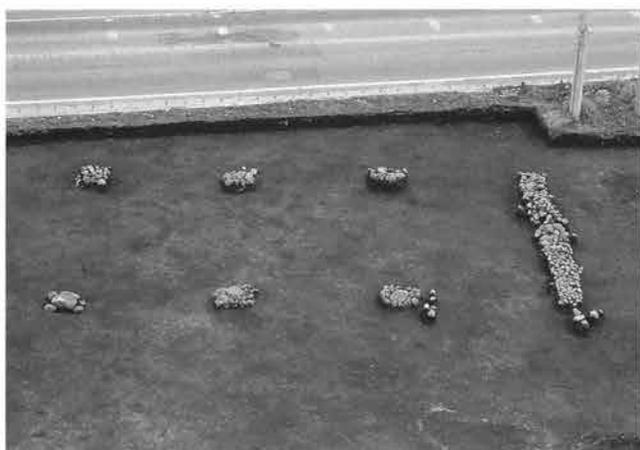
II区中・近世面全景 (南)



1号溝全景 (北)



1号井戸全景 (南)



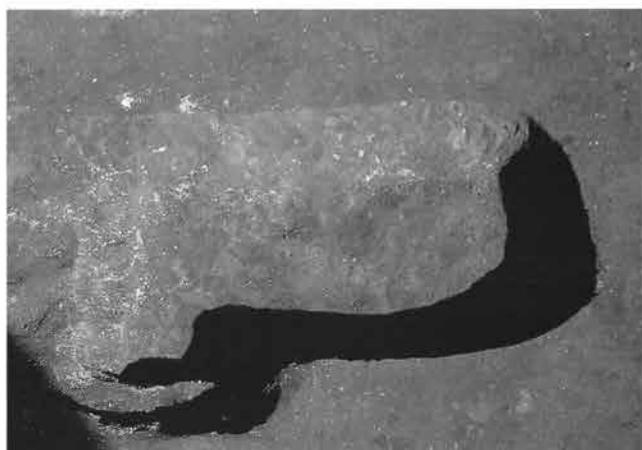
I区屋敷跡 (北)



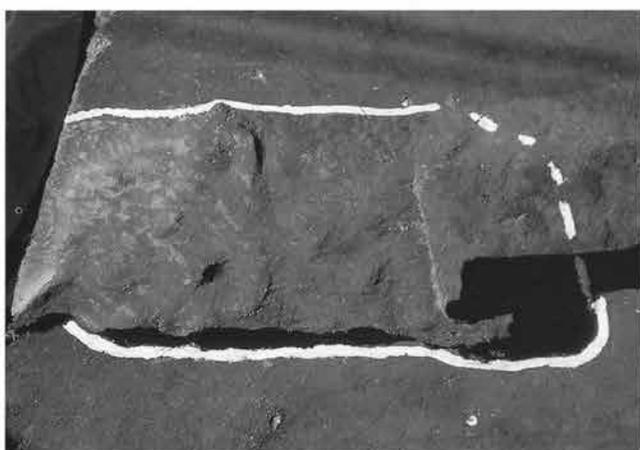
I区縄文谷 (南西)



('01) 1号土坑 (南)



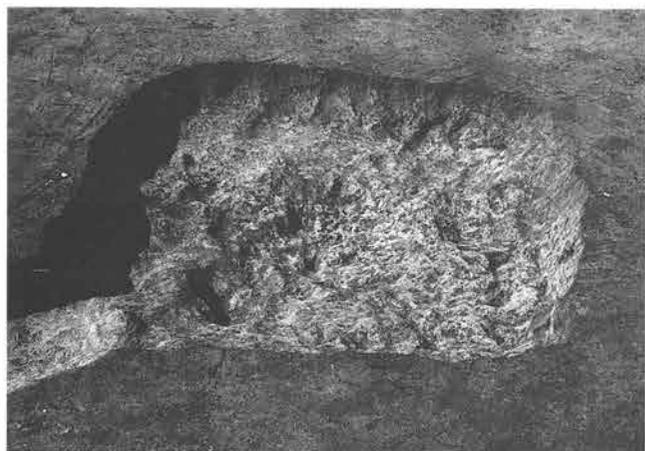
('01) 2号土坑 (南)



('01) 3号土坑 (南)



('01) 4号土坑 (南)



( '02 ) 1号土坑 (南)



( '02 ) 2号土坑 (東)



( '02 ) 3号土坑 (南)



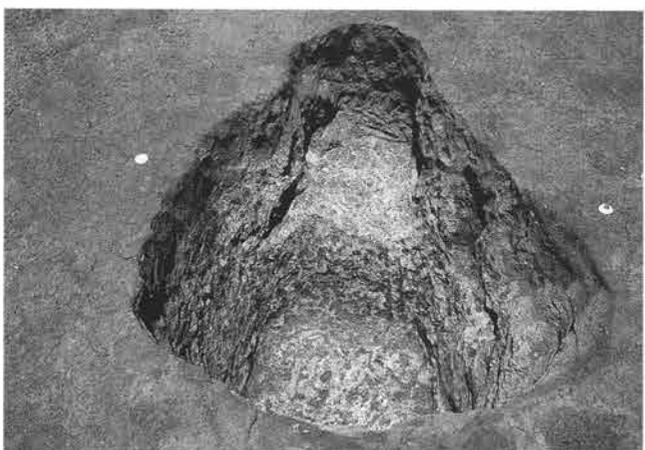
( '02 ) 4号土坑 (南)



( '02 ) 5号土坑 (西)



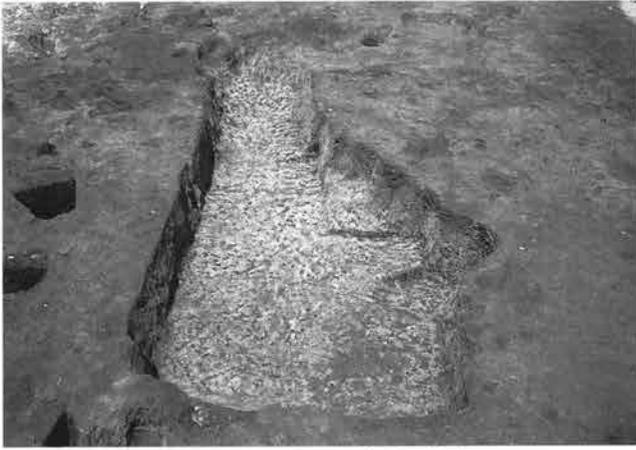
( '02 ) 6号土坑 (南)



( '02 ) 7号土坑 (南)



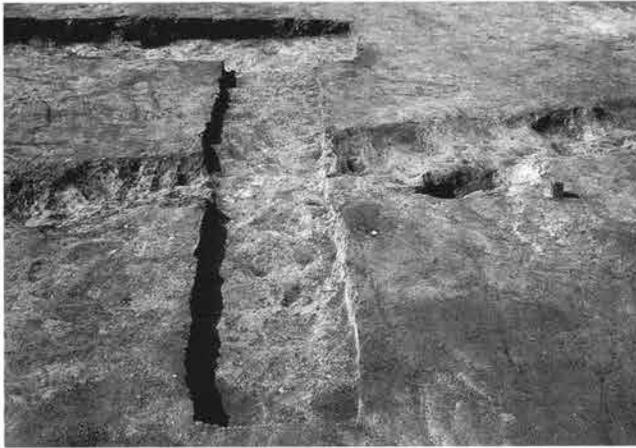
( '02 ) 8号土坑 (南)



( '02 ) 9~12号土坑 (東)



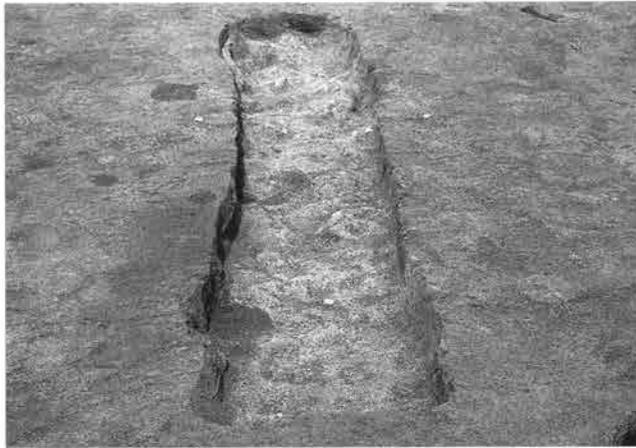
( '02 ) 13号土坑 (西)



( '02 ) 14号土坑 (南)



( '02 ) 15号土坑 (南)



( '02 ) 16号土坑 (東)



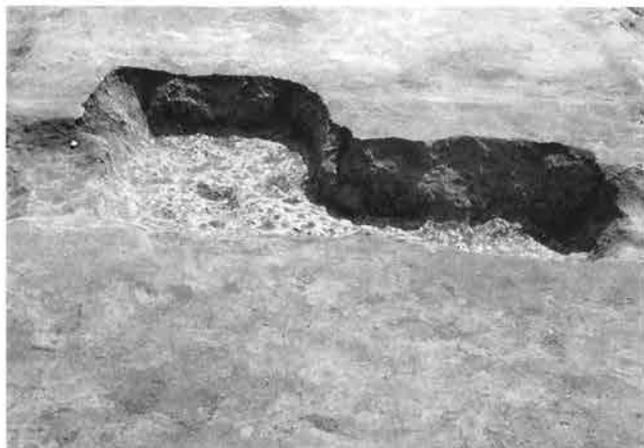
( '02 ) 17号土坑 (南)



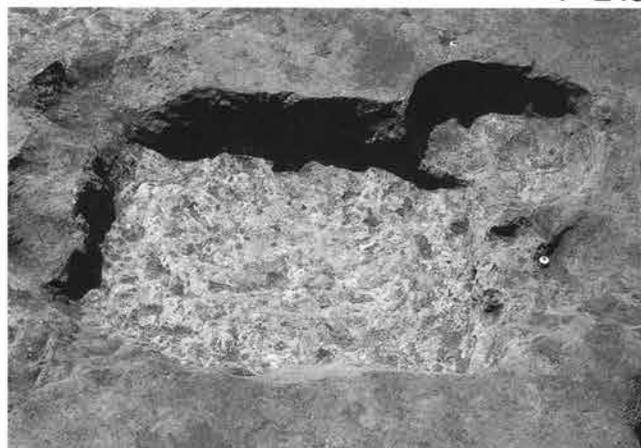
( '02 ) 18号土坑 (南)



( '02 ) 19号土坑セクション (西)



(‘02) 20·21号土坑 (西)



(‘02) 19·22·23号土坑 (北)



(‘02) 24号土坑 (南)



(‘02) 25号土坑 (北)



(‘02) 26号土坑 (南)



(‘02) 27号土坑 (南)



(‘02) 28·30号土坑 (南)



(‘02) 29号土坑 (東)



(‘02) 31号土坑 (南)



II区屋敷跡 (南)



J-5遺物出土状況 (東)



J-5全景 (南)



J-32敷石 (南)



J-32埋甕 (東)



J-32全景 (南)



J-44全景 (北)



J-2敷石 (南)



J-2炉 (南)



J-2埋甕 (南)



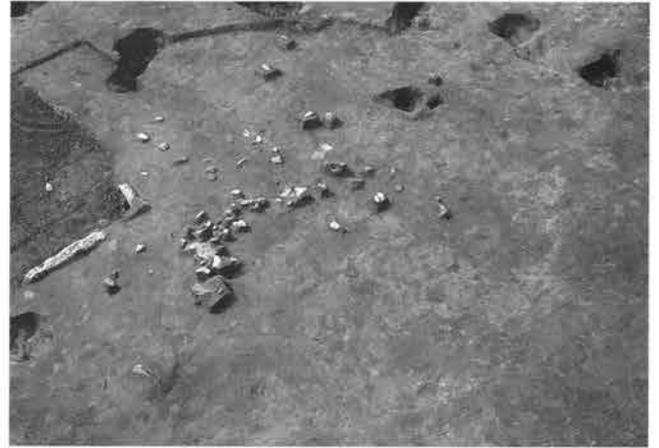
J-2遺物近景 (南)



J-2全景 (南西)



J-51遺物出土狀況 (南)



J-65遺物出土狀況 (東)



J-65埋甕 (西)



J-66全景 (南東)



J-66埋甕1 (北東)



J-66埋甕2 (南西)



J-67全景 (北東)



J-67炉 (北東)



J-68遺物出土状況（北）



J-68遺物出土状況（東）



J-68埋甕（南）



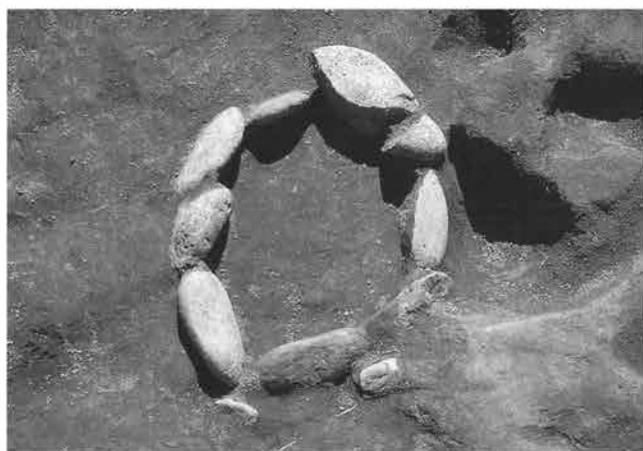
J-68全景（北東）



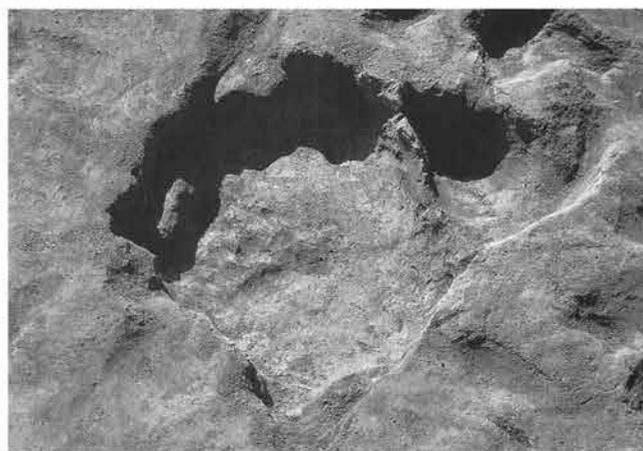
J-68炉（北東）



J-72遺物出土状況 (北)



J-72炉 (北)



J-72炉掘り方 (北)



J-75全景 (南西)



J-75炉 (南)



J-91全景 (東)



J-91遺物出土状況 (北)



J-91炉 (南)



J-91炉 (北)



J-83全景 (北)



J-92遺物出土状況（北）



J-92セクション（南西）



J-92全景（北西）



J-92炉（北西）



J-86遺物出土状況（南）



J-93全景 (西)



J-93遺物出土状況 (北)



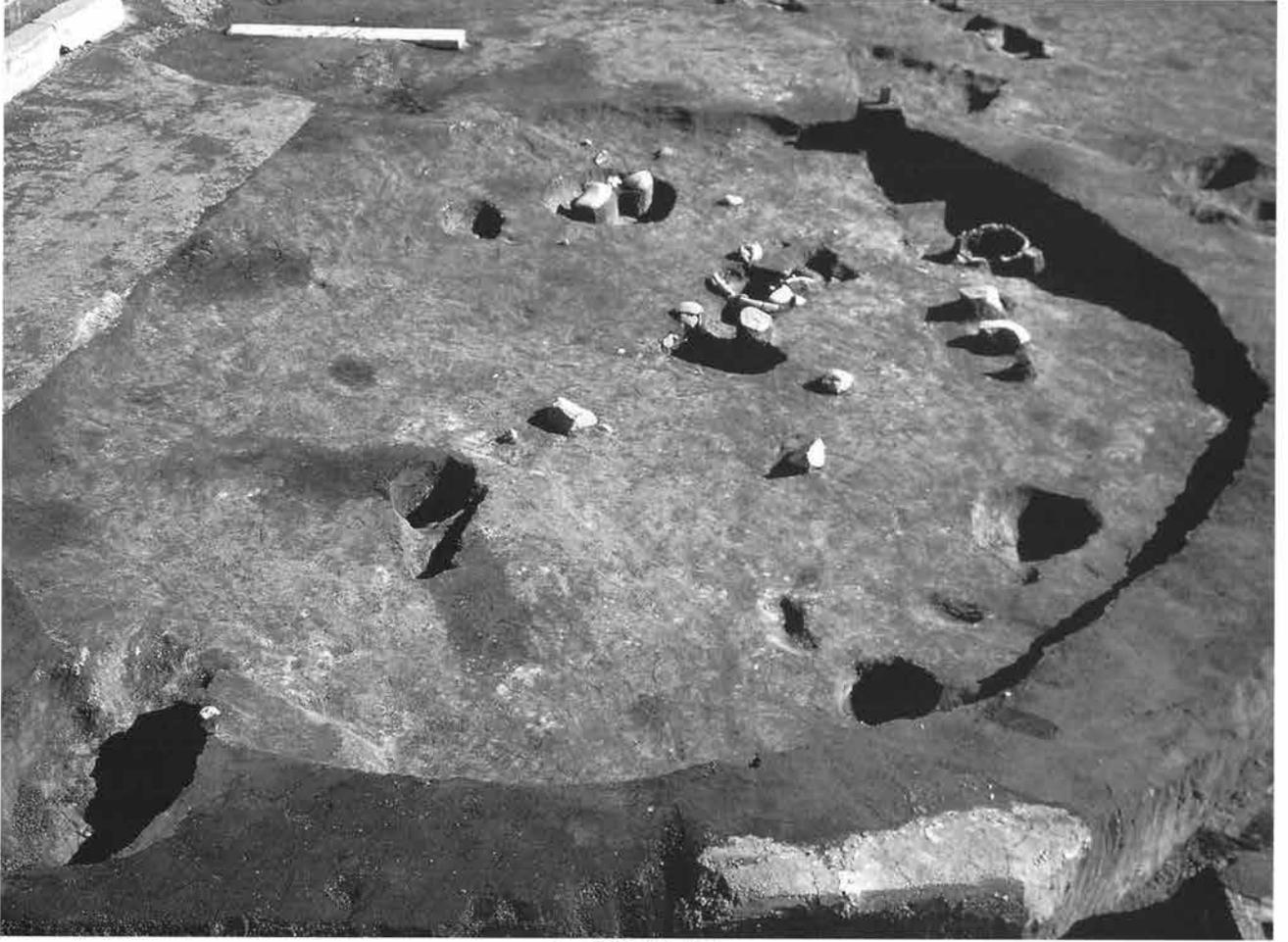
J-93遺物出土状況 (南)



J-93セクション (西)



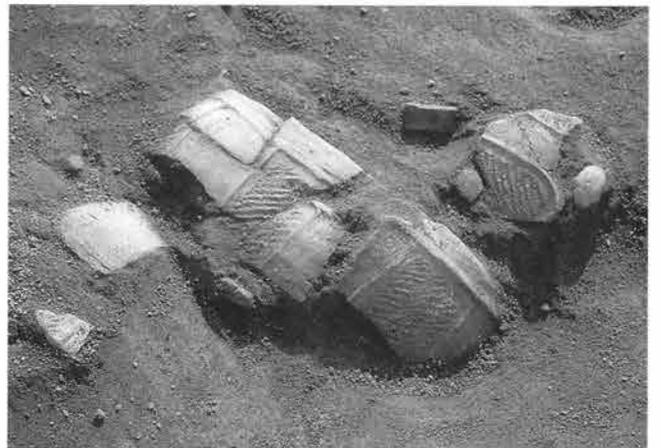
J-93埋甕 (南西)



J-98全景 (西)



J-98遺物出土狀況 (北)



J-98遺物出土狀況 (北)



J-98炉 (西)



J-98埋甕 (南西)



J-1 (北)



J-3 (南)



J-4 (南)



J-6 (南西)



J-7 (南)



J-8 (南)



J-9 (南西)



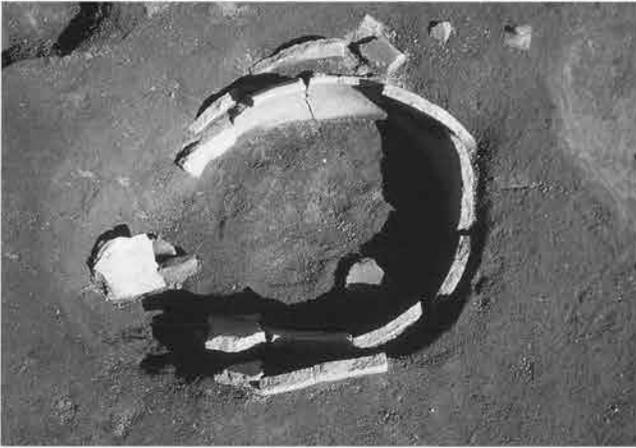
J-10 (南)



J-11 (南)



J-12 (西)



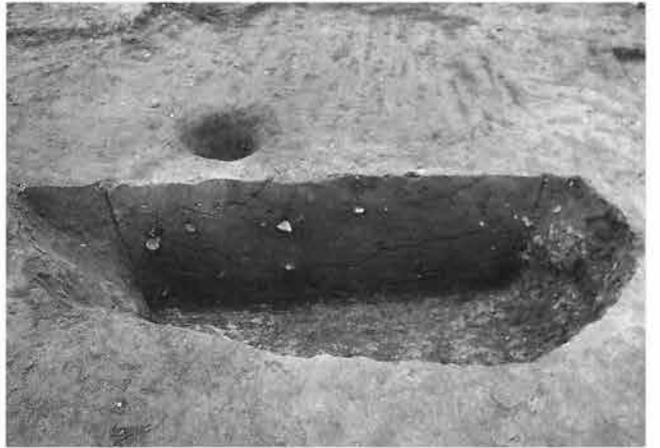
J-13 (南)



J-15 (南)



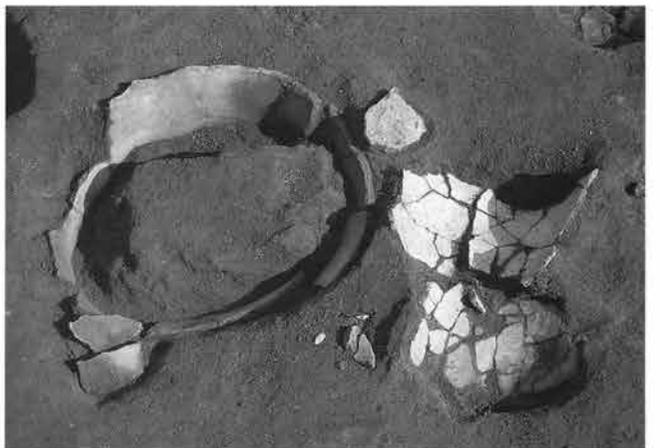
J-16 (南)



J-17 (南)



J-18 (南)



J-19 (南西)



J-21 (北西)



J-22 (南)



J-23 · 25 · 56 · 62 (西)



J-33 (南)



J-39 (南)



J-40 · 47 (東)



J-42 (南)



J-43 (北)



J-50 (南)



J-53 (南)



J-54 (北)



J-59・61 (東)



J-64 (南)



J-69 (南)



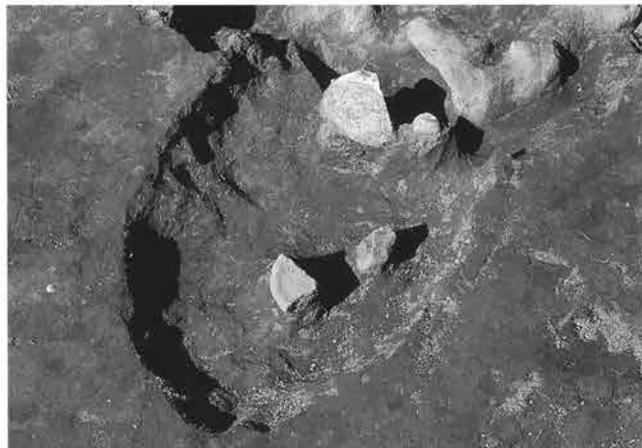
J-70 (南)



J-71 (南)



J-73 (南西)



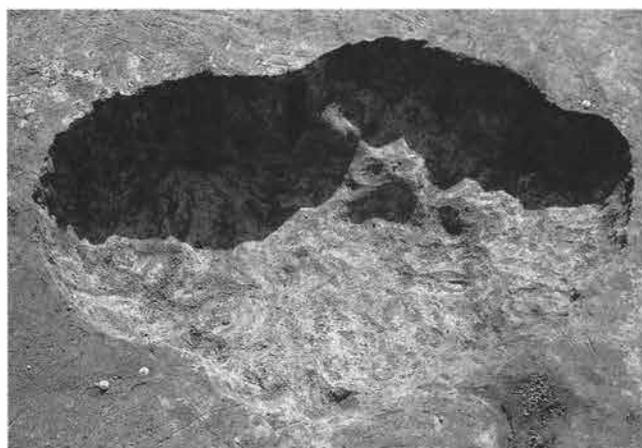
J-74 (南東)



J-76 (南)



J-77 (南西)



J-78·80 (北東)



J-79 (東)



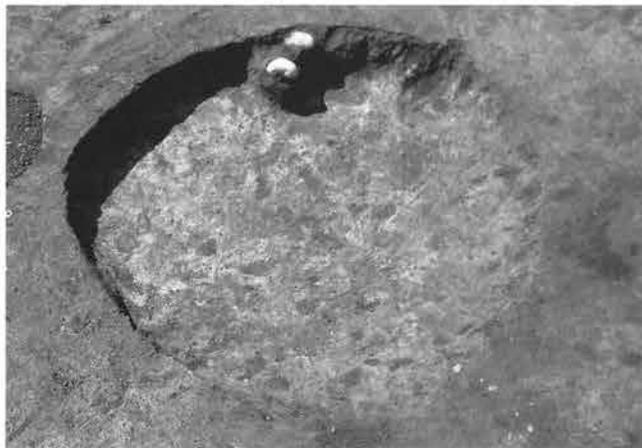
J-81 (南西)



J-82 (北)



J-84 (南西)



J-85 (北東)



J-87 (南)



J-88 (東)



J-89 (東)



J-90 (東)



J-94 (西)



J-95 (南)



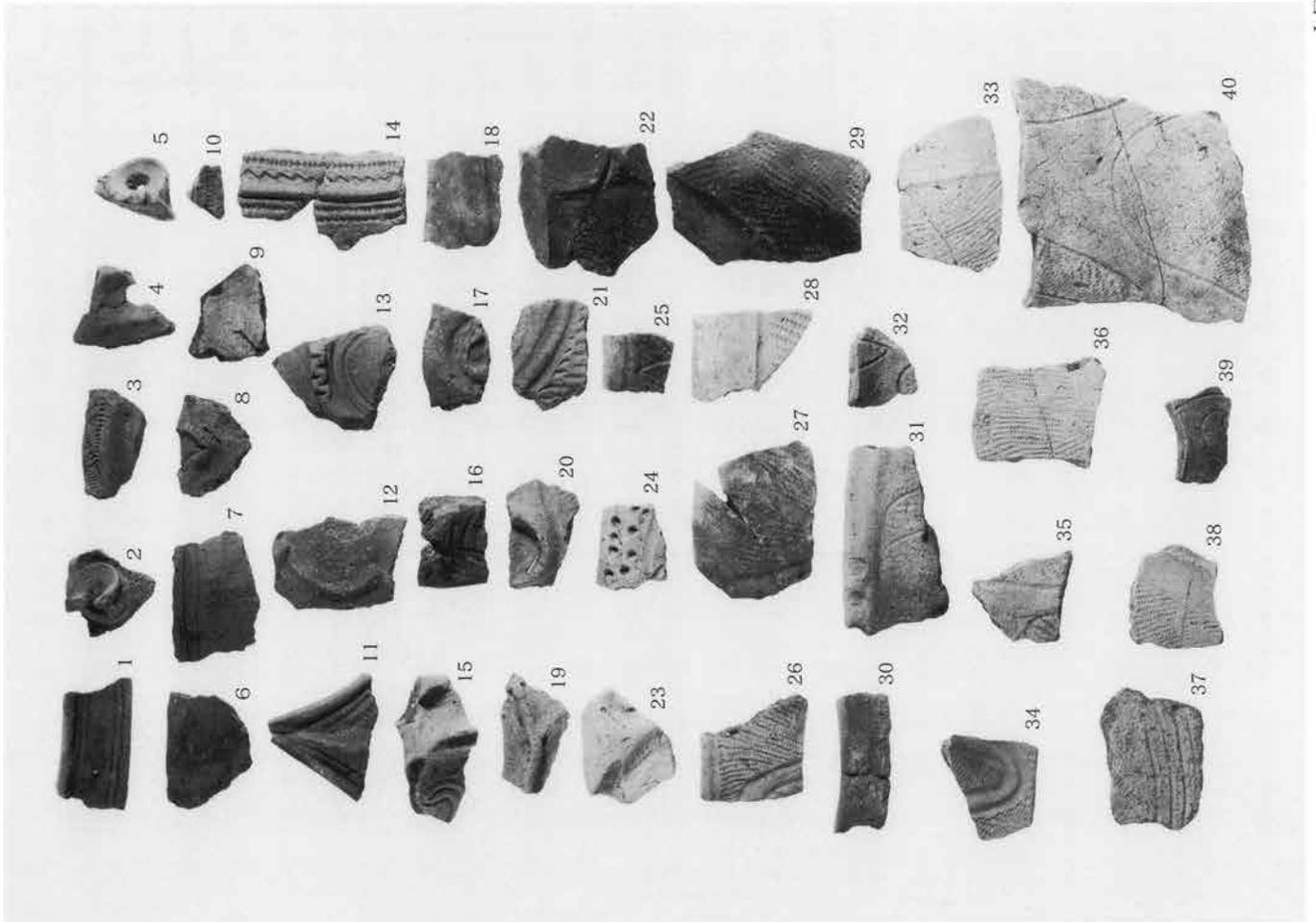
J-96 (南)



J-97 (北)



J-2 調査風景 (南)





J5-3



J5-4



J5-12



J5-1



J5-2



J5-5



J5-9



J2-1

J2-2

J2-3



J2-5



J2-4

J2-6

J2-7

J2-8



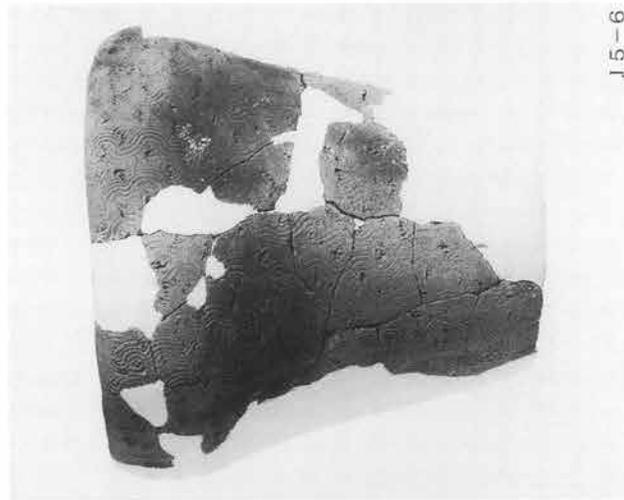
J5-7



J5-11



J5-8



J5-6

J-2・5出土土器



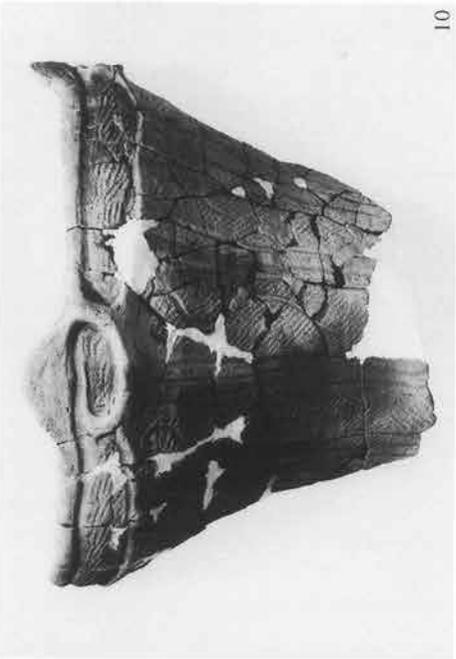
95



92



13



10



93

94

100

103



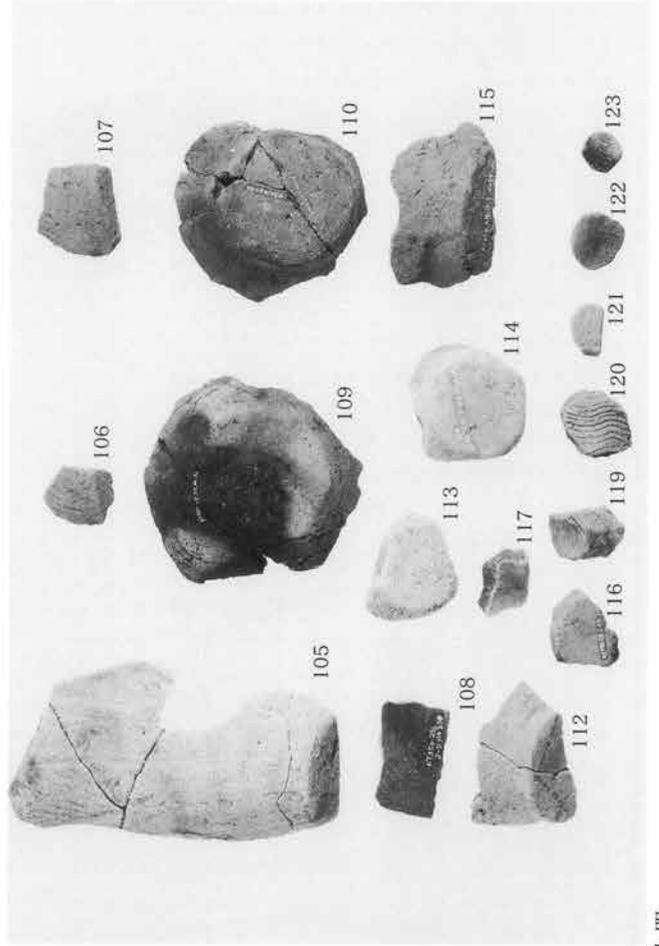
97



90



84



107

110

115

123

122

121

120

119

117

116

112

106

109

114

113

118

108

105



99



98



96



104



101



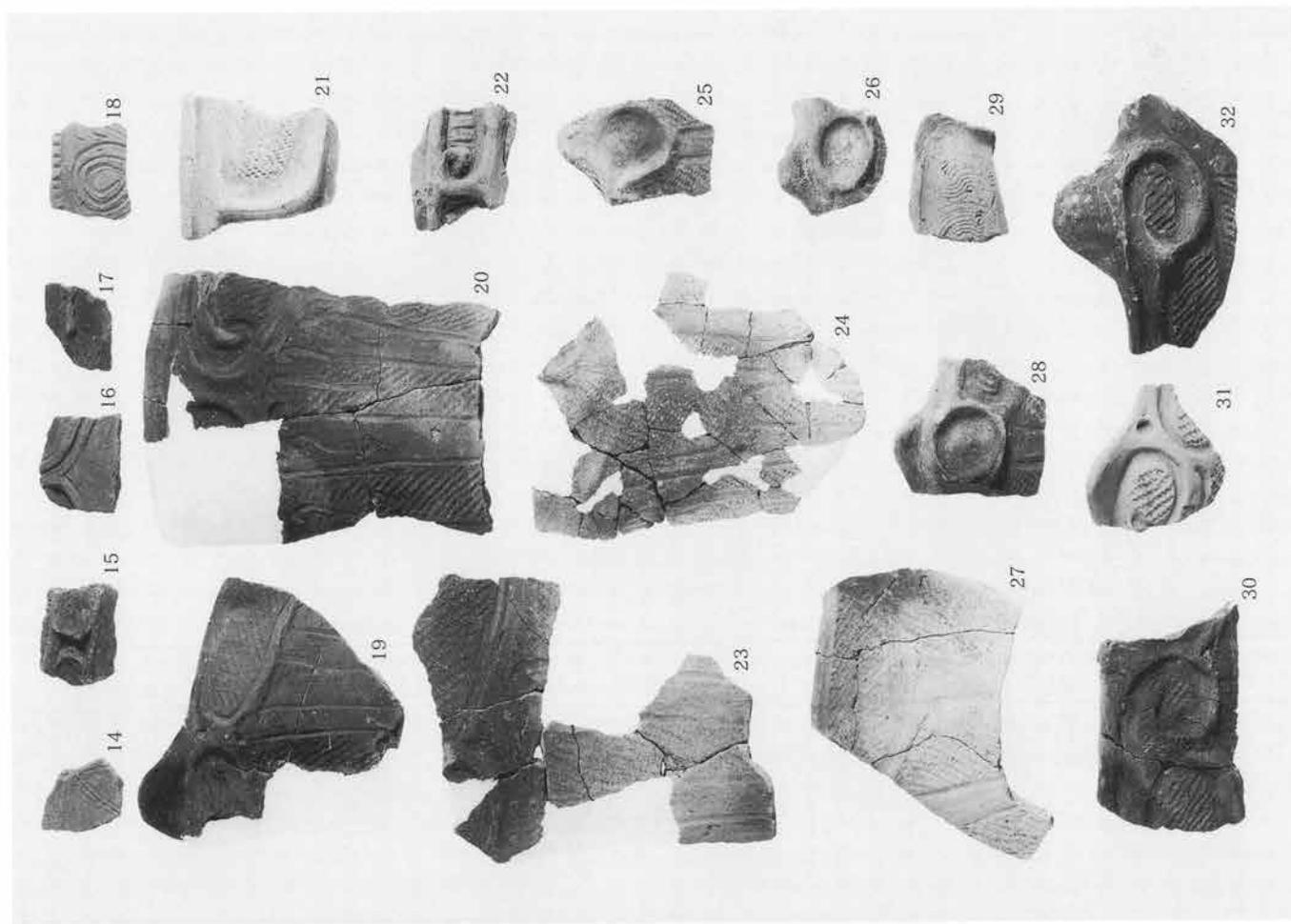
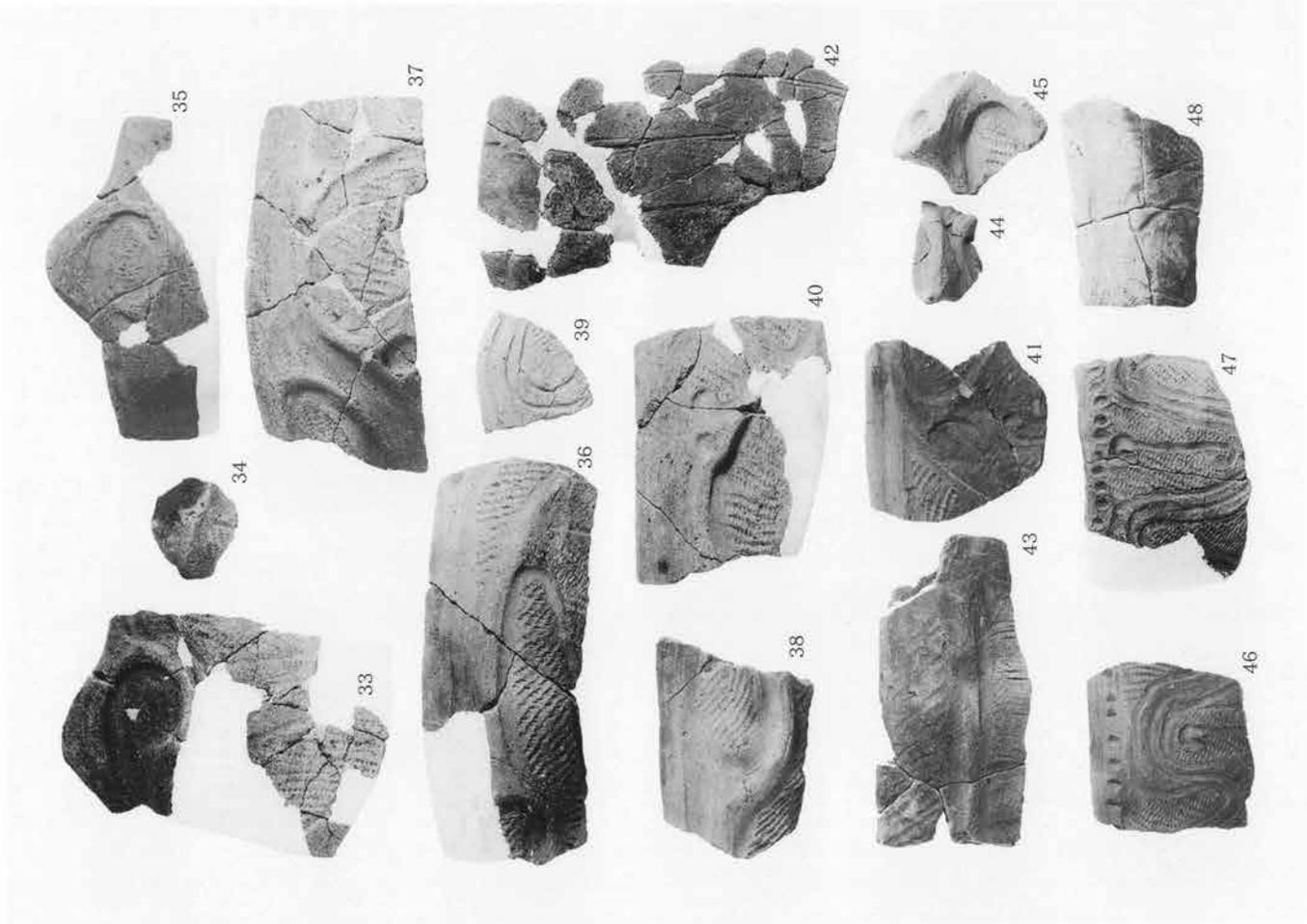
102

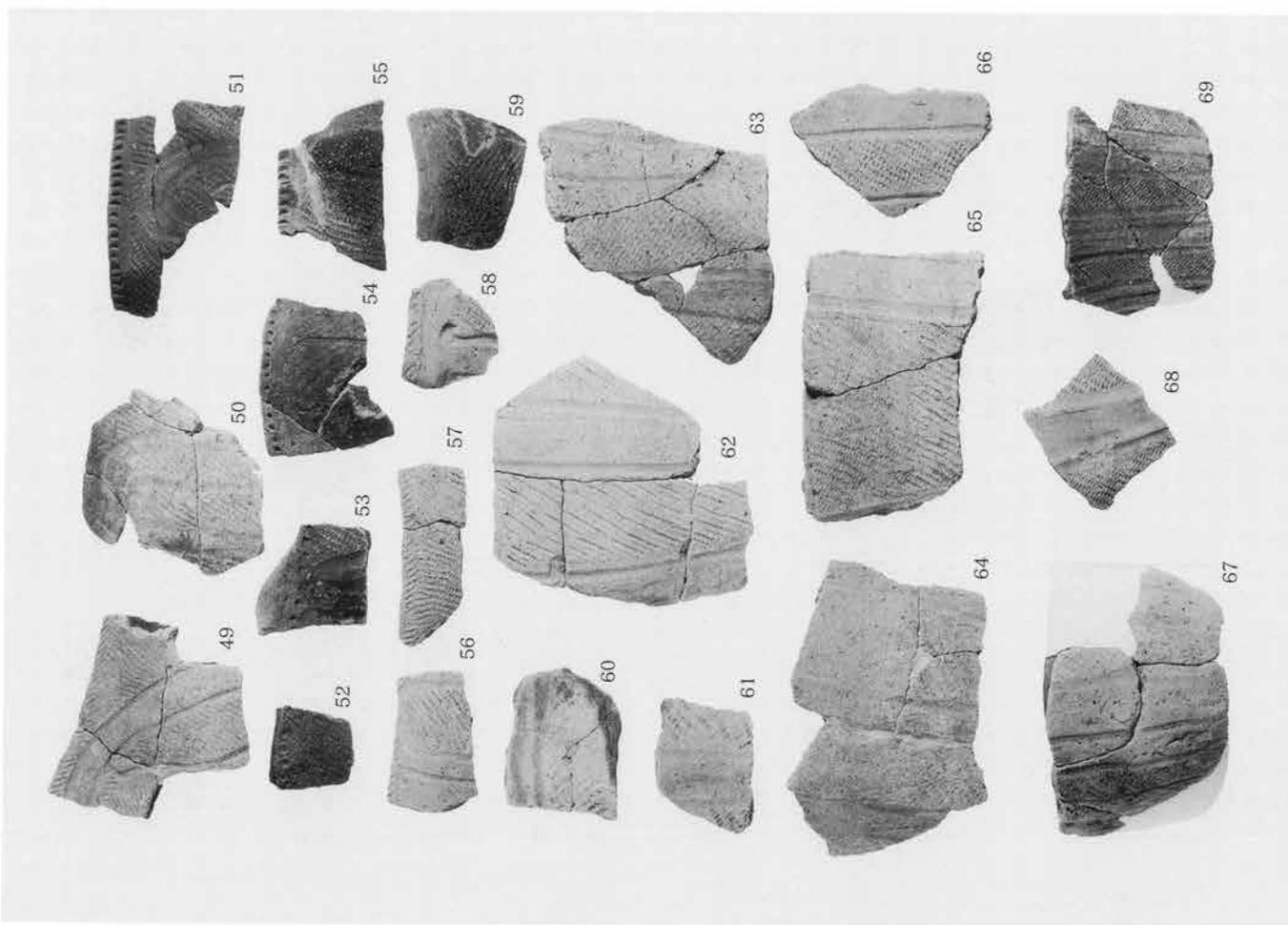
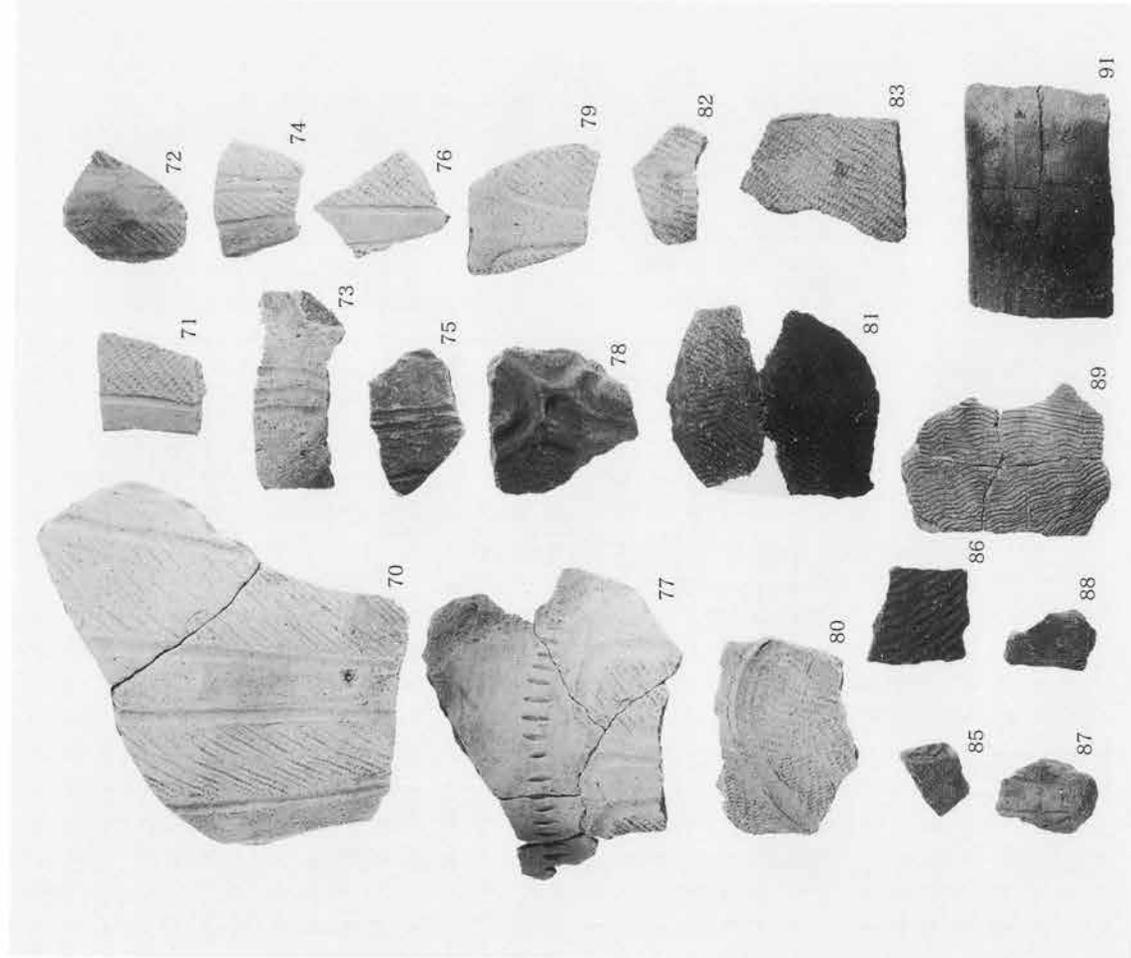


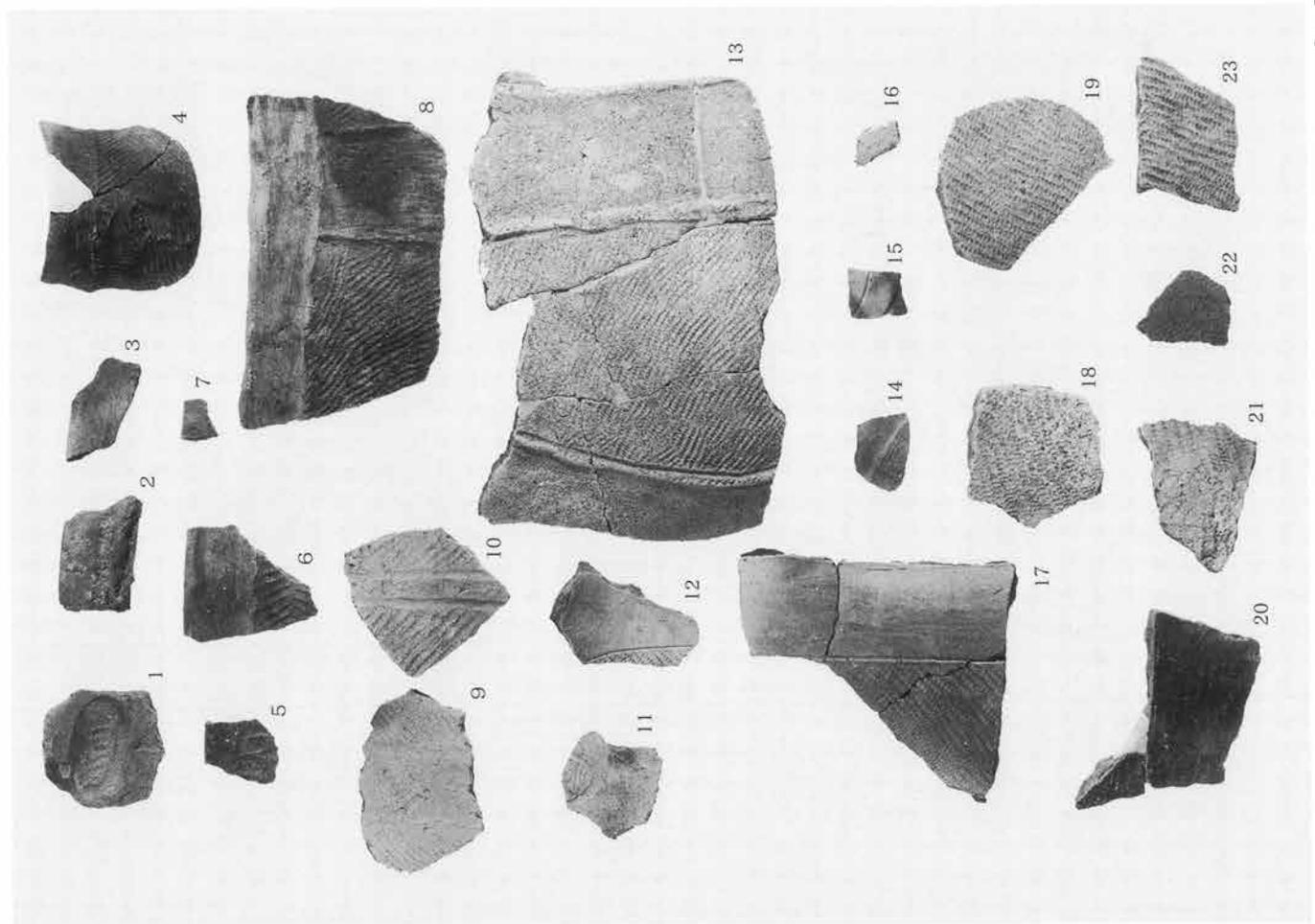
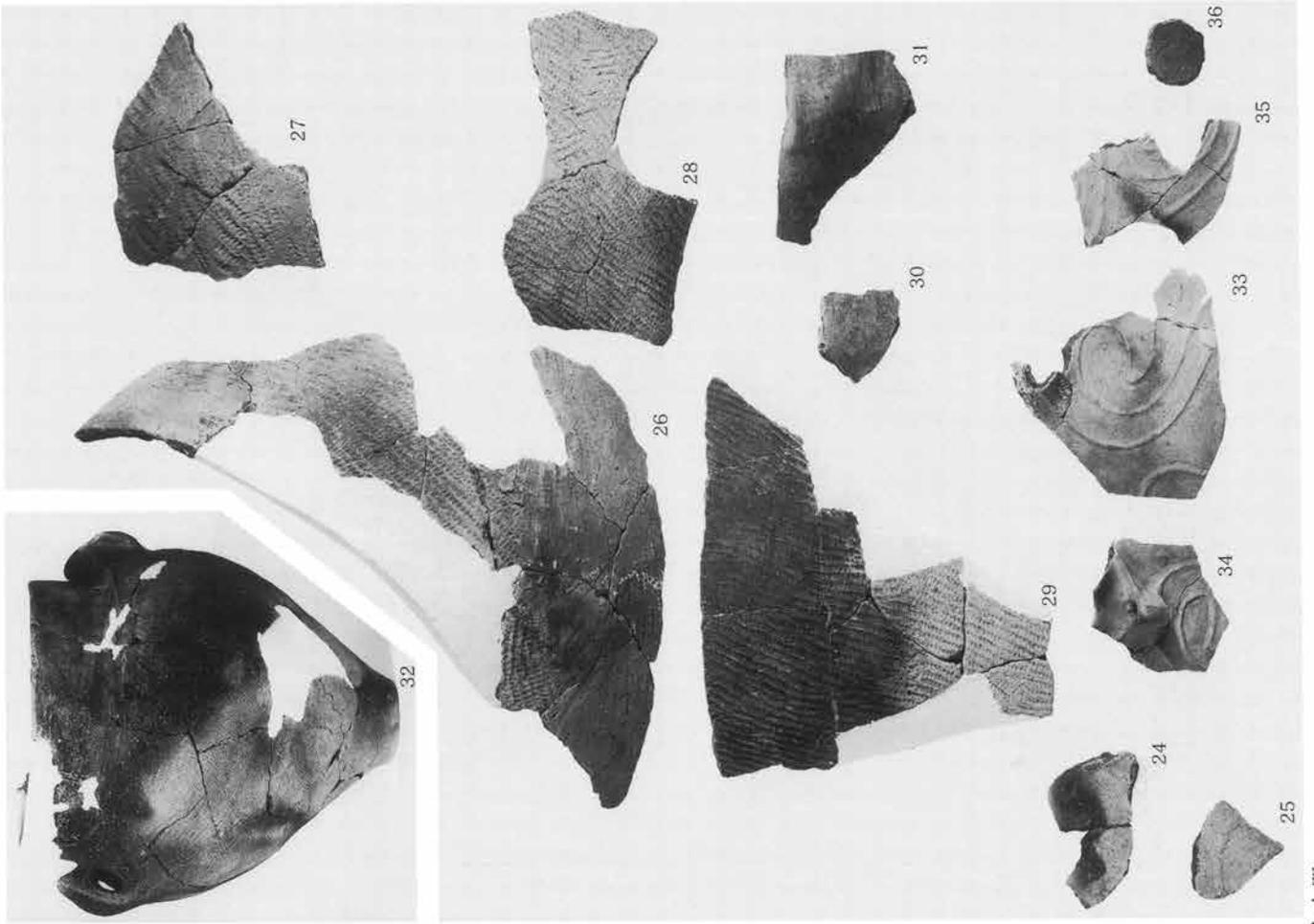
118

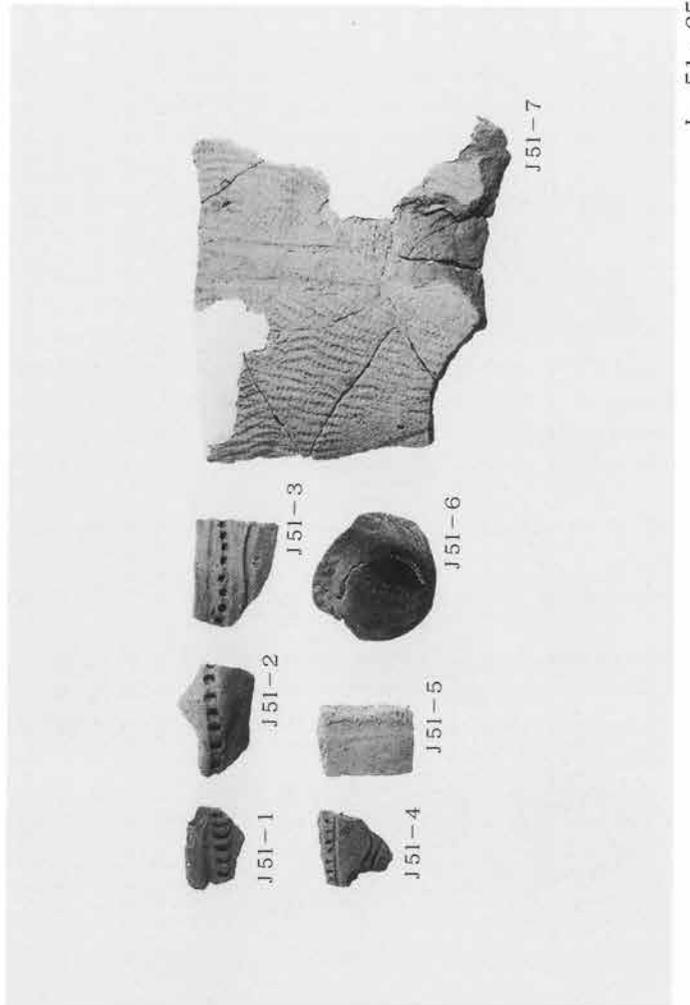
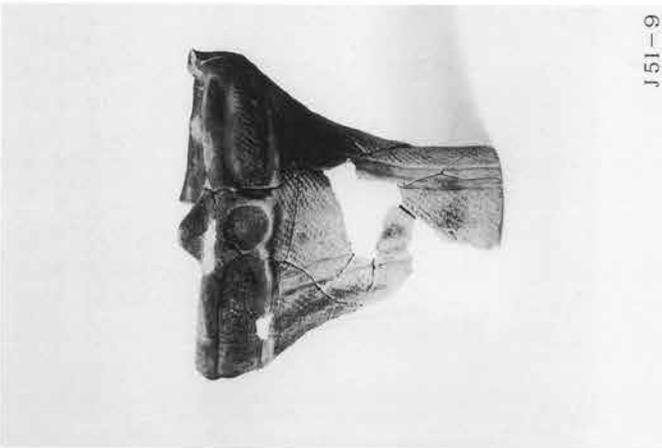
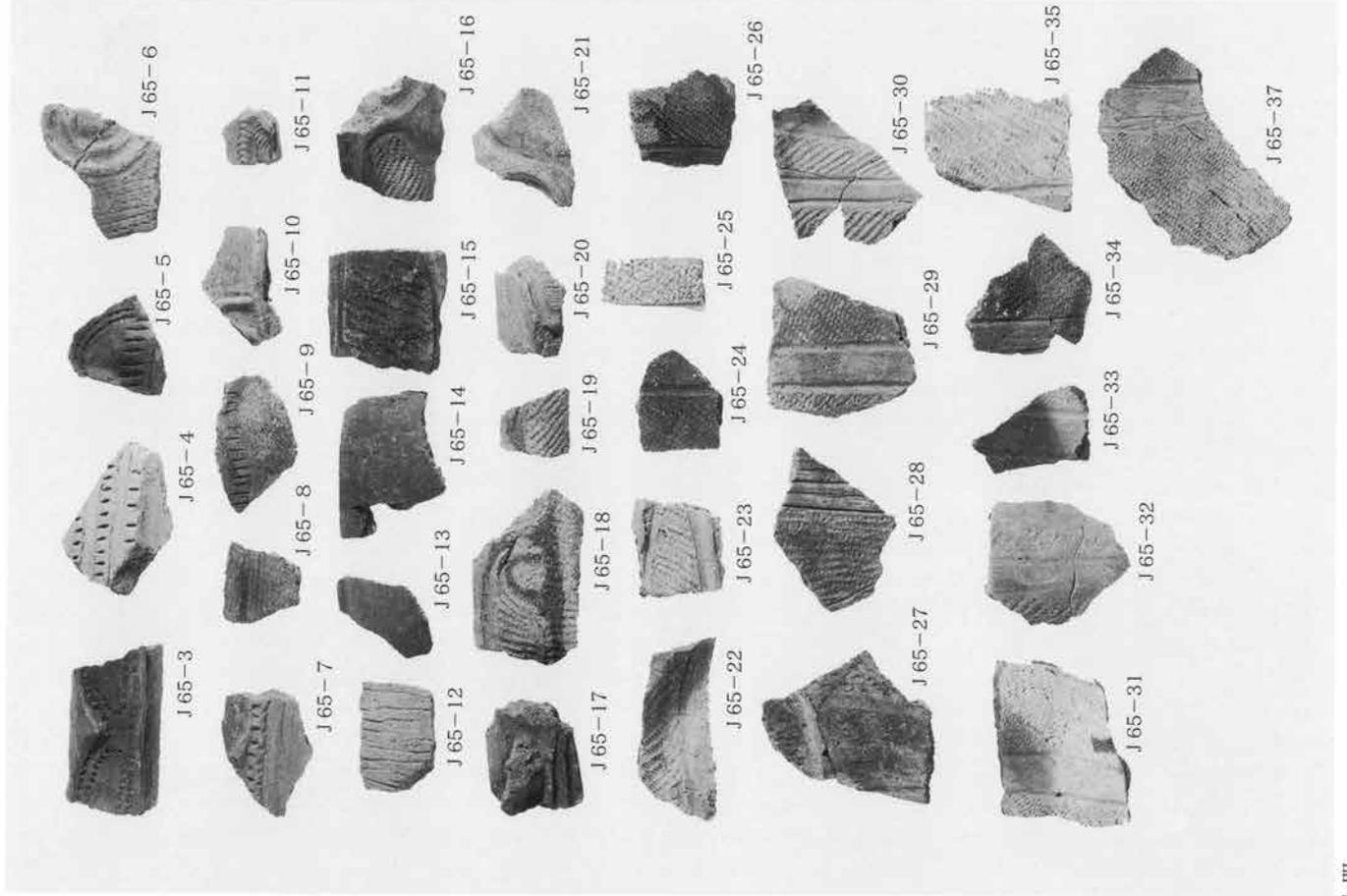


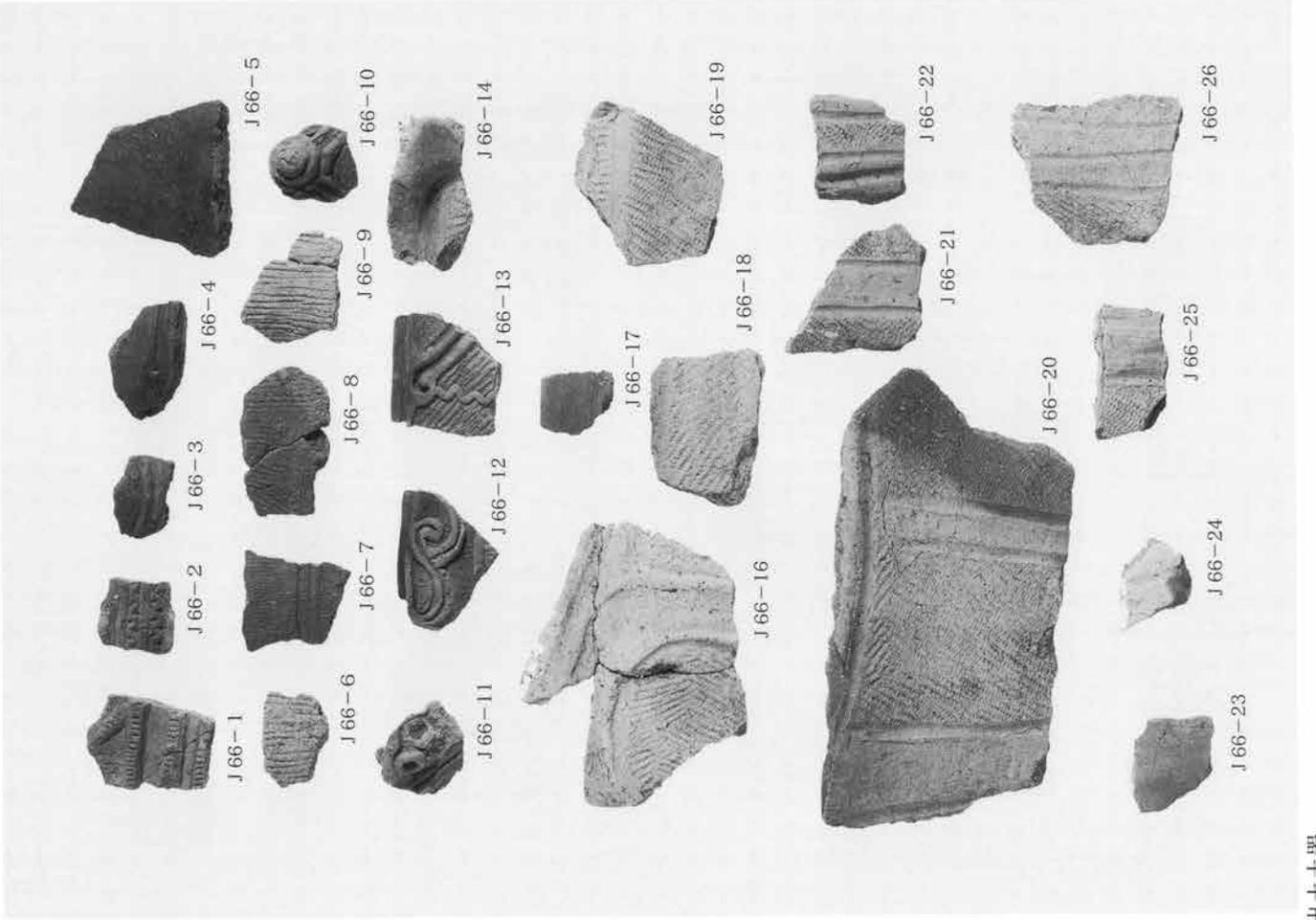
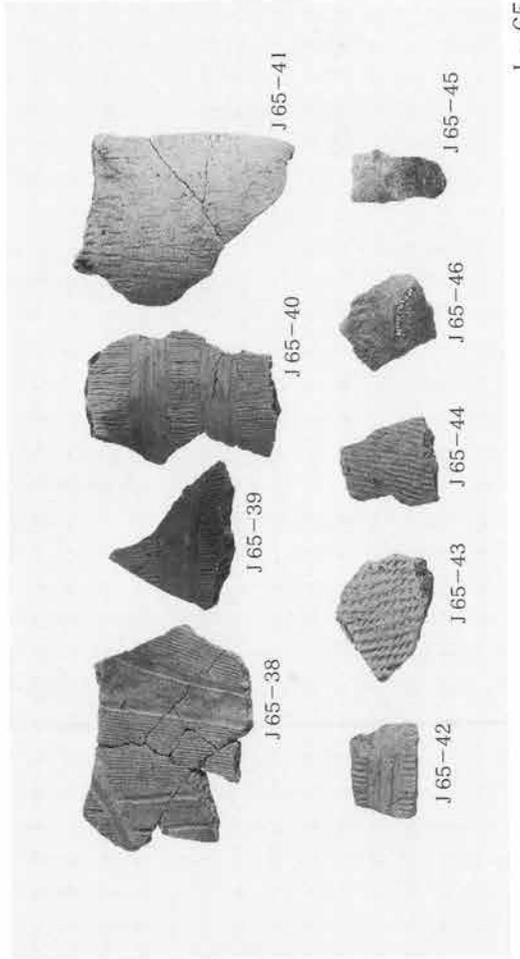
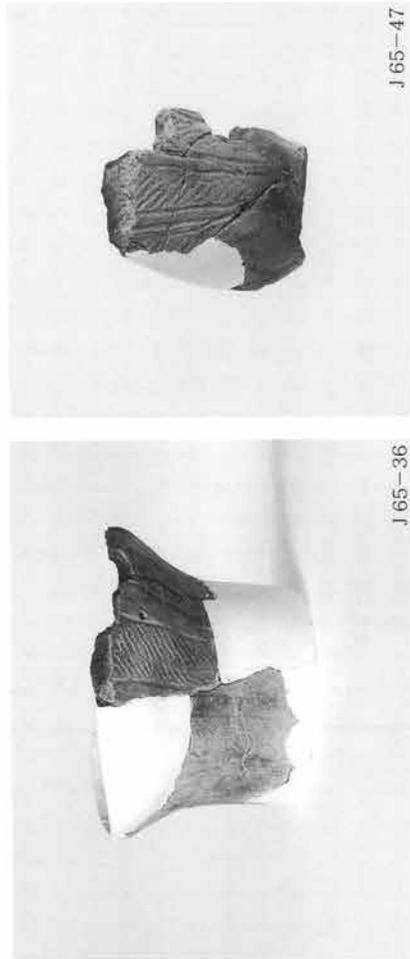
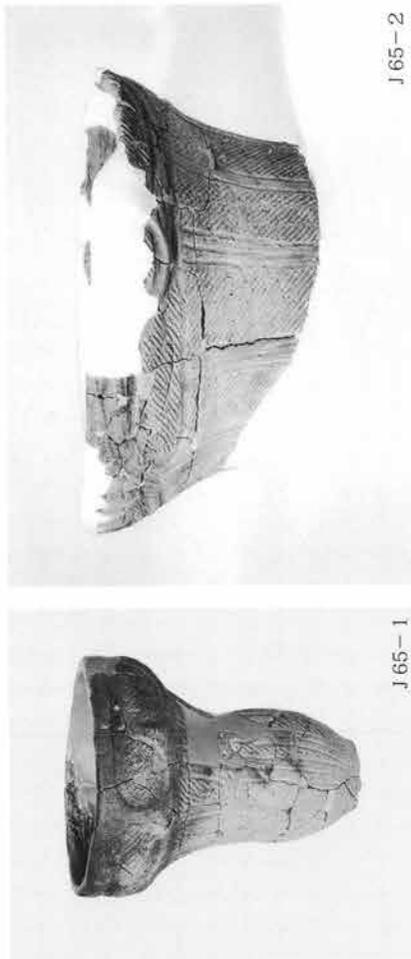
111

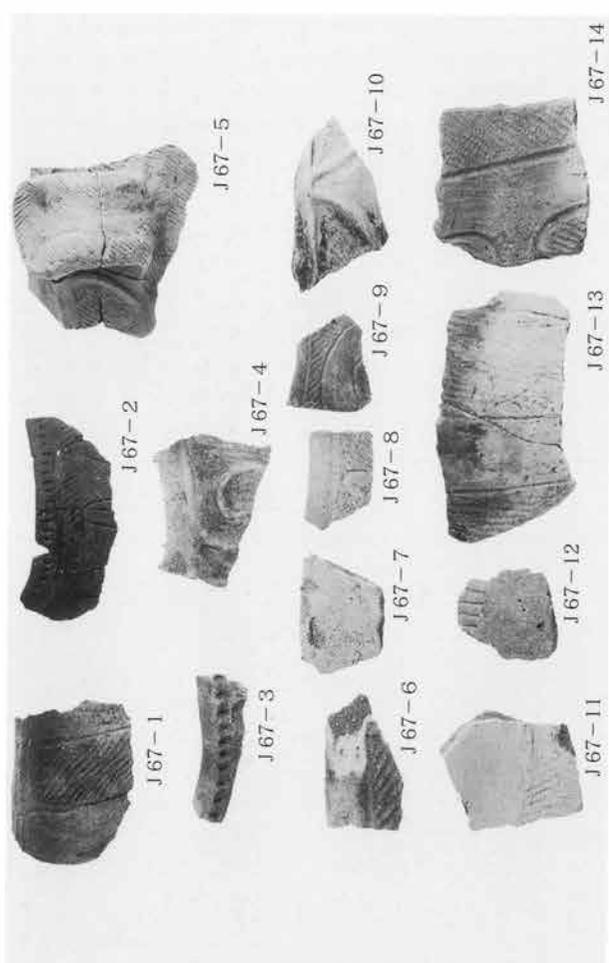
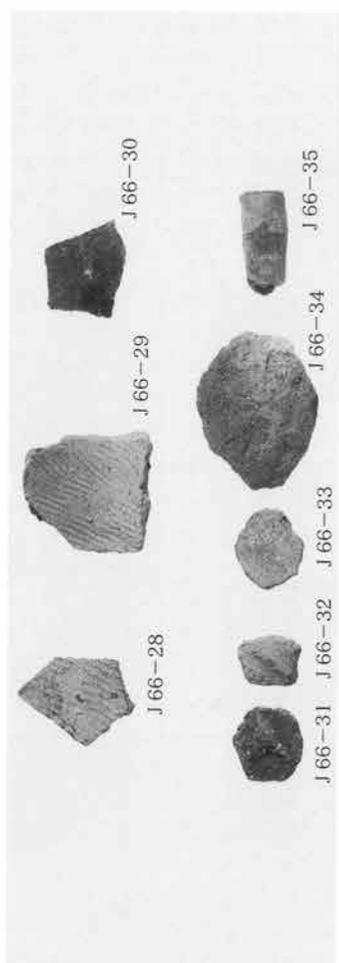
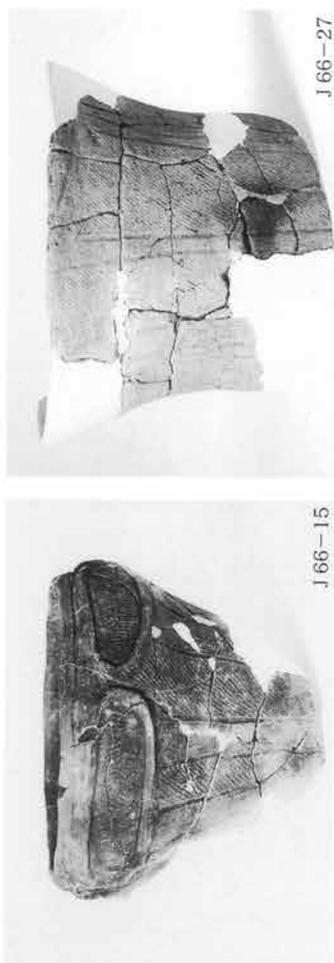
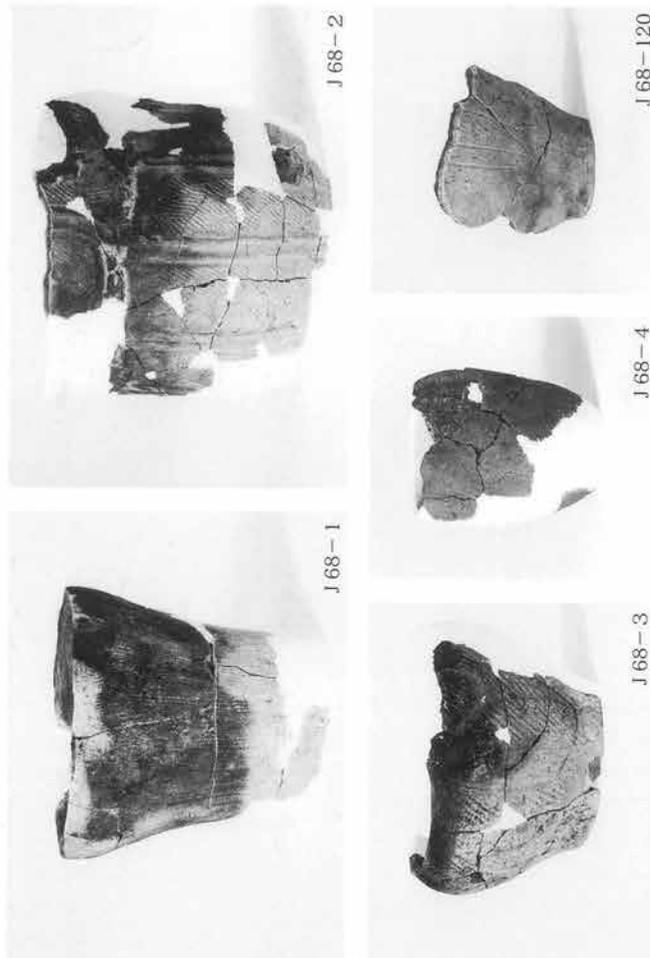
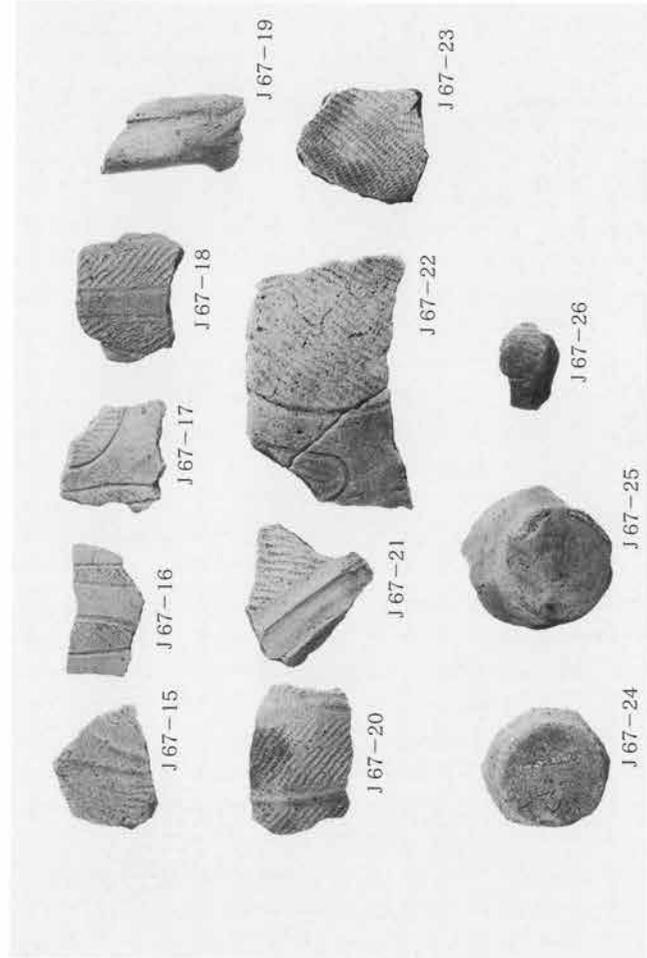


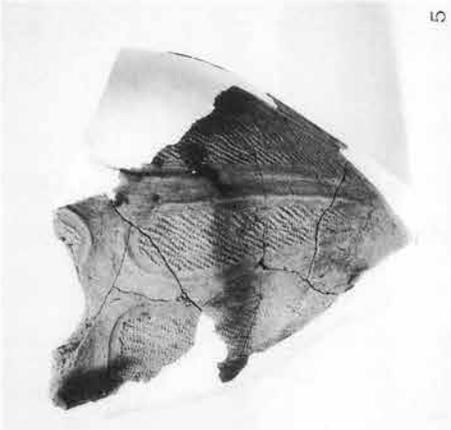
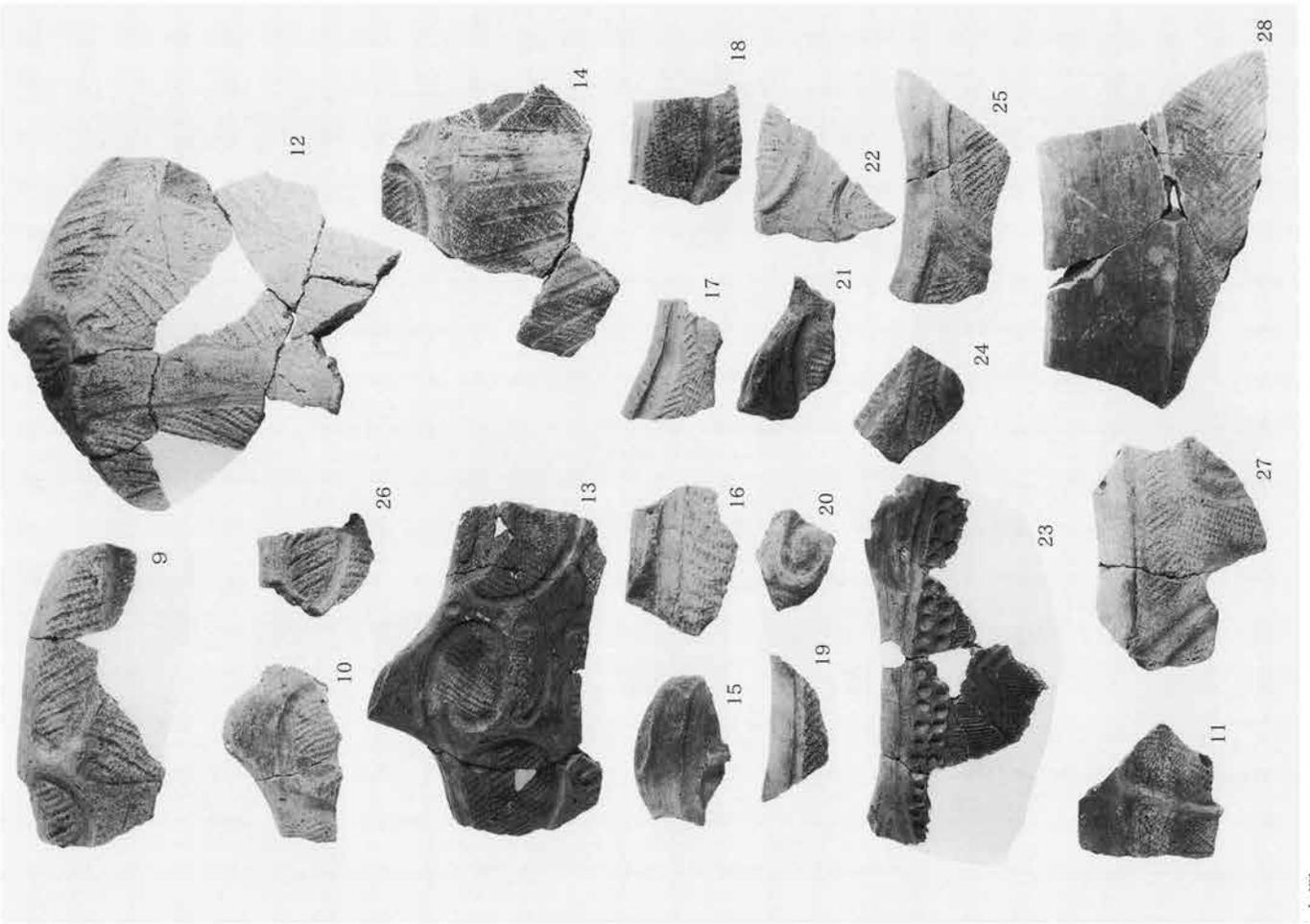


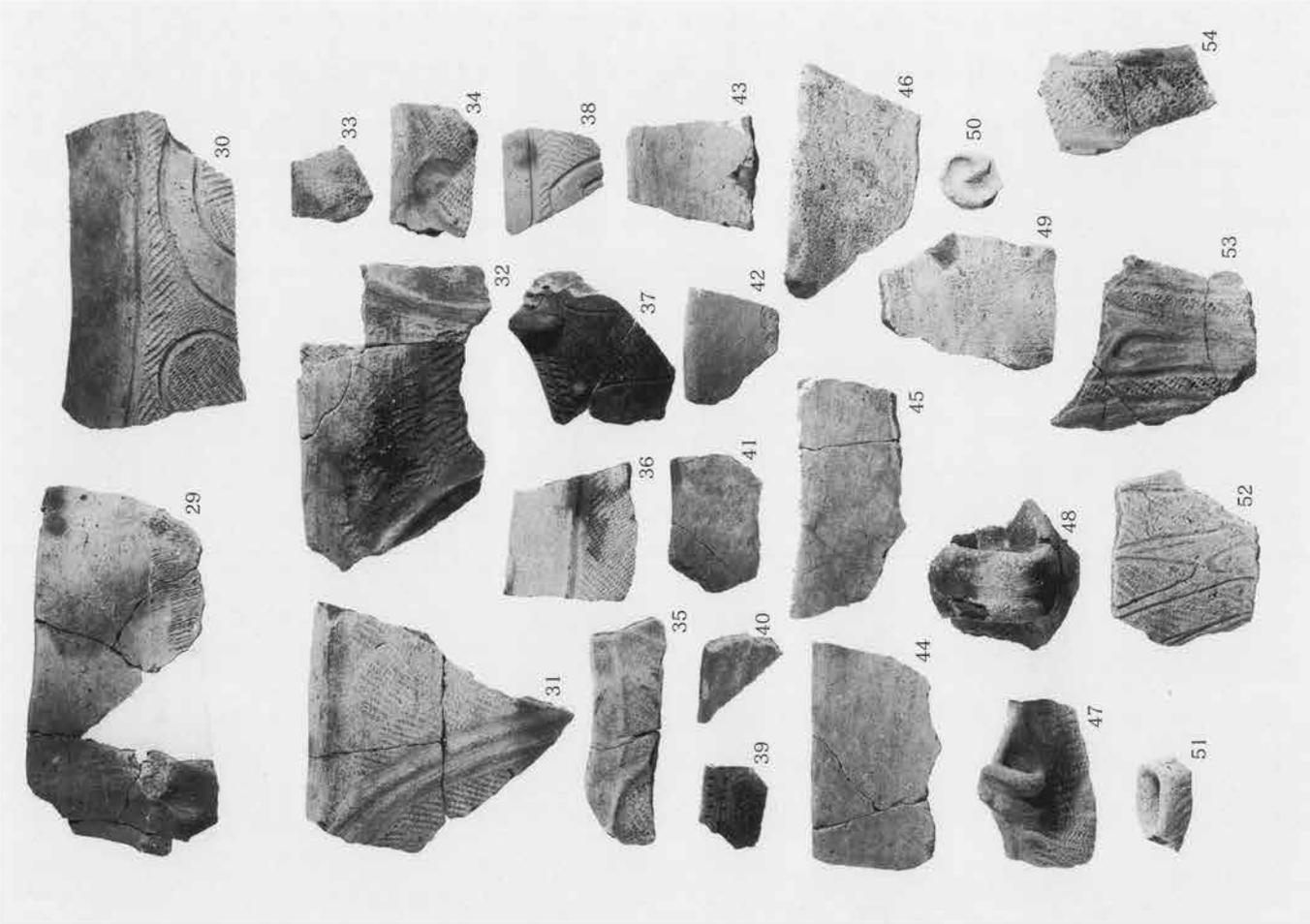
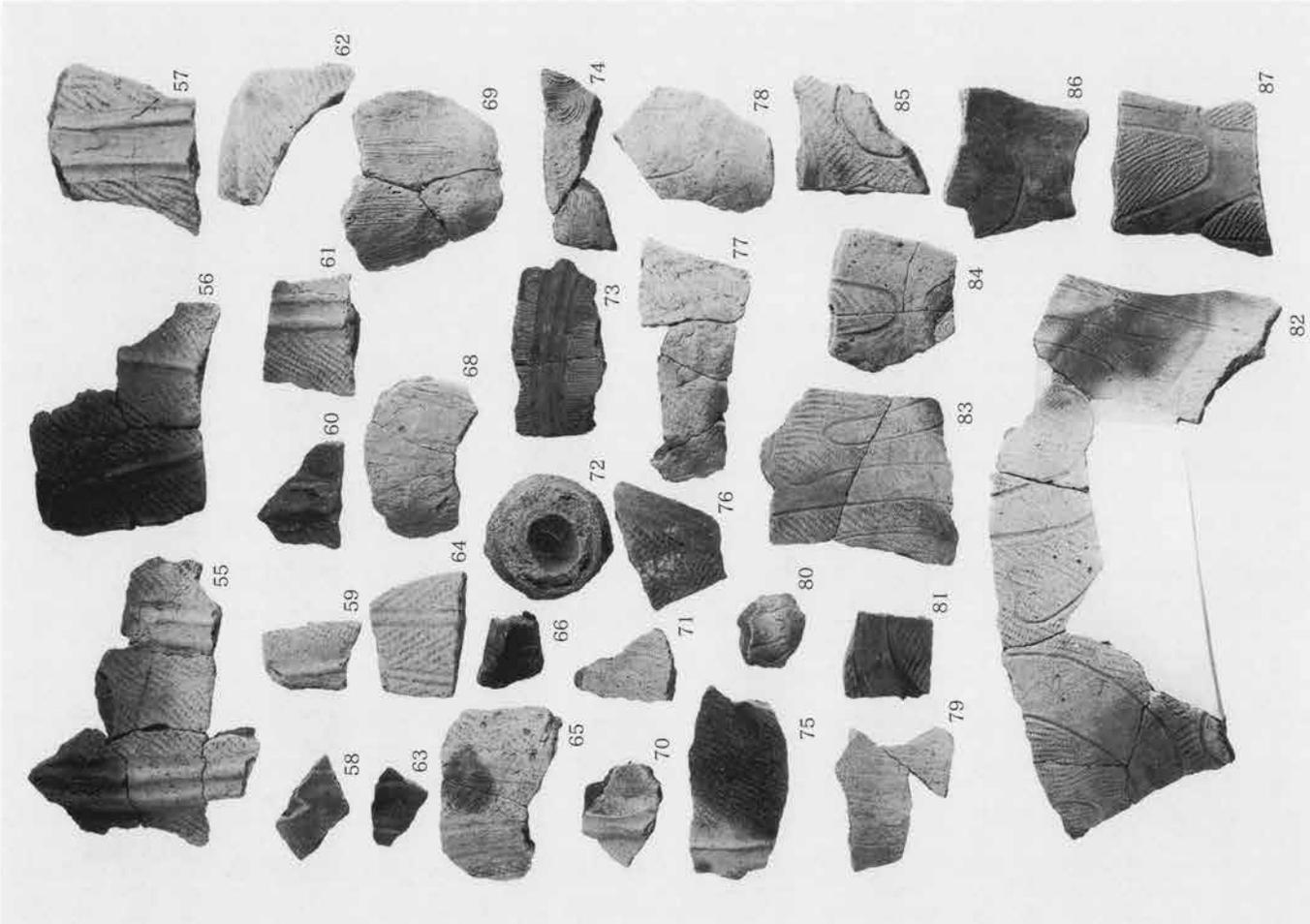


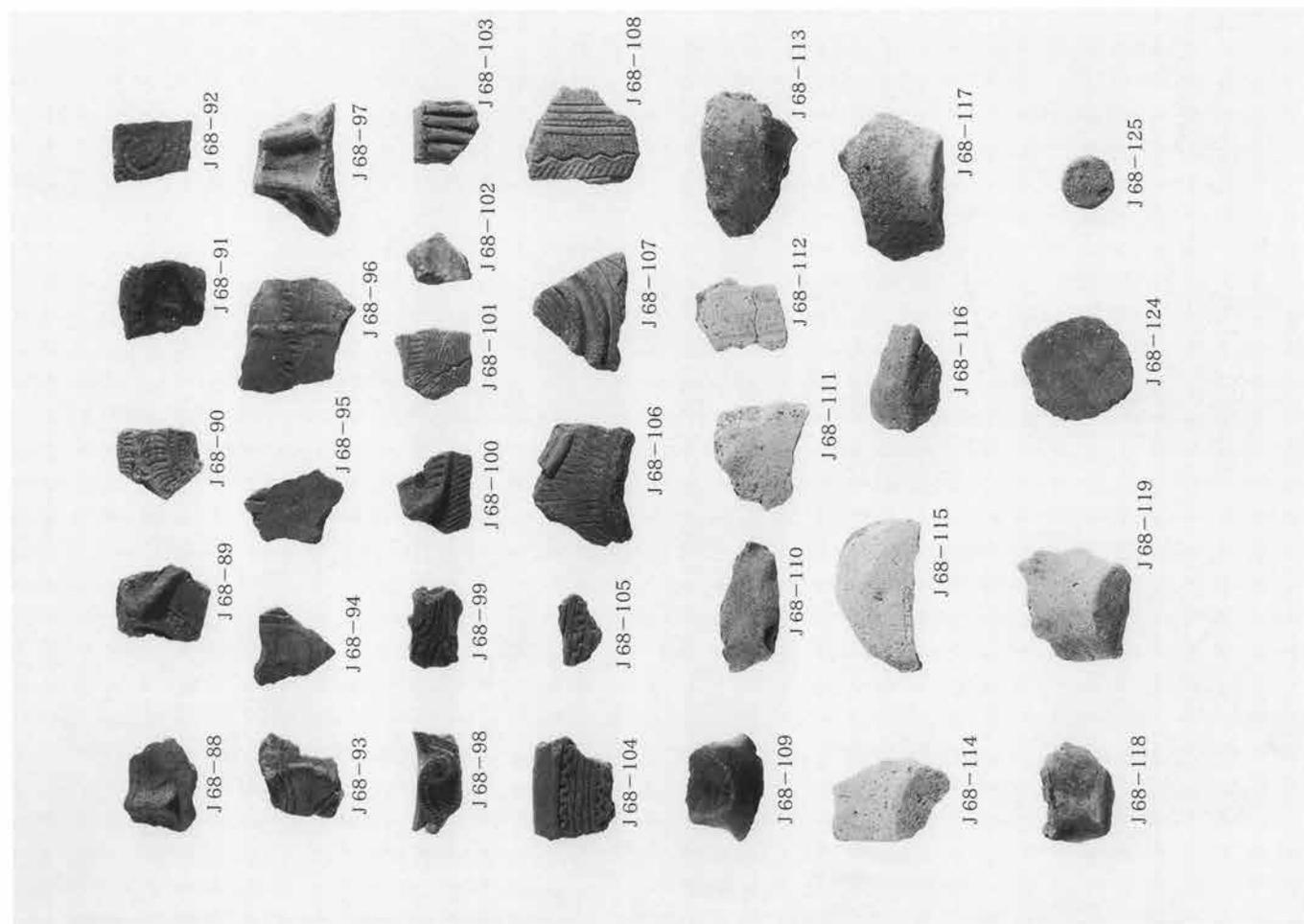
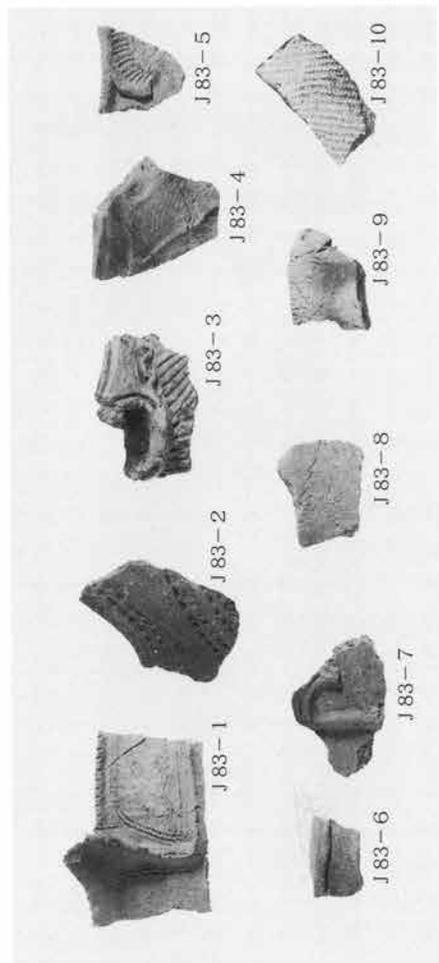
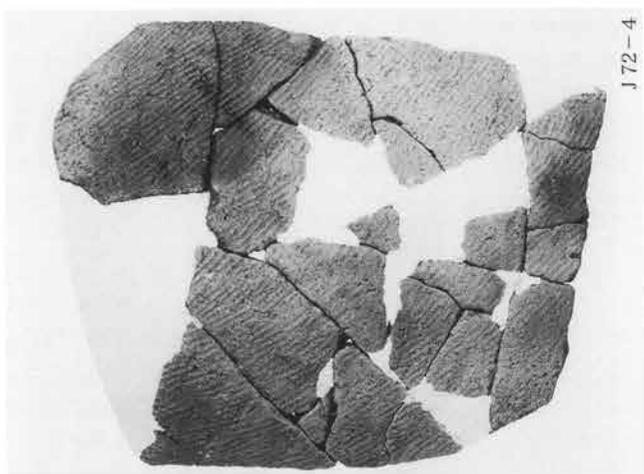


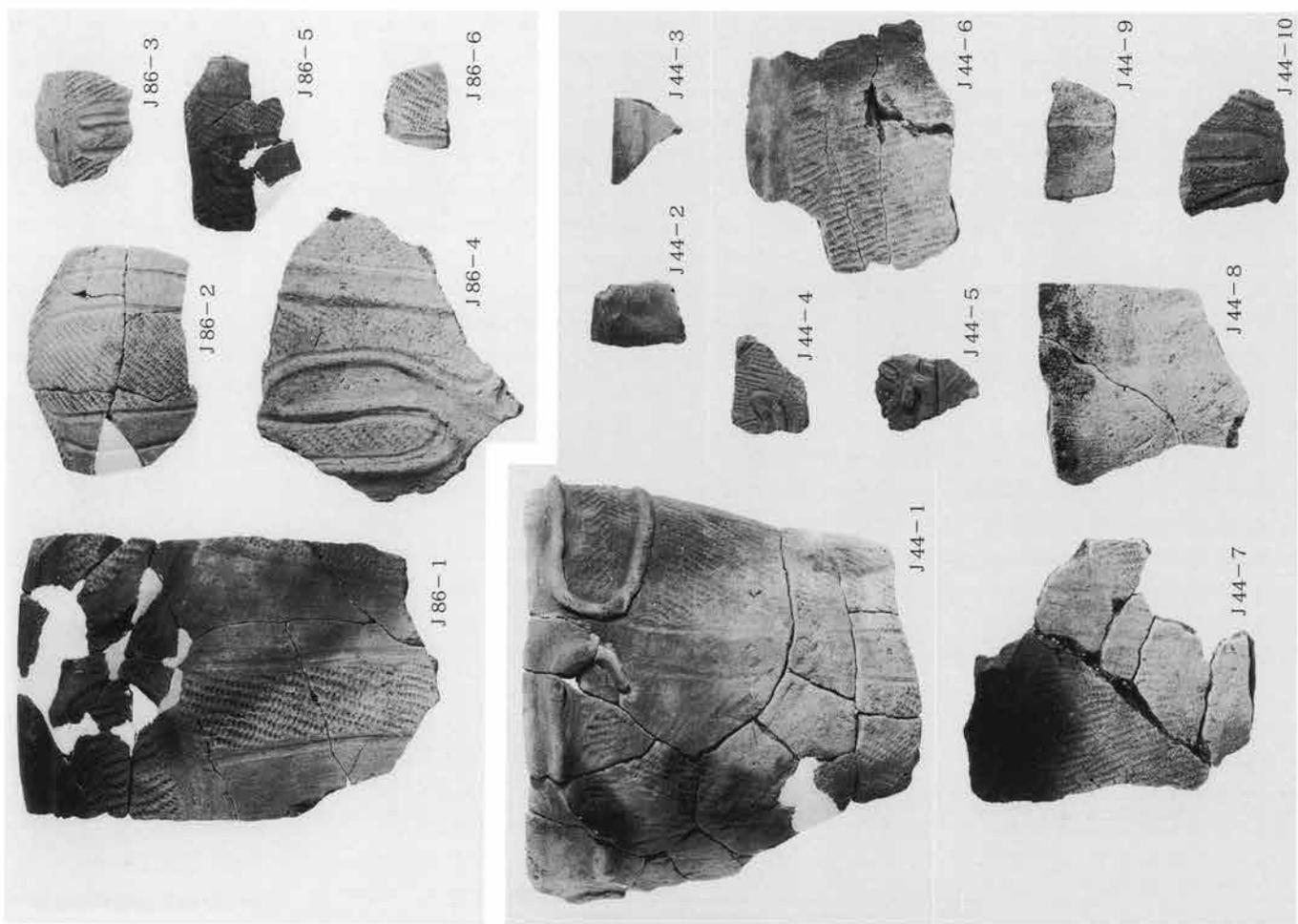
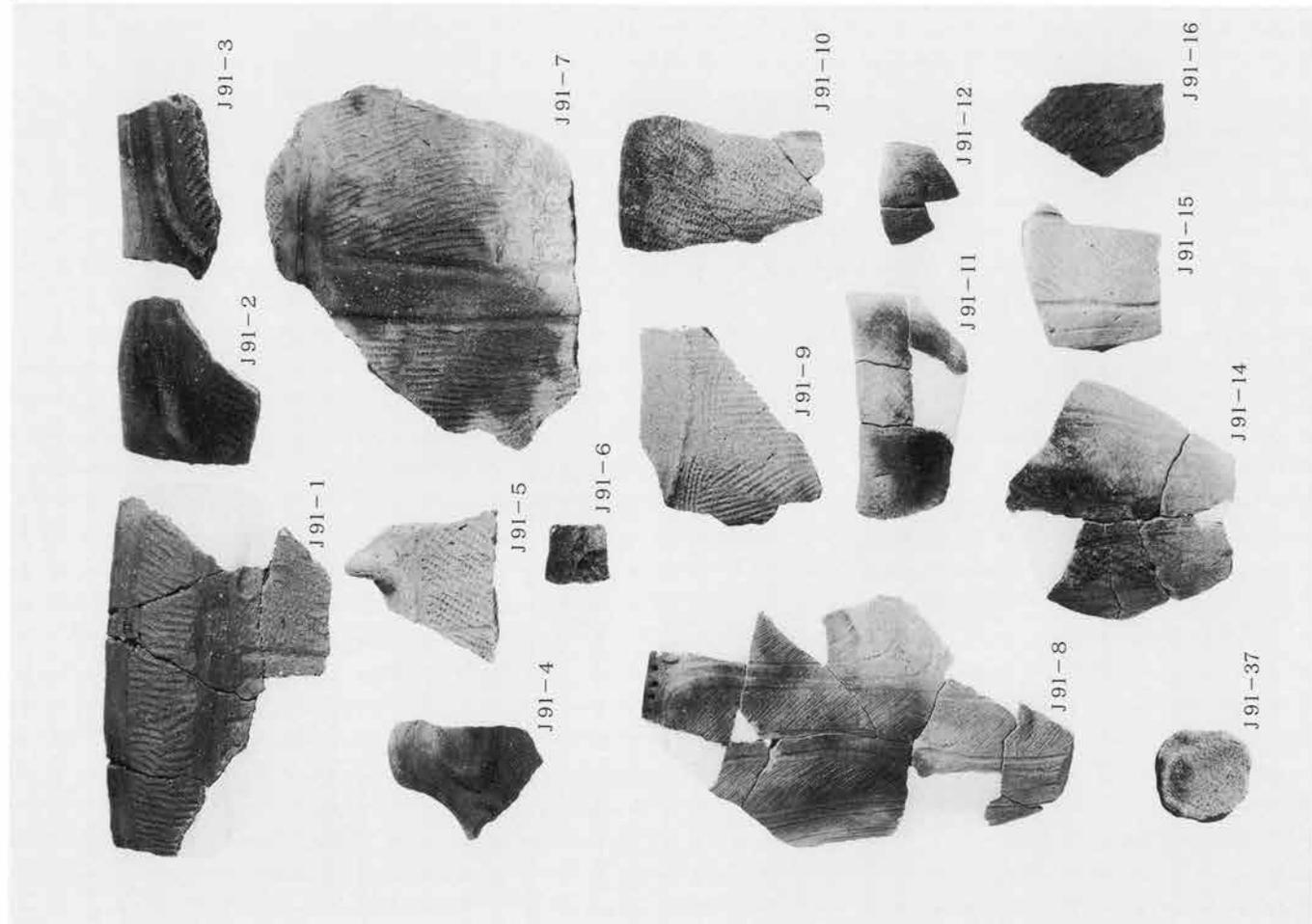


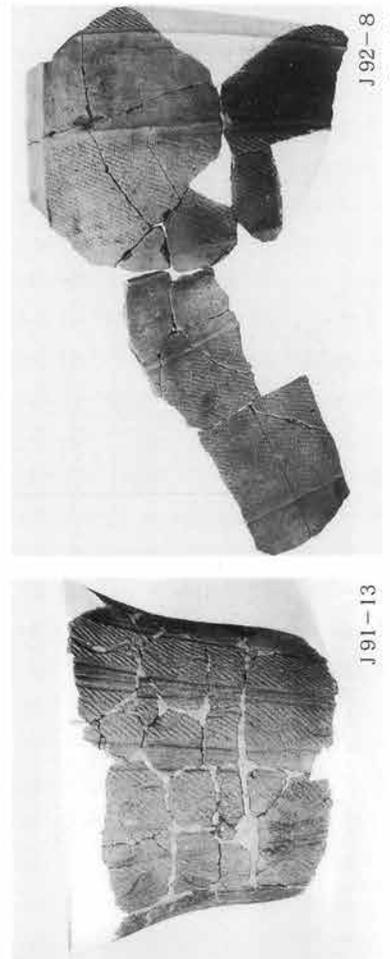
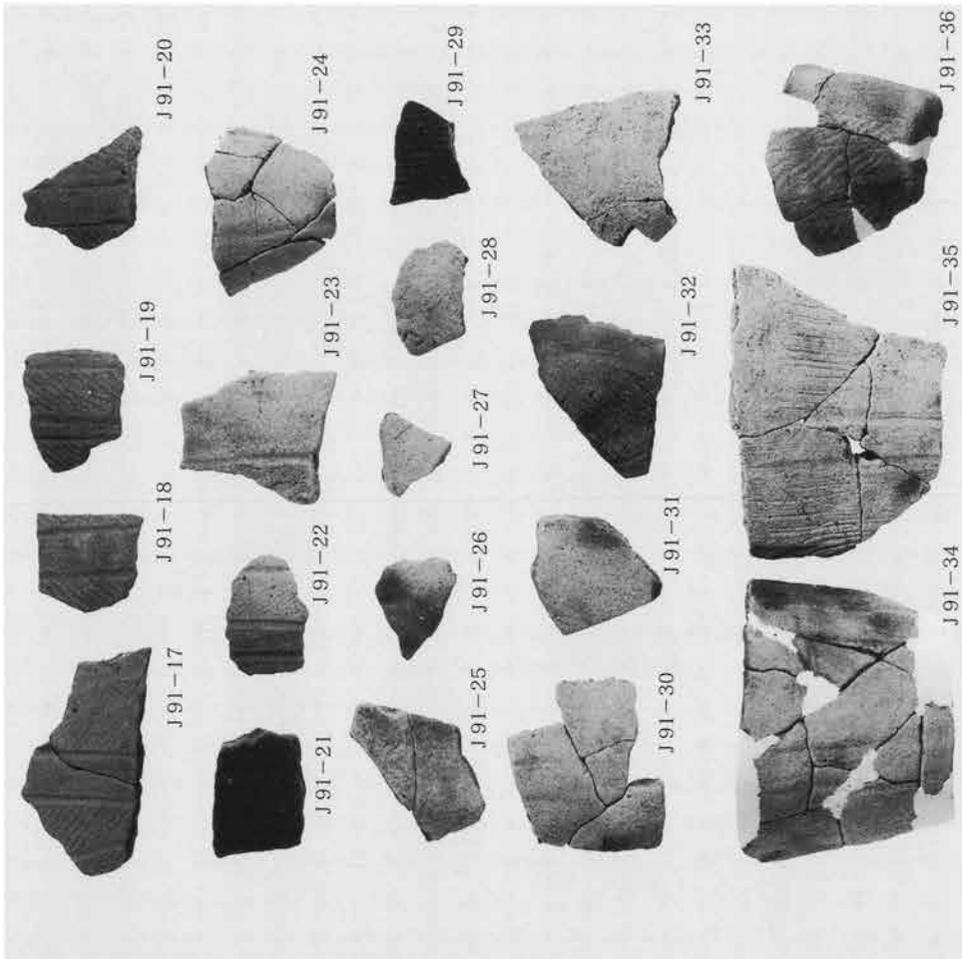
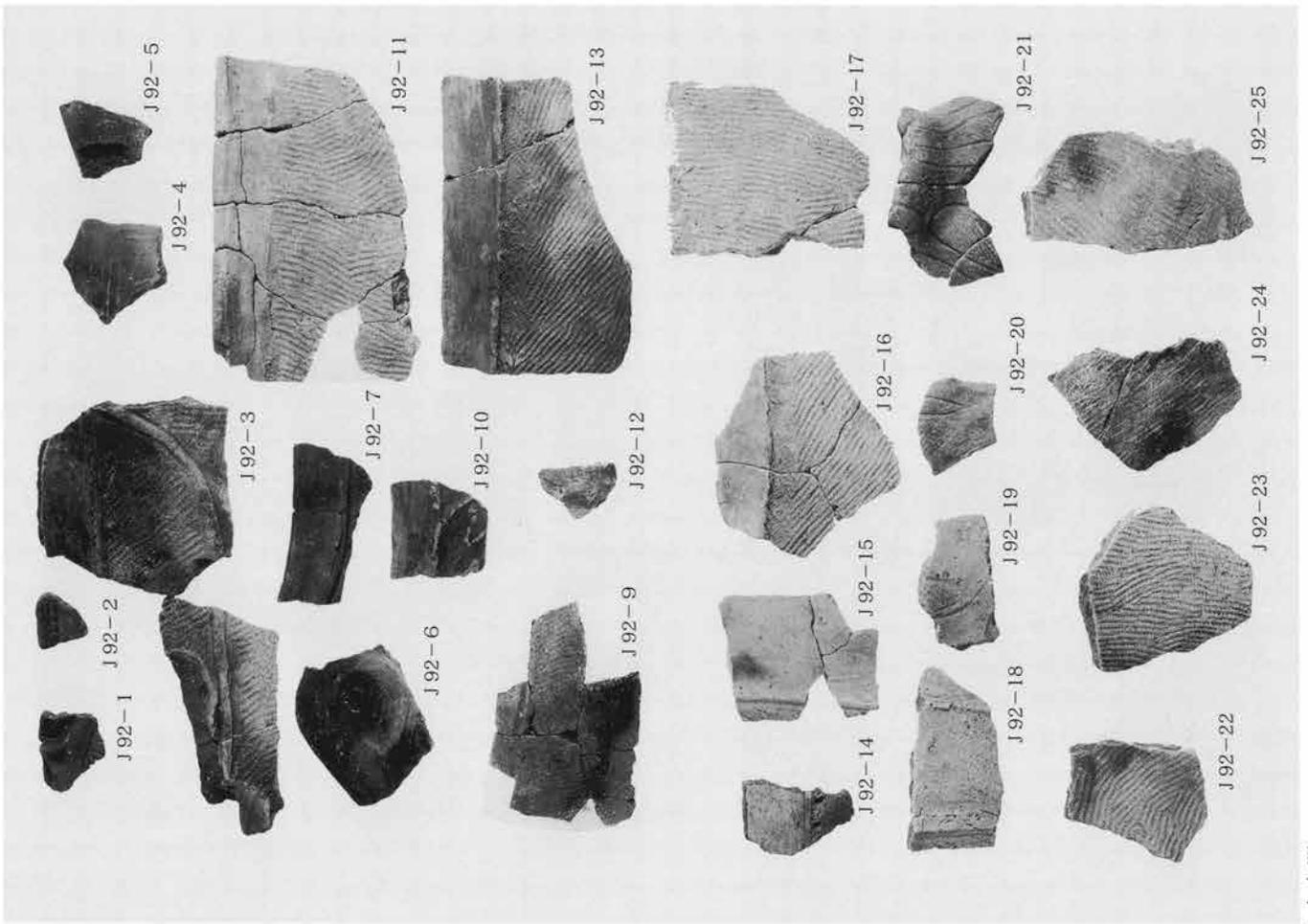




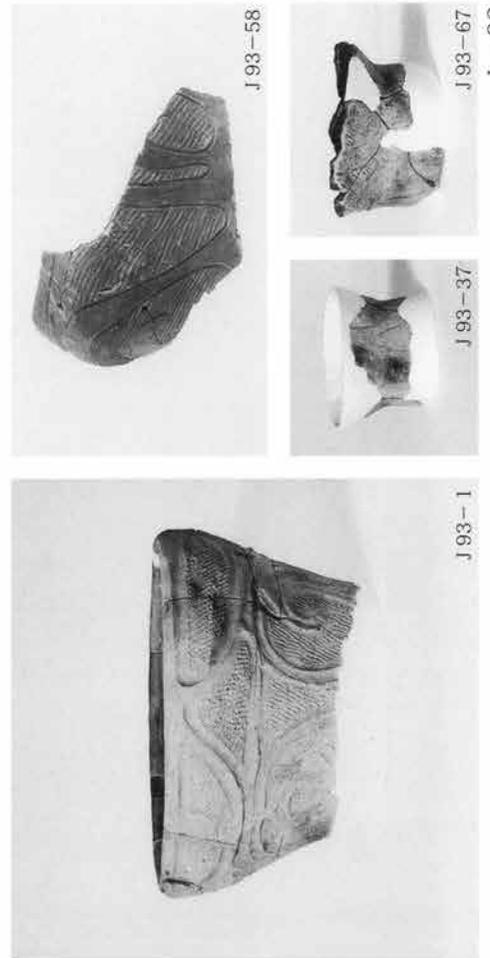
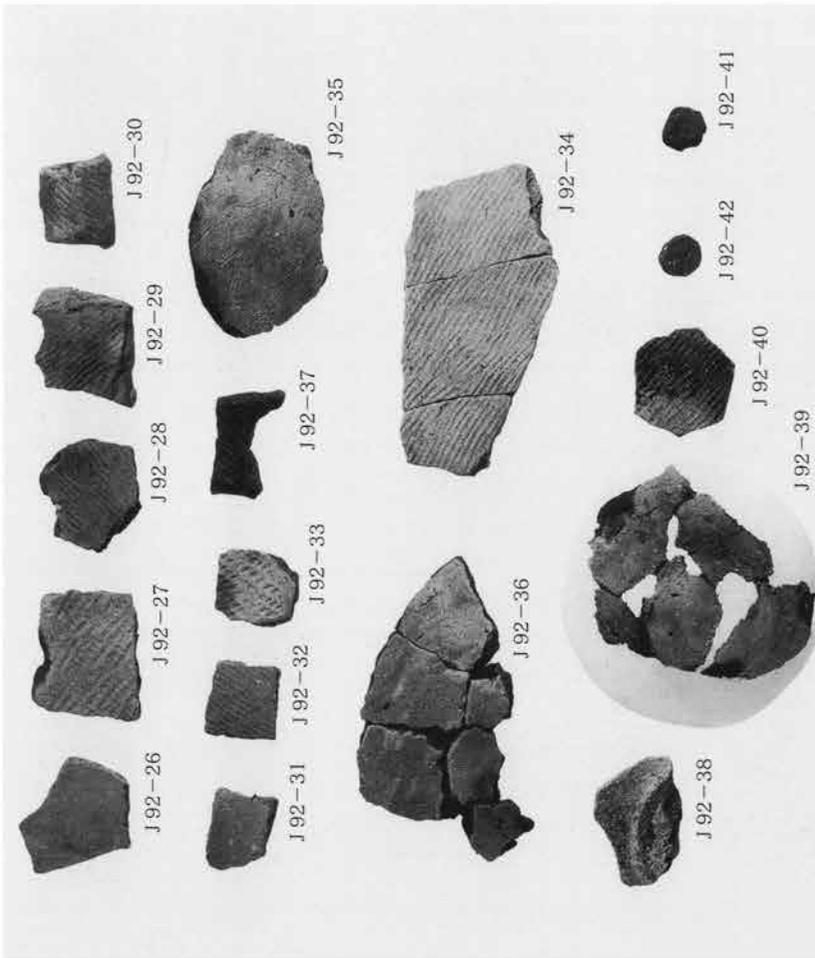
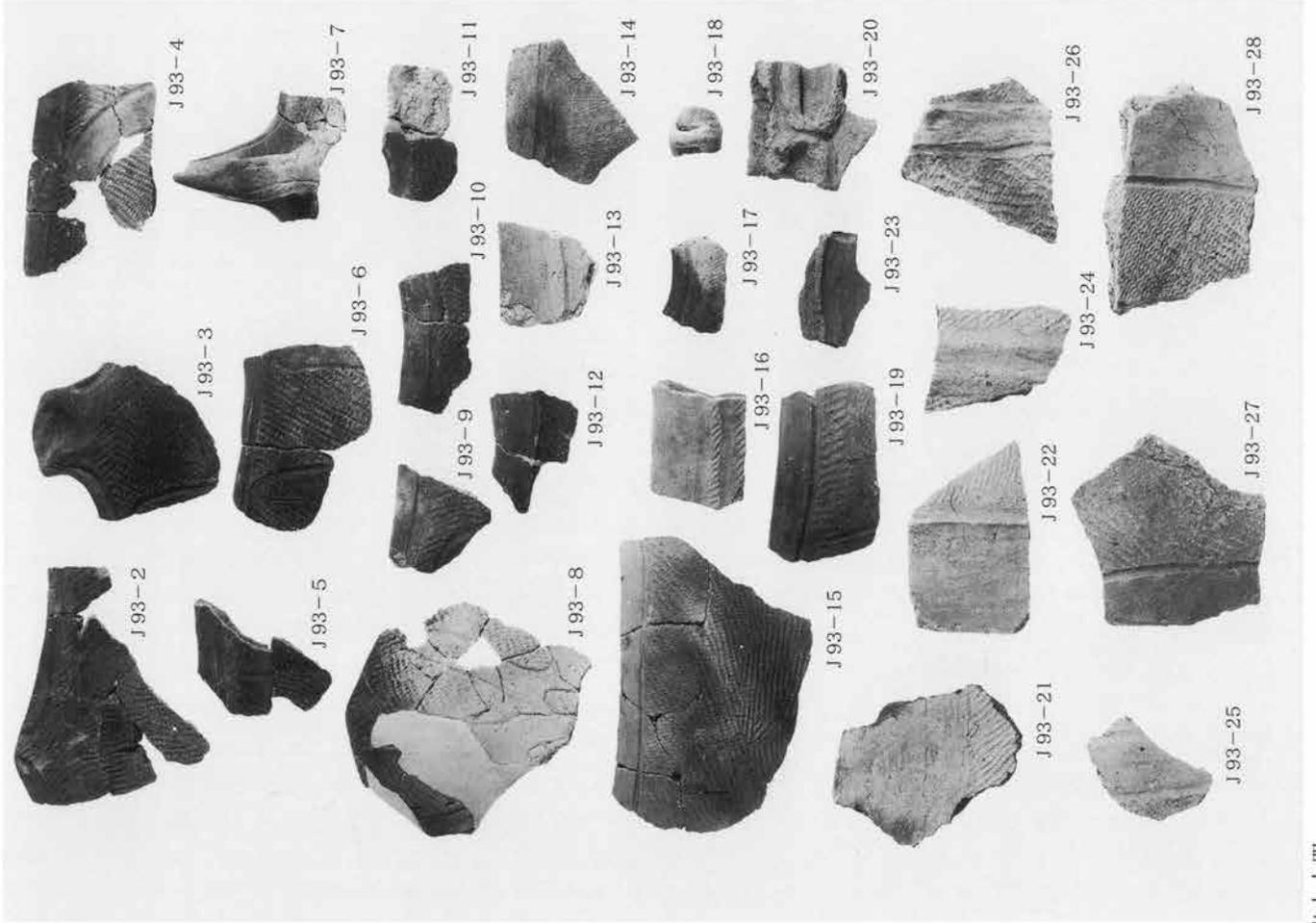


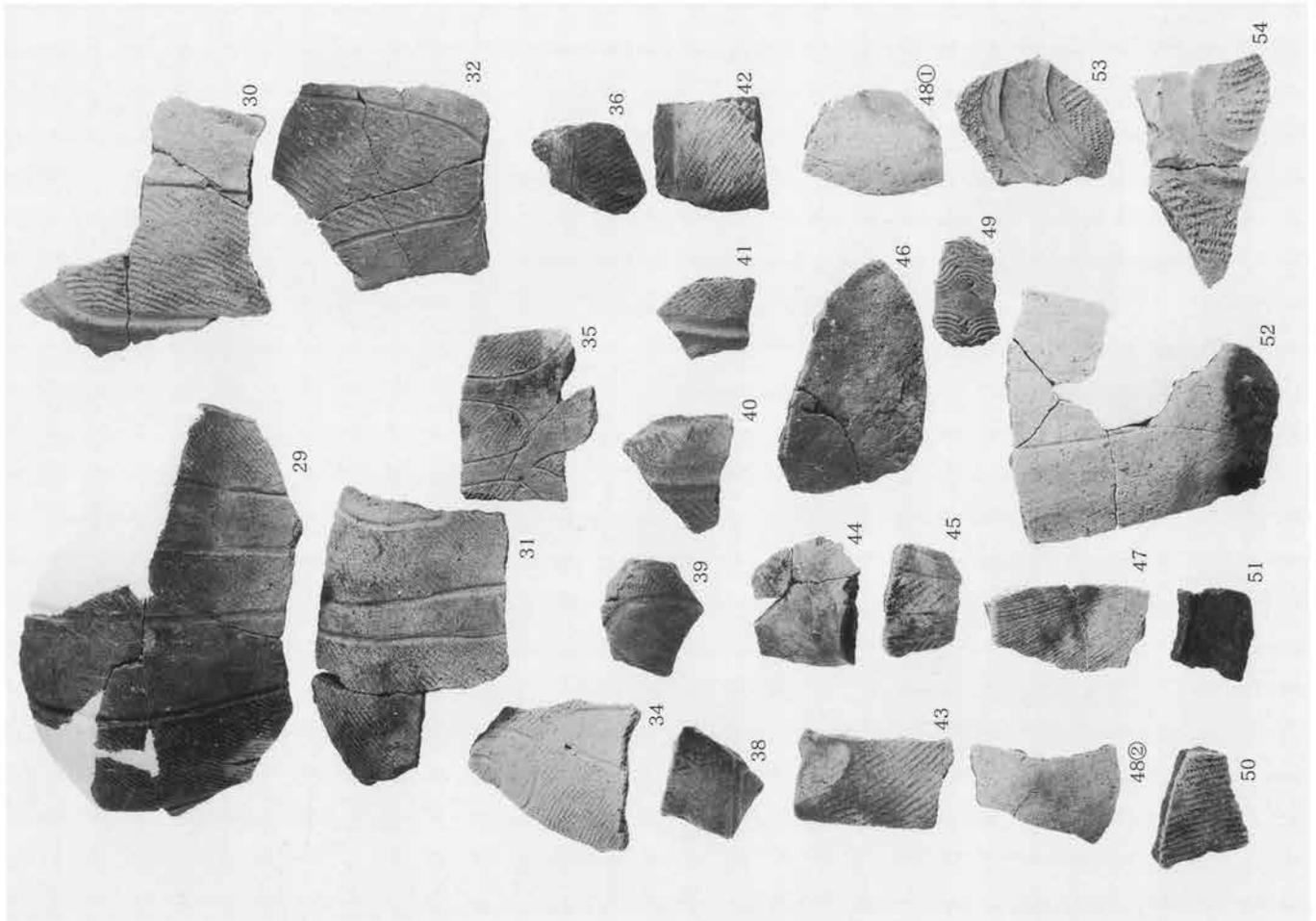
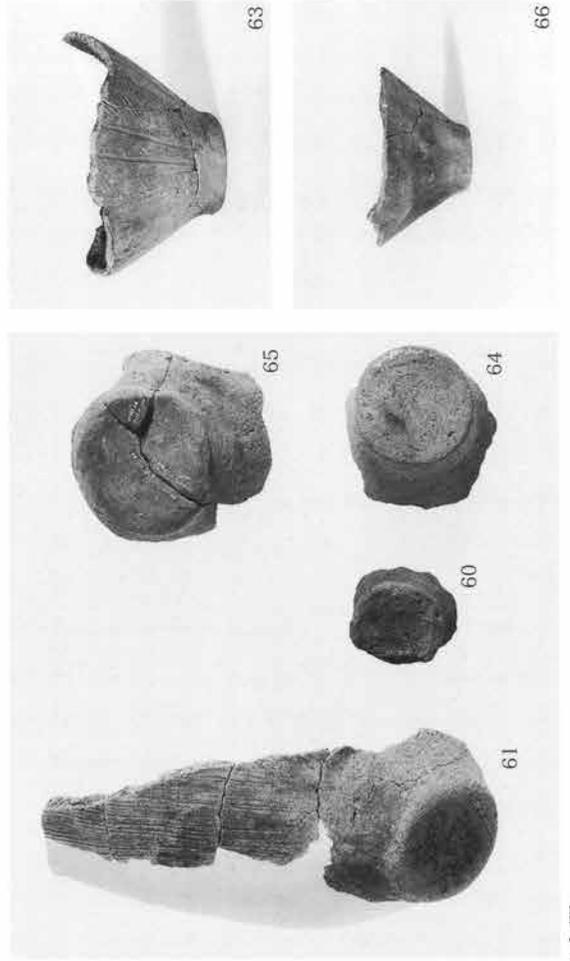
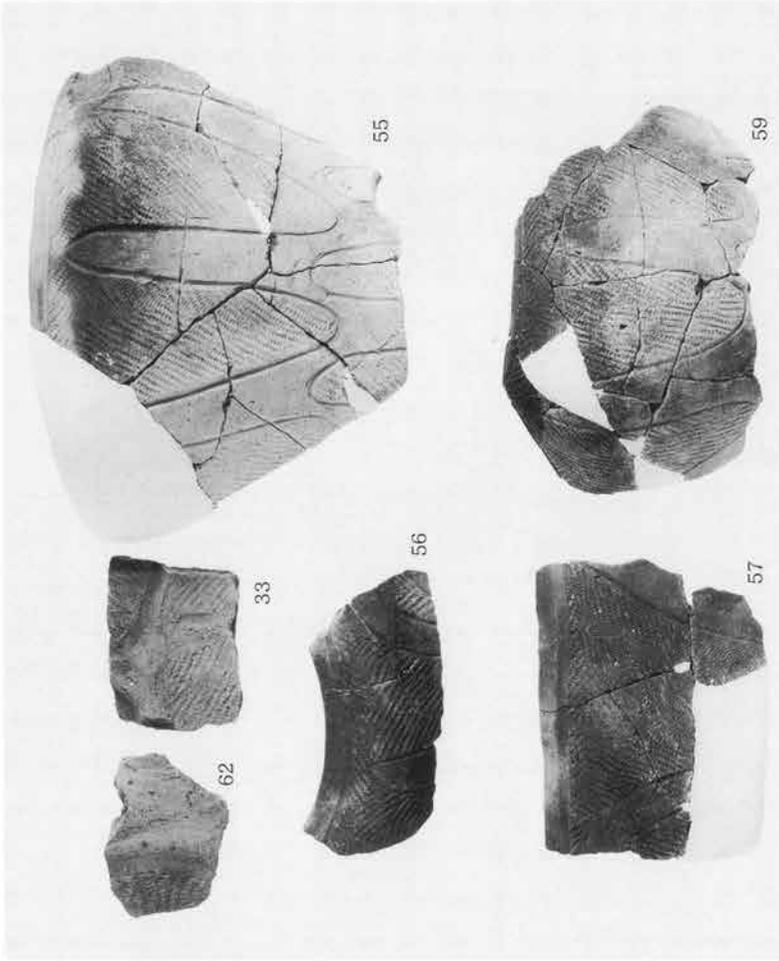


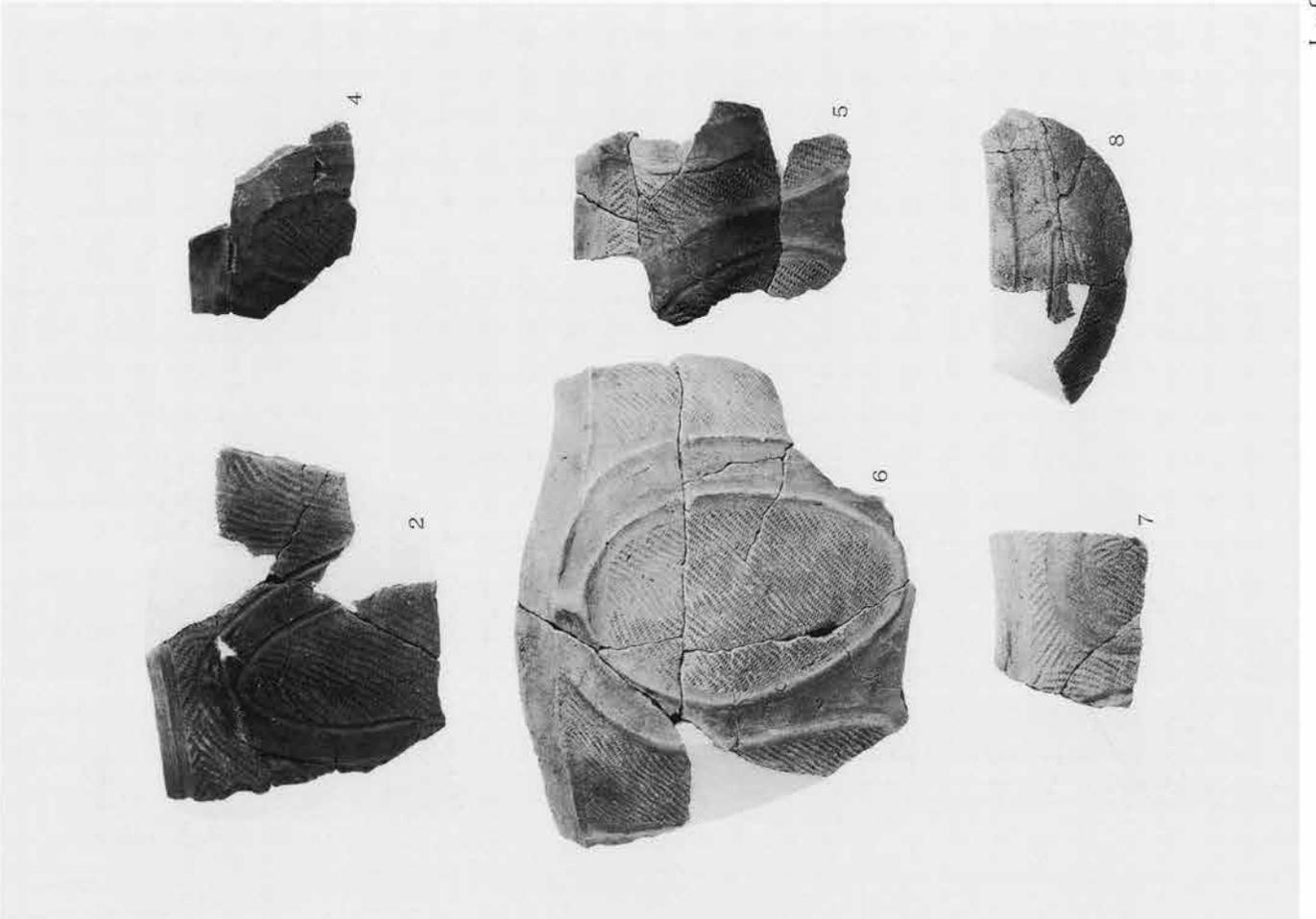
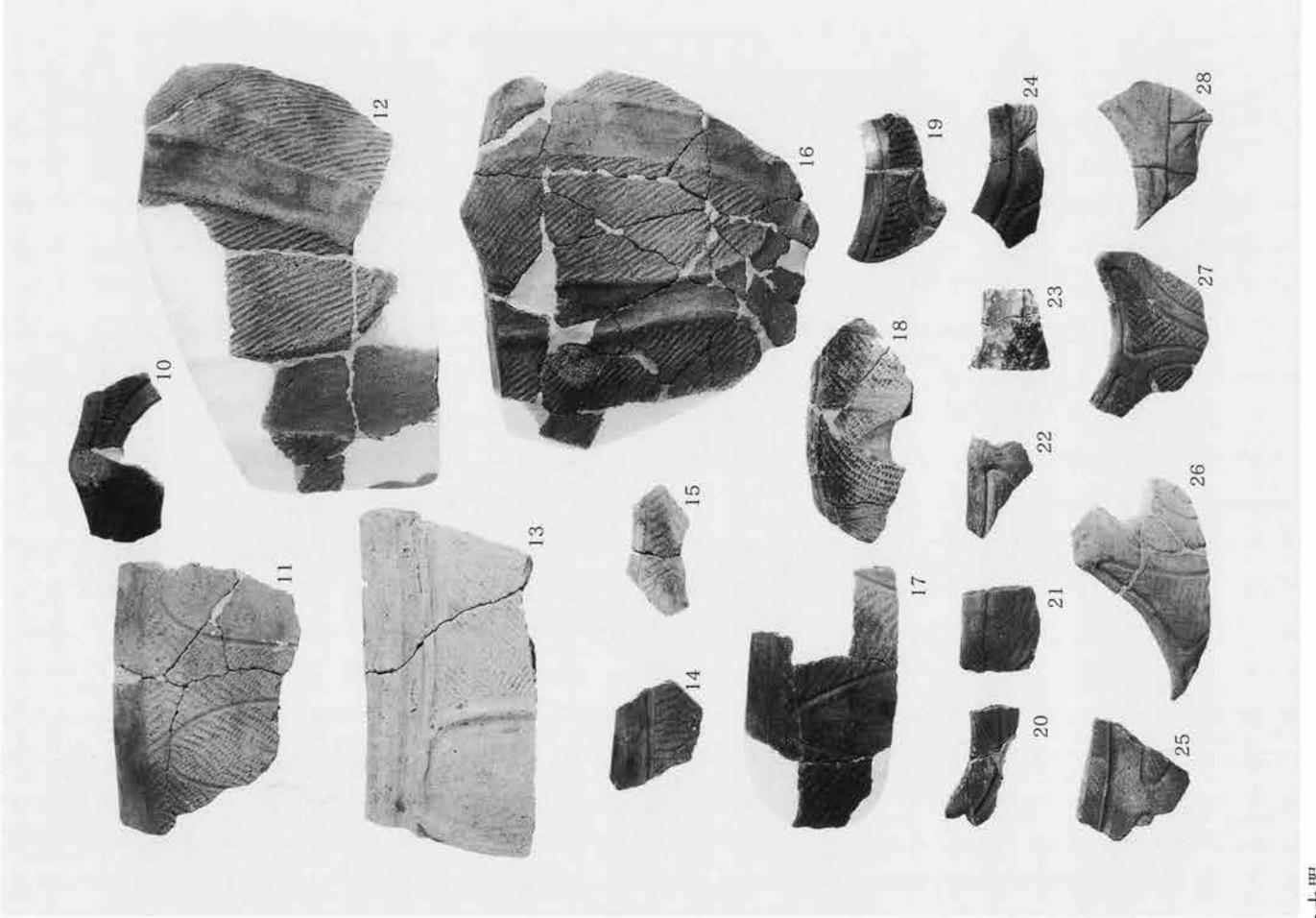


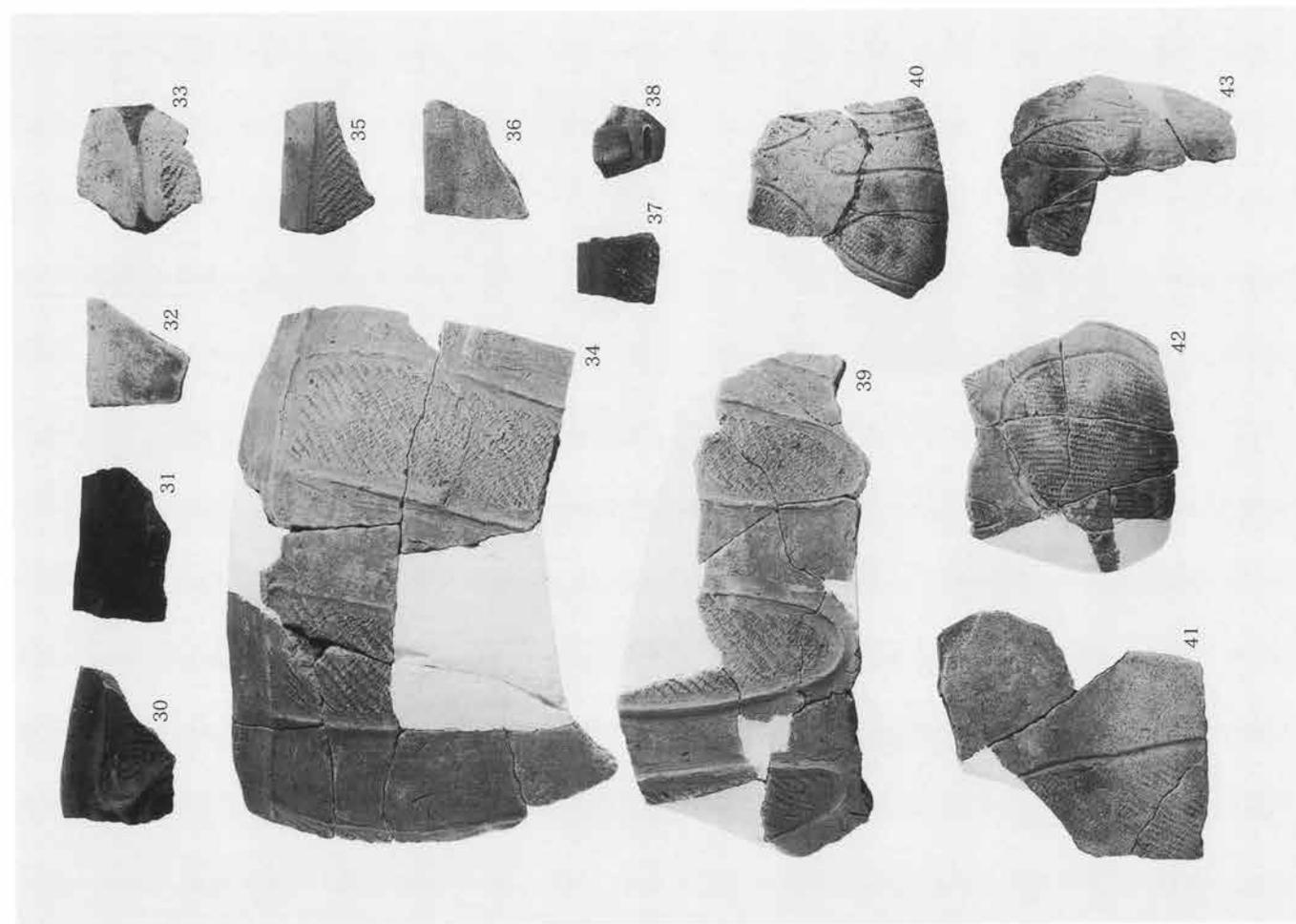
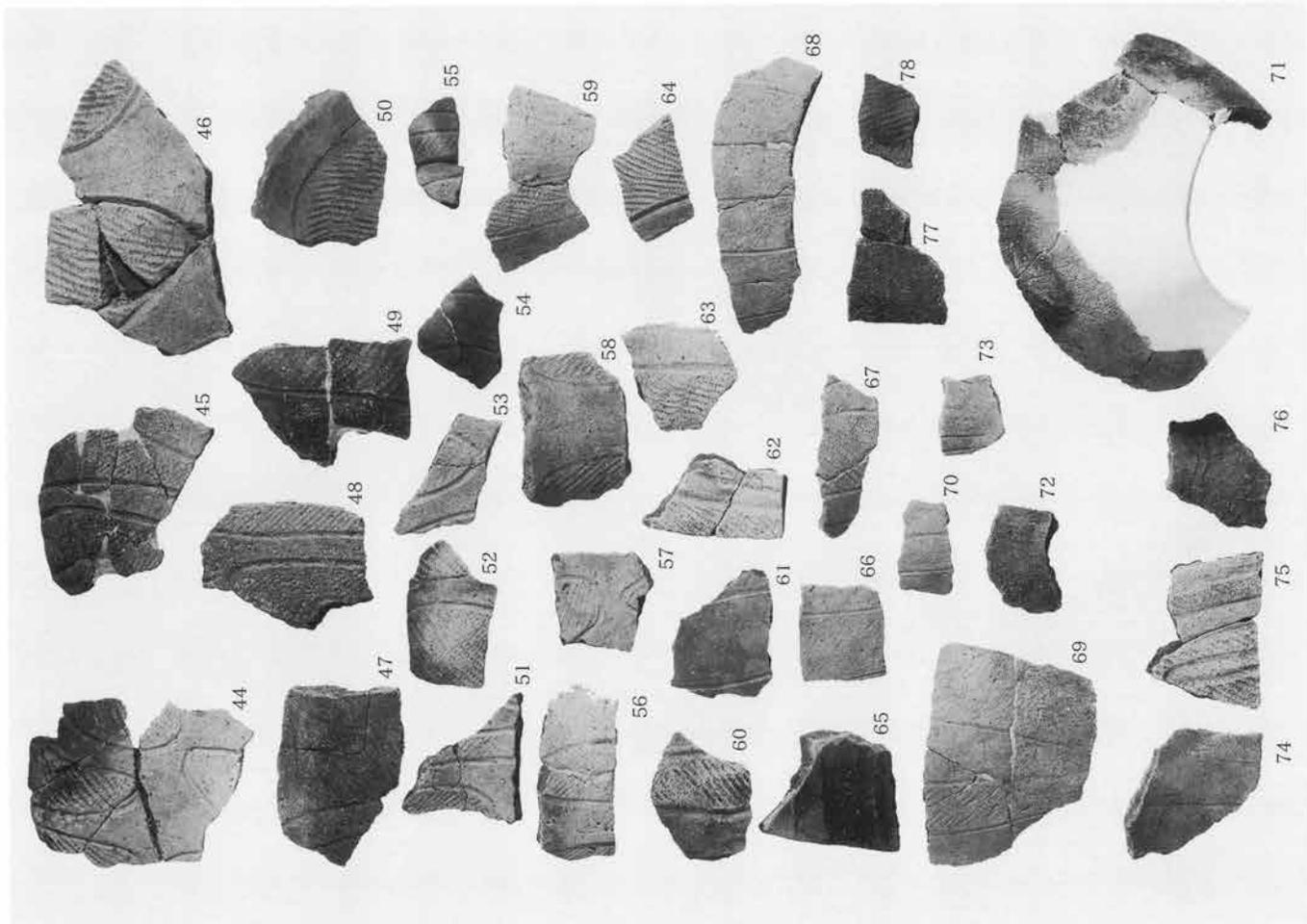


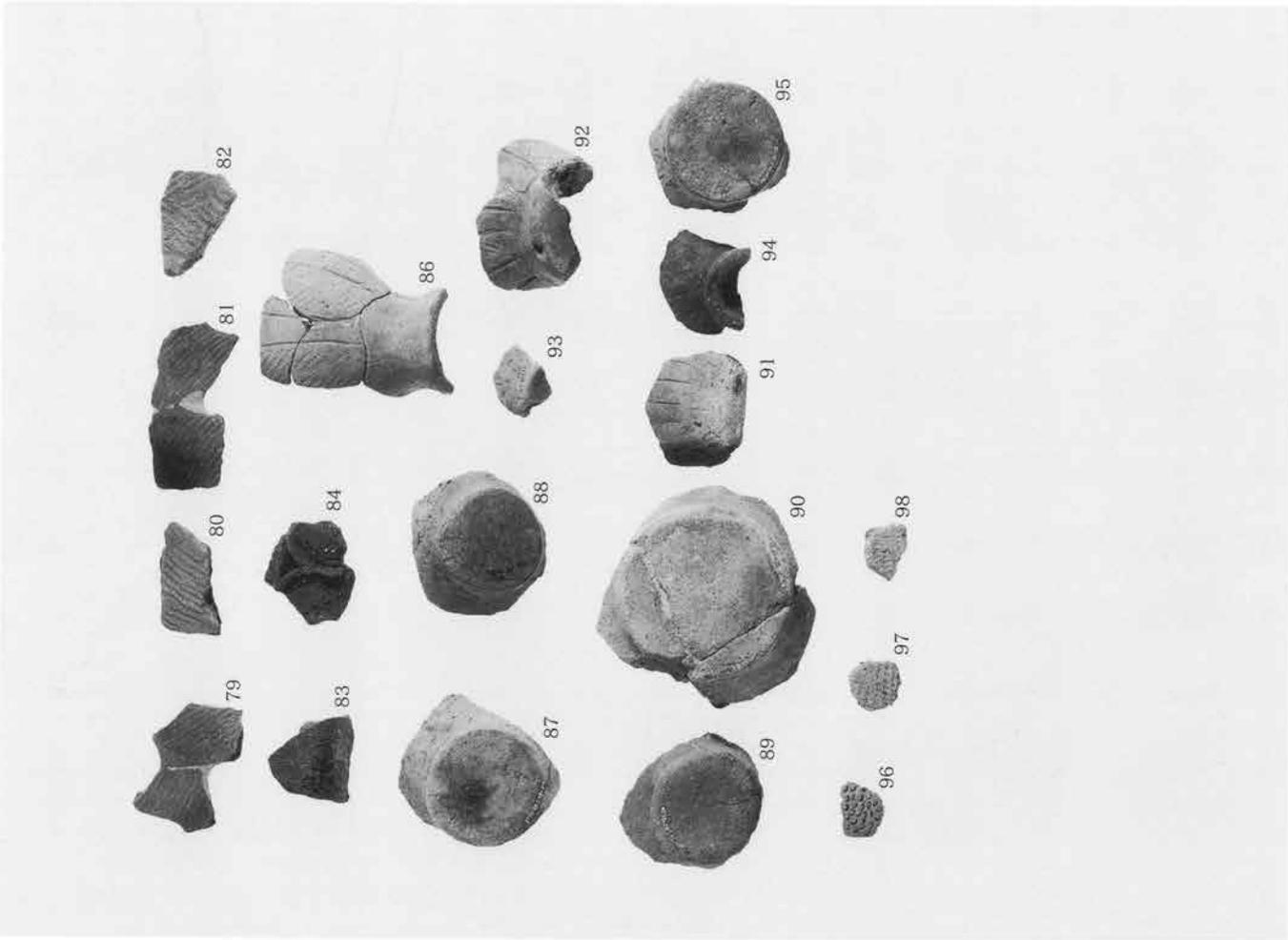
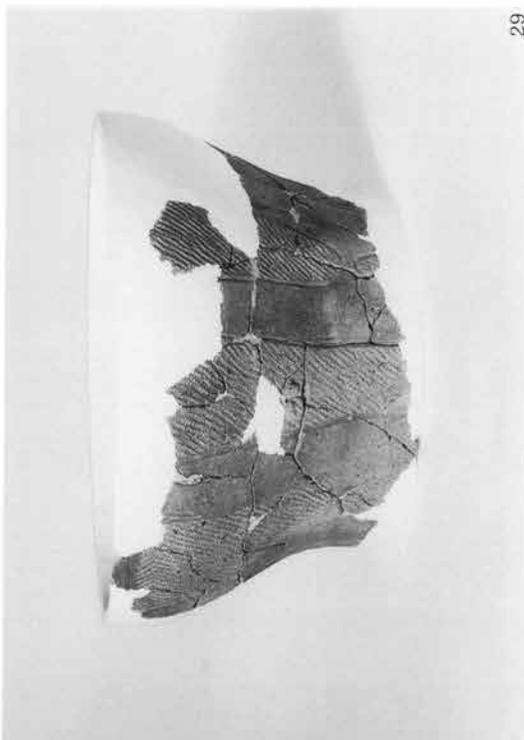
J-91・92出土土器

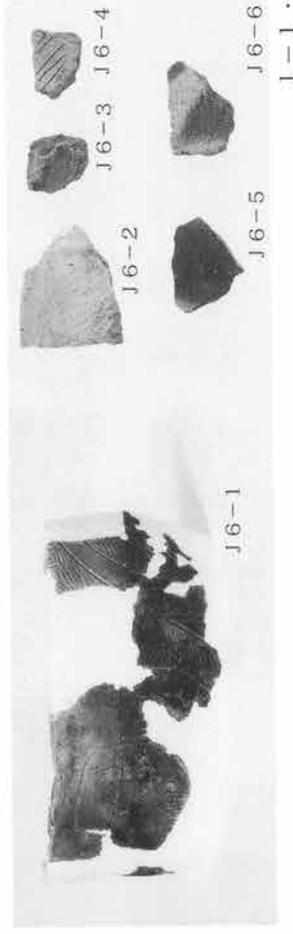
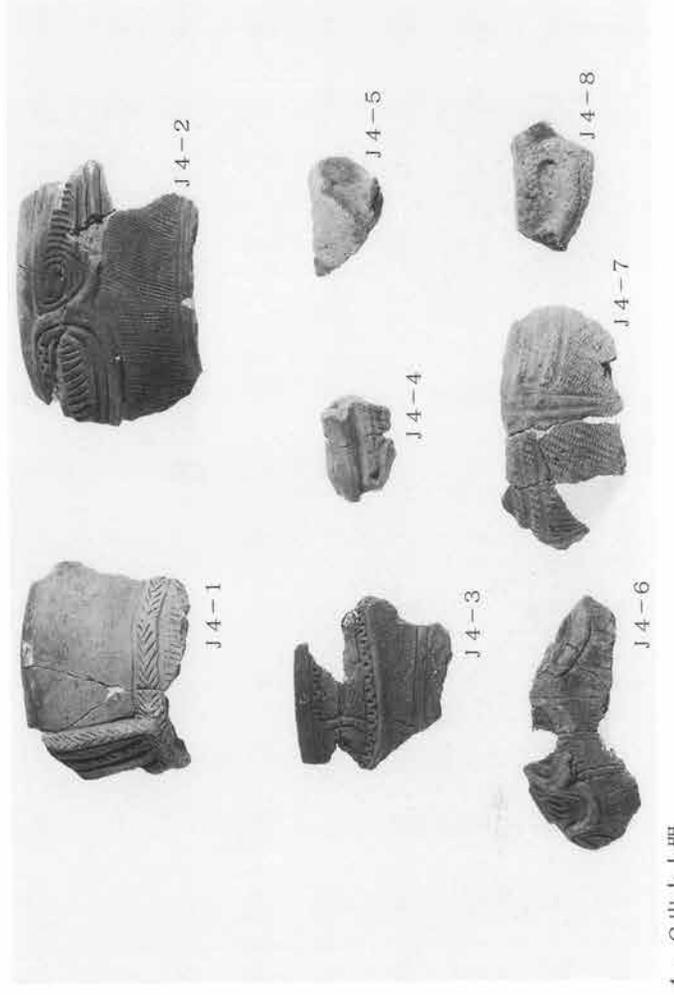
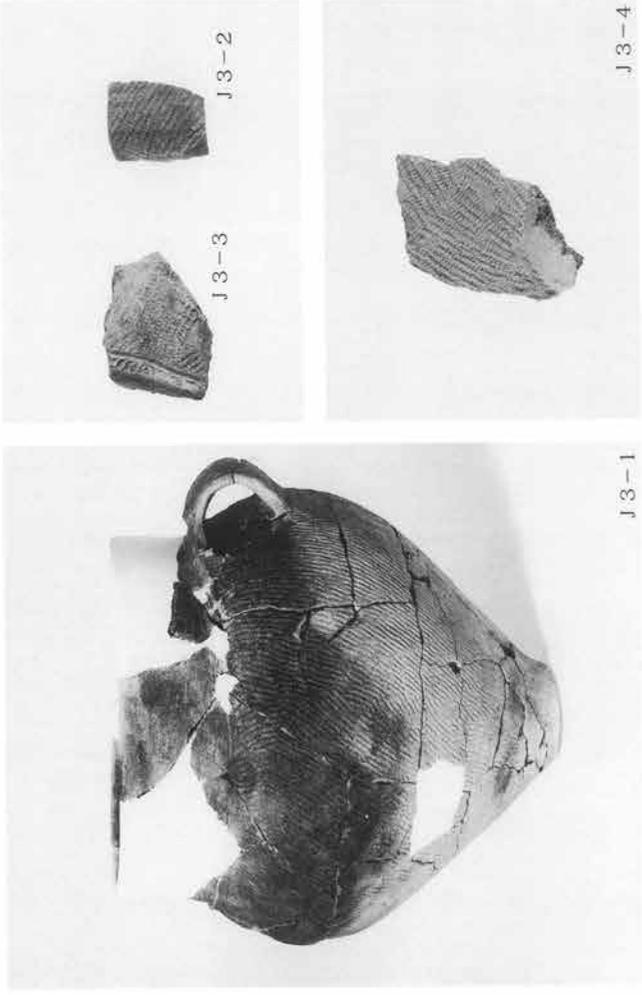
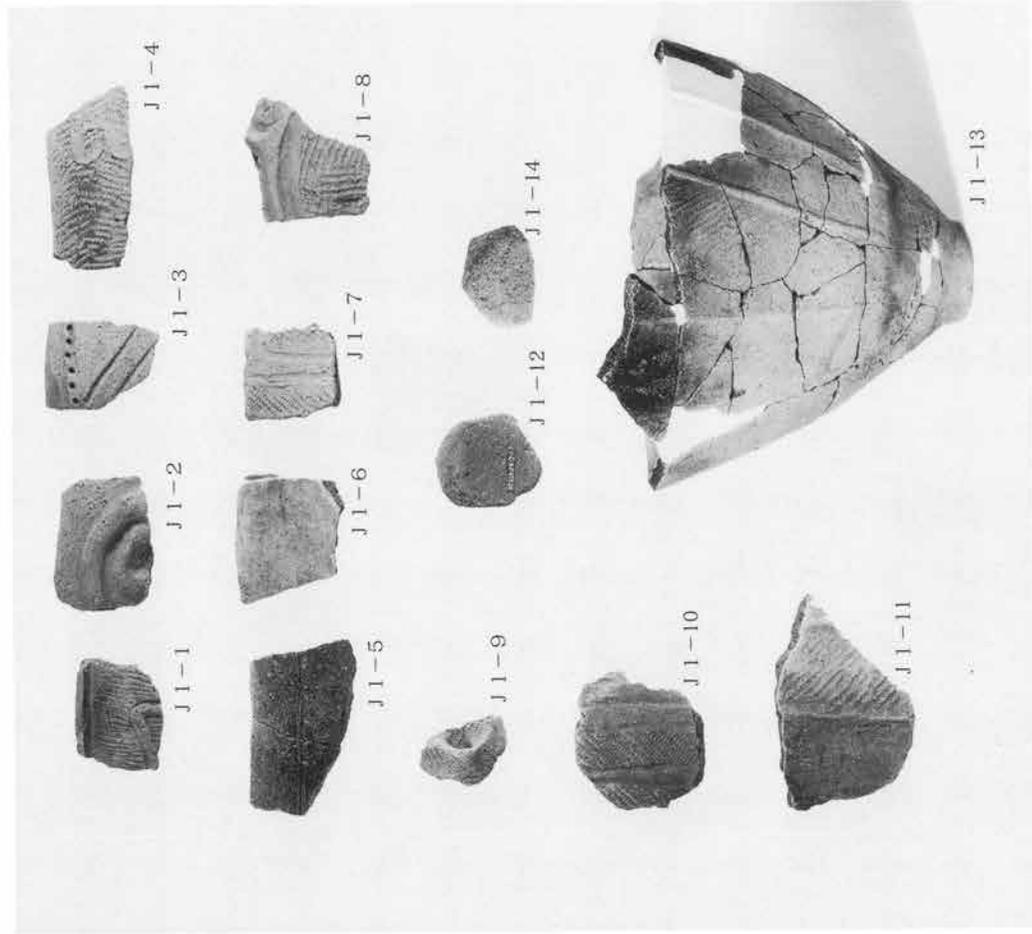




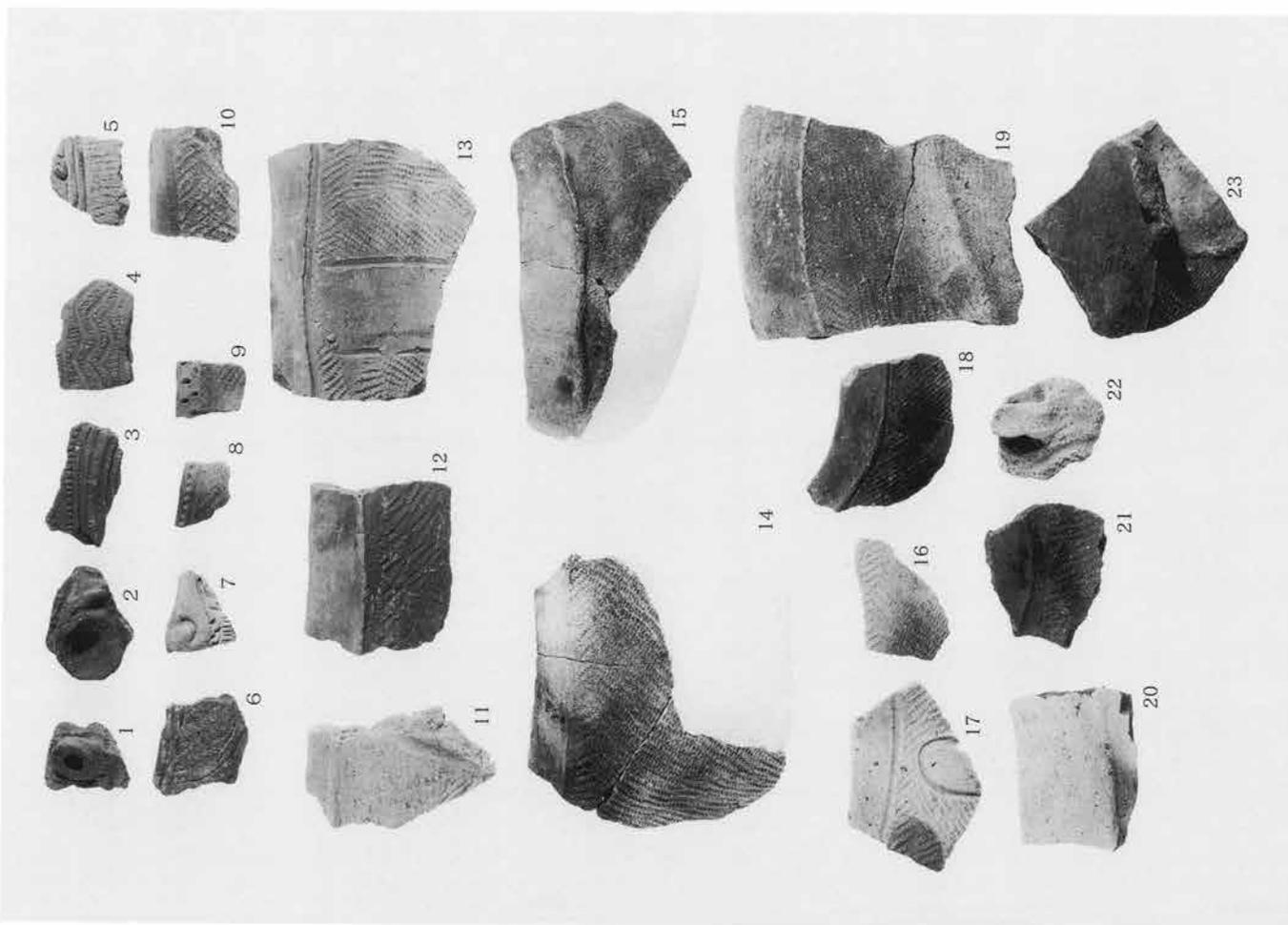
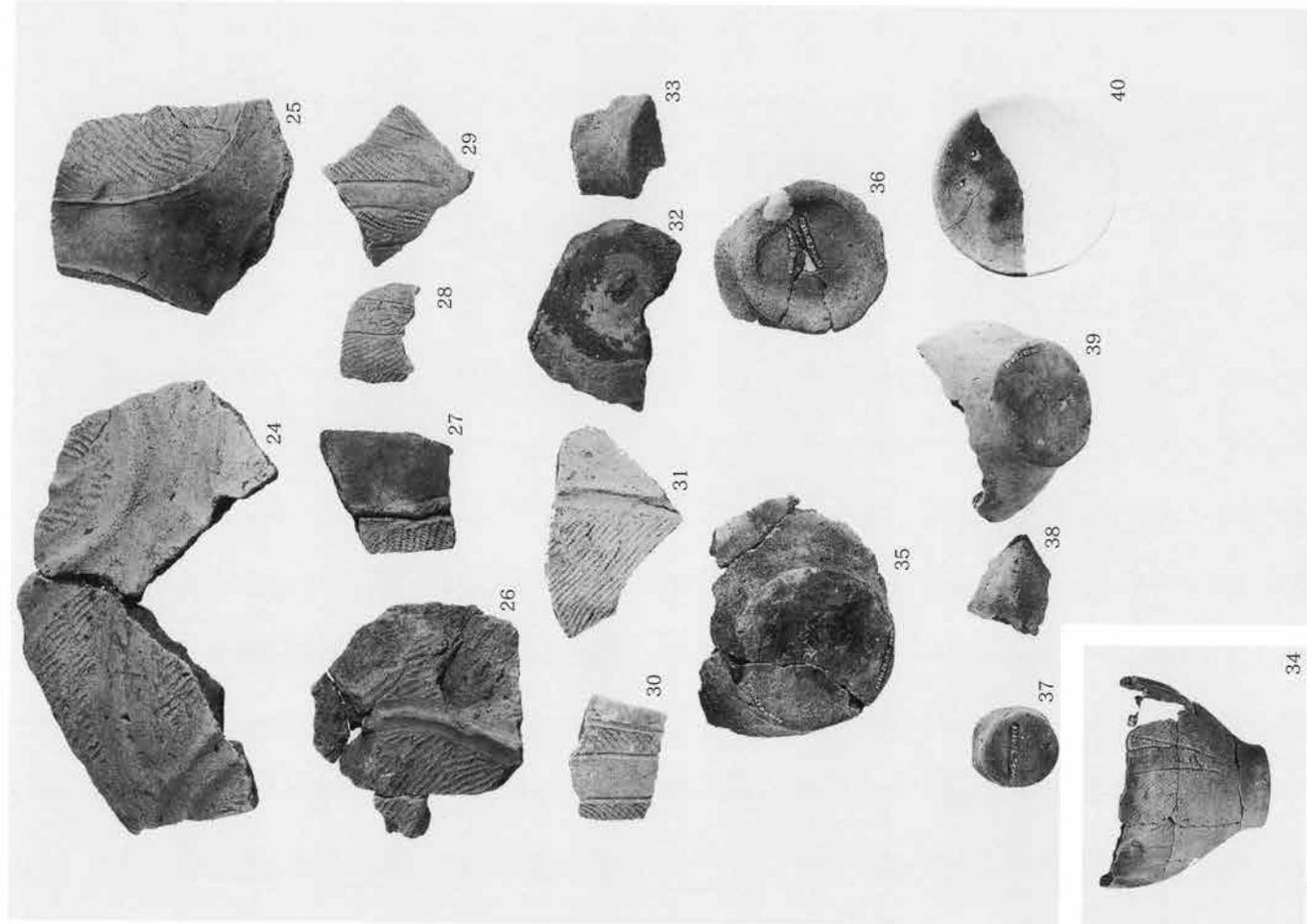


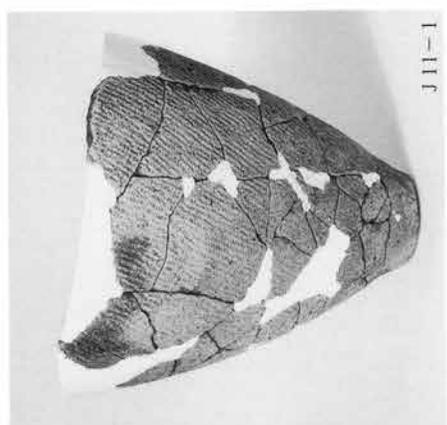
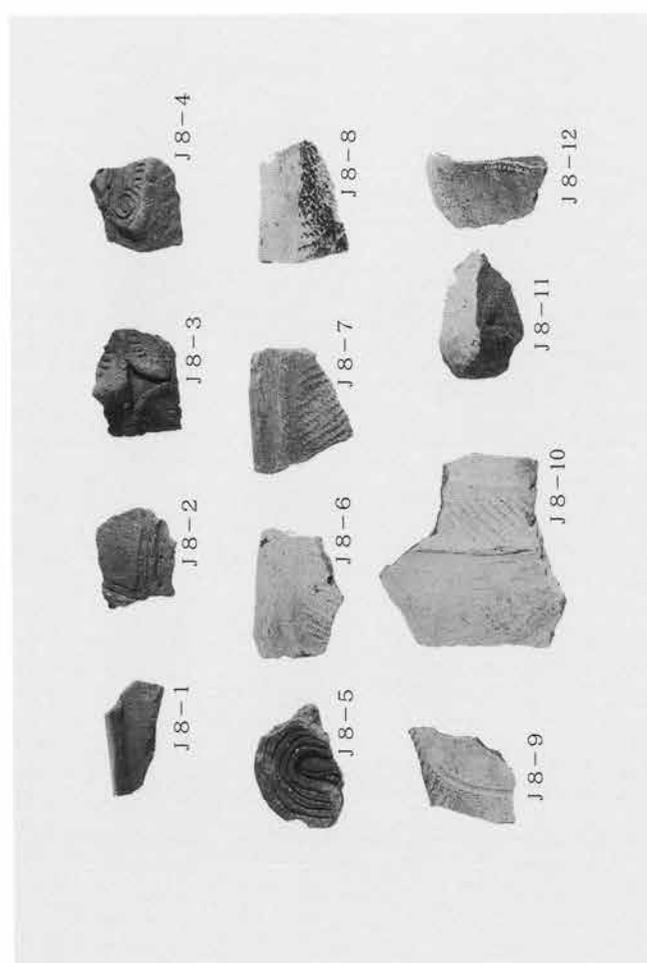
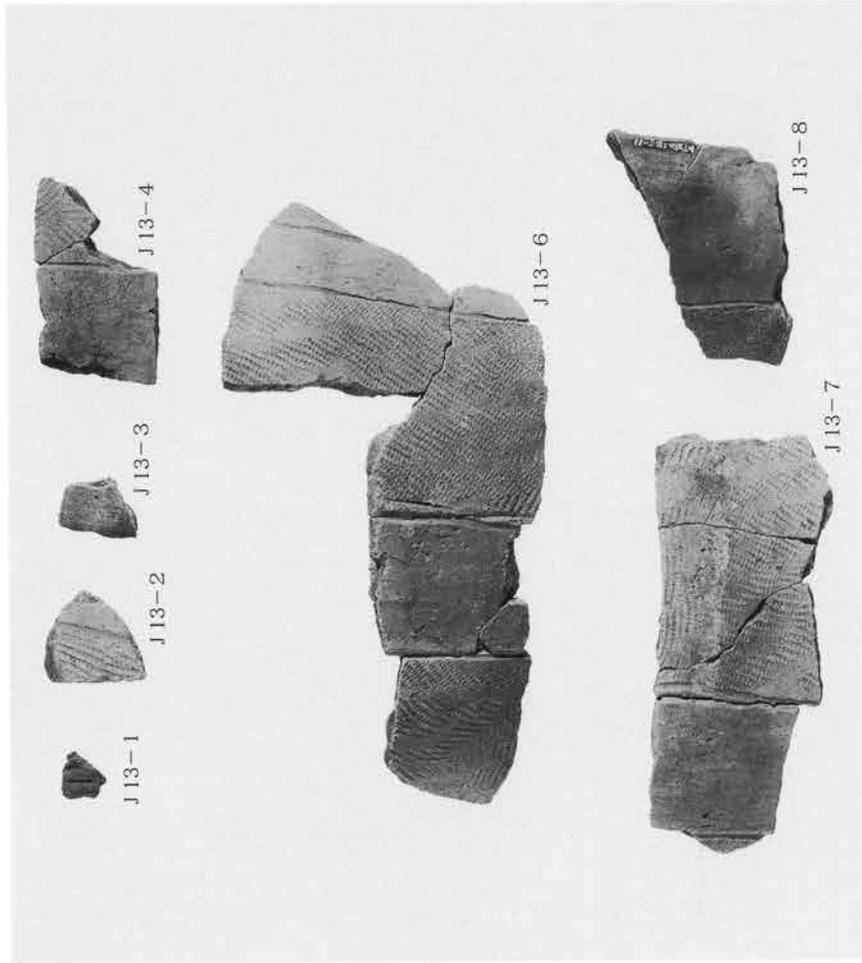
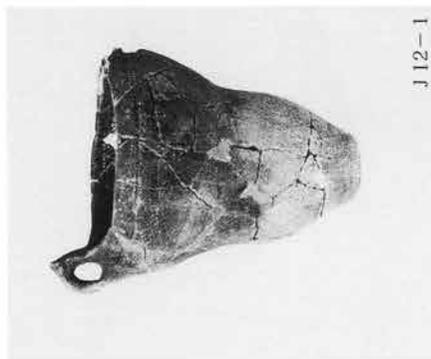




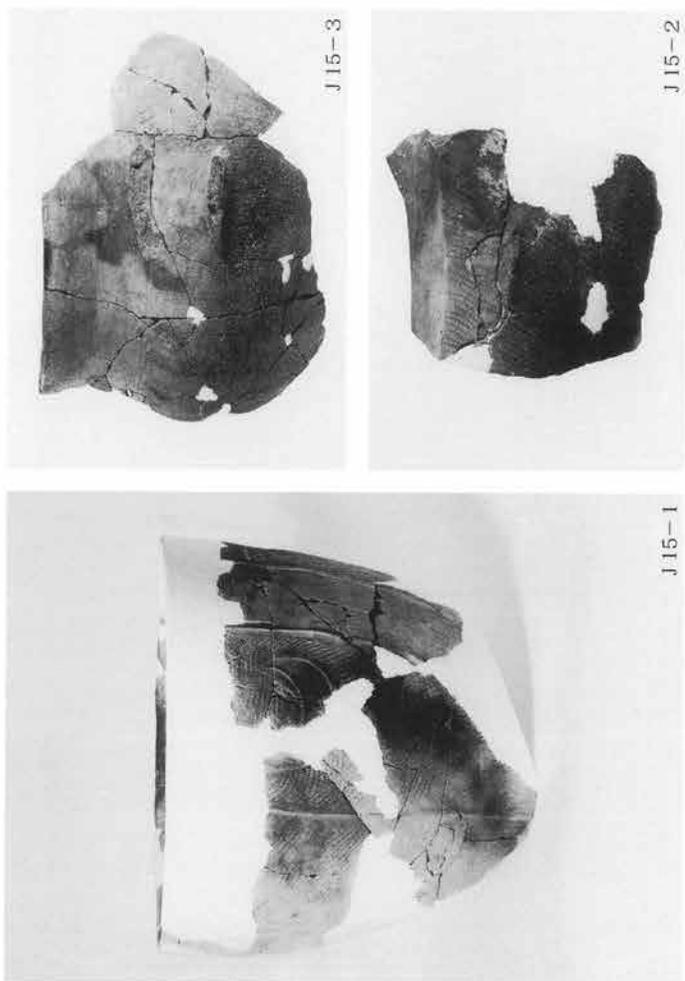
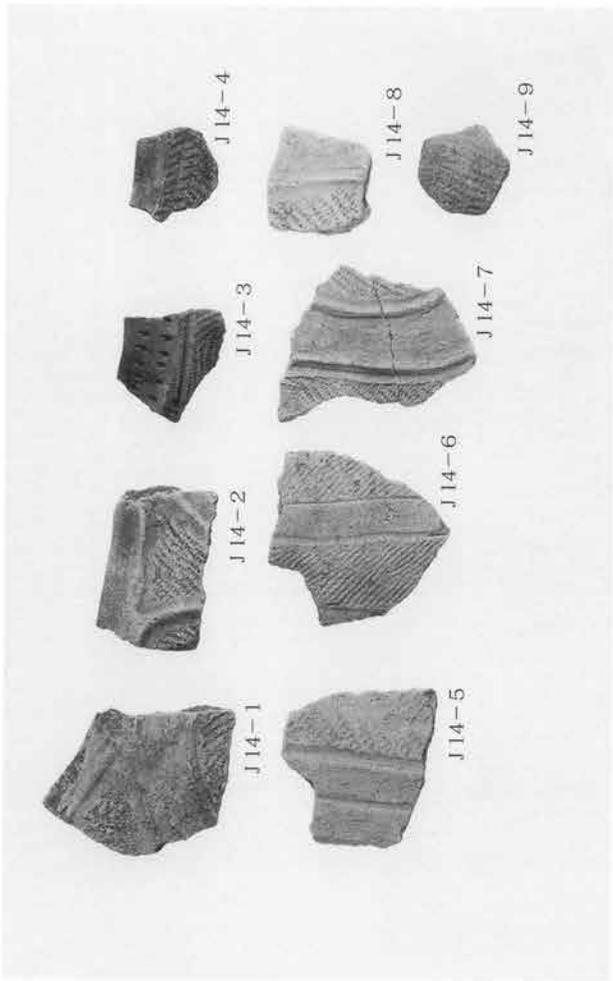
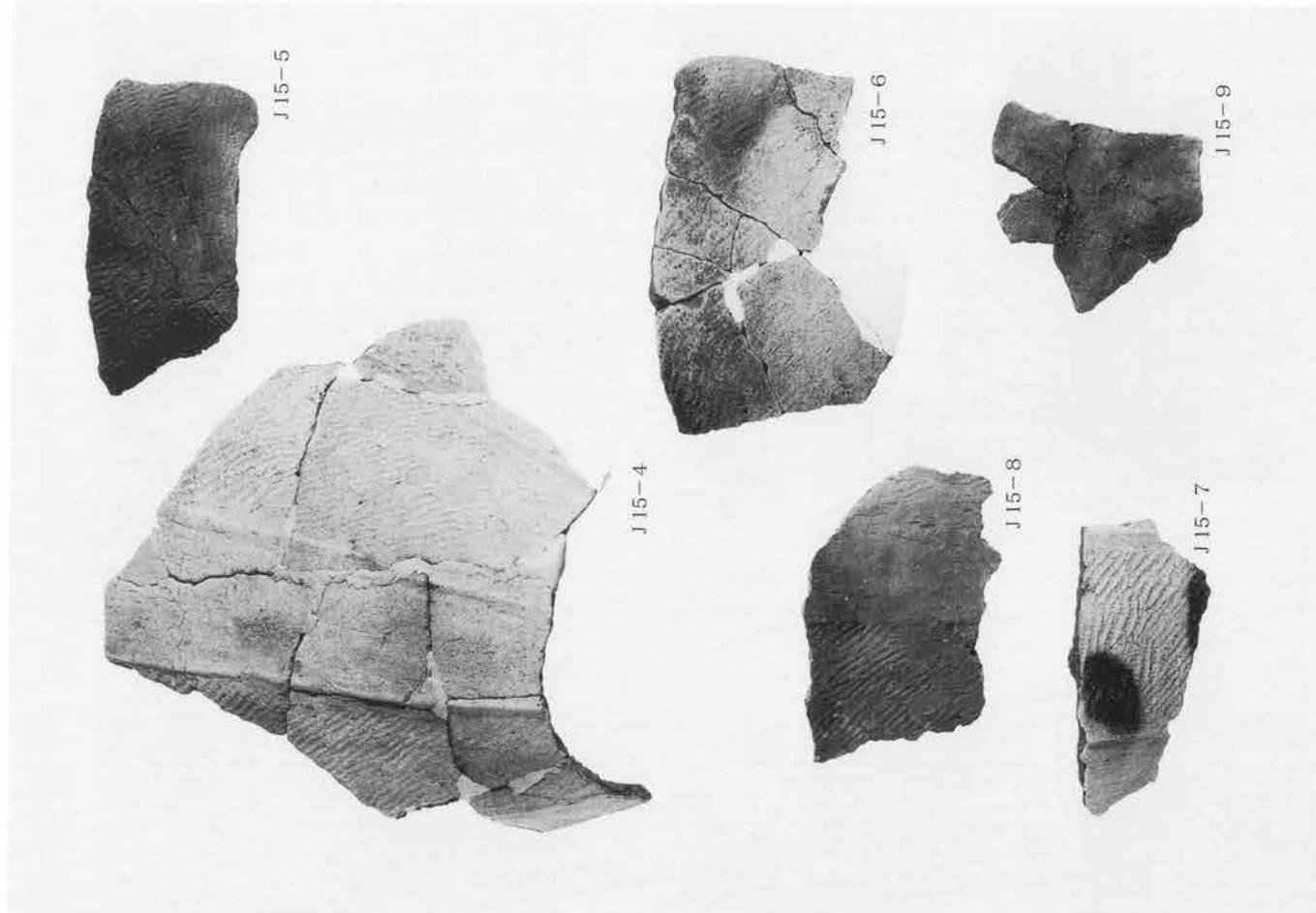


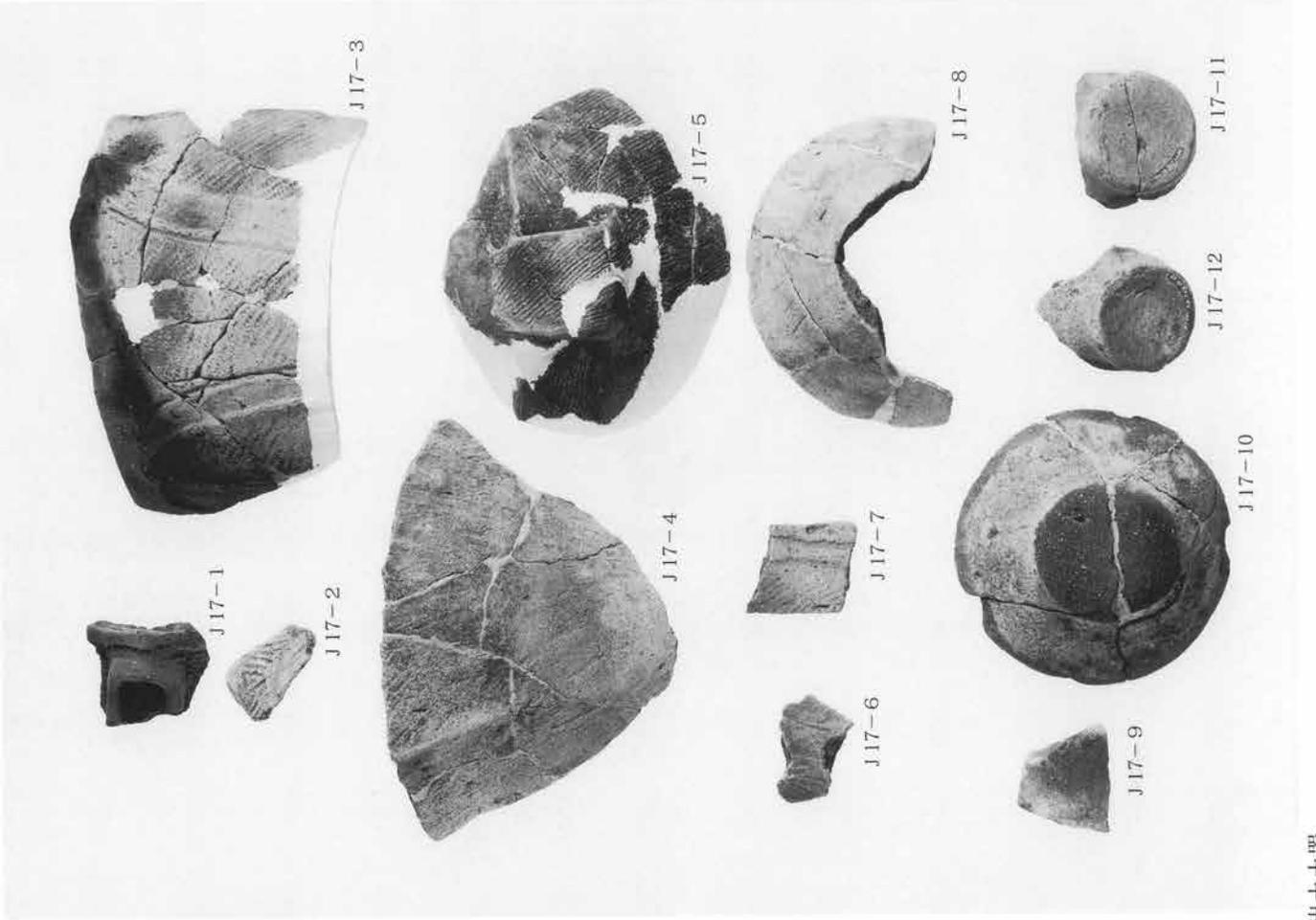
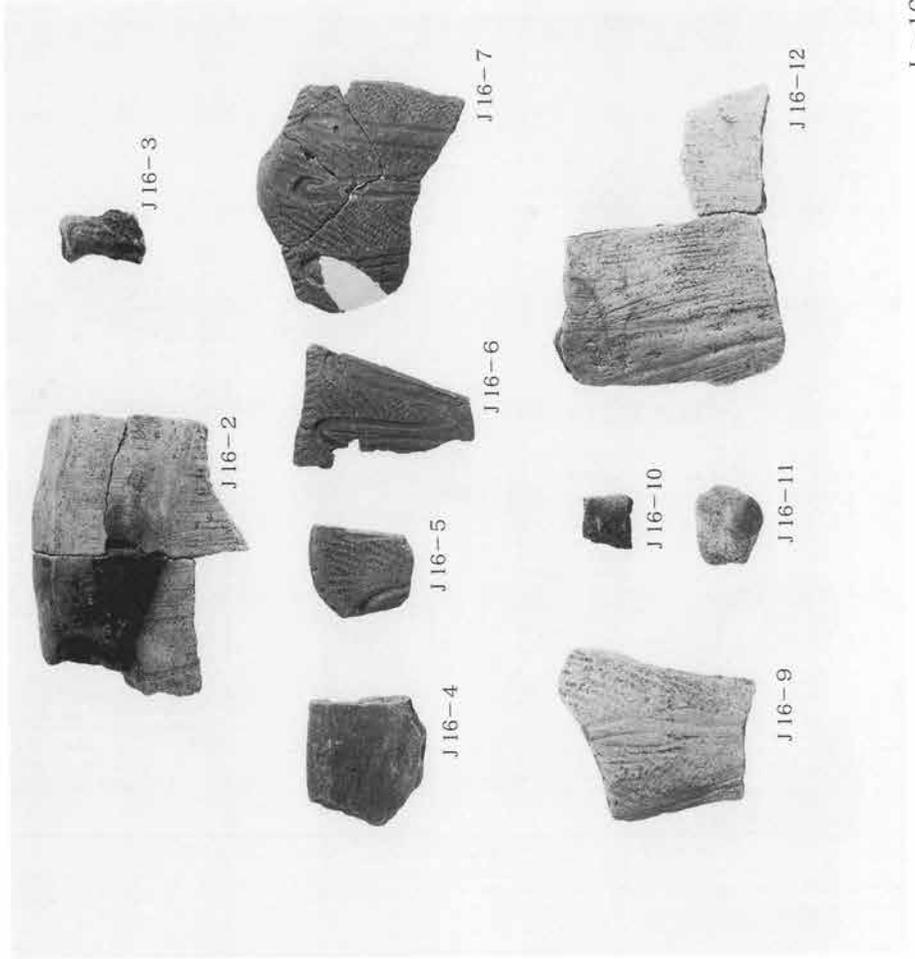
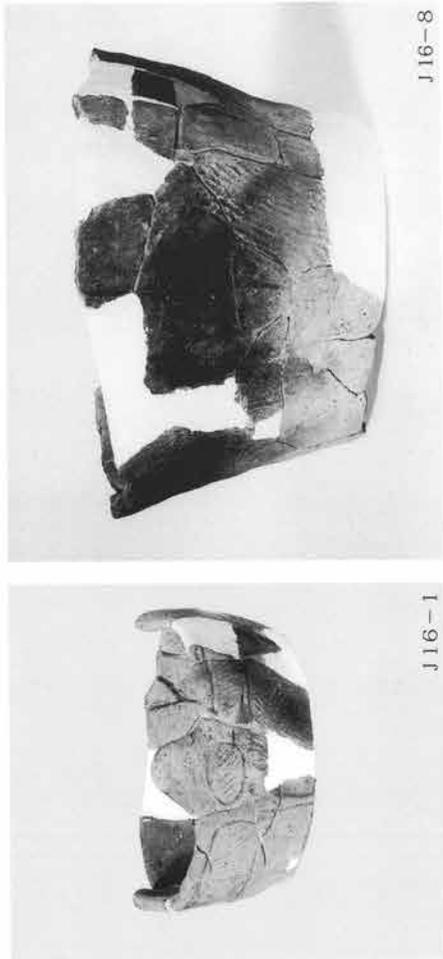
J-1·3·4·6出土器

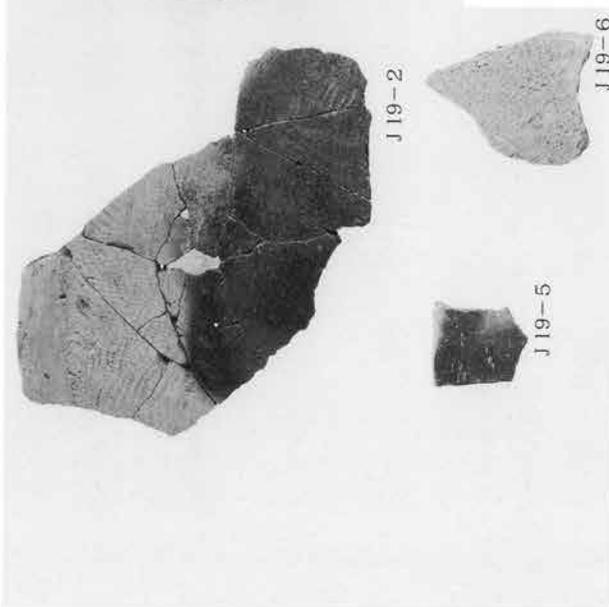
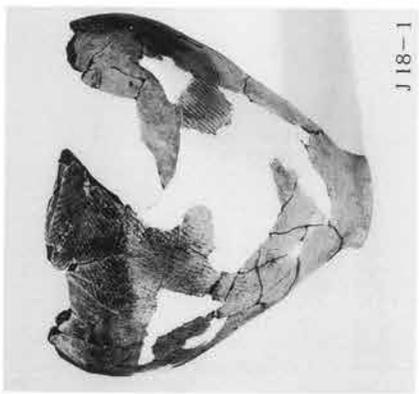
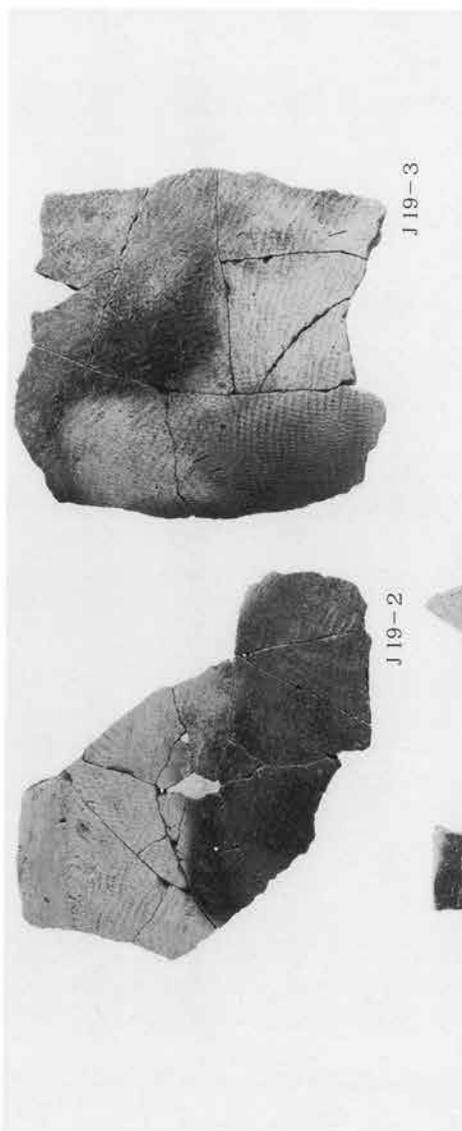
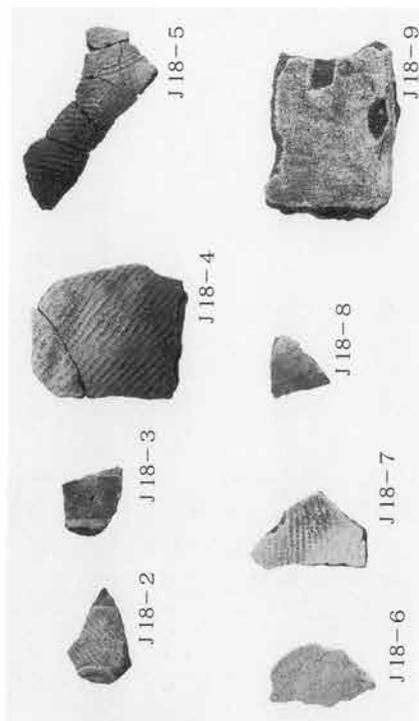
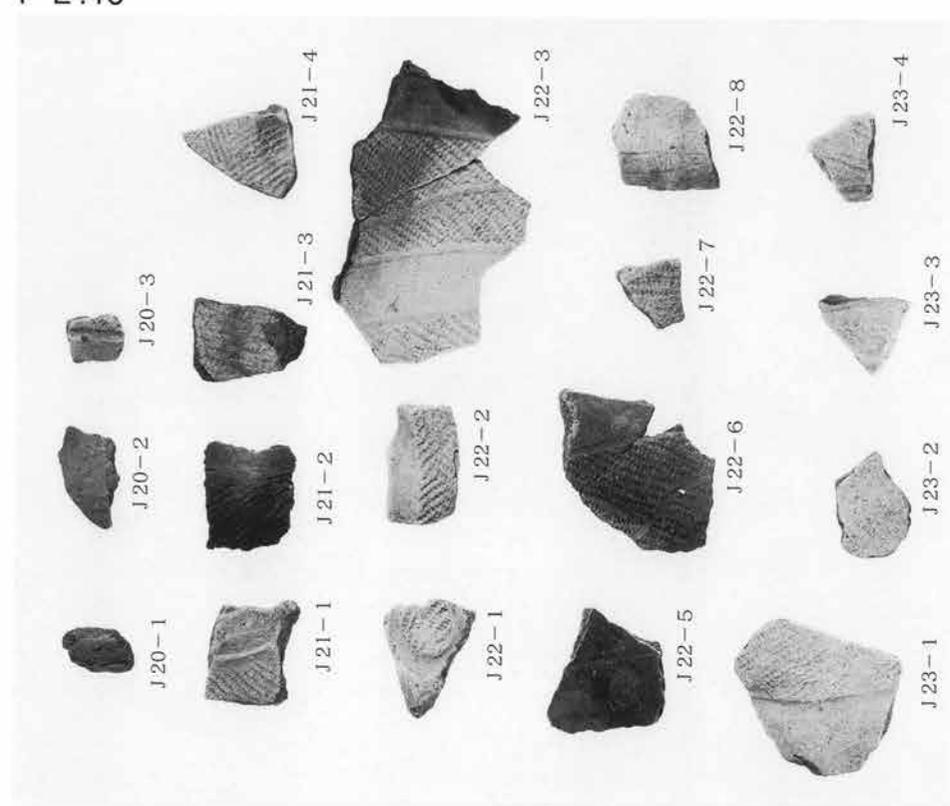


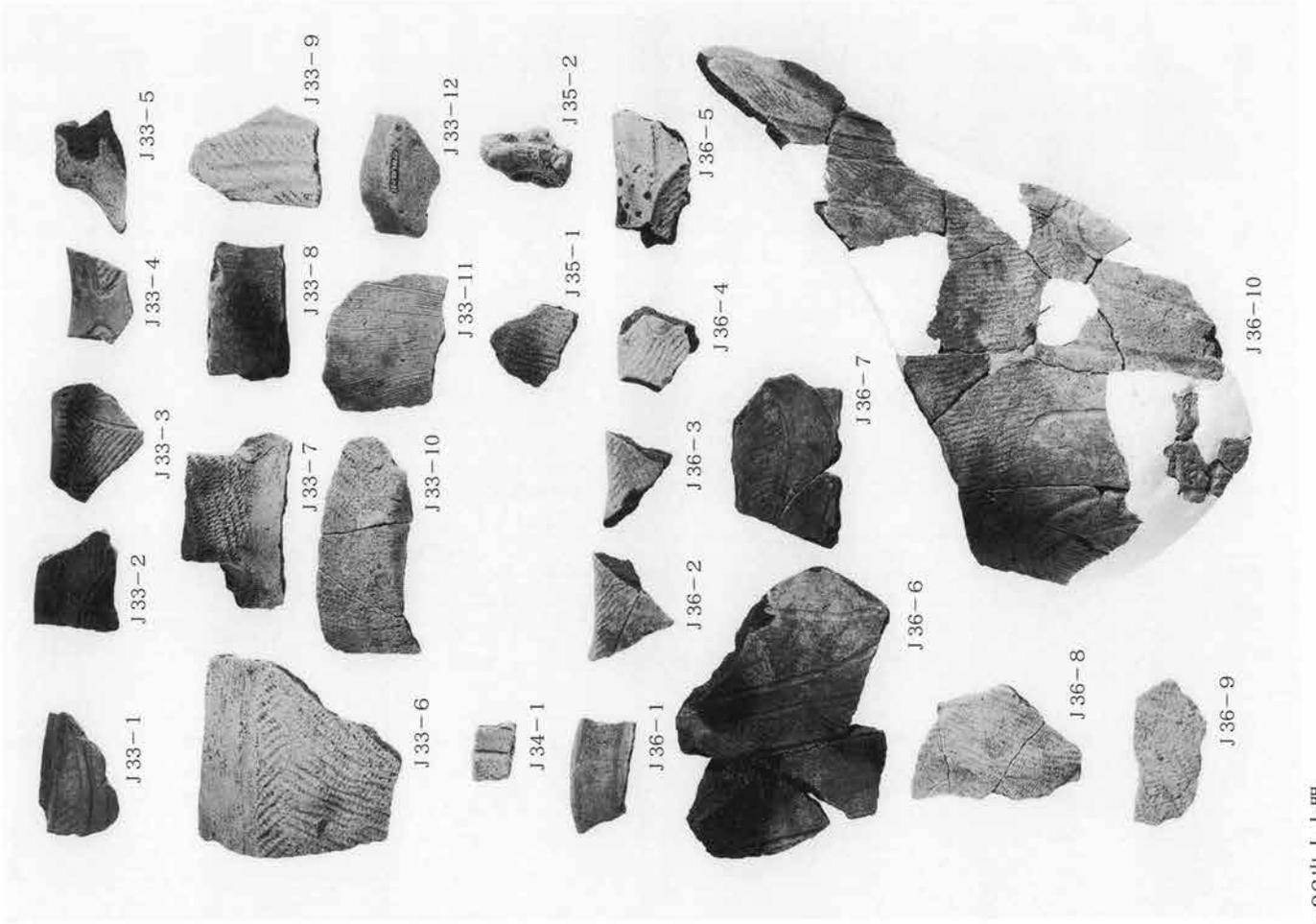
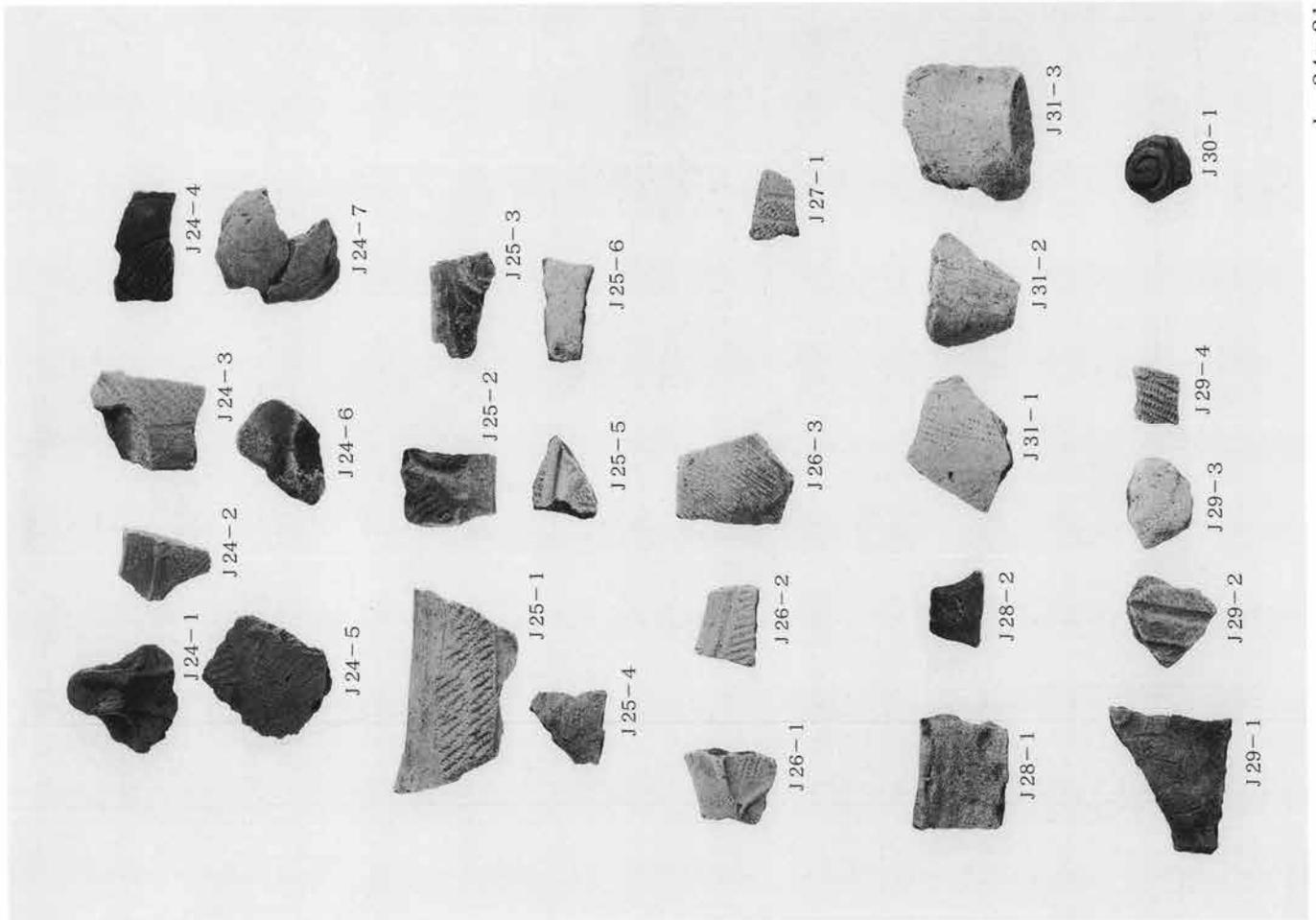


J-8~13出土土器

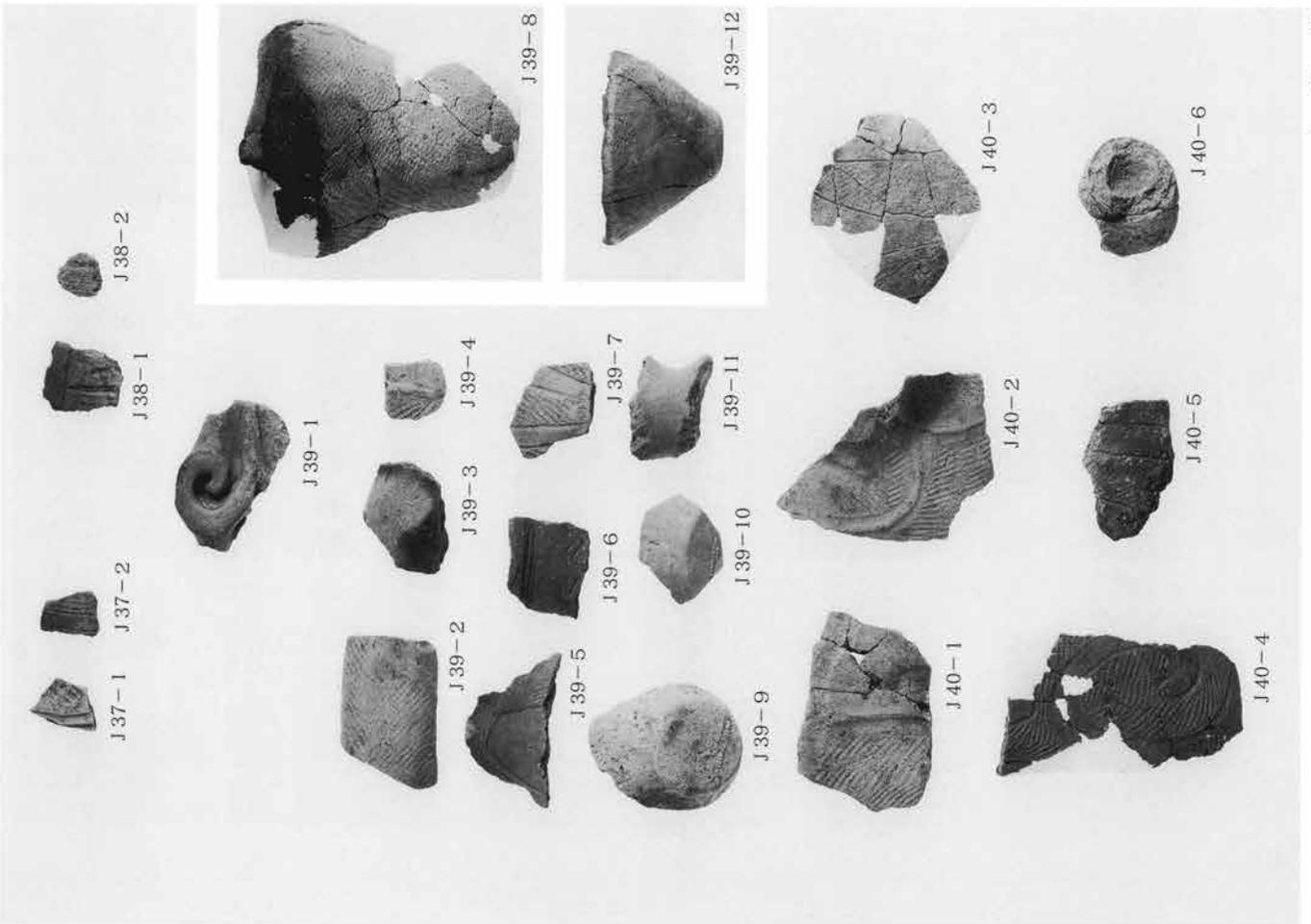
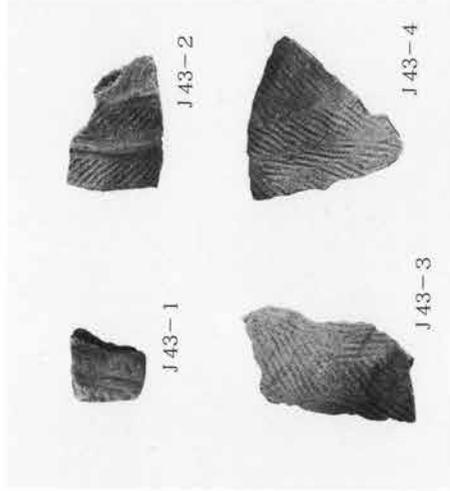


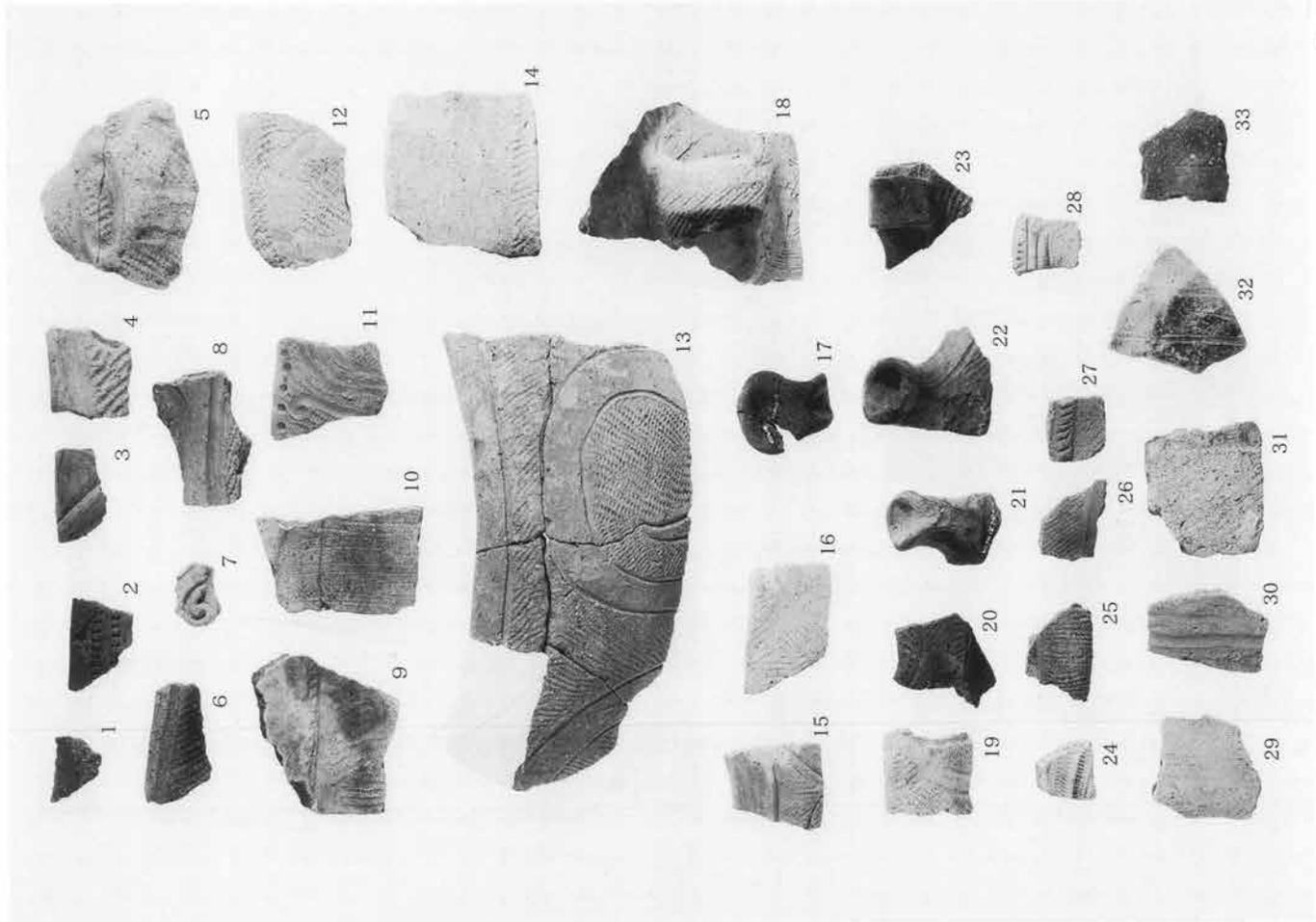
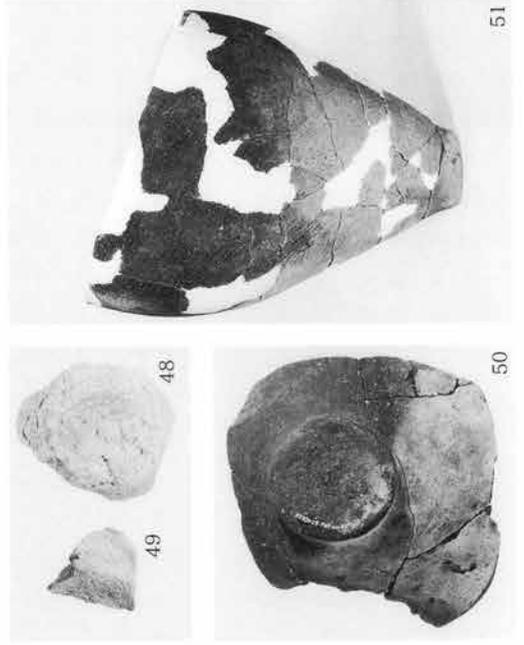
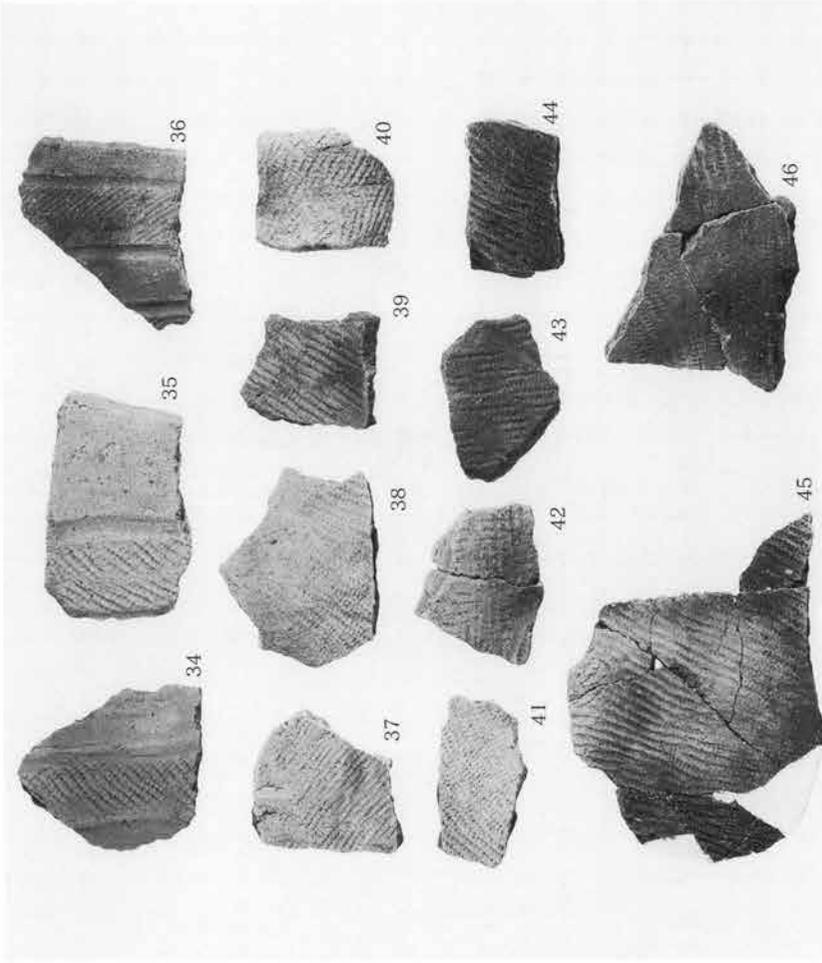






J-24~31・33~36出土土器







J 53-1



J 53-2



J 53-3

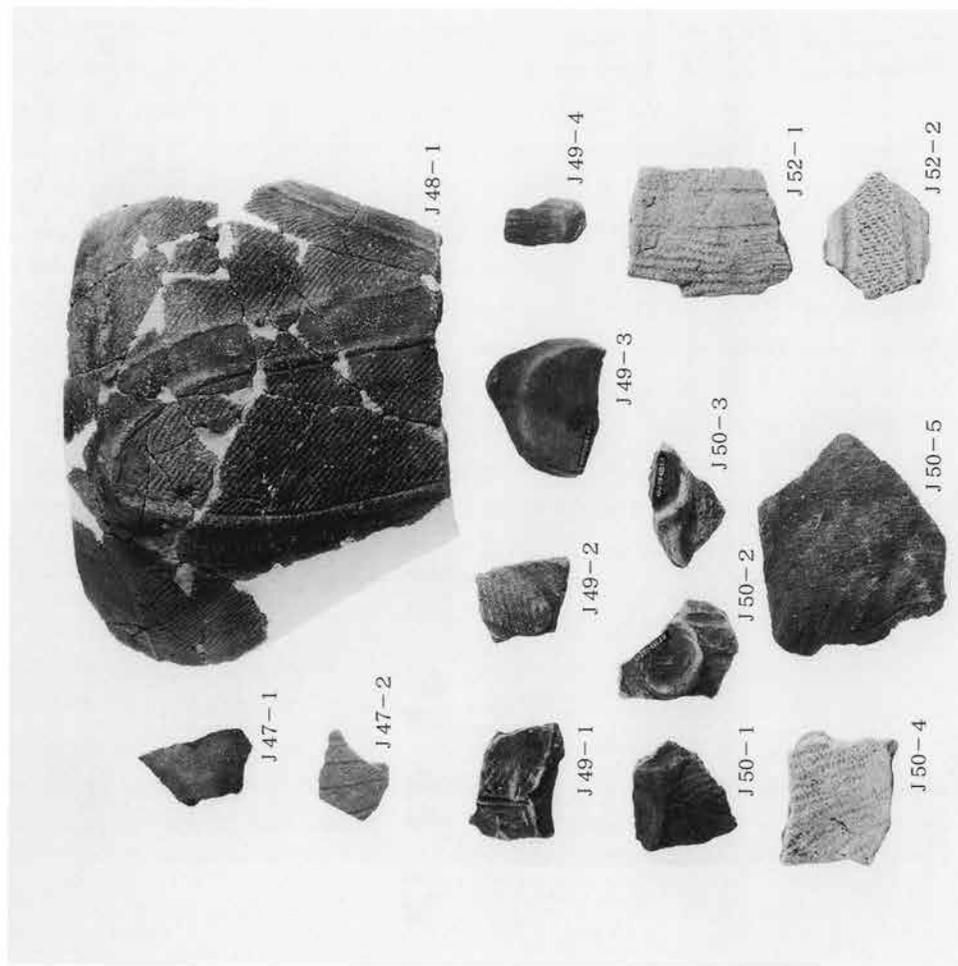
J 53-4

J 53-5

J 53-6



J 53-26



J 47-1

J 47-2

J 48-1

J 49-1

J 49-2

J 49-3

J 49-4

J 50-1

J 50-2

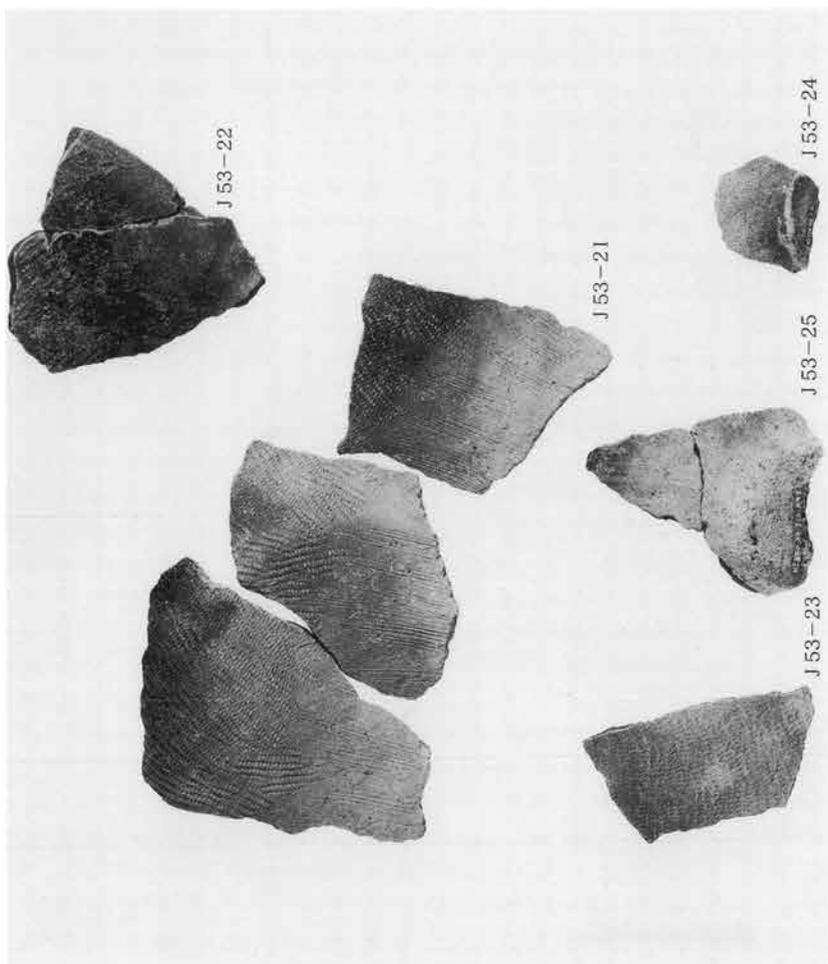
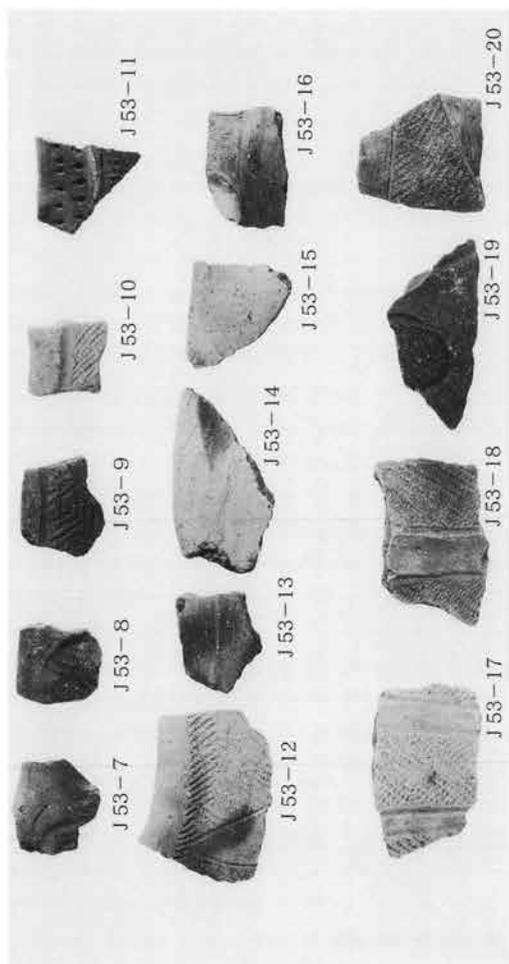
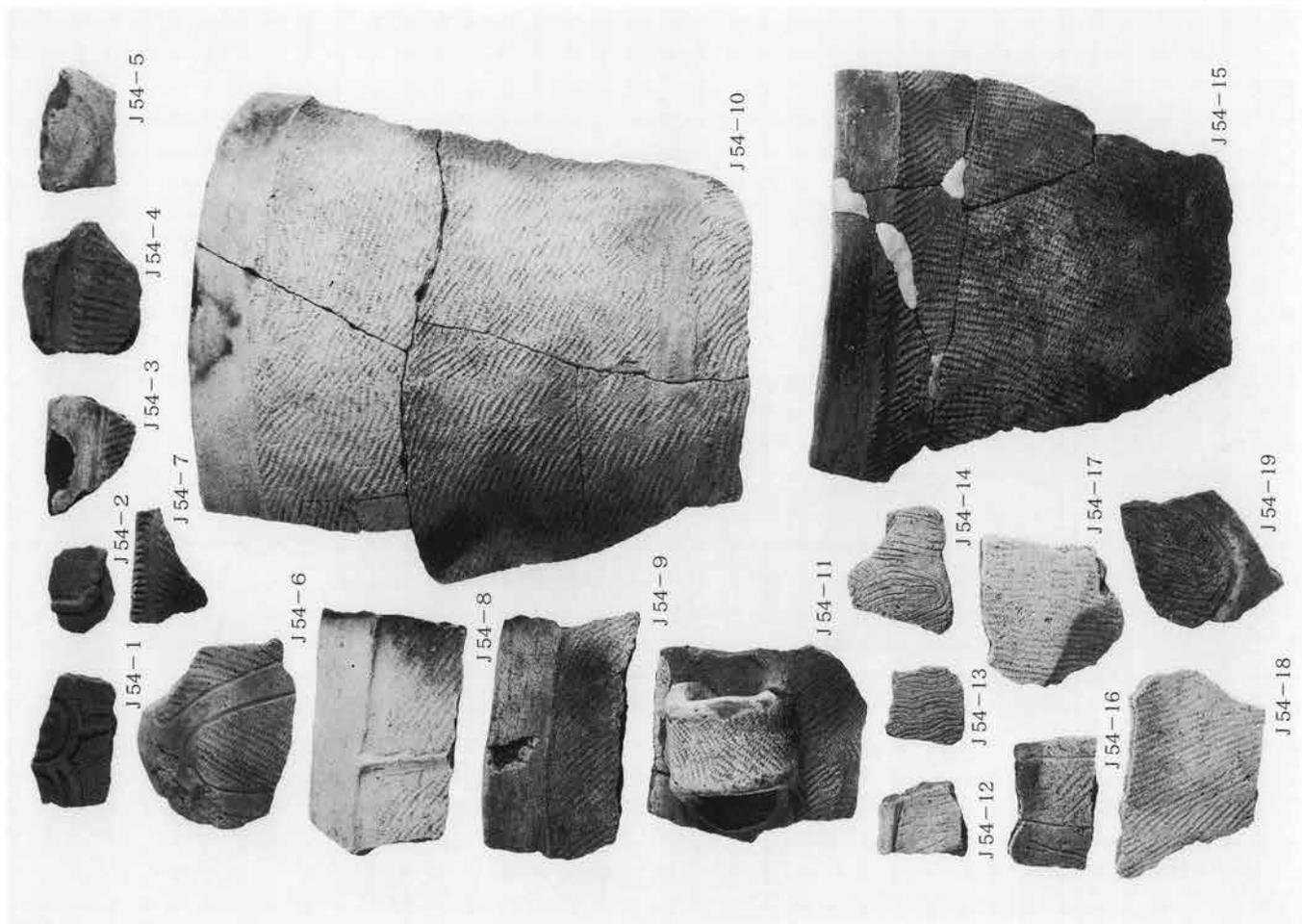
J 50-3

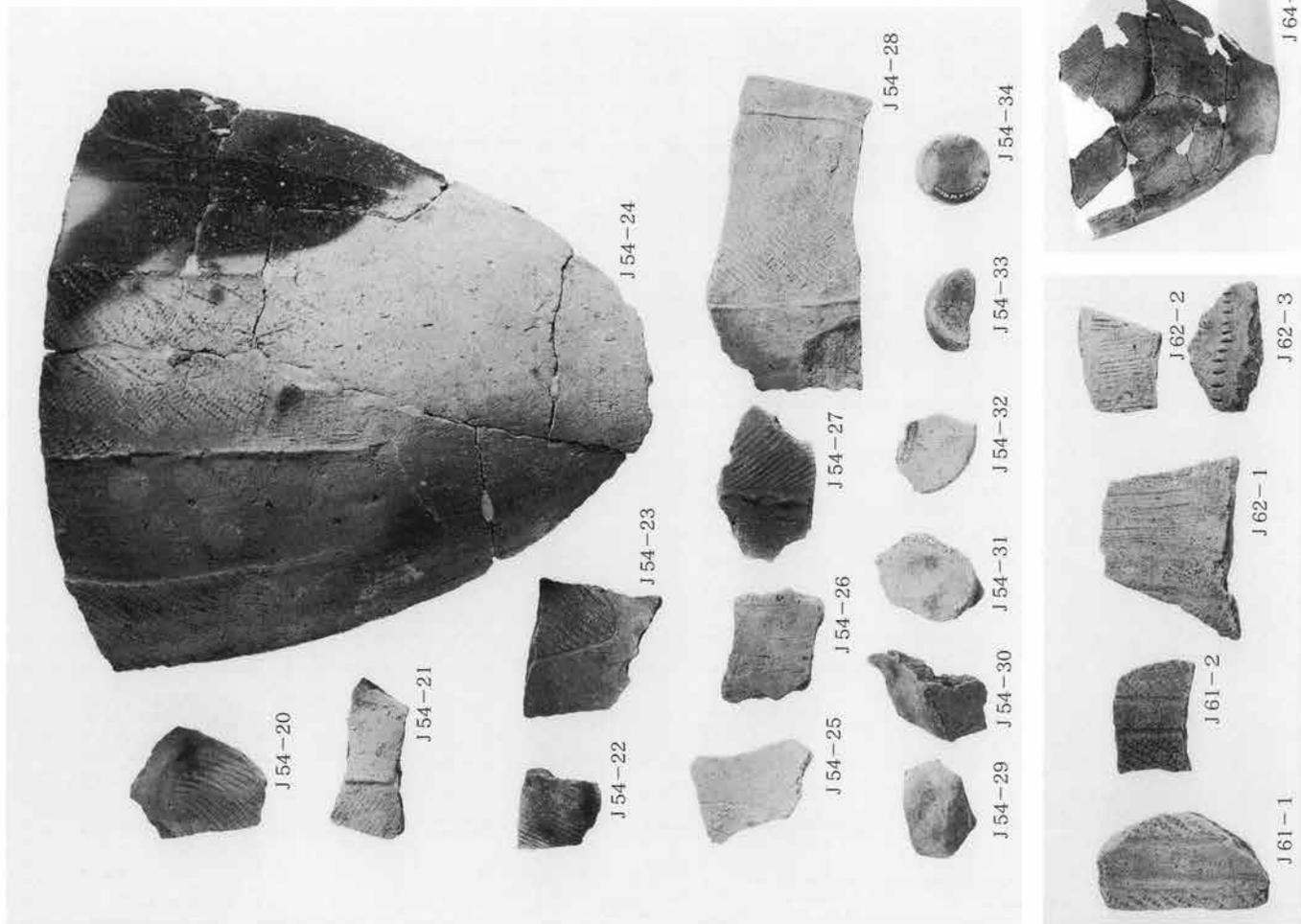
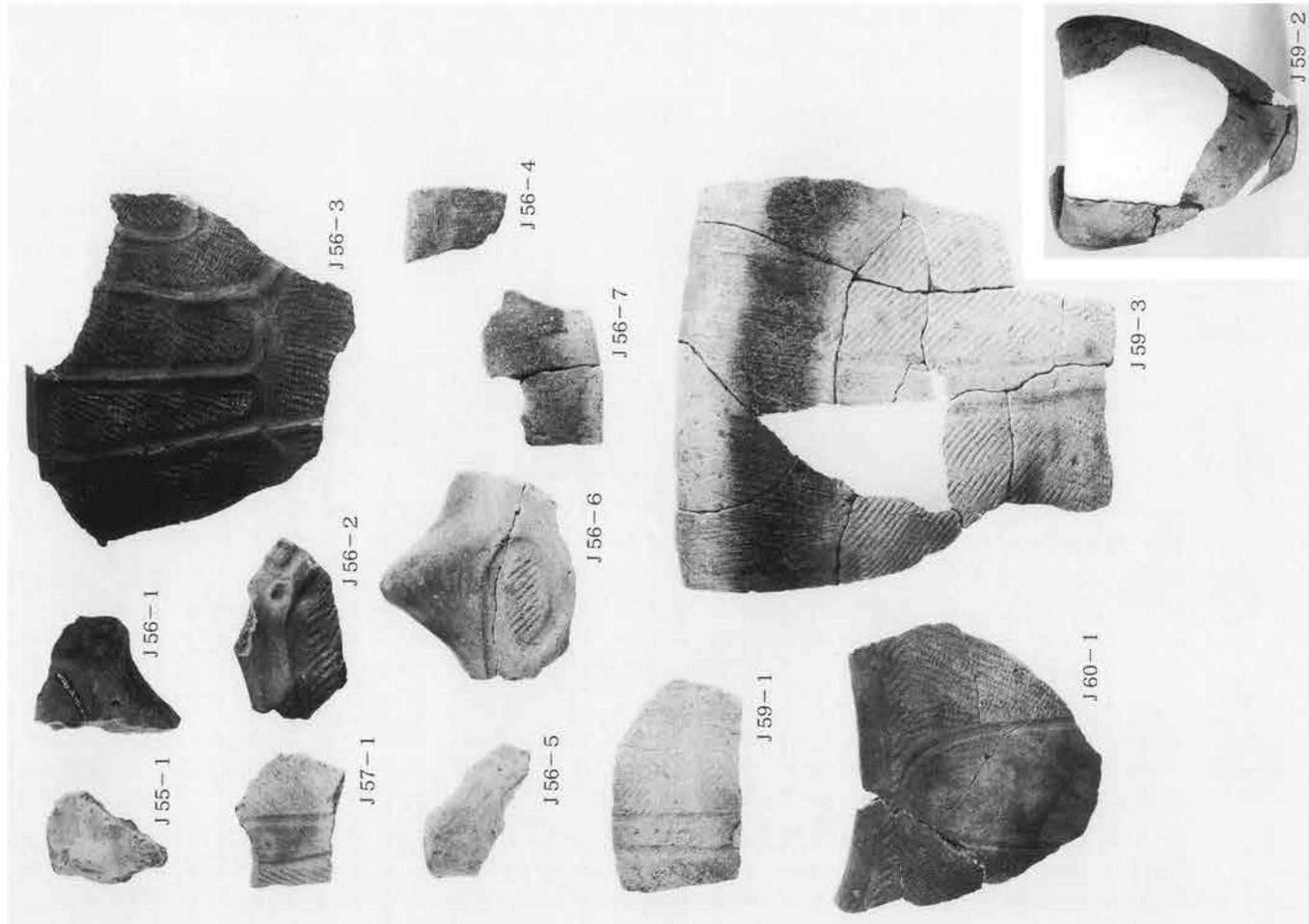
J 52-1

J 50-4

J 50-5

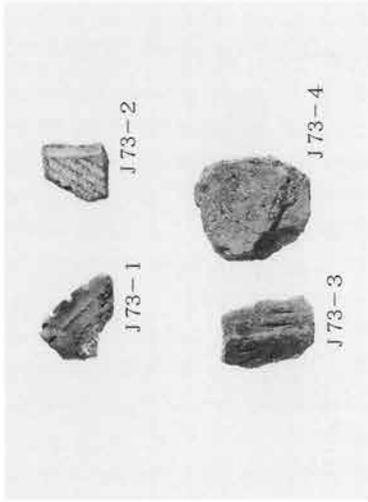
J 52-2







J74-1

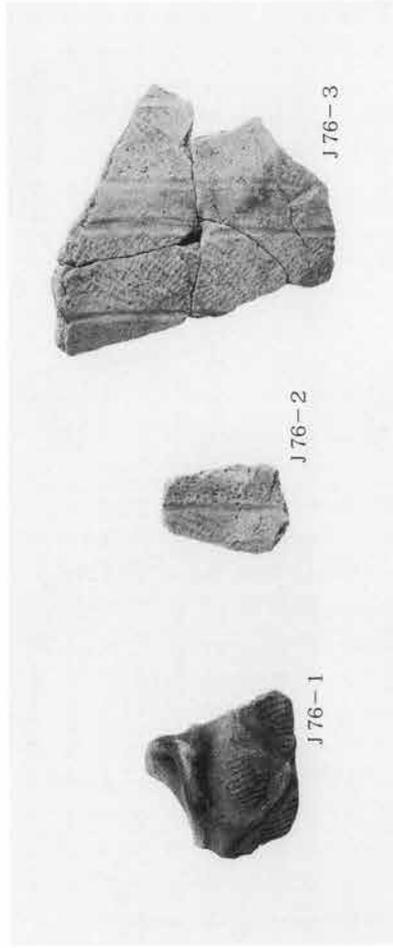


J73-1

J73-2

J73-3

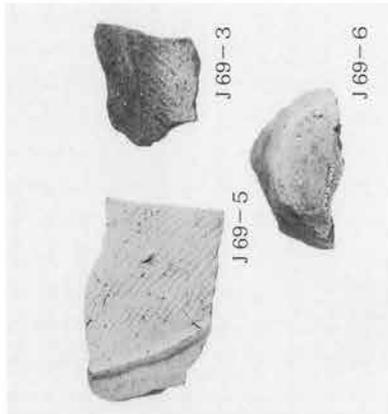
J73-4



J76-1

J76-2

J76-3



J69-3

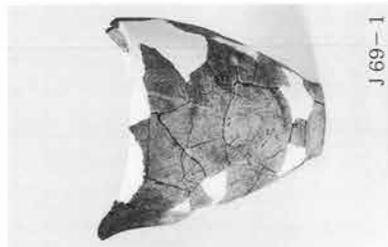
J69-5

J69-6

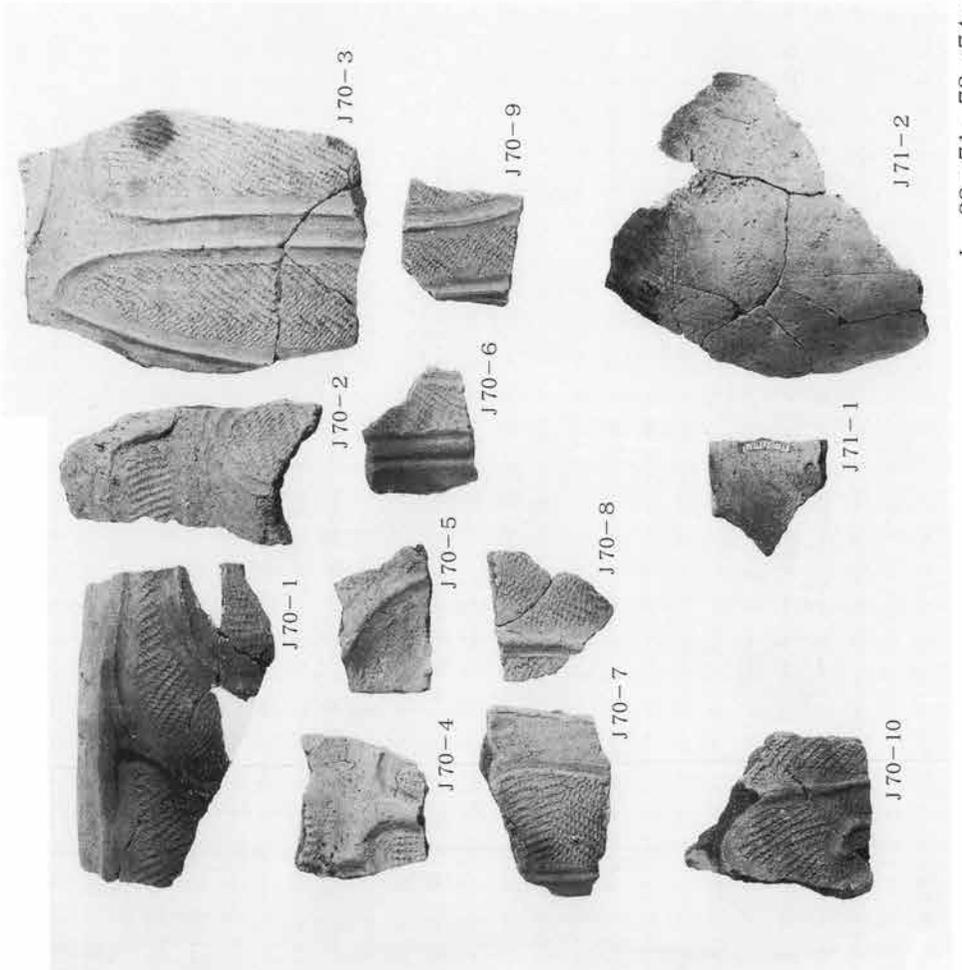


J69-2

J69-4



J69-1



J70-1

J70-2

J70-3

J70-4

J70-5

J70-6

J70-7

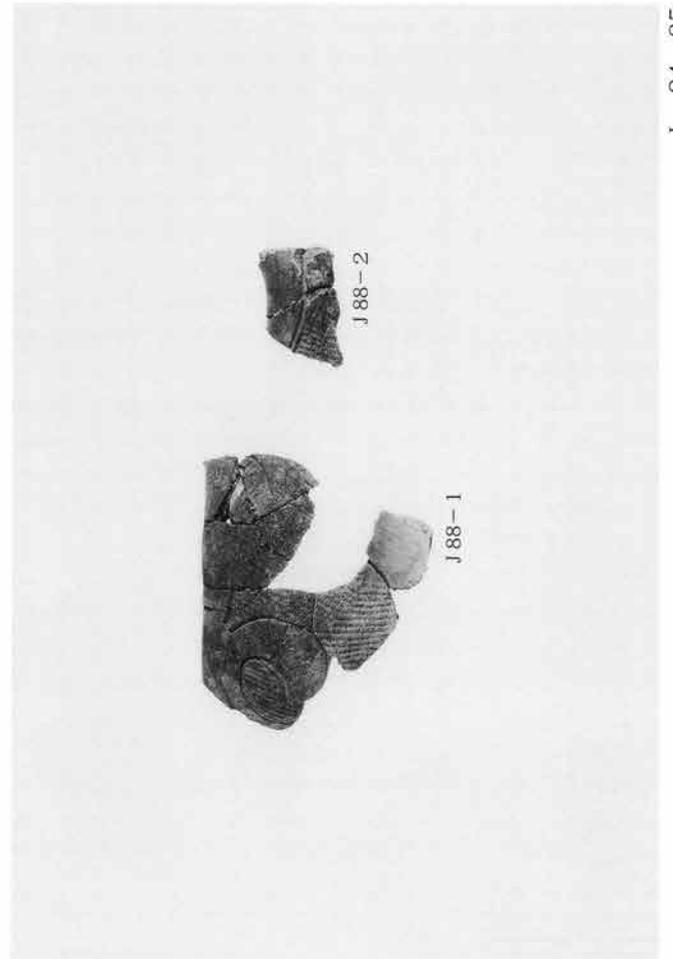
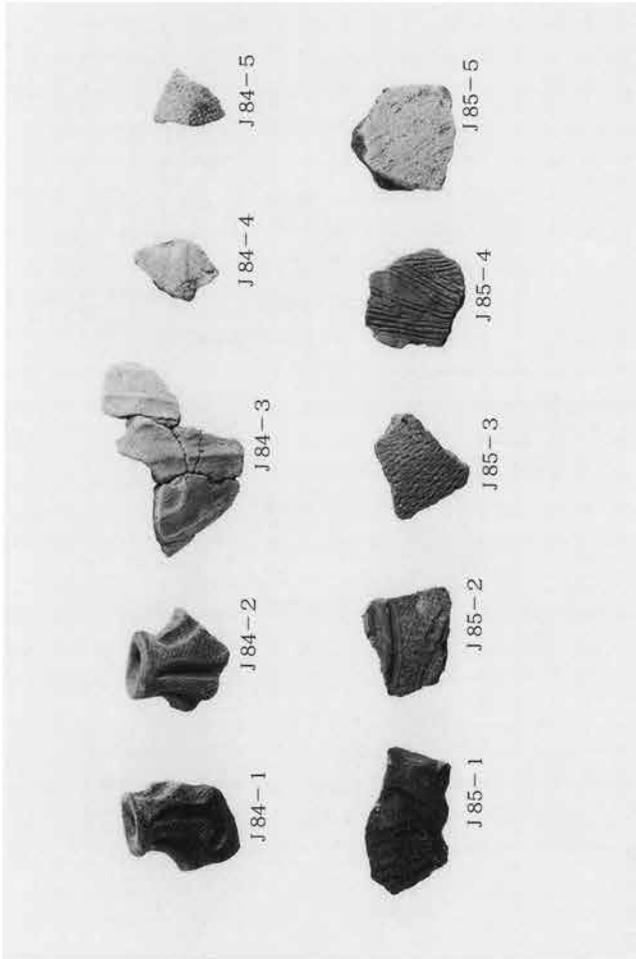
J70-8

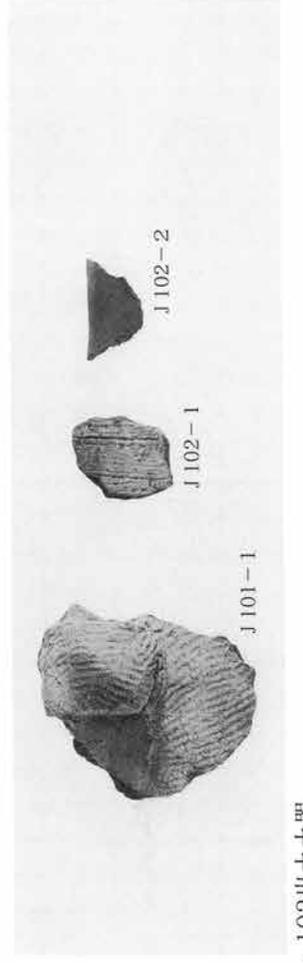
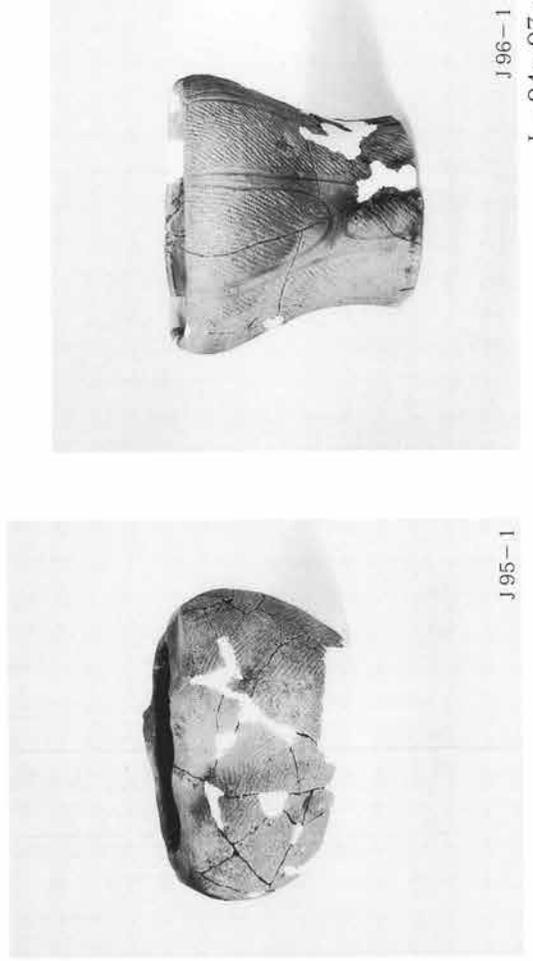
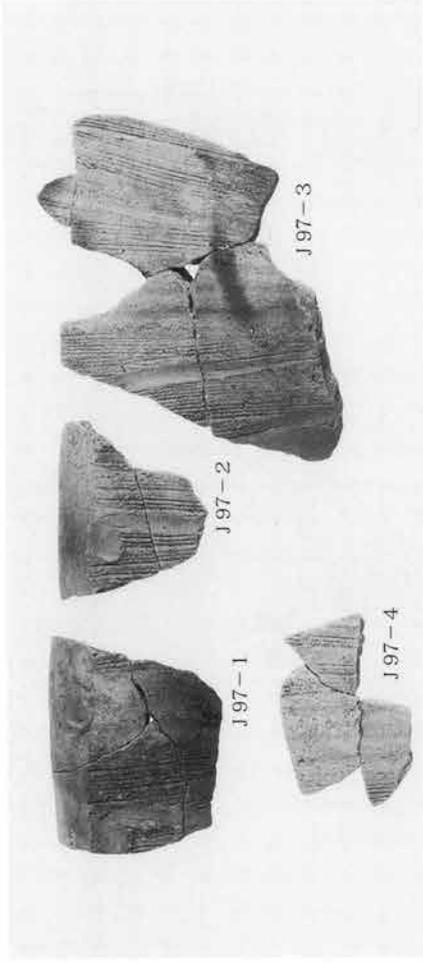
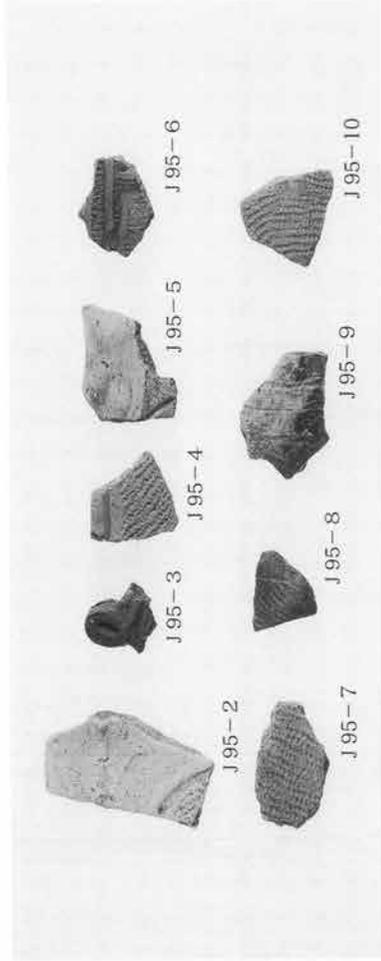
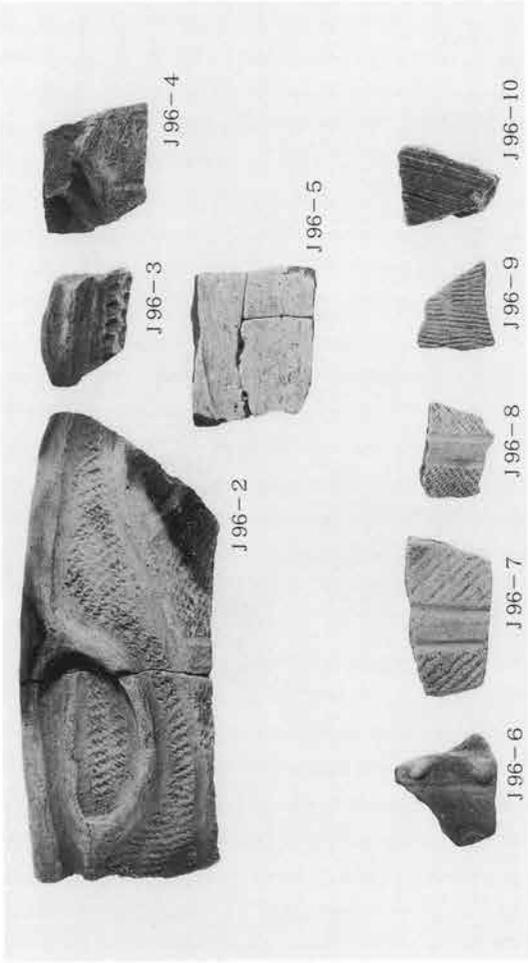
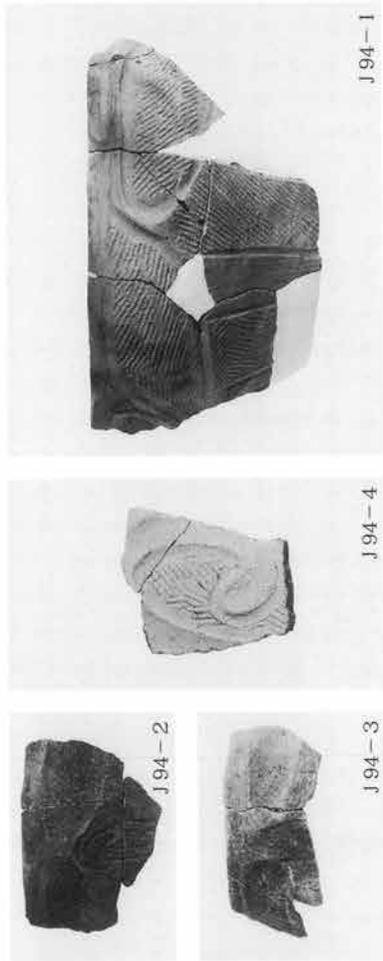
J70-9

J71-1

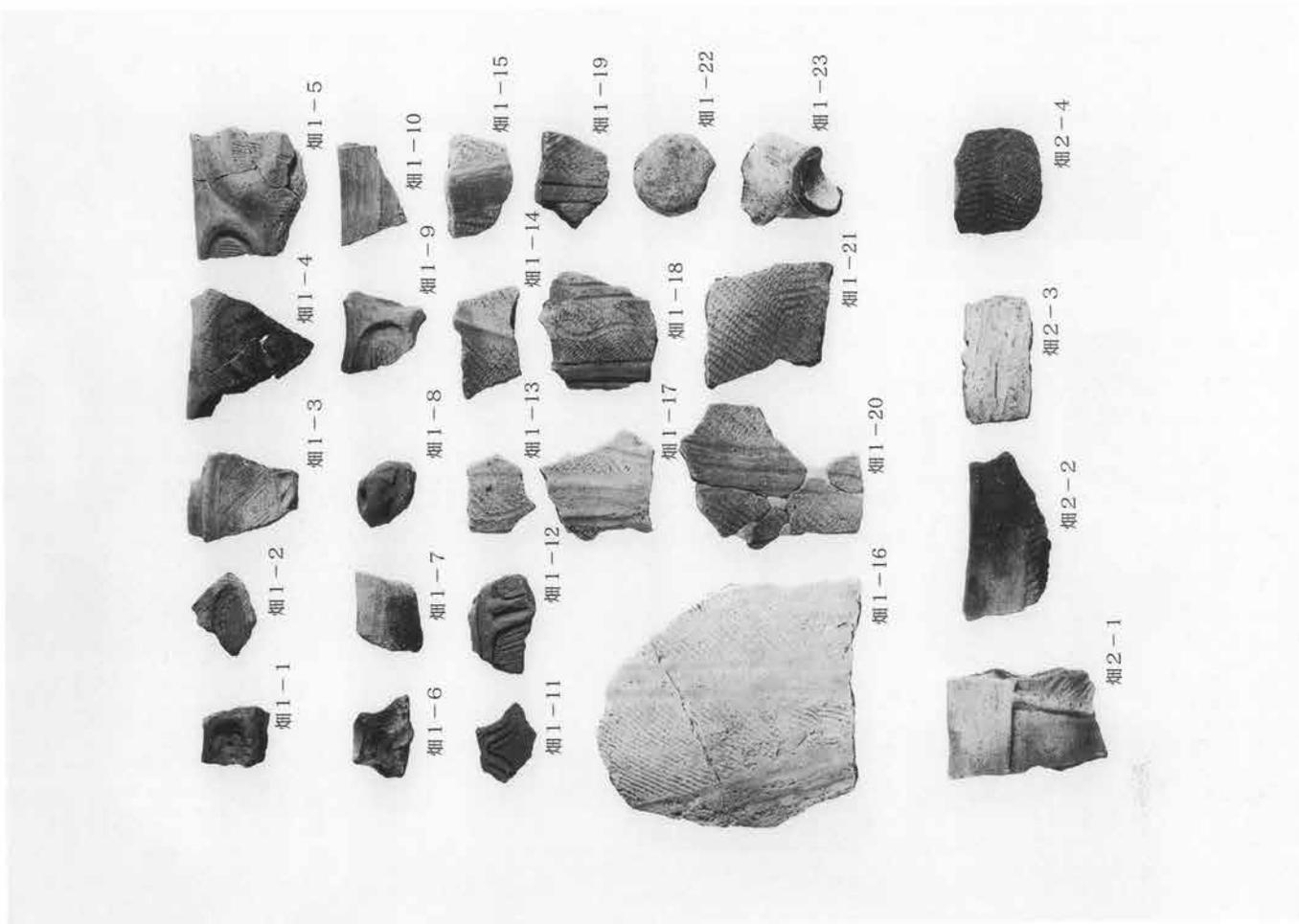
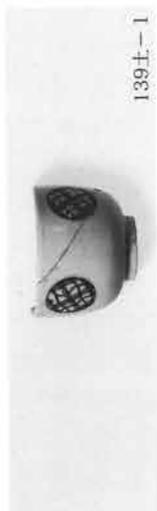
J71-2

J70-10

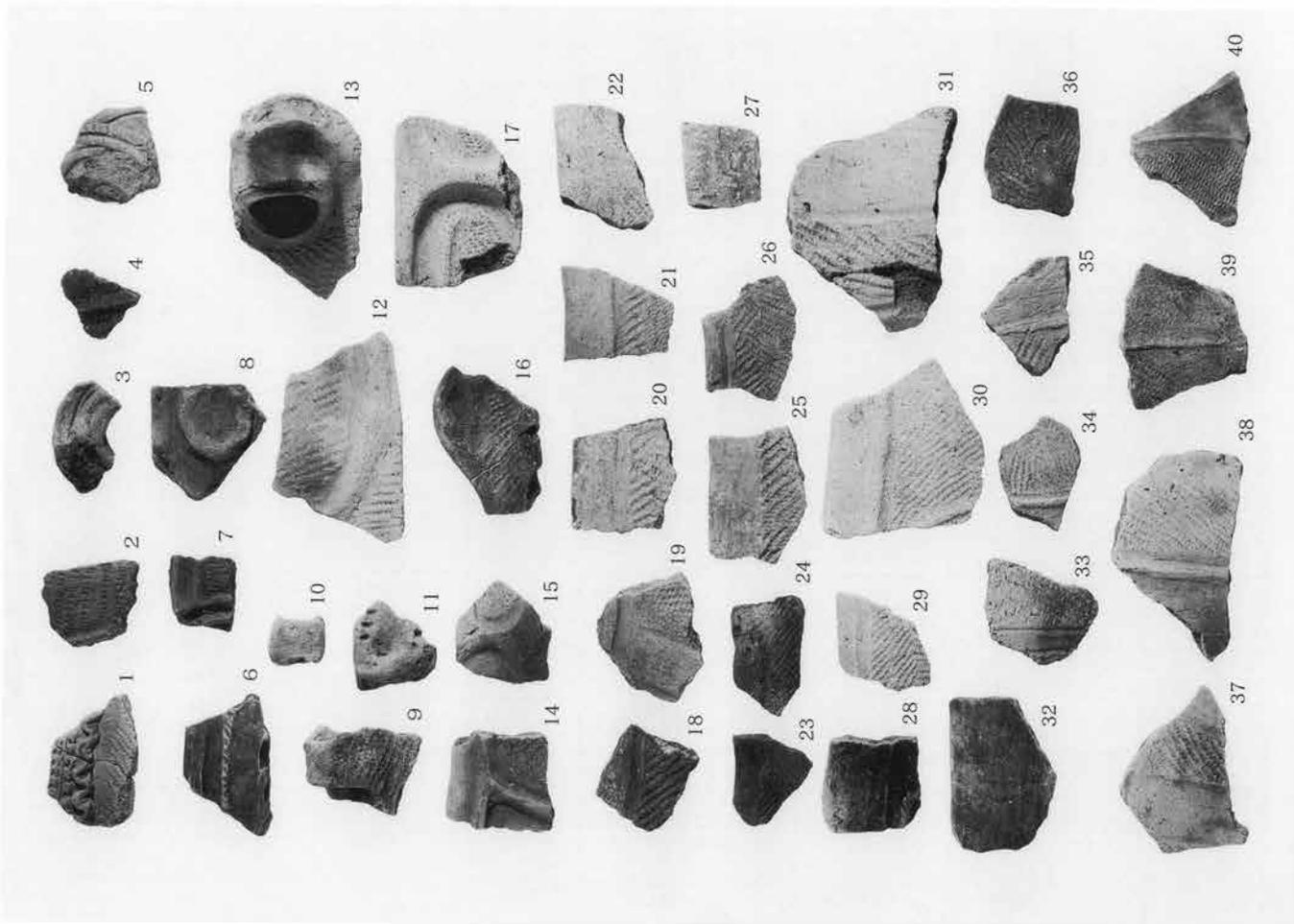
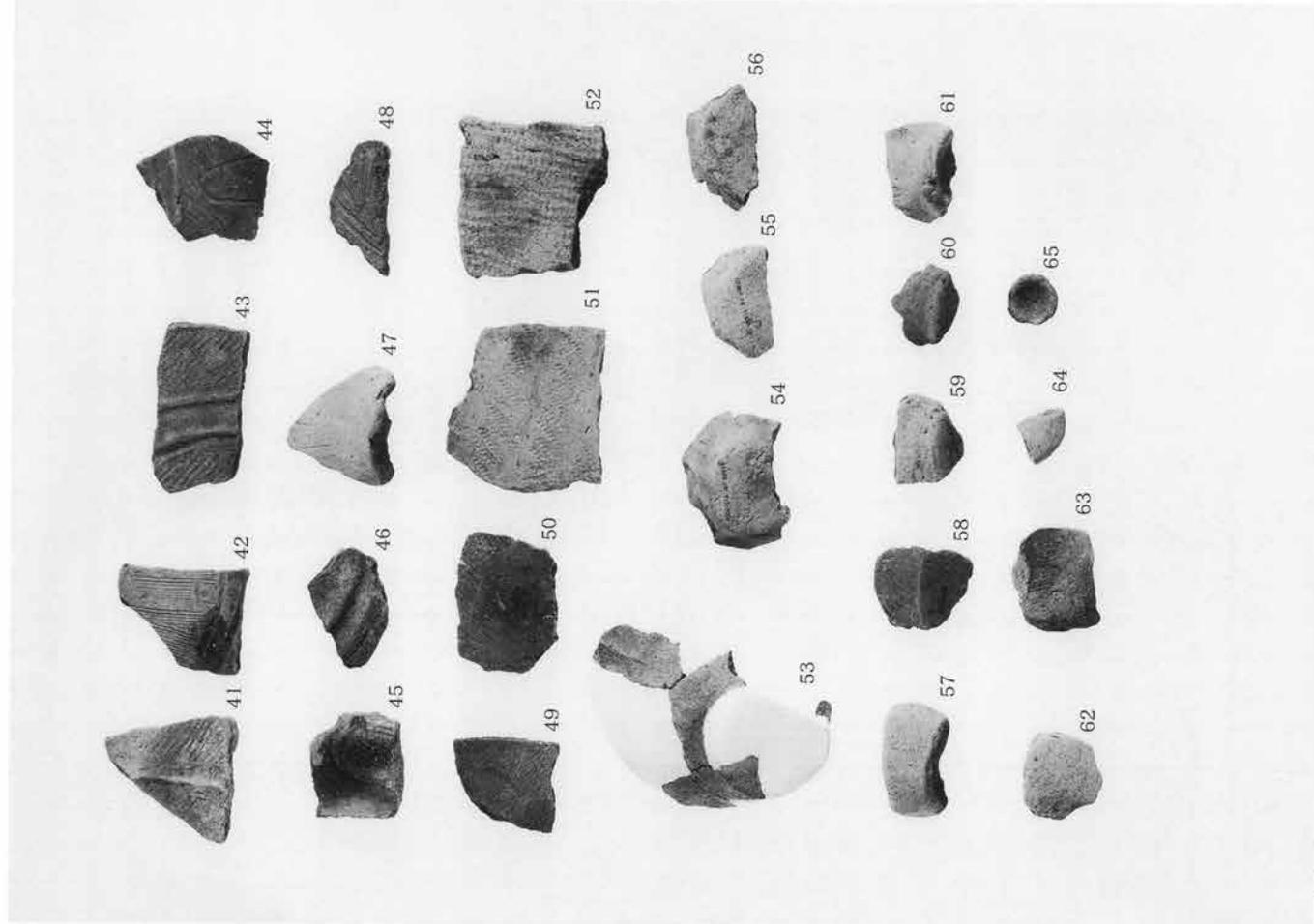


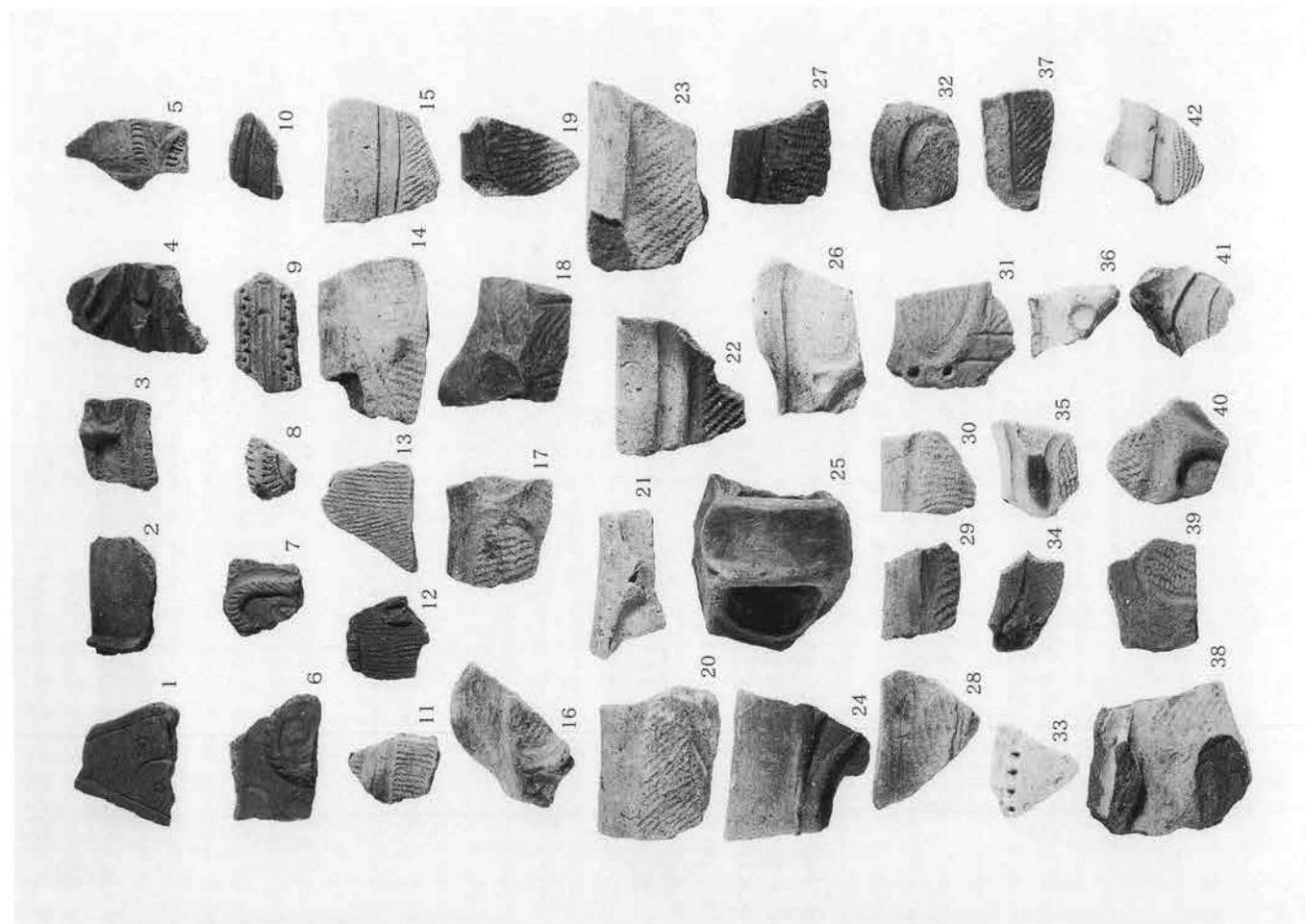
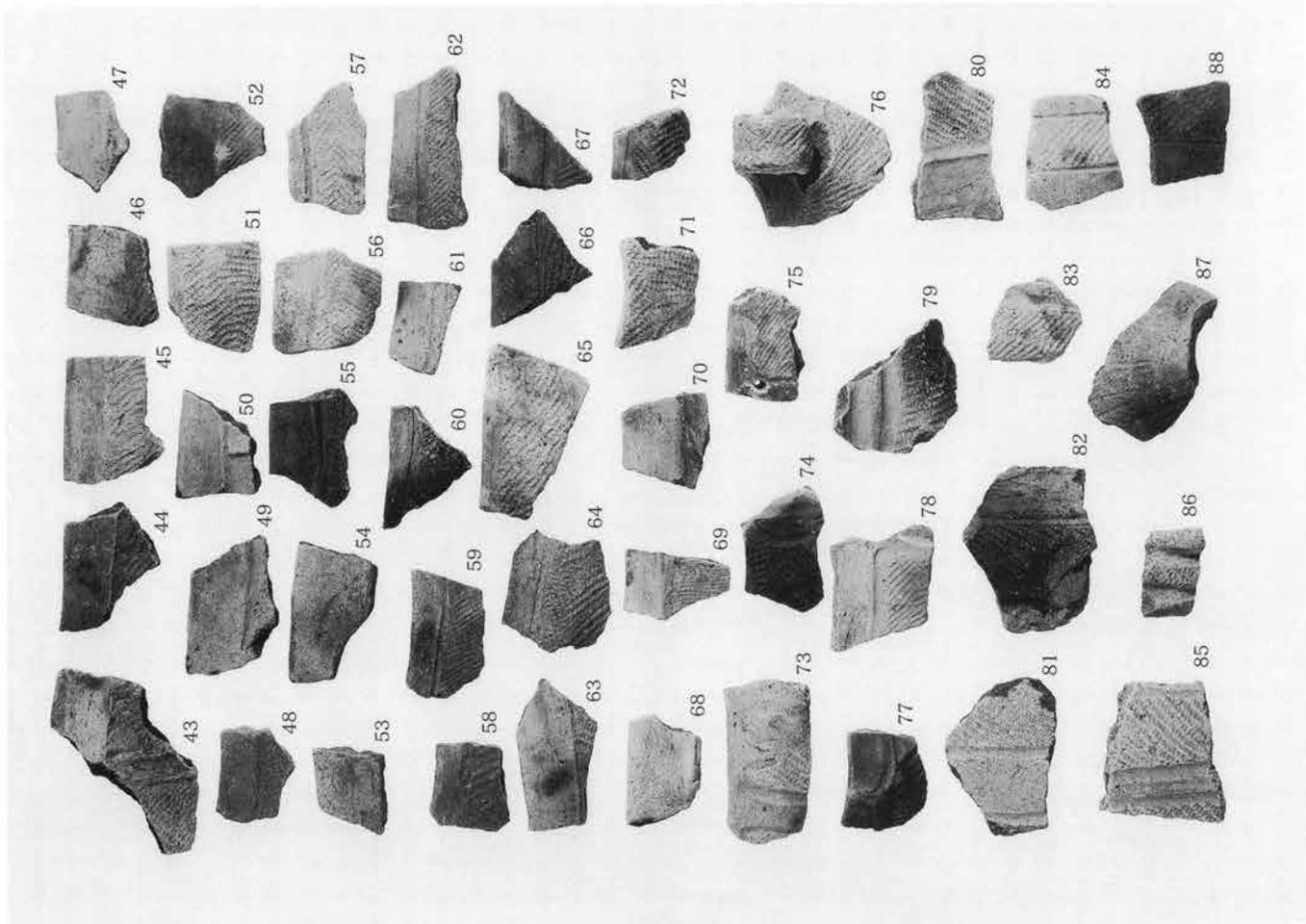


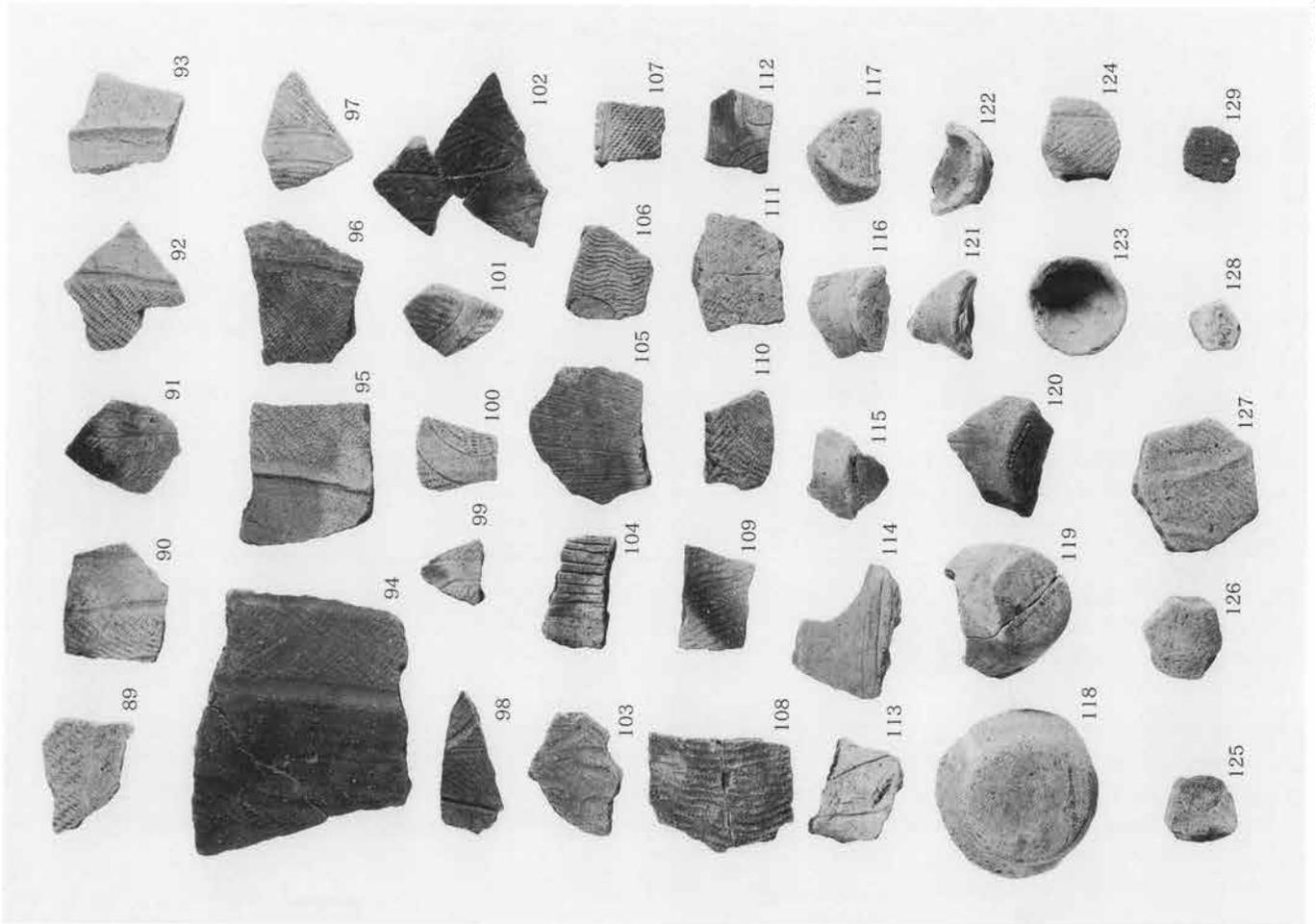
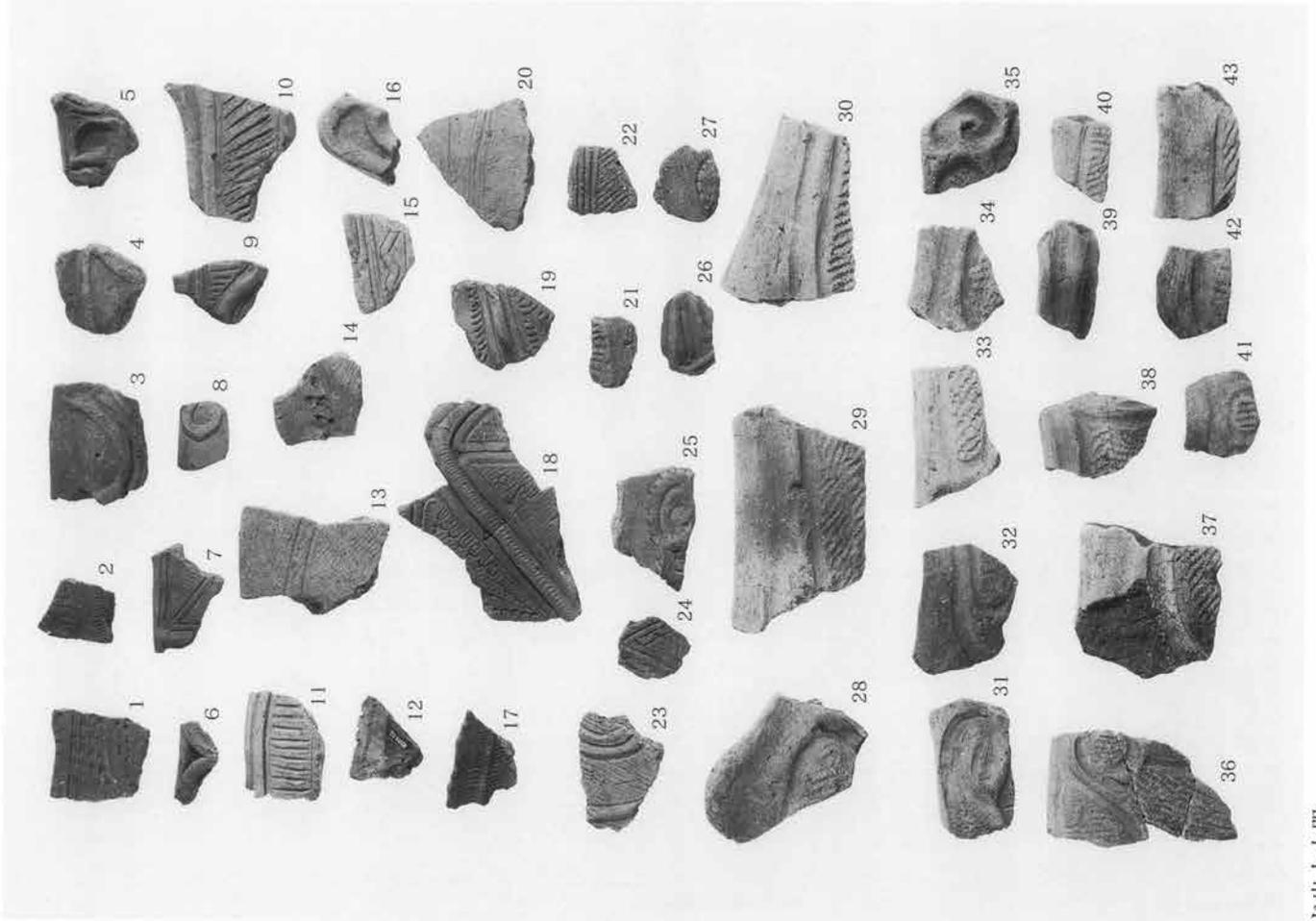


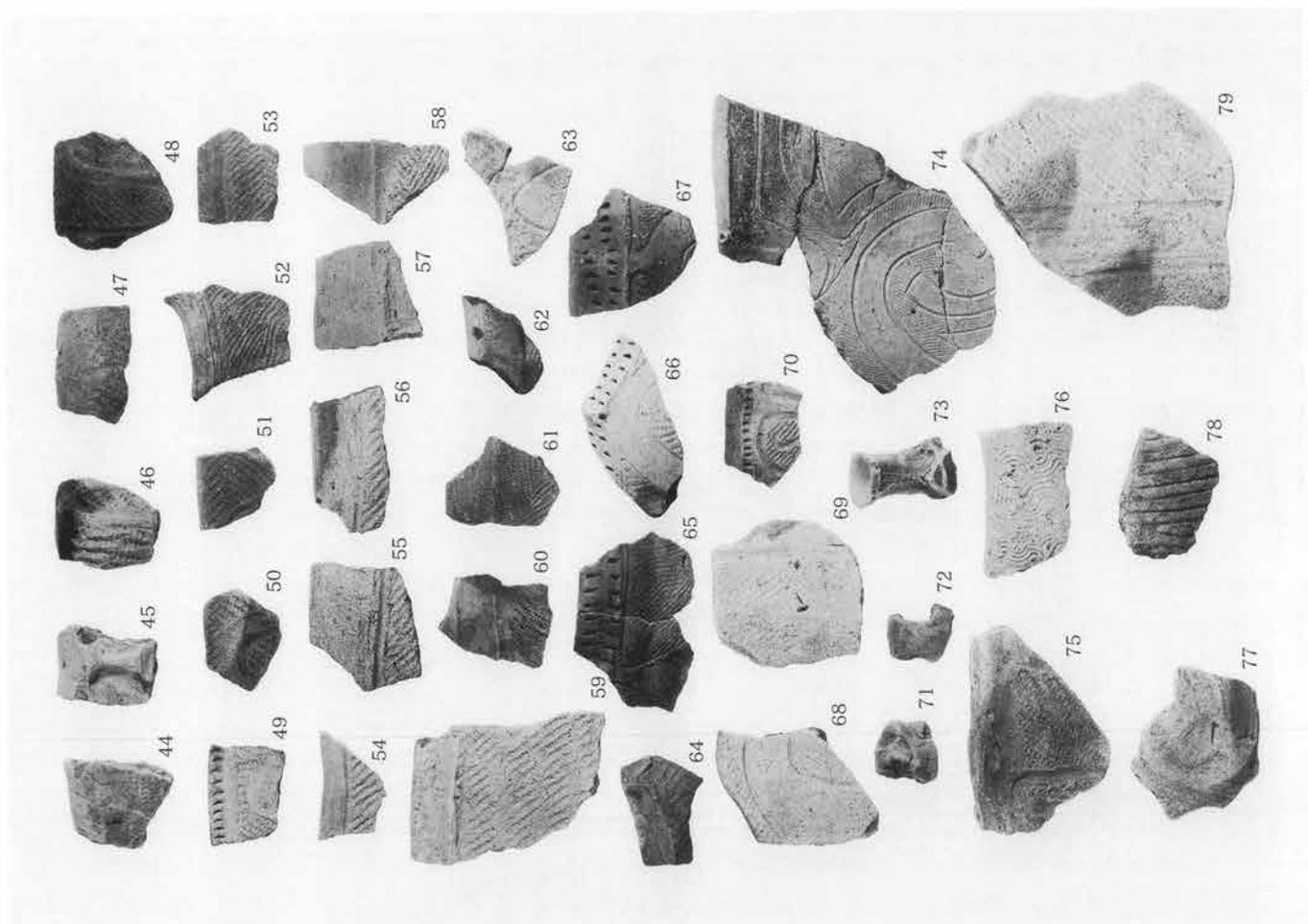
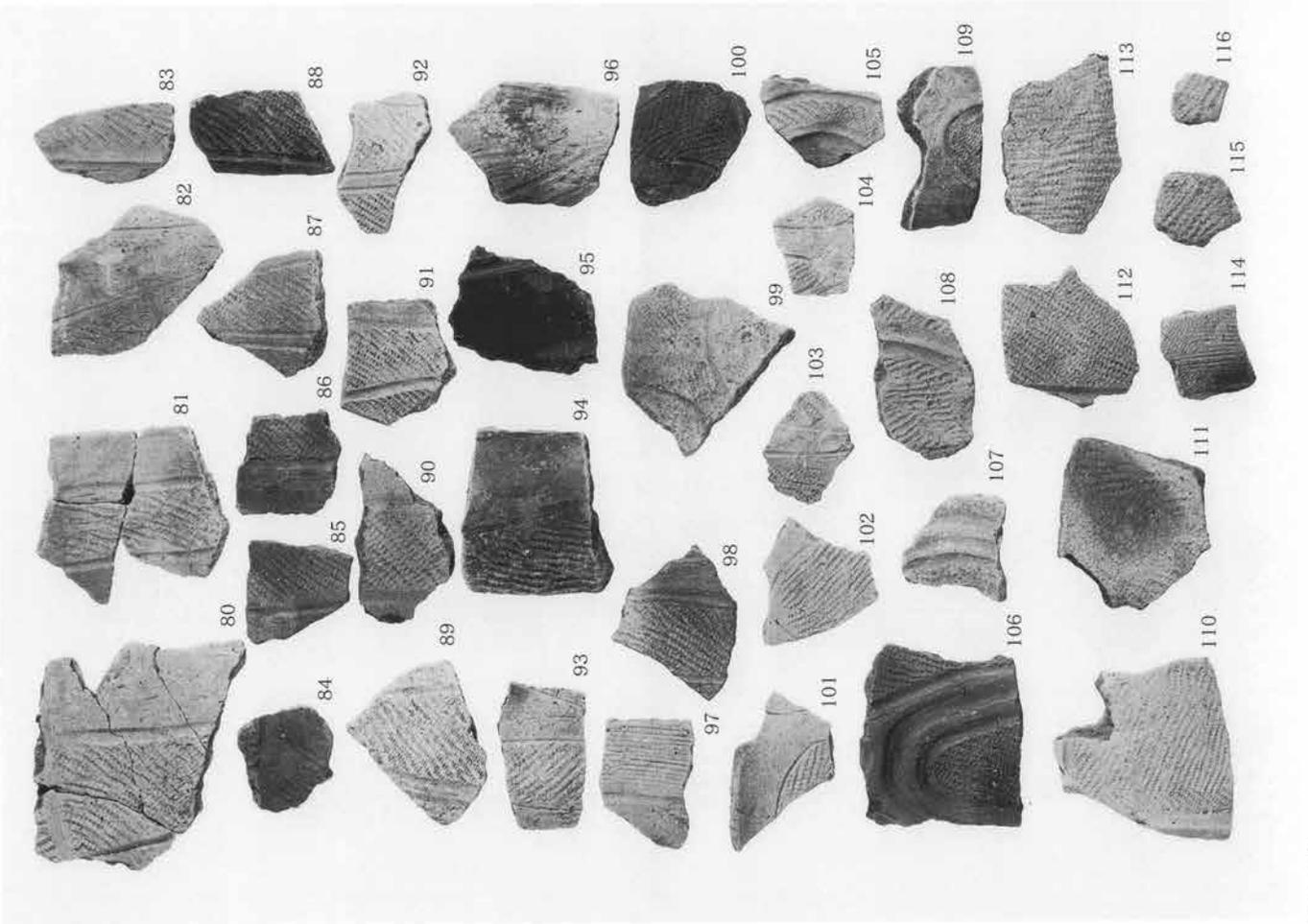


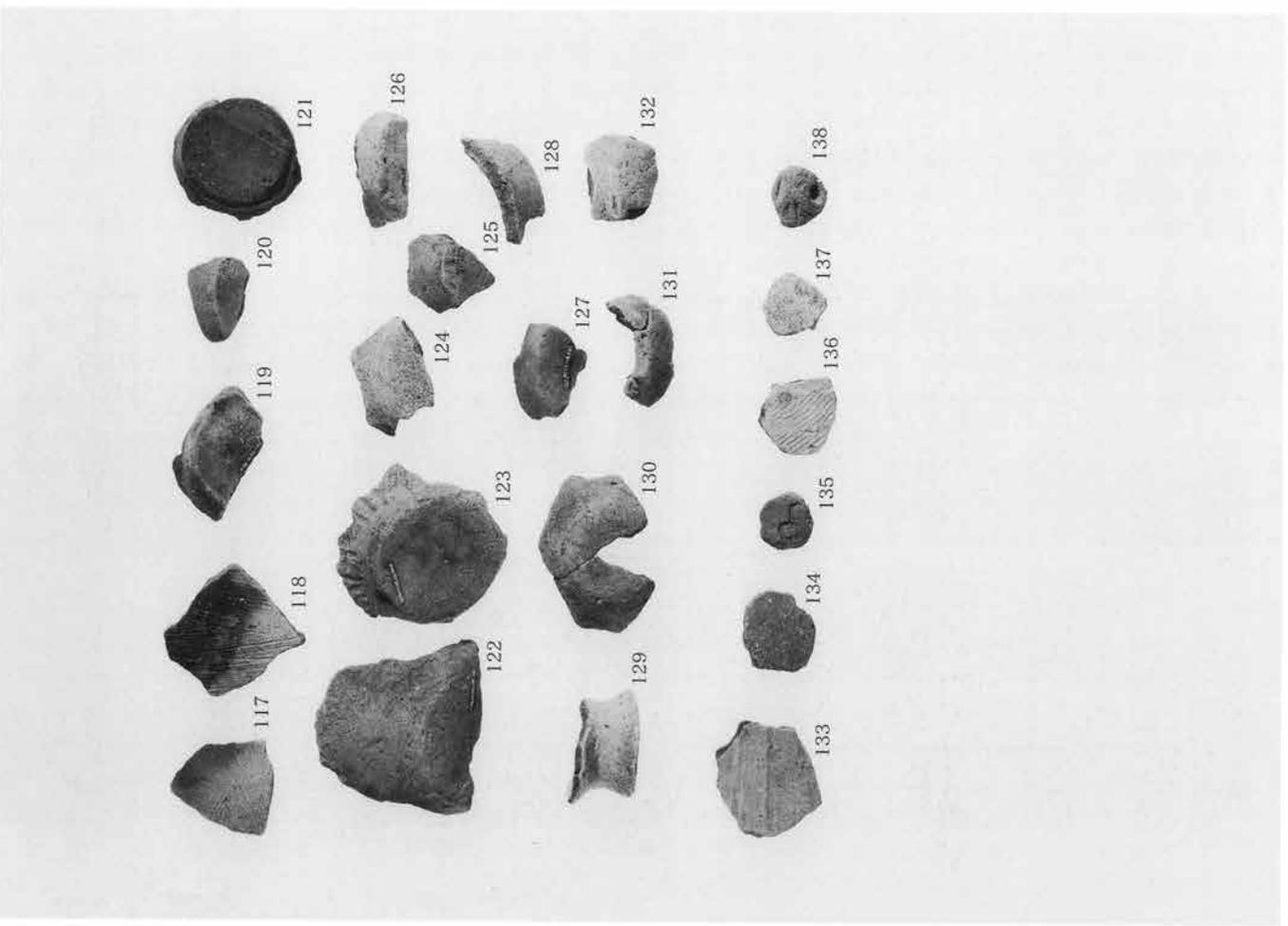
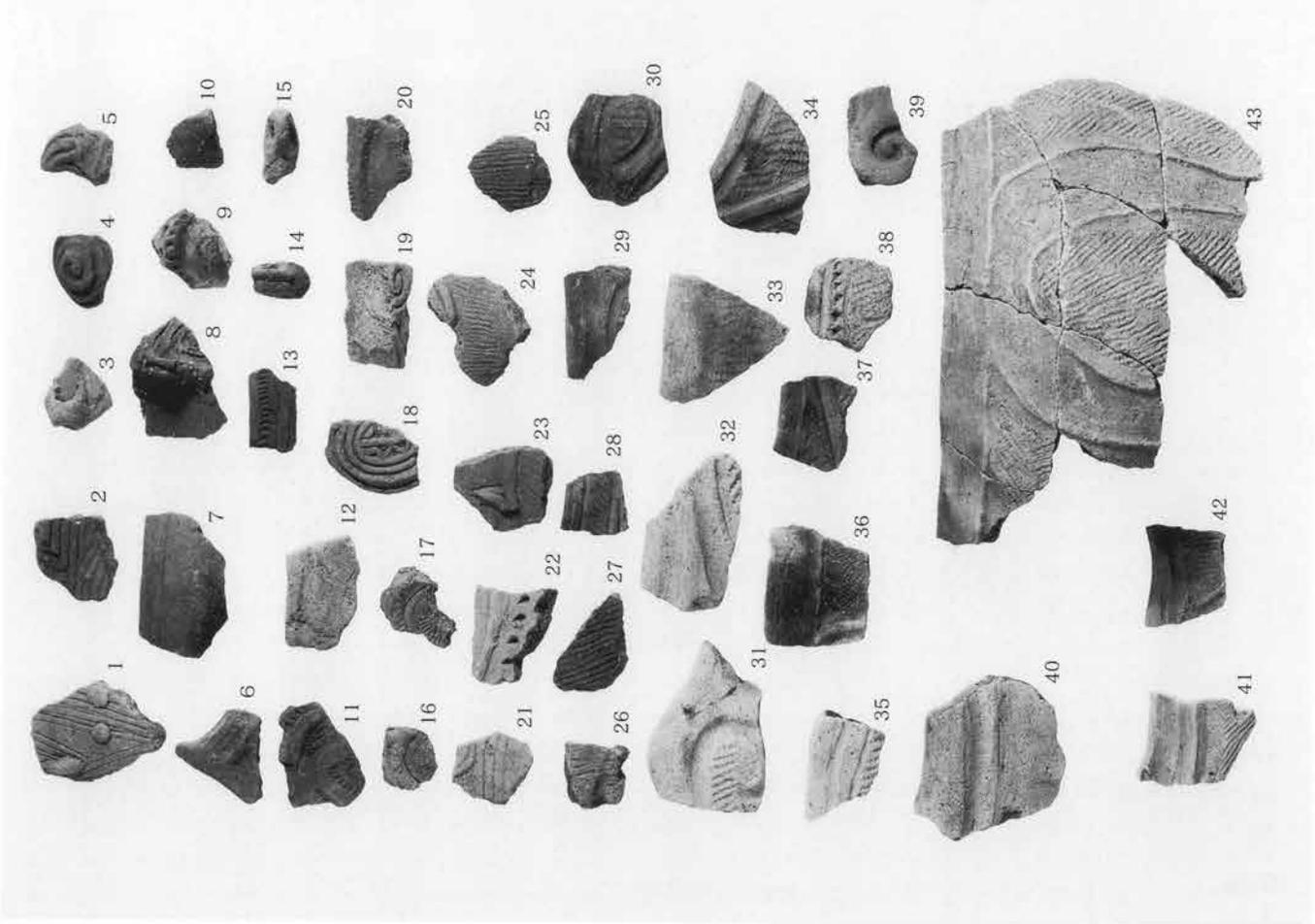
II区烟1·2·中·近世土坑出土土器

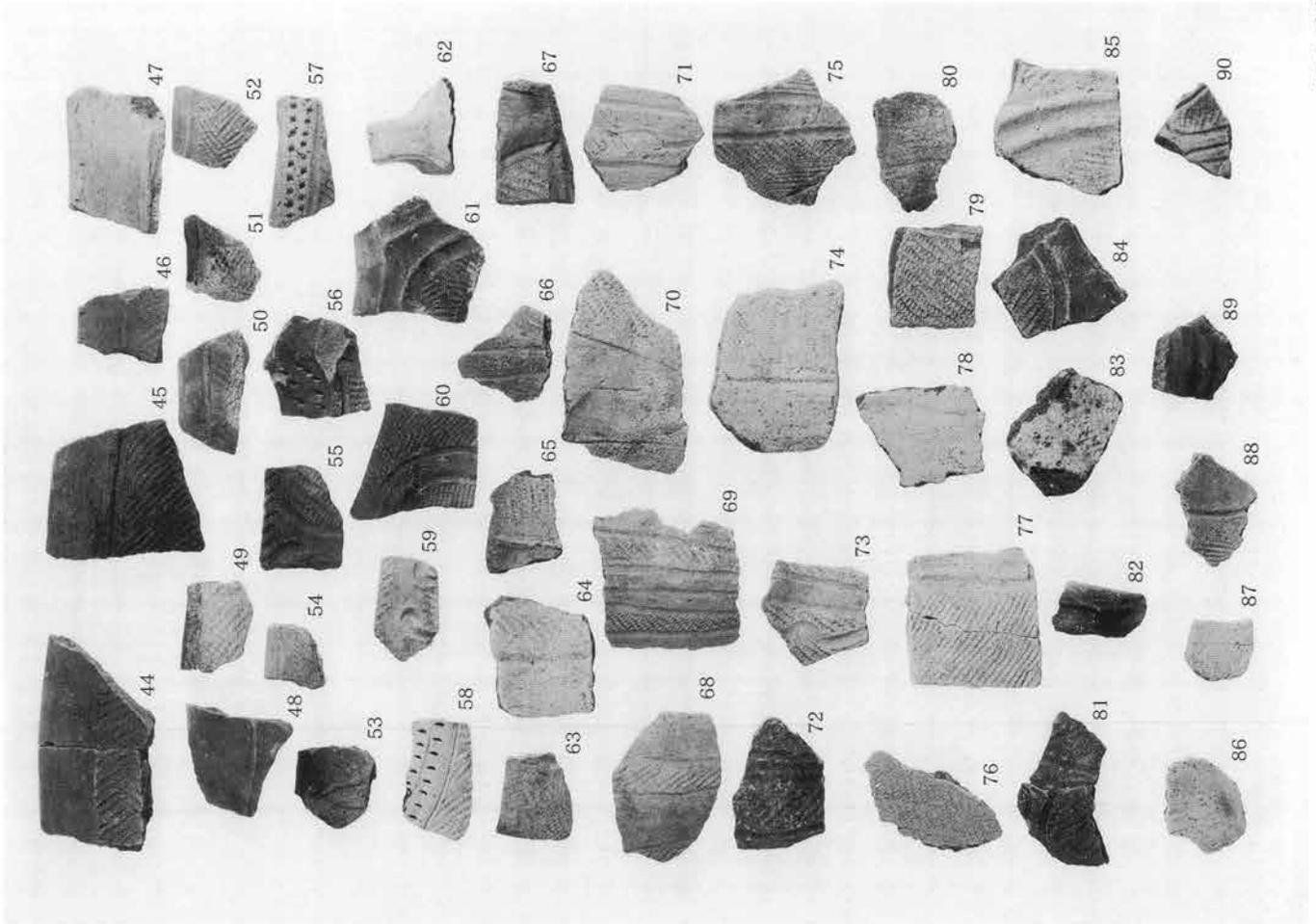
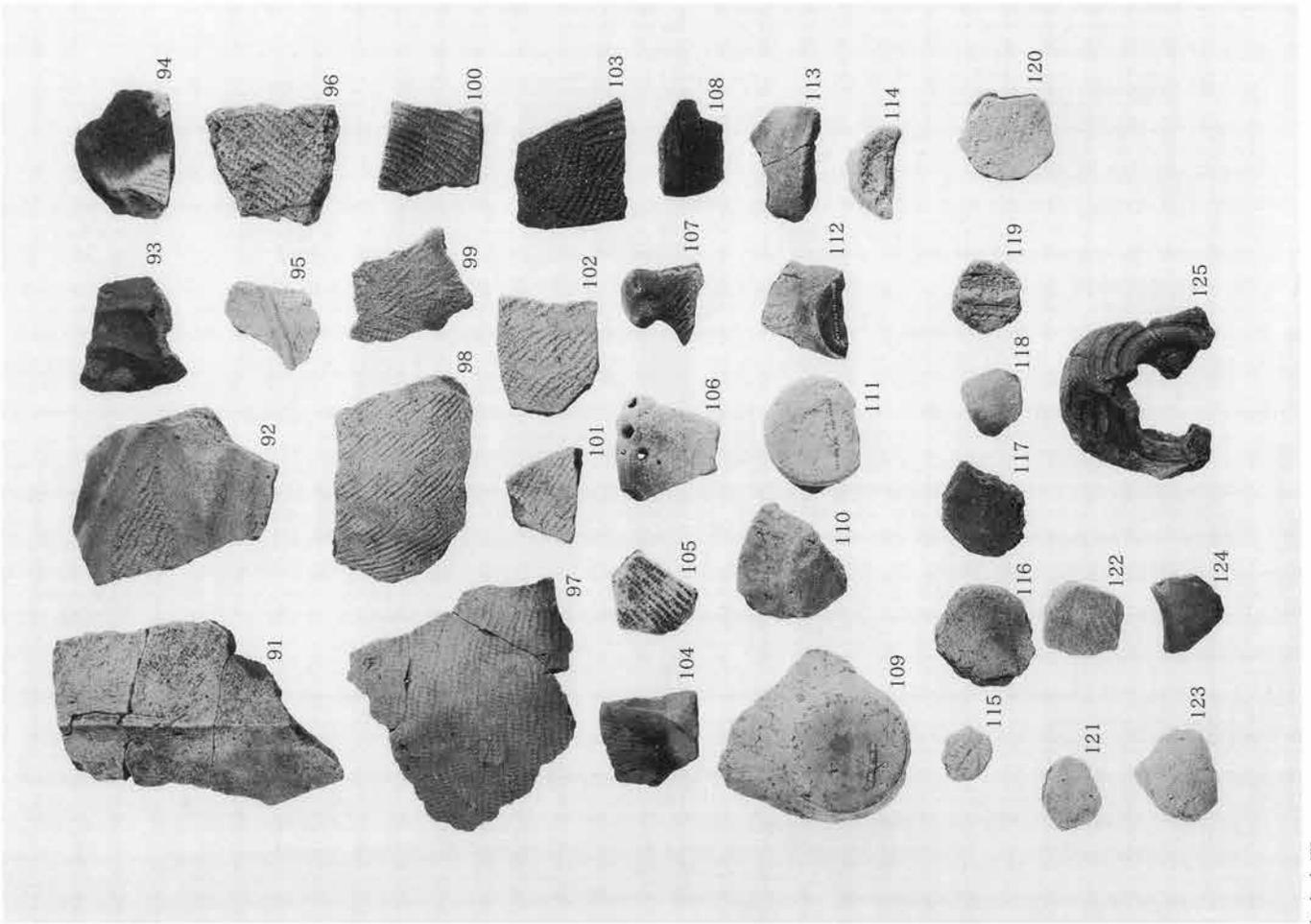




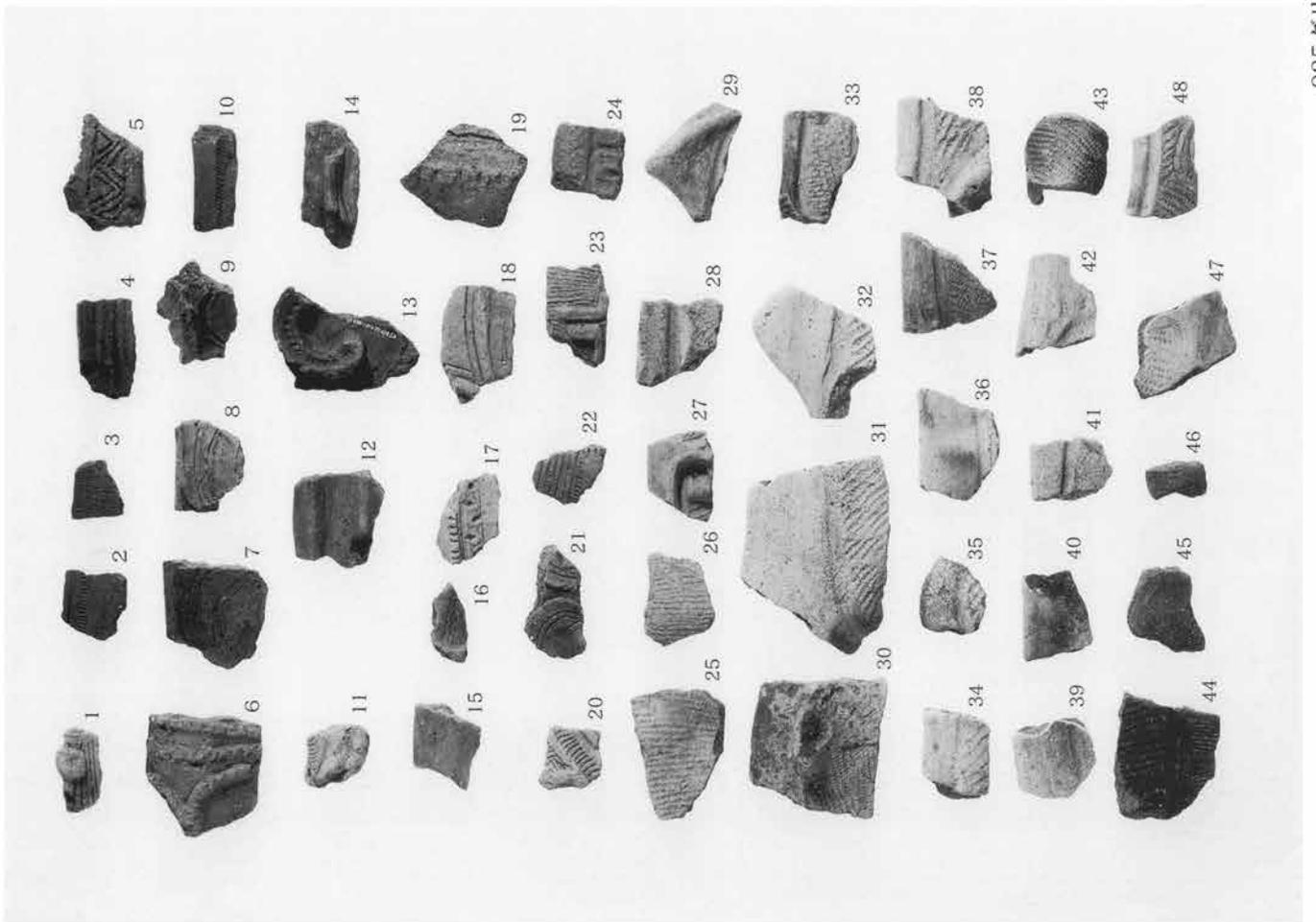
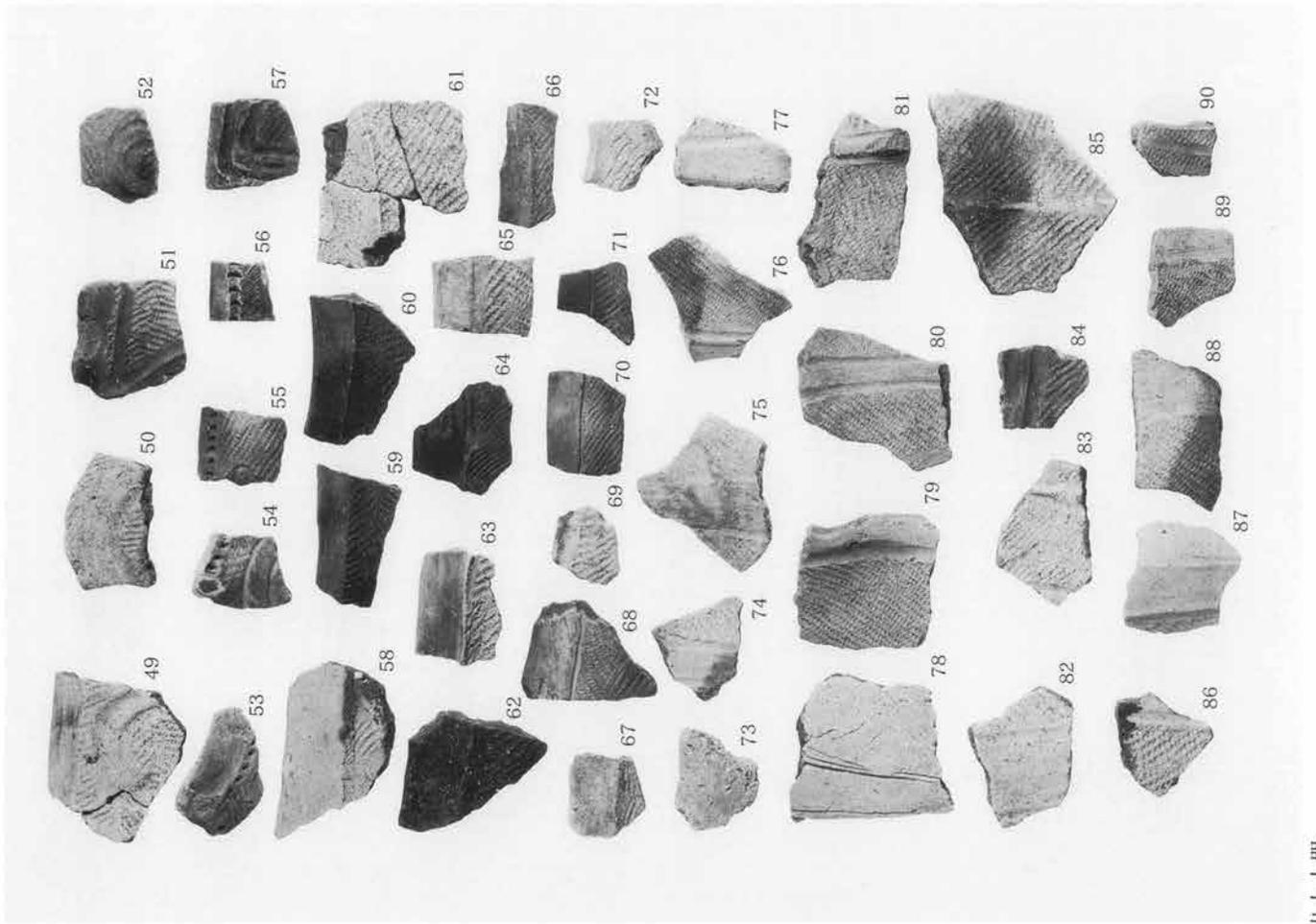


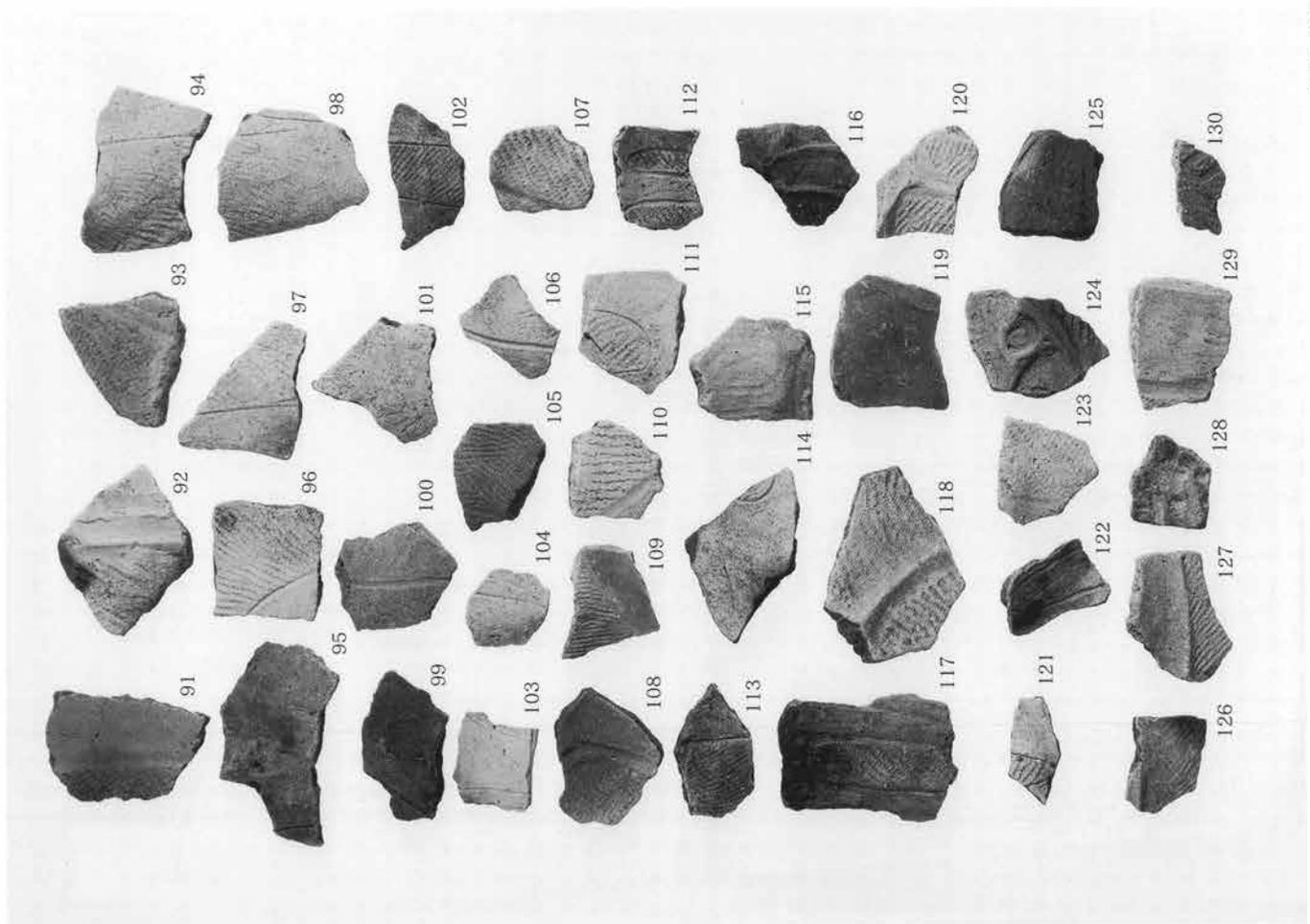
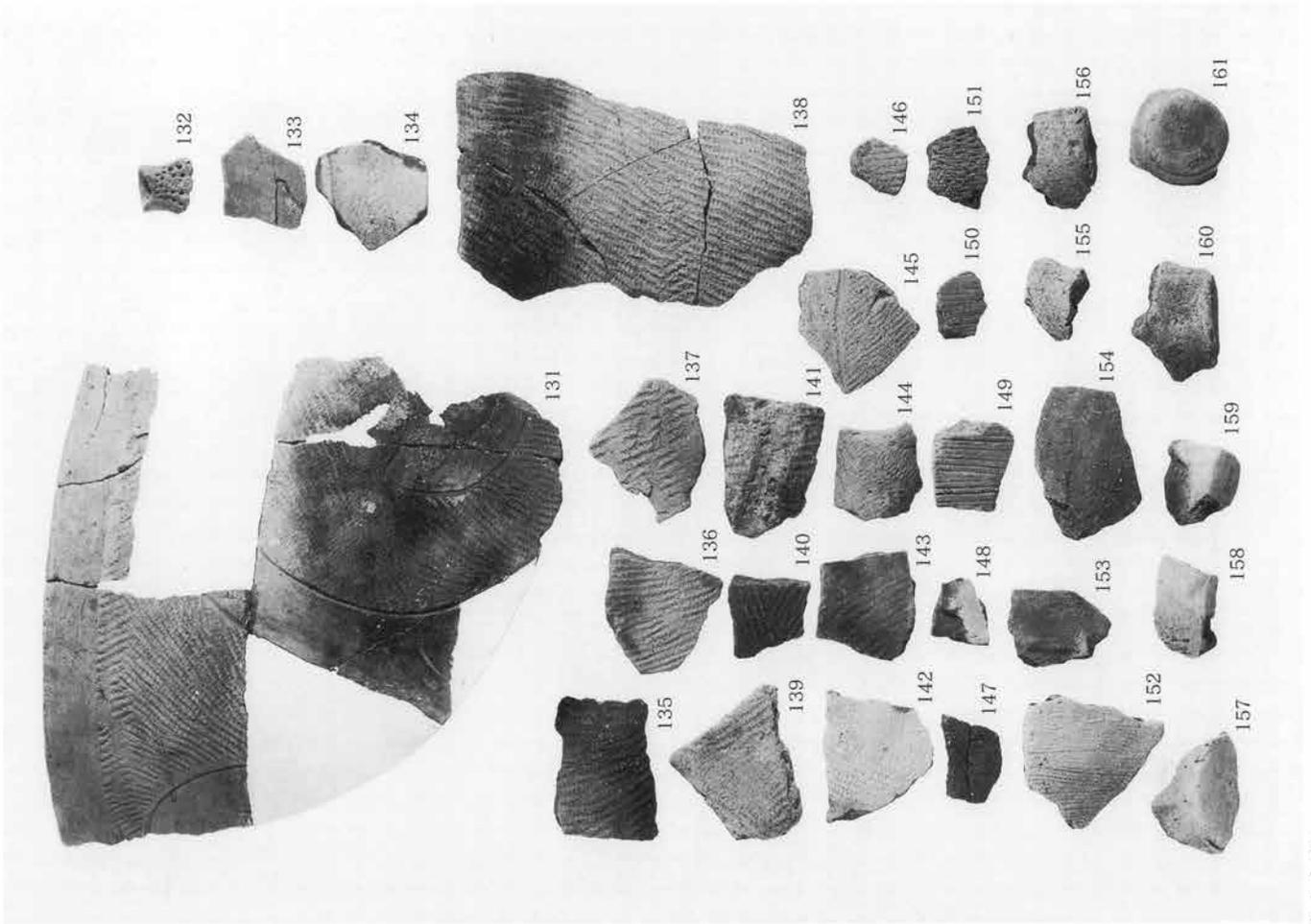


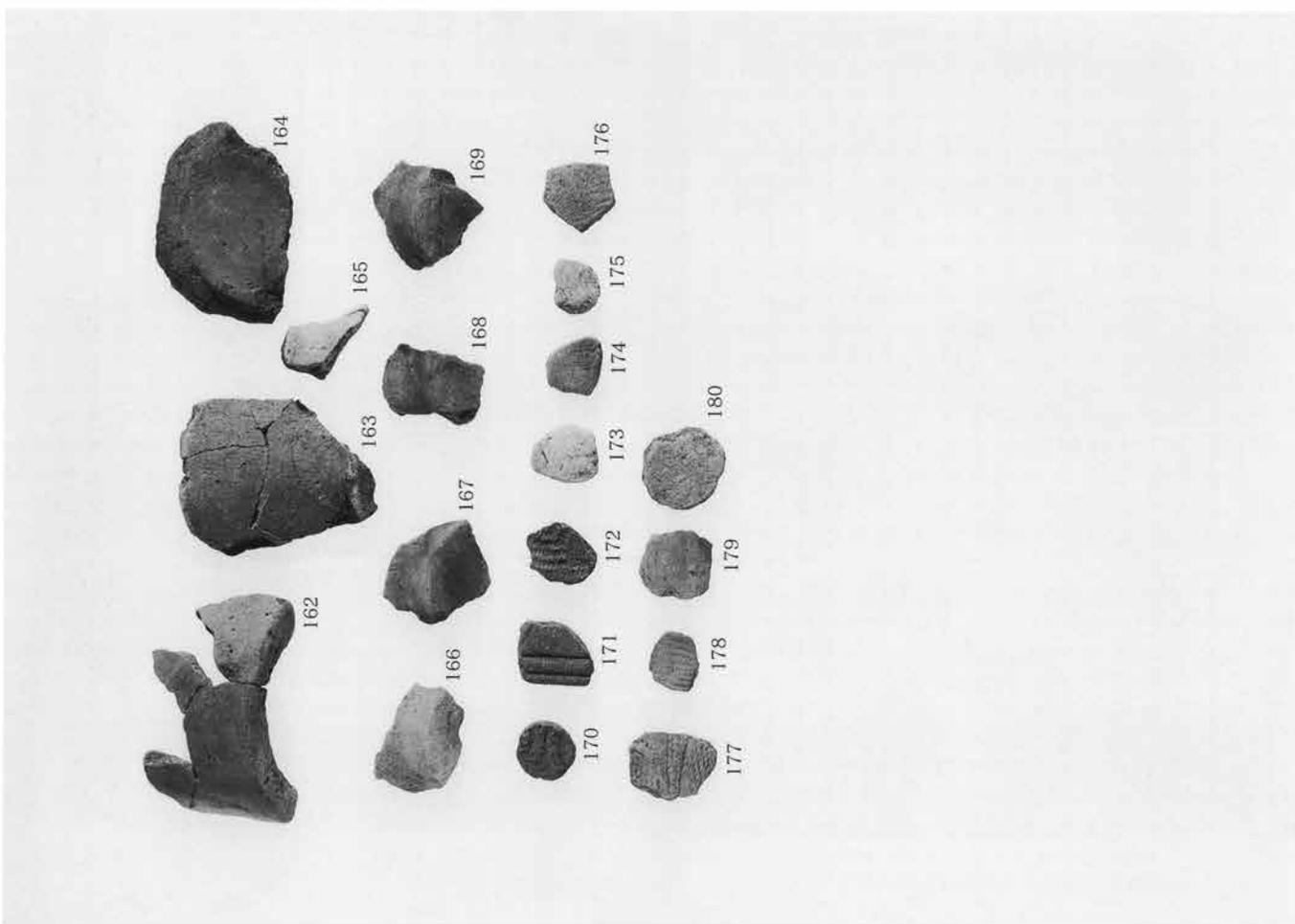
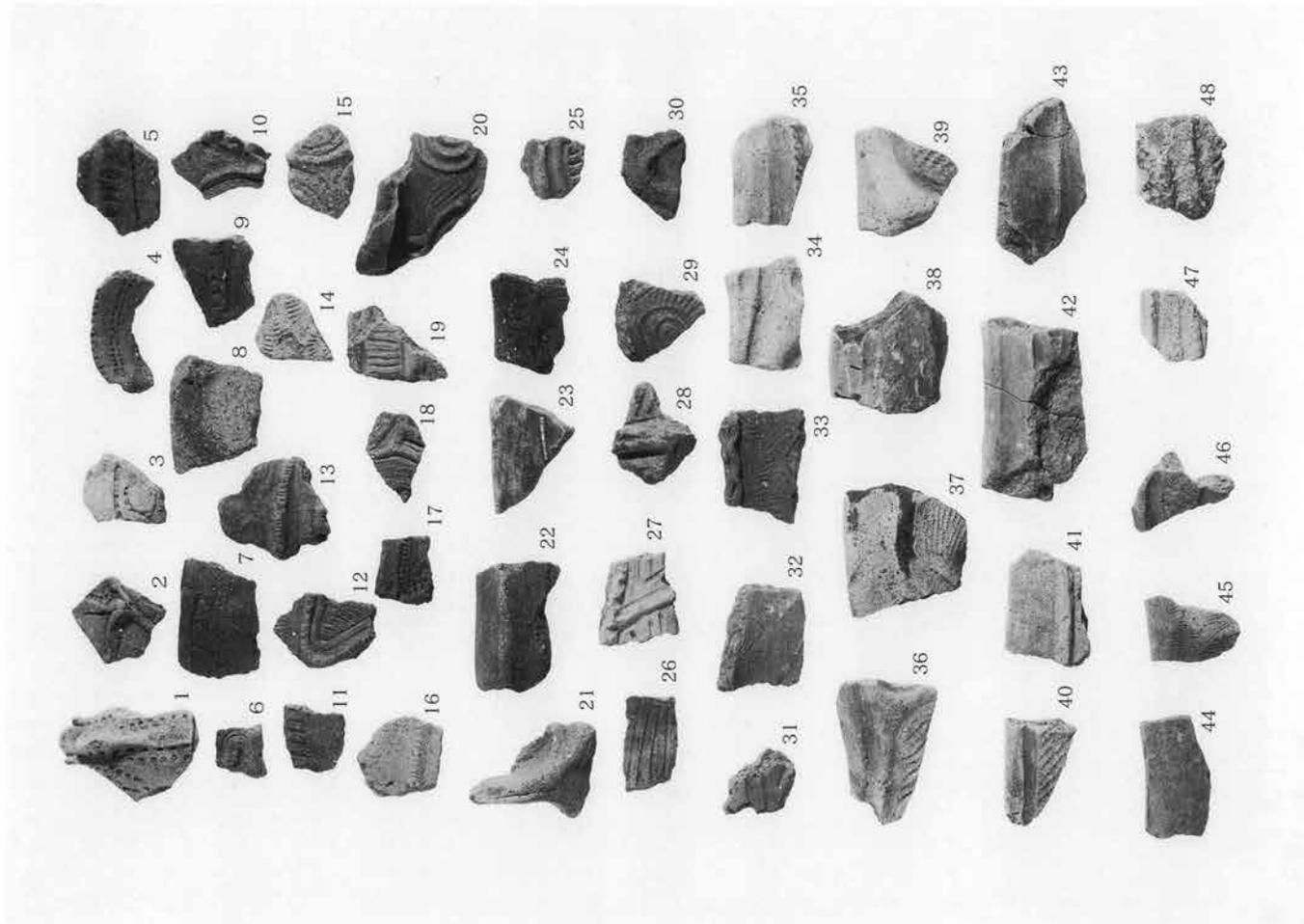


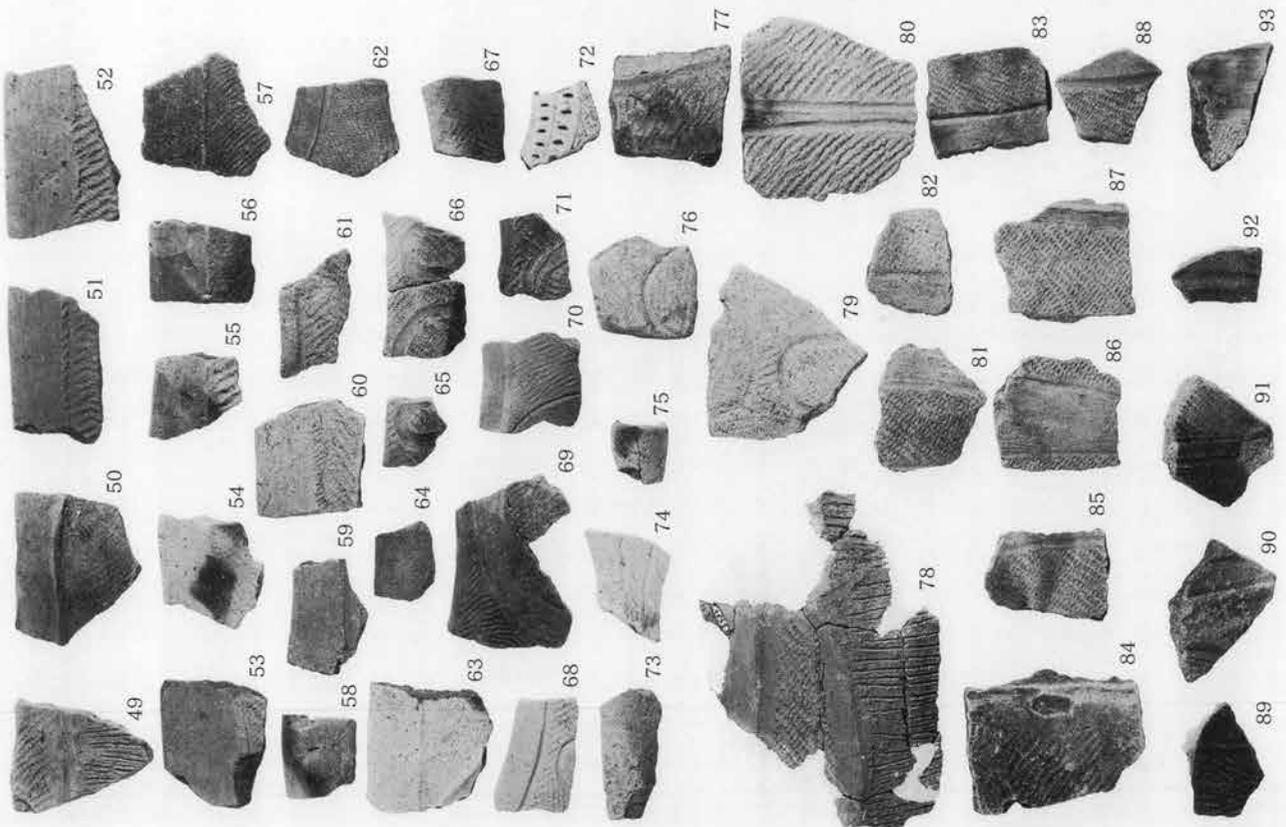
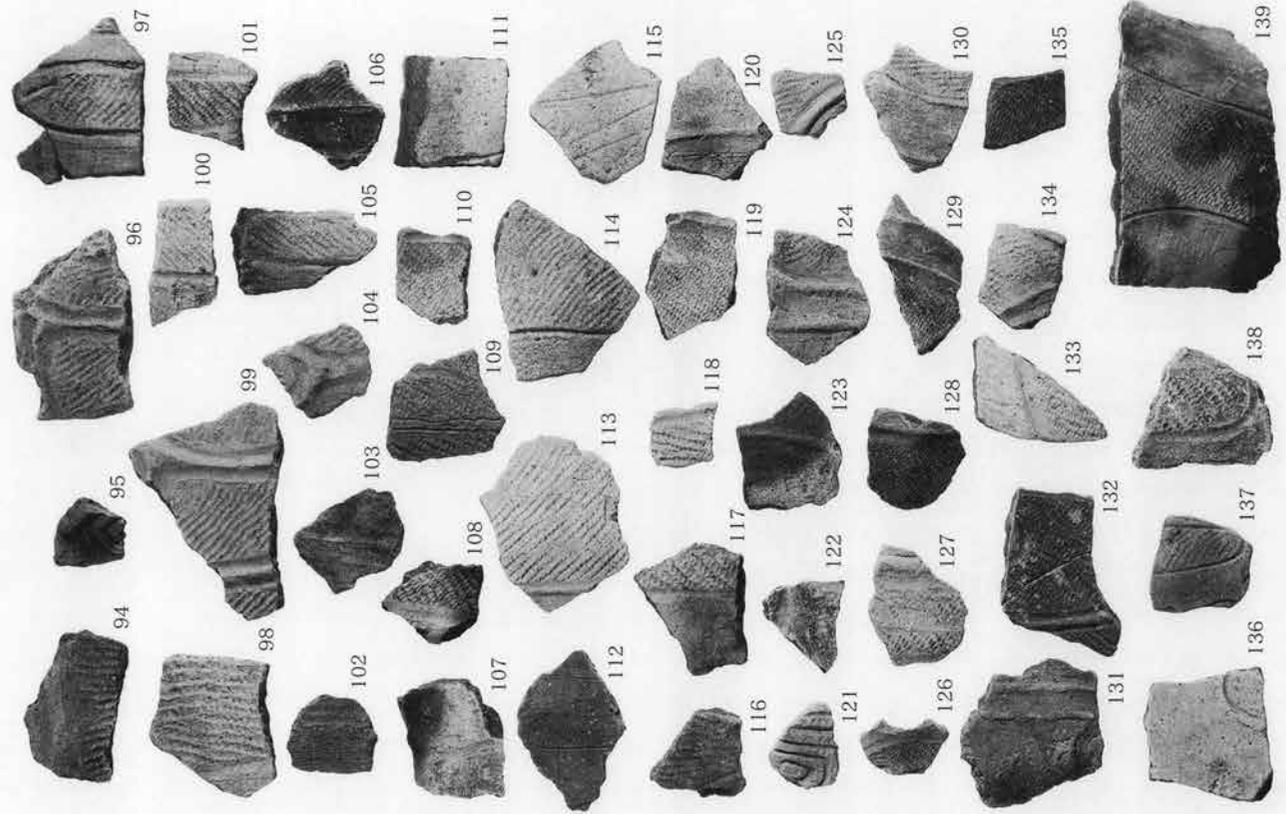


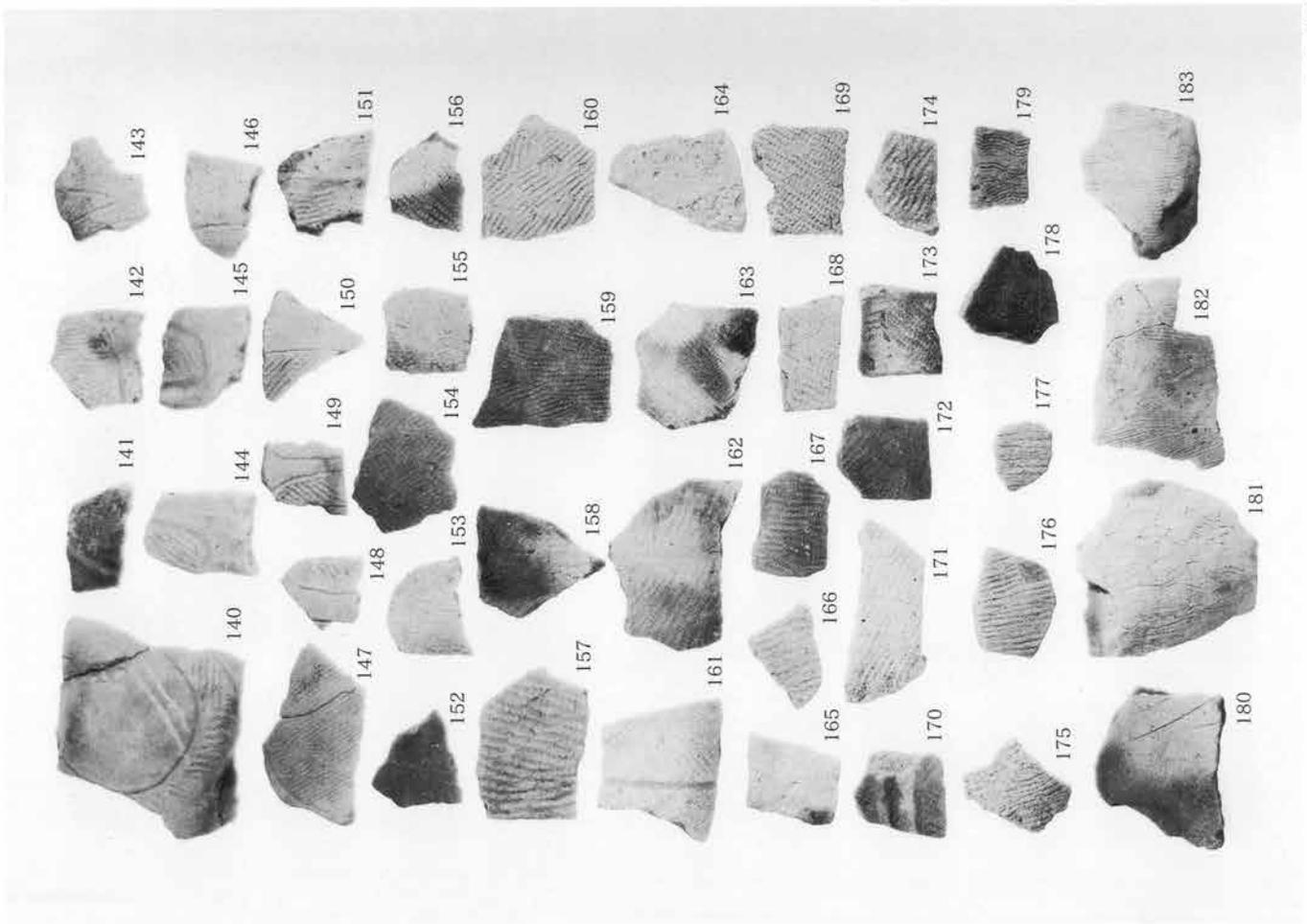
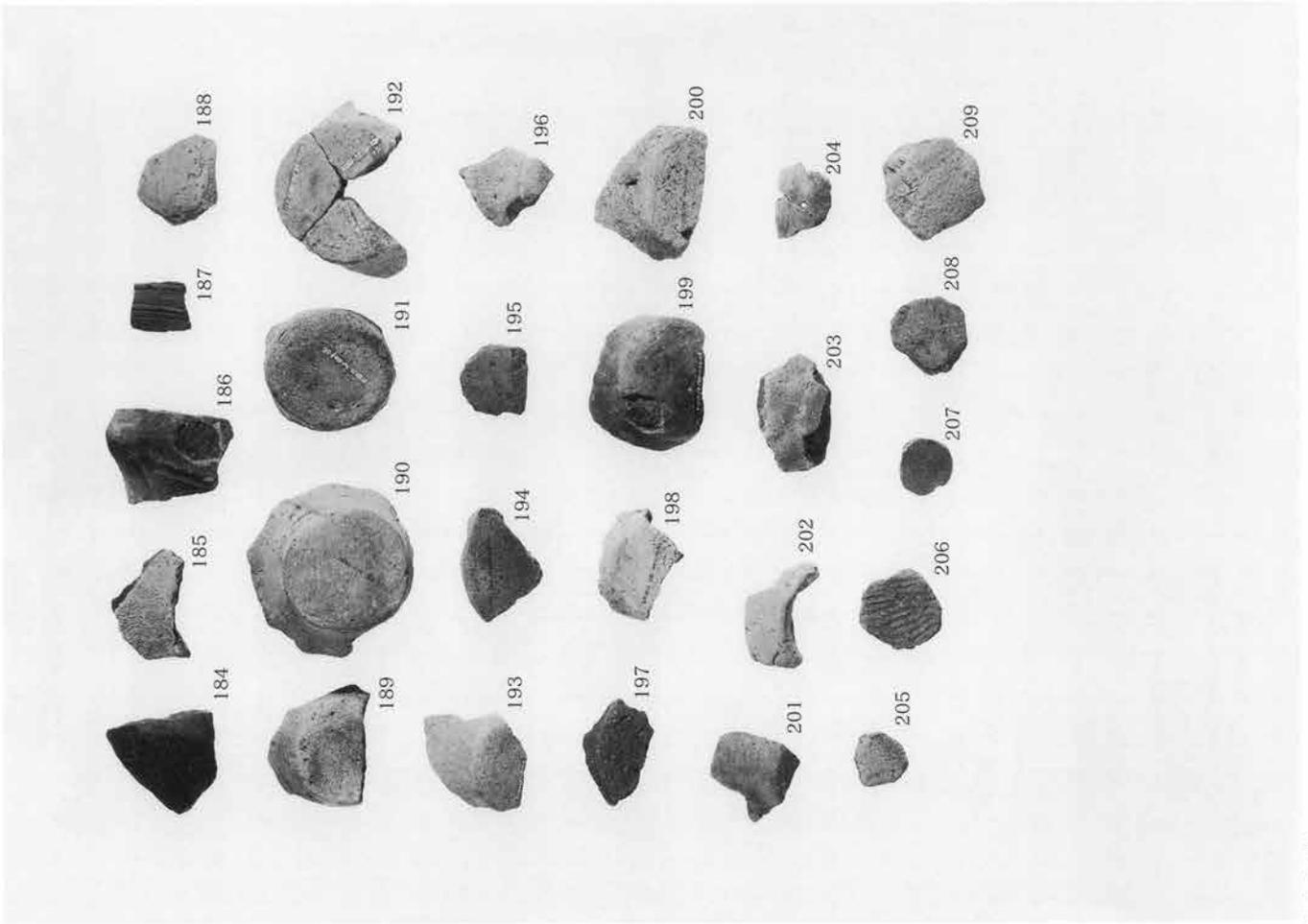
930グロット出土土器

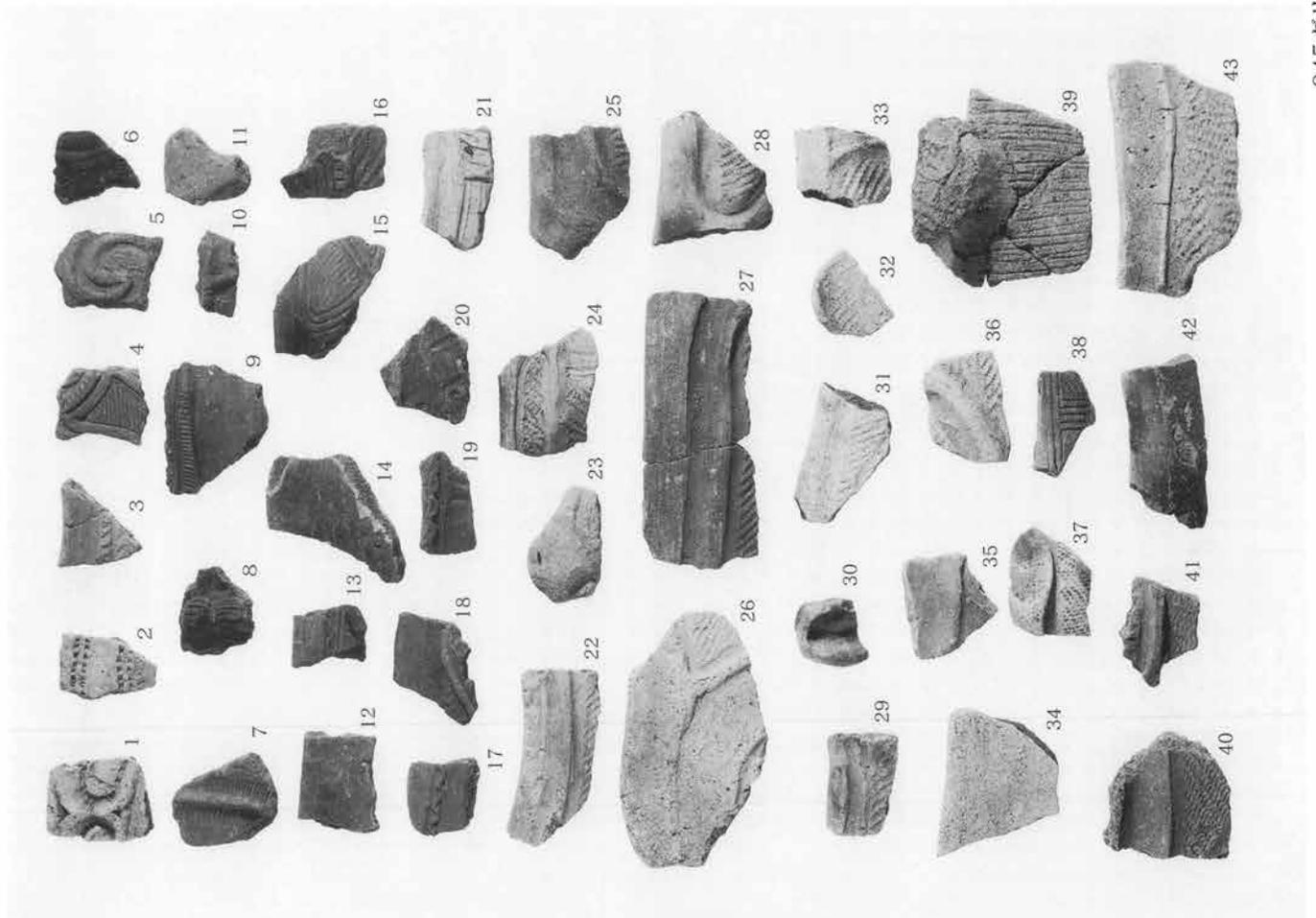
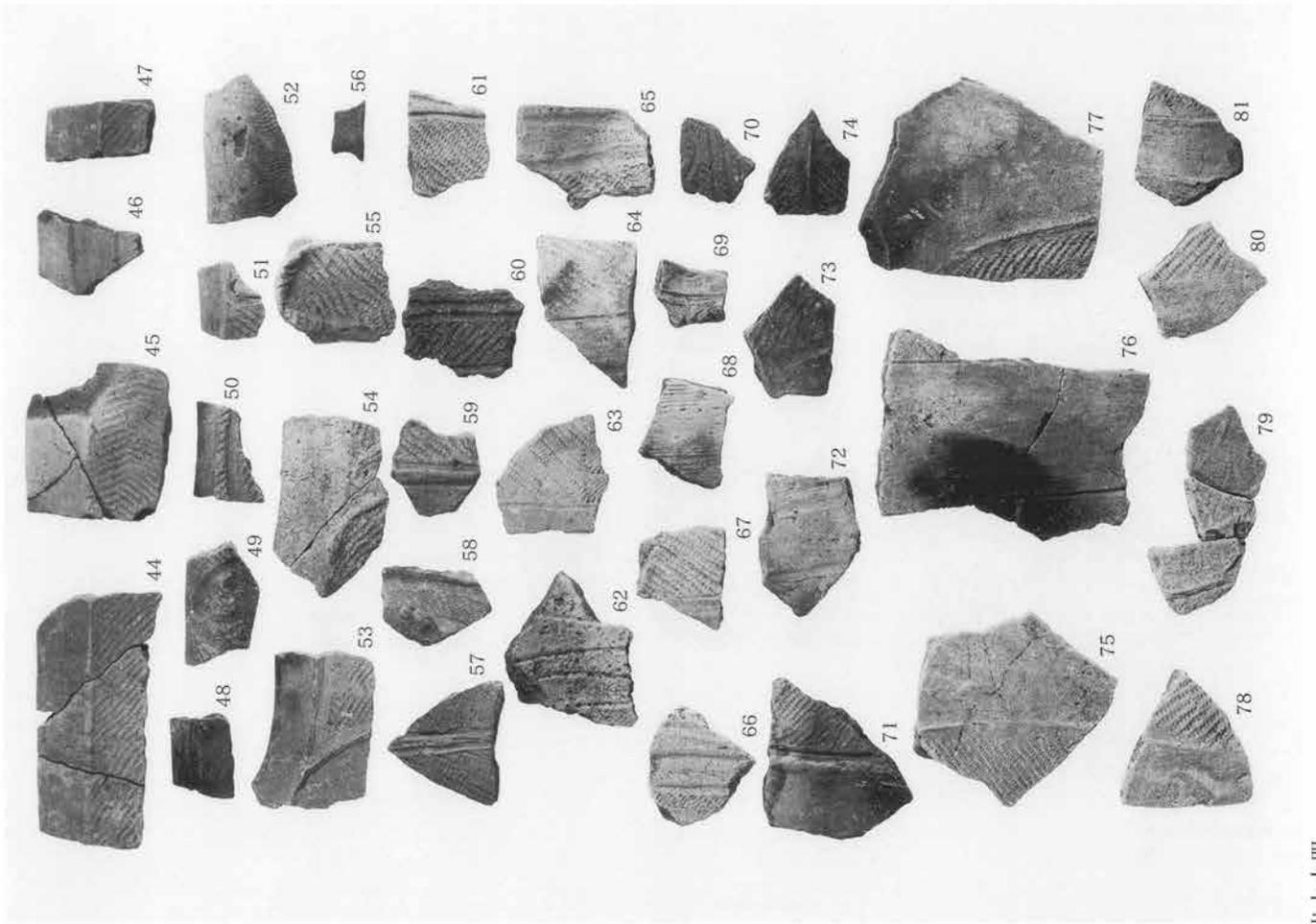


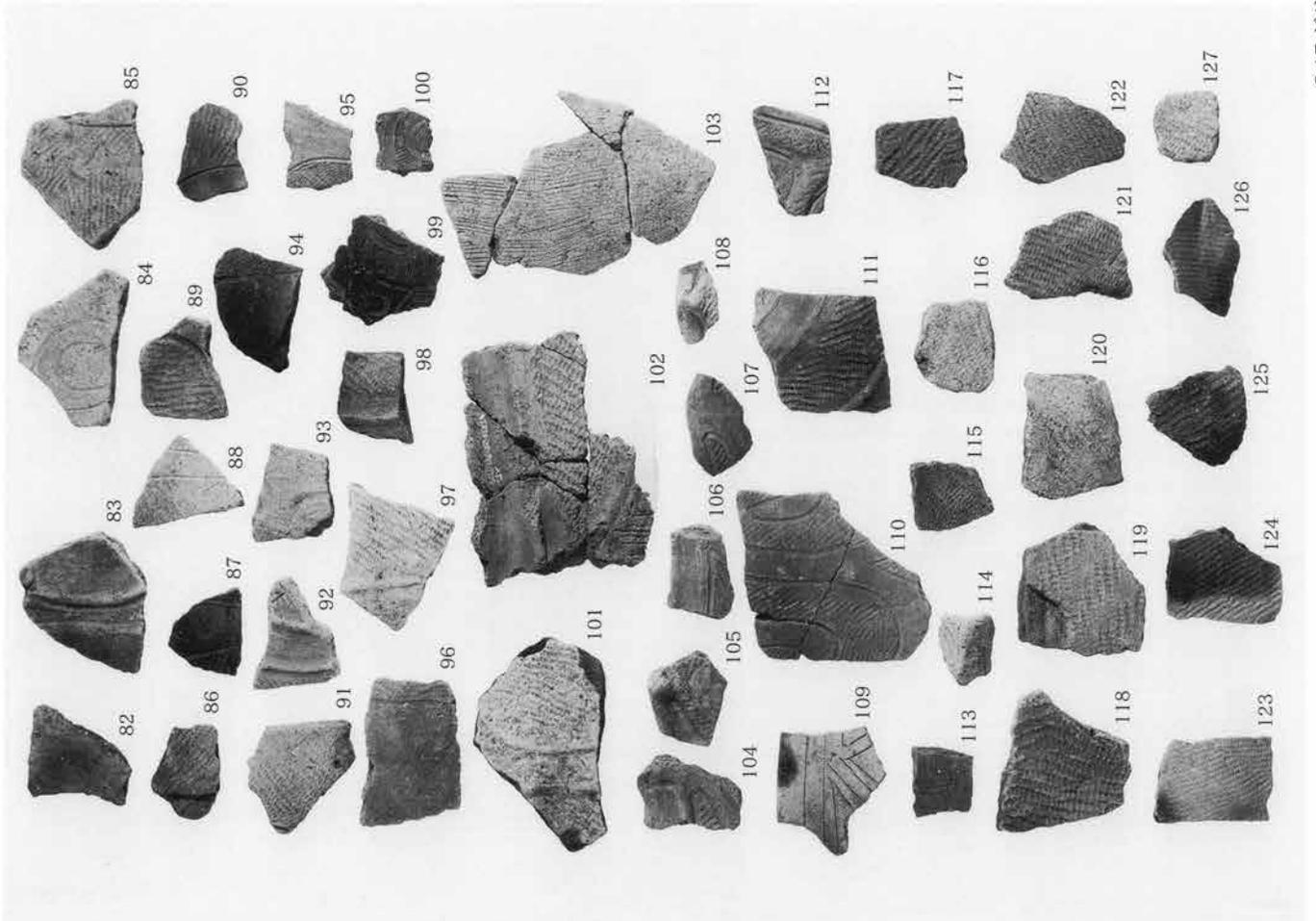
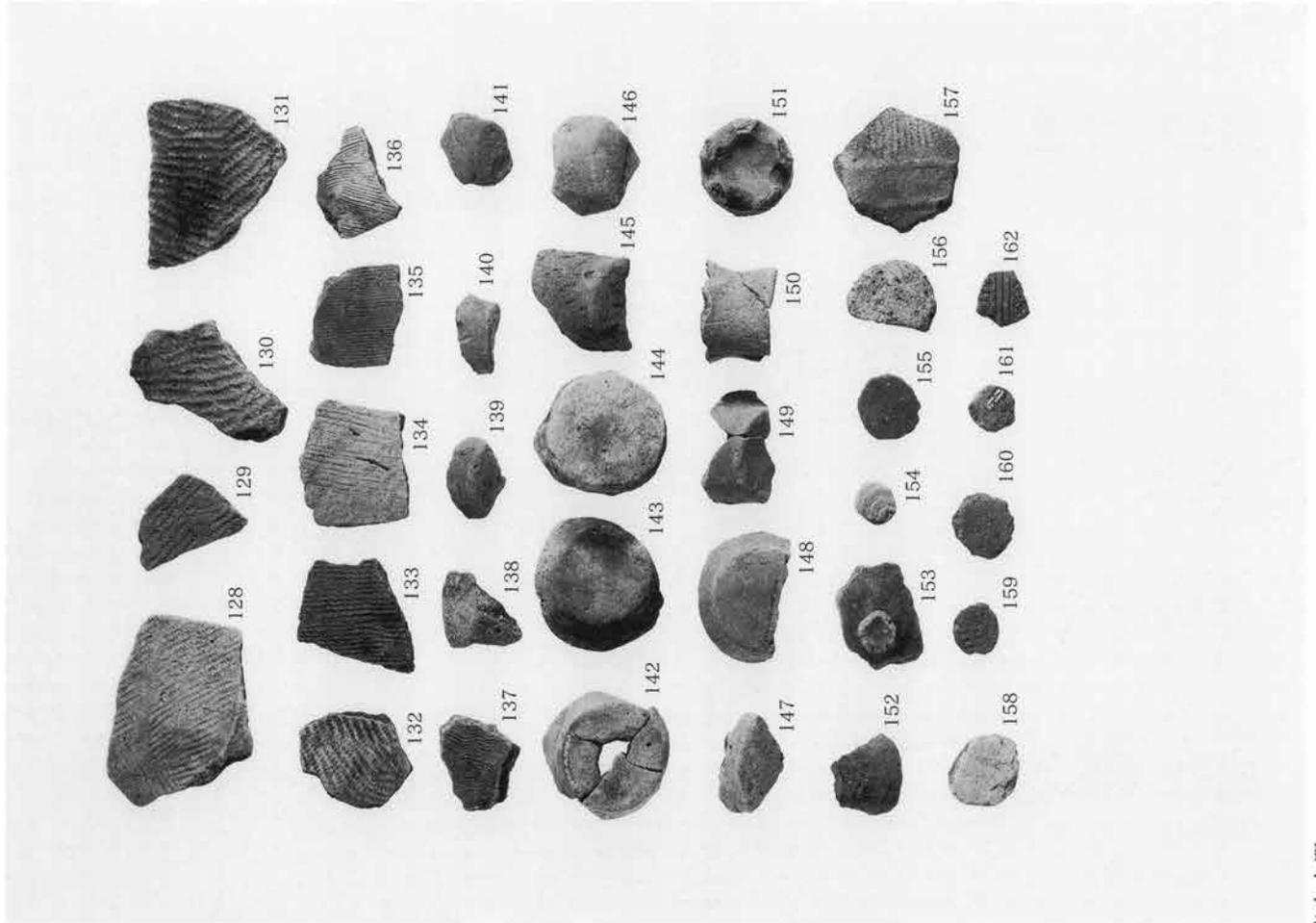


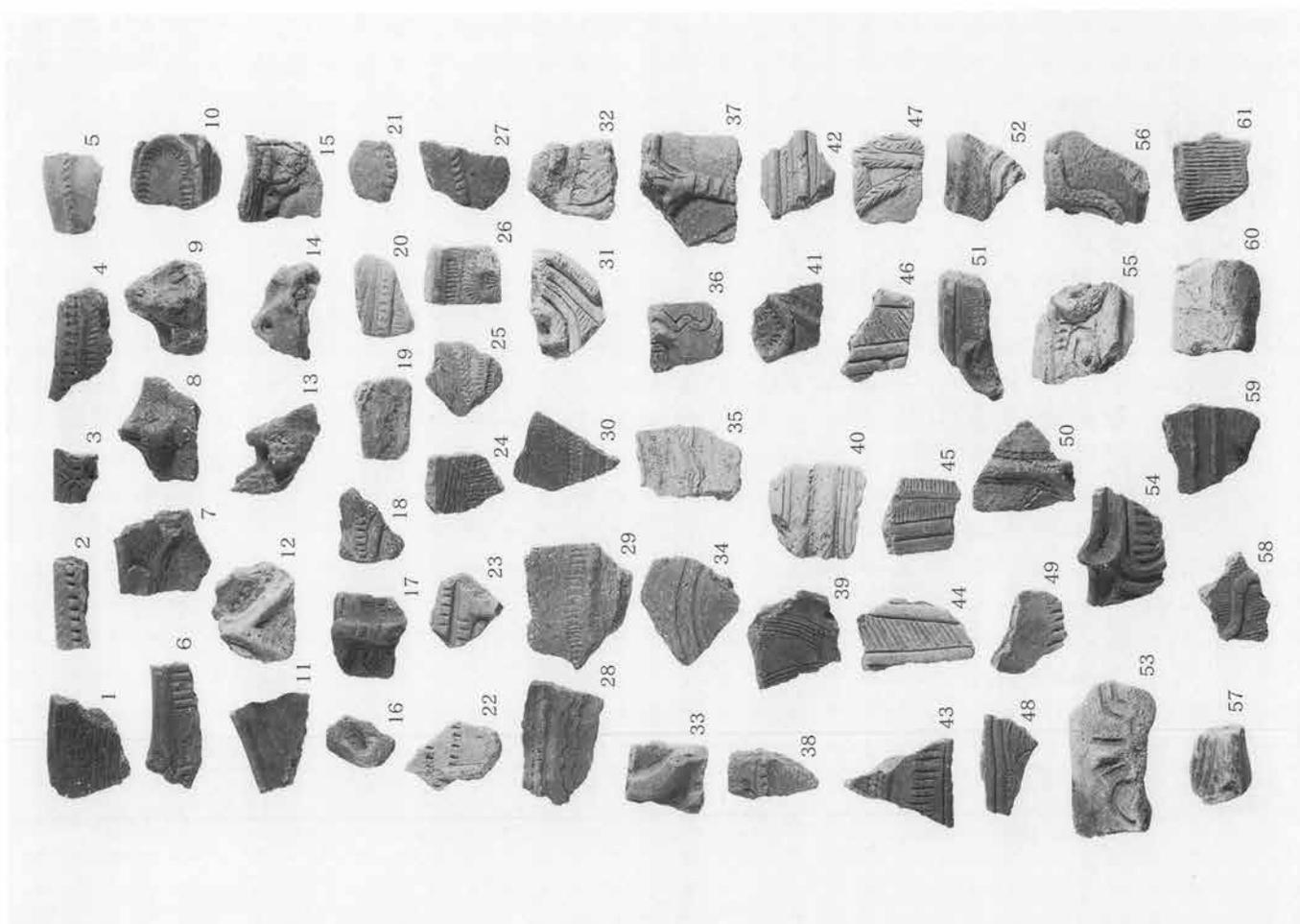
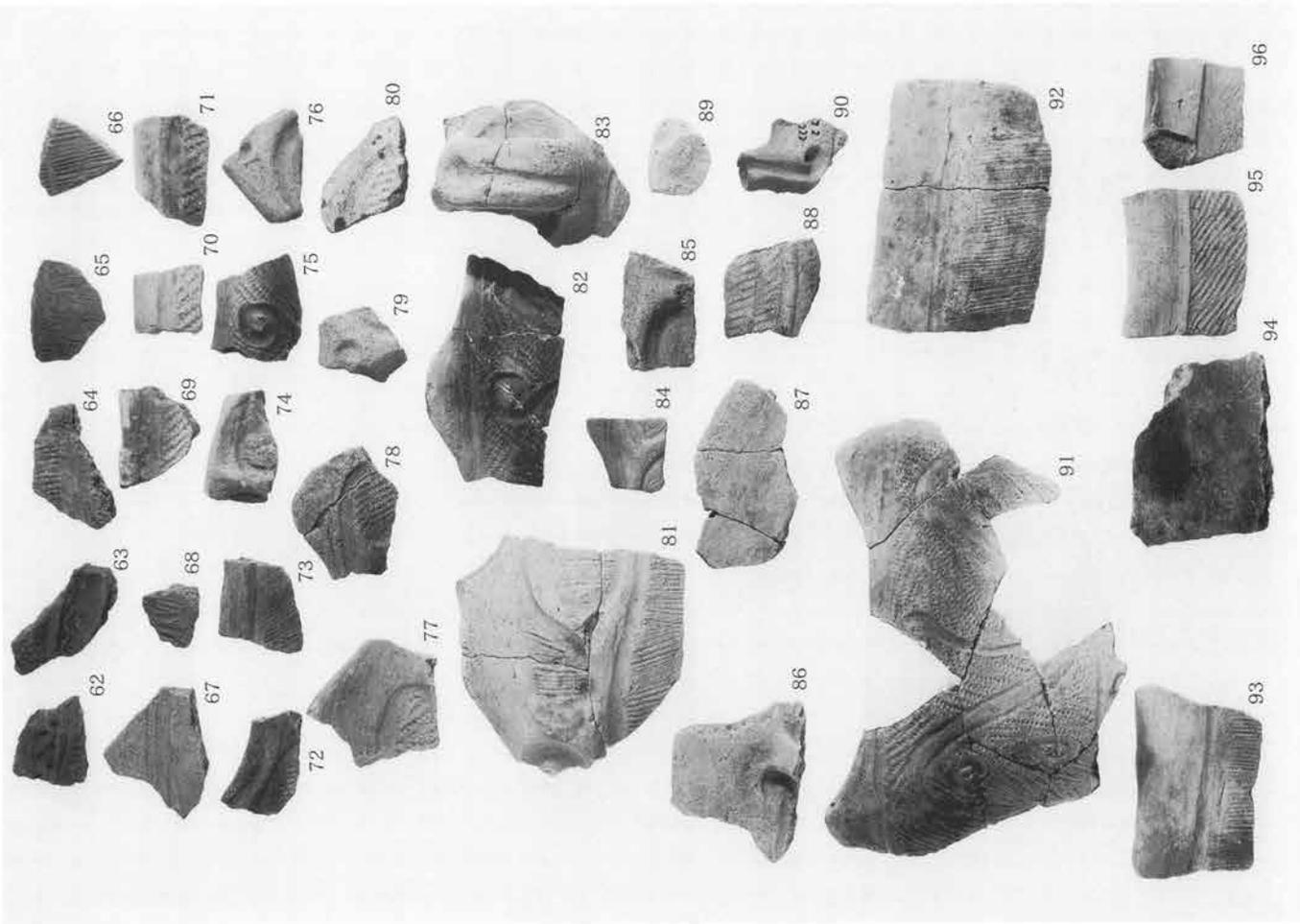




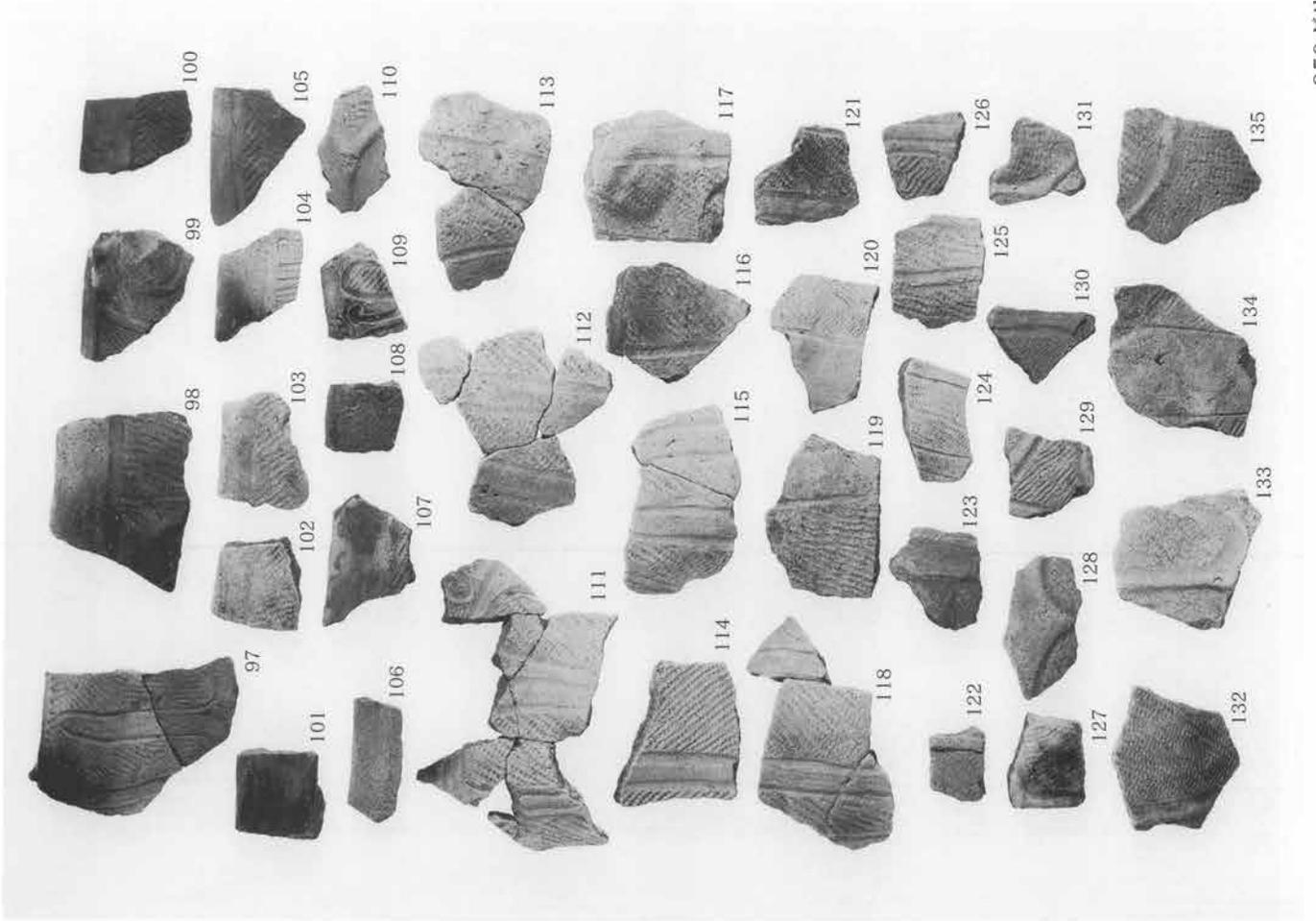
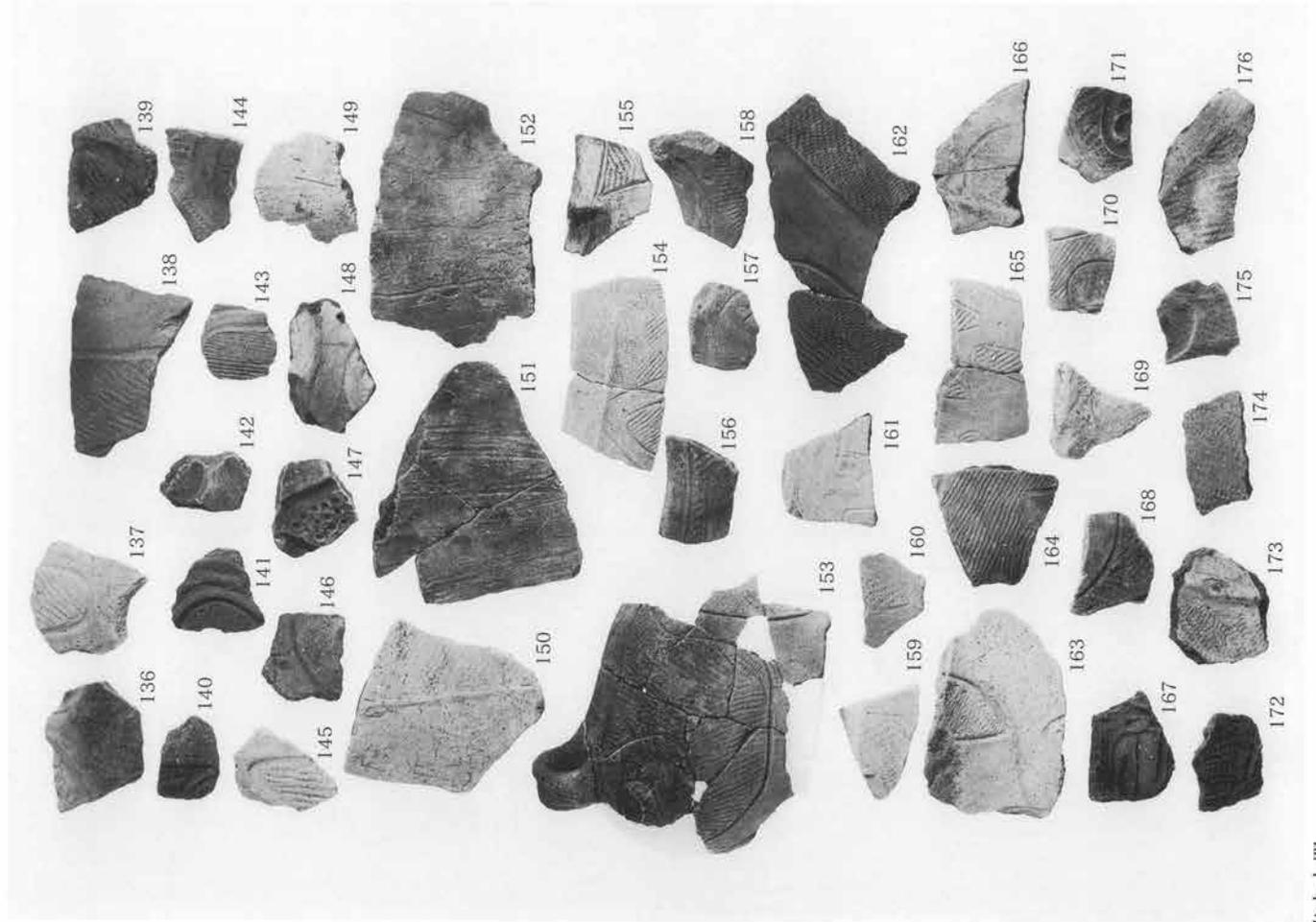


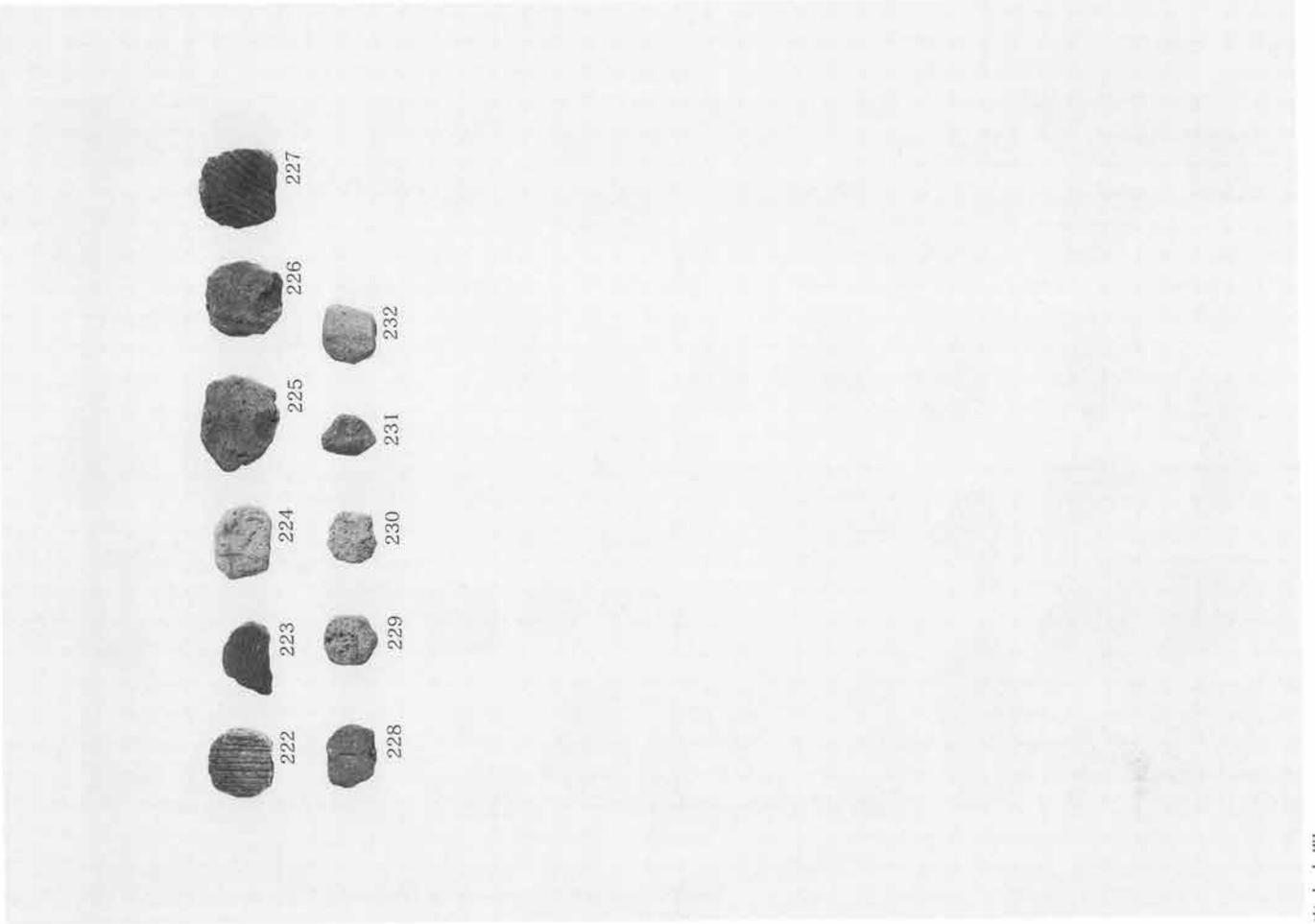
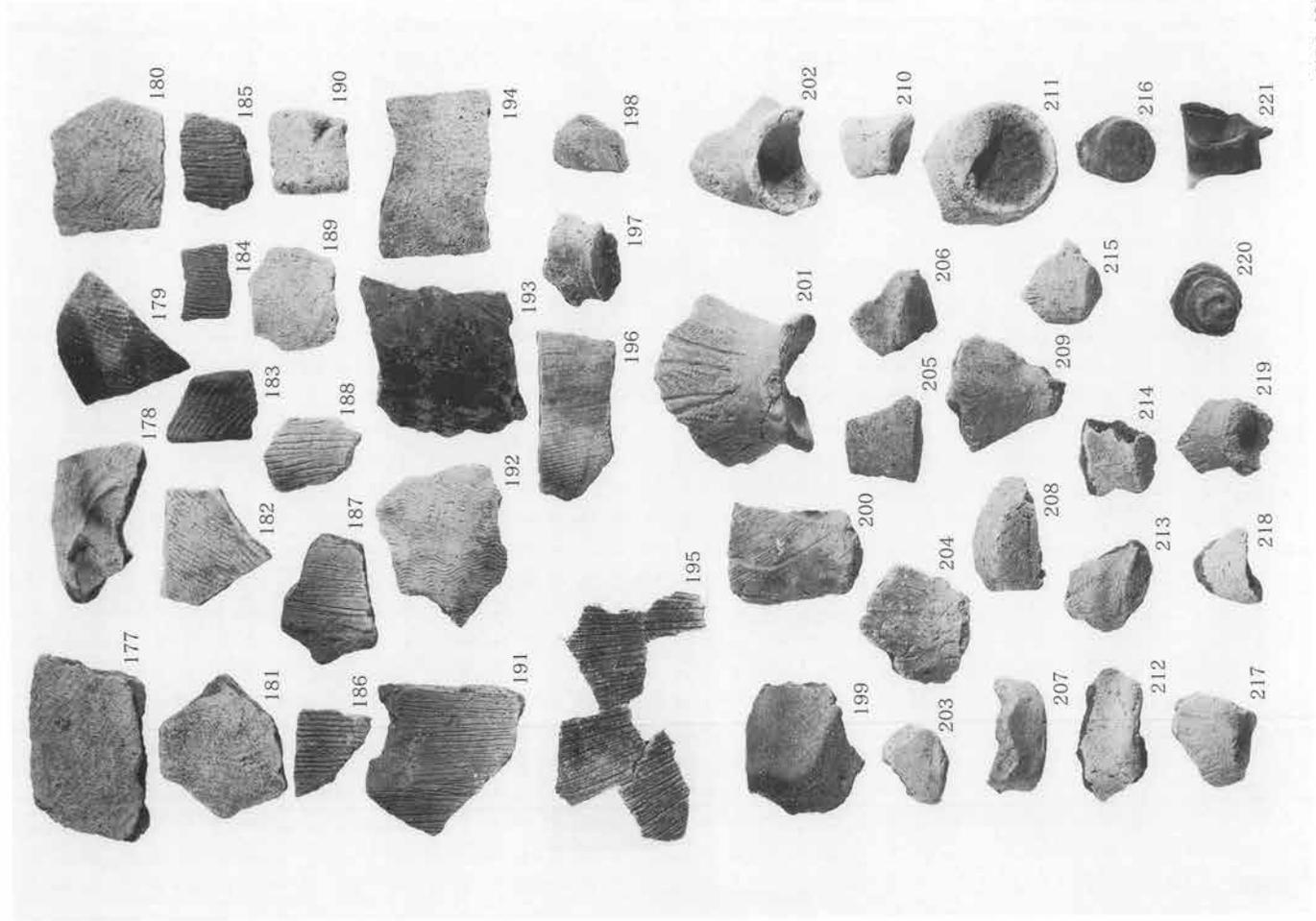


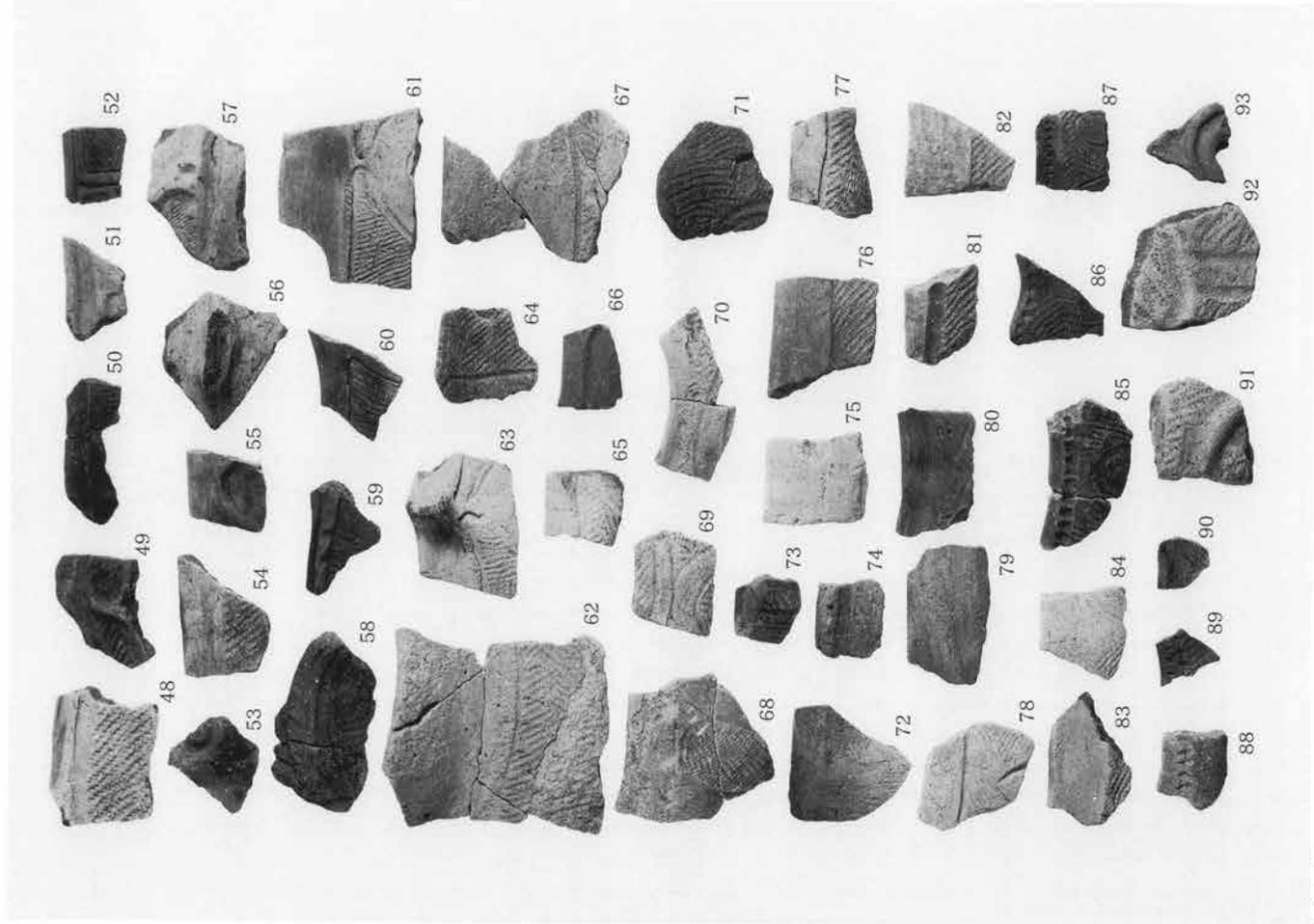
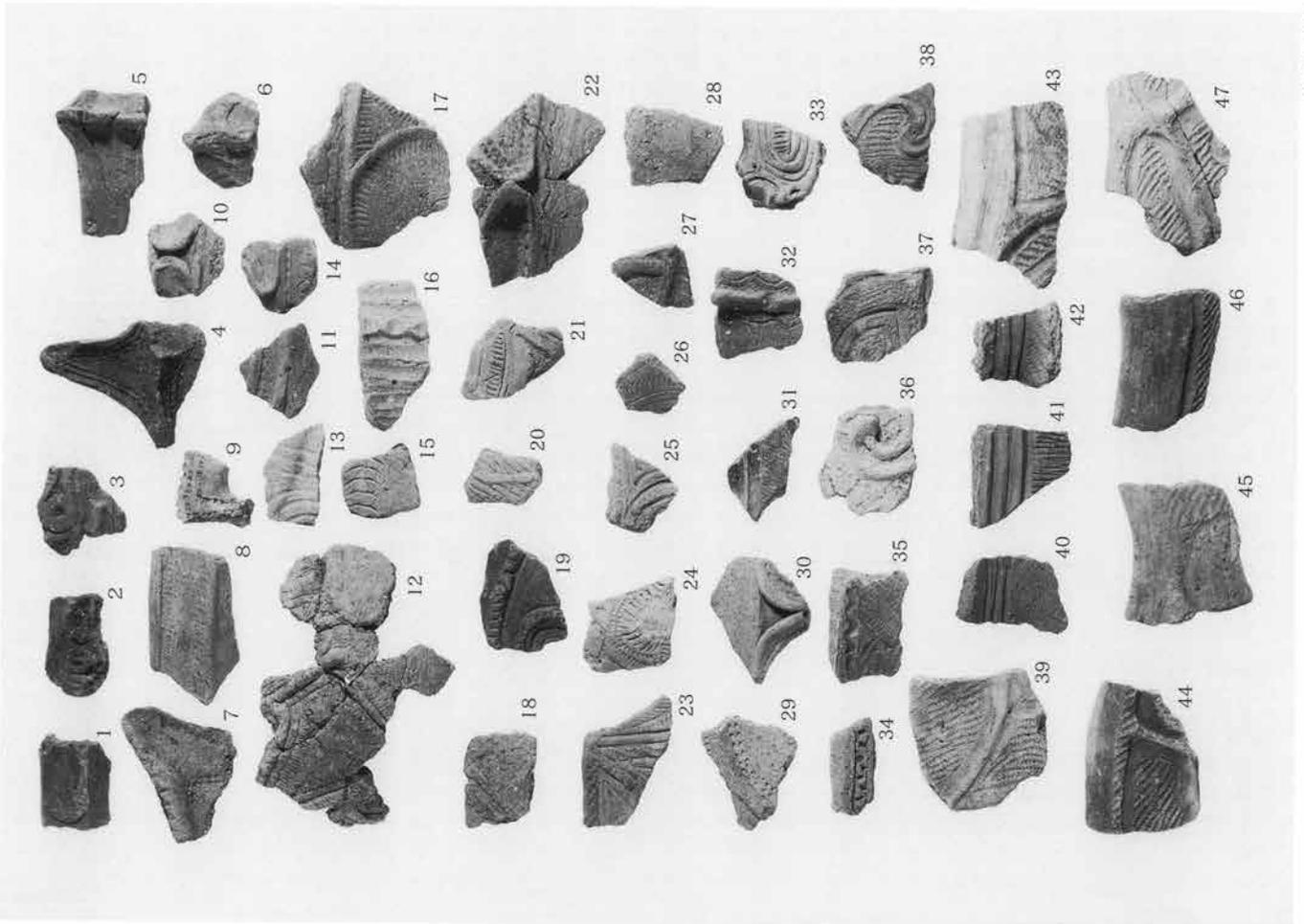


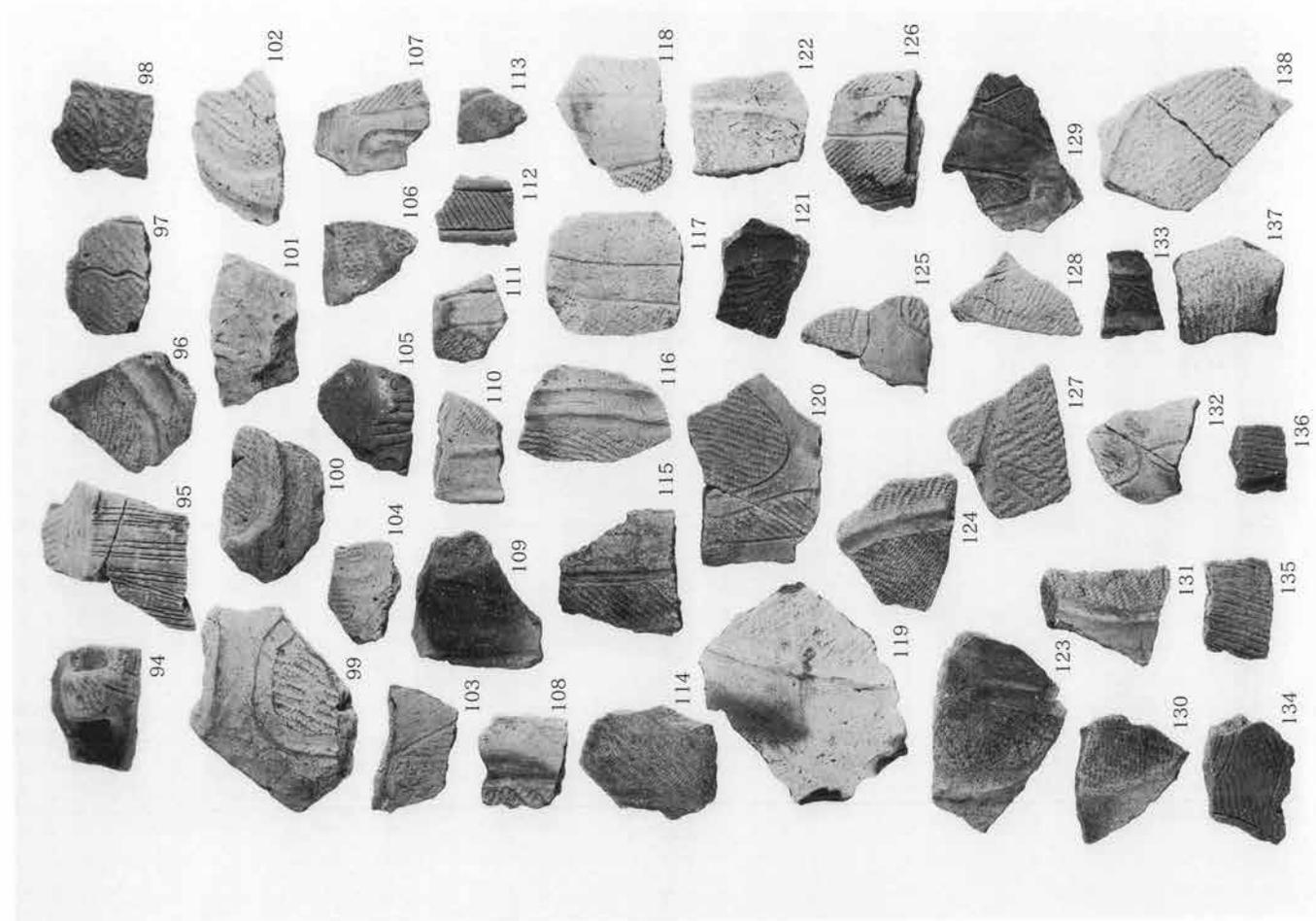
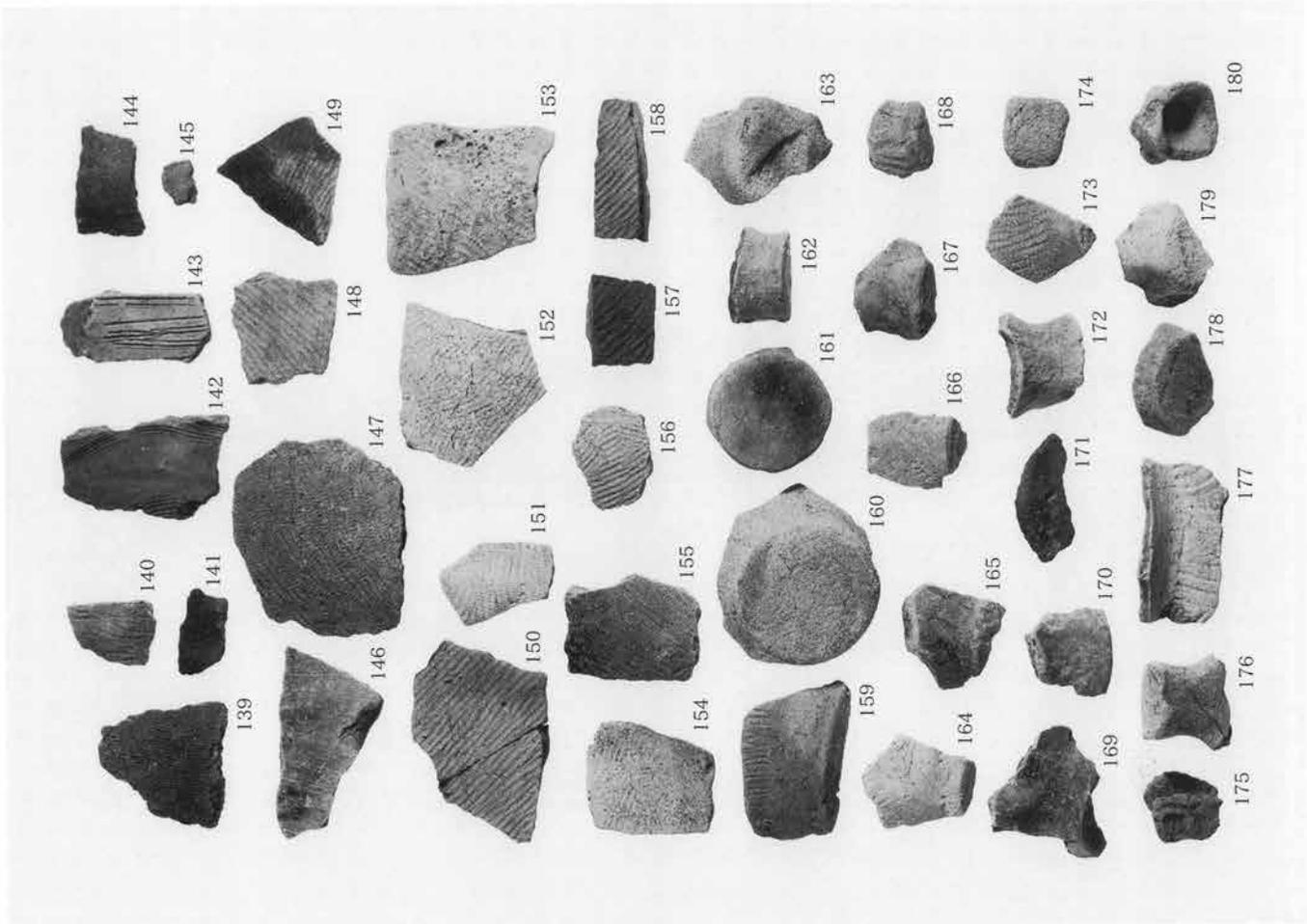


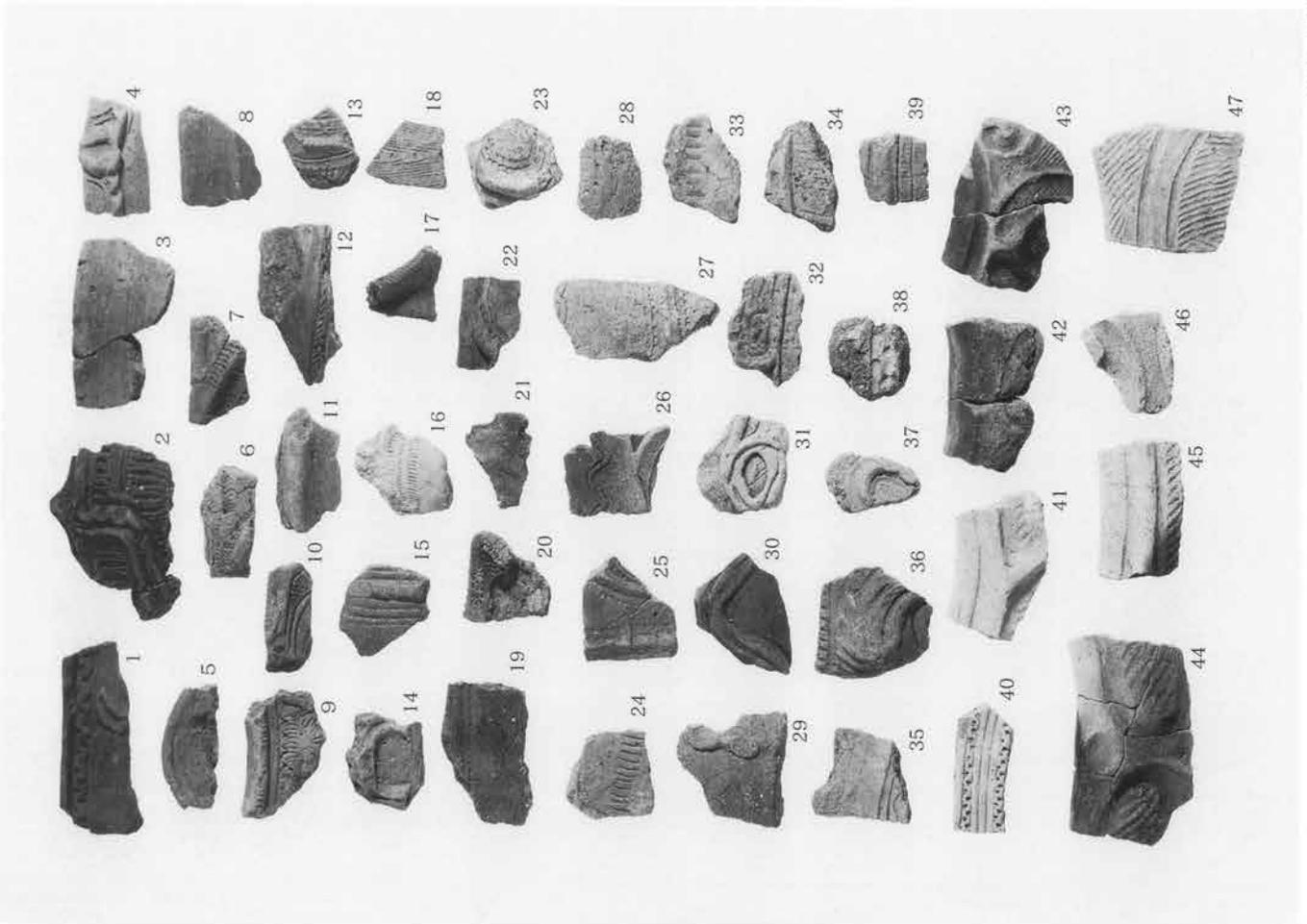
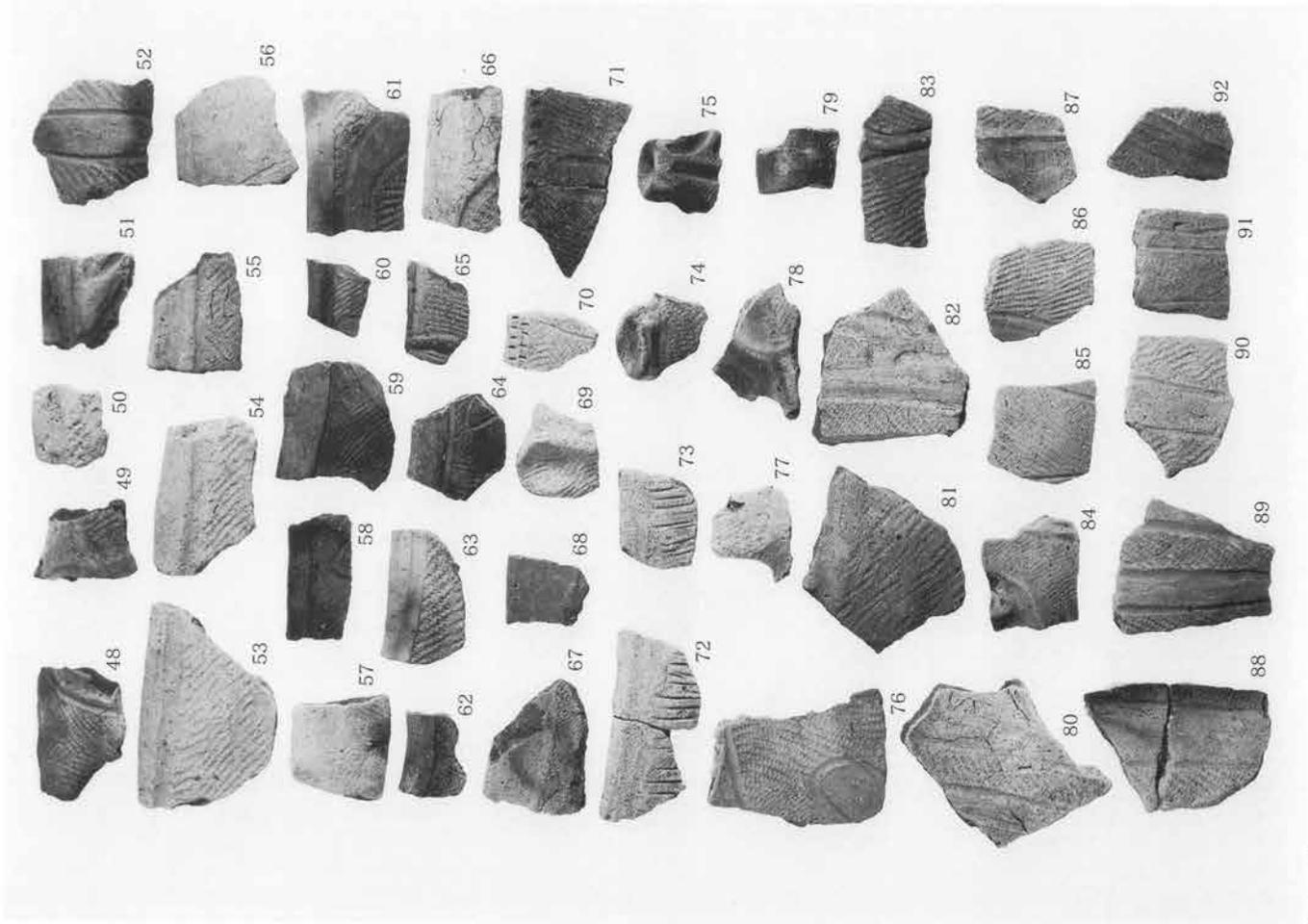
950グリッド出土土器

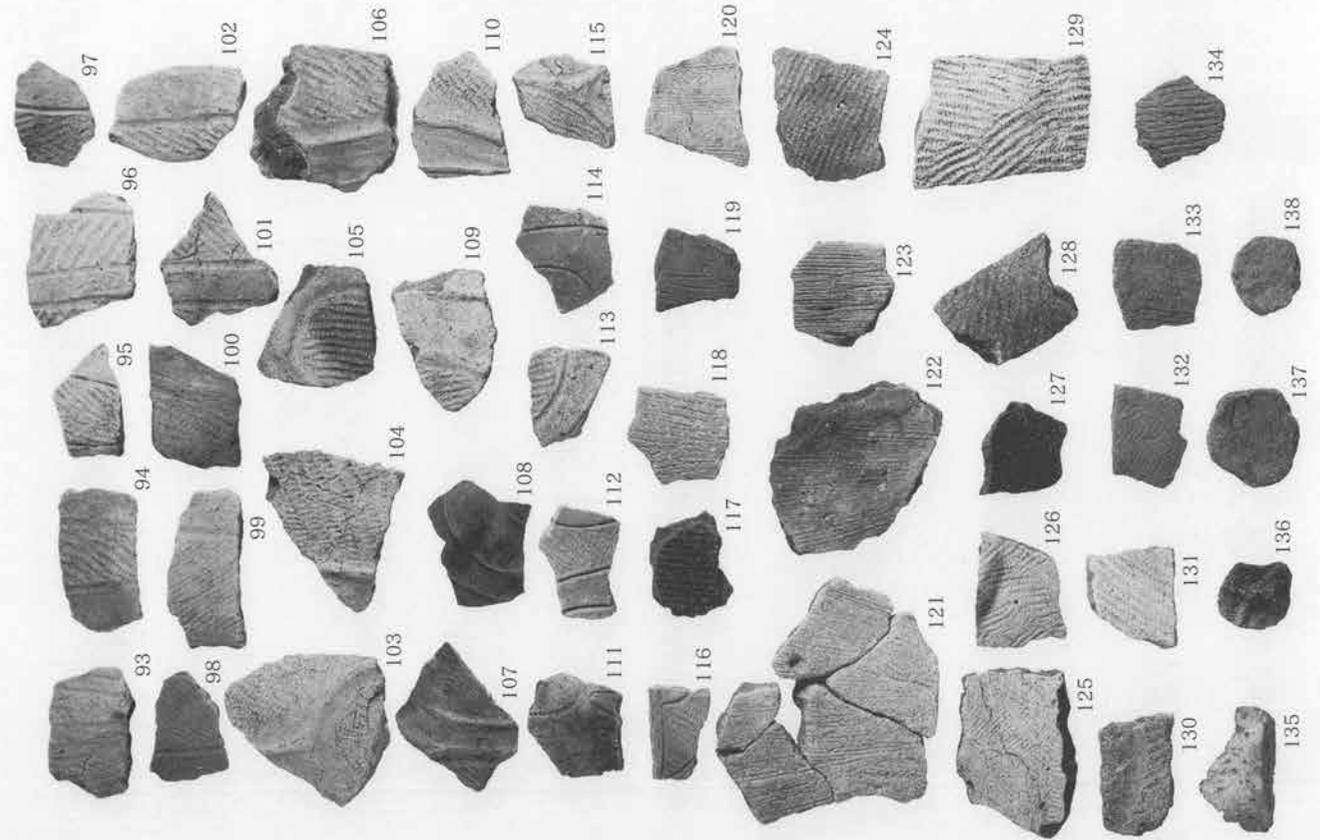
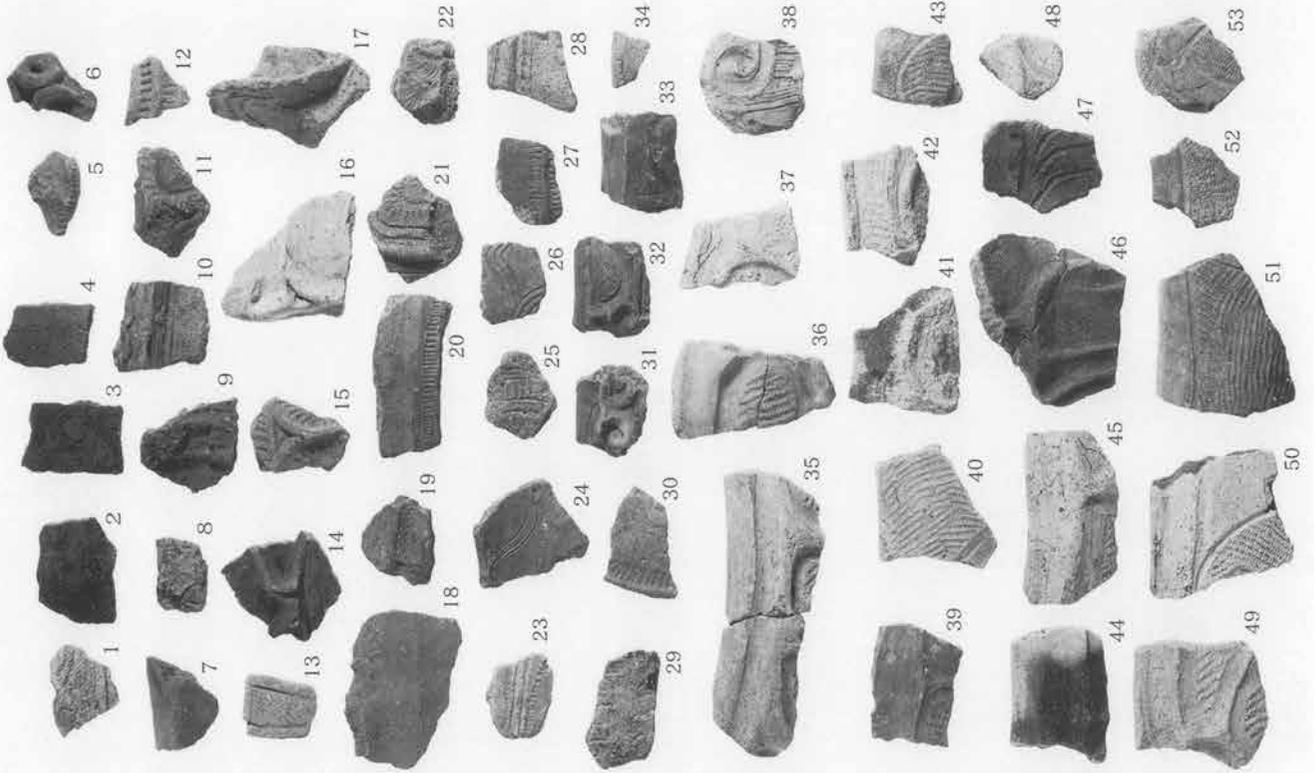


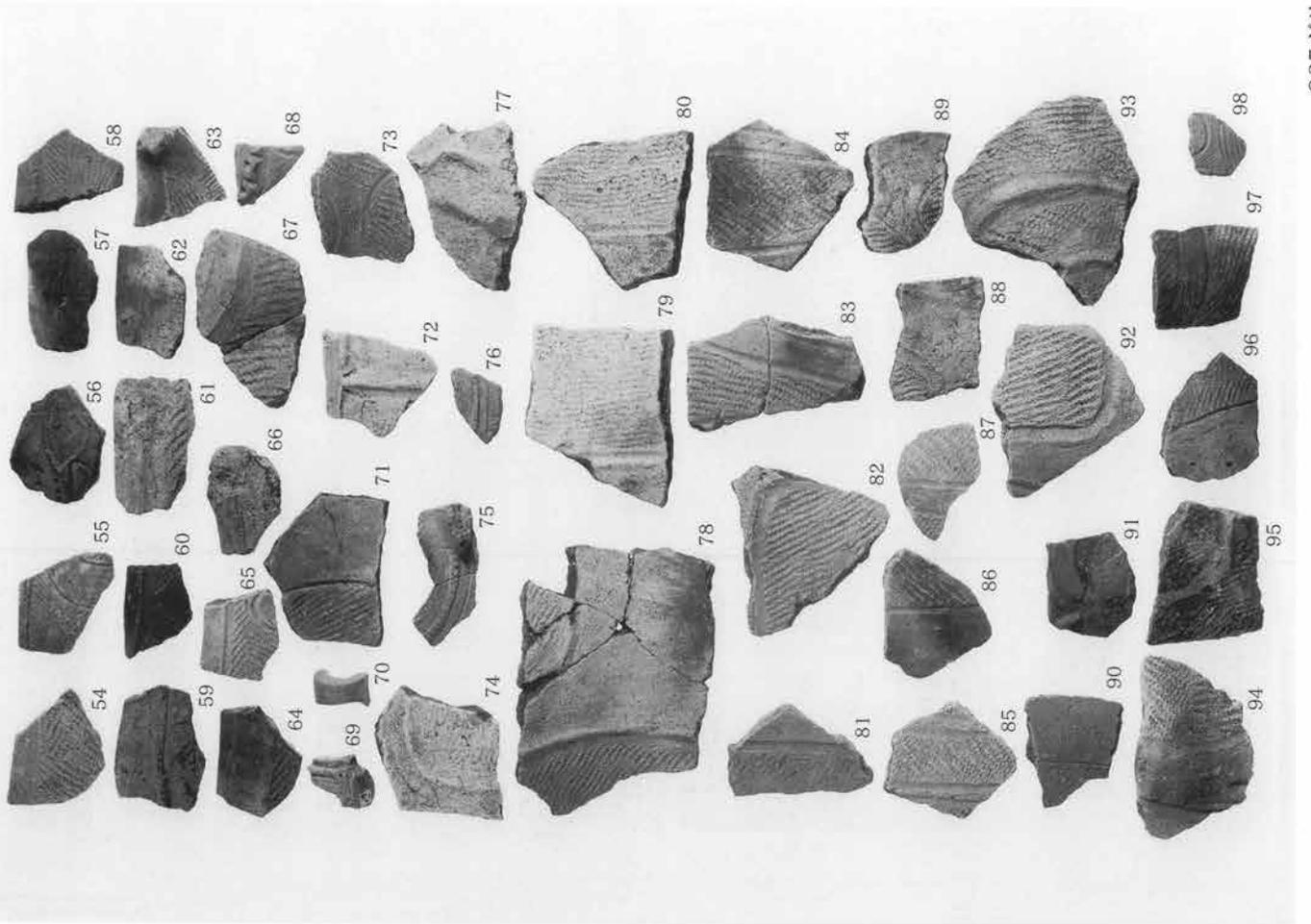
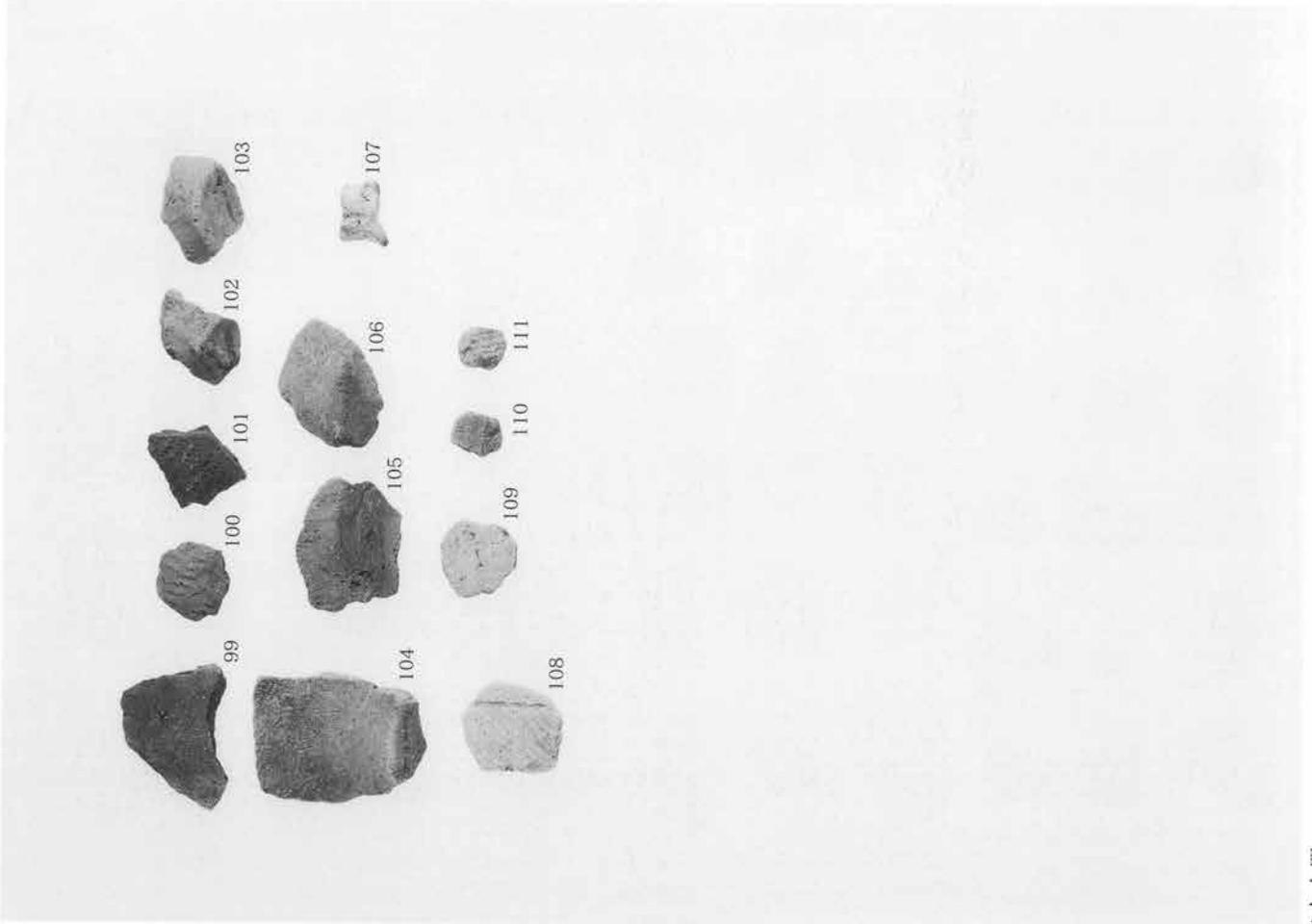


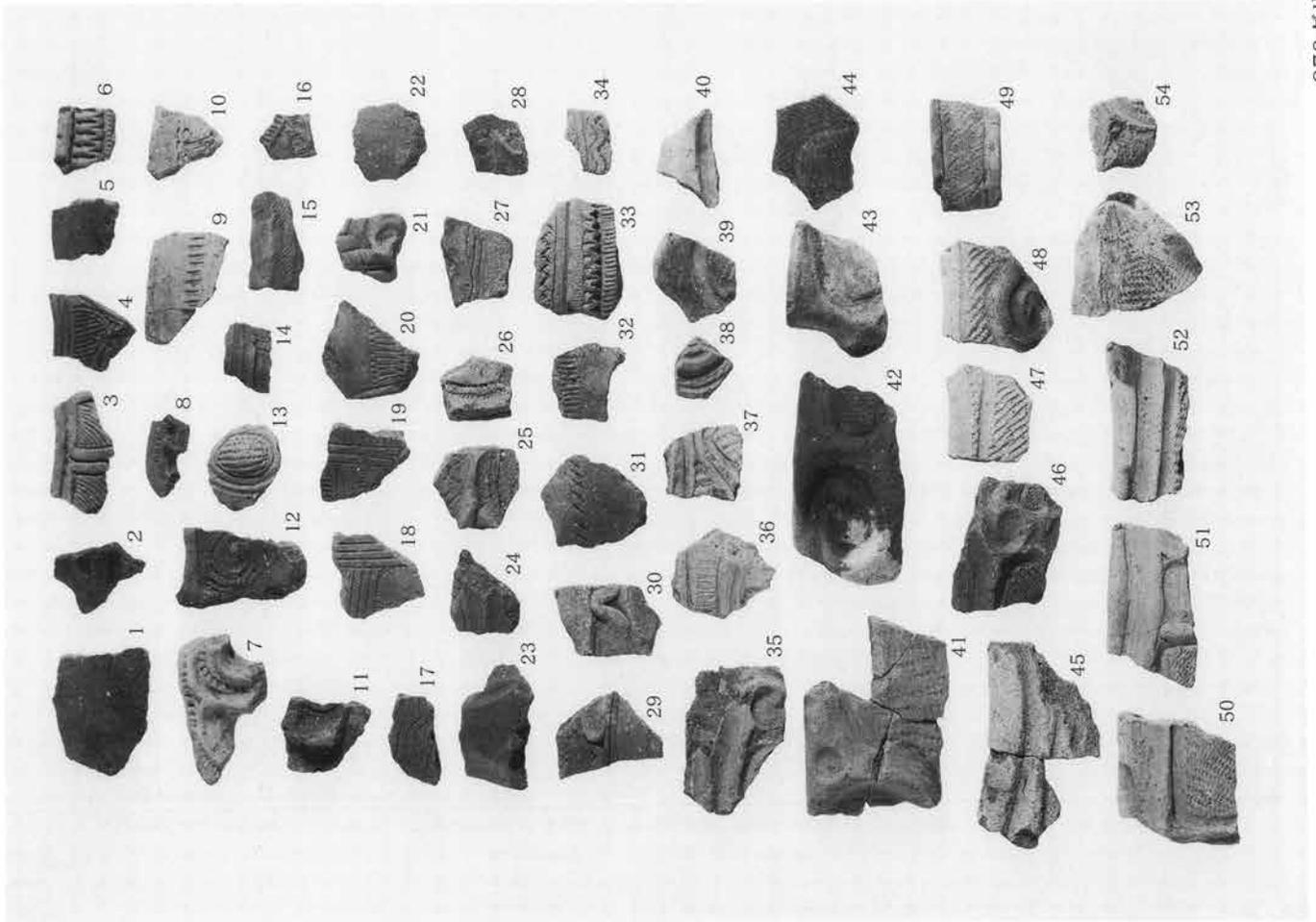
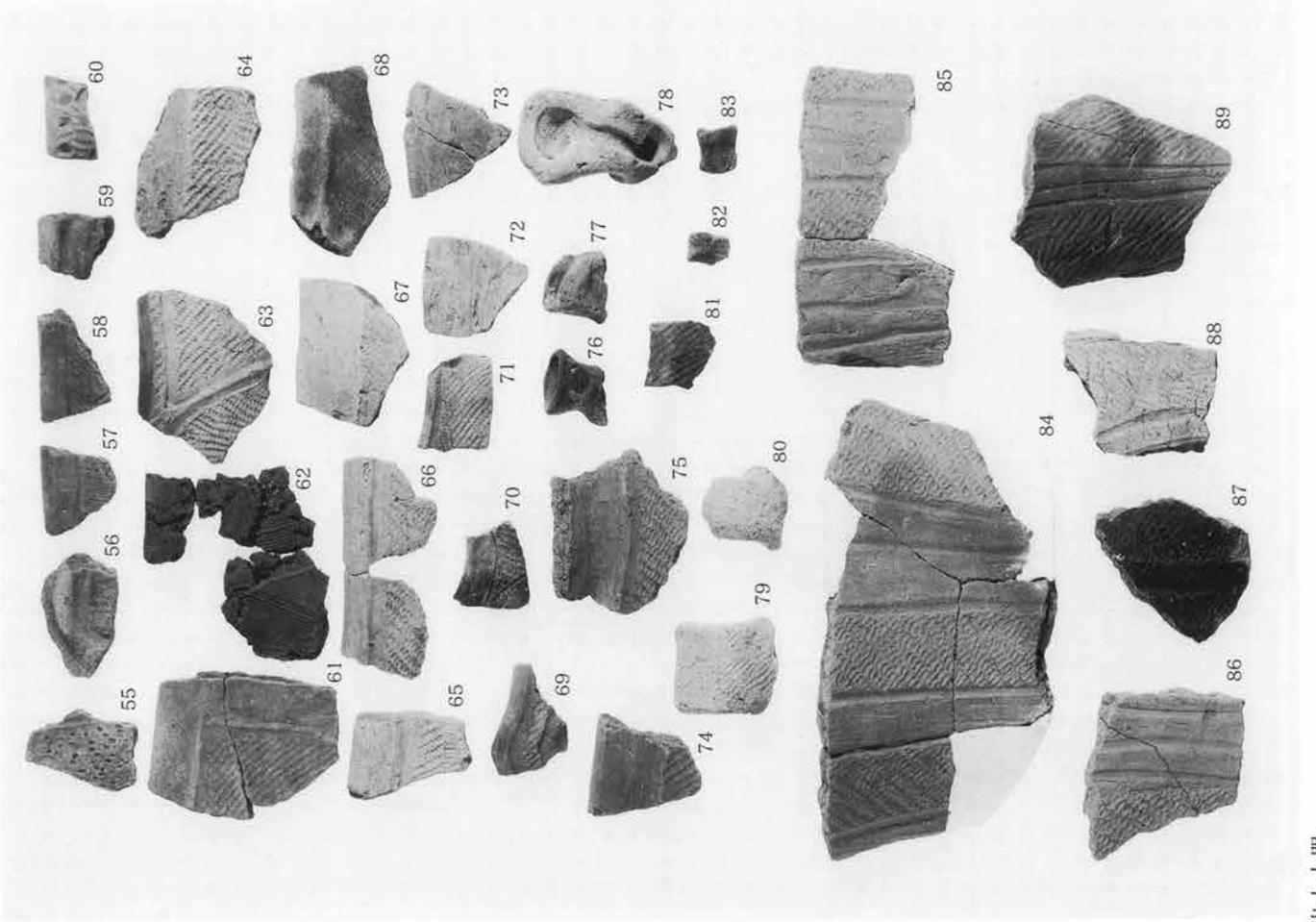


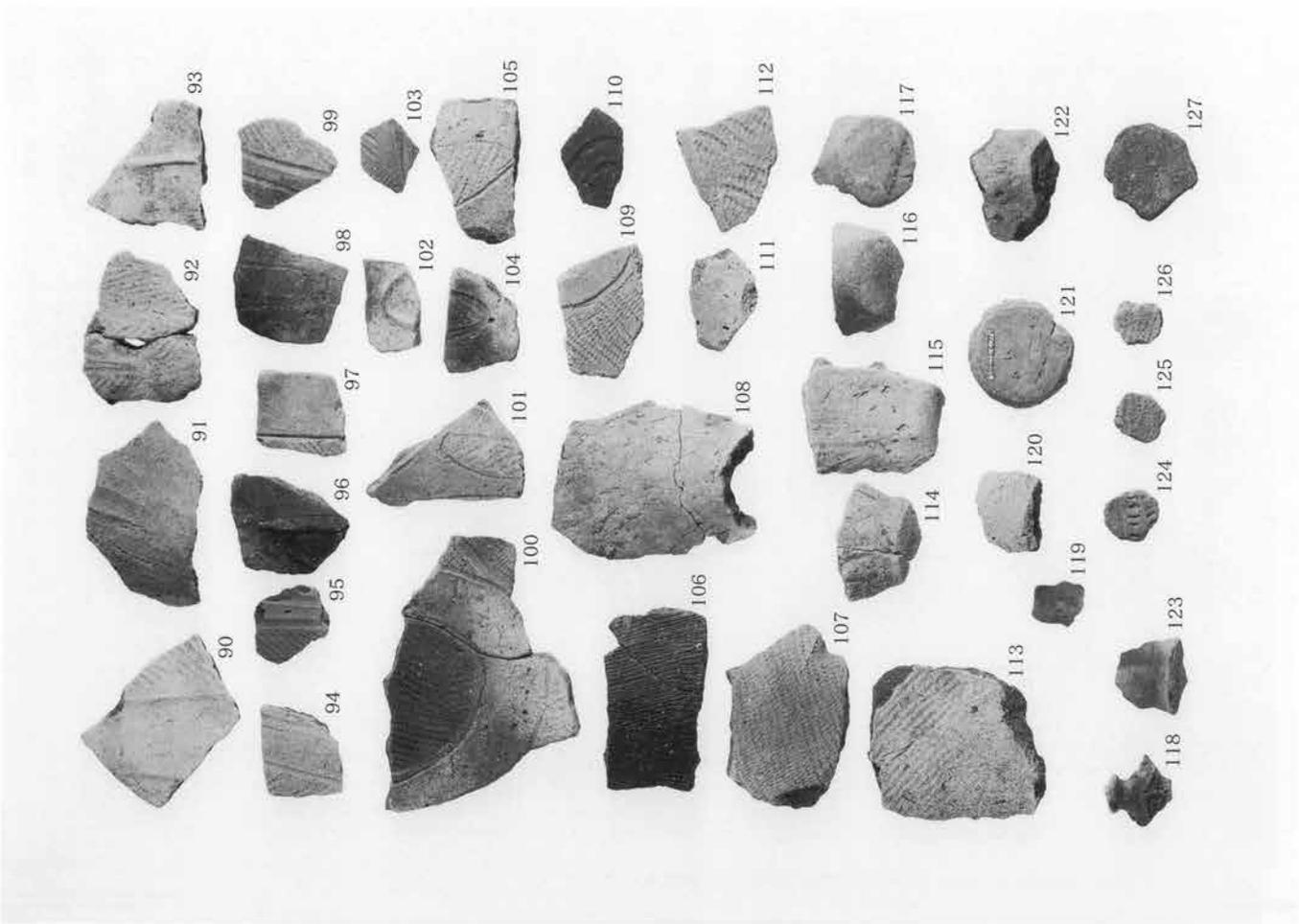
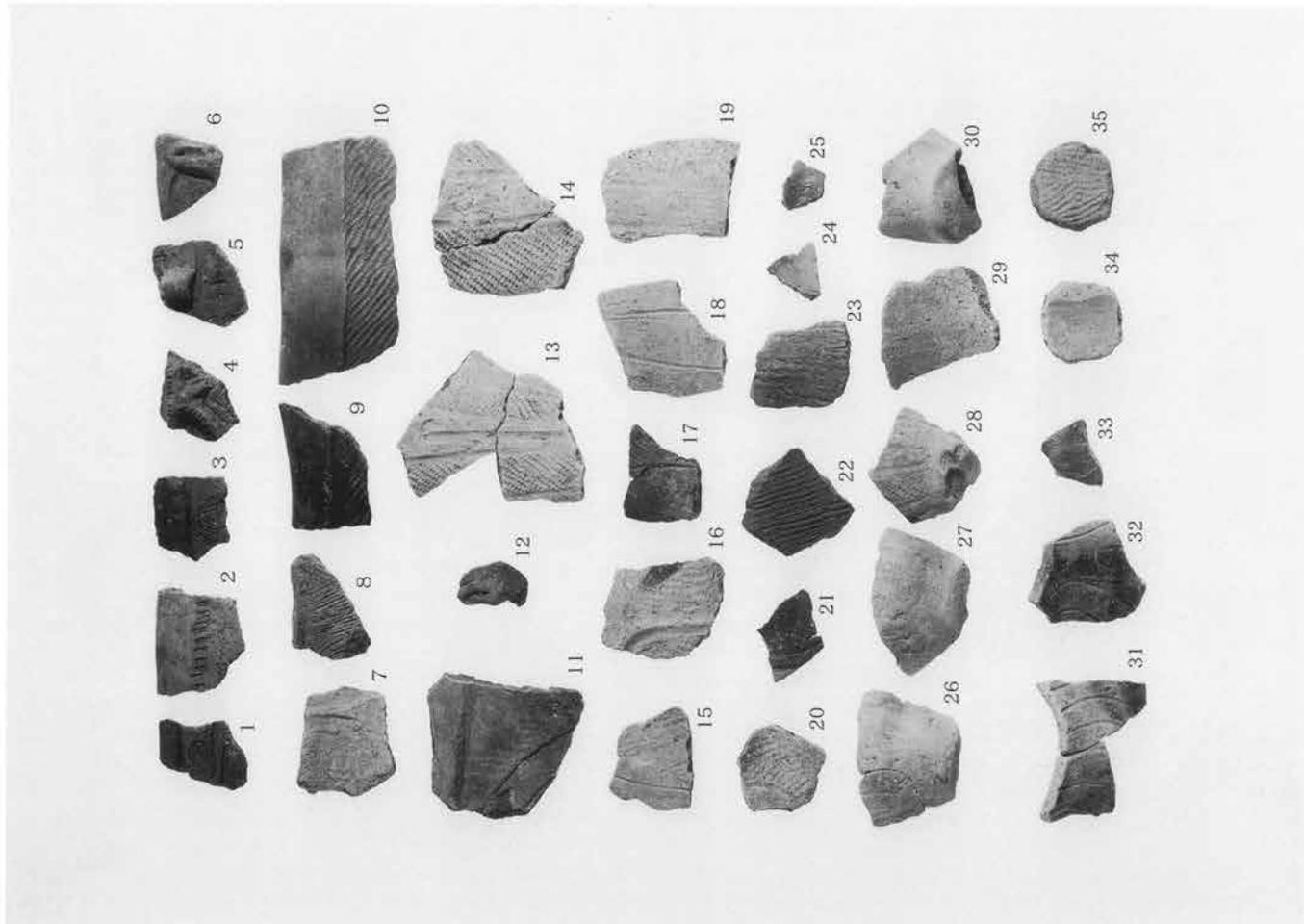


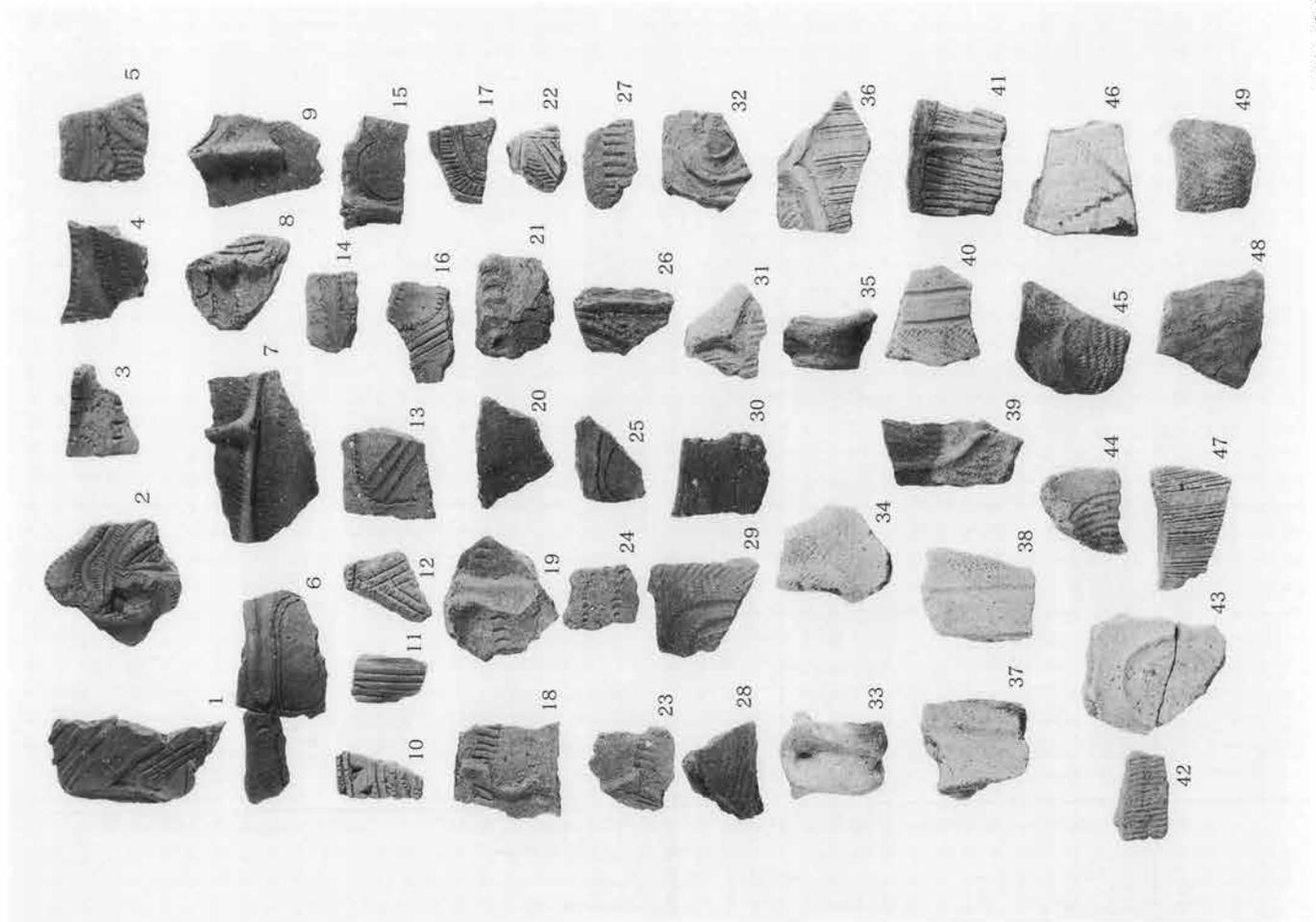
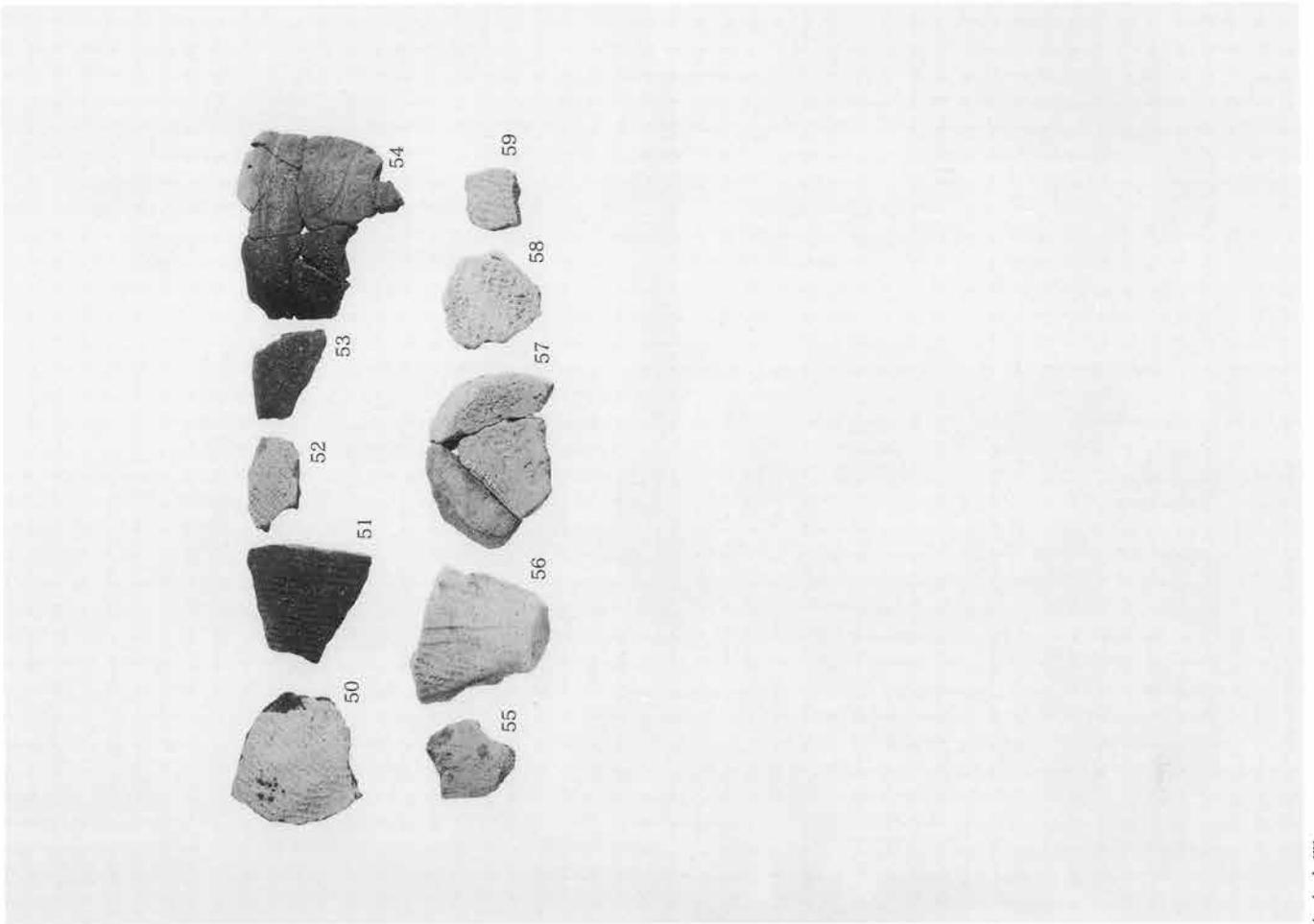


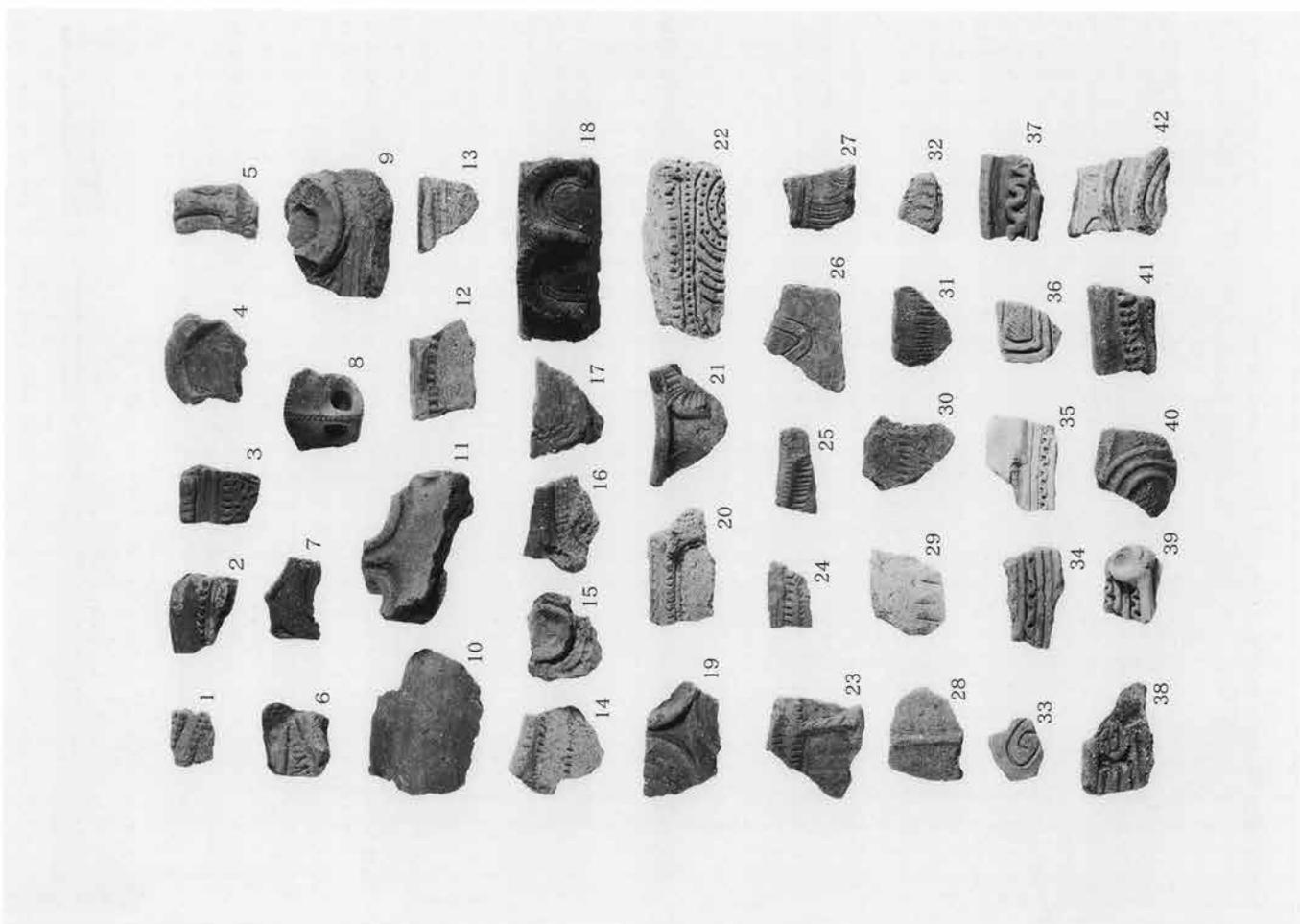
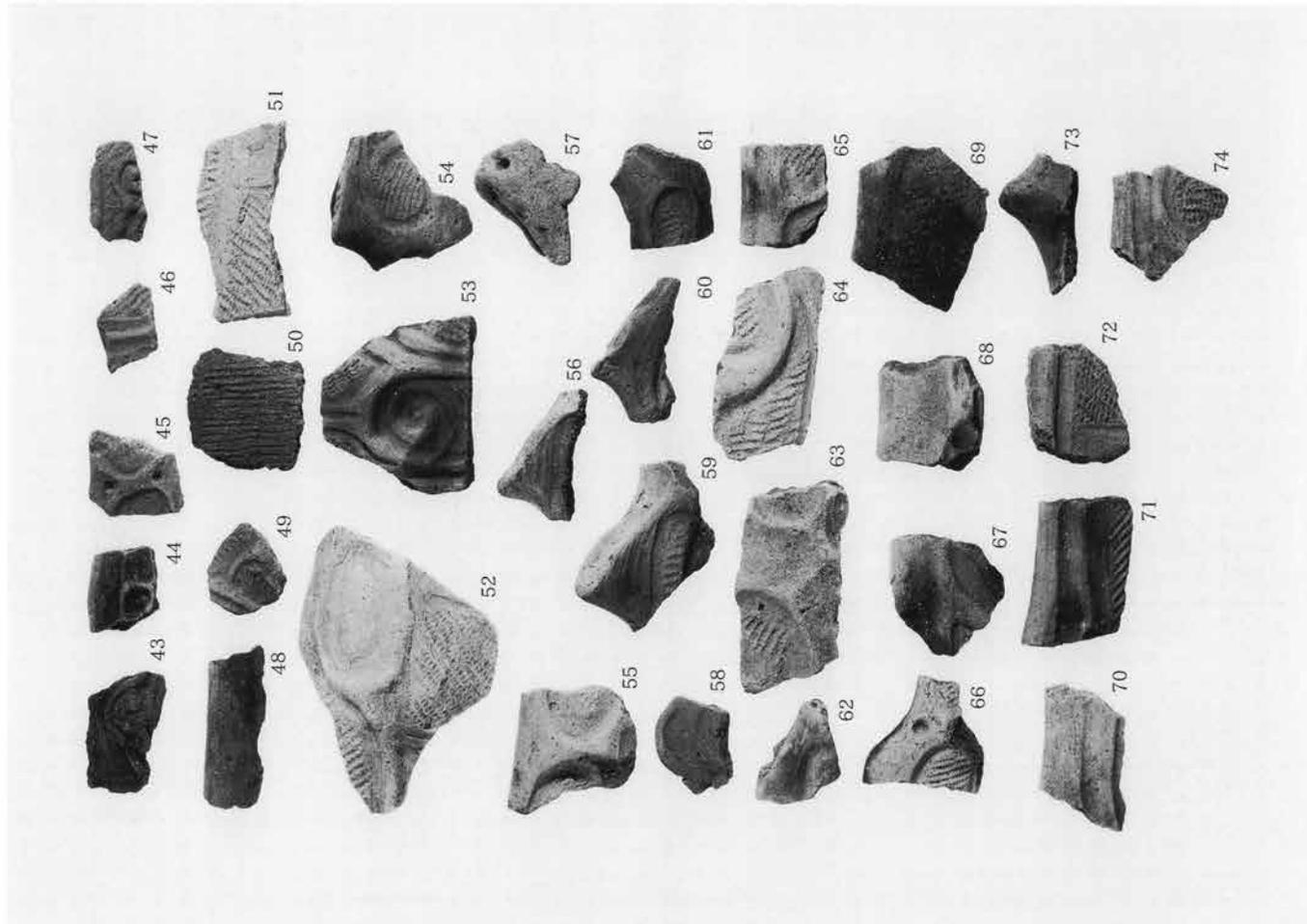


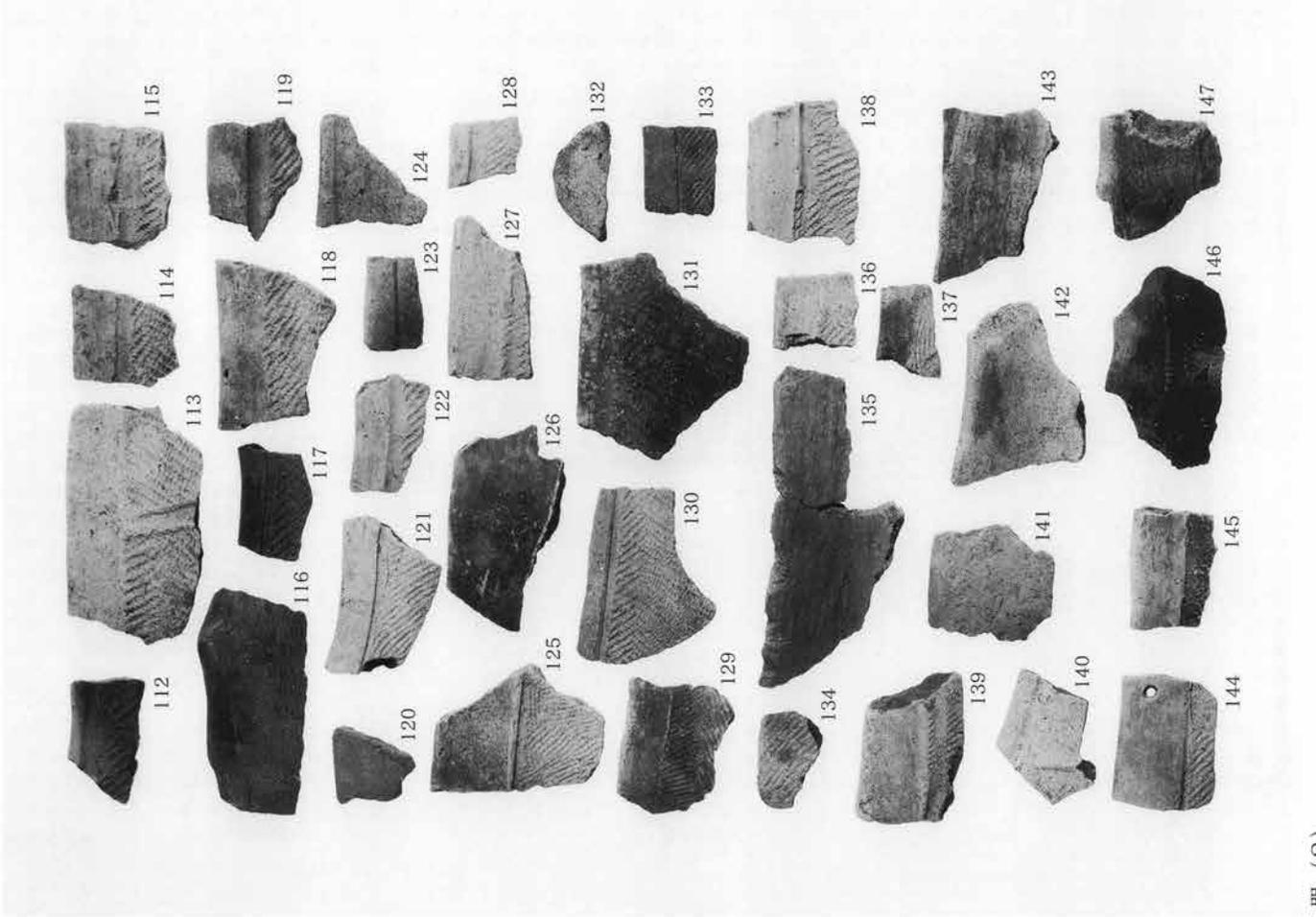
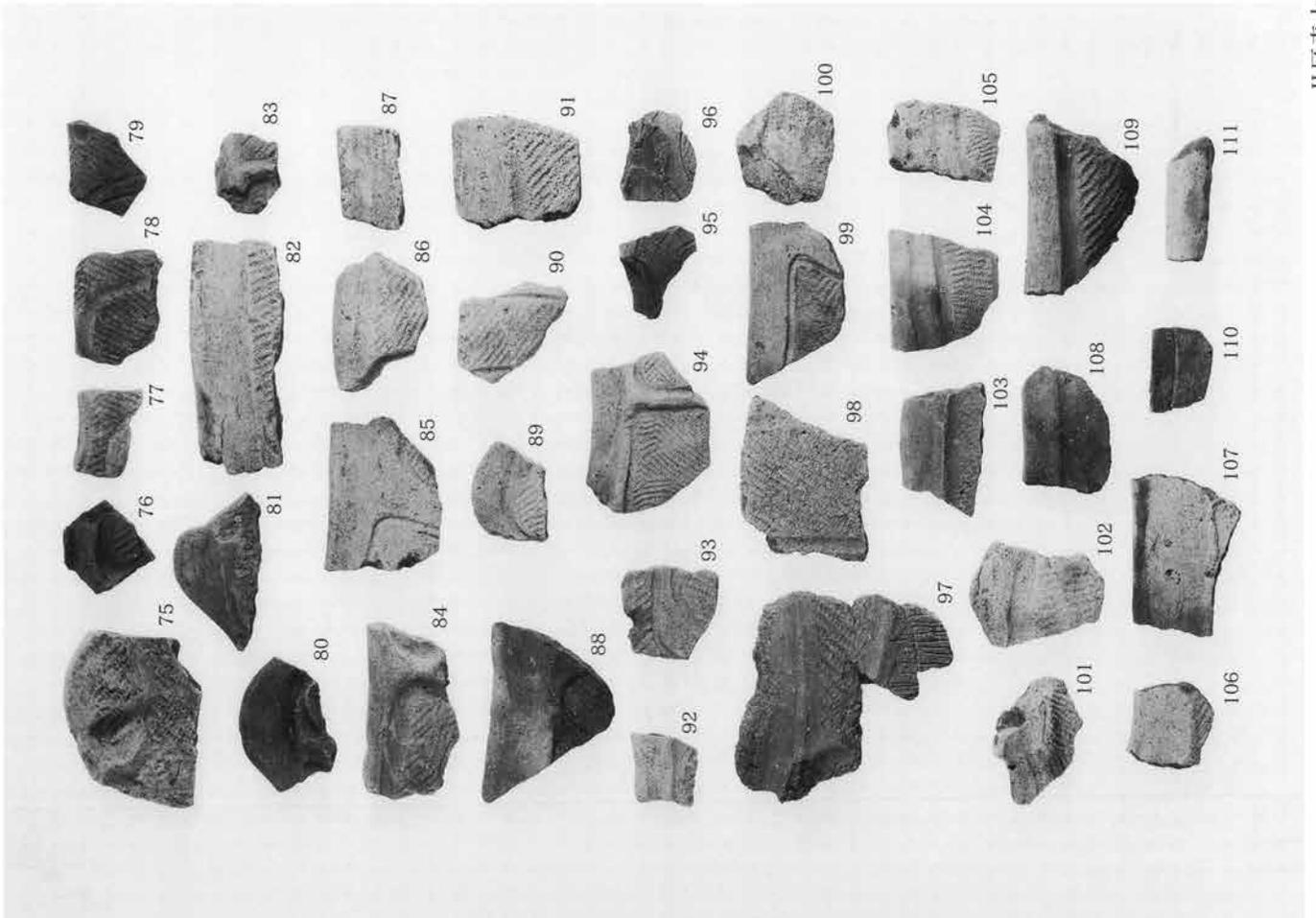




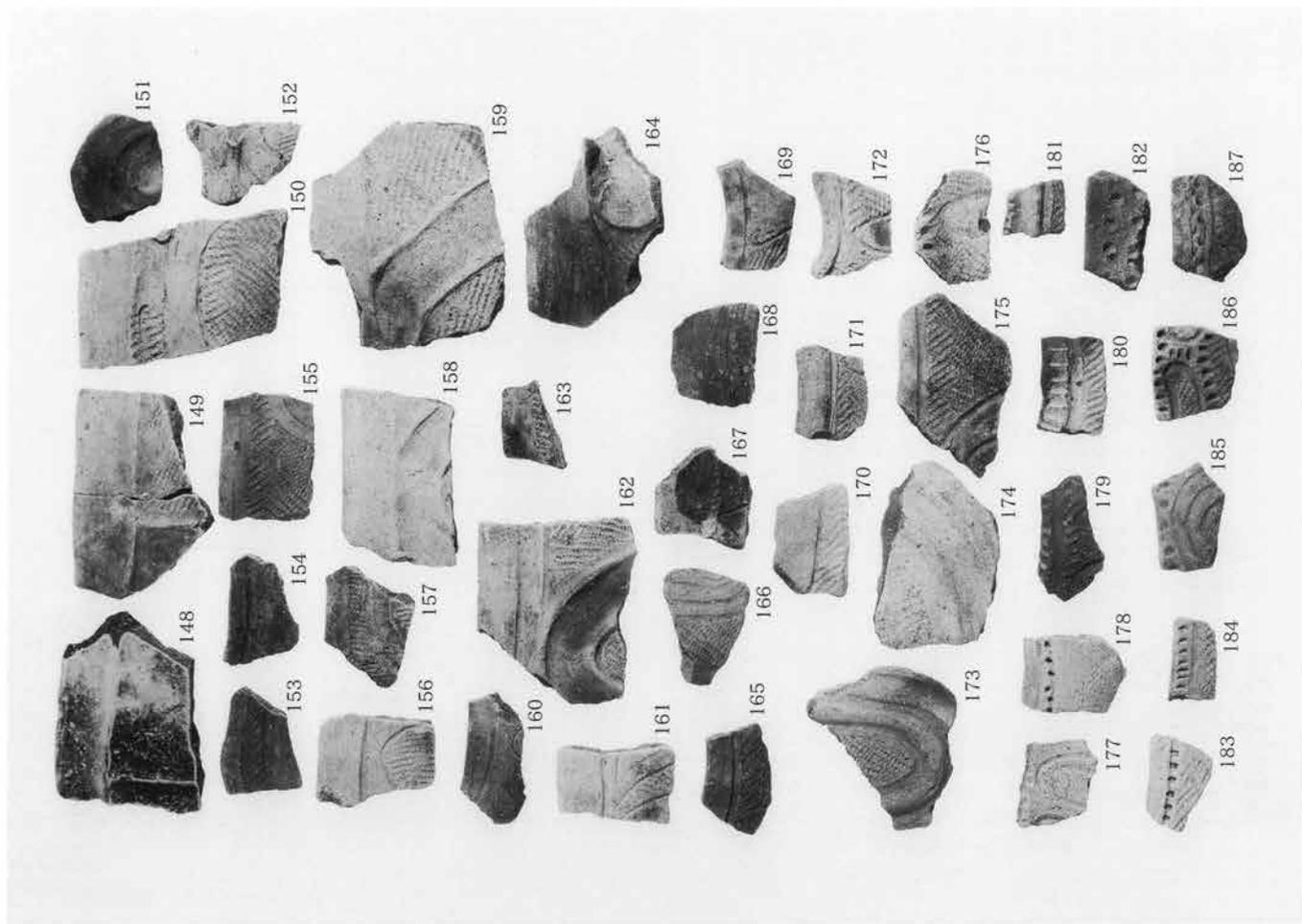
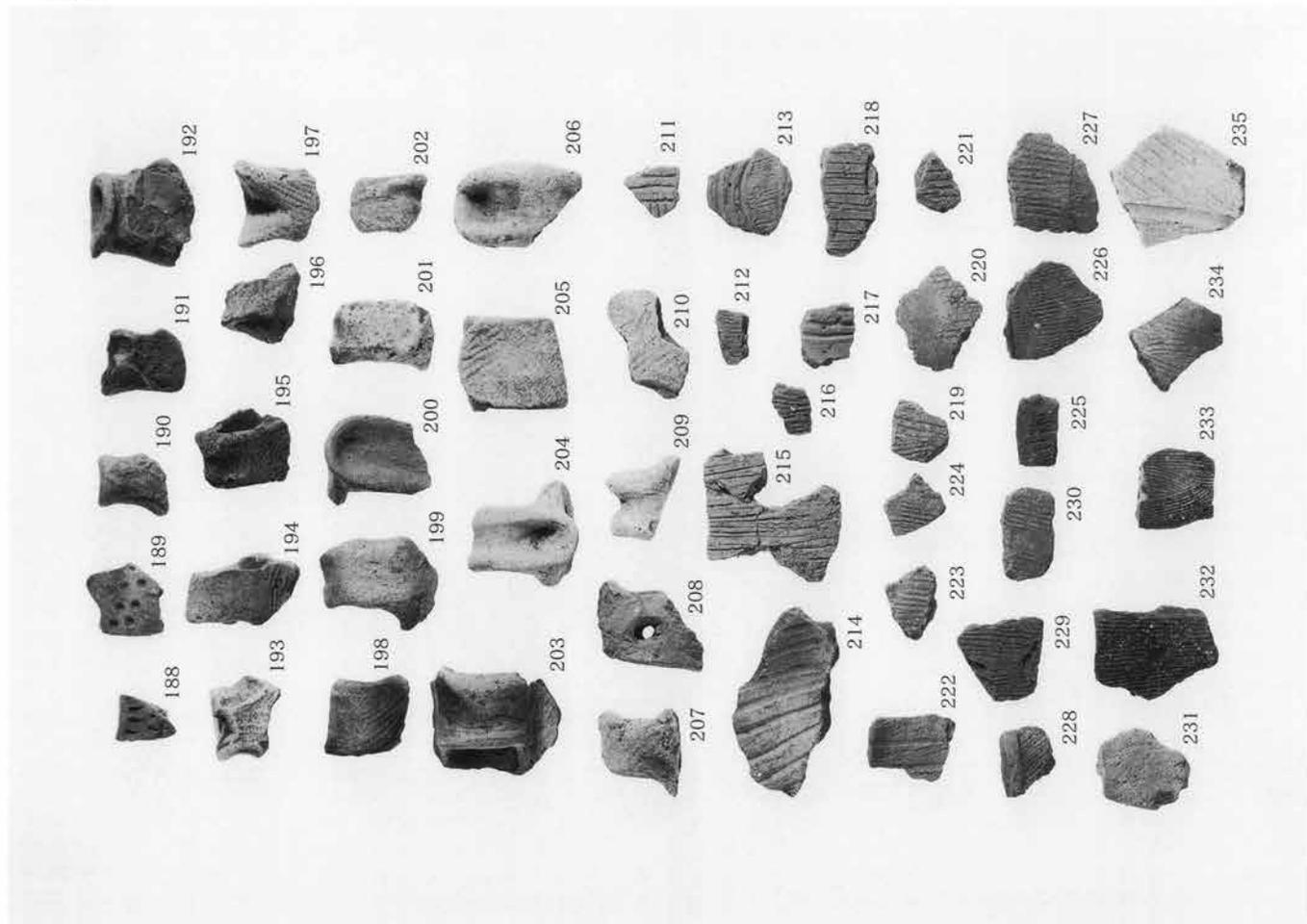


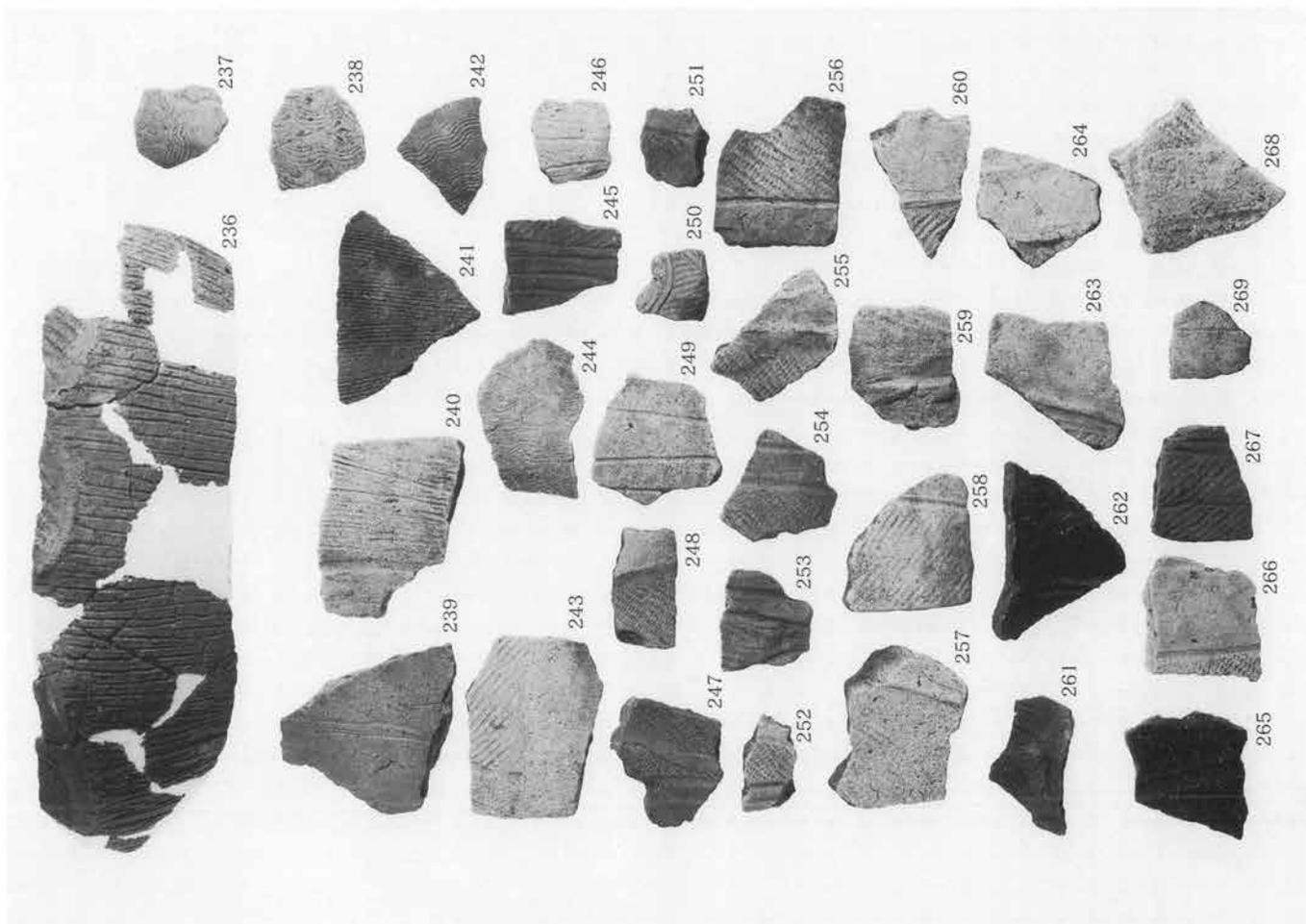
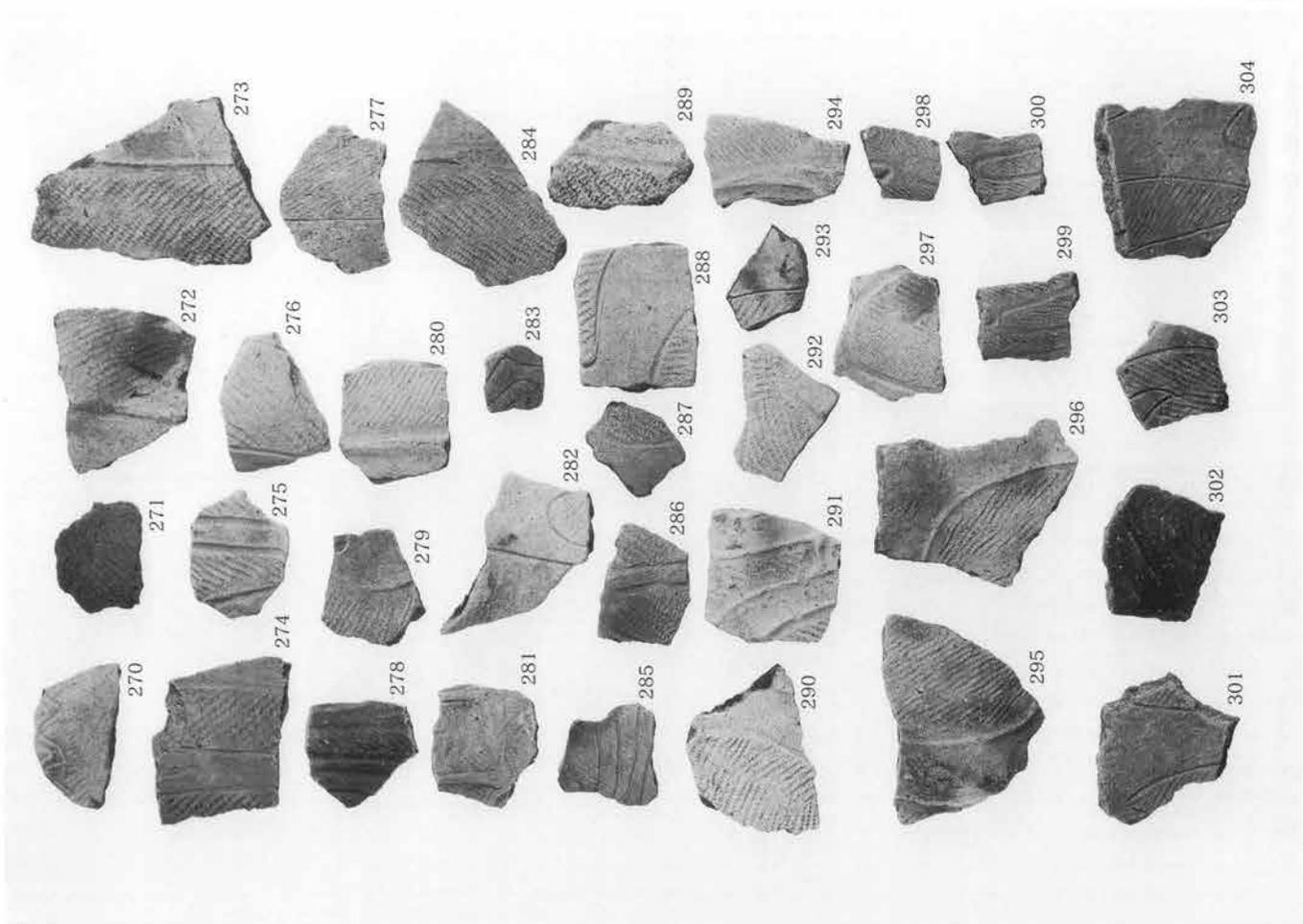




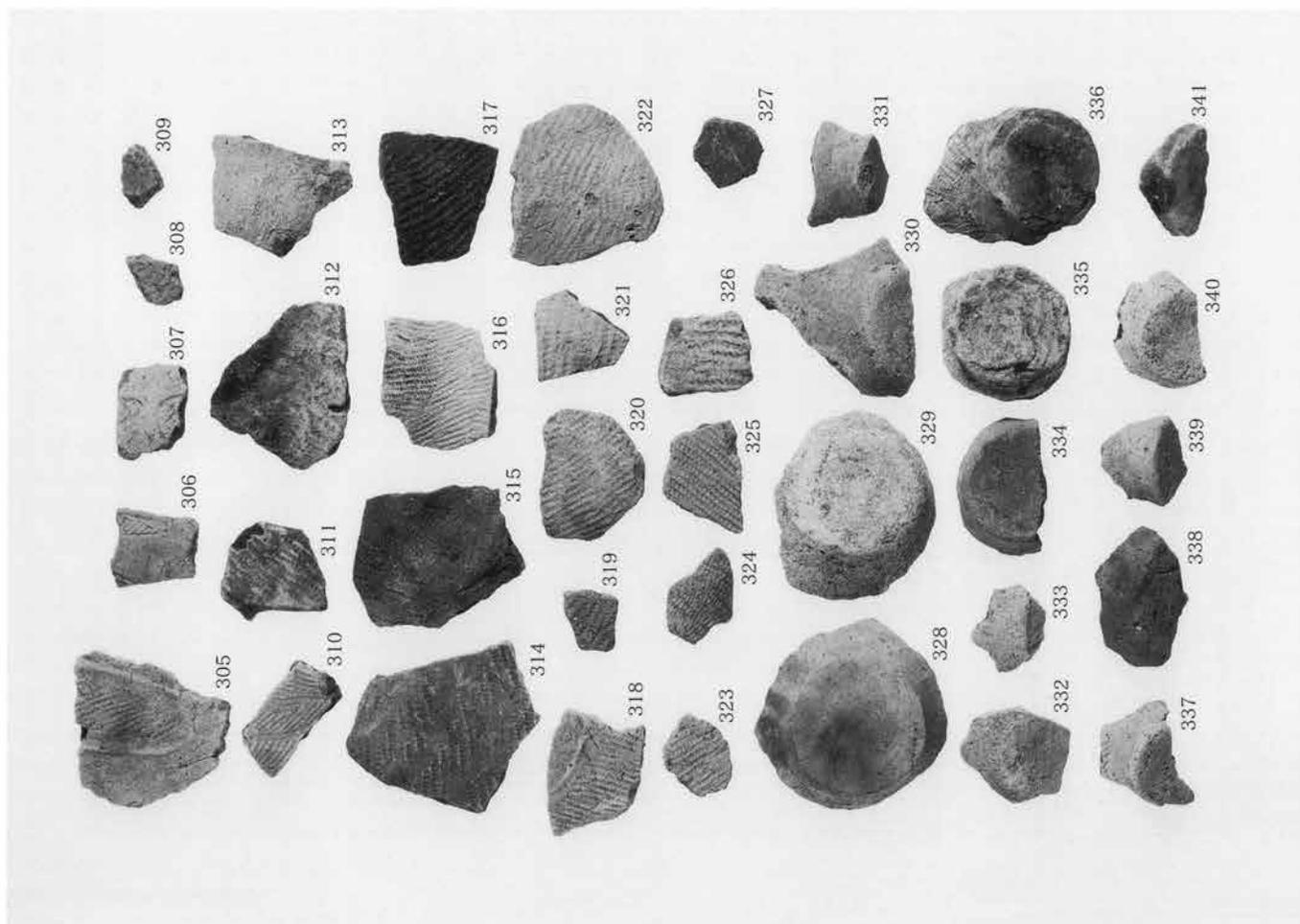
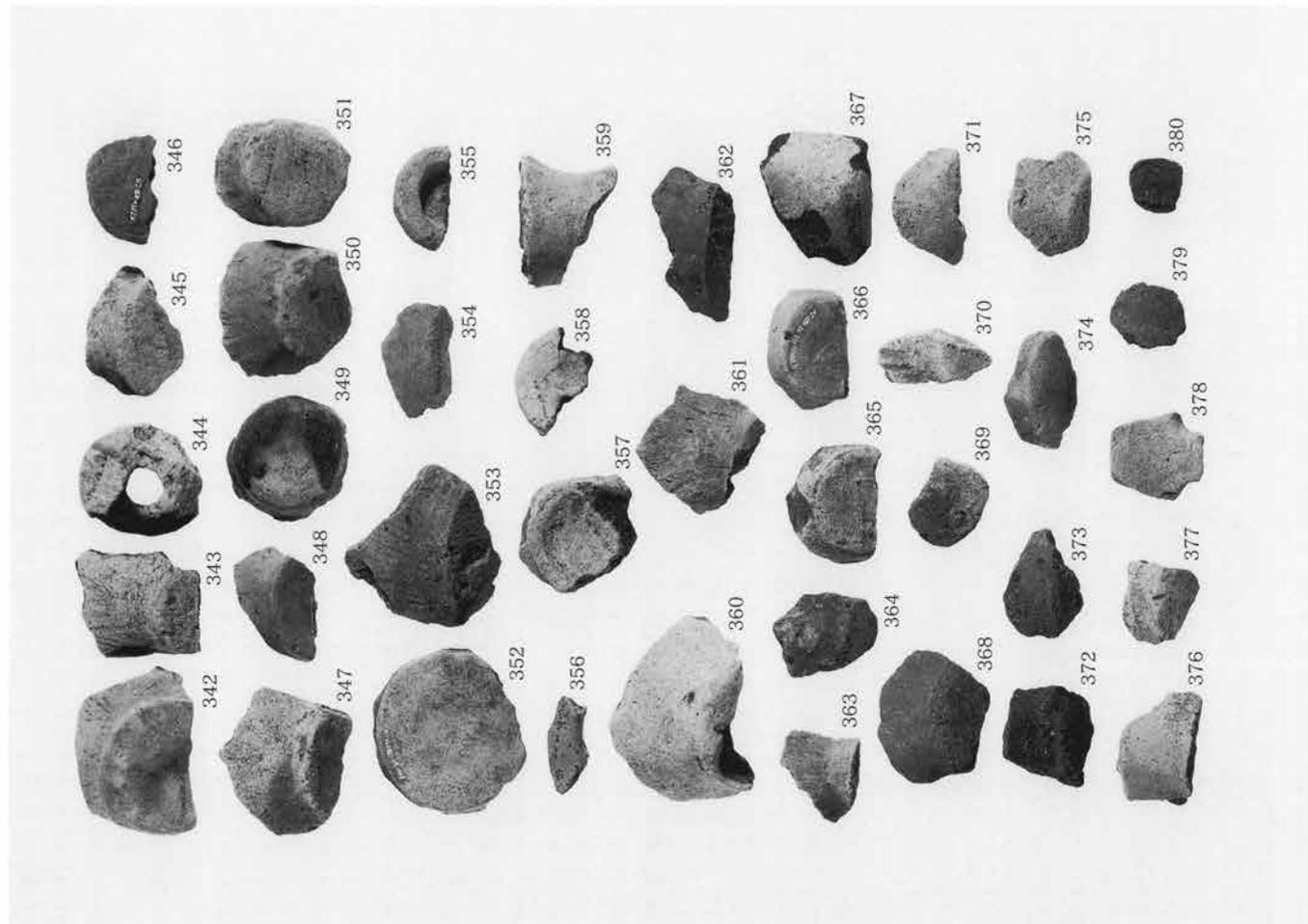


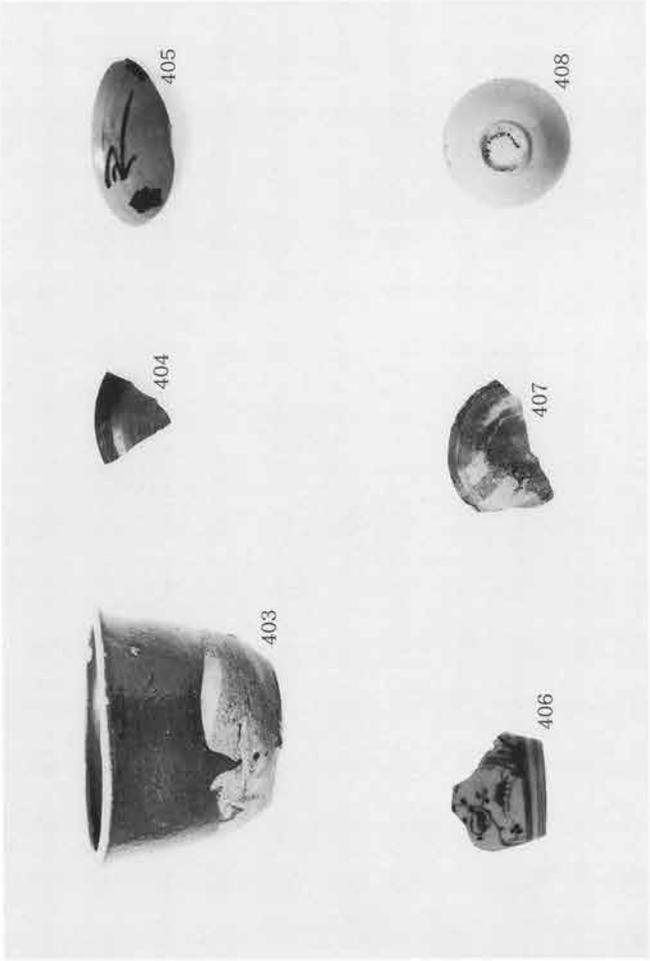
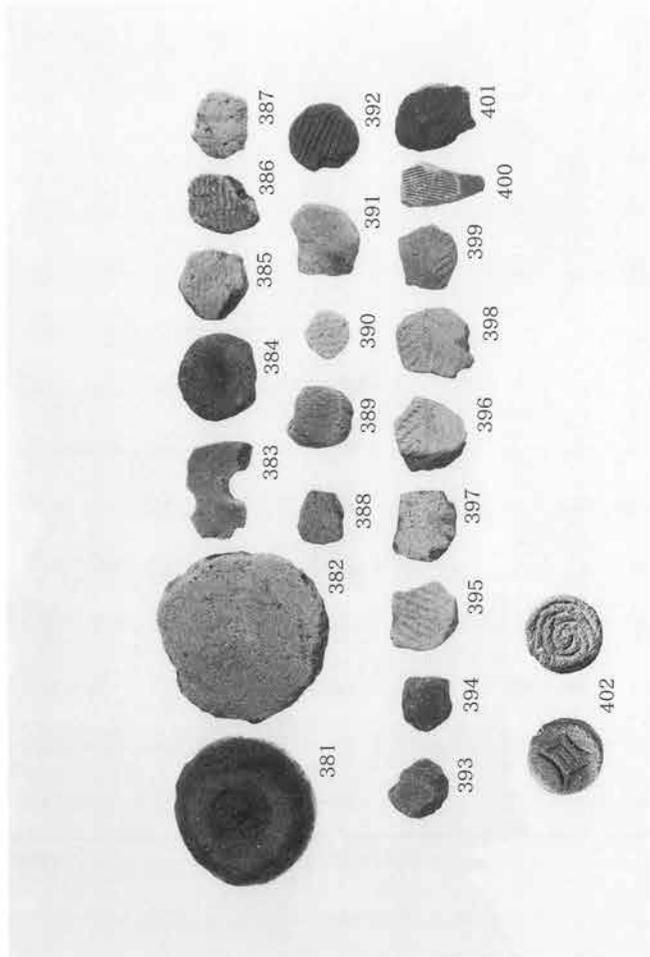
II区表土出土器 (2)



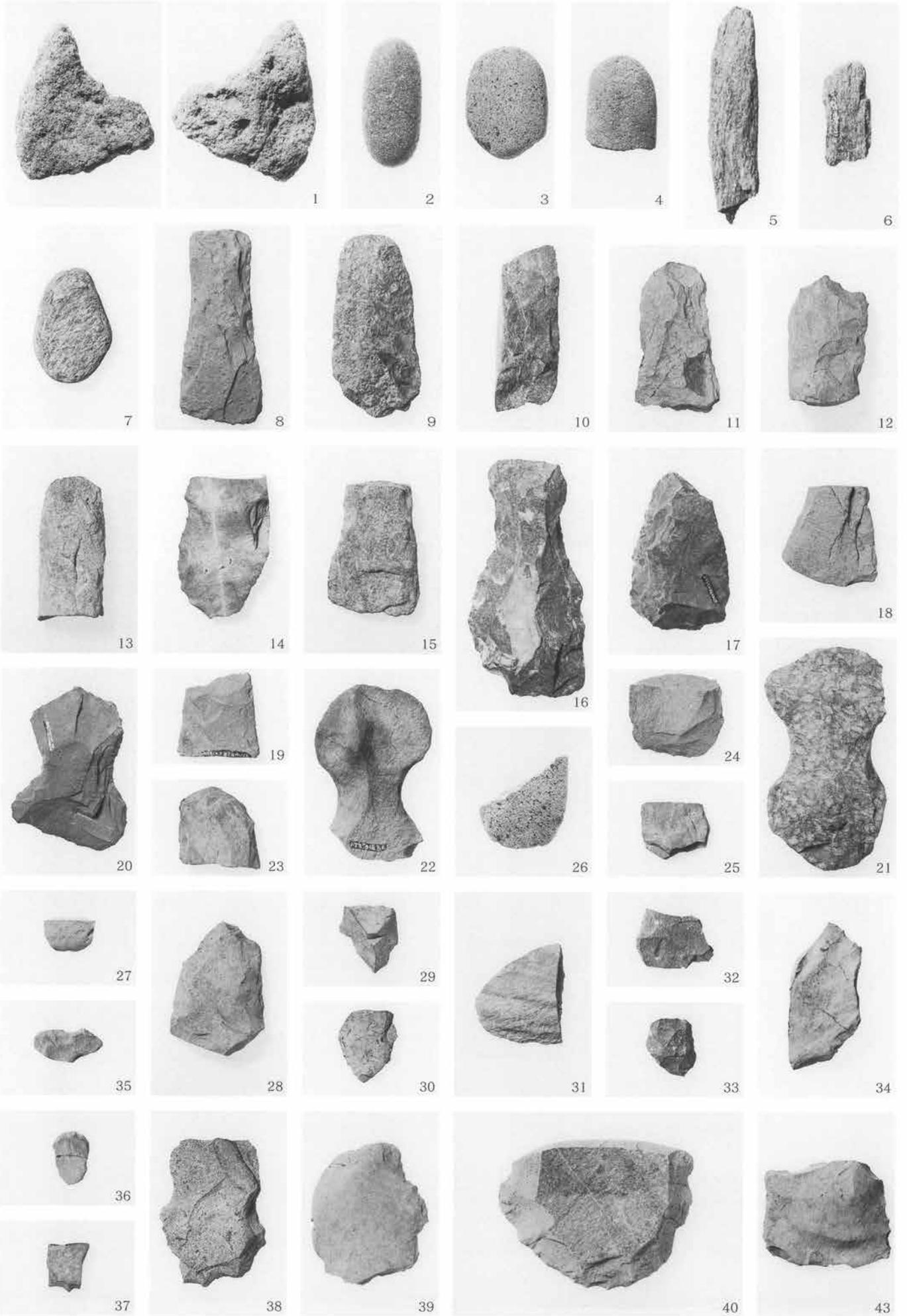


II区表土出土土器 (4)

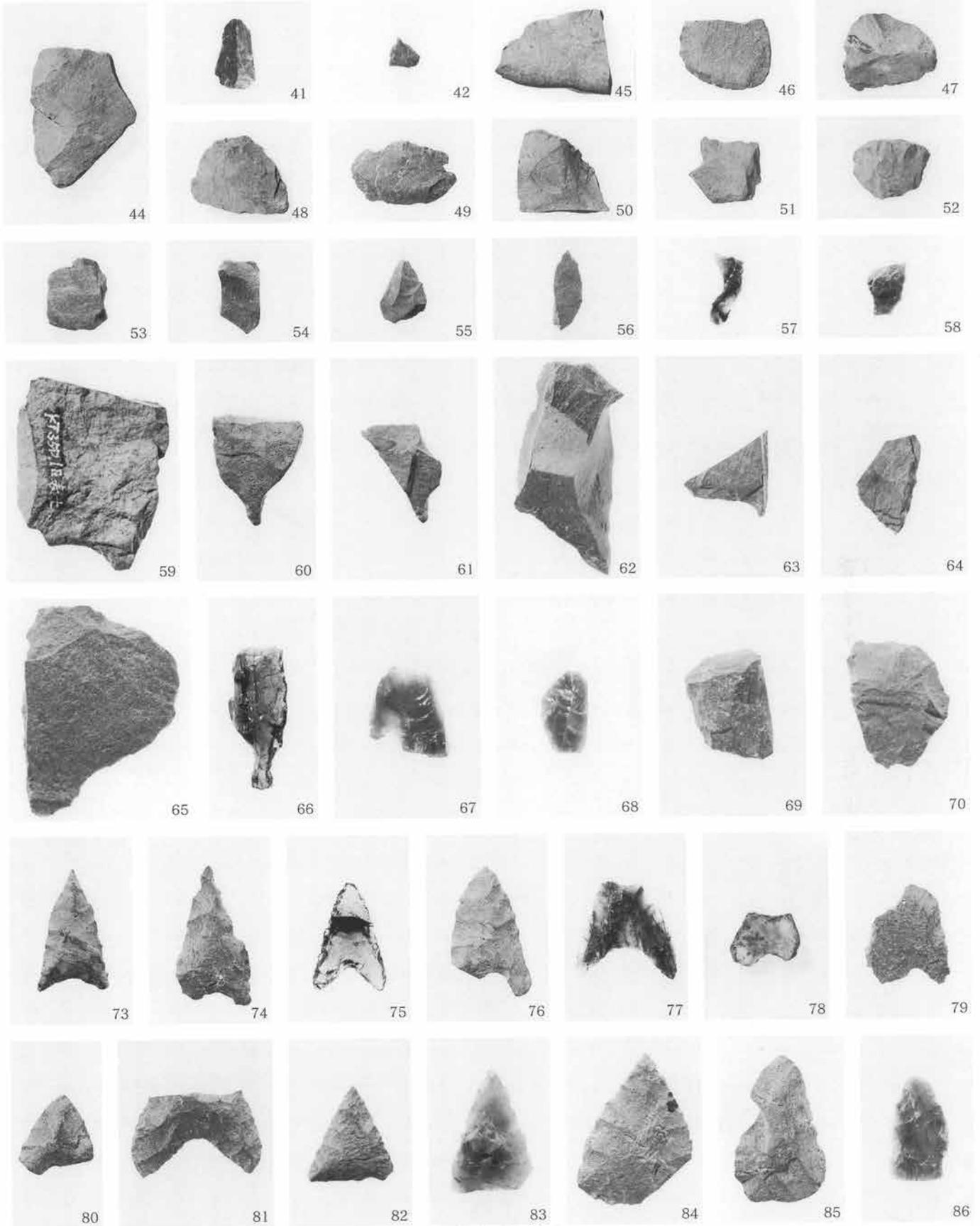




II区表土出土土器 (6)



I 区出土石器 (1)



I区出土石器(2)



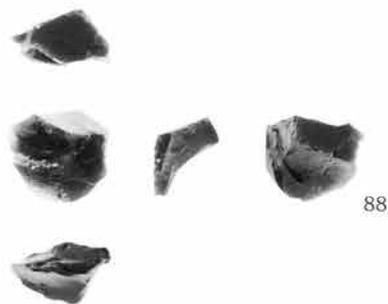
71



72



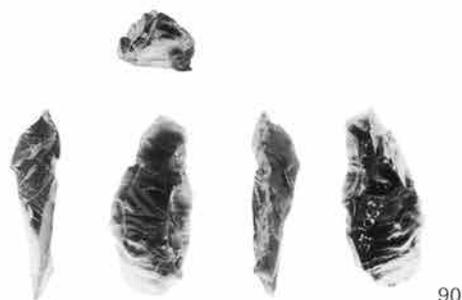
87



88



89



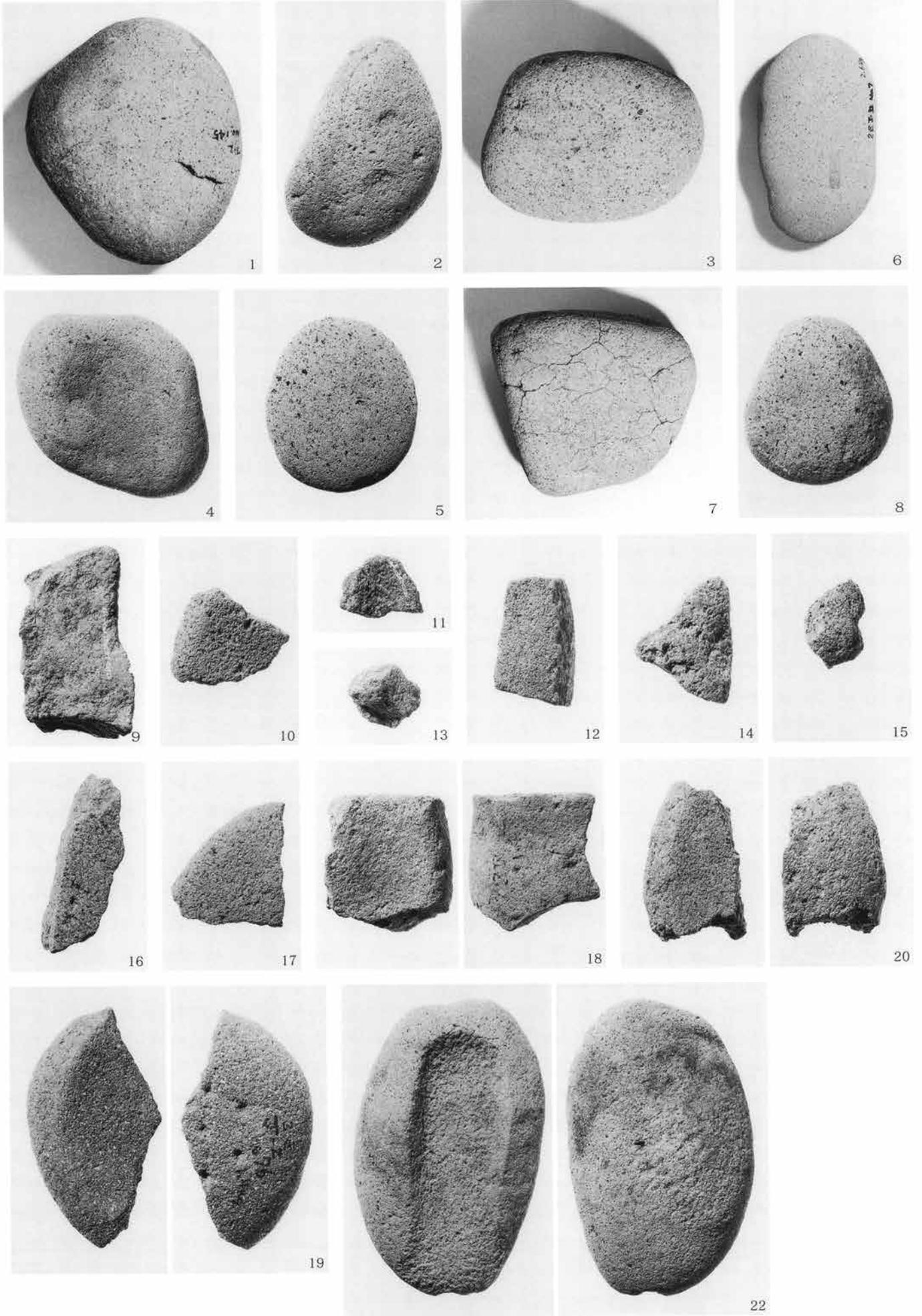
90



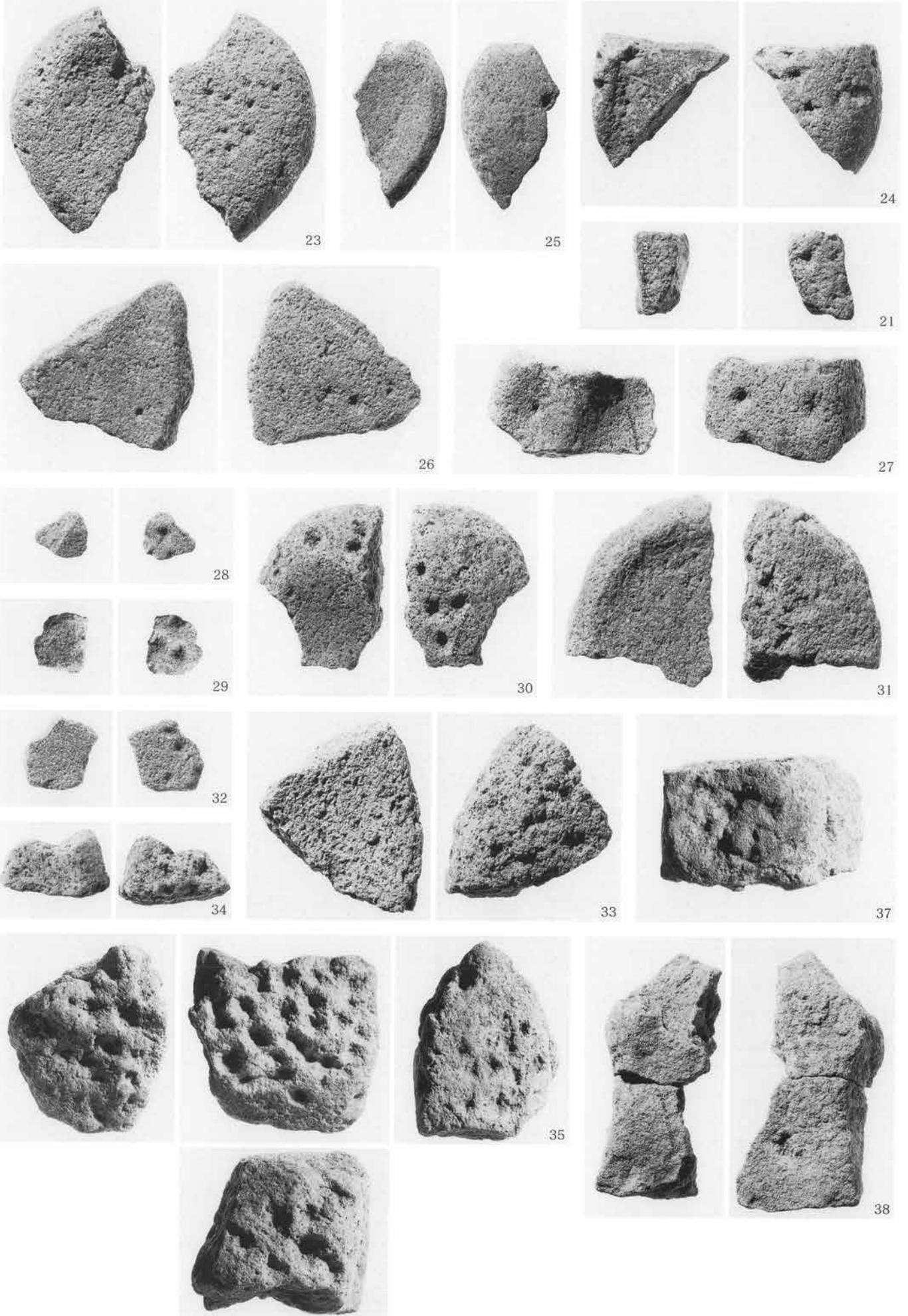
91



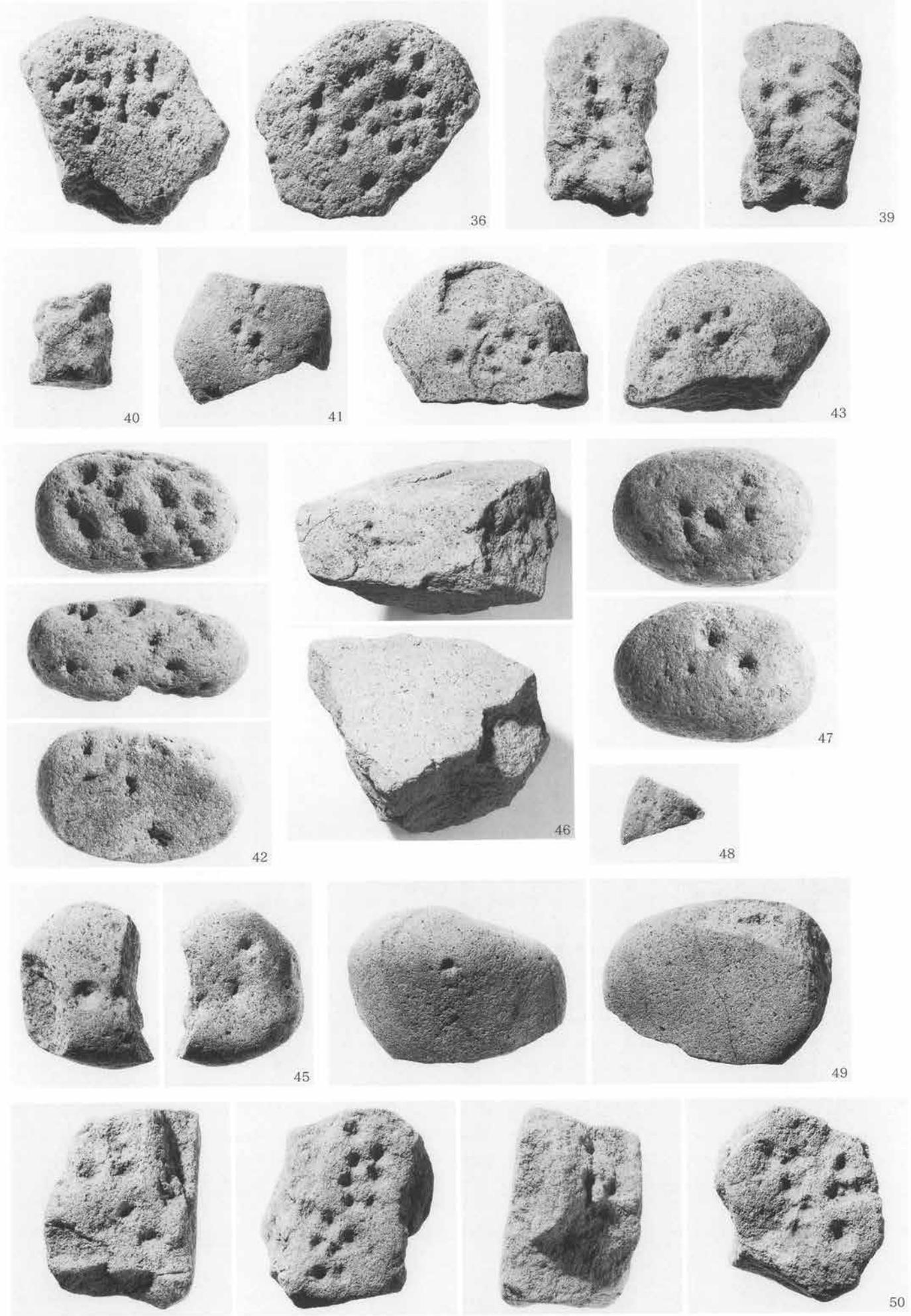
92



II区出土礫石器 (1)



II区出土礫石器 (2)



II区出土礮石器 (3)



44



51



53



54



63



52



57



60



55



64



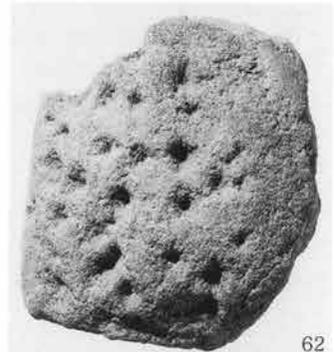
65



66



56



62



67

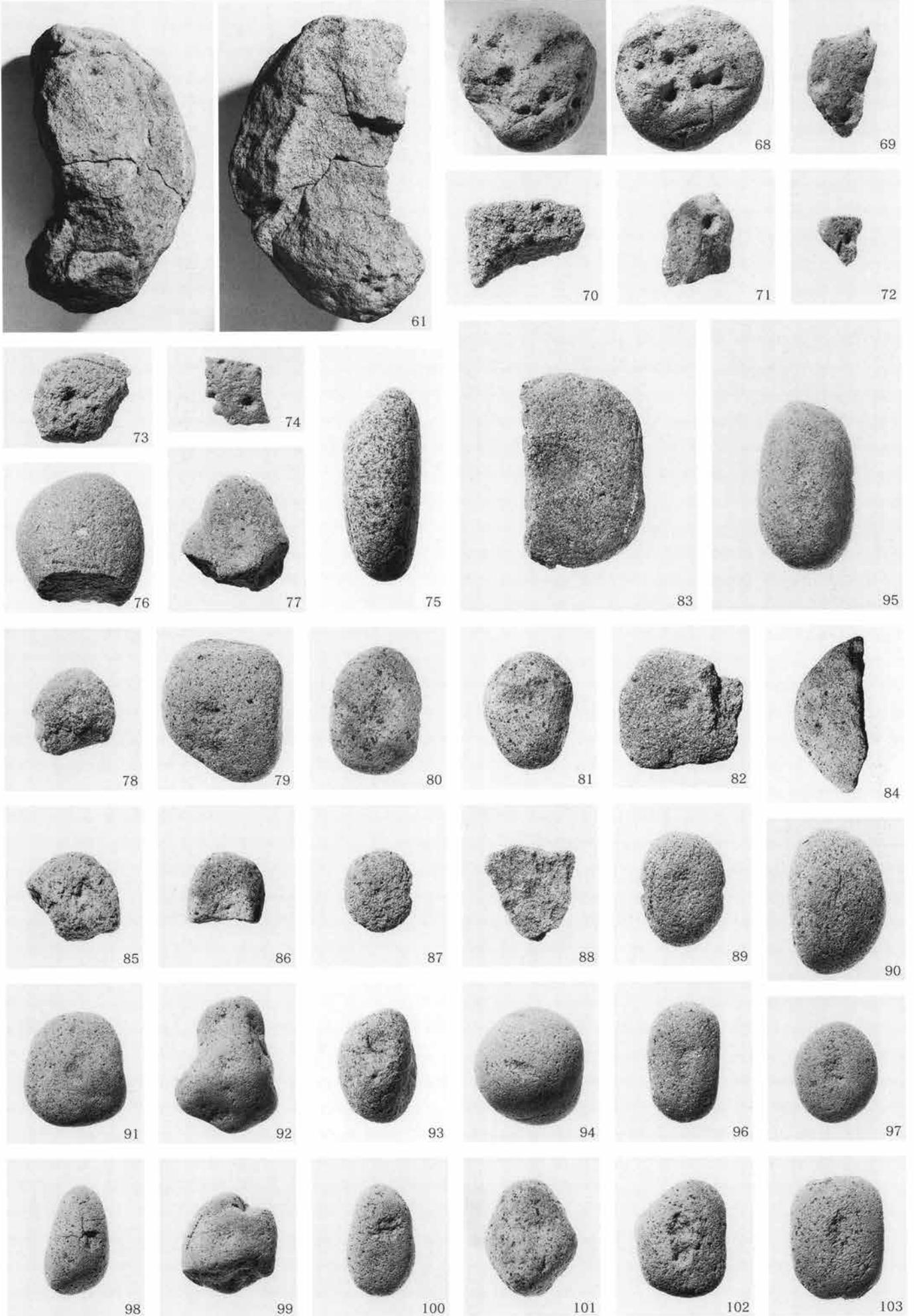


58

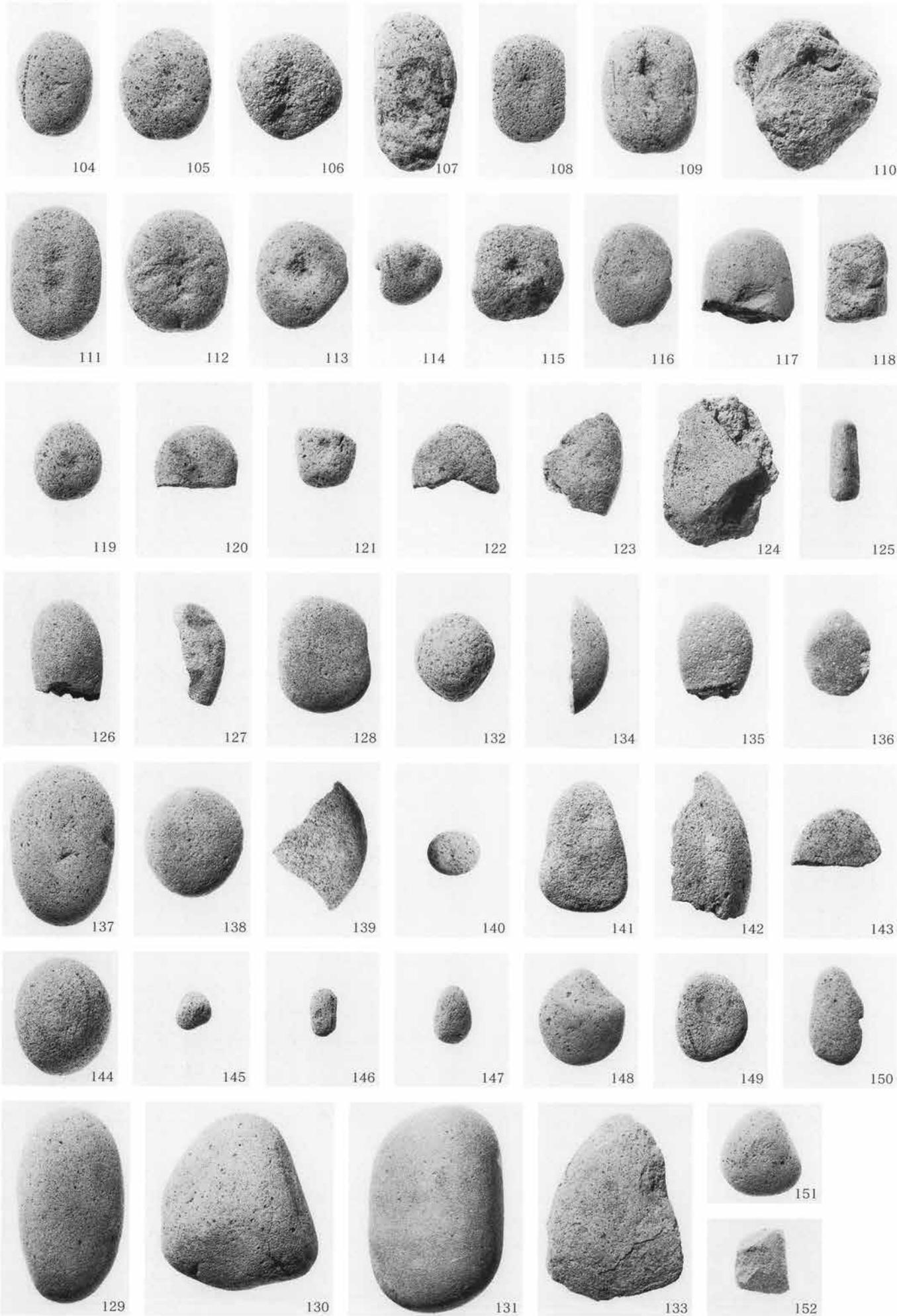


59

II区出土礫石器 (4)



II区出土礫石器 (5)



II区出土礫石器 (6)



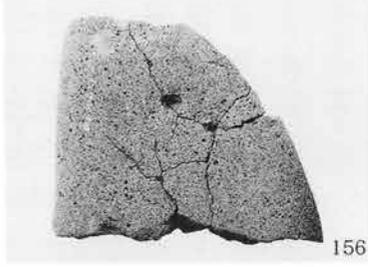
153



154



155



156



157



158



163



160



159



161



164



165



166



167



168



169



171



173



174



175



176



177



178



179



180



182



183



185



186



187



188



190



192



193



194



195



196



197



198



199



200



201



202



203



204



205

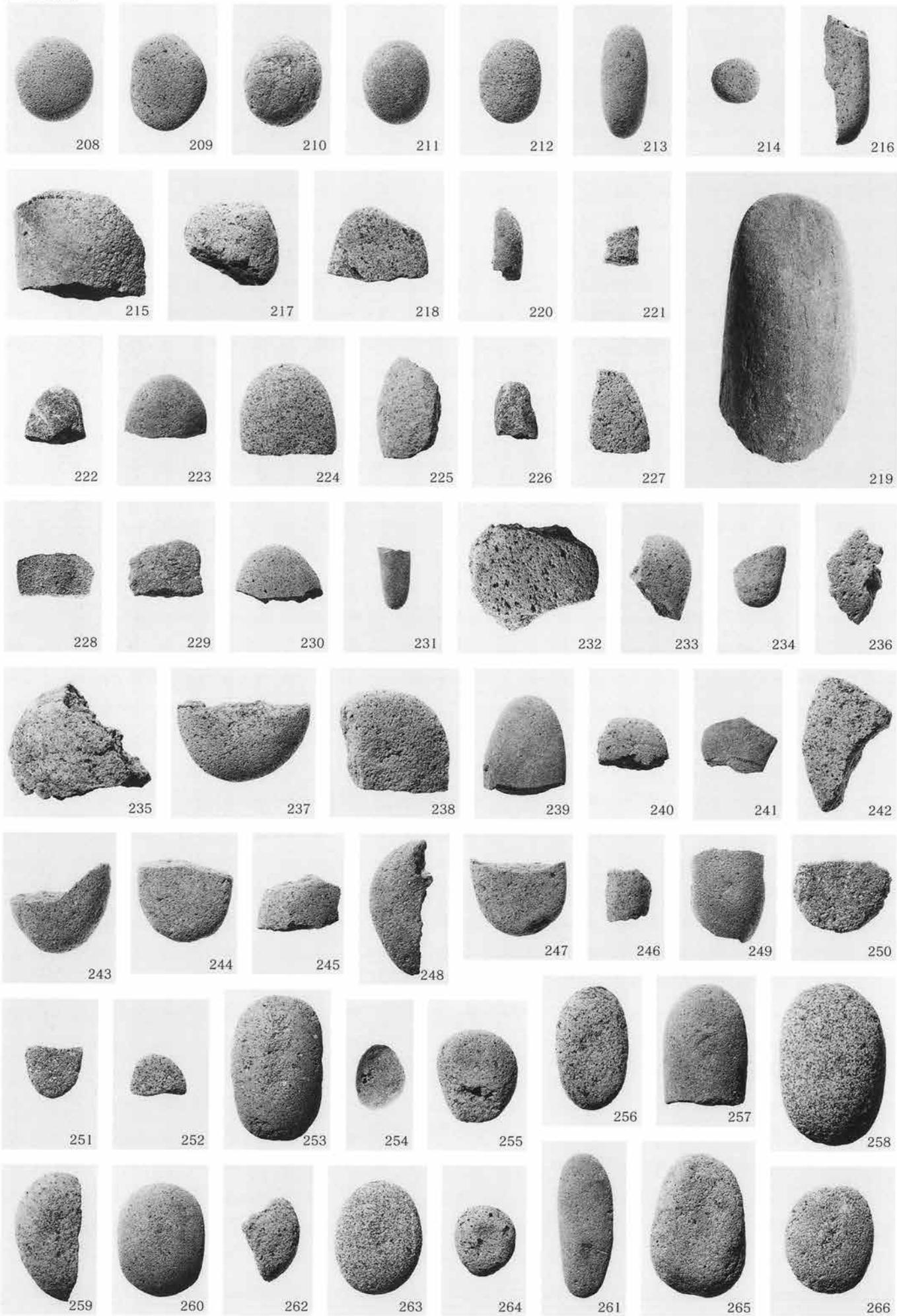


206

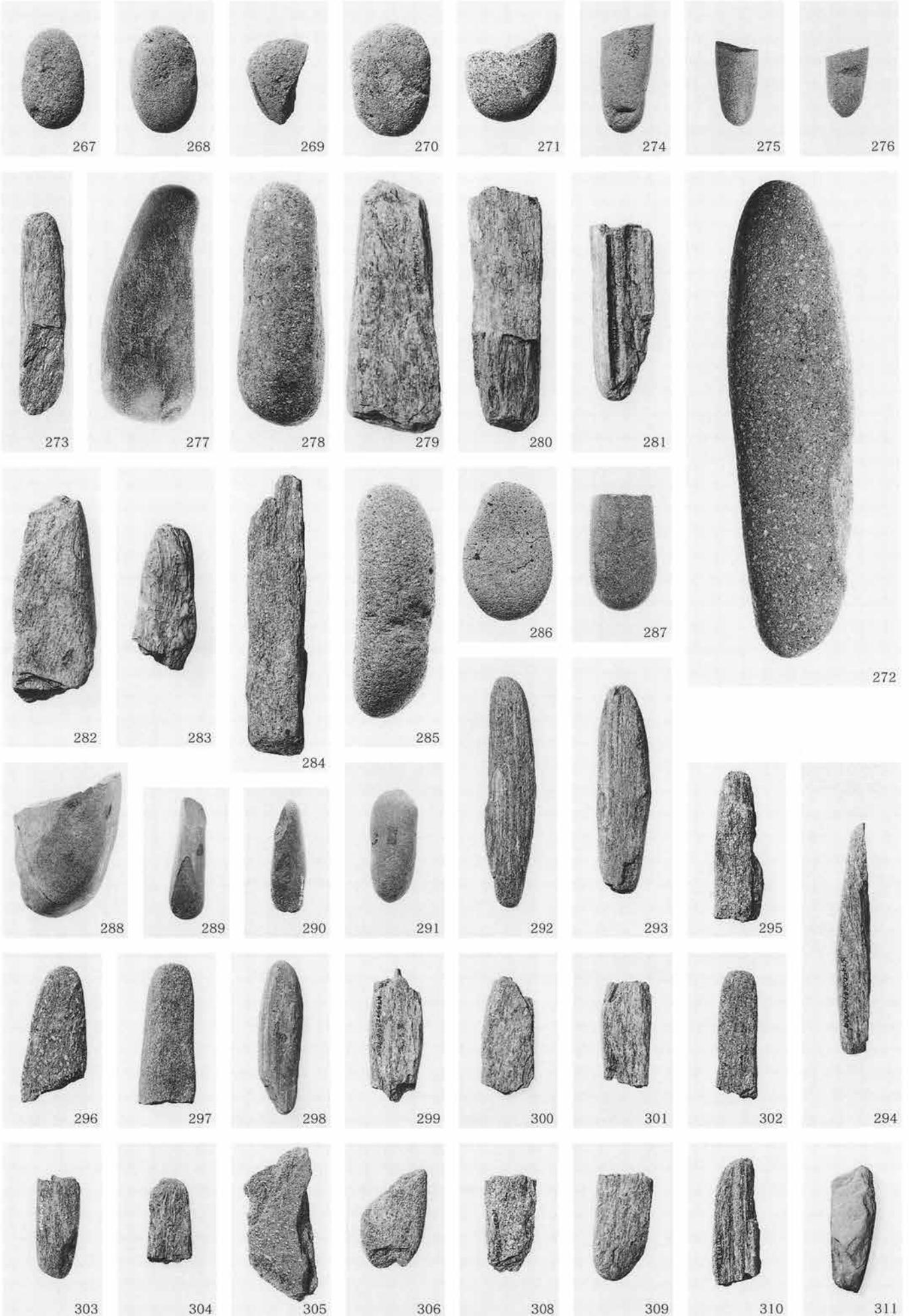


207

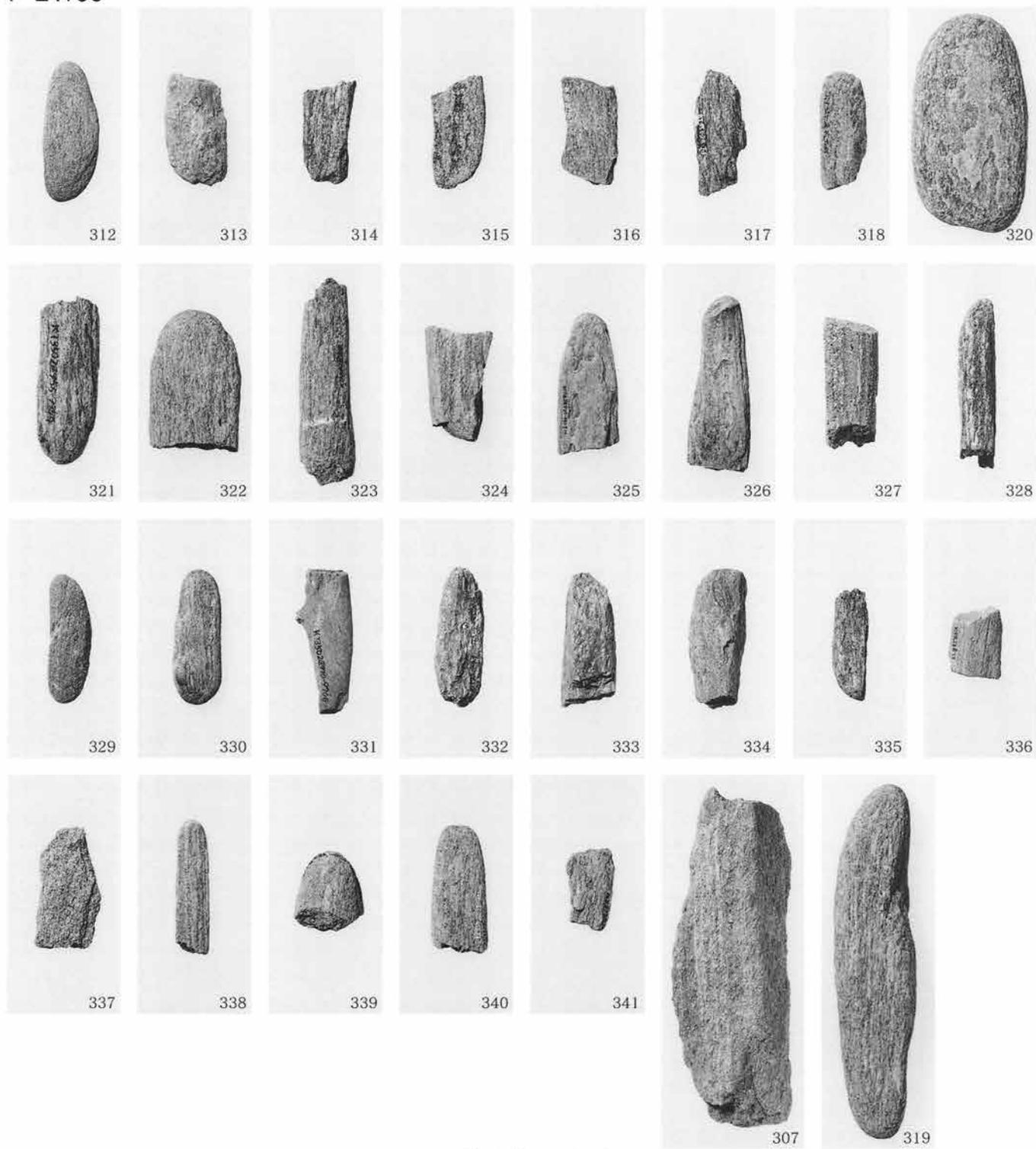
II区出土礫石器 (7)



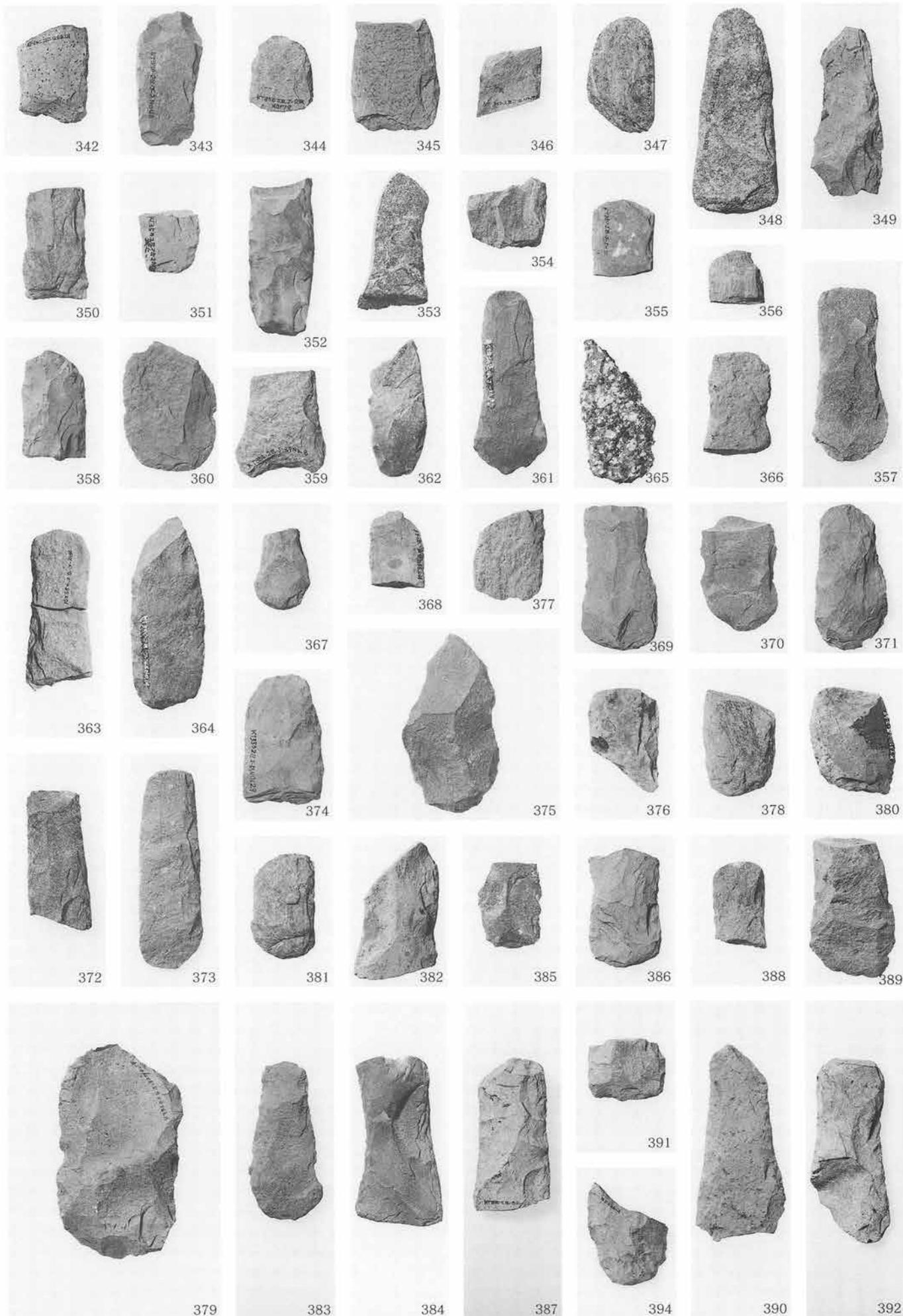
II区出土礫石器 (8)



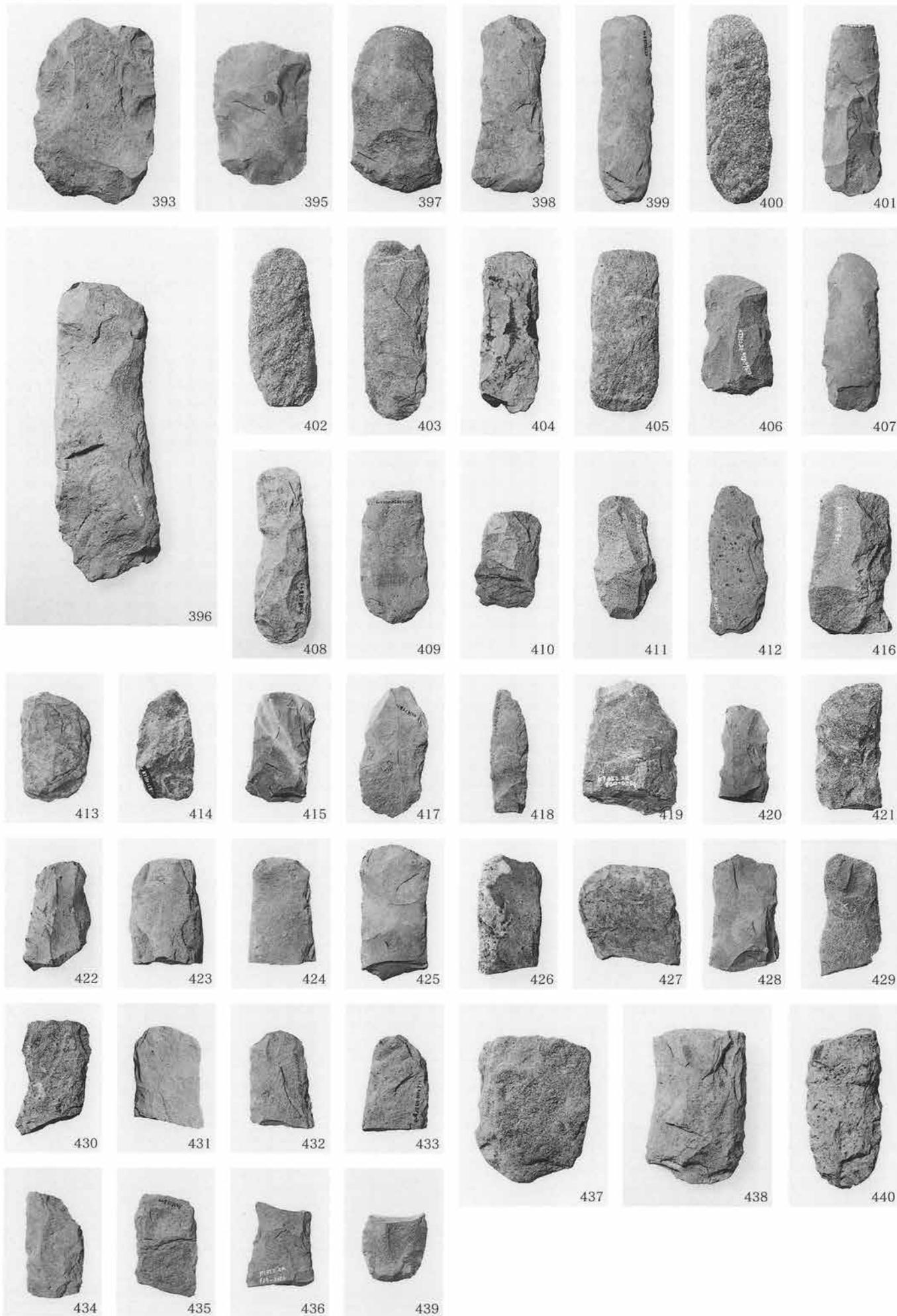
II区出土礫石器 (9)



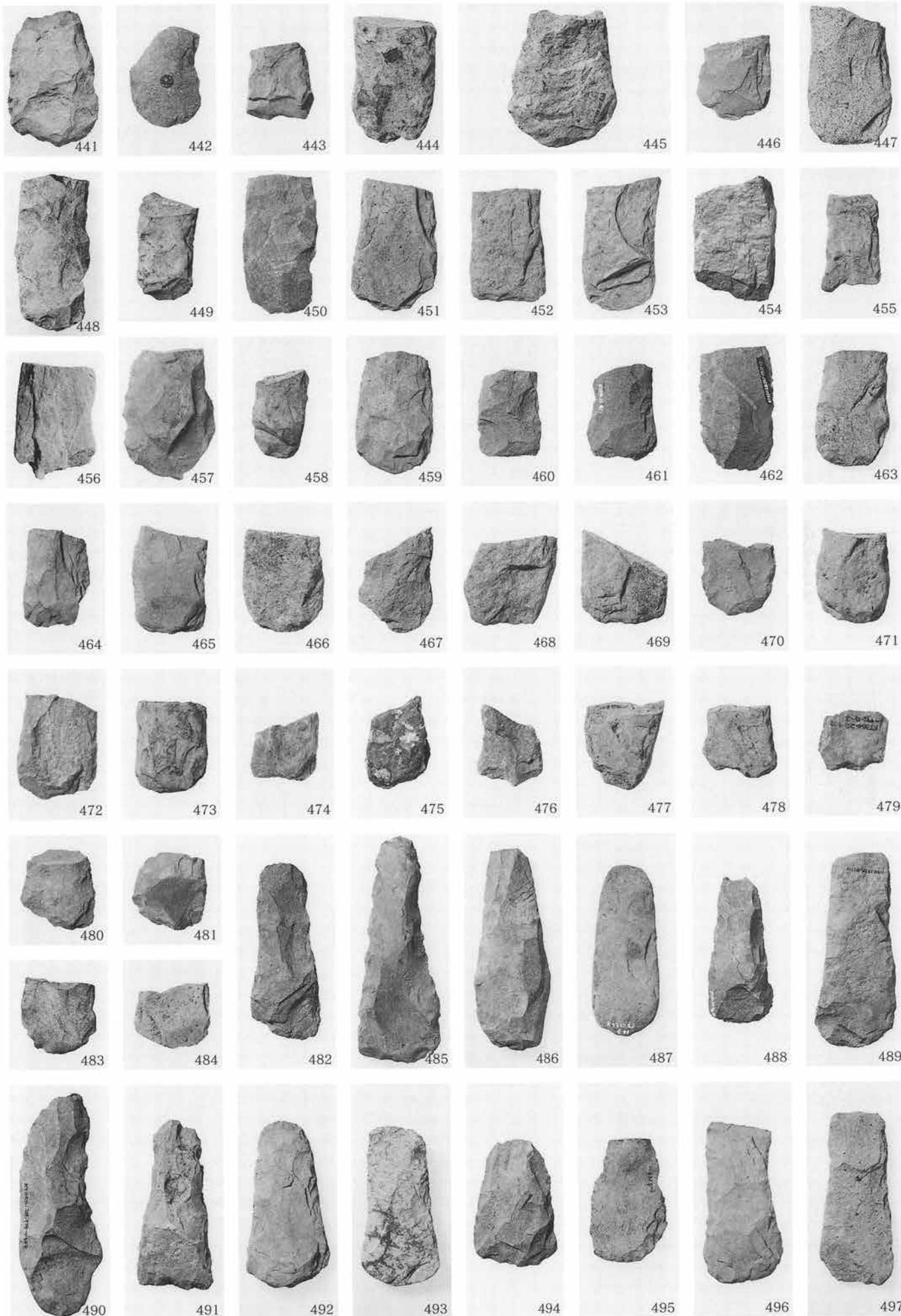
II区出土礫石器 (10)



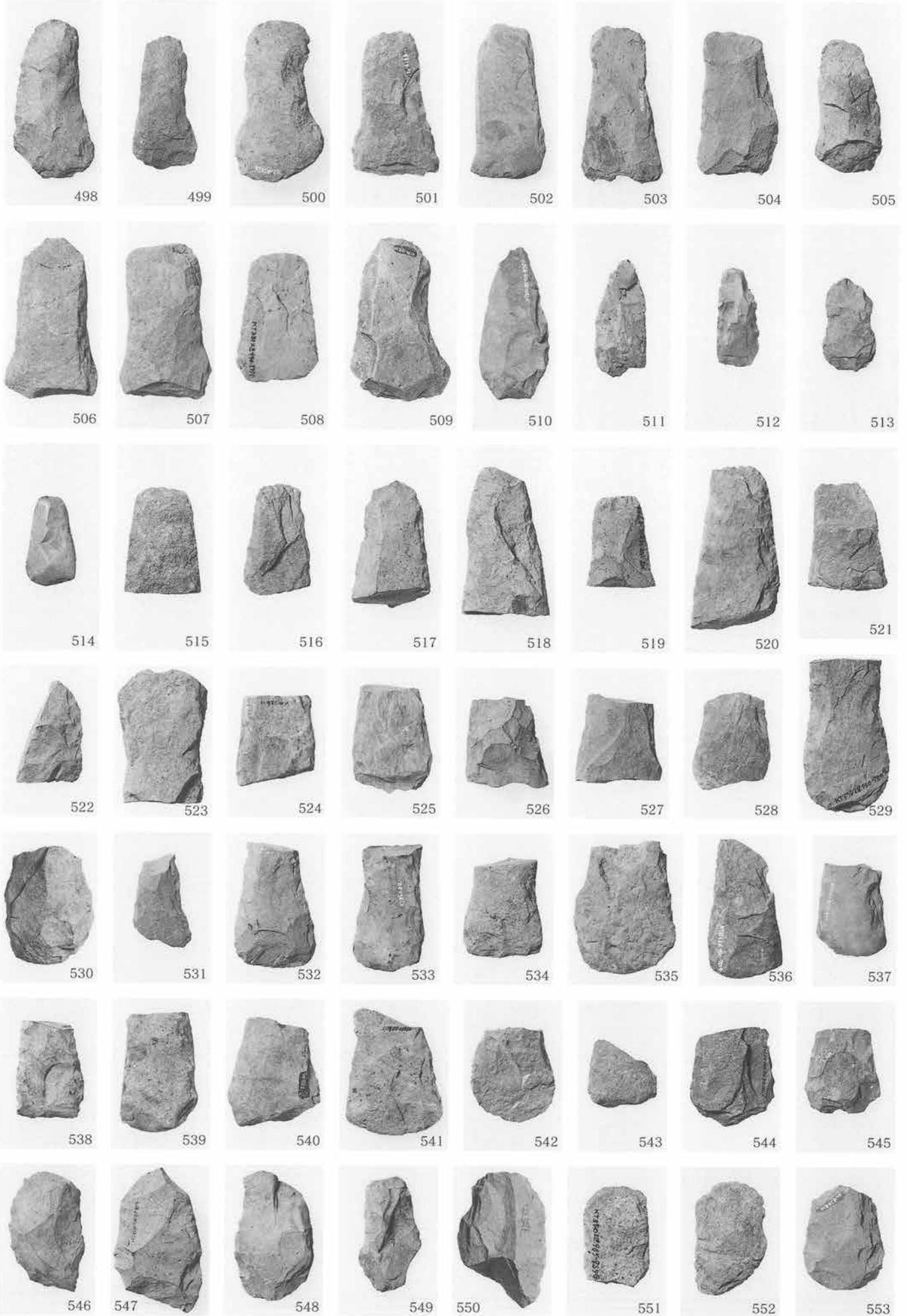
II区出土打製石器(1)



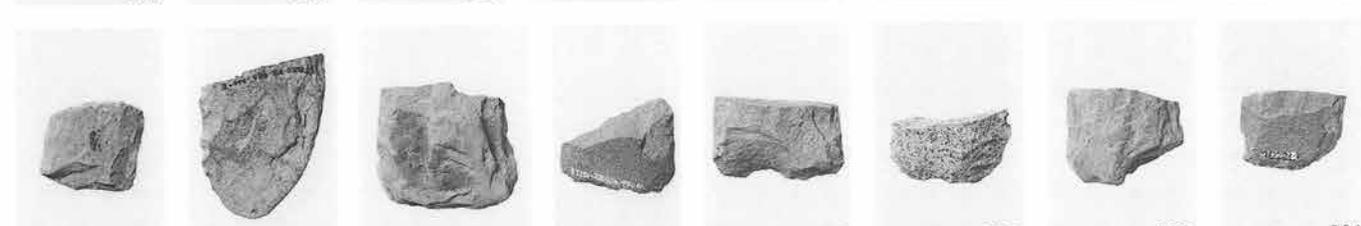
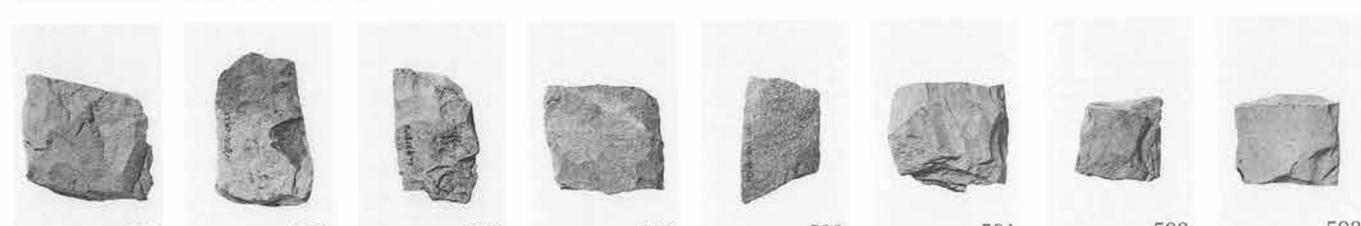
II区出土打製石器(2)



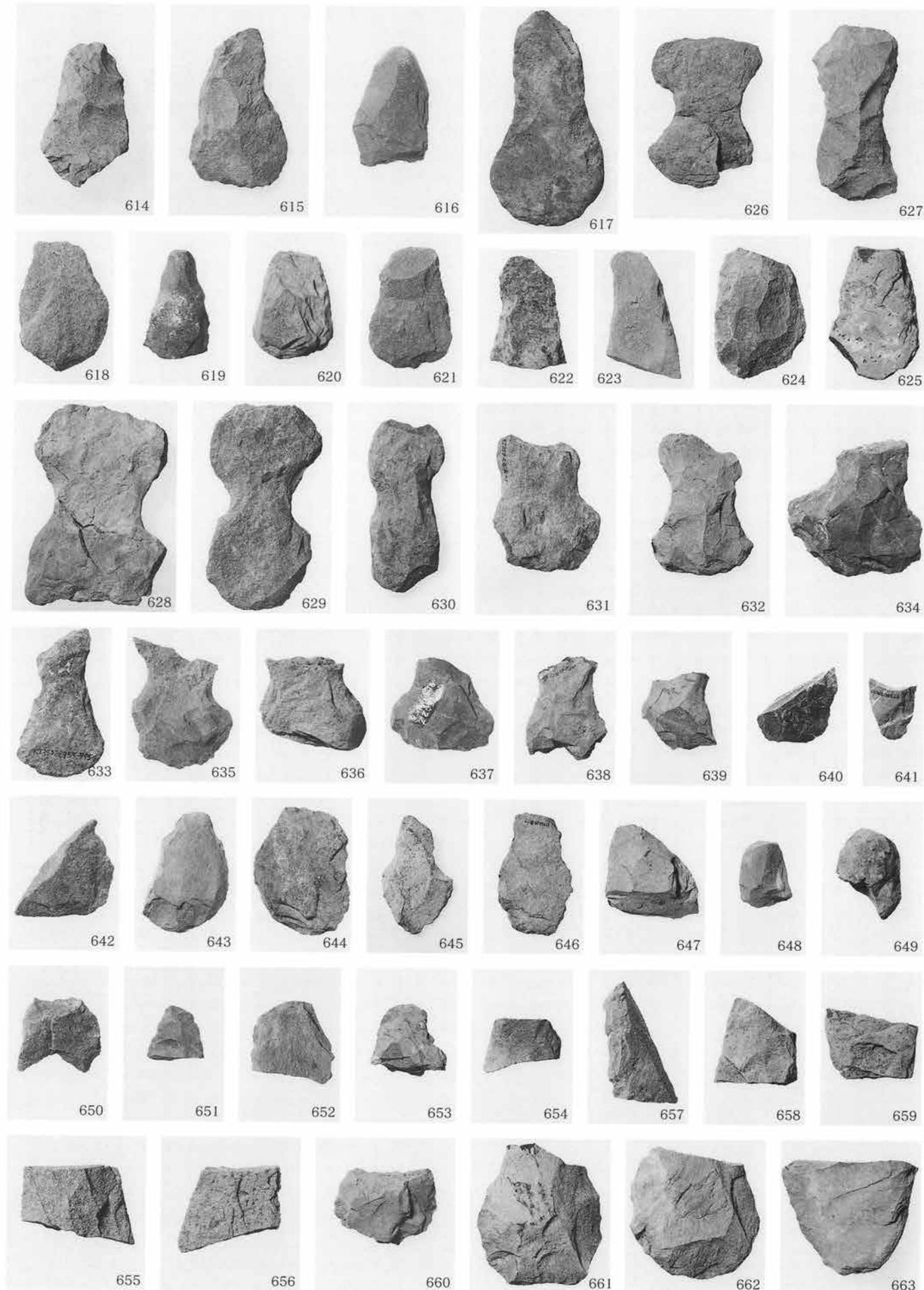
II区出土打製石器 (3)

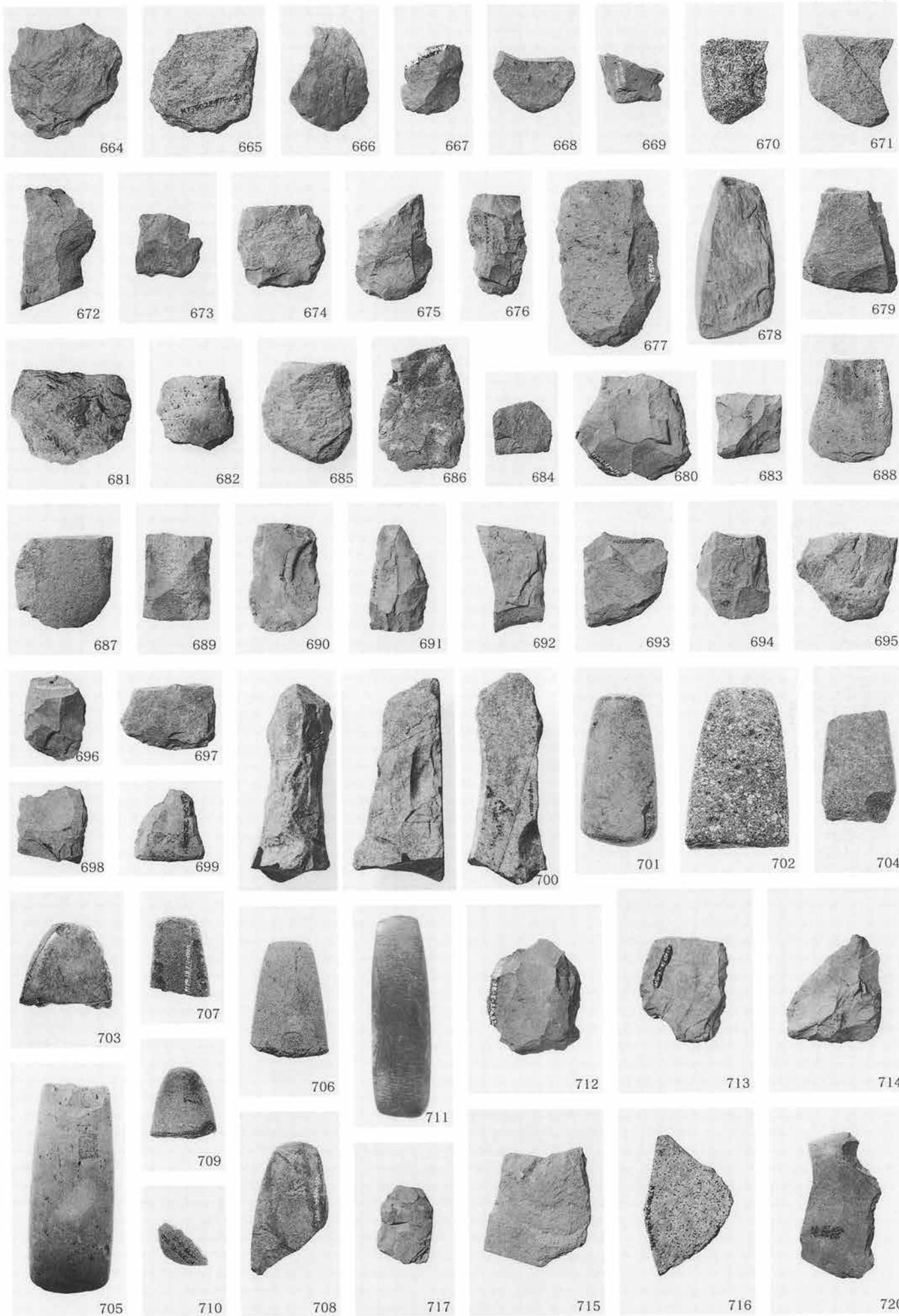


II区出土打製石器(4)

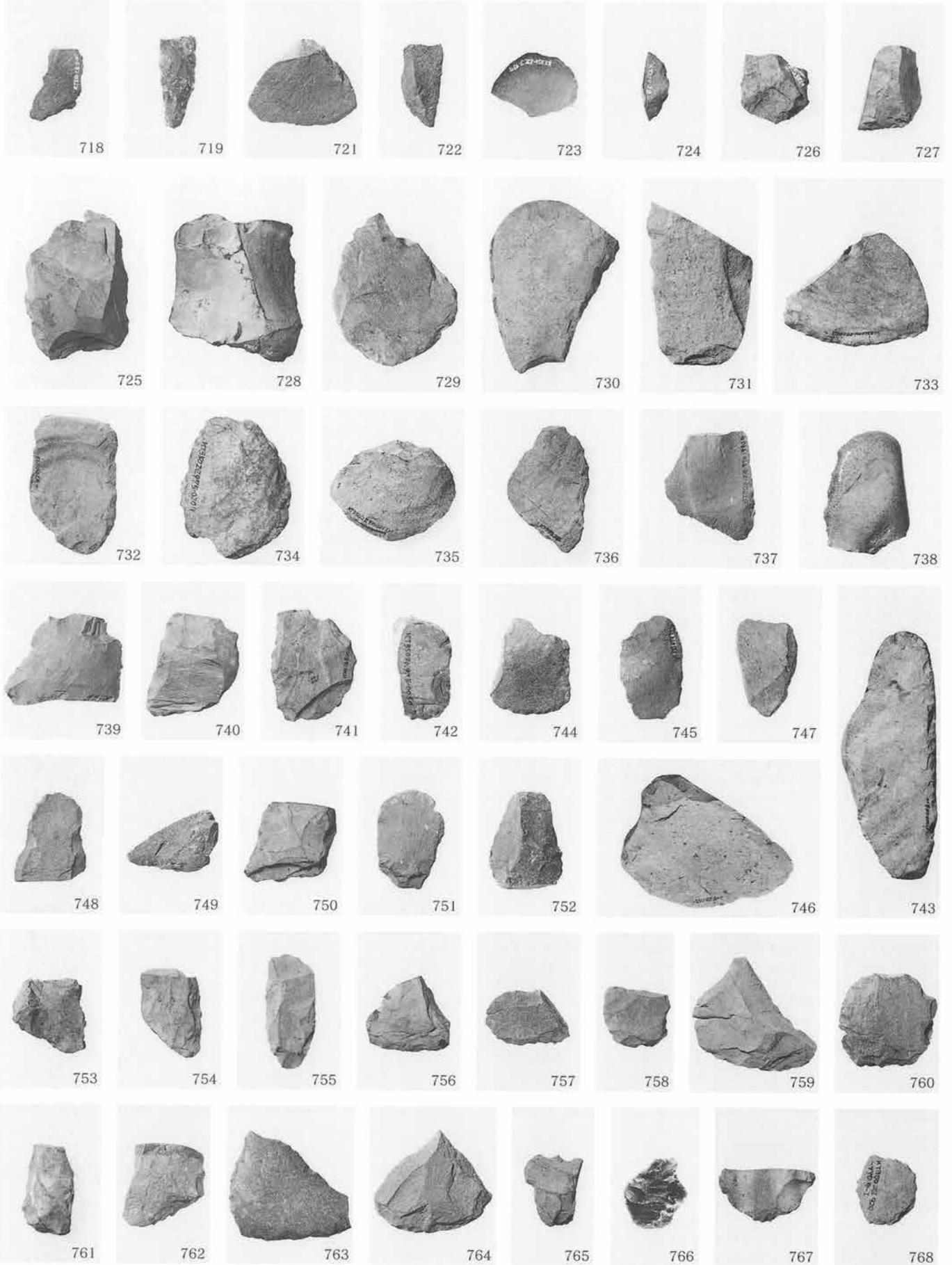


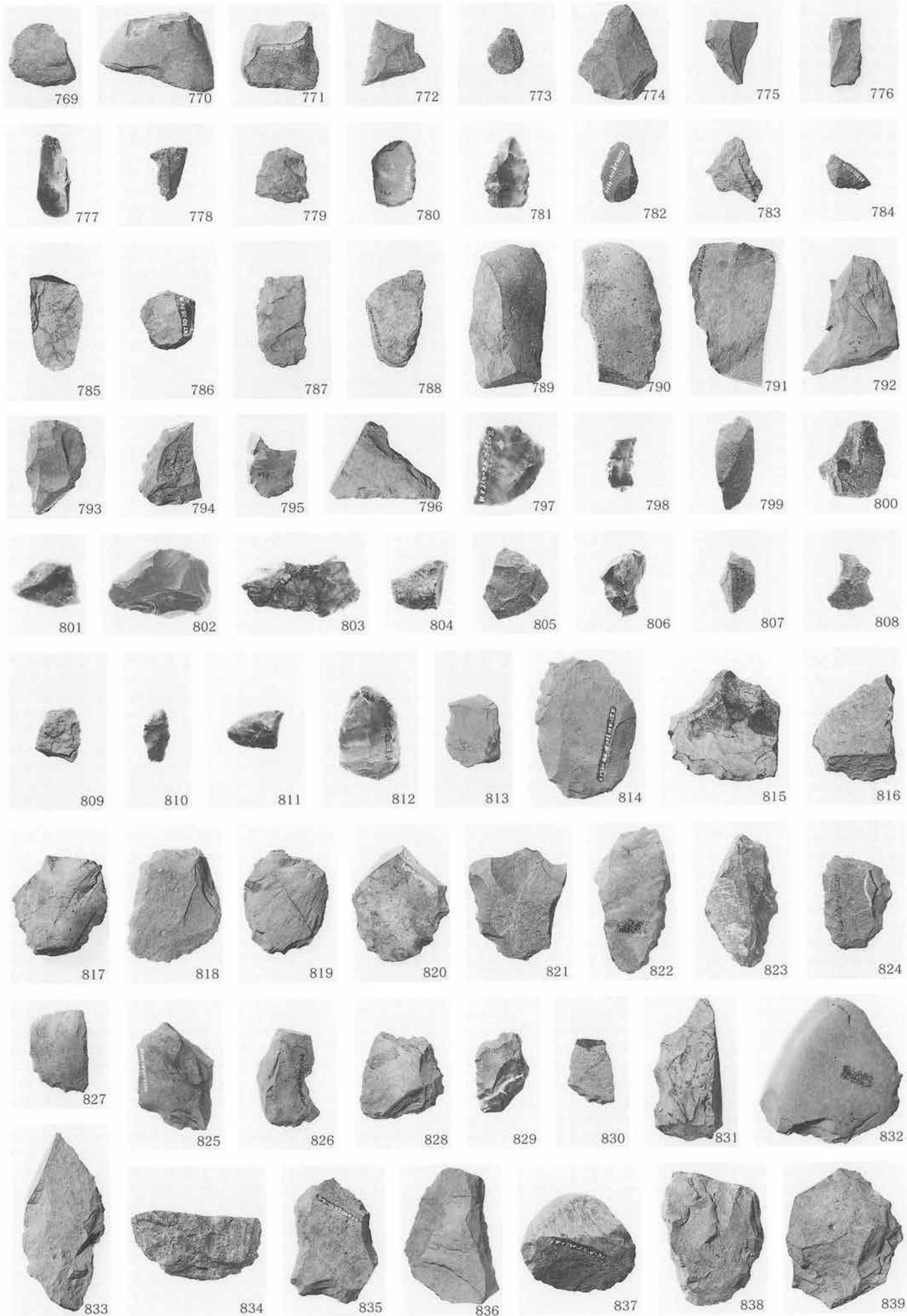
II区出土打製石器 (5)



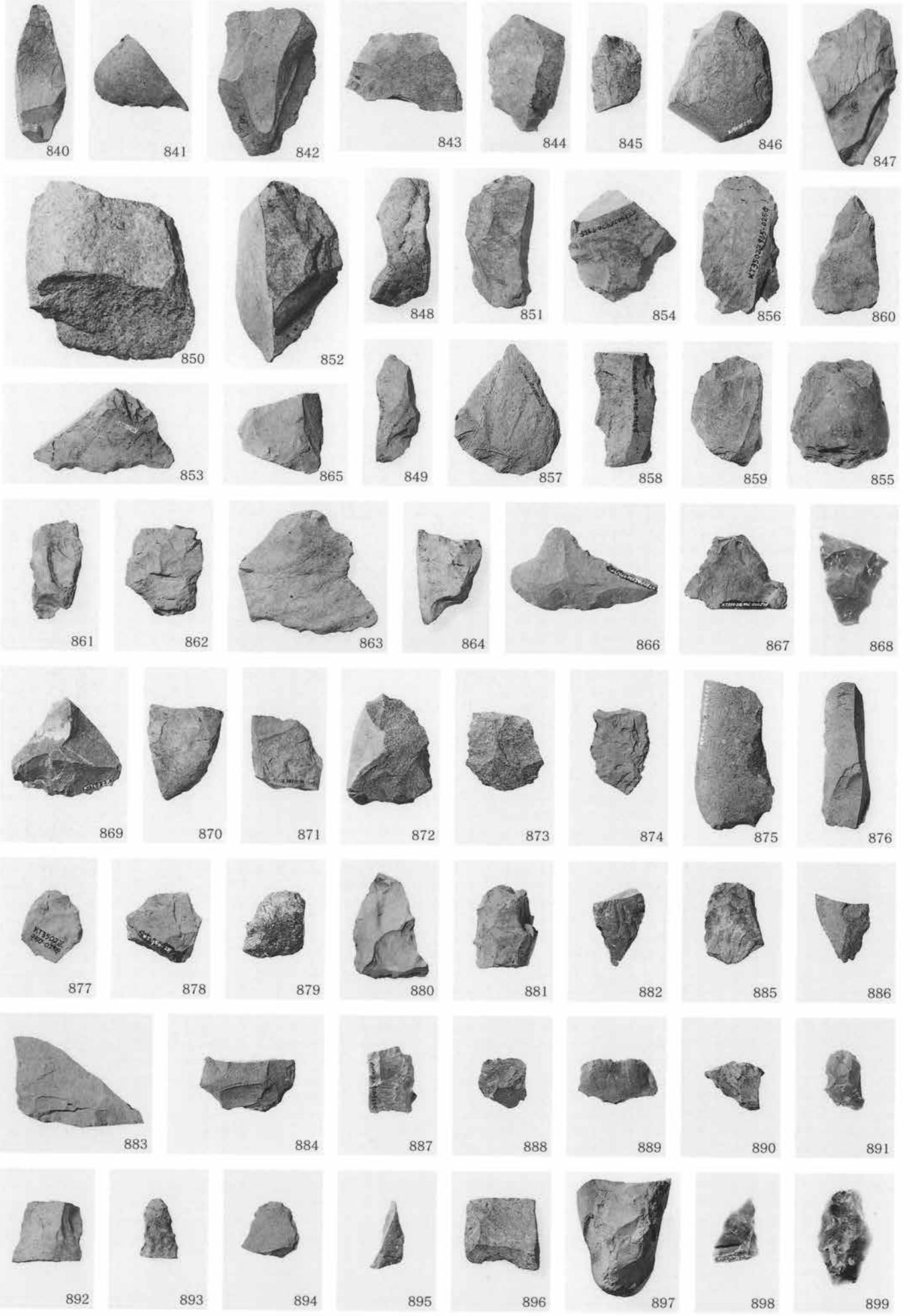


II区出土打製石器 (7)

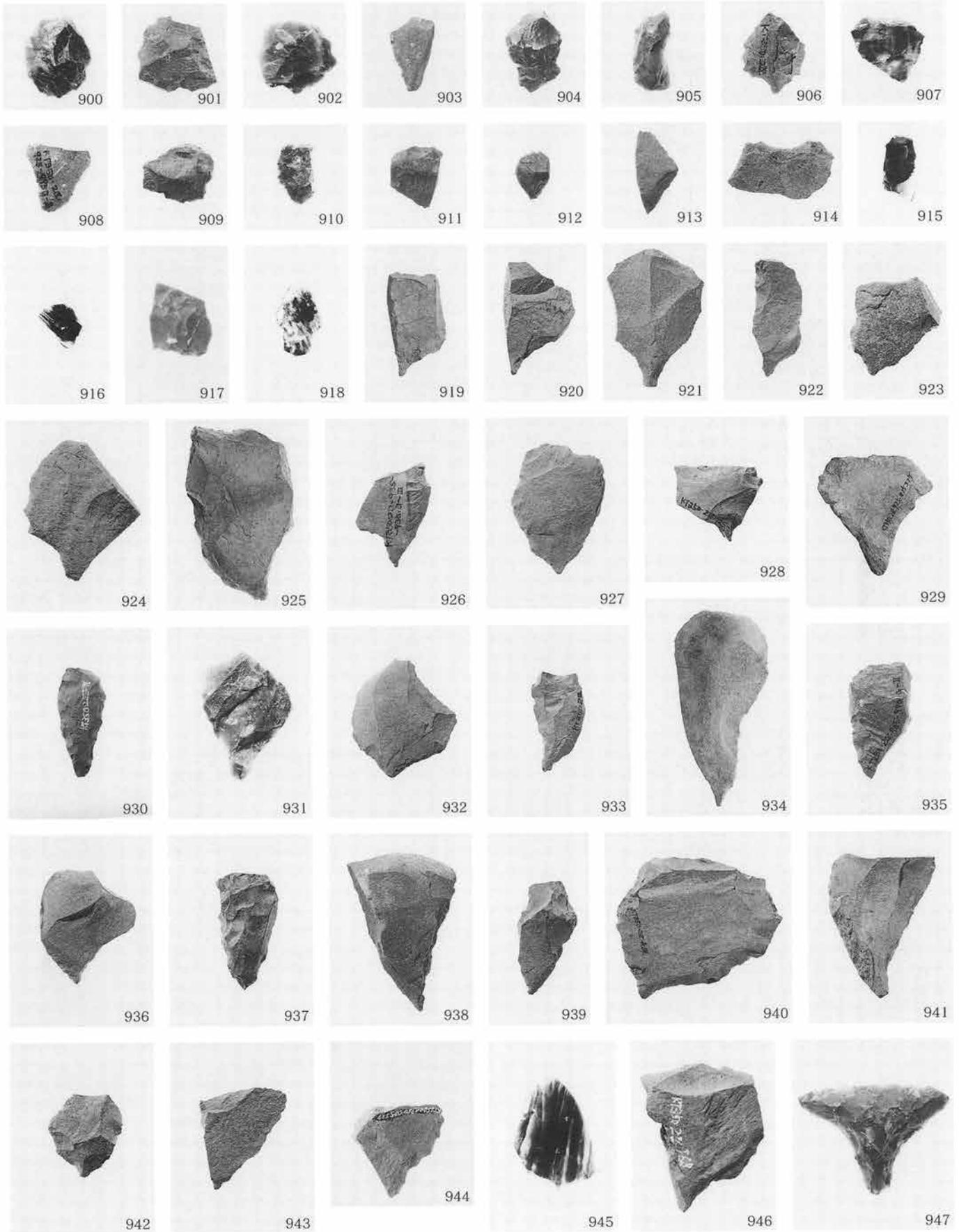




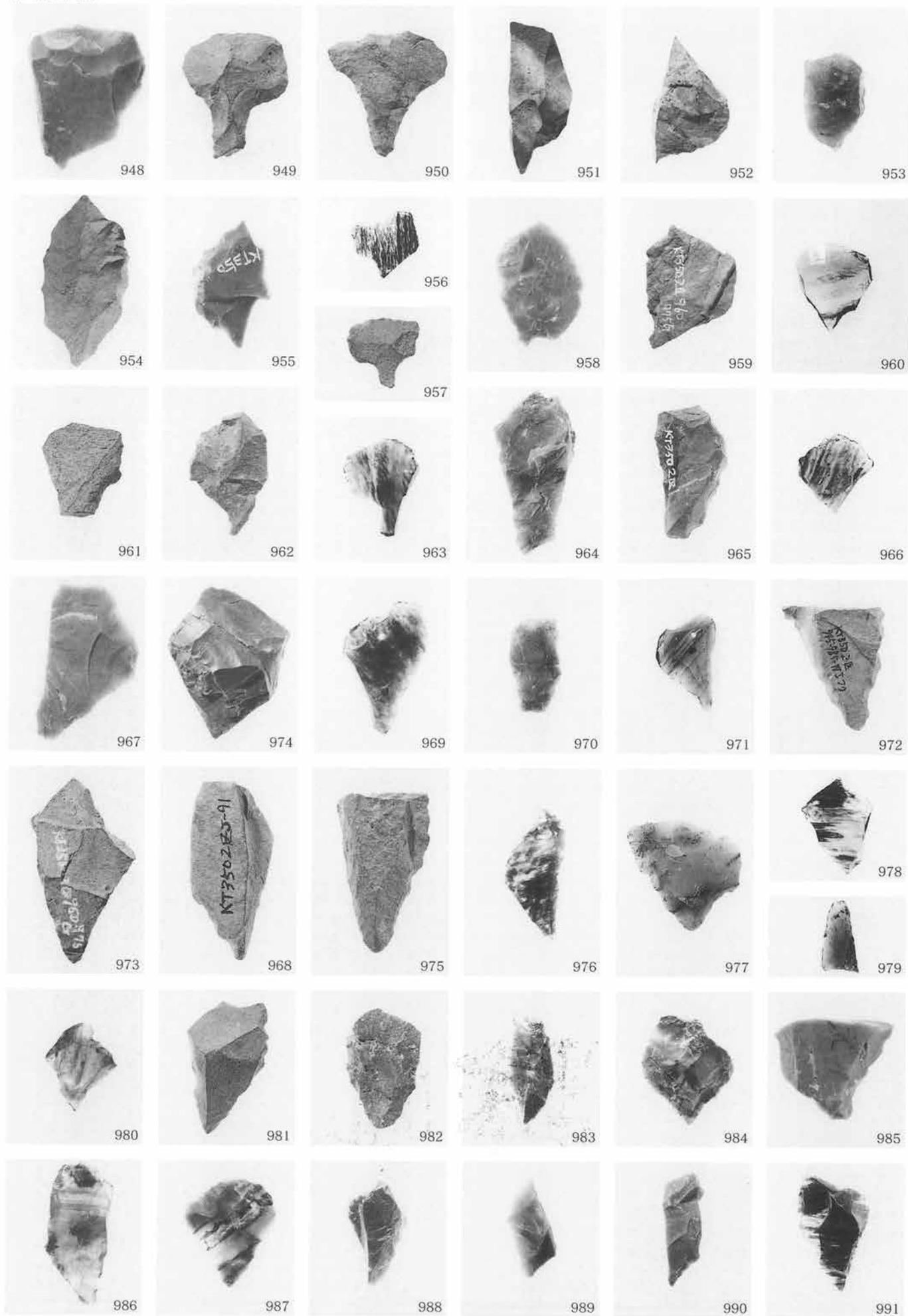
II区出土打製石器 (9)



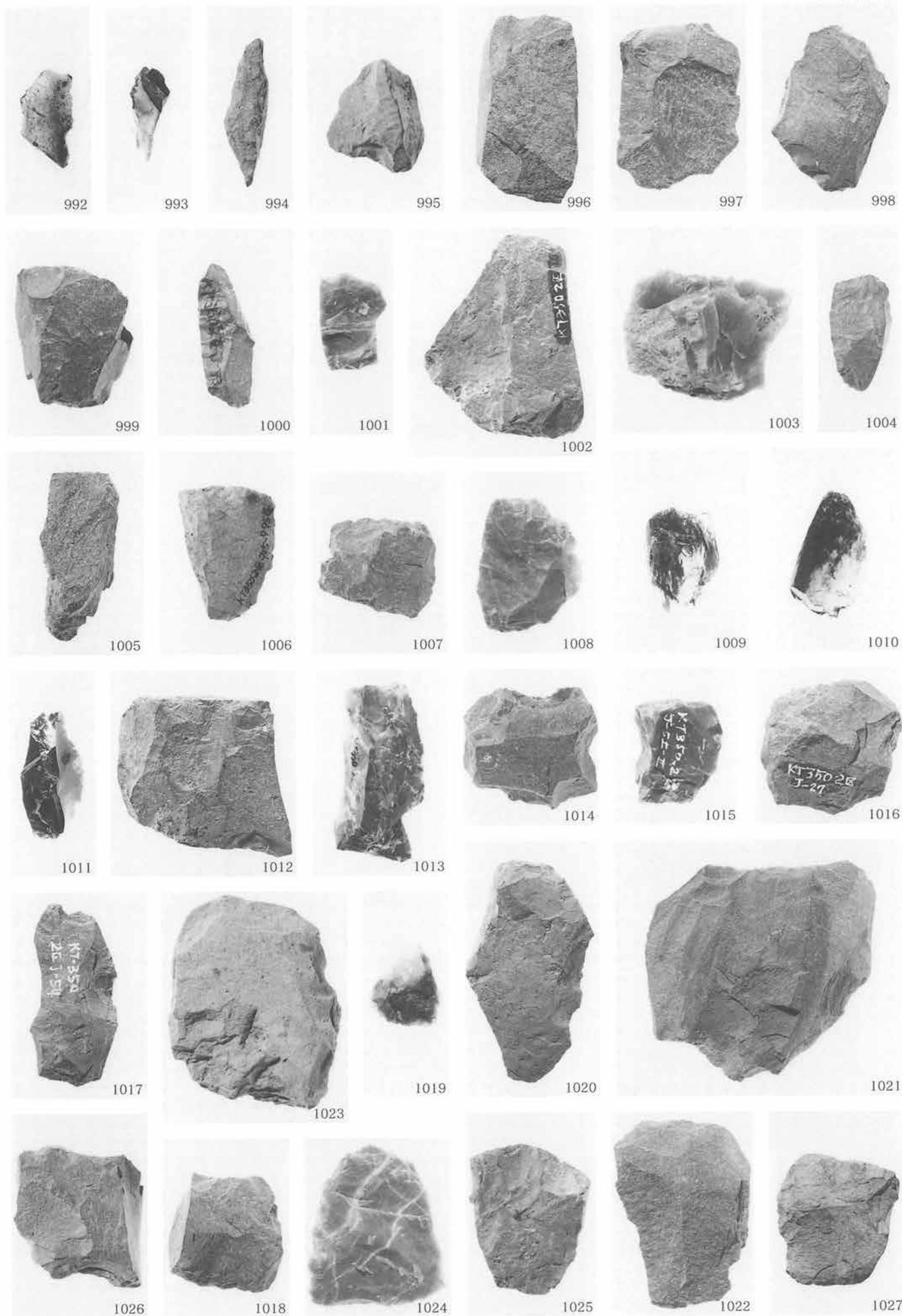
II区出土打製石器 (10)



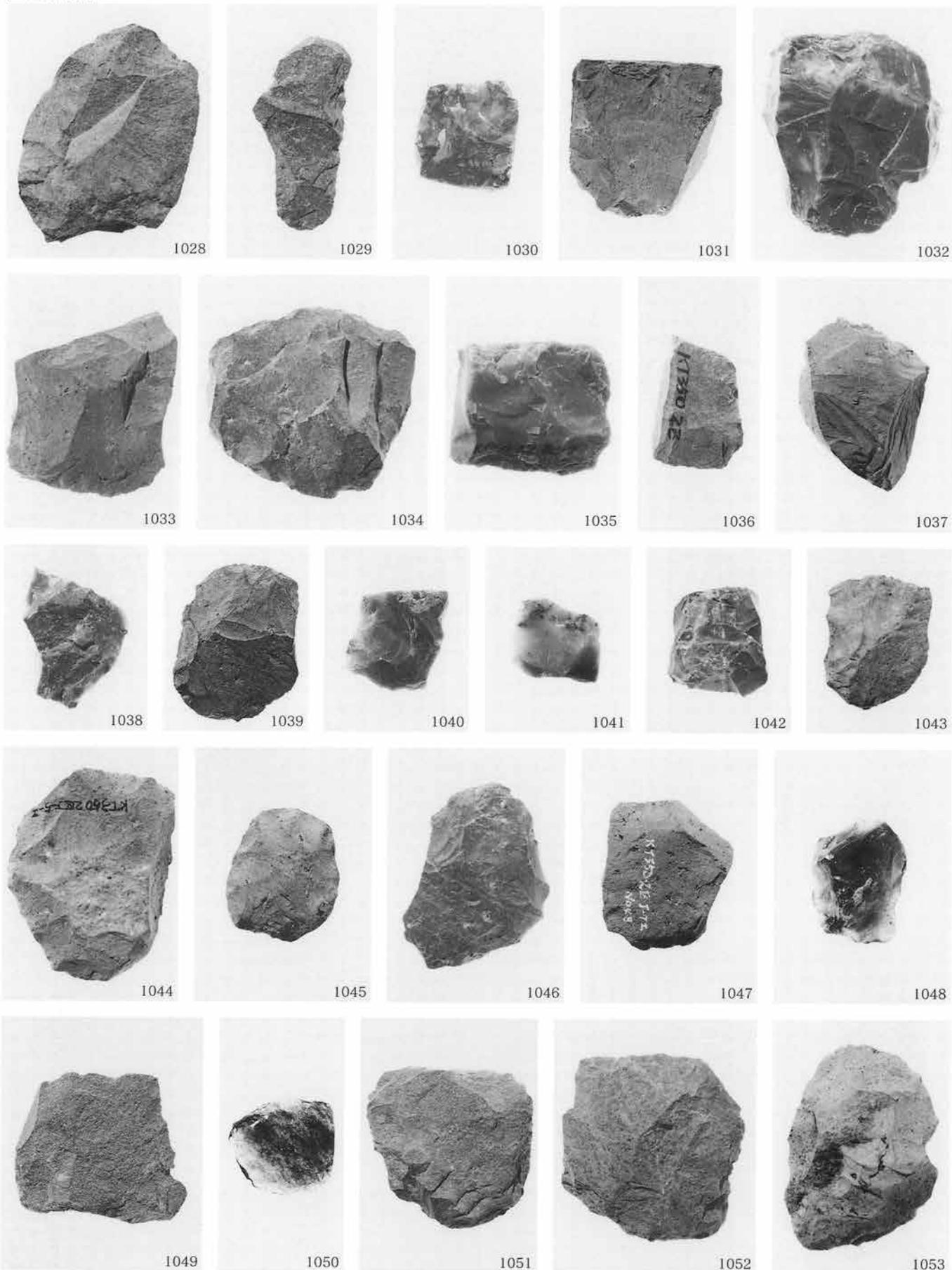
II区出土打製石器 (11)

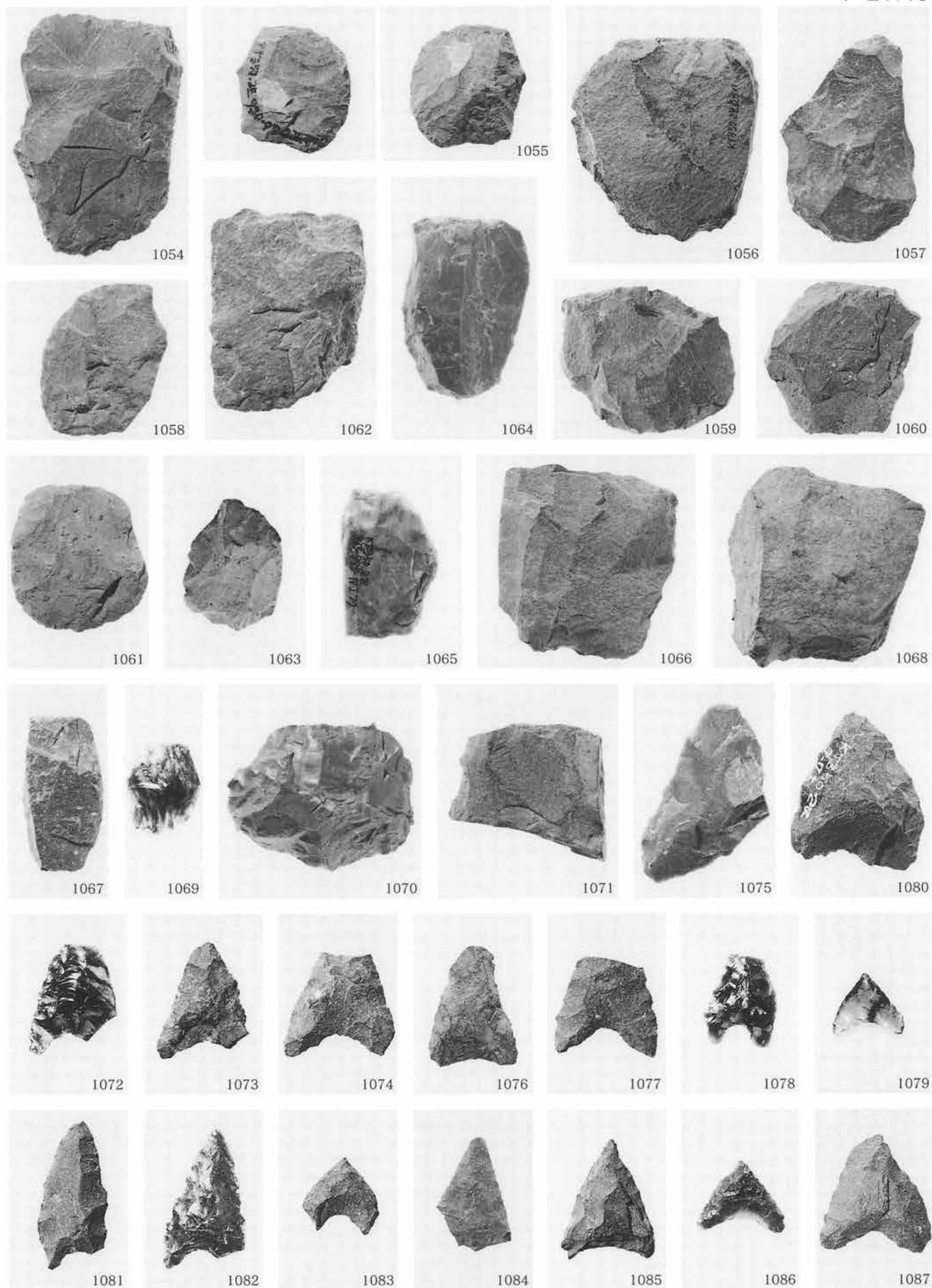


II区出土打製石器 (12)

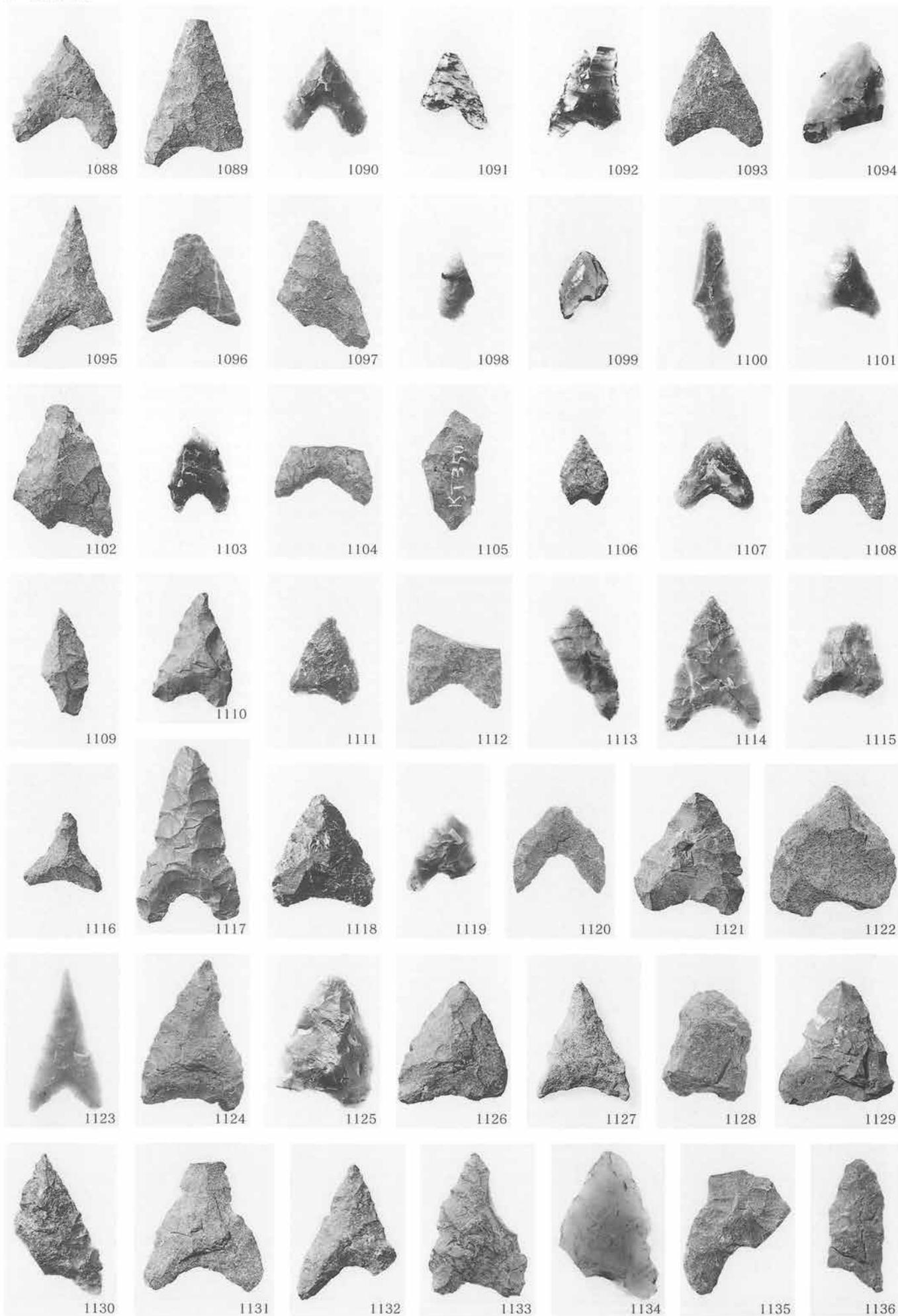


II区出土打製石器 (13)

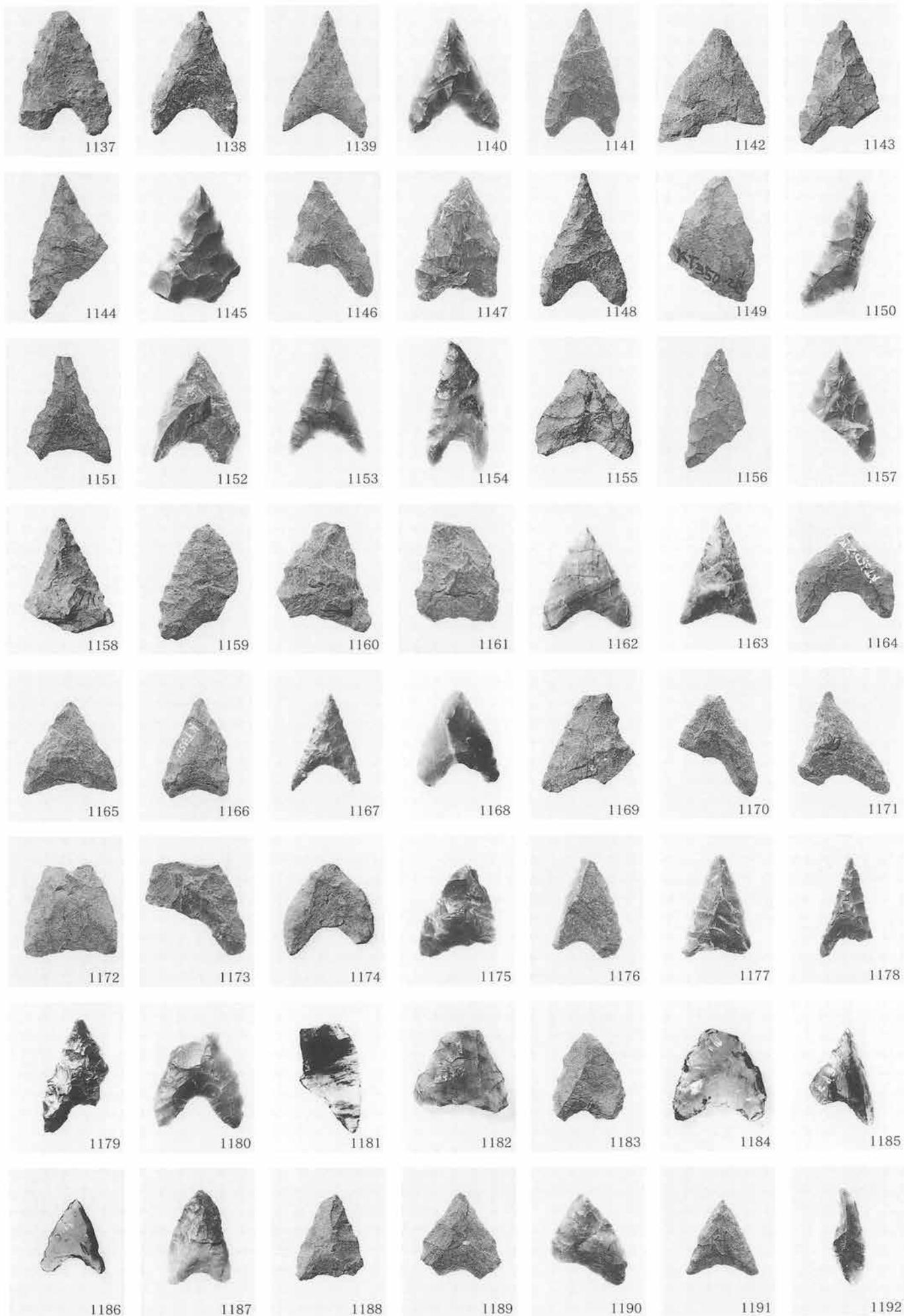




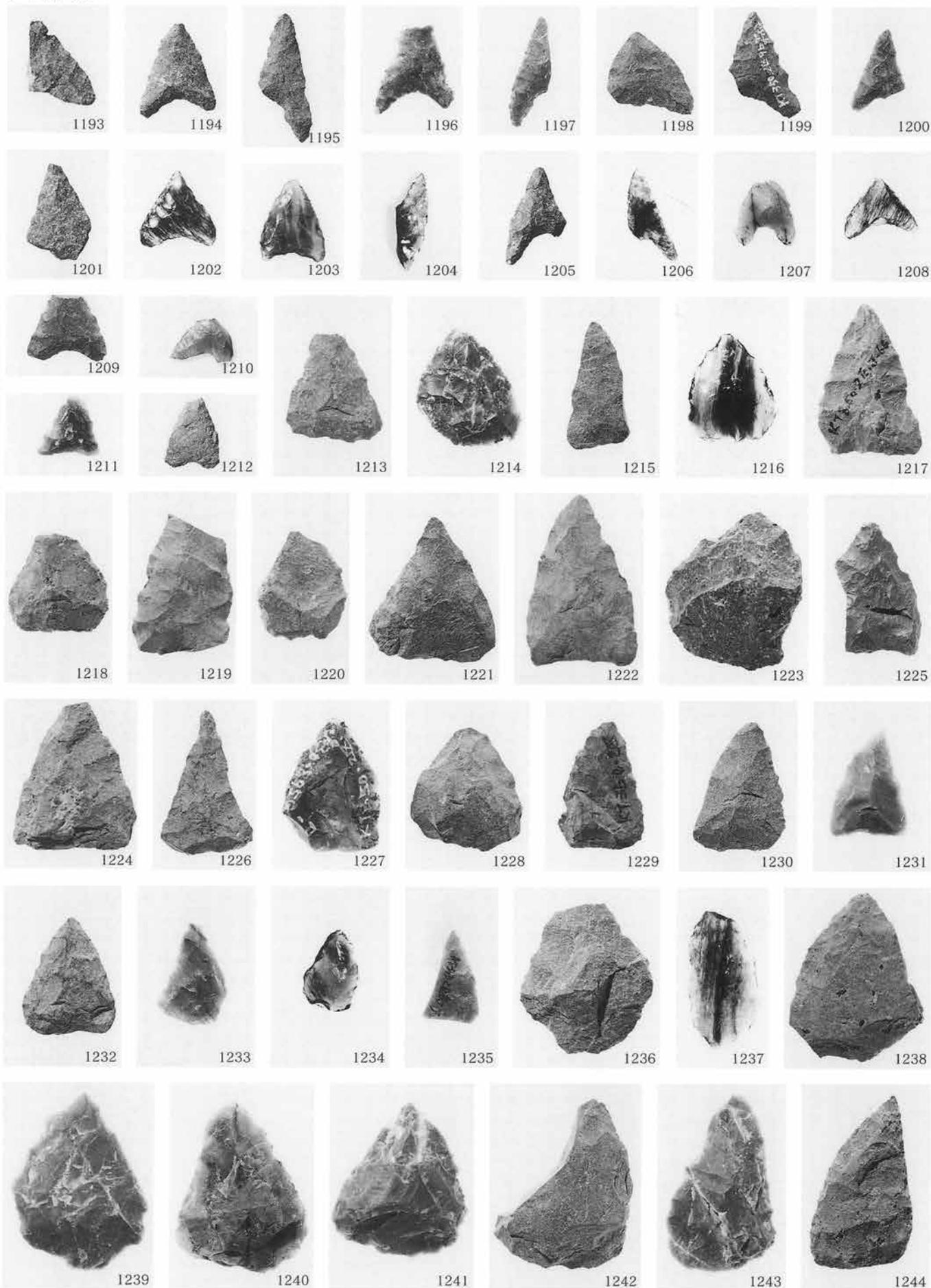
II区出土打製石器 (15)

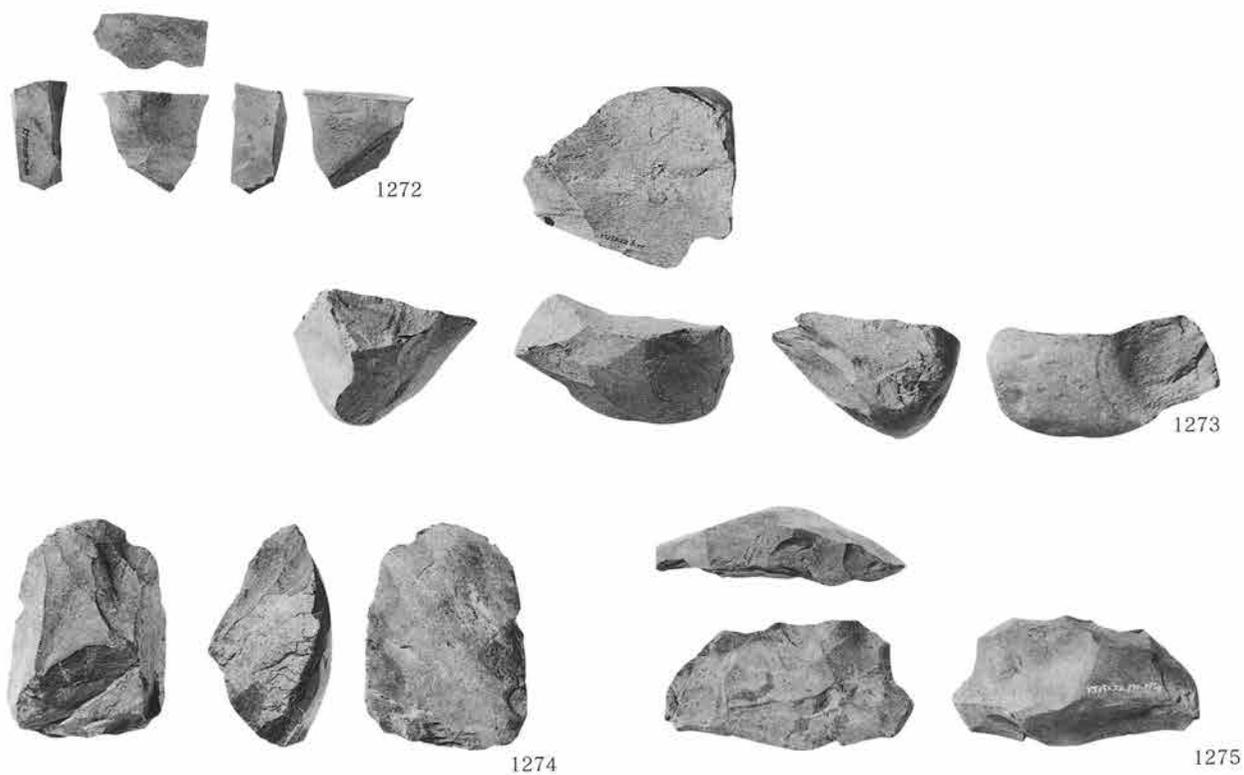
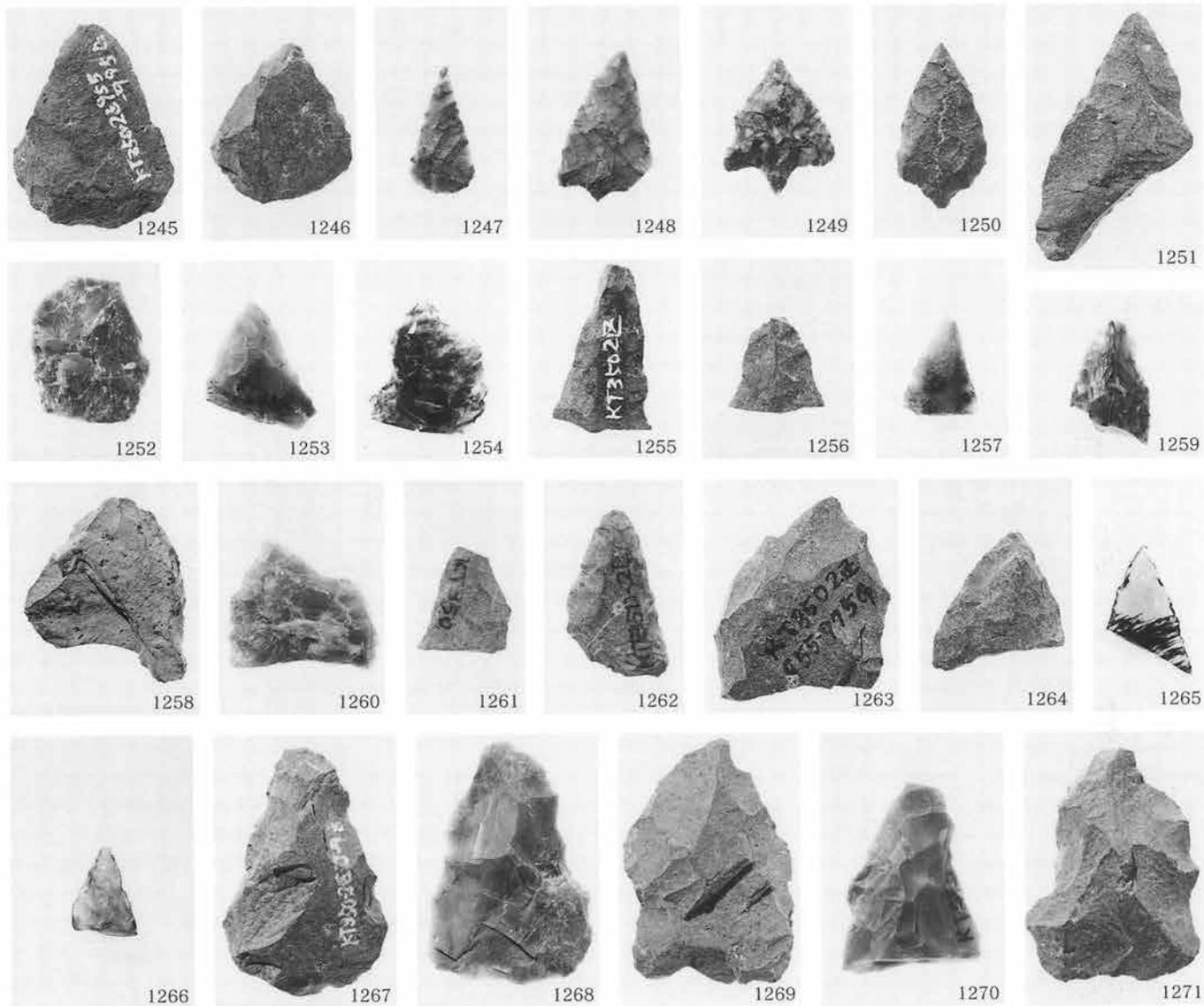


II区出土打製石器 (16)

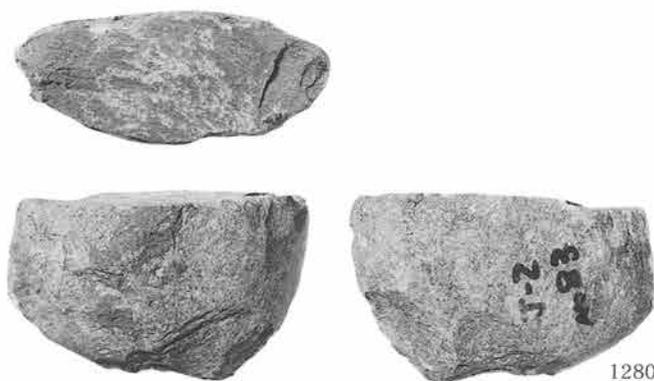
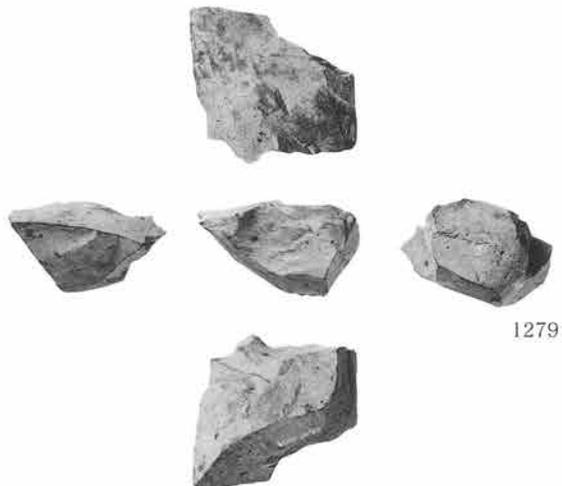
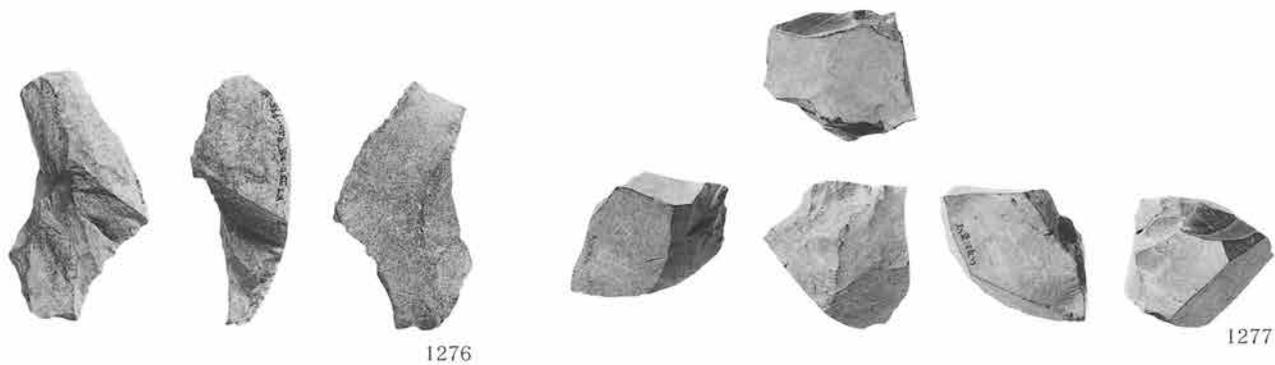


II区出土打製石器 (17)

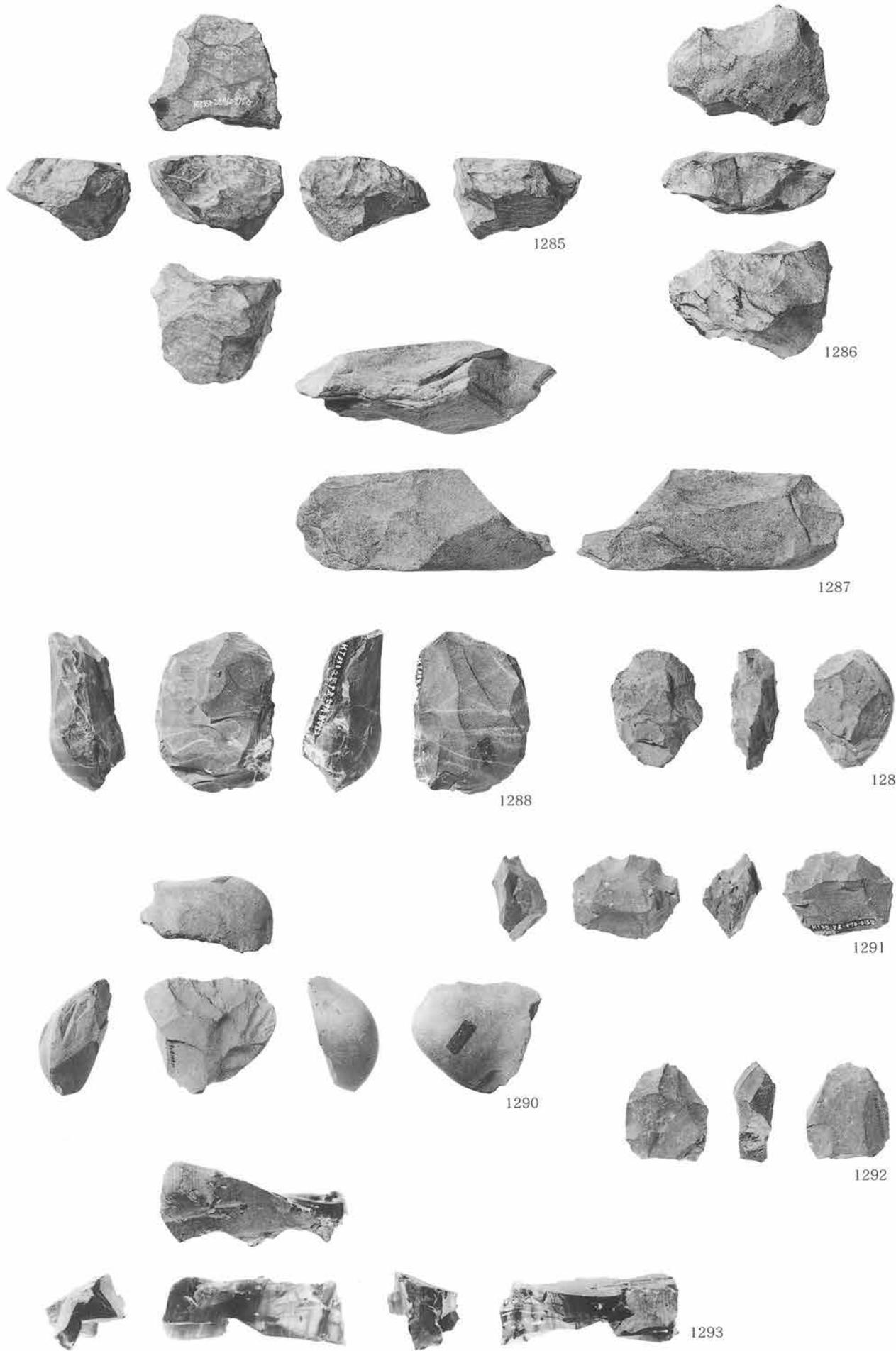




II区出土打製石器 (19)



II区出土打製石器 (20)

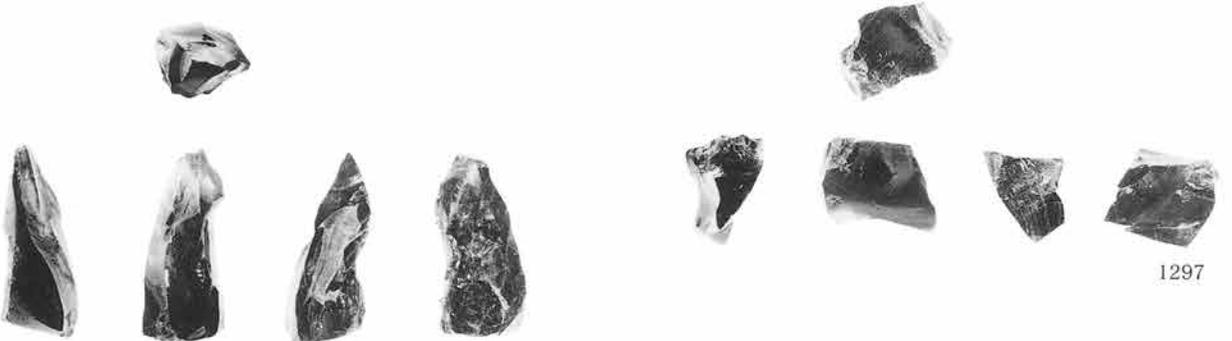


II区出土打製石器 (21)



1294

1295



1296

1297



1298



1299



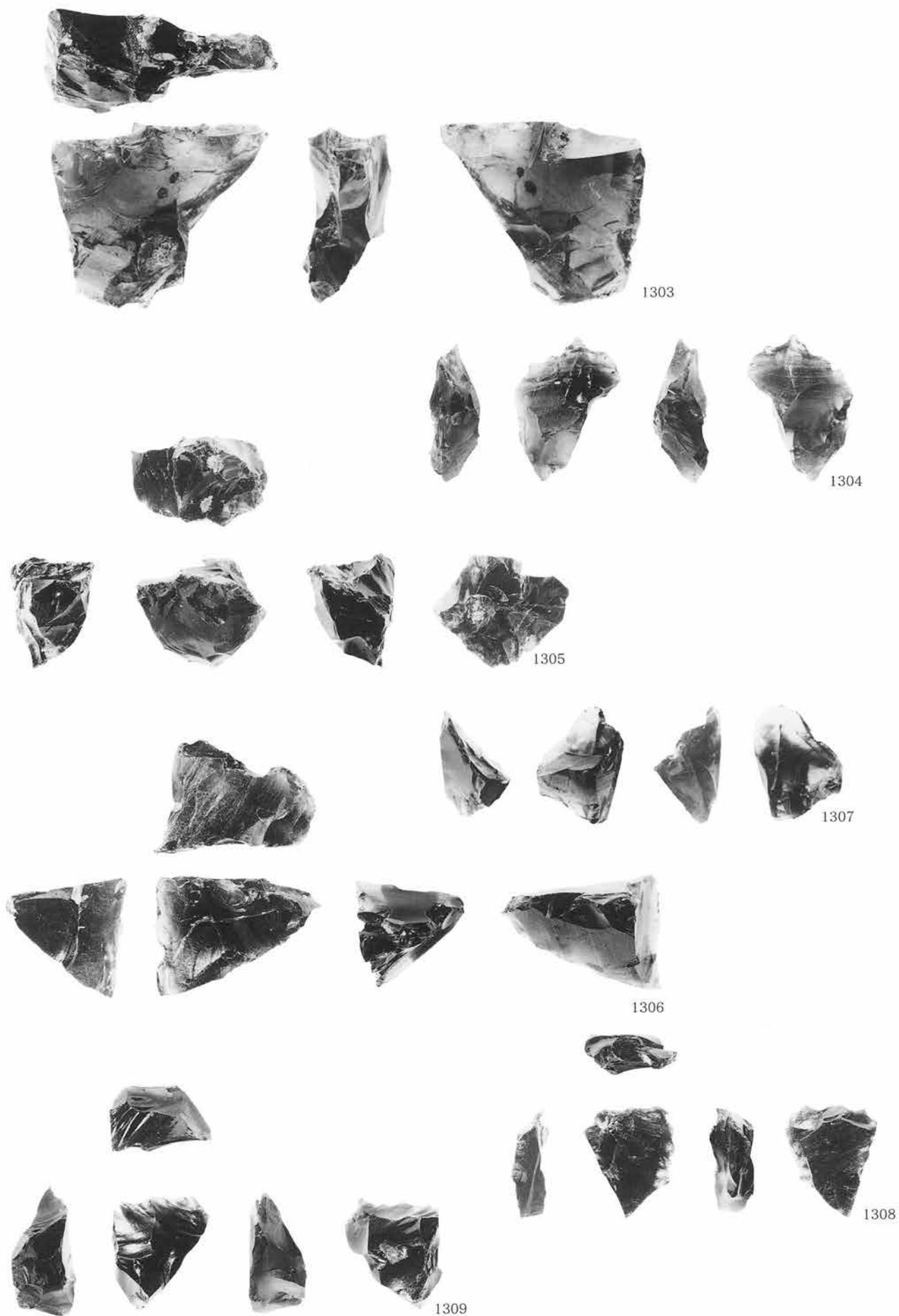
1300



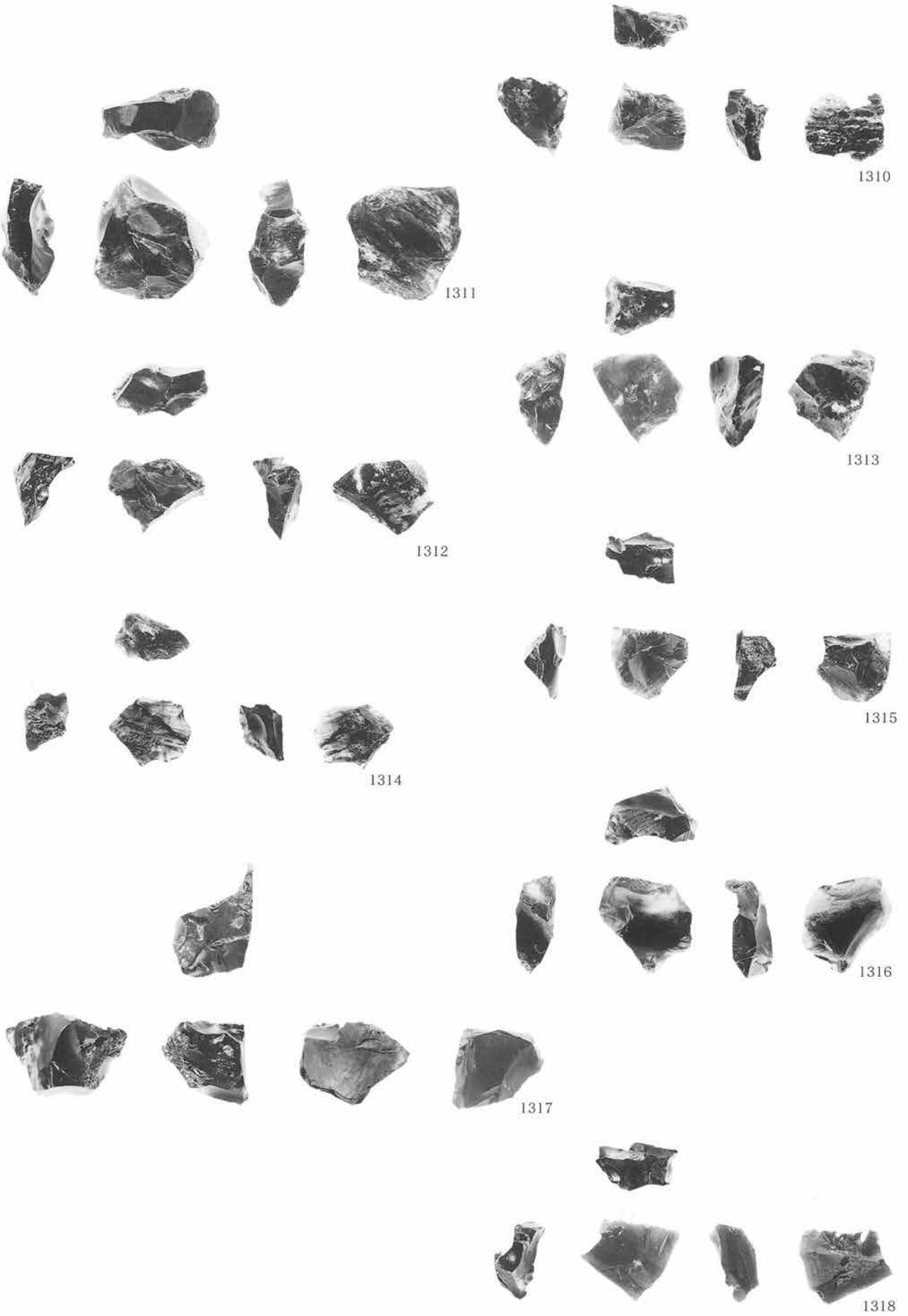
1301



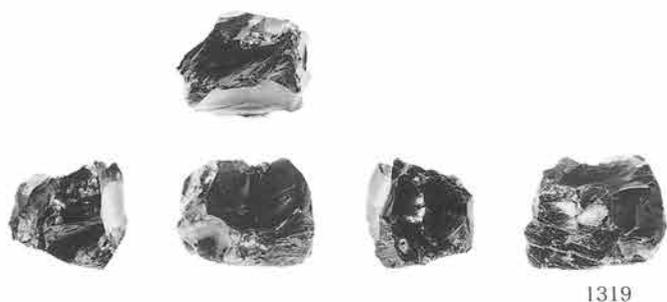
1302



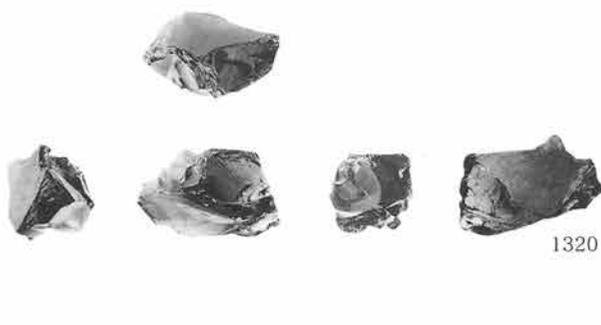
II区出土打製石器 (23)



II区出土打製石器 (24)



1319



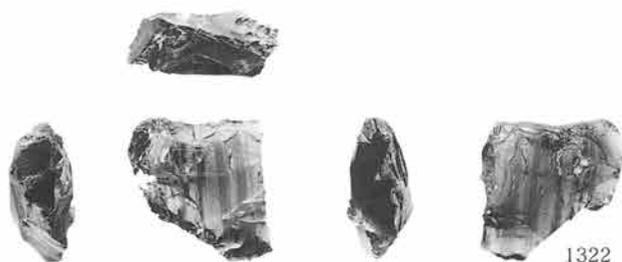
1320



1321



1323



1322



1324



I · II区出土石器·石製品

財団法人 群馬県埋蔵文化財調査事業団調査報告書 第390集

## 天ヶ堤遺跡(1)

---

平成19年1月24日印刷

平成19年1月30日発行

編集・発行／財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団

〒377-8555 群馬県渋川市北橘町下箱田784番地の2

電話 0279-52-2511 (代表)

ホームページアドレス <http://www.gunmaibun.org/>

印刷／川島美術印刷株式会社

---

調查研究館1F保管

# 天ヶ堤遺跡 I 区全体図





# 天ヶ堤遺跡Ⅱ区全体図（中・近世面）

